P2WW-4581-03Z0

PaperStream Capture 6.2

ユーザーズガイド

はじめに

- **本製品について**

  PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、および PaperStream Capture Pro Premium は、業務用 イメージ スキャナーを利用して原稿を読み取るためのアプリケーションです。
  PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium を使用して、業務用 イメージ スキャナーで読み取りを行う方法について説明しています。

- **商標および登録商標**

  Microsoft、Excel、Office、PowerPoint、SharePoint、Outlook、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
  ISIS は、Open Text の商標です。
  Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
  QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
  ScanSnap および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標です。
  その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

- **開発・販売元**

  株式会社 PFU
  〒 220-8567
  神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5（横浜アイマークプレイス）

- **ハイセイフティ用途での使用について**

  本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

- **発行日・発行責任**

  発行日 2026 年 10 月
  発行責任 株式会社 PFU
  ©PFU Limited 2024-2026

- **お願い**

  - 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
  - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
  - 無断転載を禁じます。

本書をお読みになる前に

- **マニュアルの種類**

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

PaperStream Capture スタートアップガイド

PaperStream Capture を初めて使用される方を対象に、PaperStream Capture を使用して、業務用 イメージ スキャナーで読み取りを行う方法について説明しています。

PaperStream Capture ユーザーズガイド

PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium を使用して、業務用 イメージ スキャナーで読み取りを行う方法について説明しています。
PaperStream AI のダッシュボードについては、ダッシュボードへのログイン後に表示される各画面の？アイコンをクリックすることで説明を表示できます。

- **本書で使用している記号**

本書では、以下の記号を使用している場合があります。

ロール：管理者

「管理者」ロールを持ったログインアカウントに対する説明です。管理者が参照してください。

ロール：ユーザー

「ユーザー」ロールを持ったログインアカウントに対する説明です。管理者以外のユーザーが参照してください。

- **本書での略記**

本書では、以下の名称について省略して記載しています。

本文中の表記	名称
Windows 10	Windows® 10 Home（32/64 ビット） Windows® 10 Pro（32/64 ビット） Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット） Windows® 10 Education（32/64 ビット）
Windows 11	Windows® 11 Home（64 ビット） Windows® 11 Pro（64 ビット） Windows® 11 Enterprise（64 ビット） Windows® 11 Education（64 ビット） Windows® 11 Home（ARM 版）

本文中の表記	名称
	Windows® 11 Pro（ARM 版） Windows® 11 Enterprise（ARM 版） Windows® 11 Education（ARM 版） Windows® 11 Pro Education（ARM 版）
Windows Server 2016	Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）
Windows Server 2019	Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）
Windows Server 2022	Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）
Windows Server 2025	Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）
Windows	Windows 10、Windows 11、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022、および Windows Server 2025
Word	Microsoft® Word
Excel	Microsoft® Excel®
PowerPoint	Microsoft® PowerPoint®
SharePoint	Microsoft® SharePoint® Server 2016 Microsoft® SharePoint® Server 2019
SharePoint Online	Microsoft® SharePoint® Online
.NET Framework	Microsoft® .NET Framework
Outlook	Microsoft® Outlook®

- **製品名の表記**

  本書では、PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、および PaperStream Capture Pro Premium のすべてを指す場合、「PaperStream Capture」と表記しています。
  製品固有の説明の場合は、「PaperStream Capture の場合」や「PaperStream Capture で」などと表記しています。

- **スキャナーのボタン名の表記**

  本書では、スキャナーのボタン名を以下のように表記しています。

本文中の表記	名称
スキャナーのスキャンボタン	[Scan/Enter] ボタン、[Scan/Stop] ボタンなど、ボタン名に「Scan」が含まれたスキャナーのボタンを総称した表記です。

本文中の表記	名称
	スキャナーのスキャンボタンの名称は、スキャナーの機種によって異なります。詳細は、スキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- **PaperStream Capture の起動方法**

  PaperStream Capture は、以下の方法で起動できます。

  - 「スタート」メニューから起動する
  - デスクトップのショートカット（）から起動する

  PaperStream Capture をインストールすると、デフォルトでデスクトップのショートカットが作成されます。このため、本書では、デスクトップのショートカットから PaperStream Capture を起動する手順を記載しています。

- **連続する操作の表記**

  本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

  例：「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

- **PaperStream Capture の機能名や用語について**

  PaperStream Capture 4.0 以降で、機能名や用語をスキャナーの専門知識がない方にも理解しやすい名称に変更しました。
  以下に変更した機能名や用語を示します。

旧名称	新名称
プロファイル ドキュメントプロファイル	ジョブ
ブランクページ	白紙
マルチフィード	重送
AIQC	折れ/破れ
セパレーター	仕分け
マーク設定	画像チェック
メタデータ	抽出データ
リリース	出力
名前規則	バッチ名オプション フォルダー名オプション ファイル名オプション

- **本書に掲載している画面**

  Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
本書では、PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、および PaperStream Capture Pro Premium の共通の機能を説明する画面の場合、PaperStream Capture の画面で説明しています。
本書では、Windows 10 または Windows 11 の画面を例に説明しています。
オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。
表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

- **HTML 版 PaperStream Capture ユーザーズガイドの参照方法**

  PaperStream Capture を操作しながらブラウザー上で参照できる、PaperStream Capture ユーザーズガイドを用意しています。

  PaperStream Capture の画面にあるや、各設定画面の  をクリックすると表示できます。

目次

第 1 章 PaperStream Capture とは 16

1.1 PaperStream Capture でできること 18

1.2 PaperStream Capture と PaperStream Capture Pro / PaperStream Capture Pro Premium の違い 22

1.3 PaperStream Capture Pro / PaperStream Capture Pro Premium の機能 22

1.3.1 抽出データの活用 22

1.3.2 マルチステーション運用の特長 22

1.4 PaperStream AI を組み合わせる 24

1.5 PaperStream Capture / PaperStream Capture Pro / PaperStream Capture Pro Premium の仕様 25

1.6 旧バージョンからの変更点 37

第 2 章 PaperStream Capture をインストールする 40

2.1 Setup DVD-ROM からインストールする 40

2.2 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする 41

2.3 PaperStream Capture を使うコンピューターを変更する 43

第 3 章 PaperStream Capture Pro Premium を評価する 46

第 4 章 PaperStream AI を評価する 48

第 5 章 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をインストールする 49

5.1 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする 49

5.2 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアクティベートして使用する 50

5.2.1 オンラインの環境でライセンスをアクティベートする 50

5.2.2 オフライン環境のライセンスをアクティベートする 51

5.2.3 オンラインの環境でライセンスをディアクティベートする 53

5.2.4 オフライン環境のライセンスをディアクティベートする 54

5.3 PaperStream Capture Pro AI-OCR をインストールする 56

第 6 章 PaperStream AI を使用するには 57

6.1 PaperStream AI のライセンス 57

6.2 PaperStream AI での読み取りとしてカウントされる条件 59

第 7 章　読み取り前の準備　61

7.1　環境設定をする 61

7.2　マルチステーション運用の設定 62

7.2.1　マルチステーション運用でストレージサーバーの設定をする 62

7.2.2　マルチステーション運用でステーションの設定をする 63

第 8 章　基本的な読み取り操作　64

8.1　バッチスキャンモードの操作の流れ 65

8.2　シンプルスキャンモードの操作の流れ 66

第 9 章　PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード）　68

9.1　PaperStream AI を使った読み取り条件（ジョブ）を作成して読み取る（バッチスキャンモード） 69

9.1.1　フィールドの「形式」を選択する際の考え方 72

第 10 章　読み取りの条件（ジョブ）を設定する（バッチスキャンモード）　75

10.1　読み取りの条件を簡単に設定する（かんたん作成） 75

10.1.1　原稿を読み取って画像を保存する 75

10.1.2　読み取った原稿の画像を仕分けて保存する 78

10.1.3　原稿内の文字列をファイル名や保存先のフォルダー名にして保存する 81

10.1.4　定型帳票内の文字列をファイル名やフォルダー名にして保存する 87

10.2　より高度な読み取り条件を設定する（こだわり作成） 93

第 11 章　原稿を読み取る（バッチスキャンモード）　97

11.1　読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード） 98

11.2　ジョブの設定を一時的に変更して読み取る（バッチスキャンモード） 102

11.3　インデックスを編集する（バッチスキャンモード） 103

11.4　読み取った画像の確認を一時保存する（バッチスキャンモード） 106

11.5　読み取った画像または編集した内容を破棄する（バッチスキャンモード） 106

第 12 章　読み取りの履歴を確認する（バッチスキャンモード）　108

第 13 章　シンプルスキャンモードによる読み取り　109

13.1　シンプルスキャンモードの設定をする 109

13.2 原稿を読み取って保存する（シンプルスキャンモード）.....110
13.3 読み取った画像を確認 / 編集する（シンプルスキャンモード）.....111
13.3.1 ページを確認する..... 111
13.3.2 ページを追加 / 挿入する..... 111
13.3.3 ページを差し替える..... 112
13.3.4 ページを回転する..... 113
13.3.5 ページを削除する..... 113
13.3.6 ページを切り取る..... 113
13.3.7 ページをコピーする..... 113
13.3.8 ページを貼り付ける..... 114
13.3.9 ドキュメントを分割する..... 114
13.3.10 ドキュメントを結合する..... 115
13.3.11 ページを並べ替える..... 115
13.3.12 ページにマークを付加する..... 116
13.4 確認 / 編集した画像を保存する（シンプルスキャンモード）.....116

第 14 章 便利な設定に変更する 118

14.1 ジョブをグループ単位で表示する.....118
14.2 かんたん作成のジョブをこだわり作成に移行する.....120
14.3 スキャナーのボタンで原稿を読み取る.....121
14.3.1 PaperStream Capture 側の設定..... 122
14.3.2 コンピューター側の設定..... 123
14.3.3 スキャナー側の設定..... 125
14.4 画像の解像度の設定を変更する.....125
14.5 原稿の白紙ページを自動で削除する.....127
14.5.1 かんたん作成の場合..... 127
14.5.2 こだわり作成の場合..... 128
14.6 原稿の色（カラー/白黒）を自動判別して出力する.....130
14.6.1 かんたん作成の場合..... 130
14.6.2 こだわり作成の場合..... 131
14.7 画像の向きを自動で補正する.....132
14.7.1 かんたん作成の場合..... 133
14.7.2 こだわり作成の場合..... 133
14.8 パンチ穴除去をオフにする.....135
14.9 読み取り中、読み取り後の画面表示/非表示を設定する.....137
14.9.1 読み取りで検出されたエラーに対応する..... 139
14.10 読み取り中に画像を確認する.....139

14.11 画像のファイルサイズを設定する 141
14.11.1 バッチスキャンモードで読み取る場合 142
14.11.2 シンプルスキャンモードで読み取る場合 143
14.12 画像を文字の検索ができる PDF ファイルにする 146
14.13 ファイル名オプションを使ってファイル名を指定する 147
14.13.1 ファイル名の設定例 150
14.14 画像のファイル名に連番を付ける 153
14.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する 154
14.16 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する 158
14.17 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する 160
14.18 原稿内の文字列やバーコード/QR コードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける 161
14.19 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する 164
14.19.1 情報を抽出するエリアを手動で追加する 165
14.19.2 情報を抽出するエリアを一括で追加する 170
14.20 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する 177
14.21 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する 178
14.22 定型帳票の種類ごとに画像ファイルを自動で仕分ける 180
14.23 類似の定型帳票を識別する 184
14.24 読み取った画像上の文字を塗りつぶす 186
14.25 ジョブの改善ポイントを確認する 189
14.26 使い方に合わせた読み取り方法を選択する 190
14.27 確認が必要な画像にマークを付ける 191
14.28 インプリンタと連携して原稿に印字する 193
14.29 画像を取り込む 195
14.29.1 ほかのツールで作成した画像を画質補正して取り込む 196
14.29.2 メールに添付されたファイルを取り込む 197
14.29.3 指定したフォルダー内の画像を定期的に取り込む 197
14.30 読み取った画像を SharePoint に出力する 199
14.31 白紙を使用して画像ファイルを自動で仕分ける 201
14.32 ページ数を指定して画像ファイルを自動で仕分ける 201
14.33 重送（封筒など）を使用して画像ファイルを自動で仕分ける 202
14.34 パッチコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける 203
14.35 Ctrl キーを押して画像ファイルを自動で仕分ける 205

14.36 レイアウトを識別して画像ファイルを自動で仕分ける 206
14.37 ファイル名を使用して画像ファイルを自動で仕分ける 208
14.38 抽出した文字列を SharePoint のフィールド（列）に保存する 208
14.39 抽出した文字列にフィールドルールを設定する 210
14.40 抽出データの高度な設定 211

第 15 章 ダッシュボードで利用状況を確認する 214

15.1 アカウントの登録 214
15.2 管理者ができること 215
15.3 ユーザーができること 215

第 16 章 運用環境を移出/移入する 216

16.1 運用環境を移出する 216
16.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する 217
16.3 運用環境の移入結果を確認する 224

第 17 章 「お使いの前に」画面 225

第 18 章 メニュー 226

第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 230

19.1 目的選択画面 233
19.2 「こだわり作成」画面の構成 234
19.3 「ジョブ情報設定」タブ 235
19.3.1 バッチ名オプション 237
19.3.2 「バッチカウンターオプション」画面 239
19.4 「読み取り設定」タブ 239
19.4.1 PaperStream IP Import の設定項目 253
19.4.2 「読み取りモードオプション」画面 256
19.4.3 「監視フォルダー詳細設定」画面 259
19.5 「出力先設定」タブ 260
19.5.1 「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面 271
19.5.2 「SharePoint オプション」画面 271
19.5.3 「SharePoint Online オプション」画面 272
19.5.4 「FTP オプション」画面 273
19.5.5 「アプリケーションの起動オプション」画面 276
19.5.6 「メールオプション」画面 277

19.5.7 「プリンターオプション」画面 278
19.5.8 「オプション設定」画面 280
19.5.9 フォルダー名オプション 288
19.5.10 ファイル名オプション 292
19.5.11 ファイル名オプション（インデックスファイル） 298
19.5.12 「カウンターオプション」画面 302
19.5.13 「インデックス一覧オプション」画面 306
19.5.14 帳票-*帳票名*-明細画面 309
19.5.15 「加工フィールド追加」画面／「加工フィールド編集」画面 310
19.5.16 「変換設定」画面 312
19.6 「データ抽出設定」タブ 314
19.6.1 「オプション設定」画面 333
19.6.2 「バーコードの設定」画面（データ抽出） 334
19.6.3 エリア設定画面（データ抽出） 334
19.6.4 「管理」画面 337
19.6.5 「帳票編集」画面 344
19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面 346
19.6.7 「フィールド定義」画面 348
19.6.8 「テーブル定義」画面 366
19.6.9 「AI プロンプト定義」画面 371
19.6.10 「テーブル抽出項目 - 明細」画面 371
19.6.11 「フィールドの自動追加」画面 372
19.6.12 「リストの定義」画面 374
19.6.13 「ODBC データソース」画面 374
19.6.14 「代替オプション」画面 375
19.7 「仕分け設定」タブ 377
19.7.1 「バーコードの設定」画面（仕分け） 388
19.7.2 エリア設定画面（仕分け） 388
19.7.3 「オプション設定」画面 391
19.8 「テスト」タブ 391
19.8.1 「スキャン(テスト)」画面 392
19.8.2 「QC(テスト)」画面 394
19.8.3 「インデックス(テスト)」画面 396

第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 398

20.1 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の構成 398
20.2 「一般」タブ 399

20.3 「ユーザビリティー」タブ 406
20.3.1 「ショートカット設定」画面 407
20.4 「出力」タブ 408
20.4.1 「Office 変換機能設定」画面 410
20.5 「アクティベーション」タブ 411
20.6 「ステーション」タブ 412
20.7 「サポート」タブ 415

第 21 章 「スキャン」画面 418

第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） 421

第 23 章 「スキャン&インデックス」画面 424

第 24 章 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） 427

第 25 章 リカバリー画面 430

第 26 章 「QC」画面 433

第 27 章 「インデックス」画面 437

第 28 章 ツールバー 440

第 29 章 「出力オプション設定」画面 451

第 30 章 「ファイル名の指定」画面 454

第 31 章 ファイル名の編集画面 456

第 32 章 「バッチ管理」画面 459

32.1 「出力済みファイル一覧」画面 462
32.2 「備考」画面 462

第 33 章 「所属/ユーザーの選択」画面 464

第 34 章 「同名ファイルの扱い確認」画面 466

第 35 章 「お知らせ」画面 468

第 36 章 「運用環境の移出」画面 469

第 37 章 「運用環境の移入」画面 470

第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 473

38.1 「読み取り設定」画面 478

38.2 「スキャンの実行」画面 480

38.2.1 「ファイル名の詳細設定」画面 483

38.2.2 「TIFF オプション」画面 489

38.2.3 「PDF オプション」画面 490

38.2.4 「JPEG2000 オプション」画面 493

38.2.5 「JPEG オプション」画面 494

38.3 「追加/挿入/差替え」画面 495

38.4 「仕分けの挿入」画面 496

38.5 「名前を付けて保存」画面 496

第 39 章 困ったときには 498

39.1 バージョンの情報を確認する 498

39.2 出力処理中の警告に対応する 498

39.3 バッチが進行中のまま完了しない 500

39.4 ゾーン OCR で文字が正しく認識されない 501

39.5 バーコードが正しく認識されない 502

39.6 PaperStream Capture の起動が遅い 503

39.7 PaperStream AI の機能が使用できない 503

39.8 ダッシュボードにログインできない 503

第 40 章 メッセージ一覧 504

40.1 起動や接続に関連するメッセージ 504

40.2 管理ツールやジョブ設定に関連するメッセージ 512

40.3 読み取りや編集に関連するメッセージ 521

40.4 詳細設定や環境設定に関連するメッセージ 549

40.5 画像の出力に関連するメッセージ 598

40.6 運用環境の移出 / 移入に関連するメッセージ 616

40.7 帳票の登録に関連するメッセージ 628

第 41 章 設定値一覧 634

第 42 章 仕様 644

42.1 ファイル形式 644
42.2 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture） 647
42.3 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture Pro、PaperStream Capture Pro Premium） 653
42.4 既定の圧縮形式 660
42.5 収集するデータ 662
42.6 バーコードの種類と検知条件 664
42.7 ゾーン OCR の検知条件 669
42.8 パスポートの検知条件 682
42.9 ID カード（TD1）の検知条件 684
42.10 ID カード（TD2）の検知条件 686
42.11 定型帳票の条件 687
42.11.1 定型帳票として識別できない原稿 689
42.12 ジョブ移入結果ログ 691
42.13 PaperStream Capture とドライバープロファイルの設定の関係 692

第 43 章 用語集 695

第 44 章 お問い合わせ 699

第 1 章
PaperStream Capture とは

PaperStream Capture は、業務用 イメージ スキャナーに添付されている画像読み取り用アプリケーションです。

直感的なユーザーインターフェイスで、簡単に操作できます。普段スキャニングに馴染みのない利用者でも迷わずすぐに運用できるため、事前にトレーニングをしなくても業務を開始できます。
PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium は、PaperStream Capture の機能を拡張した有償のアプリケーションです。ライセンス製品を購入して、アクティベートすると使用できます。機能の拡張によって、より詳細な仕分け機能を使用できるようになります。また、スキャン、画像確認などのクオリティーチェック（以降、QC）、インデックス処理の作業を端末ごとに分業できるマルチステーション運用に対応し、お客様の運用に合わせた使い方ができます。
PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium は、PaperStream AI と組み合わせることができます。 PaperStream AI は、クラウド環境上で画像内の文字情報をテキストデータとして自動認識し、文書の種類を識別したり、抽出する情報の選別などの処理を行うことができます。また、PaperStream Capture を使って効率化をはかるために必要な情報がダッシュボードに集約されています。 PaperStream AI はライセンスを購入して PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium のライセンスと連携させることで使用できます。
本製品は、画面タッチ数を削減する「One Click Capture」をコンセプトとしており、繰り返し行われる作業の効率化はもちろん操作ミスの防止に効果を発揮します。

- **PaperStream Capture 製品を使い分けるポイント**

PaperStream Capture では、業務用 イメージ スキャナーを利用して原稿を読み取るために、以下のアプリケーションを提供しています。
目的別で使用するアプリケーションや読み取り方法を使い分けることで、効率良く原稿の読み取りができます。

<table>
<tr><th>アプリケーション</th><th>追加機能</th></tr>
<tr><td colspan="2">PaperStream Capture

手軽に使える PaperStream Capture
● 毎回決まった条件で原稿を読み取りたい
● 読み取った画像を確認して編集もしたい
● 読み取った画像を指定の出力先へ保存したい
● キーワードでファイル名を整理したい
● 原稿にあるバーコードを検知して、ファイルを自動で分割したい（仕分け）</td></tr>
<tr><td>PaperStream Capture Pro

読み取ったデータの活用ができる PaperStream Capture Pro
PaperStream Capture の機能にプラスして、以下もやりたい。
● 手書き文字を AI-OCR で読み取って、検索できるデータにしたい
● 定型帳票を識別して自動で仕分けしたい（帳票レイアウト識別）
● 読み取った画像の一部をマスキングで隠して保存したい
● 読み取り、画像チェック、インデックス情報の確認、保存など、作業ごとに別の担当者が行いたい（マルチステーション）</td><td rowspan="2">PaperStream AI
組み合わせることで作業の効率化ができる PaperStream AI
PaperStream Capture Pro/PaperStream Capture Pro Premium の機能にプラスして、以下もやりたい。
● 定義設定せずに帳票を読み取りたい
● 非定型帳票を識別して自動仕分けしたい
➡ 非定型帳票とは
● OCR 結果の修正による AI 自動学習で読み取り効率を上げたい
評価目的で利用する場合は、第 4 章 PaperStream AI を評価する (48 ページ)を参照してください。</td></tr>
<tr><td>PaperStream Capture Pro Premium

より高機能な PaperStream Capture Pro Premium
PaperStream Capture Pro の機能にプラスして、以下もやりたい。</td></tr>
</table>

アプリケーション	追加機能
● ほかのツールで作成した画像を画質補正して取り込みたい ● ファイル名を使用して画像ファイルを自動で仕分けたい 評価目的で利用する場合は、第 3 章 PaperStream Capture Pro Premium を評価する (46 ページ)を参照してください。	

1.1 PaperStream Capture でできること

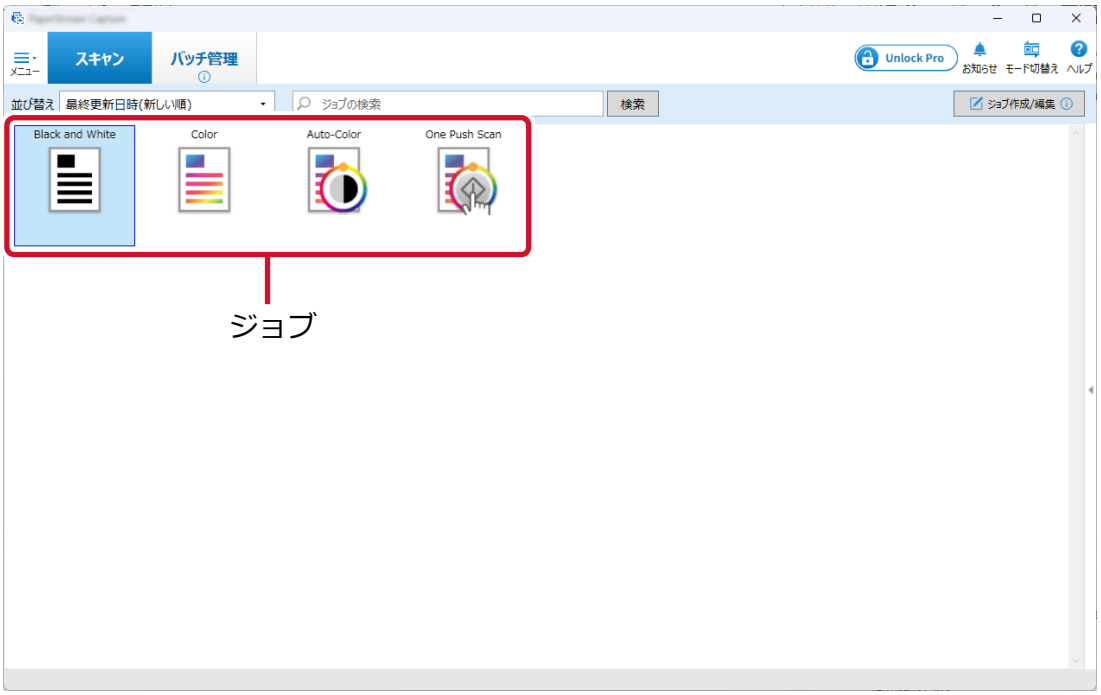
PaperStream Capture を使用してできることや機能の特長を説明します。

- **用途に合わせた読み取り方法**

  PaperStream Capture には、バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの 2 つの読み取り方法があります。
  読み取り方法は［モード切替え］ボタンで変更できます。

  バッチスキャンモード

  バッチスキャンモードは、読み取りのパターンが決まっていたり、マルチステーション運用で業務を分担したりなどの定型業務向けの読み取り方法です。
  読み取りの条件や出力の条件などを設定したジョブを事前に作成し、ジョブをワンクリックすれば読み取りが完了します。
  バッチスキャンモードは、以下のような画面で操作します。



  ジョブは「かんたん作成」または「こだわり作成」のどちらかの方法で作成できます。

かんたん作成

初めて PaperStream Capture を使用する方やスキャナーを使った読み取り操作に慣れていない方に適したモードです。
以下の読み取り方法から目的に合ったものを選び、画面に表示される手順に従って設定するだけで、迷わず簡単にジョブを作成できます。

- 画像として保存
- 仕分けして保存
- データを抽出し保存
- 定型帳票からデータを抽出し保存

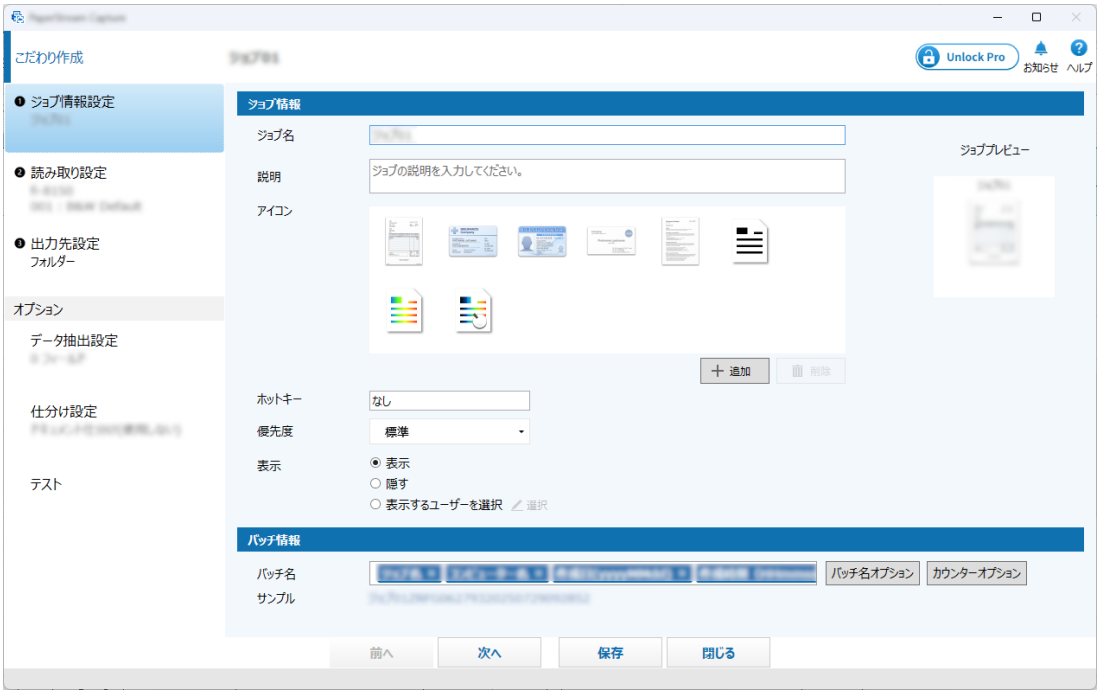
以下のような画面でジョブを作成します。



こだわり作成

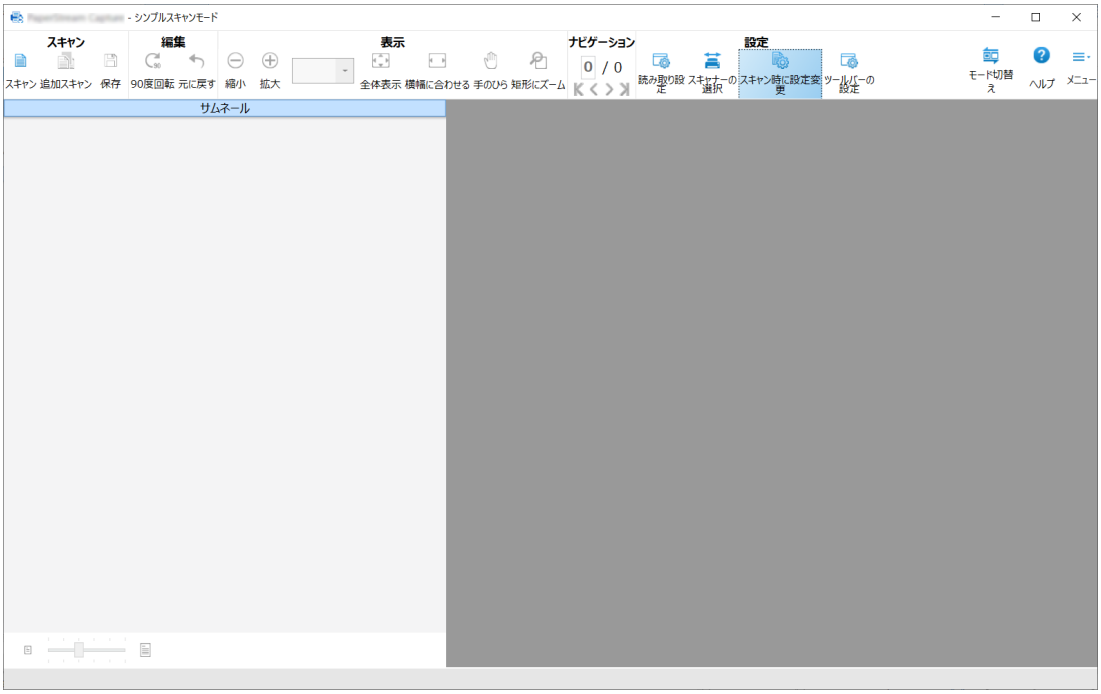
今まで PaperStream Capture を使用してきた方や詳細な読み取り条件を設定したい方に適したモードです。
従来のドキュメントプロファイル（PaperStream Capture 4.0 以降は「ジョブ」と呼びます）の作成方法です。
詳細な読み取り条件を PaperStream IP ドライバーで設定できるため、読み取りの目的や用途に合わせ、より高度な読み取り条件を設定できます。
PaperStream AI を使用するジョブの作成は、こだわり作成でだけ作成できます。
PaperStream Capture 4.0 より前のバージョンで作成したドキュメントプロファイル（ジョブ）をそのまま使用したり、変更したりできます。

以下のような画面でジョブを作成します。



シンプルスキャンモード

シンプルスキャンモードは、原稿ごとに読み取りの条件を変更するような、パターン化されていない業務向けの読み取り方法です。
ファイルの保存先、ファイル名、ファイルの保存形式などの設定を、必要に応じて変更して読み取りができます。
シンプルスキャンモードは、以下のような画面で操作します。



- **編集/保存の特長**
  - 読み取った画像のサムネールにマークを付けて、読み取った画像を簡単に選別できます。
  - 読み取った画像を編集し、名前を付けて保存したり、ファイル形式を指定して保存したりできます。
  - BMP、JPEG、TIFF、マルチページ TIFF、PDF、PDF/A、検索可能な PDF、PNG、リッチテキストといったファイル形式で、読み取った画像を出力できます。また、読み取った画像を Word 文書、Excel 文書、または PowerPoint 文書のファイル形式に変換して出力することもできます。

- **便利な機能**
  - PaperStream AI を導入することで、取引先や仕入れ先ごとに形式が異なる注文書や請求書、領収書をスキャナーで読み取ると、 その画像から取引先名や日付、金額などの情報を認識できます。事前に学習させることで、運用時の認識精度を向上させることができます。また、手動で作成していた定型帳票のレイアウト定義を自動作成できます。
    PaperStream AI は、PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium がクラウド AI と連携できるようにする有償サービスです。PaperStream AI のライセンスを購入することで使用できます。
  - 複数のジョブをグループ単位で表示できます。
    ジョブを読み取りの目的や用途ごとのグループに分けて表示することで、ジョブの管理や運用を効率化できます。
  - FTP サーバー、SharePoint、または SharePoint Online と連携すれば、読み取った画像を指定したサーバーに自動的に格納できます。
    出力した画像ファイルをメール送信したり、指定したプリンターで印刷したりできます。
  - 仕分けの機能を使用すれば、指定した条件でページが仕分けされ、異なるファイルに保存できます。また、申請書やアンケートなどの定型帳票のレイアウトを識別して、帳票の種類ごとにファイルを分けて保存することもできます。
  - 読み取った画像から、バーコードを認識したり、ゾーン OCR による文字認識をしたりできます。
    どちらも認識結果をインデックス情報ファイルに出力したり、ファイル名やフォルダー名に設定したりできます。
    また、申請書やアンケートなどの定型帳票を事前に PaperStream Capture に登録しておけば、種類の異なる帳票をまとめて読み取った場合でも、各帳票のレイアウトに応じた文字の認識ができます。
  - 個人情報（機微情報）などを隠したい場合に、事前に対象エリアを設定しておくことで、読み取った画像の一部を黒塗りまたは白塗りにマスキングして出力できます。
    また、画像を確認/編集する画面で手動でマスキングして、出力することもできます。
  - 出力した画像ファイルやインデックス情報ファイルをパラメーターとして、指定したアプリケーションを呼び出せます。
  - 「運用環境の移出」ツールおよび「運用環境の移入」ツールを使用すれば、現在使用しているコンピューター内の PaperStream Capture の運用環境を移出し、ほかのコンピューター内の PaperStream Capture に移入できます。
    複数台のコンピューターに同じ環境を構築する場合は、移出した運用環境を各コンピューターに移入するだけで環境が構築できるので、1 台ごとに細かな設定をする必要がありません。
  - 読み取りしたあとの編集操作から、ジョブの設定で自動化できる作業を判断し、設定の改善ポイントをお知らせします。

「お知らせ」画面に表示された改善ポイントに従って、該当するジョブの設定を見直すことで、読み取りしたあとの編集作業の効率を改善できます。

- **アクセシビリティーに配慮した操作性**

  画像を確認/編集する画面や画像を出力する画面などで、音声読み上げソフトを利用できます。また、キーボードだけで操作することもでき、アクセシビリティーに配慮した操作性を実現しています。

- **他社製スキャナーの使用**

  PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium の場合に、TWAIN ドライバーに対応した他社製のスキャナーを使用できます。
  なお、一部使用できる機能に制限があります。

  ➡ 機能一覧 (26 ページ)
  Windows の設定からの読み取りはサポートしていません。
  他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用した場合の PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の動作は保証しません。

1.2 PaperStream Capture と PaperStream Capture Pro / PaperStream Capture Pro Premium の違い

PaperStream Capture は、毎回決まった条件で原稿を読み取りたい業務での利用に適しています。また、原稿の定位置に印字されたバーコードや文字の情報を抽出して、保存する画像ファイル名にして保存したり、画像ファイルを自動で仕分けたりすることができ、効率的にデータを整理できます。
PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium は有償ソフトウェアです。
PaperStream Capture の機能に加え、読み取り作業や確認作業などをチーム内で分担可能にするマルチステーション機能の使用や、より高度なデータ抽出が可能です。

➡ 機能一覧 (26 ページ)

1.3 PaperStream Capture Pro / PaperStream Capture Pro Premium の機能

ここでは、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium にアクティベートした場合の機能について説明します。

1.3.1 抽出データの活用

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、フィールドに設定できるフィールド種別が追加されるため、抽出データを活用した高度な運用ができます。

➡ 14.40 抽出データの高度な設定 (211 ページ)

1.3.2 マルチステーション運用の特長

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium ではストレージサーバーを使用したマルチステーション運用ができます。

マルチステーション運用では、1 つの読み取り処理に関するワークフロー（スキャン、QC、インデックス処理）を異なる端末で分けて作業できるため、チーム内で作業を分担でき、効率的な文書処理を可能にします。

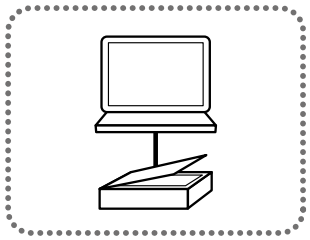
➡ 7.2 マルチステーション運用の設定 (62 ページ)

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の基本的な操作の流れと運用例は、以下のとおりです。

1 環境設定

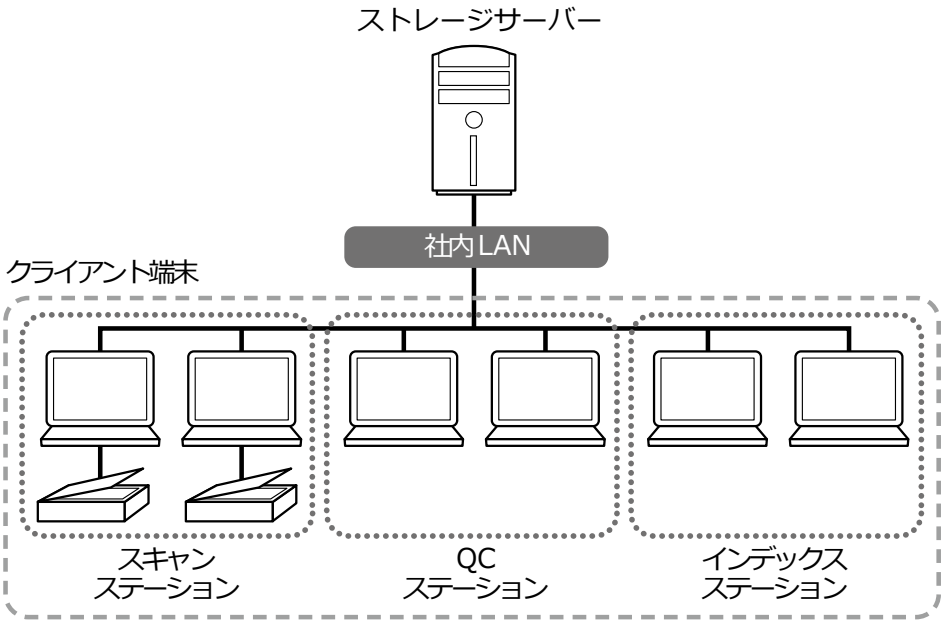
用途に応じたステーション運用ができます。

- シングルステーション運用の例



スキャン& インデックス

- ストレージサーバーを使用したマルチステーション運用の例



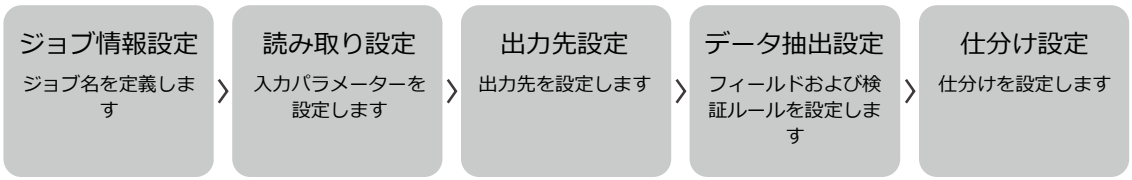
ストレージサーバーでは、ジョブや読み取った画像を含むバッチの管理をします。

クライアント端末のステーションは、「スキャン&インデックス」、「スキャン」、「QC」、「インデックス」の 4 種類から選択できます。

なお、「スキャン」、「QC」、「インデックス」は、組み合わせて 1 つのステーションとして設定もできます。

2 定義

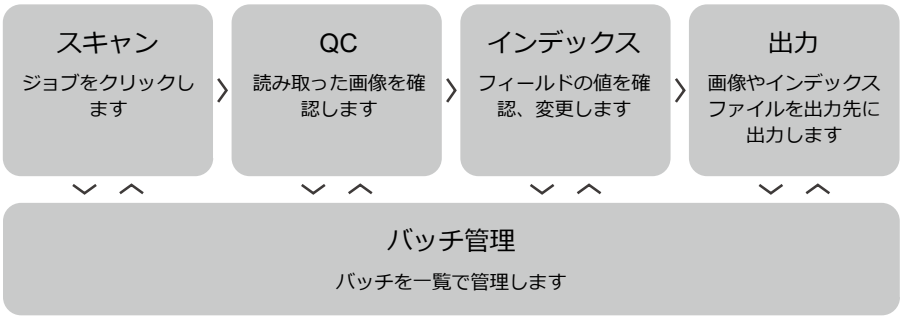
バッチスキャンモード用のジョブを作成します。



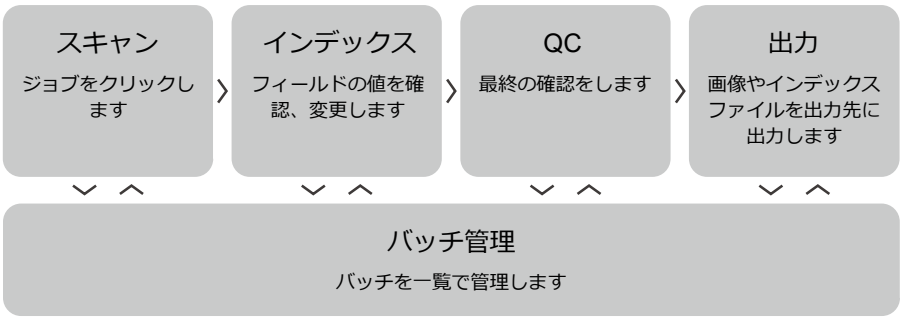
3 運用

原稿を読み取りしたあと、画像のチェックと編集、およびインデックス処理を行い、画像やインデックスファイルを出力します。
また、バッチも各工程で管理できます。
以下は、運用の例です。

例 1



例 2

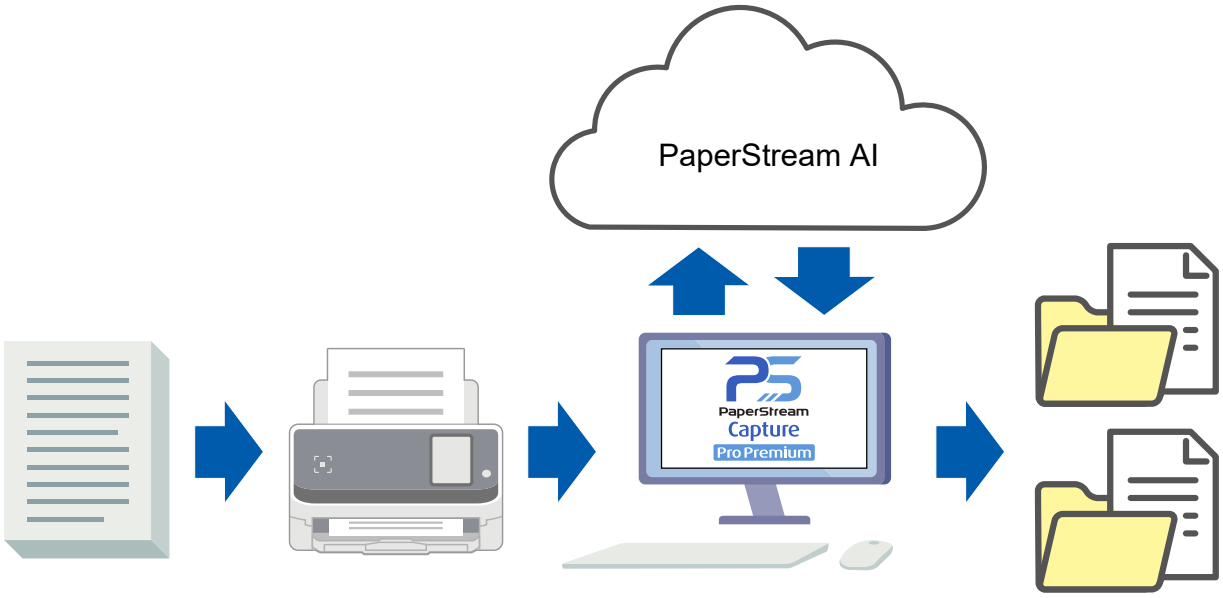


1.4 PaperStream AI を組み合わせる

PaperStream AI は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium と組み合わせて、以下が行えます。

- 非定型帳票の読み取り
  注文書や請求書など、原稿全体のおおまかな構成や項目は共通しているものの、項目の位置や表現が帳票ごとに異なる非定型帳票を、AI が解析して読み取れます。
  ジョブ作成時に行う帳票の設定も、AI が文字の項目名や抽出範囲の付与を自動で行うため、簡単です。

事前に学習させることで、運用時の認識精度を向上させることができます。



- 帳票定義設定なしでの読み取り



（「PaperStream AI」ジョブ）をクリックするだけで、AI が帳票の種類を識別し、文字の抽出や項目名の付与を自動で行ってインデックス情報を作成します。

- ダッシュボードでの利用状況の管理
  読み取りにかかった全体所要時間やバッチごとの修正率、接続しているスキャナーの状態など、業務の効率化をはかるために管理者に必要な情報が集約されています。
  ライセンス管理やユーザー管理もできます。

PaperStream AI では、サービス品質および認識精度の向上を目的として、継続的にバージョンアップしています。そのため、同じ原稿を読み取った場合でも、OCR の認識結果が従来と異なる場合があります。
認識結果に差異が生じた場合は、AI プロンプトの内容を調整し、目的に応じた認識結果となるよう設定してください。

1.5 PaperStream Capture / PaperStream Capture Pro / PaperStream Capture Pro Premium の仕様

PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、および PaperStream Capture Pro Premium の主な機能と動作環境を示します。

- **機能一覧**

機能			PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro	PaperStream Capture Pro Premium	他社製スキャナー利用時
読み取り	スキャナー	業務用 イメージ スキャナー	https://www.pfu.ricoh.com/fi/software/paperstream-capture/environment.html	https://www.pfu.ricoh.com/fi/software/capture-pro/price.html#anc-01		-
		他社製スキャナー（*1）	-	A4/レターサイズ以下の読み取りが可能な TWAIN ドライバー対応のスキャナー/複合機	TWAIN ドライバー対応のスキャナー/複合機	
		PaperStream IP Import	-	-	○	○（*2）
		File Import	-	○（*7）	○	○（*2）
	スキャナードライバー		PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (ISIS)	PaperStream IP (TWAIN) 他社製スキャナーの TWAIN ドライバー	PaperStream IP (TWAIN) 他社製スキャナーの TWAIN ドライバー	他社製スキャナーの TWAIN ドライバー
	読み取り方法	バッチスキャンモード	○	○	○	○
		アドホックスキャン	○	○	○	-
		シンプルスキャンモード	○	○	○	-
帳票登録	登録可能な帳票の数		1000 帳票	1000 帳票 (*3)	1000 帳票 (*3)	1000 帳票
画像品質	画像チェック	重送	○	○	○	-
		折れ、破れ	○	○	○	-

機能			PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro	PaperStream Capture Pro Premium	他社製スキャナー利用時
		白紙	○	○	○	-
		原稿識別精度（ドライバー）	○	○	○	-
	画像補正	アシストスキャン機能	○	○	○	-
		画像補正（ASC）機能	-	○	○	-
仕分け	仕分け方法	ドキュメント仕分け	○	○	○	○
		バッチ仕分け	-	○	○	○
	仕分けの種類	バーコード / 2 次元コード	○	○	○	○
		白紙	○	○	○	-
		ページ数	○	○	○	○
		ゾーン OCR	○	○	○	○
		重送	-	○	○	-
		パッチコード	○	○	○	-
		Ctrl 押下	○	○	○	○
		帳票識別	○	○	○	○
		原稿識別（ドライバー）	○	○	○	-
		ファイル名	-	-	○	-
データ抽出	データ抽出方法	ページ単位	○	○	○	○
		ドキュメント単位	-	○	○	○
		帳票単位	○	○	○	○
	文字認識（OCR）対応言語	文字認識（活字）	28 言語（*4）			
		文字認識（手書き文字）（*6）	-	6 言語（*5）		
データ抽出	データ抽出の種類	バーコード/2 次元コード	○	○	○	○

機能			PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro	PaperStream Capture Pro Premium	他社製スキャナー利用時
（ドキュメント単位、ページ単位）		ゾーン OCR	○（活字）	○（活字）	○（活字）	○（活字）
		パスポート	○	○	○	○
		ID カード (TD1)	○	○	○	○
		ID カード (TD2)	○	○	○	○
		直接入力	-	○	○	○
		システム値	-	○	○	○
		リストから選択	-	○	○	○
		DB オートフィル	-	○	○	○
		フィールドの組み合わせ	-	○	○	○
		バーコードの分割値	-	○	○	○
		JSON 解析値	-	○	○	○
	フィールド属性	必須	-	○	○	○
		読み取り専用	-	○	○	○
		継続	-	○	○	○
		DB ルックアップ	-	○	○	○
	フィールドルール		-	○	○	○
	設定可能なデータ抽出のフィールド数		合計 20 個	合計 100 個	合計 100 個	合計 100 個
データ抽出（帳票単位-ローカル）	データ抽出の種類	バーコード/2 次元コード	○	○	○	○
		ゾーン OCR	○（活字）	○（活字/手書き文字）	○（活字/手書き文字）	○（活字/手書き文字）
		チェックマーク	-	○	○	○
		直接入力	-	○	○	○

機能			PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro	PaperStream Capture Pro Premium	他社製スキャナー利用時
		リストから選択	-	○	○	○
	フィールド属性	必須	-	○	○	○
		読み取り専用	-	○	○	○
	フィールドルール		-	○	○	○
	マスキング		-	○	○	○
	認識結果の形式変換		-	○（日付）	○（日付）	○（日付）
	設定可能なデータ抽出のフィールド数（1 帳票あたり）		合計 1 個	合計 100 個	合計 100 個	合計 100 個
	利用可能な帳票の数（1 ジョブあたり）		かんたん作成：1 帳票 こだわり作成：150 帳票			
データ抽出（帳票単位-クラウド）(*7)	データ抽出の種類	バーコード/2 次元コード	-	-	-	-
		ゾーン OCR	-	○（活字/手書き文字）	○（活字/手書き文字）	○（活字/手書き文字）
		チェックマーク	-	-	-	-
		直接入力	-	-	-	-
		リストから選択	-	-	-	-
	フィールド属性	必須	-	○	○	○
		読み取り専用	-	○	○	○
	フィールドルール		-	○	○	○
	マスキング		-	-	-	-
	認識結果の形式変換		-	○（日付）	○（日付）	○（日付）
	設定可能なデータ抽出のフィールド数（1 帳票あたり）		-	タイプ「クラウド」合計 100 個 タイプ「クラウド」配下の「ローカル」合計 100 個 タイプ「-」配下の「ローカル」合計 150 個		
	利用可能な帳票の数（1 ジョブあたり）		150 帳票			

機能			PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro	PaperStream Capture Pro Premium	他社製スキャナー利用時
ファイルの出力	ファイルの出力先	フォルダー	○	○	○	○
		ネットワークフォルダー	○	○	○	○
		SharePoint	○	○	○	○
		SharePoint Online	○	○	○	○
		FTP/SFTP	○	○	○	○
		メール	○	○	○	○
		プリンター	○	○	○	○
		他アプリケーション	○	○	○	○
		Microsoft OneDrive (*8)	○	○	○	○
		Dropbox（*8）	○	○	○	○
		Google ドライブ（*8）	○	○	○	○
		メール送信（基本認証）（*8）	○	○	○	○
		メール送信（Exchange Online）（*8）	○	○	○	○
		FAX（基本認証）（*8）	○	○	○	○
		FAX（Exchange Online）（*8）	○	○	○	○
		Box（*9）	-	○	○	○
		DocuWare (*10)	-	○	○	○
		Laserfiche (*11)	-	○	○	○

機能			PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro	PaperStream Capture Pro Premium	他社製スキャナー利用時
	ファイル形式	Bitmap	○	○	○	○
		TIFF	○	○	○	○
		Multi-TIFF	○	○	○	○
		JPEG	○	○	○	○
		JPEG2000	○	○	○	○
		PDF	○	○	○	○
		PDF/A	○	○	○	○
		検索可能な PDF	○	○	○	○
		PNG	○	○	○	○
		リッチテキスト	○	○	○	○
		Word	○	○	○	○
		Excel	○	○	○	○
		PowerPoint	○	○	○	○
	インデックス情報ファイル形式	Unicode テキスト	○	○	○	○
		CSV	○	○	○	○
		XML	○	○	○	○
その他	マルチステーション機能		-	○	○	○
	PaperStream AI（*7）		-	○	○	-
	運用環境の移出/移入		○	○	○	○
	インプリンタとの連携		○	○	○	-
	メール添付されたファイルの取り込み（*12）		-	○	○	○

○　設定可能

ー　設定不可

***1：** PaperStream Capture Pro の場合、スキャナーの選択画面には他社製スキャナーも表示されます。

***2：** PaperStream Capture Pro Premium の場合に使用できます。

***3 :** PaperStream AI の場合、クラウド（非定型帳票）は 1000 帳票、ローカル（定型帳票）は 1000 帳票登録できます。

***4 :** 対象の言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / 中国語（簡体字） / 中国語（繁体字） / ロシア語 / 韓国語 / トルコ語 / ギリシャ語 / ベトナム語 / ポルトガル語 / アラビア語 / スウェーデン語 / オランダ語 / ポーランド語 / チェコ語 / ルーマニア語 / ヘブライ語 / ウクライナ語 / タイ語 / インドネシア語/デンマーク語/ノルウェー語/ハンガリー語/フィンランド語です。

***5 :** 対象の言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語です。

***6 :** データの抽出方法が帳票単位の場合に手書き文字を認識できます。

- ブロック体の手書き文字を認識します。
- 手書き文字の認識は、32 ビットオペレーティングシステムでは非対応です。
- PaperStream Capture から PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium に変更した場合、別途、PaperStream Capture Pro AI-OCR のインストールが必要です。

***7 :** 別途、 PaperStream AI のライセンスの購入が必要です。

***8 :** 別途、PaperStream Connector Option のインストールが必要です。

***9 :** 別途、PaperStream Capture Pro Box Connector のインストールが必要です。

***10 :** 別途、PaperStream Capture Pro DocuWare Connector のインストールが必要です。

***11 :** 別途、PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche のインストールが必要です。

***12 :** 別途、Outlook にアドインのインストールが必要です。

- **動作環境**
  - PaperStream Capture

オペレーティングシステム (*1)	Windows® 10 Home（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 10 Pro（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 10 Enterprise（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 10 Education（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 11 Home（64 ビット）(*2) Windows® 11 Pro（64 ビット）(*2) Windows® 11 Enterprise（64 ビット）(*2) Windows® 11 Education（64 ビット）(*2) Windows® 11 Home（ARM 版）(*2)(*3) Windows® 11 Pro（ARM 版）(*2)(*3) Windows® 11 Enterprise（ARM 版）(*2)(*3) Windows® 11 Education（ARM 版）(*2)(*3) Windows® 11 Pro Education（ARM 版）(*2)(*3) Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）(*2) Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）(*2)

	Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）（*2） Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）（*2）
対応ドライバー（*4）	PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (ISIS)
ソフトウェア	.NET Framework 4.7.2 以降
CPU	Intel®または Intel®互換プロセッサー
ディスプレイ解像度（*5）	1280×800 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ
ディスク容量	10GB 以上（*6）
言語（*7）（*8）	日本語/英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/中国語（簡体字）/中国語（繁体字）/ロシア語/韓国語/ポルトガル語（ブラジル）/アラビア語/トルコ語/ギリシャ語/ベトナム語/ポーランド語/チェコ語/オランダ語/スウェーデン語/ルーマニア語/ヘブライ語/ウクライナ語/タイ語/インドネシア語/デンマーク語/ノルウェー語/ハンガリー語/フィンランド語

***1：**64 ビットオペレーティングシステムについては、64 ビットオペレーティングシステム上で動作する 32 ビットアプリケーションとしてサポートします。

***2：**デスクトップアプリケーションとして動作します。

***3：**対象機種のスキャナーで、ARM 版対応の PaperStream IP (TWAIN/32bit 版)利用時のみサポートします。
https://www.pfu.ricoh.com/fi/software/paperstream-capture/environment.html

***4：**PaperStream IP (TWAIN x64) は使用できません。

***5：**フォントサイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォントサイズを小さくして使用してください。

***6：**原稿を読み取るときには、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

***7：**以下の言語は、ゾーン OCR および検索可能な PDF による文字認識だけできます。

- ギリシャ語
- ベトナム語
- ポーランド語
- チェコ語
- オランダ語
- スウェーデン語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語

- デンマーク語
- ノルウェー語
- ハンガリー語
- フィンランド語

***8 :** バッチスキャンモードの場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択しているときは、認識する文字の言語として、以下は指定できません。

- ギリシャ語
- ベトナム語
- ポーランド語
- チェコ語
- オランダ語
- スウェーデン語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語
- デンマーク語
- ノルウェー語
- ハンガリー語
- フィンランド語

- PaperStream Capture Pro/PaperStream Capture Pro Premium

オペレーティングシステム (*1)	Windows® 10 Home（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 10 Pro（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 10 Enterprise（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 10 Education（32 / 64 ビット）(*2) Windows® 11 Home（64 ビット）(*2) Windows® 11 Pro（64 ビット）(*2) Windows® 11 Enterprise（64 ビット）(*2) Windows® 11 Education（64 ビット）(*2) Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）(*2) Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）(*2) Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）(*2) Windows Server® 2025 Standard（64 ビット）(*2)

対応ドライバー	PaperStream IP (TWAIN)
ソフトウェア	.NET Framework 4.7.2 以降 Microsoft® Internet Information Service 10.0 以降
CPU	Intel®または Intel®互換プロセッサー
ディスプレイ解像度（*3）	1280×800 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ
ディスク容量	10GB 以上（*4）
言語 (*5) (*6) (*7) (*8) (*9)	日本語/英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/中国語（簡体字）/中国語（繁体字）/ロシア語/韓国語/ポルトガル語（ブラジル）/アラビア語/トルコ語/ギリシャ語/ベトナム語/ポーランド語/チェコ語/オランダ語/スウェーデン語/ルーマニア語/ヘブライ語/ウクライナ語/タイ語/インドネシア語/デンマーク語/ノルウェー語/ハンガリー語/フィンランド語
最大接続数（推奨）	マルチステーション運用でのクライアント端末の接続数は、最大 7 台を推奨します（接続例：スキャン端末 3 台、QC 端末 2 台、インデックス端末 2 台）。

***1 :** 64 ビットオペレーティングシステムについては、64 ビットオペレーティングシステム上で動作する 32 ビットアプリケーションとしてサポートします。

***2 :** デスクトップアプリケーションとして動作します。

***3 :** フォントサイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォントサイズを小さくして使用してください。

***4 :** 原稿を読み取るときには、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

***5 :** 以下の言語は、ゾーン OCR および検索可能な PDF による文字認識だけできます。

- ギリシャ語
- ベトナム語
- ポーランド語
- チェコ語
- オランダ語
- スウェーデン語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語
- デンマーク語
- ノルウェー語

- ハンガリー語
- フィンランド語

***6 :** バッチスキャンモードの場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択しているときは、認識する文字の言語として、以下は指定できません。

- ギリシャ語
- ベトナム語
- ポーランド語
- チェコ語
- オランダ語
- スウェーデン語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語
- デンマーク語
- ノルウェー語
- ハンガリー語
- フィンランド語

***7 :** 以下の言語は、ブロック体の手書き文字を認識できます。
ただし、32 ビットオペレーティングシステムの場合は、非対応です。

- 日本語
- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語

***8 :** 以下の言語（手書き）は、PaperStream Capture Pro AI-OCR オプションで認識できます。

- 日本語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- スペイン語

***9 :** 以下の言語は、PaperStream AI で認識できます。

- 日本語
- 英語

1.6 旧バージョンからの変更点

- **PaperStream Capture 6.2**

指定したフォルダーにある画像の定期的な自動取り込みに対応

PaperStream AI ライセンスが有効な PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium では、指定したフォルダーを監視し、File Import および PaperStream IP Import で画像を定期的に取り込めるようになりました。

➡ 14.29.3 指定したフォルダー内の画像を定期的に取り込む (197 ページ)

非管理ユーザーによる運用環境の移入に対応

運用環境の移入には管理者権限が必要ですが、管理者権限がなくても移入できるようになりました。

➡ 16.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する (217 ページ)

移出元と移入先の言語環境が異なる場合の移入に対応

移出元と移入先の言語環境が異なっていても、PaperStream Capture 6.2 以降で作成したジョブの小数点、日付形式等、環境依存の設定が移入先の環境に自動変換され、移入できるようになりました。

➡ 第 37 章 「運用環境の移入」画面 (470 ページ)

ページ数が多い場合のデータ抽出時の設定を改善

File Import の場合、複数ページ（10 ページ以下）のドキュメントを認識する際、ドキュメント内の各ページを個別に認識し、認識結果を統合することで認識精度が改善しました。

➡ 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)
また、複数ページの原稿を認識する際に、指定したページ範囲のデータ抽出だけを行えるようになりました。

➡ 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)

1 つのジョブで帳票種ごとの出力先設定に対応

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、こだわり作成時、1 つのジョブで帳票種ごとに出力先を設定できるようになりました。

➡ 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)

認識したフィールド値を加工して出力できるようになりました

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、認識したフィールド値に対して文字列の置換や文字の切出し、文字数の調整など、実際に認識した値を加工して出力できるようになりました。

➡ 19.5.15 「加工フィールド追加」画面／「加工フィールド編集」画面 (310 ページ)

- **PaperStream Capture 6.1**

  読み取った画像のトリミングに対応

  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、「QC」画面および「インデックス」画面で画像をトリミングできるようになりました。

  ➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

  ➡ 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)

  JPEG2000 形式の画質の設定に対応

  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、読み取り形式を JPEG2000 にした場合に、画質の設定ができるようになりました。

  ➡ 38.2.4 「JPEG2000 オプション」画面 (493 ページ)

- **PaperStream Capture 6.0**

  PaperStream AI（有償）を提供

  新しく PaperStream AI を提供します。PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium と組み合わせて使用できます。
  PaperStream AI によって非定型帳票を読み取れるようになりました。
  PaperStream AI を導入することで、取引先や仕入れ先ごとに形式が異なる注文書や請求書、領収書をスキャナーで読み取ると、 その画像から取引先名や日付、金額などの情報を認識できます。事前に学習させることで、運用時の認識精度を向上させることができます。また、手動で作成していた定型帳票のレイアウト定義を自動作成できます。
  PaperStream AI は、PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium がクラウド AI と連携できるようにする有償サービスです。PaperStream AI のライセンスを購入することで使用できます。

  ➡ 1.4 PaperStream AI を組み合わせる (24 ページ)

  ➡ 第 4 章 PaperStream AI を評価する (48 ページ)

  画面表示の改善

  「ジョブ作成/編集」画面の 「データ抽出設定」タブおよび「仕分け設定」タブの帳票登録に関する表示を改善しました。
  「QC」画面の表示を改善しました。フィールドのステータスごとに絞り込み表示できるようになりました。

  ➡ 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)

  ➡ 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)

  ➡ 第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)

  重送の後ろで分割する仕分け設定を追加

  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、重送（封筒など）を検出してページを分割する仕分け機能に、重送のうしろで分割できる設定が追加されました。

  ➡ 14.33 重送（封筒など）を使用して画像ファイルを自動で仕分ける (202 ページ)

➡ 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)

フィールドルール拡張プログラムに対応

「フィールド定義」画面のフィールドルールで設定できること以外にフィールドルールを設定したい場合は、[値検証 DLL の選択] ボタンで値検証用の DLL ファイルを読み込めるようになりました。

➡ 19.6.7 「フィールド定義」画面 (348 ページ)

インデックスファイルのヘッダー名の指定に対応

「インデックス一覧オプション」画面の設定により、「データ抽出設定」タブでインデックスファイルのヘッダー名を指定できるようになりました。

➡ 19.5.13 「インデックス一覧オプション」画面 (306 ページ)

➡ 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)

メール添付ファイルの取り込みに対応

Outlook のアドインを提供します。
PaperStream AI で、メールに添付された画像ファイルを取り込めるようになりました。

➡ 14.29.2 メールに添付されたファイルを取り込む (197 ページ)

アクティベートしたライセンスコードのコピーに対応

「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「アクティベーション」タブでライセンスコードがコピーできるようになりました。

➡ 20.5 「アクティベーション」タブ (411 ページ)

第 2 章
PaperStream Capture をインストールする

PaperStream Capture は、1 台のコンピューターにインストールできます。1 台のスキャナーを複数のコンピューターで利用する場合は、ソフトウェアライセンスの購入が必要です。

2.1 Setup DVD-ROM からインストールする

インストール後のソフトウェアが最新でない場合は、Web サイトからセットアッププログラムをダウンロードしてインストールしてください。手順は、2.2 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする (41 ページ)を参照してください。

1 **コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。**

2 **Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。**
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

> **ヒント**
> - 「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

3 **使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。**

4 **［おすすめインストール］ボタンをクリックします。**



5 **表示される画面の指示に従ってインストールします。**

> **ヒント**
> - おすすめインストールでは、次のソフトウェアがインストールされます。
> - PaperStream IP (TWAIN)
> - Network Setup Tool for fi Series
> - Software Operation Panel

- Error Recovery Guide
- PaperStream ClickScan
- PaperStream Capture
- マニュアル
- fi Series Online Update

なお、Network Setup Tool for fi Series は、機種によってはインストールされません。

2.2 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする

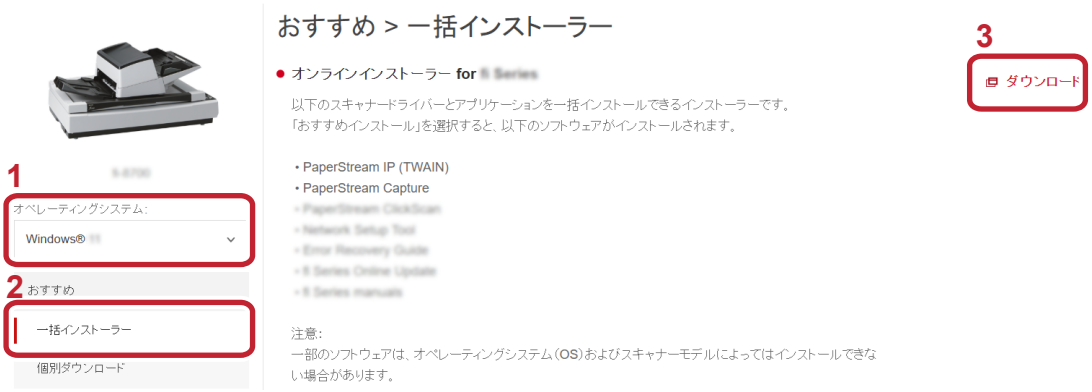
1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログオンします。

2 ダウンロードサイトに接続します。
https://www.pfu.ricoh.com/fisp/dl/

3 お使いのスキャナー画像を選択します。
「カテゴリーを選択」で表示を絞り込むことができます。



4 お使いのオペレーティングシステムが選択されていることを確認し、「おすすめ」→「一括インストーラー」で「ダウンロード」をクリックします。



「一括インストーラー」が表示されない場合は「おすすめ」→「個別ダウンロード」で以下の「ダウンロード」をそれぞれクリックします。

- PaperStream IP(TWAIN)
- PaperStream Capture



5 以下の画面が表示された場合は、「オンラインインストーラー」をクリックし、画面の表示に従ってダウンロードを行ってください。

表示されない場合は、次の手順へ進んでください。



6 ダウンロードしたインストーラー（.exe）をダブルクリックして実行します。

画面の表示に従って、インストールを進めてください。

コンピューターを再起動するメッセージが表示された場合は、コンピューターを再起動してください。
「個別ダウンロード」の場合は、PaperStream IP→PaperStream Capture の順番でインストールしてください。

2.3 PaperStream Capture を使うコンピューターを変更する

コンピューターを買い替えた場合、前と同じ環境で PaperStream Capture を使用するには、使用していたコンピューターの運用環境を移出して、買い替えたコンピューターに運用環境を移入します。
移出/移入できる運用環境の詳細については、第 16 章 運用環境を移出/移入する (216 ページ)を参照してください。

重要

- 移入先コンピューターの PaperStream Capture および PaperStream IP のバージョンは、移出元と同じ版数以降にしてください。

1 使用しているコンピューターから運用環境を移出します。

➡ 16.1 運用環境を移出する (216 ページ)

2 買い替えたコンピューターに PaperStream IP ドライバーおよび PaperStream Capture をインストールします。

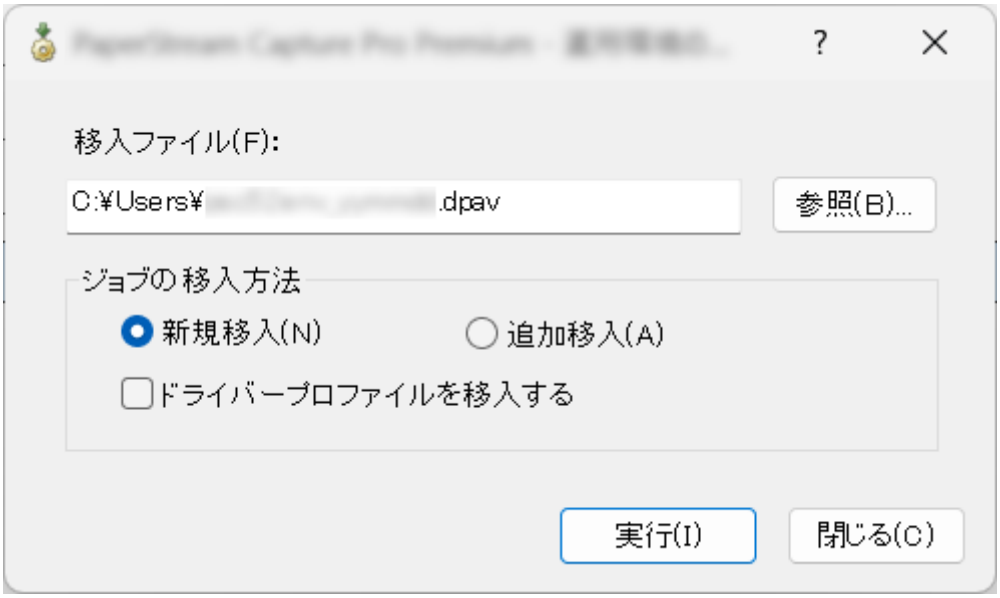
➡ 第 2 章 PaperStream Capture をインストールする (40 ページ)

3 「運用環境の移入」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。
- Windows 11 / Windows Server 2025
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。

4 移入するファイルを指定します。

［参照］ボタンをクリックして、手順 1 で移出したファイル（.dpav（旧形式の場合は.cab））または ScandAll PRO で移出したファイル（.cab）を指定してください。



5 運用環境の移入方法を選択します。

移入方法には以下の種類があります。

- 新規移入

  PaperStream Capture に現在登録されている運用環境のうち、サンプルジョブ以外をすべて削除し、移入ファイル内の運用環境に置き換えます。

  「管理ツール」画面の設定の移入については、「管理ツール」画面の設定の移入可否 (219 ページ)を参照してください。

  選択すると、「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスが表示されます。

  こだわり作成のジョブに関連付けられているドライバープロファイルも移入する場合は、チェックを付けてください。

  - 新しいコンピューターに移入する場合

    「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスにチェックを付けてください。

    チェックを外すと、ドライバープロファイルが移入されないため、こだわり作成のジョブが正常に動作しないことがあります。

  - PaperStream Capture を運用中で、すでにドライバープロファイルが登録されているコンピューターに移入する場合

    - 「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスにチェックを付けると、運用中のドライバープロファイルをすべて削除し、移入ファイル内のドライバープロファイルに置き換えます。
    - 削除せずに残しておきたいドライバープロファイルがある場合は、チェックを外してください。

      チェックを外して移入すると、こだわり作成のジョブには移出元のドライバープロファイルと同じ番号のドライバープロファイルが関連付けられるため、こだわり作成のジョブが正常に動作しないことがあります。

      移出元と移入先でドライバープロファイルの設定が異なる場合は、以下の手順でドライバープロファイルを設定してください。

a 「読み取り設定」タブの［詳細設定］ボタンをクリックして、移出元と同じ設定のドライバープロファイルを新規作成します。

b 「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で、新規作成したドライバープロファイルを選択して、ジョブを保存します。

- 追加移入
  移入ファイル内の以下の運用環境を、PaperStream Capture に追加します。
  - ジョブ
  - 帳票リストでチェックが付いている帳票、およびフィールドが定義されている帳票
  - ジョブのグループ設定
  -「管理ツール」画面の設定
    詳細は、「管理ツール」画面の設定の移入可否 (219 ページ)を参照してください。

  この場合、ドライバープロファイルは移入されません。こだわり作成のジョブで使用するドライバープロファイルを新規に作成してください。

6 **［実行］ボタンをクリックします。**

移入処理完了のメッセージが表示されます。

7 **［OK］ボタンをクリックします。**

買い替えたコンピューターに運用環境が移入されました。買い替えたコンピューターで PaperStream Capture を使用できます。

8 **移出元のコンピューターの運用環境を削除します。**

第 3 章
PaperStream Capture Pro Premium を評価する

PaperStream Capture では、PaperStream Capture Pro Premium の機能を体験し、評価できます。
評価期間は 60 日、バッチ数は 200 です。
評価できるのは、1 つの端末につき 1 度だけです。
以下の場合、評価は終了します。

- 評価期間の期日に達した
- バッチ数の上限に達した
- 管理ツールの「アクティベーション」タブで［ディアクティベート］ボタンをクリックした

PaperStream Capture Pro Premium の機能を評価する方法は、以下のとおりです。

1 メニューの から「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブが表示されます。

2 「アクティベーション」タブを選択します。

3 ［評価］ボタンをクリックします。

評価版の申し込みフォームがブラウザーに表示されます。

4 評価版の申し込みフォームで評価用のライセンスコードを申し込みます。

評価用のライセンスコードがメールで送付されます。

5 メニューの から「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブが表示されます。

6 「アクティベーション」タブを選択します。

7 ［アクティベート］ボタンをクリックします。

ライセンスコード入力画面が表示されます。

8 ライセンスコードを入力します。

メールで受け取ったライセンスコードを参照してください。

9 [アクティベーション] ボタンをクリックします。

ライセンスがアクティベートされます。
PaperStream Capture を再起動すると、PaperStream Capture Pro Premium の評価が開始します。
また、アイコントレイから、評価残日数がメッセージで通知されます。

PaperStream Capture から PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium に変更した場合、帳票に記入された手書き文字を認識するには、PaperStream Capture Pro AI-OCR をインストールする必要があります。

重要

- 評価期間中に PaperStream Capture Pro Premium の固有の機能を利用して作成したジョブを、評価完了後、PaperStream Capture で編集すると、PaperStream Capture Pro Premium の固有の機能が失われます。

第 4 章
PaperStream AI を評価する

PaperStream Capture では、PaperStream AI の機能を体験し、評価できます。
評価期間は 60 日、読み取り原稿ページ数は 500 ページです。
評価できるのは、1 つの端末につき 1 度だけです。
以下の場合、評価は終了します。

- 評価期間の期日に達した
- 読み取りページ数の上限に達した
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium と PaperStream AI を同時に購入し、管理ツールの「アクティベーション」タブで［ディアクティベート］ボタンをクリックした
- アクティベート済みの PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスと、PaperStream AI のライセンスを連携した

1 PaperStream Capture のメイン画面で、 

または



をクリックします。

評価版の申し込みフォームがブラウザーに表示されます。

2 入力して送信します。

画面の表示内容に従って操作を進めます。

重要

- 評価期間中に PaperStream Capture Pro Premium および PaperStream AI の固有の機能を利用して作成したジョブを、評価完了後、PaperStream Capture で編集すると、PaperStream Capture Pro Premium の固有の機能が失われます。

第 5 章
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をインストールする

PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium は、以下のどちらかの方法で使用できるようになります。

- セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする

  ➡ 5.1 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする (49 ページ)

- PaperStream Capture から PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスをアクティベートする

  ➡ 5.2 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアクティベートして使用する (50 ページ)

5.1 セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする

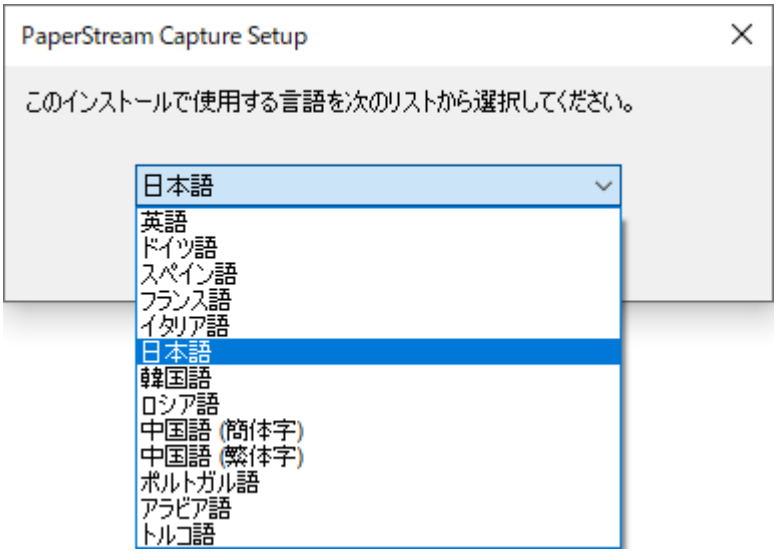
PaperStream Capture Pro の場合を例に説明します。

1 メールで受け取った Web サイトからセットアッププログラムをダウンロードします。

2 ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックします。

インストールには管理者権限が必要です。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、管理者パスワードを入力してください。

3 ドロップダウンリストから、使用する言語を選択します。



使用許諾契約が記載された画面が表示されます。
.NET Framework 4.7.2 以上がインストールされていない場合、.NET Framework 4.7.2 が先にインストールされます。
インストール後、PaperStream Capture Pro のインストールが再開し、使用許諾契約が記載された画面が表示されます。

4 **「使用許諾契約」に記載されている内容を確認し、同意される場合は「使用許諾契約に同意します」チェックボックスにチェックを付けます。**

5 **PaperStream Capture Pro の運用方法を選択します。**
選択できる項目は、以下のとおりです。

- シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）
- マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）
- マルチステーション運用（ステーションとして使用する）

6 **必要に応じて、以下のチェックボックスのチェックを外します。**
デフォルトの状態は、チェックボックスにチェックが付いています。

- ショートカットをデスクトップに作成する
- サンプルジョブを表示する
- スタートアップ時に「お使いの前に」を表示する

7 **「フォルダー名」でインストール先を確認します。**
インストール先を変更したい場合は、［変更］ボタンをクリックし、インストール先を変更します。

8 **［インストール］ボタンをクリックします。**

9 **「PaperStream Capture Pro セットアップウィザードが完了しました」という画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。**

ストレージサーバーに必要なコンポーネントの有効化およびストレージサービスの登録が実行されます。
PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのインストールも併せて実行されます。
ストレージサーバーとしての準備および PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのインストール完了画面が表示されます。

10 **［OK］ボタンをクリックします。**

PaperStream Capture Pro のインストールが完了します。

5.2 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアクティベートして使用する

ここでは、PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium のライセンスのアクティベート方法とディアクティベート方法について説明します。
PaperStream Capture Pro の場合を例に説明します。

5.2.1 オンラインの環境でライセンスをアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピューターでライセンスをアクティベートする方法は、以下のとおりです。

1 **コンピューターの電源を入れて、コンピューターの管理者権限を持つユーザーでログオンします。**

2 デスクトップの をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をダウンロードしてインストールした場合、初めて起動するとライセンスコード入力画面が表示されます。
手順 6 に移動してください。

3 メニューの から「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブが表示されます。

4 「アクティベーション」タブを選択します。

5 [アクティベート] ボタンをクリックします。

ライセンスコード入力画面が表示されます。

6 ライセンスコードを入力します。

メールで受け取ったライセンスコードを参照してください。

7 [アクティベーション] ボタンをクリックします。

ライセンスがアクティベートされます。
また、アイコントレイから、アクティベートの完了がメッセージで通知されます。

5.2.2 オフライン環境のライセンスをアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピューターを利用して、インターネットに接続できない環境（オフライン）のコンピューターのライセンスをアクティベートする方法は、以下のとおりです。

1 オフラインの環境のコンピューターで、デスクトップの をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をダウンロードしてインストールした場合、初めて起動するとライセンスコード入力画面が表示されます。
ライセンスコードは入力せず、PaperStream Capture を起動してください。

2 メニューの から、「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面が表示されます。

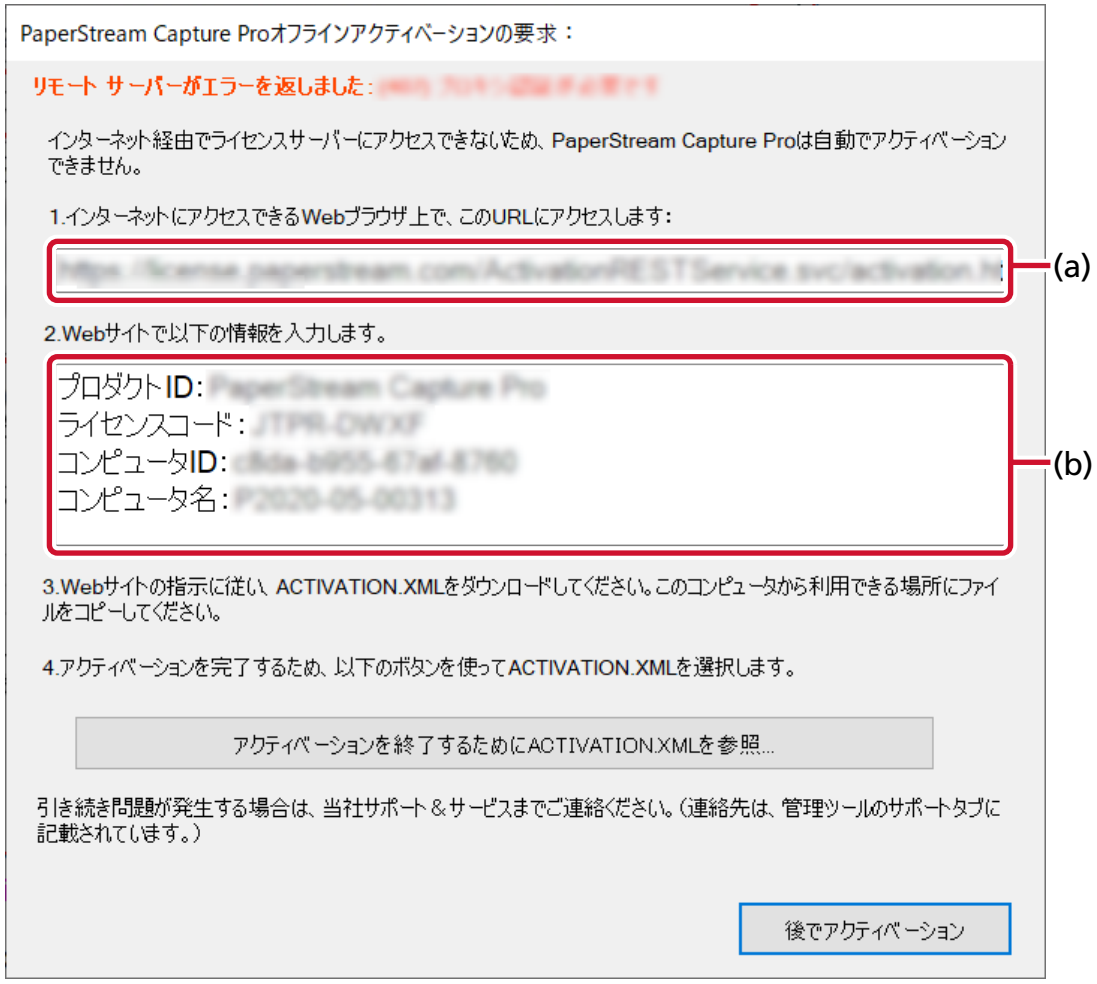
3 「アクティベーション」タブを選択します。

4 「ライセンス管理」の［アクティベート］ボタンをクリックします。

「PaperStream Pro ライセンスのアクティベーション」画面が表示されます。

5 「ライセンスコード」にライセンスコードを入力し、［アクティベーション］ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されます。



6 （a）および（b）の記載をメモします。

7 **オンラインの環境のコンピューターで、手順 6 でメモした（a）の Web サイトに接続します。**

8 **手順 6 でメモした（b）の内容を入力します。**

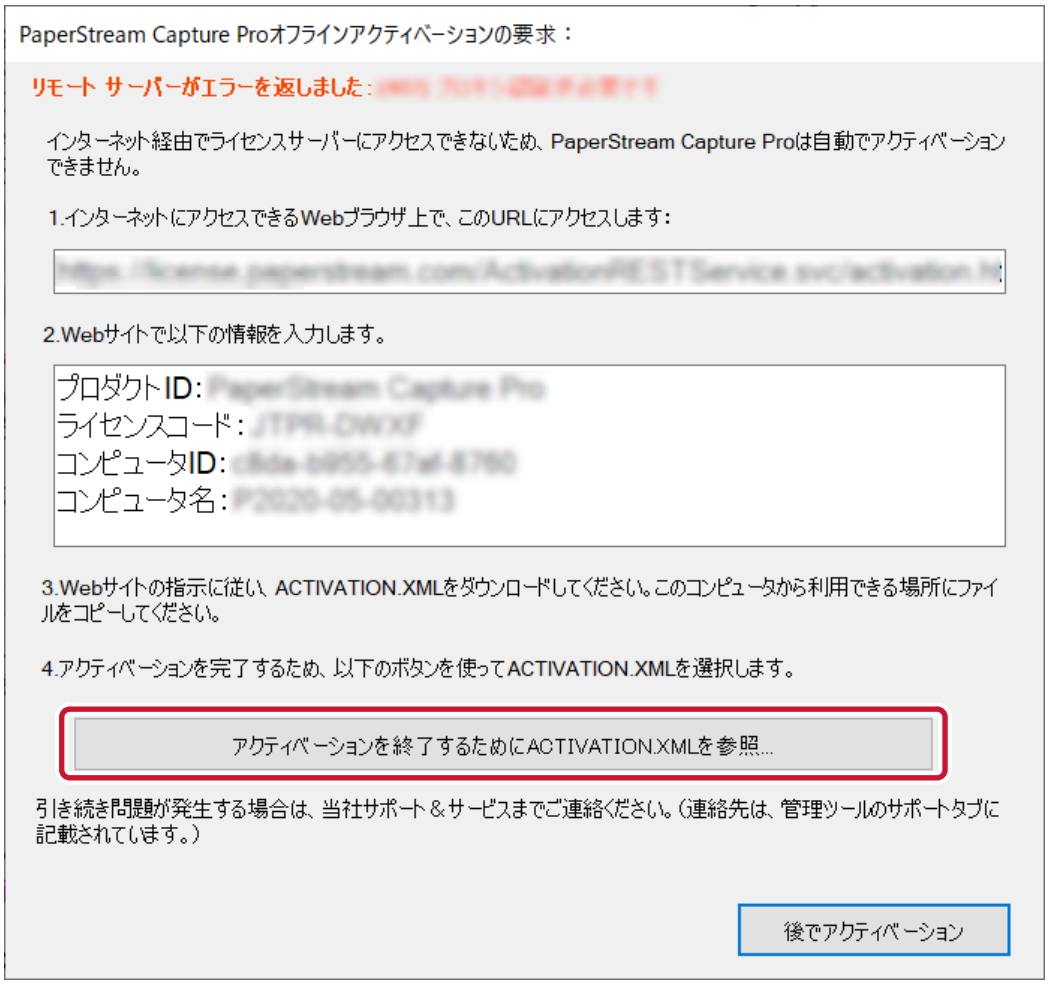
9 **［アクティベーション］ボタンをクリックします。**

10 **［Activation.XML ファイルのダウンロード］ボタンをクリックします。**

11 **任意の格納先に ACTIVATION.XML ファイルを保存します。**

12 **オフラインの環境のコンピューターで、ACTIVATION.XML ファイルを任意のフォルダーに移動します。**

13 **以下の画面で、［アクティベーションを終了するために ACTIVATION.XML を参照］ボタンをクリックして ACTIVATION.XML ファイルを選択します。**



ライセンスがアクティベートされます。
また、アイコントレイから、アクティベートの完了がメッセージで通知されます。

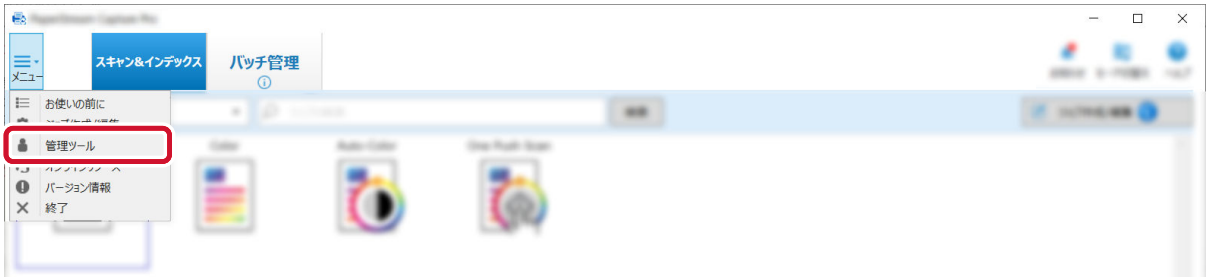
5.2.3 オンラインの環境でライセンスをディアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピューターでライセンスをディアクティベートする方法は、以下のとおりです。

1 コンピューターの電源を入れて、コンピューターの管理者権限を持つユーザーでログオンします。

2 デスクトップの をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

3 メニューの から、「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面が表示されます。

4 「アクティベーション」タブを選択します。

5 「ディアクティベート」をクリックします。

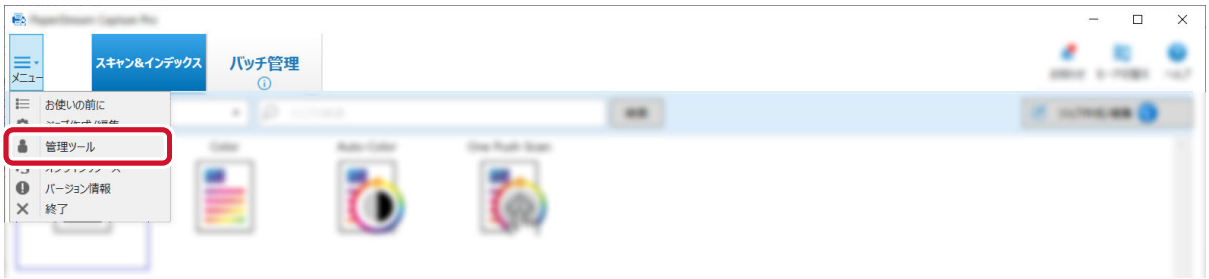
ライセンスがディアクティベートされます。
また、アイコントレイから、ディアクティベートの完了がメッセージで通知されます。

5.2.4 オフライン環境のライセンスをディアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピューターを利用して、インターネットに接続できない環境（オフライン）のコンピューターのライセンスをディアクティベートする方法は、以下のとおりです。

1 オフラインの環境のコンピューターで、デスクトップの をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

2 メニューの から、「管理ツール」を選択します。

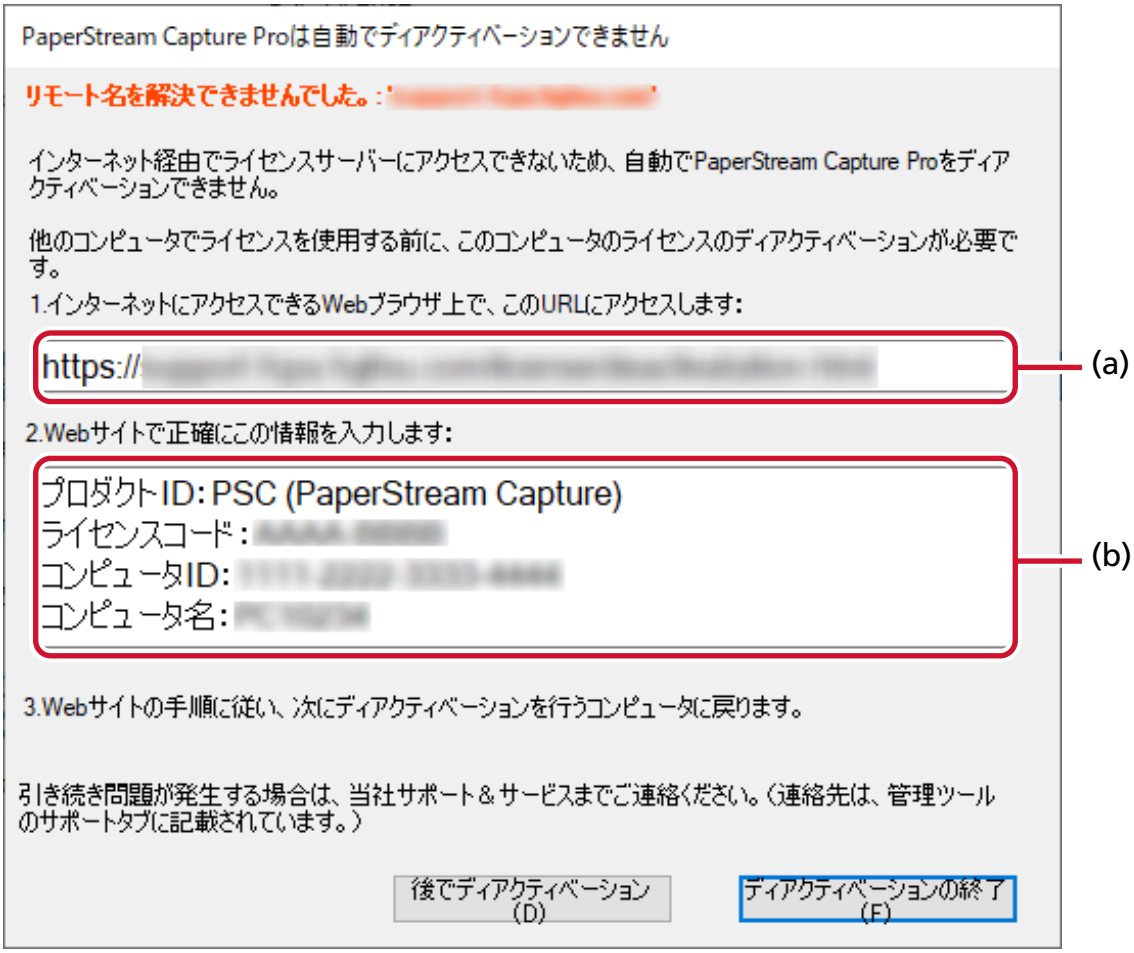


「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面が表示されます。

3 「アクティベーション」タブを選択します。

4 「ライセンス管理」の「ディアクティベート」をクリックします。

以下の画面が表示されます。



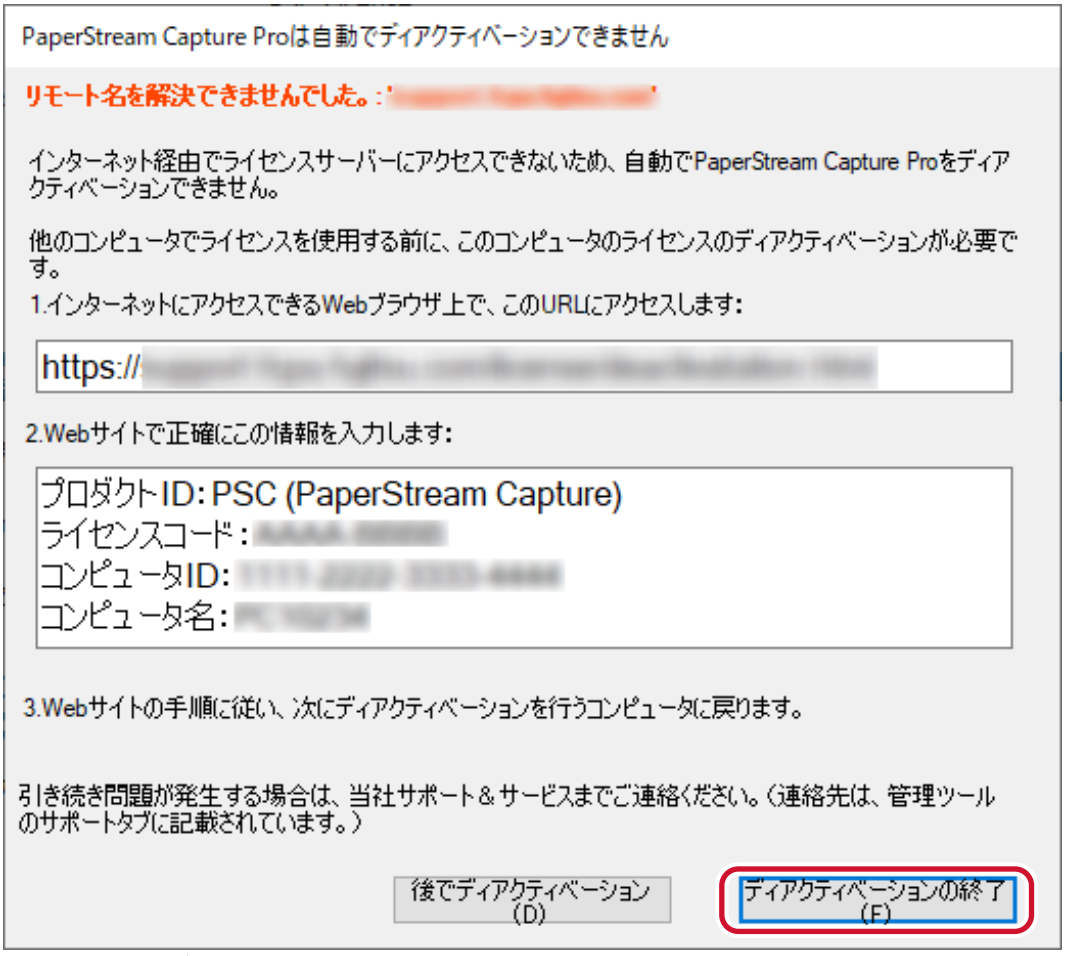
5 **（a）および（b）の記載をメモします。**

6 **オンラインの環境のコンピューターで、手順 5 でメモした（a）の Web サイトに接続します。**

7 **手順 5 でメモした（b）の内容を入力します。**

8 **［ディアクティベーション］ボタンをクリックします。**

9 オフラインの環境のコンピューターで、以下の画面の［ディアクティベーションの終了］ボタンをクリックします。



ライセンスがディアクティベートされます。
また、アイコントレイから、ディアクティベートの完了がメッセージで通知されます。

5.3 PaperStream Capture Pro AI-OCR をインストールする

PaperStream Capture から PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium に変更した場合、帳票に記入された手書き文字を認識するには、PaperStream Capture Pro AI-OCR をインストールする必要があります。

PaperStream Capture Pro AI-OCR のインストールが必要な場合は、［お知らせ］ボタンの表示を  にしてお知らせします。［お知らせ］ボタンをクリックし、「お知らせ」画面のメッセージに従って、PaperStream Capture Pro AI-OCR をインストールしてください。

第 6 章
PaperStream AI を使用するには

PaperStream AI は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium と使用できます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で PaperStream AI を有効にします。

PaperStream AI が使用できるようになると、PaperStream Capture のメイン画面に  （「PaperStream AI」ジョブ）が表示されます。表示されない場合は、PaperStream Capture を再起動してください。
PaperStream AI のライセンスの購入タイミングによって、次の違いがあります。

- **PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスと、PaperStream AI のライセンスを同時に購入した場合**

  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のアクティベートと同時に PaperStream AI が有効になります。

  ➡ 5.2 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアクティベートして使用する (50 ページ)

- **PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のアクティベート後に、PaperStream AI のライセンスを購入した場合**

  アクティベート済みの PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスと、PaperStream AI のライセンスを連携させる操作が必要です。
  PaperStream AI のライセンス購入時に送付されるメールの内容に従って、連携させる操作を行ってください。ライセンスが連携されたあとに PaperStream AI が有効になります。

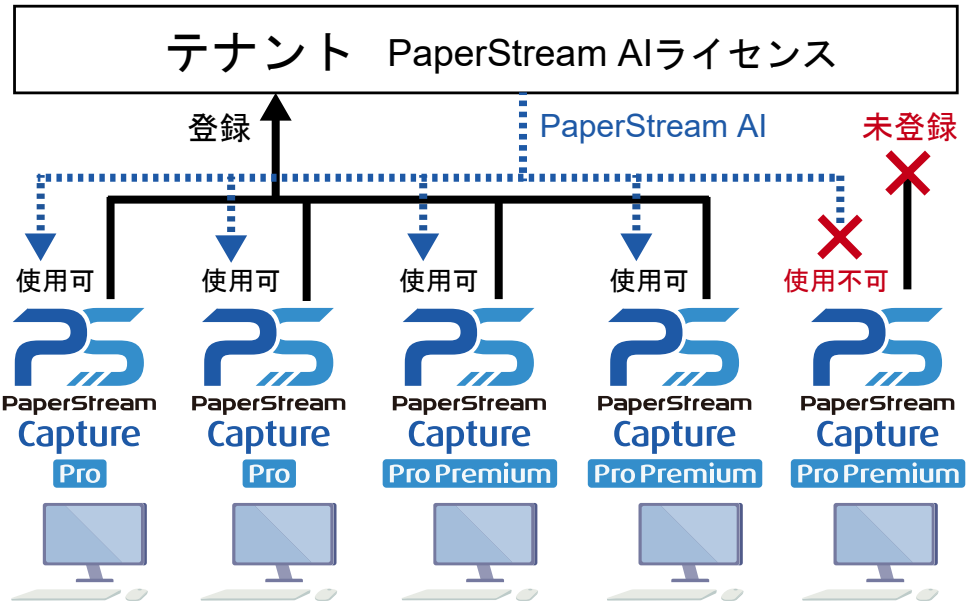
関連項目

第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

6.1 PaperStream AI のライセンス

PaperStream AI のライセンスはテナント単位での一括購入です。 PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium のライセンスは個別購入です。

➔ テナントとは



ライセンスには、有効期限および PaperStream AI で読み取れる原稿の読み取り可能ページ数があります。

- **有効期限を延長するには**

  ライセンスを更新することでライセンスの有効期限を延長できます。ライセンスを更新する手続きが完了した時点でまだ有効期限が残っている場合、有効期限が過ぎてから次の更新ライセンスの期間が始まります。
  次のライセンス更新時に、それまでの余った読み取り可能ページ数は引き継げません。
  ライセンスの有効期限はダッシュボードで確認できます。
  また、ライセンスの更新方法の案内ページは、「ホーム」画面の「サポート情報」の「ライセンスの追加 / 更新」をクリックすることでアクセスできます。管理者アカウントでダッシュボードにログインしてください。

  ➔ 第 15 章 ダッシュボードで利用状況を確認する (214 ページ)

- **読み取り可能ページ数を増やすには**

  追加ライセンスを購入することで PaperStream AI で読み取れる原稿の最大ページ数を増やすことができます。ただし、次のライセンス更新時に、それまでの余った読み取り可能ページ数を引き継げないため、追加購入する際は留意してください。
  読み取り可能ページ数はダッシュボードで確認できます。
  また、ライセンスの追加購入方法の案内ページは、「ホーム」画面の「サポート情報」の「ライセンスの追加 / 更新」をクリックすることでアクセスできます。管理者アカウントでダッシュボードにログインしてください。

  ➔ 第 15 章 ダッシュボードで利用状況を確認する (214 ページ)

- **ライセンスが失効したら**

  PaperStream AI のライセンスが失効すると、PaperStream AI は使用できなくなります。

  - PaperStream AI を使用するジョブは、エラーになります。再度 PaperStream AI のライセンスが有効になった際には使用できます。

- 読み取り可能ページ数が 0 になります。読み取り可能ページ数はライセンスの期間をまたいで引き継げません。

関連項目

6.2 PaperStream AI での読み取りとしてカウントされる条件 (59 ページ)

6.2 PaperStream AI での読み取りとしてカウントされる条件

以下の条件で読み取りを行うと、読み取った原稿ページ数が PaperStream AI での読み取りとしてカウントされます。

- メイン画面に表示される  （「PaperStream AI」ジョブ）を使って読み取った原稿ページ数
- が表示されているジョブを使って読み取った原稿ページ数
- が表示されているジョブを使った読み取りテストの原稿ページ数
-  またはが表示されているジョブを使って読み取った原稿に対して、以下の操作を行ったページ数
  - 画像の回転
  - 差し替えの読み取り
  - 帳票の種類の変更
  - リトライ、再度帳票識別を行う
- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択して、をクリックして読み取った原稿ページ数
- 「データ抽出設定」タブの「ドキュメント内の指定ページを抽出する」チェックボックスにチェックを付けている場合、帳票仕分けおよび手書きサーチャブル未使用のジョブで読み取った際は、指定ページ数

PaperStream AI を利用するジョブとは

PaperStream AI を利用するジョブには、ジョブのアイコンにが表示されています。

PaperStream AI を利用するジョブは、以下で表示される「帳票リスト」でタイプ「クラウド」の帳票が選択されているジョブです。

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択したとき
- 「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」で「帳票識別」を選択したとき
- 「仕分け設定」タブの「バッチ仕分け」で「帳票識別」を選択したとき

メイン画面に表示される  は参照作成や削除ができません。編集できる内容も限られます。編集できないグレーアウトの項目を変更したい場合は、新たにジョブを作成してください。

➡ 9.1 PaperStream AI を使った読み取り条件（ジョブ）を作成して読み取る（バッチスキャンモード） (69 ページ)

第 7 章
読み取り前の準備

7.1 環境設定をする

スキャナードライバーや読み取り方法などの環境を必要に応じて設定します。

1 デスクトップのをダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

2 メニューのから、「管理ツール」を選択します。

パスワードを設定している場合、パスワードの入力を求める画面でパスワードを入力します。

3 表示された 20.2 「一般」タブ (399 ページ)で、以下の項目を設定します。

- ロゴイメージ
- サンプルジョブ
- サムネール画質
- ジョブ表示サイズ
- 管理パスワード
- スキャナードライバー
- バッチ管理画面の自動更新間隔
- モード切替え
- 作業フォルダー
- おすすめ設定

4 20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)で、以下の項目を設定します。

- イベント定義
- クリック方法
- ホットキー動作モード
- スキャン中止のホットキー
- 手動仕分けのショートカットキー
- ショートカット設定

5 20.4 「出力」タブ (408 ページ)で、以下の項目を設定します。

- ファイル形式
- Word 文書/Excel 文書/PowerPoint 文書の出力設定

次の操作に進みます。

- PaperStream Capture の場合、手順 8 へ進みます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、手順 6 へ進みます。

6 **必要に応じて、20.5 「アクティベーション」タブ (411 ページ)で、ライセンスの管理をします。**

7 **20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)で、プロセスの設定をします。**

8 **20.7 「サポート」タブ (415 ページ)で、イベントログの設定をします。**

9 **[保存] ボタンをクリックします。**

設定した内容が保存されます。

10 **[閉じる] ボタンをクリックします。**

「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面が閉じます。

7.2 マルチステーション運用の設定

ここでは、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のマルチステーション運用の設定手順について説明します。

➡ 1.3.2 マルチステーション運用の特長 (22 ページ)

7.2.1 マルチステーション運用でストレージサーバーの設定をする

マルチステーション運用を活用すると、作業を分業できます。
ストレージサーバーでは、ジョブや読み取った画像を含むバッチの管理をします。

1 **PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスをアクティベートします。**

➡ 5.2 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアクティベートして使用する (50 ページ)

2 **「管理ツール」を起動します。**

PaperStream Capture を起動している場合は、PaperStream Capture を終了してから「管理ツール」を起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
- Windows 11 / Windows Server 2025
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

3 **「ステーション」タブを選択します。**

4 **「ストレージサーバー」で「マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）」を選択します。**

5 **ジョブなどの管理ファイルの格納先を変更したい場合は、「ストレージフォルダー」の参照先を変更します。**

重要

- 格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。
  引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。
  ➡ 第 16 章 運用環境を移出/移入する (216 ページ)

6 ［保存］ボタンをクリックします。

マルチステーション運用でストレージサーバーとして使用する端末の設定が保存されます。

7.2.2 マルチステーション運用でステーションの設定をする

マルチステーション運用を活用すると、作業を分業できます。
各ステーションでは、割り振られた作業を実施します。

1 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスをアクティベートします。

➡ 5.2 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアクティベートして使用する (50 ページ)

2 「管理ツール」を起動します。

PaperStream Capture を起動している場合は、PaperStream Capture を終了してから「管理ツール」を起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
  「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
- Windows 11 / Windows Server 2025
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

3 「ステーション」タブを選択します。

4 「プロセスの設定」で担当するプロセスをクリックします。

5 必要に応じて、「次のバッチに自動的に遷移する」チェックボックスにチェックを付けます。

チェックを付けると、バッチに対する担当のプロセスを実施したあと、次のバッチに自動的に遷移します。

6 「ストレージサーバー」で「マルチステーション運用（ステーションとして使用する）」を選択します。

7 「サーバーのアドレス」でストレージサーバーのアドレスを入力します。

8 ストレージサーバーとの接続を確認する場合、［テスト］ボタンをクリックします。

ストレージサーバーの端末の設定で、「ステーション」タブの「ストレージファイアウォール」の右側に［閉じる］ボタンが表示されている場合、接続を確認できます。

9 ［保存］ボタンをクリックします。

マルチステーション運用でステーションとして使用する端末の設定が保存されます。

第 8 章
基本的な読み取り操作

ここでは、バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの読み取り操作の流れについて説明します。
以下は、モードの使用例です。バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの使い分けのポイントにしてください。

やりたいこと	製品	使用モード
ファイル名や出力先など詳細な読み取り条件を指定したジョブを使って、毎回同じ条件で原稿を読み取りたい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
バーコード認識やゾーン OCR（指定範囲内の文字情報抽出）で認識した結果を活用したい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
パスポートや ID カード（TD1 および TD2 に準拠）の情報を認識して読み取りたい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
認識結果をファイル名やフォルダー名を使用して出力したい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
帳票の種類ごとに自動でファイルを仕分けて保存したい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
読み取った画像の一部を隠した状態で出力したい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
インプリンタと連携して読み取りたい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード シンプルスキャンモード
スキャナーのボタンひとつで、詳細な読み取り条件に従って原稿を読み取りたい場合	PaperStream Capture PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
帳票の手書き文字やマークの情報を認識して結果を活用したい場合	PaperStream Capture Pro	バッチスキャンモード

やりたいこと	製品	使用モード
	PaperStream Capture Pro Premium	
読み取った画像の一部を隠した状態で出力したい場合	PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
マルチステーション運用で、読み取りや画像の確認、インデックスの確認という作業を複数名で分担したい場合	PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
データベースの連携やバーコードの JSON 解析など、高度な抽出データの設定を活用したい場合	PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
読み取り完了後の画像を、読み取りし直しせずに画質補正したい場合	PaperStream Capture Pro PaperStream Capture Pro Premium	バッチスキャンモード
読み取りに使用するスキャナーを簡単に切り替えながら作業したい場合	PaperStream Capture	シンプルスキャンモード
ジョブを設定せずに、原稿を分割して読み取りたい場合	PaperStream Capture	シンプルスキャンモード
ジョブを設定せずに、各カウンターの設定値をファイル名やフォルダー名に使用したい場合	PaperStream Capture	シンプルスキャンモード

8.1 バッチスキャンモードの操作の流れ

1 デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

2 読み取りや保存に関する条件をジョブ情報として登録します。

➡ 第 10 章 読み取りの条件（ジョブ）を設定する（バッチスキャンモード） (75 ページ)

3 原稿を読み取ります。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

➡ 第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

4 読み取った画像を確認/編集します。

必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で読み取った画像に抽出データの設定がある場合、「スキャン&インデックス」画面または「インデックス」画面が表示され、抽出データの編集、中断、および一時保存ができます。

➡ 11.1 読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード） (98 ページ)

5 ［完了］ボタンをクリックして、読み取った画像を保存します。

ヒント

- PaperStream Capture は、コマンドプロンプトから「PFU.PaperStream.Capture.exe」のフルパス名を指定しても起動できます。
  PaperStream Capture をデフォルトの状態でインストールした場合のファイルパスは、以下のとおりです。
  C:¥Program Files¥fiScanner¥PaperStream Capture¥PFU.PaperStream.Capture.exe
  （64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:¥Program Files (x86)¥fiScanner¥PaperStream Capture¥PFU.PaperStream.Capture.exe）
  また、指定できるパラメーターは、以下のとおりです。

パラメーター	説明
/DocType: ジョブ名	指定されたジョブで読み取りします。 本パラメーターを複数指定した場合、最初の指定が有効となります。
/BatchFolder: バッチフォルダー名	/DocType: パラメーターと同時に使用します。 バッチフォルダー名を指定する画面を表示せずに /DocType: パラメーターで指定したジョブに設定されている出力先または連携先の配下にバッチフォルダーを作成し、ファイルを出力します。 バッチフォルダー名は最大で 32 文字まで入力できます。 本パラメーターを複数指定した場合、最後の指定が有効となります。 なお、/DocType: パラメーターで指定したジョブに、バッチフォルダーを使用する設定がされていない場合、本パラメーターは無視されます。
/Exit	/DocType: パラメーターと併用すると、読み取り終了後にアプリケーションを終了します。
/NOERR	読み取り中に異常が発生してもエラー（メッセージ番号の最後の文字が "E" のもの）や警告メッセージ（メッセージ番号の最後の文字が "W" のもの）を表示しません。読み取り中にユーザーの操作待ち状態とならないために使用します。
/NOWARNING	警告メッセージ（メッセージ番号の最後の文字が "W" のもの）を表示しません。

ただし、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で「ステーション」タブで設定されているプロセスが「スキャン&インデックス」または「スキャン」以外の端末の場合、「/NOERR」と「/NOWARNING」以外のパラメーターを指定しても無視されます。

8.2 シンプルスキャンモードの操作の流れ

1 デスクトップのをダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

2 ファイルの保存先や読み取り条件を設定します。

➡ 13.1 シンプルスキャンモードの設定をする (109 ページ)

3 原稿を読み取って保存します。

➡ 13.2 原稿を読み取って保存する（シンプルスキャンモード）（110 ページ）

4 必要に応じて、読み取った画像を確認したり編集したりします。

➡ 13.3 読み取った画像を確認 / 編集する（シンプルスキャンモード）（111 ページ）

5 確認や編集した画像を、名前を付けて保存します。

➡ 13.4 確認 / 編集した画像を保存する（シンプルスキャンモード）（116 ページ）

第 9 章
PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード）

PaperStream Capture の画面から、PaperStream AI で原稿（非定型帳票）を読み取る手順を説明します。

1 **スキャナーの電源がオンになっていることを確認し、読み取る原稿をセットします。**

2 **PaperStream Capture のメイン画面で、（「PaperStream AI」ジョブ）をクリックします。**
原稿の読み取りが開始されます。
読み取りが完了したら、画像を確認 / 編集する画面が表示されます。

3 **読み取った画像を確認します。**

a **各サムネールの上部に表示されている帳票の種類を確認します。**
誤ってる場合は、プルダウンメニューで正しい帳票の種類を選択してください。選択された帳票の種類で再度読み込まれます。

b **フィールドパネルに表示されている OCR 結果を確認します。OCR 結果を確認したら、フィールドパネル上部の「未確認」「注意」「警告」をそれぞれクリックすると、フィールドパネルの表示を絞り込めます。**

フィールド名の横のアイコンをクリックすることで、に切り替えることができます。

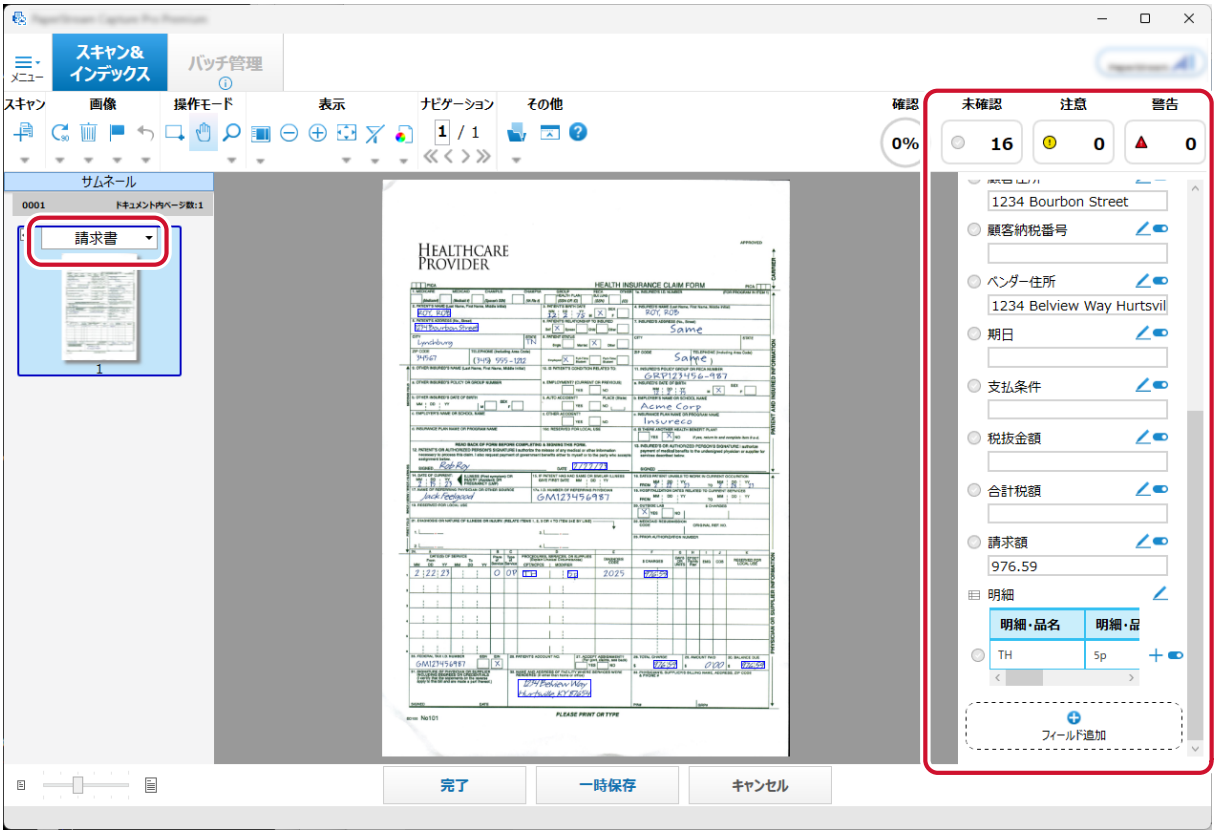
「警告」は文字の抽出ができなかった箇所です。正しい内容を入力してください。があると、次の操作に進めません。
「注意」は文字の抽出ができていますが間違っている可能性があります。抽出結果を確認して、正しい内容を入力してください。内容が正しい場合はそのままで構いません。があっても次の操作に進めます。

「未確認」は文字の抽出ができています。抽出結果を確認してください。があっても次の操作に進めます。

c **フィールドを追加したい場合は、［追加］ボタンをクリックして、フィールド名と範囲を指定してください。ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリックすると追加したフィールドの内容が読み込まれます。**

フィールドの削除は行えません。インデックス情報をファイルに出力する場合に特定の

フィールド情報を出力しない場合は、そのフィールドの横にあるをに切り替えてください。



4 ［完了］ボタンをクリックします。



ジョブで指定した出力先のフォルダーにファイルが保存されます。

関連項目

6.2 PaperStream AI での読み取りとしてカウントされる条件 (59 ページ)
第 15 章 ダッシュボードで利用状況を確認する (214 ページ)

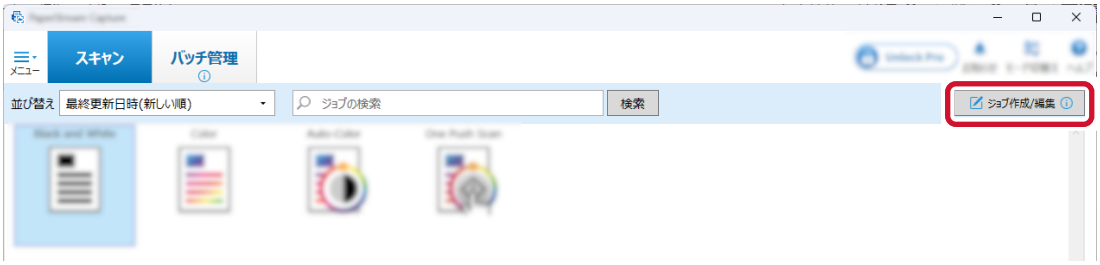
9.1 PaperStream AI を使った読み取り条件（ジョブ）を作成して読み取る（バッチスキャンモード）

PaperStream AI を使ったこだわり作成でジョブを作成して読み取る手順を説明します。

ここでは、領収書をフォルダーに保存するジョブの作成手順を例に説明します。
また、非定型帳票「領収書」を検出するごとに読み取りファイルを分割します。

1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。

2 **PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。**

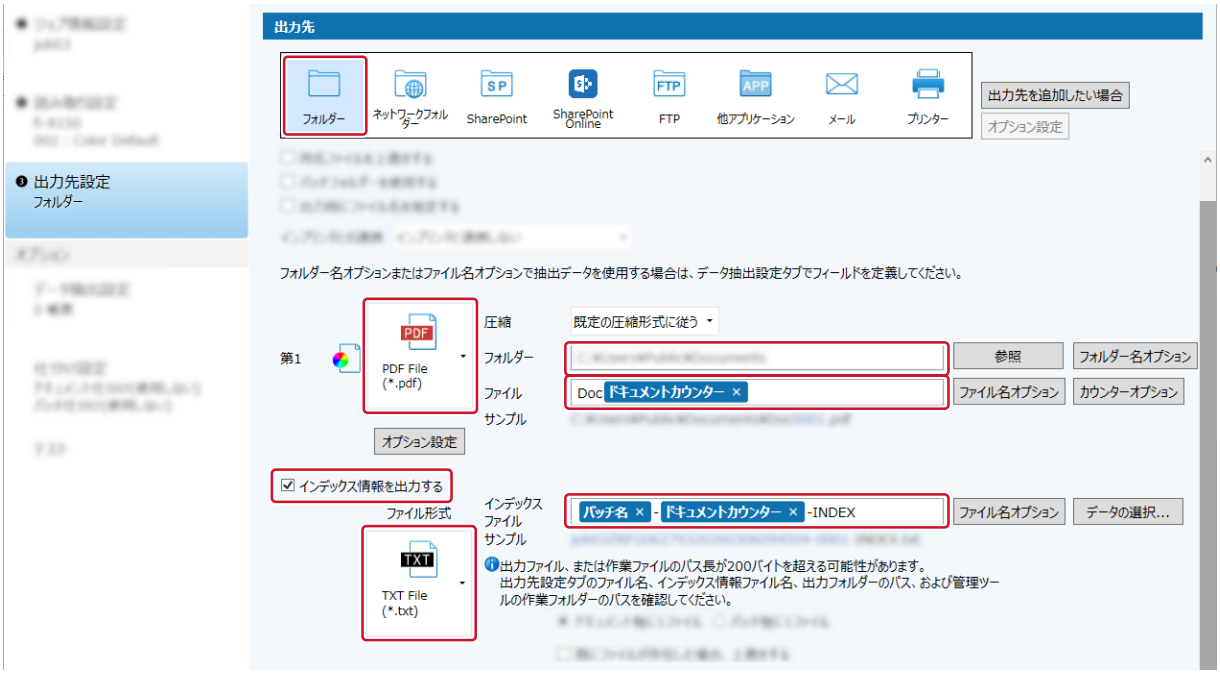


3 **［新規作成（こだわり）］ボタンをクリックします。**

4 **「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。**

5 **「読み取り設定」タブの「スキャナー」で使用するスキャナーを選択します。また、「読み取り設定」で「画像タイプ」、「解像度」、「用紙サイズ」、および「読み取り面」を設定します。**

6 **「出力先設定」タブで、出力先の種類を設定します。**



7 **「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択します。**



8 帳票リストで「領収書」にチェックをつけます。



帳票リストに適切な帳票種がない場合は、で帳票種を登録できます。

➡ 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)

9 「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」の「仕分けの種類」で「帳票識別」を選択します。



10 「帳票リスト」で、「領収書」にチェックを付けます。



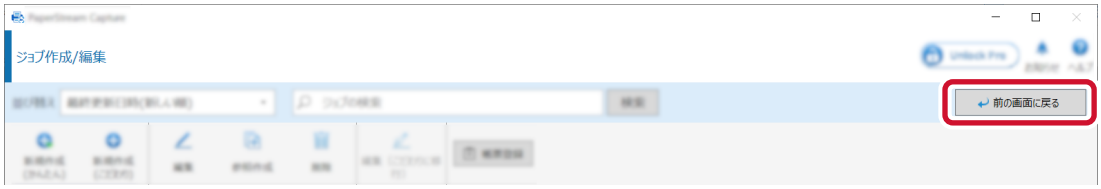
11 各タブで設定内容の変更が完了したら、ジョブの作成を終了します。

a **［保存］ボタンをクリックします。**

b **［閉じる］ボタンをクリックします。**



c **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**



メイン画面に戻ります。

12 **原稿をスキャナーにセットします。**

13 **メイン画面で、作成したジョブをクリックします。**
以降の操作は第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)の手順 3 以降を参照してください。

9.1.1 フィールドの「形式」を選択する際の考え方

「フィールド定義」画面でフィールドの「形式」を選択する際のポイントを説明します。
「形式」は、PaperStream AI が読み取った値をどんな形に整えて返すかを決める設定です。
読み取る内容に適した形式を選択すると、値の表記を統一できます。適さない形式を選択すると、値が空になったり、一部の情報が失われたりする場合があります。

重要

- 英字、記号、または先頭に「0」がつく可能性がある場合は、「文字列」を選択してください。
- 金額の場合は「通貨」を選択してください（値の表記を統一できます）。
- 日付の場合は「日付」を選択してください（値の表記を統一できます）。
- 形式の選択に迷う場合は、「文字列」を選択してください。「文字列」は幅広い値を保持できるため、情報が失われにくい形式です。

読み取る項目の内容によって、以下の形式を選択することをおすすめします。

読み取る項目	おすすめの形式	読み取り例（帳票上の表記 → 出力）	よくある間違い
氏名、会社名、住所、件名、備考	**文字列**	株式会社サンプル商事→"株式会社サンプル商事"	

読み取る項目	おすすめの形式	読み取り例（帳票上の表記 → 出力）	よくある間違い
請求書番号、注文番号（英字や 0 始まりがあり得る場合）	**文字列**	SK4313656163967→ "SK4313656163967"	数値 「INV-001」が空になったり、「0012345」の 0 が消えて「12345」になります。
電話番号、郵便番号、FAX	**文字列**	03-1234-5678→"03-1234-5678"	数値 ハイフンや先頭の 0 が消えます。
発行日、支払期限、納期	**日付**	令和 7 年 5 月 25 日→ "2025-05-25"（指定の書式に統一）	文字列 PaperStream AI が日付の項目だと認識できず、指定の書式で出力されません（読み取った通りに出力されます）。
合計金額、税額、単価	**通貨**	¥506,000→506000（カンマ、通貨記号を除いた数値）	数値 PaperStream AI がお金の項目だと認識できず、目的の値を選び損ねやすくなります。
数量、重量、割引率（小数があり得る場合）	**数値**	12.5kg→12.5 10%→10	文字列 PaperStream AI が数値の項目だと認識できず、指定の書式で出力されません（単位もそのまま出力されます）。
有／無、はい／いいえ、チェック欄	**ブーリアン**	チェックボックスのチェックあり→ true チェックボックスのチェックなし→ false	

- **文字列**

  読み取った文字を、そのまま文字列として出力します。記号、英字、全角・半角文字などを含む値に使用します。

  - 請求書番号、注文番号、電話番号、郵便番号には必ず文字列を使用してください。
  - 先頭の 0 を出力できます。
  - 英字やハイフンを含む値も出力できます。

- **日付**

  日付を指定の書式に統一して出力します。発行日、支払期限、納期などの日付項目に使用します。

  - 和暦やスラッシュ区切りなど、表記が異なる日付も統一形式に変換して出力できます。
  - 日付項目には、文字列ではなく日付形式を指定することをおすすめします。
  - PaperStream AI に対象項目が日付であることを明確に伝えられます。

- **通貨**

  金額を、カンマおよび通貨記号を除いた数値として出力します。合計金額、税額、単価などの金額項目に使用してください。

  - PaperStream AI に対象項目が金額であることを明確に伝えられます。
  - 帳票内に複数の金額がある場合でも、目的の金額を選択しやすくなります。
  - 内部的には円やドルなどの通貨も認識しますが、現在の画面では通貨種別は表示されません。

- **数値**

  数字のみで構成される値を出力します。小数を含む値にも使用できます。

  - カンマ、単位、全角数字などは除去されます。
  - 英字、ハイフンなど、数字以外の文字を含む値には使用しないでください。
  - 番号ではなく、計算対象となる数量や重量などに使用してください。

- **ブーリアン**

  有無や選択状態を、「true」または「false」の 2 値で出力します。

  - チェックボックスに使用します。
  - 押印の有無や、「該当あり／なし」の項目に使用します。
  - はい、有、チェック済は、「true」、いいえ、無、未チェックは、「false」として出力します。

関連項目

19.6.7 「フィールド定義」画面 (348 ページ)
19.6.8 「テーブル定義」画面 (366 ページ)

第 10 章
読み取りの条件（ジョブ）を設定する（バッチスキャンモード）

読み取りや出力の条件などを設定するジョブの作成手順を説明します。

10.1　読み取りの条件を簡単に設定する（かんたん作成）

かんたん作成でジョブを作成する手順を説明します。

重要

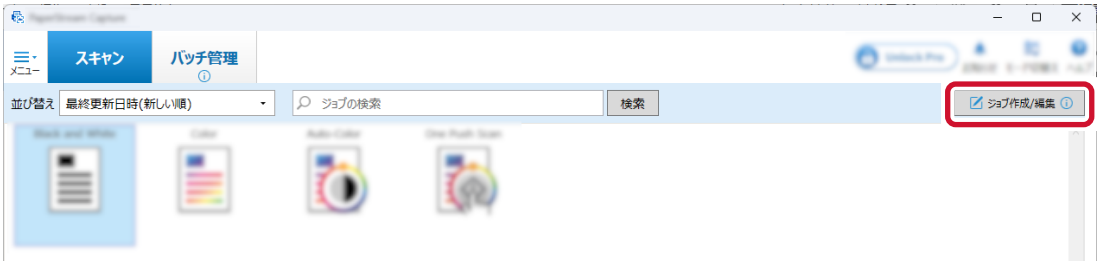
- PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、かんたん作成のジョブは新規作成できません。
  すでにあるジョブは編集できますが、「読み取り設定」タブの「スキャナー」は編集できません。

10.1.1　原稿を読み取って画像を保存する

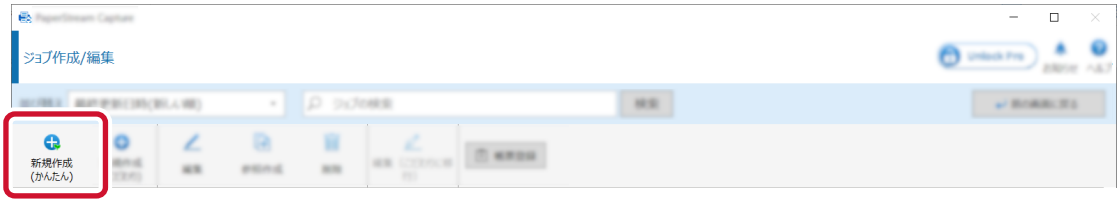
原稿を読み取って画像を保存したい場合は、目的選択画面で「画像として保存」を選択してジョブを作成します。

ここでは、A4 原稿を解像度 200dpi のカラー画像の PDF 形式でファイルを生成して、フォルダーに保存するジョブの作成手順を例に説明します。

1. **スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。**
2. **PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。**



3. **［新規作成（かんたん）］ボタンをクリックします。**



4 **「画像として保存」の［作成開始］ボタンをクリックします。**



5 **「読み取り設定」タブの「スキャナー」で使用するスキャナーを選択して、「読み取り設定」を以下の設定にします。**

画像タイプ：カラー

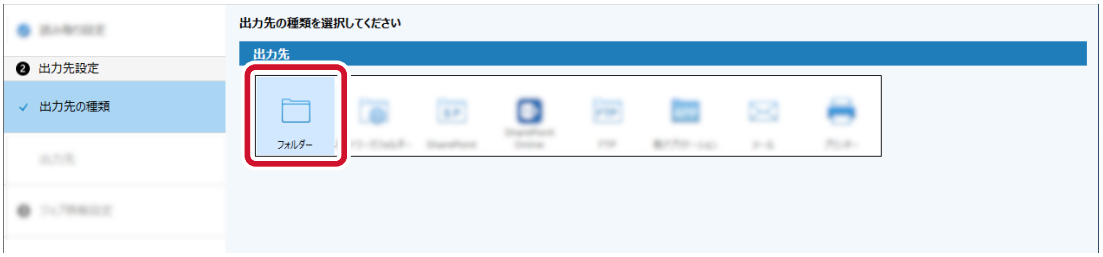
解像度：　200dpi

用紙サイズ：自動



6 **［次へ］ボタンをクリックします。**

7 「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」をクリックします。



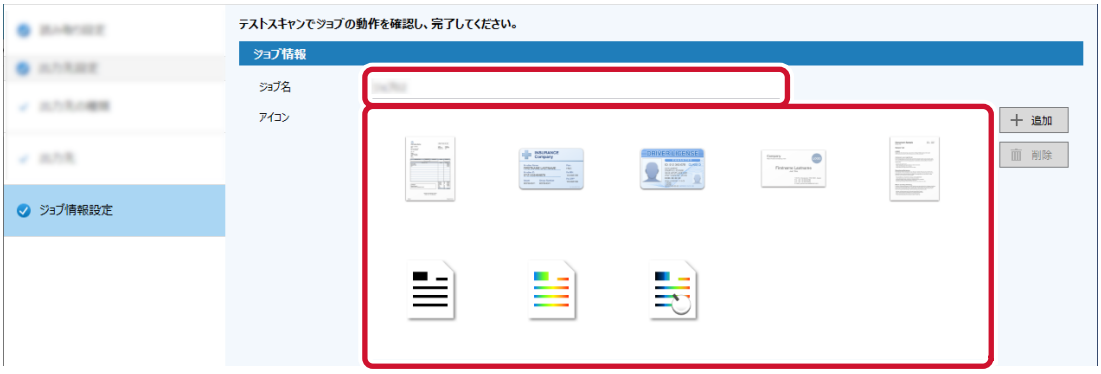
8 ［次へ］ボタンをクリックします。

9 「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像を保存するフォルダーとファイル名を設定して、画像のファイル形式を選択します。



10 ［次へ］ボタンをクリックします。

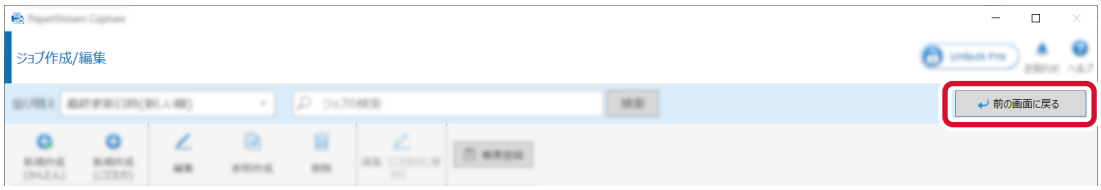
11 「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。



12 各タブの設定が完了したら、ジョブの作成を終了します。

a ［完了］ボタンをクリックします。

b ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。



メイン画面に戻ります。

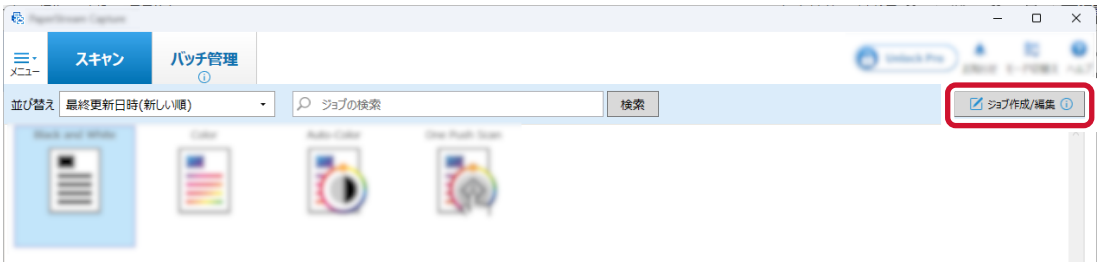
10.1.2　読み取った原稿の画像を仕分けて保存する

まとめて読み取った画像を自動的に仕分けて保存したい場合は、目的選択画面で「仕分けして保存」を選択してジョブを作成します。
ここでは、画像を仕分ける仕切紙に白紙を使用して、出力先のフォルダーを振り分けるジョブの作成手順を例に説明します。
かんたん作成では、以下を使って仕分けができます。

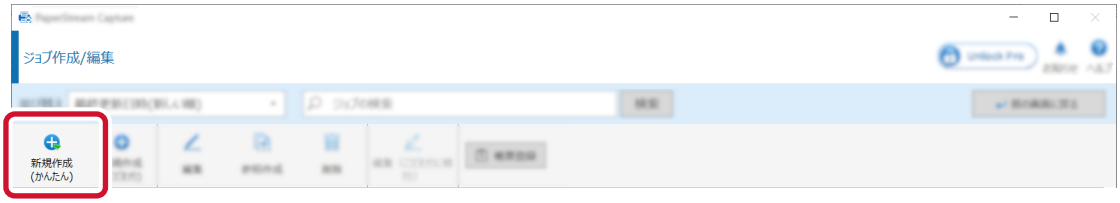
- バーコード
- 白紙
- ページ数
- ゾーン OCR
- パッチコード
- 帳票識別

1　スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。

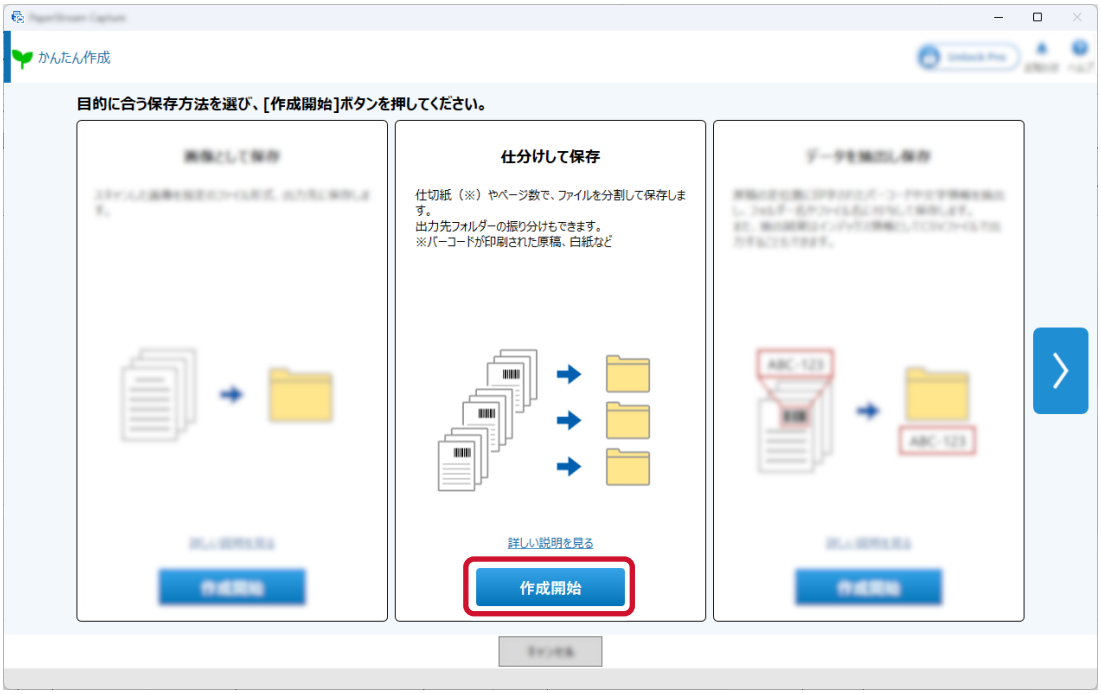
2　PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。



3　［新規作成（かんたん）］ボタンをクリックします。



4 「仕分けして保存」の［作成開始］ボタンをクリックします。



5 「読み取り設定」タブで、使用するスキャナーの選択、および読み取り条件を設定します。



6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 「仕分け設定」タブの「仕分けの種類」で「白紙」をクリックします。



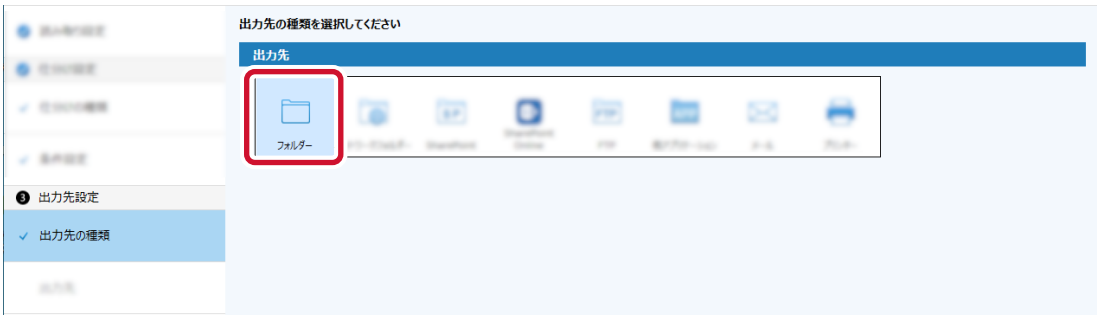
8 ［次へ］ボタンをクリックします。

9 「仕分け設定」タブの「条件設定」で白紙の設定を確認または変更します。



10 ［次へ］ボタンをクリックします。

11 「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」をクリックします。



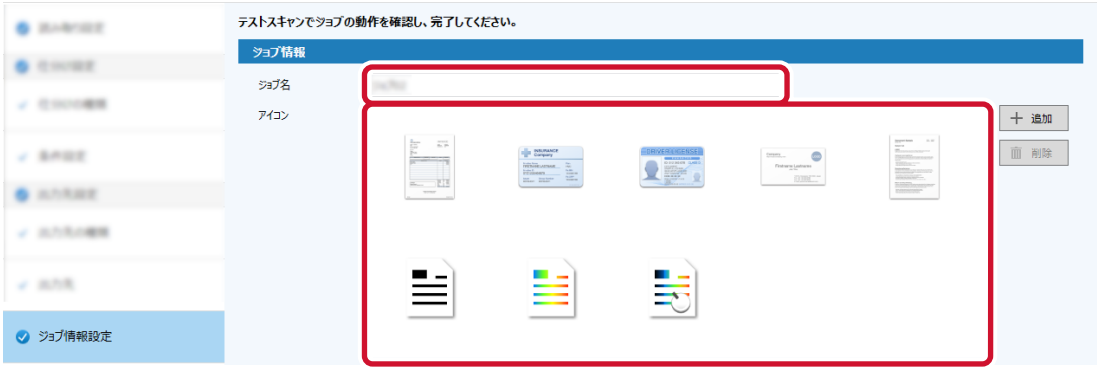
12 ［次へ］ボタンをクリックします。

13 **「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像を保存するフォルダーとファイル名を設定して、画像のファイル形式を選択します。**



14 **［次へ］ボタンをクリックします。**

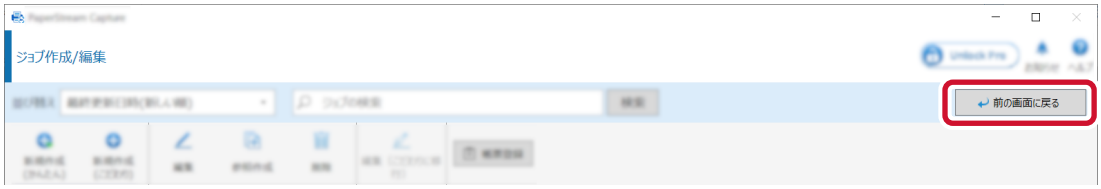
15 **「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。**



16 **各タブの設定が完了したら、ジョブの作成を終了します。**

a **［完了］ボタンをクリックします。**

b **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**



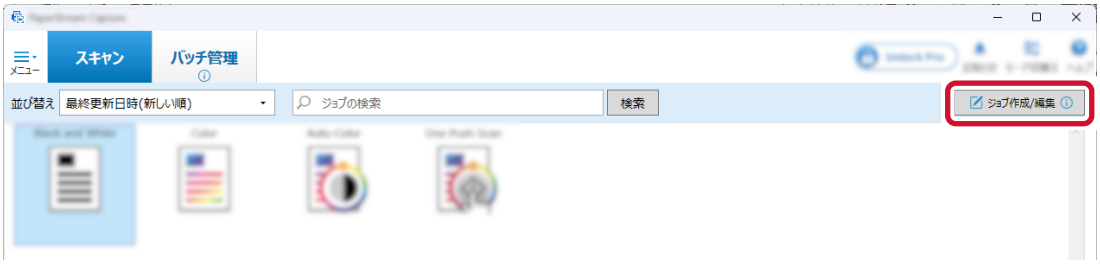
メイン画面に戻ります。

10.1.3 原稿内の文字列をファイル名や保存先のフォルダー名にして保存する

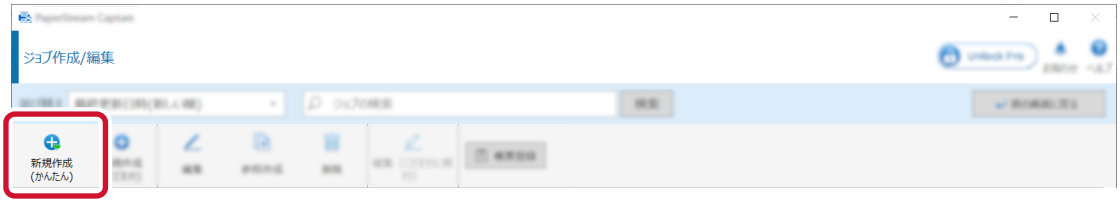
読み取った原稿内の文字列を画像のファイル名や保存先のフォルダー名にしたい場合は、目的選択画面で「データを抽出し保存」を選択してジョブを作成します。
ここでは、特定エリアの文字列を読み取るゾーン OCR 機能を使用して、読み取った文字列をフォルダー名にするジョブの作成手順を例に説明します。

1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。

2 PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。



3 ［新規作成（かんたん）］ボタンをクリックします。



4 「データを抽出し保存」の［作成開始］ボタンをクリックします。



5 「読み取り設定」タブで、使用するスキャナーの選択、および読み取り条件を設定します。



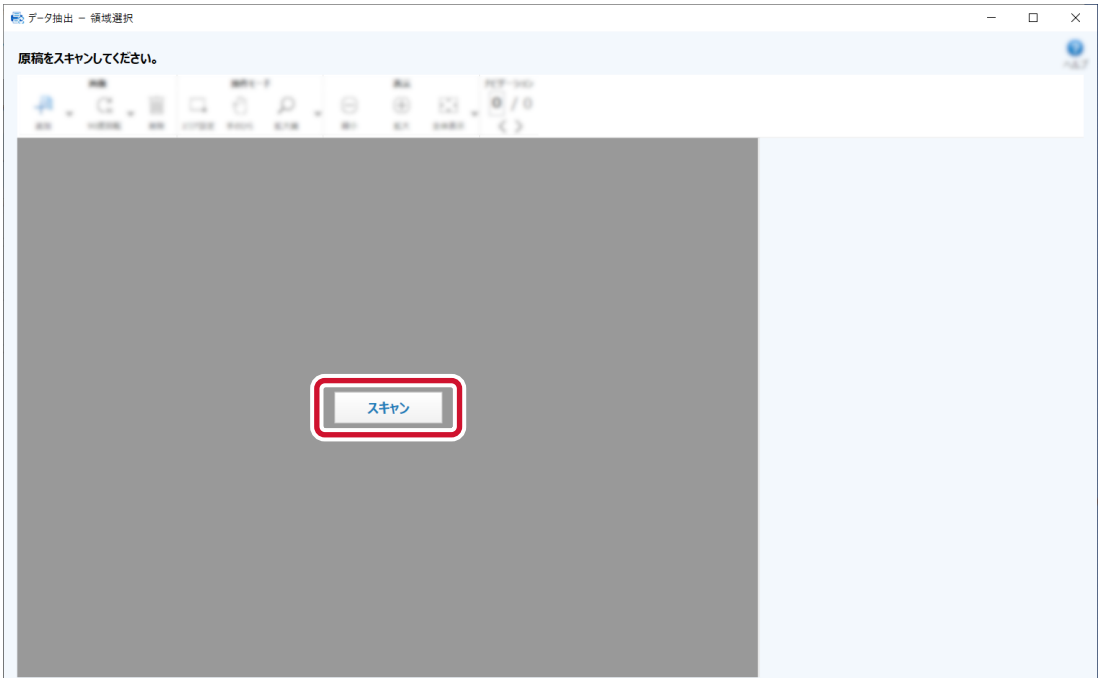
6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 「データ抽出設定」タブでフィールドの種別「ゾーン OCR」をクリックします。

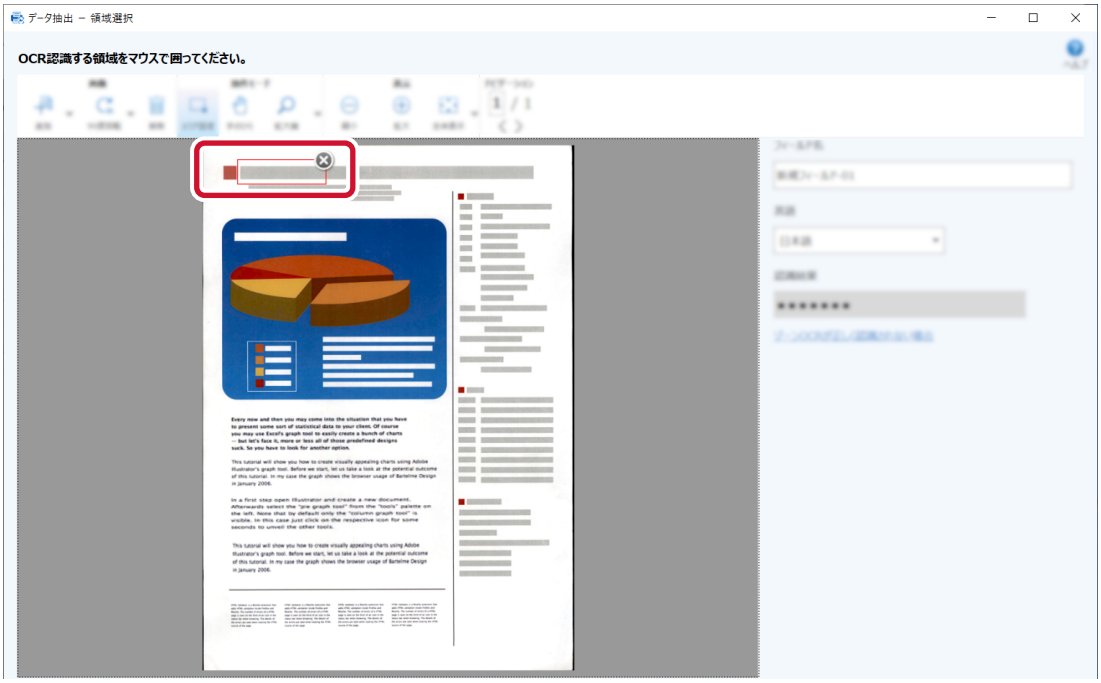


8 ［次へ］ボタンをクリックします。

9 スキャナーに原稿を 1 枚セットして、［スキャン］をクリックします。



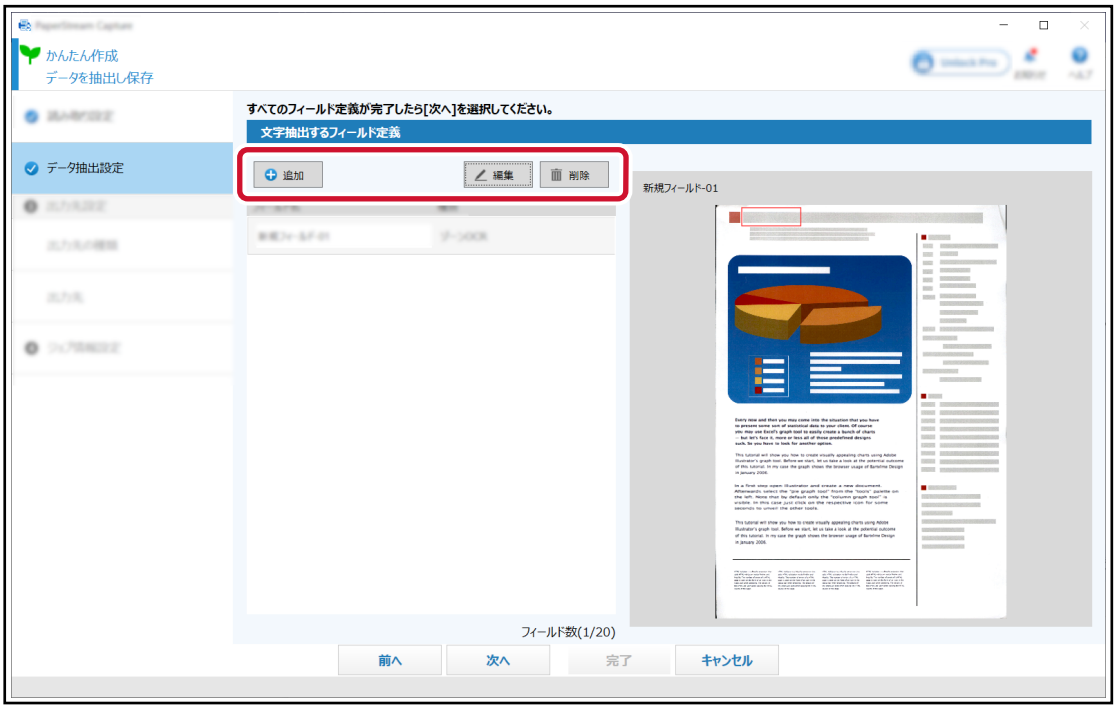
10 読み取った画像上で、ゾーン OCR を検出する領域をドラッグして選択します。



「認識結果」に、選択した領域でのゾーン OCR の認識結果が表示されます。

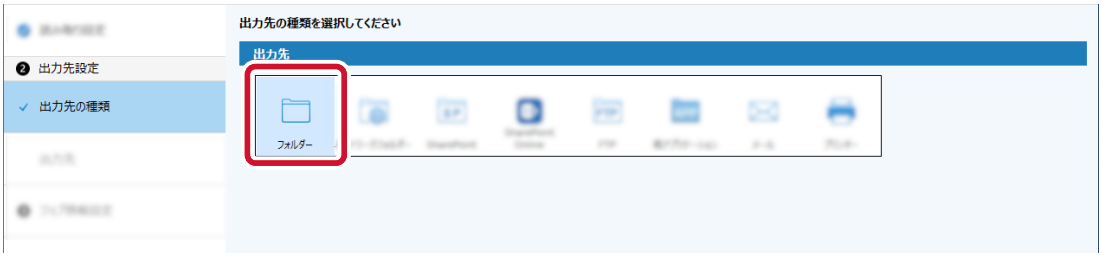
11 正しく認識されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

12 **必要に応じて、フィールド定義の追加、編集、削除を行います。**



13 **［次へ］ボタンをクリックします。**

14 **「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」をクリックします。**



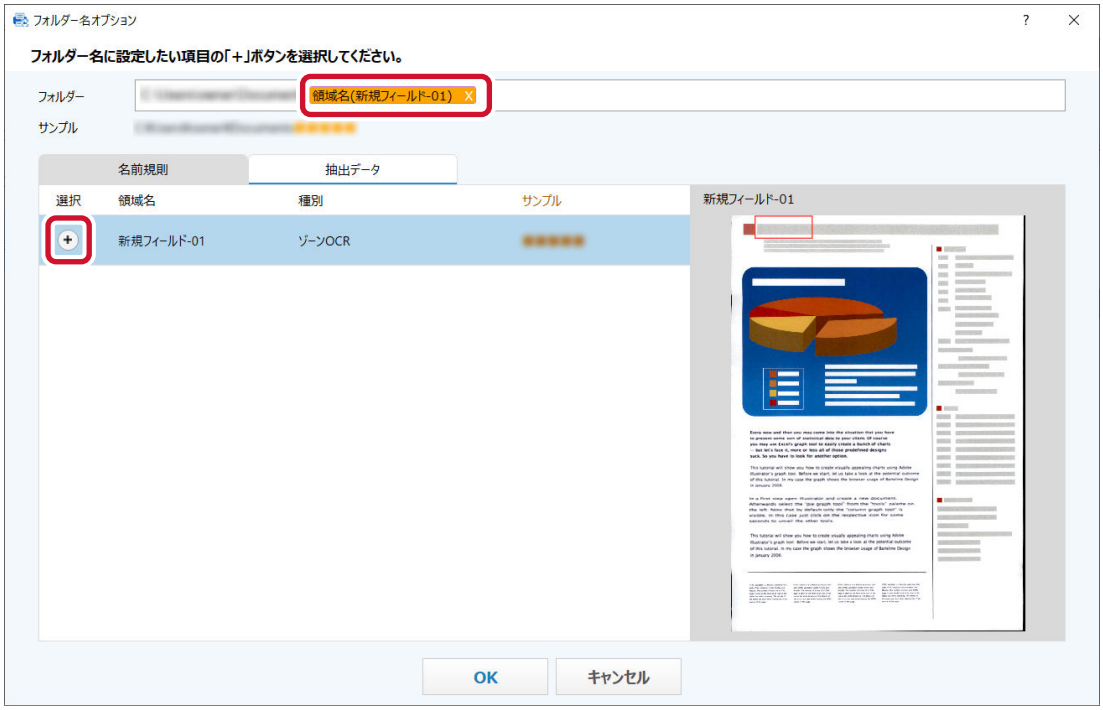
15 **［次へ］ボタンをクリックします。**

16 **「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像の出力先、フォルダー名オプションを使用したフォルダー名、およびファイル名のオプションを選択します。**



［フォルダー名オプション］ボタンをクリックすると、フォルダー名のオプションを指定できます。

a 「抽出データ」タブで、フォルダー名に使用するフィールドの［+］ボタンをクリックします。

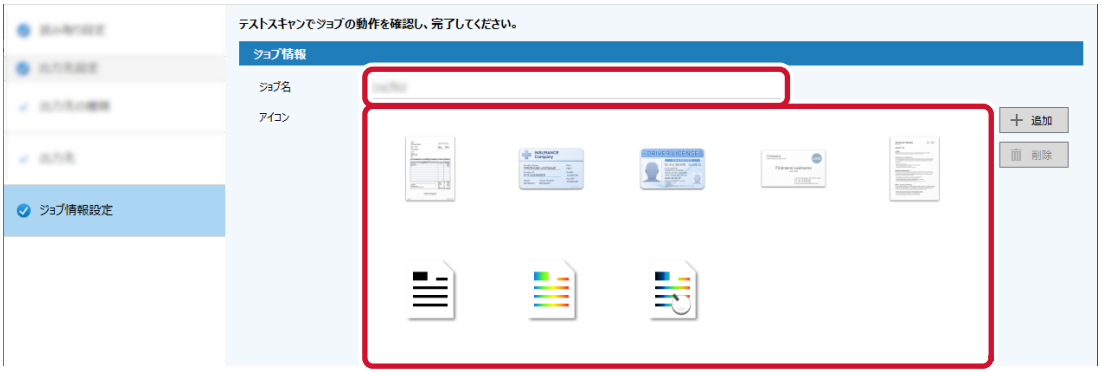


「フォルダー」にフィールド定義が追加されます。

b ［OK］ボタンをクリックします。

17 ［次へ］ボタンをクリックします。

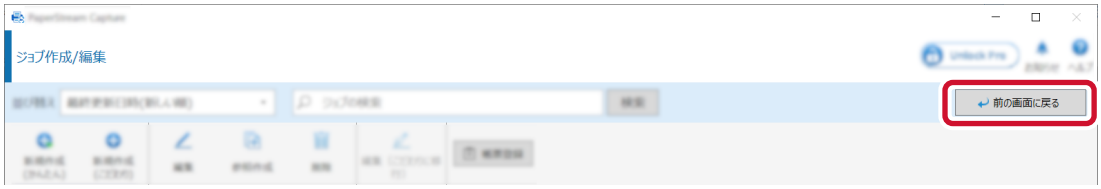
18 「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。



19 各タブの設定が完了したら、ジョブの作成を終了します。

a ［完了］ボタンをクリックします。

b ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。



メイン画面に戻ります。

10.1.4　定型帳票内の文字列をファイル名やフォルダー名にして保存する

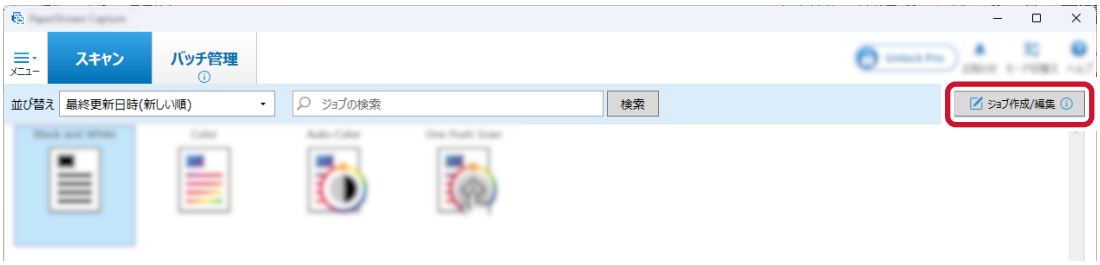
読み取った帳票内の文字列やバーコード/QR コードを画像のファイル名や保存先のフォルダー名にしたい場合は、目的選択画面で「定型帳票からデータを抽出し保存」を選択してジョブを作成します。
ここでは、帳票内の文字列をゾーン OCR 機能を使用して読み取り、読み取った文字列をフォルダー名にするジョブの作成手順を例に説明します。

1　登録する帳票の原稿を用意します。

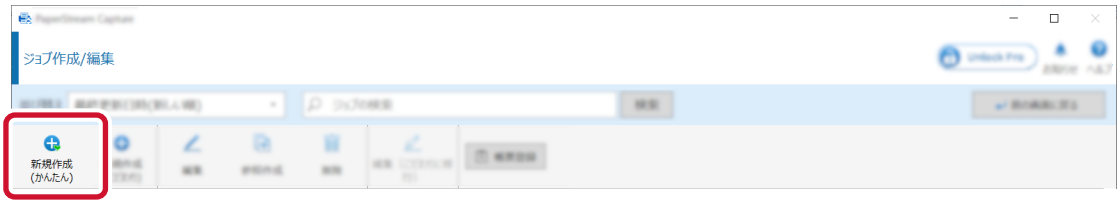
- 帳票は、最大 1000 個まで登録できます。
- 未記入の帳票を登録することを推奨します。
  登録できる帳票の条件については、42.11 定型帳票の条件 (687 ページ)を参照してください。

2　スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。

3　PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。

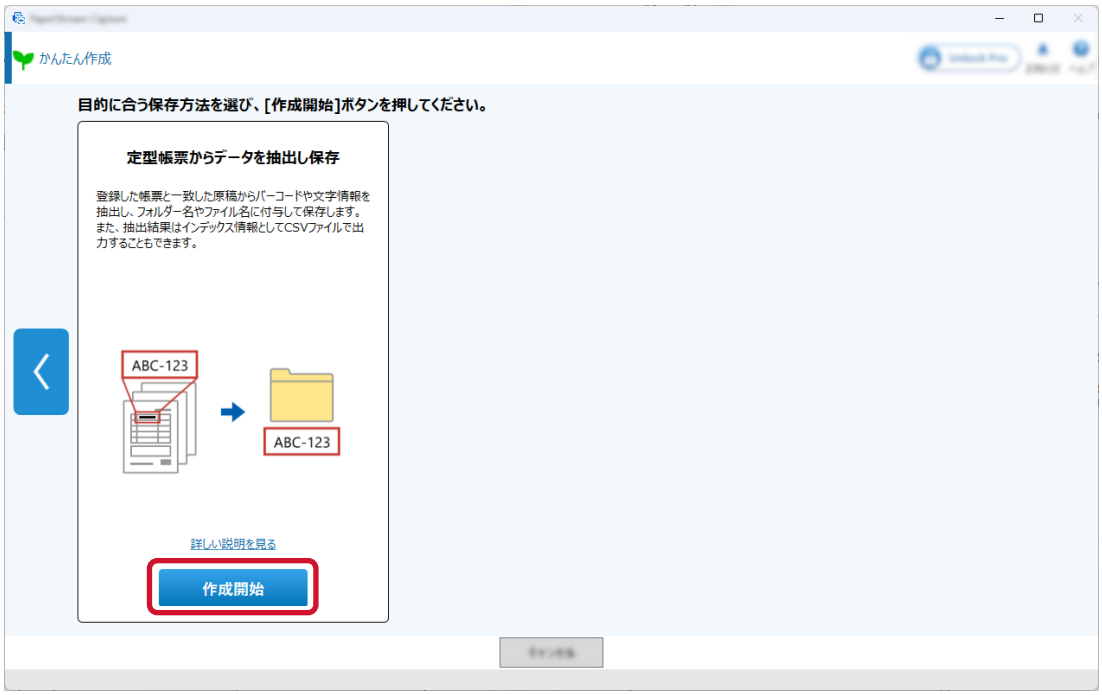


4　［新規作成（かんたん）］ボタンをクリックします。

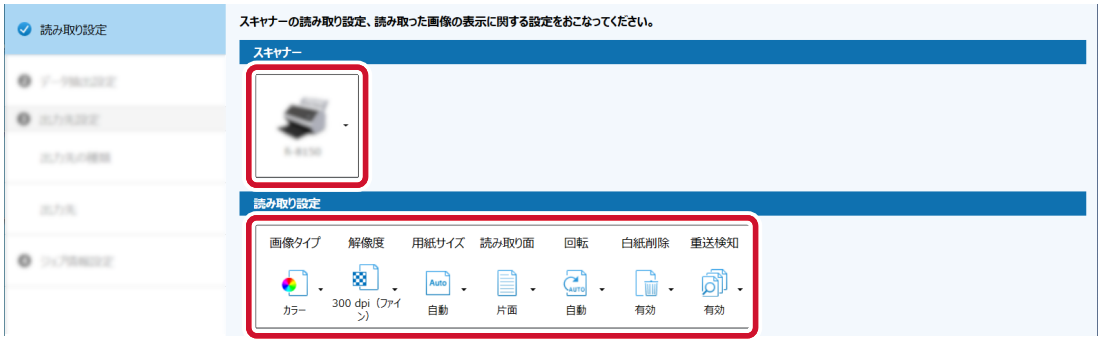


5　〉をクリックして、右へ移動します。

6 「定型帳票からデータを抽出し保存」の［作成開始］ボタンをクリックします。



7 「読み取り設定」タブで、使用するスキャナーの選択、および読み取り条件を設定します。



重要

- 帳票の仕分けやデータ抽出を行うジョブの場合は、帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にすることを推奨します。
  帳票を登録するときは、以下の設定で帳票を読み取ります。設定は変更できません。

  画像タイプ： カラー

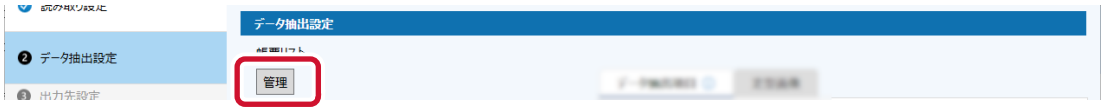
  解像度： 300dpi

  用紙サイズ： 自動

  設定が異なると、文字列やバーコード/QR コードを読み取る認識精度が低くなり、認識結果の表示に時間がかかる場合があります。

8 ［次へ］ボタンをクリックします。

9 「データ抽出設定」タブで、［管理］ボタンをクリックします。



10 帳票を登録します。

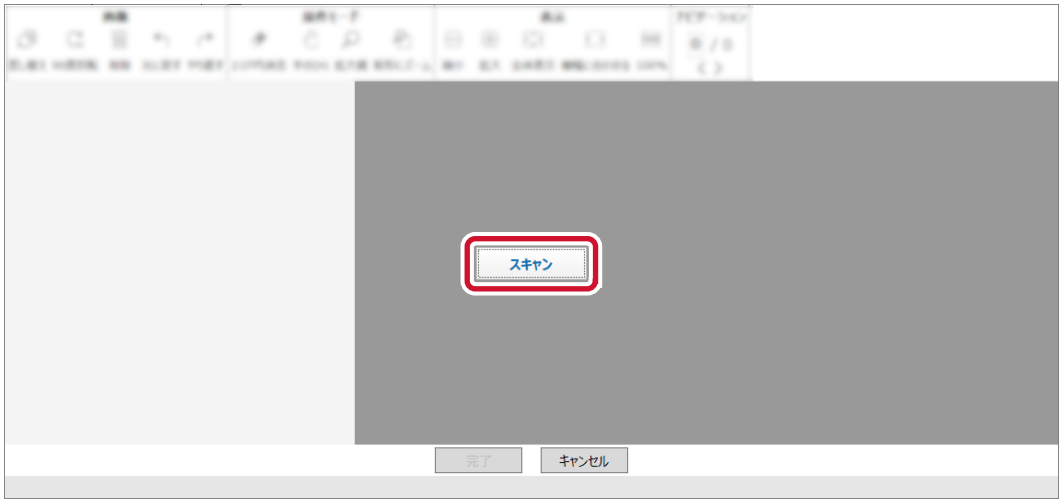
一度に複数の帳票を登録できます。

a 

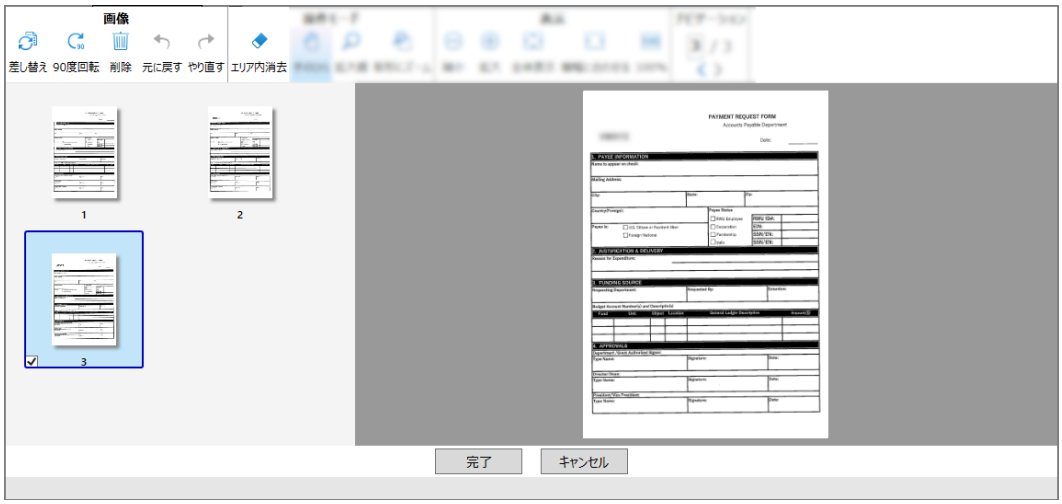
をクリックします。

b スキャナーに、登録する帳票の原稿をセットします。

c ［スキャン］をクリックします。



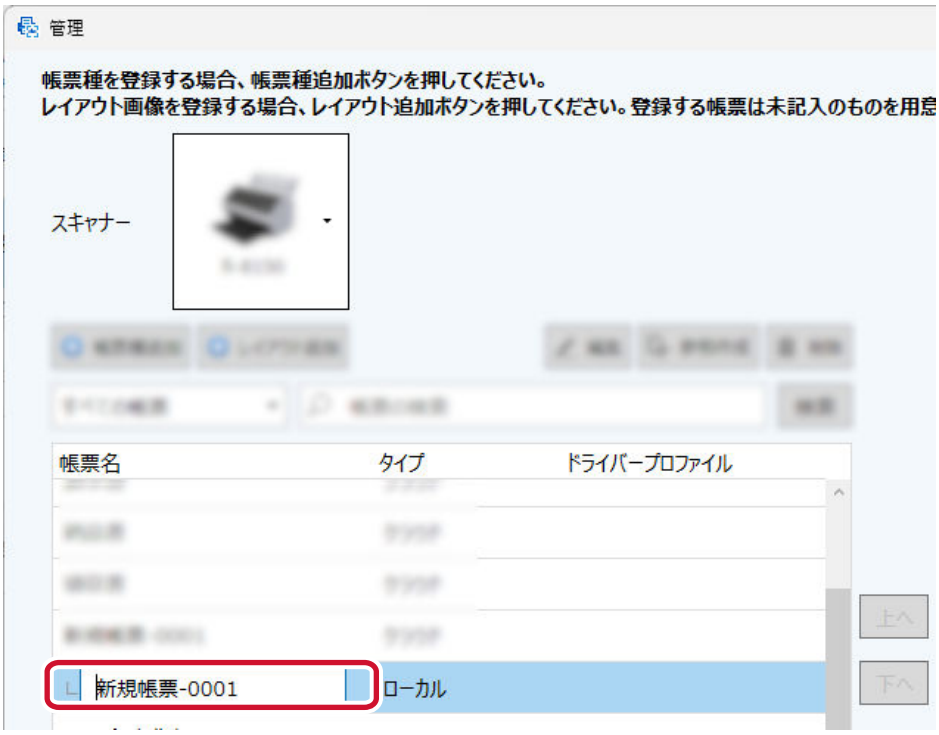
d 読み取った定型帳票の画像を確認します。



- 定型帳票に印字済みの文字領域を認識させる場合は、ツールバーの「エリア内消去」をクリックして、読み取った画像上で対象の印字文字の領域をドラッグして消去します。
- 定型帳票を登録しない場合は、サムネール一覧で対象のページを選択して、ツールバーの「削除」をクリックします。

e **［完了］ボタンをクリックします。**

f **「帳票名」のテキストボックスをクリックして、帳票名を入力します。**



g **必要に応じて、帳票の追加、編集、参照作成、削除を行います。**

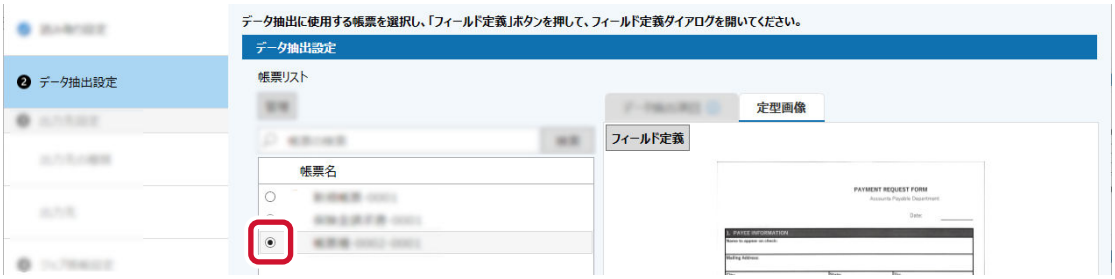
h **［閉じる］ボタンをクリックします。**

11 **「データ抽出設定」タブで、文字列を抽出する帳票を選択します。**

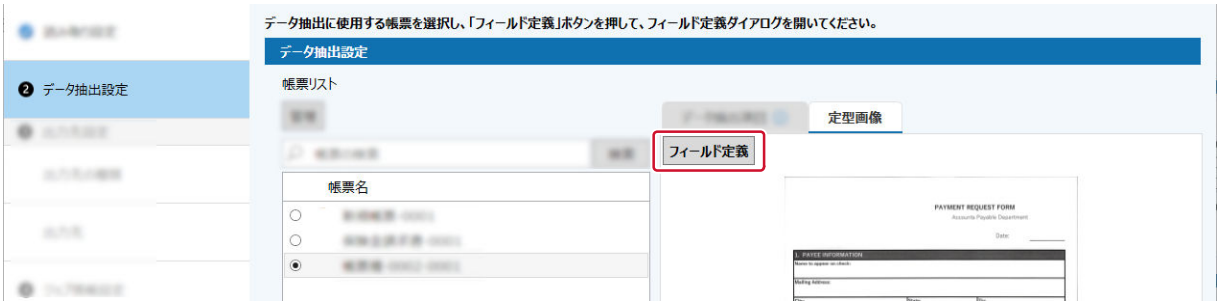
帳票は 1 つだけ選択できます。

帳票リストの帳票名の横に ⚠ が表示されている場合は、⚠ をマウスでポイントすると表示されるメッセージを確認して、対処してください。

選択した登録帳票の画像が表示されます。



12 **［フィールド定義］ボタンをクリックします。**



「フィールド定義」画面が表示されます。

13 **フィールドリストの「追加」をクリックします。**

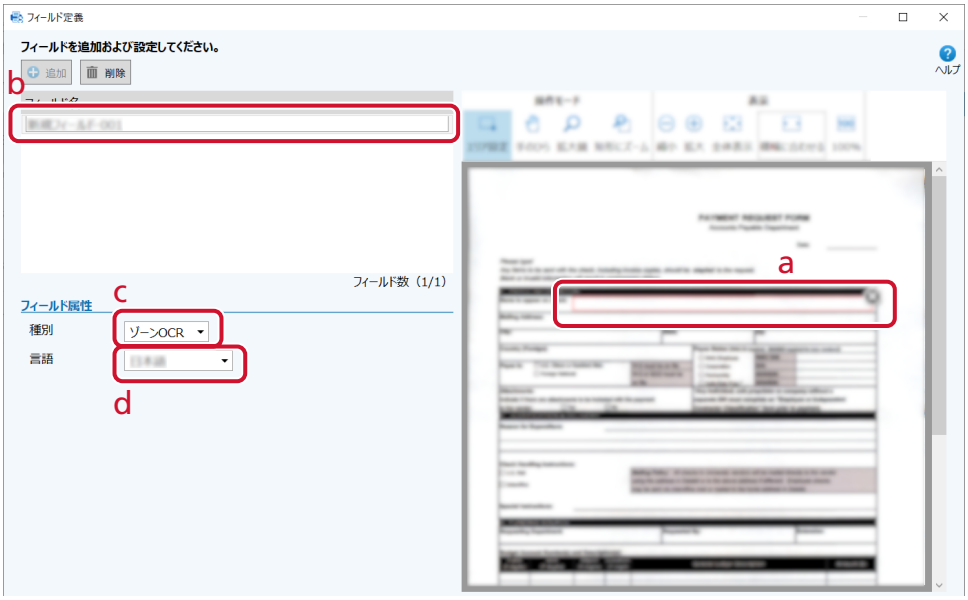
14 **フィールドを設定します。**

a **表示された画像上で、ゾーン OCR を検出する領域をドラッグして選択します。**

b **フィールドリストのフィールド名をクリックして、フィールド名を編集します。**

c **「種別」で「ゾーン OCR」を選択します。**

d **使用する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。**

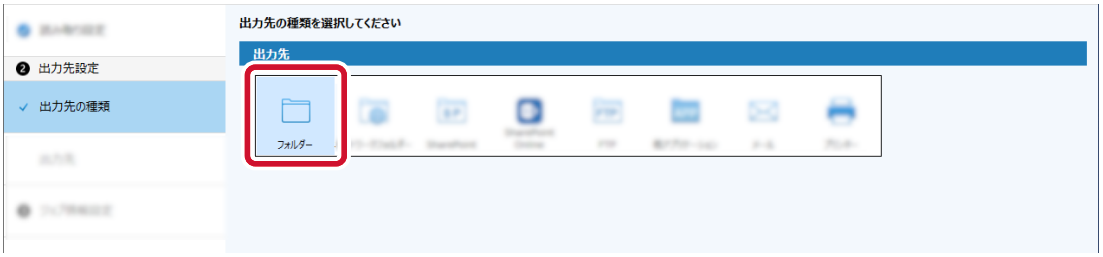


15 **PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium でフィールドを複数追加する場合は、手順 13～14 の操作を繰り返します。**

16 **［完了］ボタンをクリックします。**

17 **［次へ］ボタンをクリックします。**

18 **「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」をクリックします。**



19 **［次へ］ボタンをクリックします。**

20 **「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。**



［フォルダー名オプション］ボタンをクリックすると、「フォルダー名オプション」画面が表示され、フォルダー名のオプションを指定できます。

a 「抽出データ」タブで、フォルダー名に使用するフィールドの［+］ボタンをクリックします。

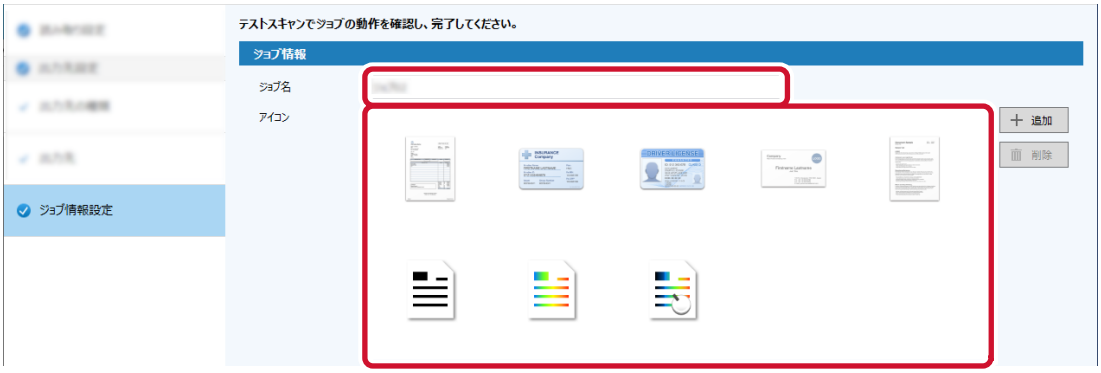


「フォルダー」にフィールド定義が追加されます。

b ［OK］ボタンをクリックします。

21 **［次へ］ボタンをクリックします。**

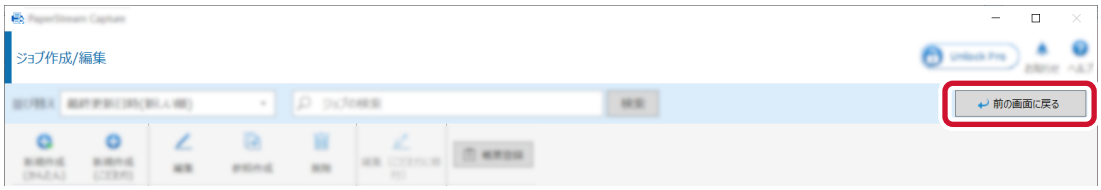
22 「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。



23 各タブの設定が完了したら、ジョブの作成を終了します。

a ［完了］ボタンをクリックします。

b ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。



メイン画面に戻ります。

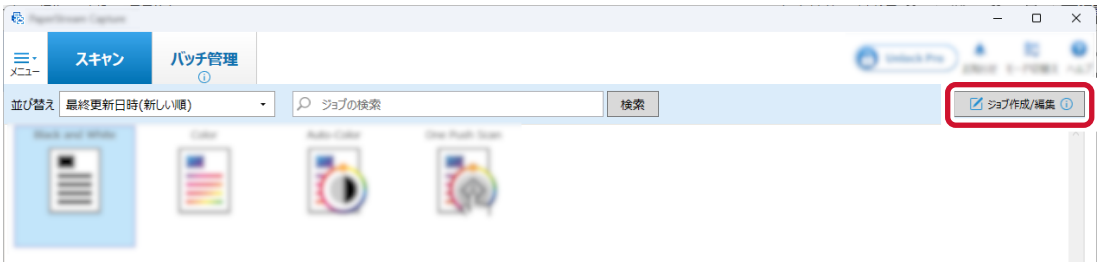
10.2 より高度な読み取り条件を設定する（こだわり作成）

こだわり作成でジョブを作成する手順を説明します。

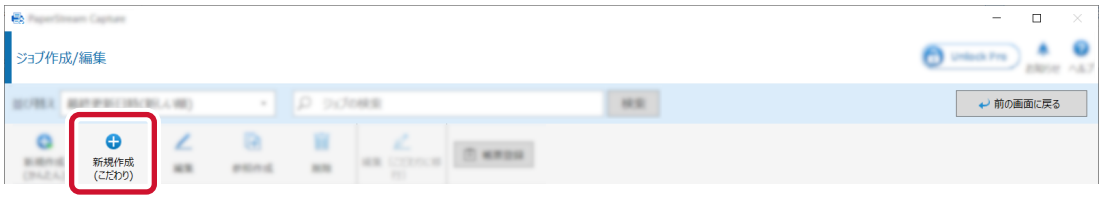
ここでは、A4 原稿を解像度 200dpi の白黒画像で PDF 形式としてファイルを生成して、「SCAN」+「読み取り年月日」+「読み取り時間」（SCANyyyyMMddHHmmss）のファイル名で自動保存するジョブの作成手順を例に説明します。
また、バーコードを検出するごとに読み取りファイルを分割します。

1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認します。

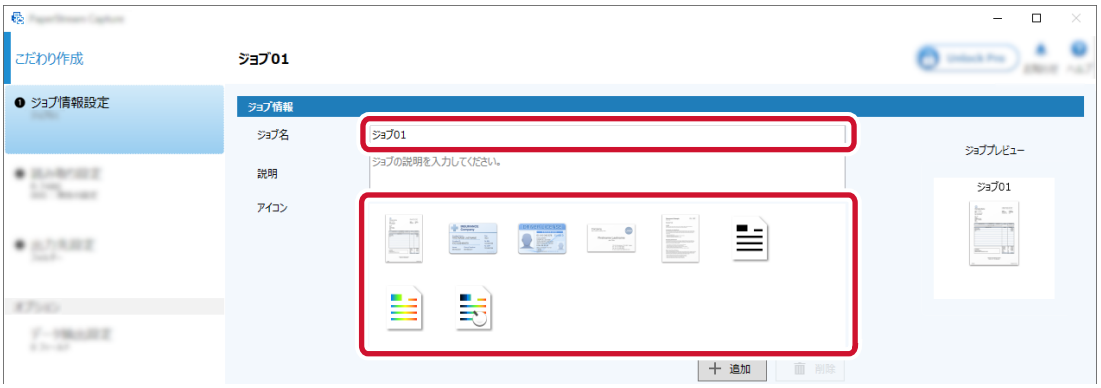
2 PaperStream Capture のメイン画面で、［ジョブ作成/編集］ボタンをクリックします。



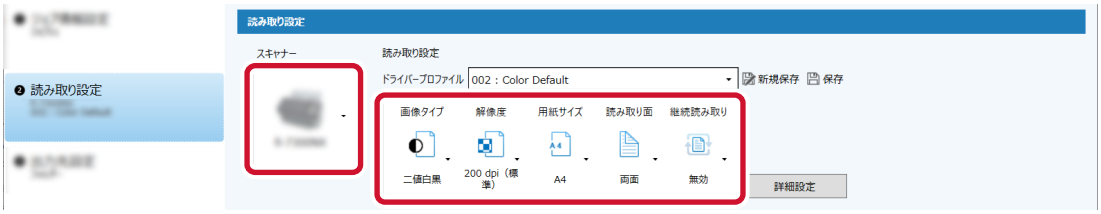
3 **［新規作成（こだわり）］ボタンをクリックします。**



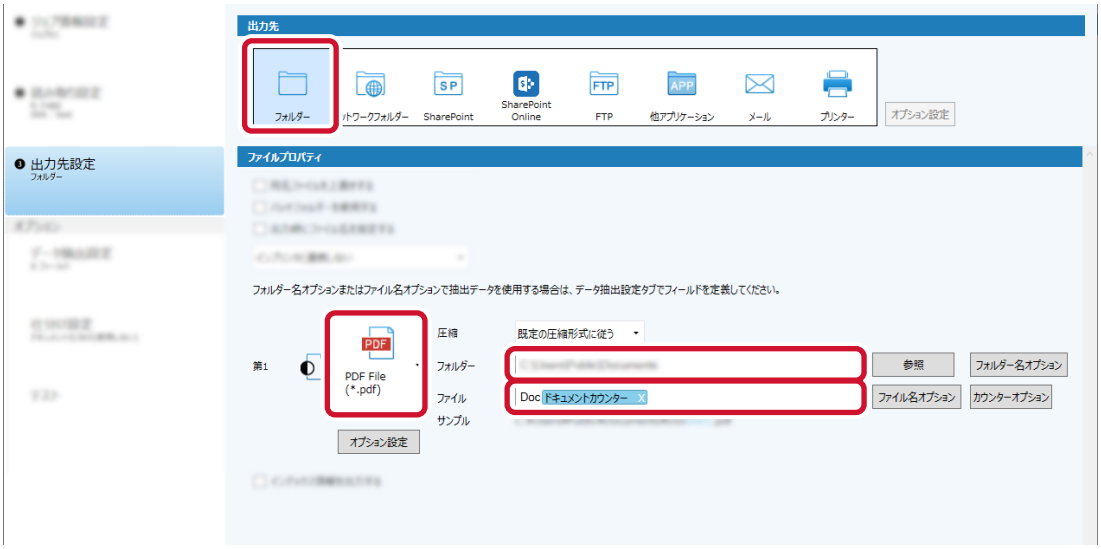
4 **「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。**



5 **「読み取り設定」タブの「スキャナー」で使用するスキャナーを選択します。また、「読み取り設定」で「画像タイプ」、「解像度」、「用紙サイズ」、および「読み取り面」を設定します。**



6 **「出力先設定」タブで、出力先の種類、出力ファイルの形式、ファイルの出力先、およびファイル名を設定します。**



［ファイル名オプション］ボタンをクリックするとメニューが表示され、ファイル名のオプションを指定できます。ファイル名を「SCAN」＋「読み取り年月日」＋「読み取り時間」（SCANyyyyMMddHHmmss）の形式にする場合は、以下の手順で設定します。

a 「ファイル名」に「SCAN」と入力します。

b ［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

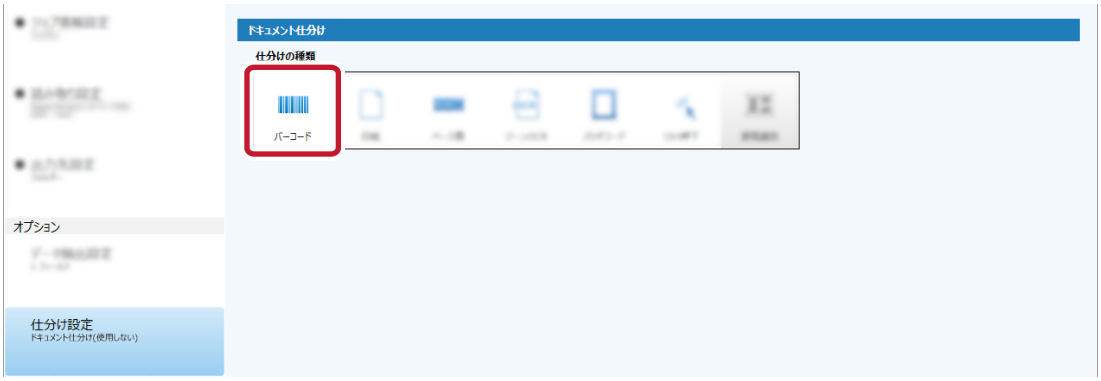
c 「出力日」-「yyyyMMdd」を選択します。



d 「出力時刻」-「HHmmss-24 時間表記」を選択します。



7 「仕分け設定」タブの「仕分けの種類」で「バーコード」を選択します。



8 分割に使用する原稿に複数のバーコードがある場合は、「バーコード文字列」チェックボックスにチェックを付けます。認識させたいバーコードの文字列を入力し、ドロップダウンリストから認識の条件を選択します。



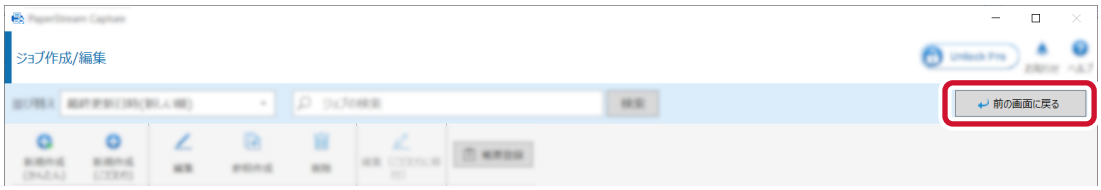
9 各タブで設定内容の変更が完了したら、ジョブの作成を終了します。

a ［保存］ボタンをクリックします。

b ［閉じる］ボタンをクリックします。



c ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。



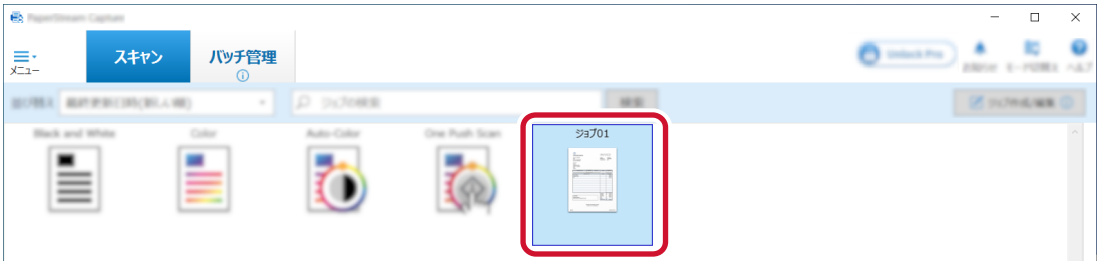
メイン画面に戻ります。

第 11 章
原稿を読み取る（バッチスキャンモード）

PaperStream Capture の画面から、ジョブを使用して原稿を読み取る手順を説明します。

1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認し、読み取る原稿をセットします。

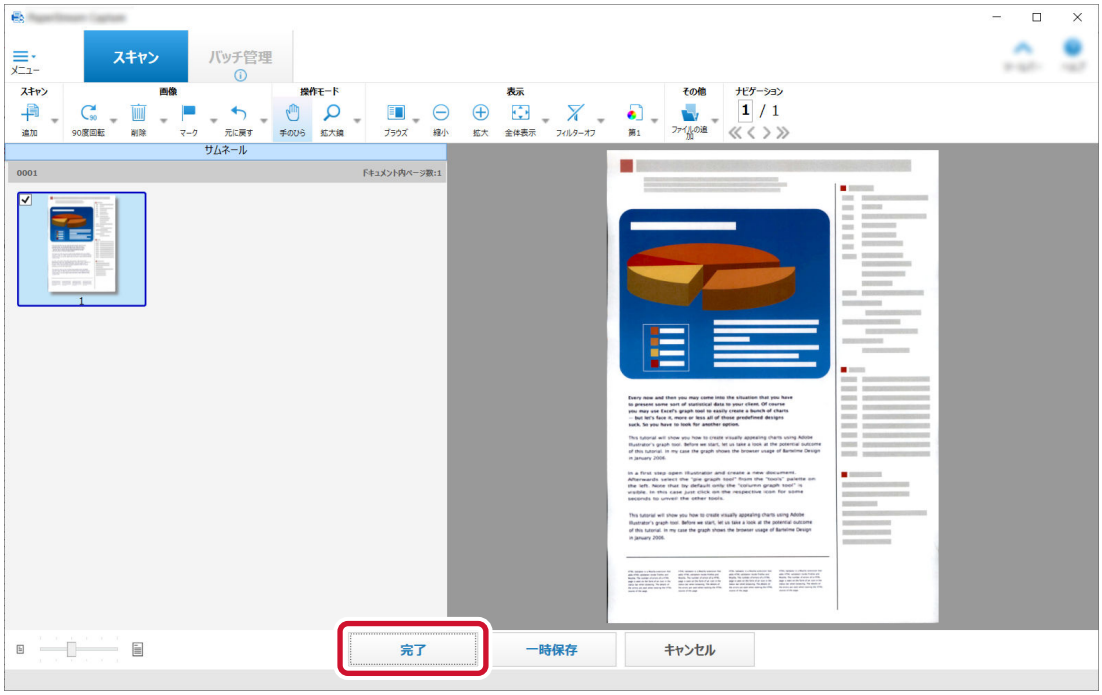
2 PaperStream Capture のメイン画面で、使用するジョブのアイコンをクリックします。
使用するジョブのアイコン（ここでは「ジョブ 01」）をクリックします。ジョブを作成していない場合は、サンプルジョブをクリックします。



原稿の読み取りが開始されます。

読み取りが完了したら、画像を確認 / 編集する画面が表示されます。

3 読み取った画像を確認し、[完了] ボタンをクリックします。
読み取った画像を修正したい場合は、[完了] ボタンをクリックせず、11.1 読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード） (98 ページ)を参照してください。



ジョブで指定した出力先のフォルダーにファイルが保存されます。

ヒント

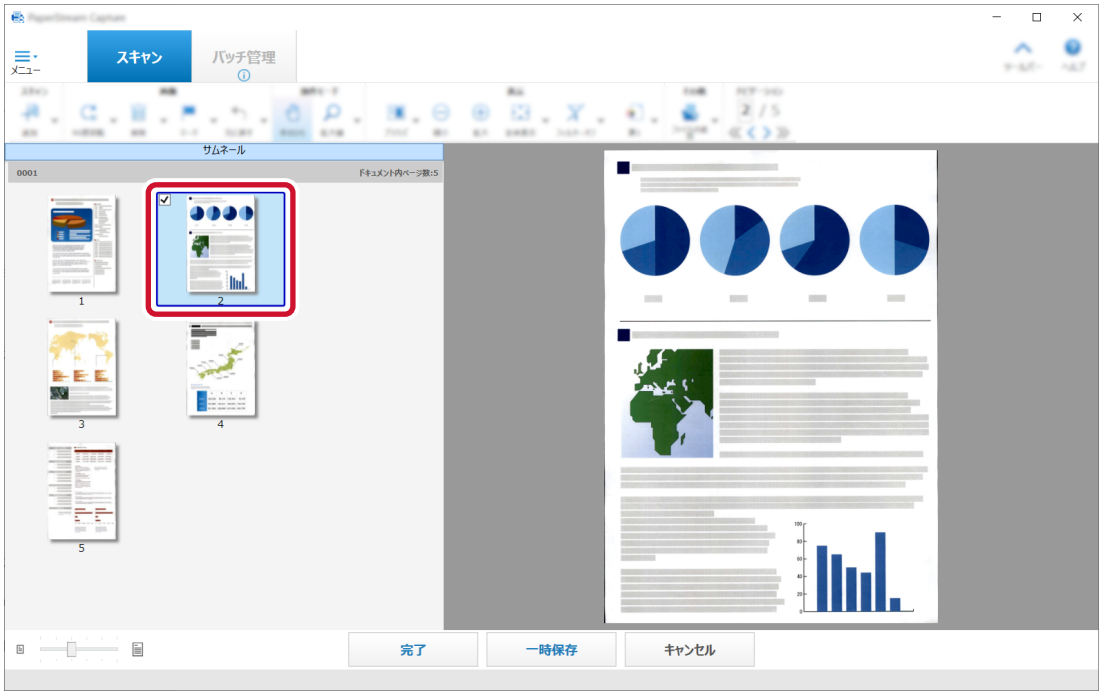
- 読み取り中に、読み取りを中止する場合は、ツールバーの「キャンセル」をクリックしてください。また、「読み取り設定」タブの「画像表示オプション」にある「スキャン中に画像表示」の設定により、以下の方法でも読み取りを中止できます。

- 「スキャン中に画像表示」を選択している場合
  キーボードの「Esc」キーを押す
- 「スキャン中に画像表示」を選択していない場合
  ジョブ上に表示された［キャンセル］ボタンをクリックする

11.1 読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード）

原稿を読み取ったあとに表示される画像を確認 / 編集する画面で、読み取った画像を編集したり、再度原稿を読み取って追加または差し替えたりできます。

1 サムネールで対象のページを選択します。

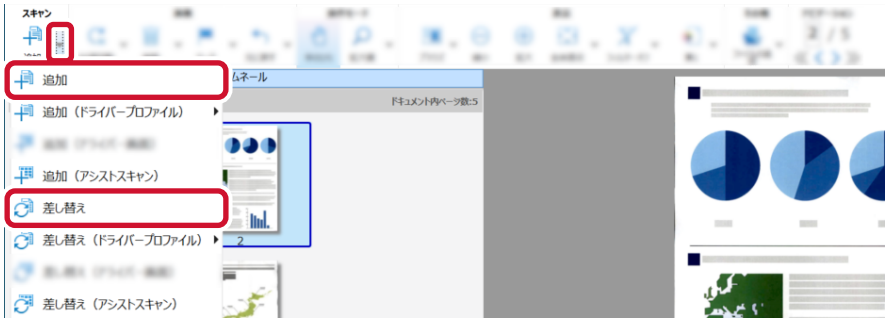


2 ツールバーで目的のアイコンをクリックします。

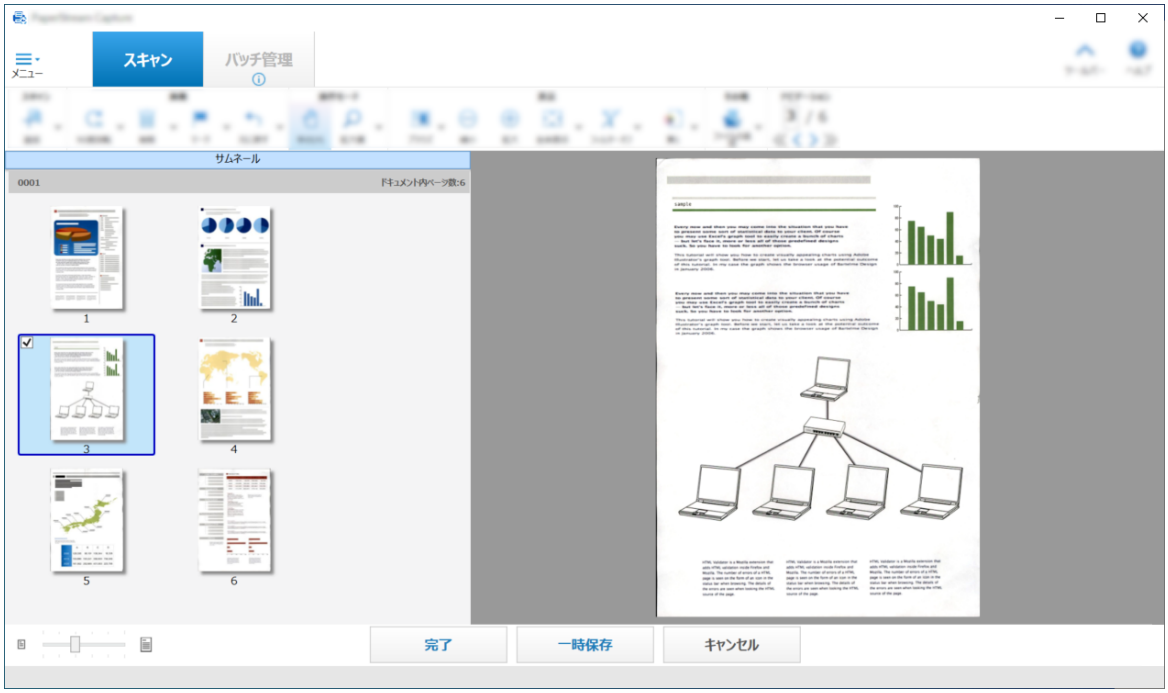
表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

追加または差し替える画像を、新たに読み取る場合

追加または差し替える原稿をスキャナーにセットします。
ツールバーの「追加」の右側にある▼をクリックして、「追加」または「差し替え」をクリックすると、原稿の読み取りが開始されます。



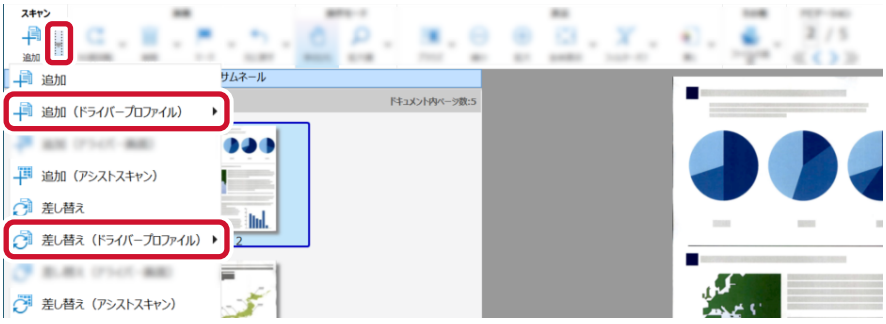
「追加」をクリックした場合は、選択したページのあとに画像が追加されます。
「差し替え」をクリックした場合は、選択したページが削除され画像が挿入されます。



追加または差し替える画像の読み取り条件を変更して、新たに読み取る場合

こだわり作成のジョブを使用して原稿を読み取った場合、追加で原稿を読み取るときに、読み取り条件を変更できます。
このツールを選択できる条件については、第 28 章 ツールバー (440 ページ)を参照してください。

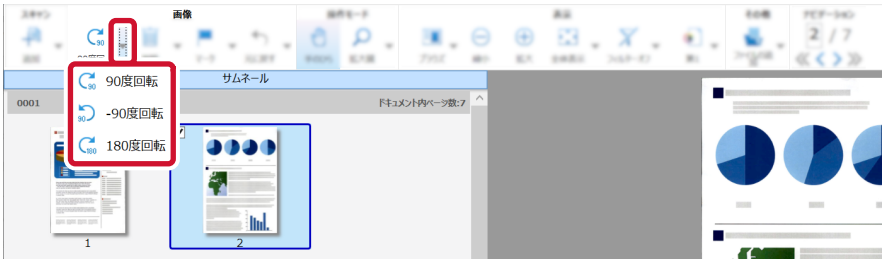
- 別のドライバープロファイルに変更して読み取る
  追加または差し替える原稿をスキャナーにセットします。
  ツールバーの「追加」の右側にある▼をクリックして、「追加（ドライバープロファイル）」または「差し替え（ドライバープロファイル）」をクリックして、変更するドライバープロファイルを選択すると、原稿の読み取りが開始されます。



「追加（ドライバープロファイル）」をクリックした場合は、選択したページのあとに画像が追加されます。
「差し替え（ドライバープロファイル）」をクリックした場合は、選択したページが削除され画像が挿入されます。

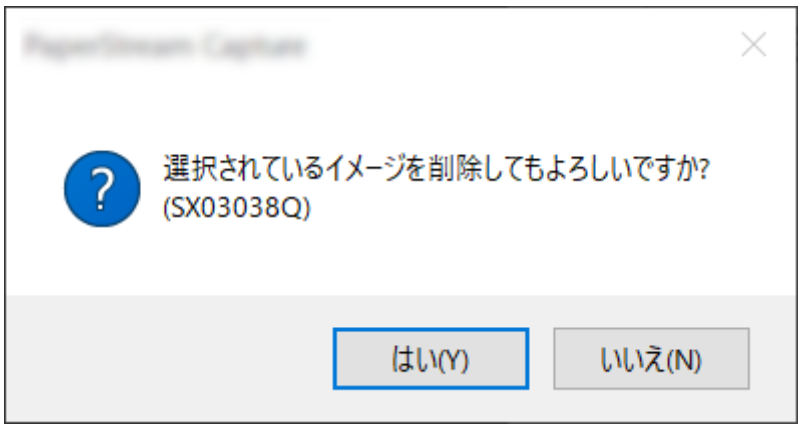
選択したページを回転する場合

ツールバーの「90 度回転」の右側にある▼をクリックして、「90 度回転」、「-90 度回転」または「180 度回転」をクリックすると、選択したページが回転されます。



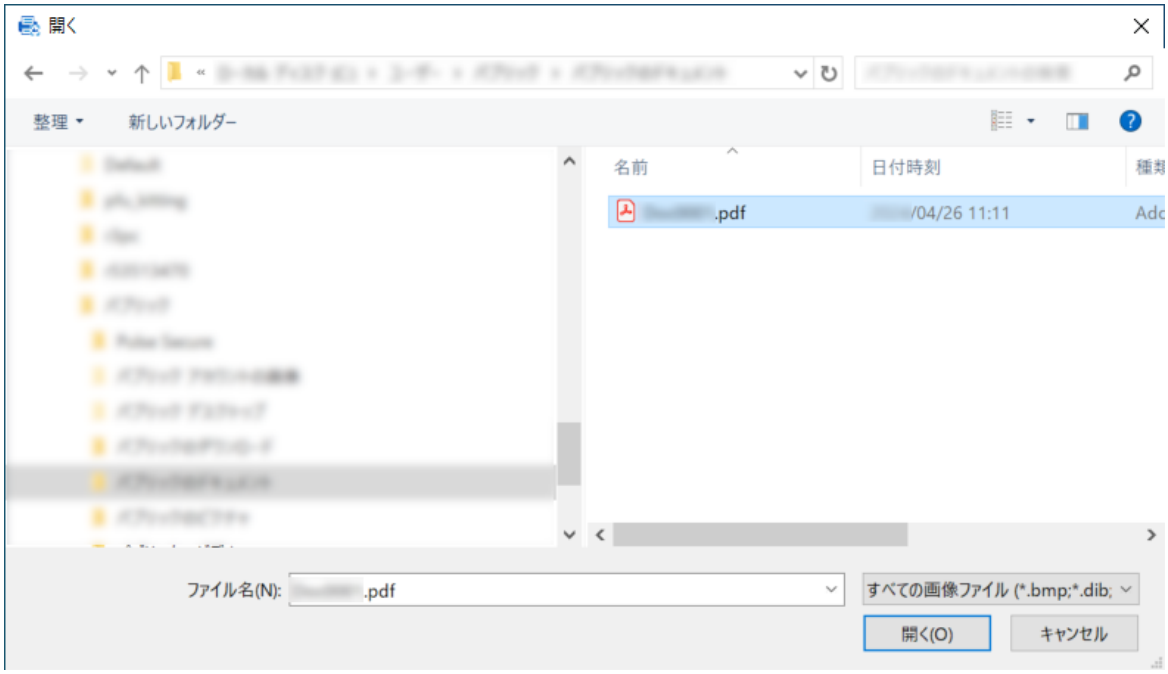
選択したページを削除する場合

ツールバーの「削除」アイコンをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、選択したページが削除されます。



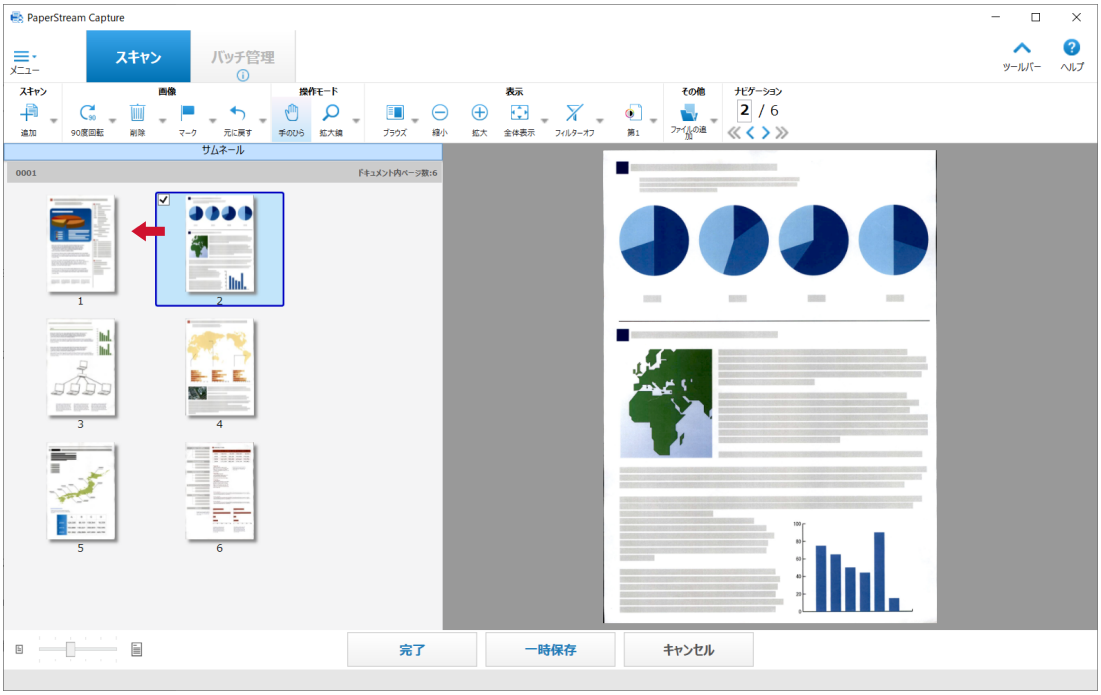
追加または差し替える画像を、保存済み画像から選択する場合

ツールバーの「ファイルの追加」をクリックすると、追加するファイルを選択する画面が表示されます。対象のファイルを選択して［開く］ボタンをクリックすると、選択したページのあとに画像が追加されます。

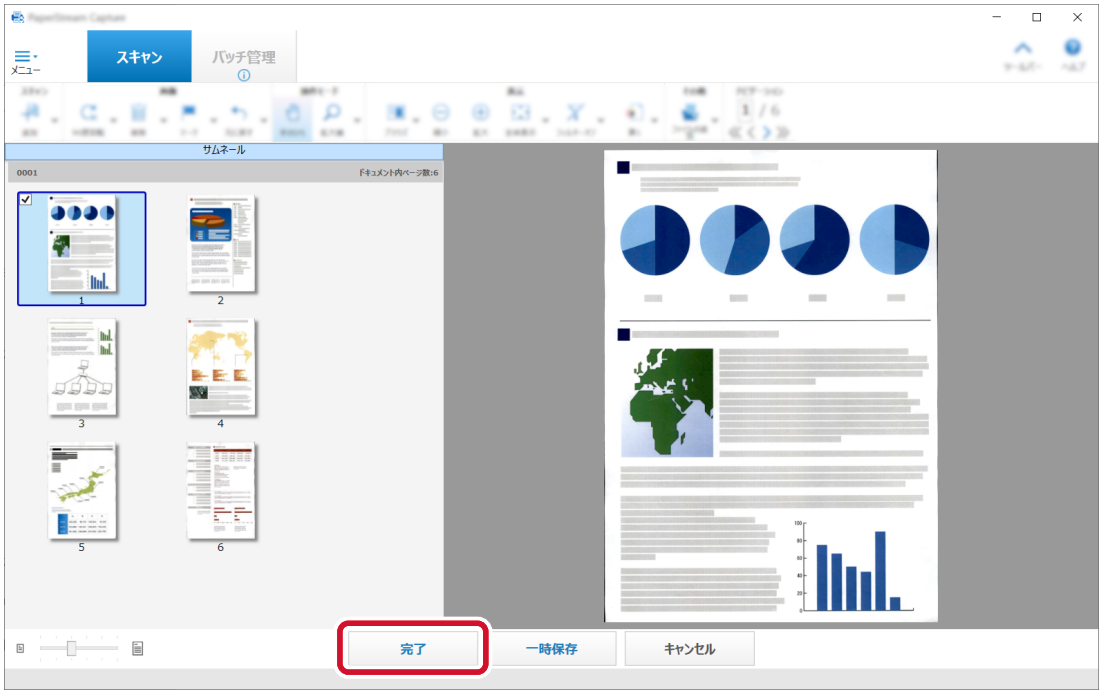


読み取ったページを並べ替える場合

サムネール上で選択したページをマウスでクリックしたまま、移動したい場所へドラッグ&ドロップして並べ替えます。



3 編集が終わったら、[完了] ボタンをクリックします。



ヒント

- 既存のジョブの設定では最適な画像が得られない場合、PaperStream IP ドライバーの「アシストスキャン」機能を使用すると簡単に画像を補正できます。

  ➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

11.2 ジョブの設定を一時的に変更して読み取る（バッチスキャンモード）

アドホックスキャン機能を使用すると、一時的にジョブの読み取り条件を変更して原稿を読み取れます。読み取りが完了すると、ジョブの読み取り条件は元に戻ります。

1 スキャナーに原稿をセットします。

➡ 使用しているスキャナーのオペレーターガイド

2 次の操作をします。

- PaperStream Capture の場合
  第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)で、ジョブを右クリックすると表示される「アドホックスキャン」を選択します。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  第 23 章 「スキャン&インデックス」画面 (424 ページ)または第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)で、ジョブを右クリックすると表示される「アドホックスキャン」を選択します。

アドホックスキャンのジョブ作成画面が表示されます。

3 読み取り条件を変更します。

4 ［スキャン］ボタンをクリックします。

読み取り条件に従って読み取りを開始します。

- PaperStream Capture の場合、読み取りまたは取り込みが完了すると、第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)が表示されます。
- PaperStream Capture Pro の場合、読み取りまたは取り込みが完了すると、画像を確認 / 編集する画面が表示されます。
- PaperStream Capture Pro Premium の場合、19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の「スキャナー」で「PaperStream IP Import」を選択しているジョブで、「フォルダーの参照」画面が表示された場合は、取り込むファイルが格納されているフォルダーを選択します。
  読み取りまたは取り込みが完了すると、画像を確認 / 編集する画面が表示されます。

重要

- 「読み取り設定」タブの「スキャナー」でスキャナーを選択したり、「読み取り設定」の［詳細設定］ボタンから PaperStream IP ドライバーの画面を開いたりなど、選択中のスキャナーに PaperStream Capture がアクセスして設定する操作では、「ジョブ作成/編集」画面を閉じるまで該当のスキャナーは占有されます。
  占有中は、ほかのアプリケーションで該当のスキャナーを使用できません。

11.3 インデックスを編集する（バッチスキャンモード）

抽出データの設定がされているページのフィールドを変更したり、新たに追加したりします。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、ゾーン OCR の認識領域にマスキングを設定している場合、マスキングのエリアはフィールドのサイズや位置と連動します。

1 第 28 章 ツールバー (440 ページ)の「表示」が「オールインワン」または「フルページ」になっているかを確認します。

抽出データが設定されているページは、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
フィールドパネルには、認識結果がフィールド値として表示されます。
ビューアーには、ページと指定されている認識領域が枠囲みで表示されます。
認識領域は、以下の枠で表示されます。

- ゾーン OCR、パスポート、ID カード（TD1）、ID カード（TD2）の場合
  赤枠
- バーコードの場合、JSON 解析または直接入力（PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium）の場合
  青枠

2 フィールドパネルで、編集するフィールドを選択します。

3 ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリックします。

「エリア設定」以外のツールが非活性になり、認識領域の枠にキャンセルボタン（）が表示されます。

4 認識領域の位置を変更する場合は、枠を選択し、移動します。認識領域のサイズを変更する場合は、キャンセルボタン（）をクリックし、すでに指定されている認識領域を削除してから、認識したい領域に合わせてマウスでドラッグします。

5 ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリックします。

「エリア設定」が解除されます。

6 フィールドパネルに表示されている認識結果を確認し、変更する場合は、直接入力します。

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、「データ抽出定義」の「適用ページ」の設定によって、抽出データは以下のようになります。

- 「指定ページ」を設定した場合
  抽出データは、ドキュメントで 1 つ付与され、読み取ったときに指定ページから取得します。
- 「全ページ」を設定した場合
  抽出データは、ドキュメントの各ページに付与されます。

「データ抽出定義」の「適用ページ」で「指定ページ」を設定した場合、設定したページとは異なるページをビューアーに表示した状態で、フィールドパネルにフィールド値を入力すると、ビューアーで表示しているページのフィールド値として抽出データが反映されます。
例えば、「データ抽出定義」の「適用ページ」で「指定ページ」に「1」を設定した場合、設定した 1 ページとは異なる 3 ページを表示した状態で、フィールドパネルにフィールド値を入力すると、3 ページのフィールド値として抽出データが反映されます。

重要

- PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用してパスポートまたは ID カード（TD1 および TD2 に準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）をフィールドの認識領域として自動的に指定します。
- パスポートの MRZ について
  - MRZ は、44 桁 2 行で構成されています。詳細は、42.8 パスポートの検知条件 (682 ページ)を参照してください。
    MRZ の 1 行目を「MRZ 上段」、2 行目を「MRZ 下段」としています。
    「MRZ 上段」には、「姓」、「名」、および「発行国」の情報が含まれています。
    「MRZ 下段」には、「旅券番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、および「個人番号」の情報が含まれています。
    そのため、「フィールド属性」で指定した「種別」が「MRZ 上段」や「姓」、「名」、または「発行国」の場合は、MRZ の上段部分が認識領域に指定されます。「種別」が「MRZ 下段」や「旅券番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、または「個人番号」の場合は、MRZ の下段部分が認識領域に指定されます。
    「エリア設定」でフィールドの認識領域を変更する場合は、情報が含まれている MRZ の段（44 桁）が認識領域に含まれるように指定してください。
  - 「MRZ 上段」や「MRZ 下段」のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値に反映されます。
    同様に、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」のフィールド値にも反映されます。

ただし、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールドに、ICAO（国際民間航空機関）の規格に沿わない値を入力した場合は、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」のフィールド値には反映されません。

- ID カード（TD1 準拠）の MRZ について
  - MRZ は、30 桁 3 行で構成されています。詳細は、42.9 ID カード（TD1）の検知条件 (684 ページ)を参照してください。
    MRZ の 1 行目を「MRZ 上段」、2 行目を「MRZ 中段」、3 行目を「MRZ 下段」としています。
    「MRZ 上段」には、「発行国」、「文書番号」、および「発行国拡張情報上段」の情報が含まれています。
    「MRZ 中段」には、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、「国籍」、および「発行国拡張情報中段」の情報が含まれています。
    「MRZ 下段」には、「姓」および「名」の情報が含まれています。
    そのため、「フィールド属性」で指定した「種別」が「MRZ 上段」や「発行国」、「文書番号」、または「発行国拡張情報上段」の場合は、MRZ の上段部分が認識領域に指定されます。「種別」が「MRZ 中段」や「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、「国籍」、または「発行国拡張情報中段」の場合は、MRZ の中段部分が認識領域に指定されます。「種別」が「MRZ 下段」や「姓」または「名」の場合は、MRZ の下段部分が認識領域に指定されます。
    「エリア設定」でフィールドの認識領域を変更する場合は、情報が含まれている MRZ の段（30 桁）が認識領域に含まれるように指定してください。
  - 「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値に反映されます。
    同様に、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」のフィールド値にも反映されます。
    ただし、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールドに、ICAO（国際民間航空機関）の規格に沿わない値を入力した場合は、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」のフィールド値には反映されません。
- ID カード（TD2 準拠）の MRZ について
  - MRZ は、36 桁 2 行で構成されています。詳細は、42.10 ID カード（TD2）の検知条件 (686 ページ)を参照してください。
    MRZ の 1 行目を「MRZ 上段」、2 行目を「MRZ 下段」としています。
    「MRZ 上段」には、「発行国」、「姓」、および「名」の情報が含まれています。
    「MRZ 下段」には、「文書番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、 「有効期間満了日」、および「拡張情報」の情報が含まれています。
    そのため、「フィールド属性」で指定した「種別」が 「MRZ 上段」や「発行国」、「姓」、または「名」の場合は、MRZ の上段部分が認識領域に指定されます。 「種別」が「MRZ 下段」や「文書番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、または「拡張情報」の場合は、MRZ の下段部分が認識領域に指定されます。
    「エリア設定」でフィールドの認識領域を変更する場合は、情報が含まれている MRZ の段（36 桁）が認識領域に含まれるように指定してください。
  - 「MRZ 上段」、「MRZ 下段」のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値に反映されます。
    同様に、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」のフィールド値にも反映されます。

ただし、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールドに、ICAO（国際民間航空機関）の規格に沿わない値を入力した場合は、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」のフィールド値には反映されません。

- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、パスポートまたは ID カード（TD1 および TD2 に準拠）の MRZ を自動で検知できません。ツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（パスポートの場合は 44 桁、ID カード（TD1）の場合は 30 桁、ID カード（TD2）の場合は 36 桁）を認識領域として指定してください。

11.4 読み取った画像の確認を一時保存する（バッチスキャンモード）

読み取った画像の確認を中断し、一時保存します。

1 次の操作を行います。

- PaperStream Capture の場合
  第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)で、［一時保存］ボタンをクリックします。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  第 23 章 「スキャン&インデックス」画面 (424 ページ)または第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)で、［一時保存］ボタンをクリックします。

2 メッセージ画面で一時保存する理由を選択または入力します。

3 ［はい］ボタンをクリックします。

読み取った画像が一時保存されます。

ヒント

- 一時保存処理中は、ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
  メッセージ上をクリックすると、一時保存処理を中断する画面が表示されます。
  画面が表示されている間に、［中断］ボタンをクリックすると、一時保存処理を中断します。中断したバッチは、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で確認できます。

11.5 読み取った画像または編集した内容を破棄する（バッチスキャンモード）

PaperStream Capture の場合は、読み取った画像をすべて破棄します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合は、読み取った画像、または編集した内容を破棄します。

1 次の操作をします。

- PaperStream Capture の場合
  「スキャン」画面 で、［キャンセル］ボタンをクリックします。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

「スキャン&インデックス」画面 または「スキャン」画面で、[キャンセル] ボタンをクリックします。

読み取った画像、または編集した内容が破棄されます。

ヒント

- 第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)から、一時保存したバッチを開いた場合は、[キャンセル] ボタンをクリックすると、画像を確認 / 編集する画面で編集した内容が破棄されます。
  一時保存したバッチを削除する場合は、「バッチ管理」画面で、削除したいバッチを選択し、ツールバーの「削除」をクリックしてください。

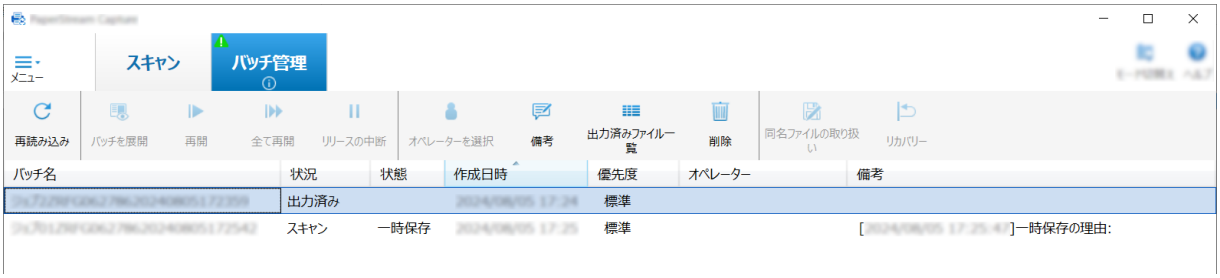
第 12 章
読み取りの履歴を確認する（バッチスキャンモード）

「バッチ管理」画面で、実行したバッチの履歴を確認したり、一時保存したバッチや手動で中断したバッチ、またはエラーとなったバッチを再開したりできます。

1 メニューの［バッチ管理］ボタンをクリックします。



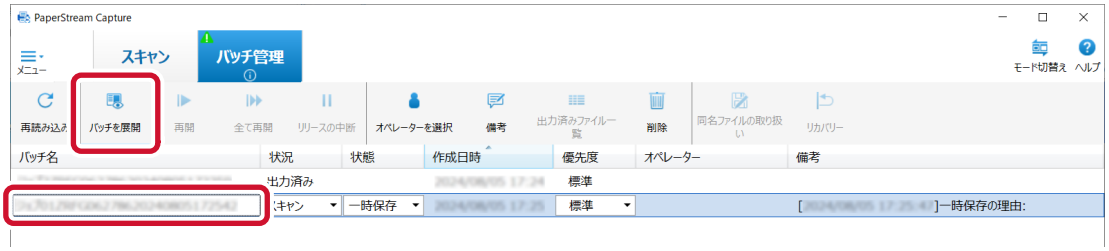
「バッチ管理」画面が表示されます。



「状態」に以下が表示されている場合は、バッチを再開できます。

表示	バッチの状態
一時保存	一時保存したバッチ
中断	手動で中断したバッチ
エラー	エラーにより中断されたバッチ 中断の原因がエラーの場合、「備考」にエラーの情報が表示されます。 エラーの内容を確認して、エラーを取り除いてください。

2 再開するバッチのバッチ名を選択して、ツールバーの「バッチを展開」をクリックします。



「一時保存」または「エラー」の場合は、再開するバッチが表示されます。
「中断」の場合は、出力処理が再開されます。

第 13 章
シンプルスキャンモードによる読み取り

シンプルスキャンモードの操作の流れと、読み取りから名前を付けて保存するまでの手順を説明します。

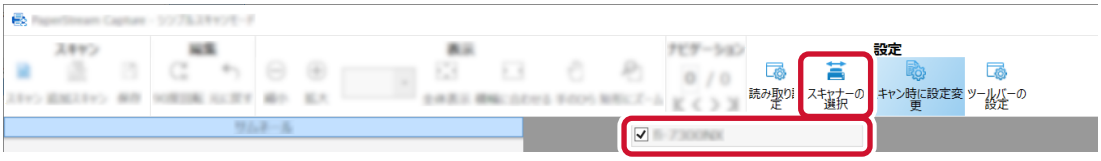
13.1　シンプルスキャンモードの設定をする

シンプルスキャンモードで、事前に設定できる項目を説明します。

1 ［モード切替え］ボタンをクリックし、シンプルスキャンモードの画面に切り替えます。

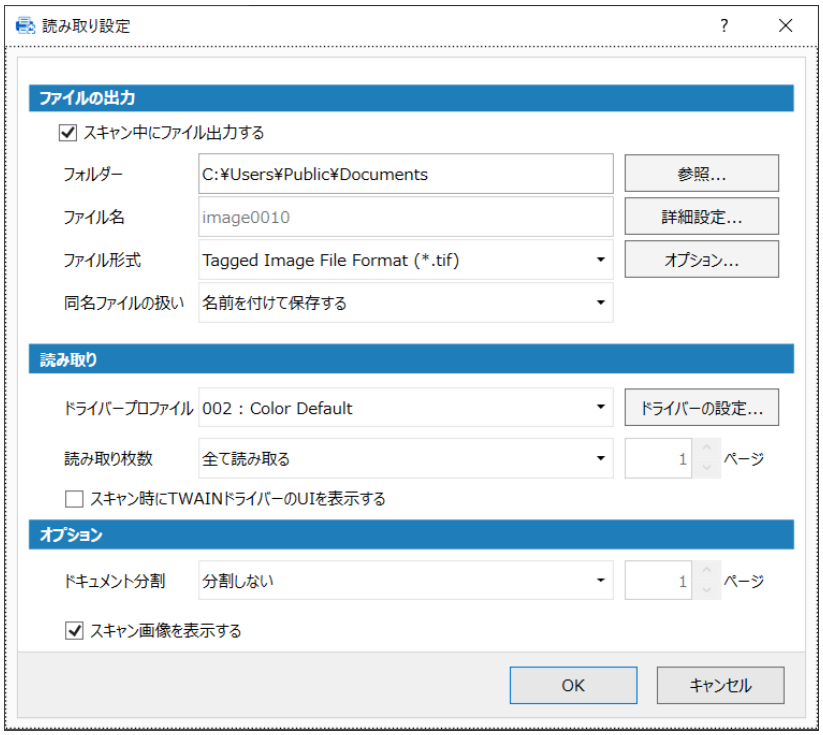


2 第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)のツールバーの「スキャナーの選択」をクリックして、使用するスキャナーを選択します。



3 ツールバーの「読み取り設定」をクリックします。

4 画面の設定を確認し、ファイルの保存先や読み取り条件などを必要に応じて設定します。



5 ［OK］ボタンをクリックします。

設定が反映され、画面が閉じます。

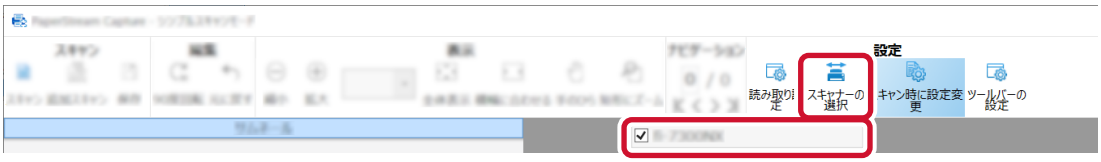
13.2 原稿を読み取って保存する（シンプルスキャンモード）

ここでは、ツールバーの「スキャン時に設定変更」を選択し、「読み取り設定」画面で「ファイルの出力」の「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスにチェックを付けている例で説明します。

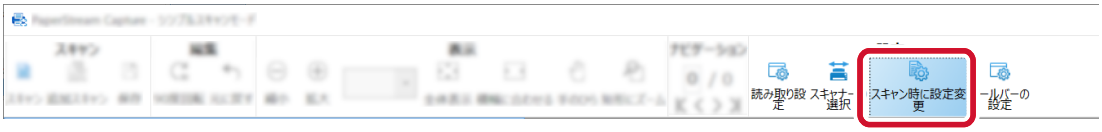
1 ［モード切替え］ボタンをクリックし、シンプルスキャンモードの画面に切り替えます。



2 第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)のツールバーの「スキャナーの選択」をクリックして、使用するスキャナーを選択します。



3 ツールバーの「スキャン時に設定変更」をクリックします。



4 スキャナーに原稿をセットします。

➡ 使用しているスキャナーのオペレーターガイド

5 第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)のツールバーの「スキャン」をクリックします。

38.2 「スキャンの実行」画面 (480 ページ)が表示されます。
事前に「読み取り設定」画面でファイルの出力、読み取り、オプションを設定していた場合、設定が反映された状態で、「スキャンの実行」画面が表示されます。

> **ヒント**
>
> - ツールバーの「スキャン時に設定変更」を選択していない場合、「スキャン」をクリックすると「読み取り設定」画面で設定した読み取り条件で、すぐに読み取りが開始されます。

6 必要に応じて、ファイルの出力、読み取り、オプションを設定します。

7 ［スキャン］ボタンをクリックします。

読み取りが開始し、読み取った画像が保存されます。

> **ヒント**
>
> - スキャナーからの読み取り中は、ツールバーの「スキャン」が「キャンセル」に変更されます。
> 読み取り中に、読み取りを中止する方法は、以下のとおりです。
>
> - キーボードの「Esc」キーを押す

- ツールバーの「キャンセル」をクリックする

13.3 読み取った画像を確認 / 編集する（シンプルスキャンモード）

重要

- シンプルスキャンモードで確認 / 編集中に、[モード切替え] ボタンで読み取り方法を切り替えると、編集中の画像は破棄されます。

13.3.1 ページを確認する

シンプルスキャンモードで読み取ったページの詳細を確認します。
ここでは、画面の表示を「ブラウズ」にしている例で説明します。

1. **サムネール一覧から確認するページをクリックします。**
   ビューアーにページの詳細が表示されます。

13.3.2 ページを追加 / 挿入する

シンプルスキャンモードで読み取った画像または開いた既存のファイルに、読み取った別の画像または既存のファイルを、ページとして追加または挿入します。
画像のページ数は最大 9999 ページまでです。
ここでは、スキャナーで読み取った画像をページに追加または挿入する例で説明します。

1. **スキャナーに原稿をセットします。**
   ➡ 使用しているスキャナーのオペレーターガイド
2. **第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)の「追加スキャン」をクリックします。**
   38.2 「スキャンの実行」画面 (480 ページ)が表示されます。
3. **「読み取り」と「オプション」を設定し、[スキャン] ボタンをクリックします。**
   38.3 「追加/挿入/差替え」画面 (495 ページ)が表示されます。
4. **画像の追加先または挿入先とする「対象」を、「ページ」または「ドキュメント」から選択します。**
5. **「位置」で以下の項目から追加または挿入位置を選択します。**
   - 「最初」
   - 「最後」
   - 「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」が表示されます。
6. **「操作」で「前に挿入」または「後に追加」を選択します。**
   ただし、「位置」で「最初」または「最後」を選択した場合、本項目は選択できません。
7. **[OK] ボタンをクリックします。**

「読み取り設定」画面または「スキャンの実行」画面と、「追加/挿入/差替え」画面の設定に従って、読み取りを開始します。
読み取りが完了すると、選択した位置にページが追加または挿入されます。

ヒント

- 既存のファイルをドラッグ & ドロップしてもファイルを追加または挿入できます。
- スキャナーからの読み取り中は、ツールバーの「スキャン」が「キャンセル」に変更されます。
  読み取り中に、読み取りを中止する方法は、以下のとおりです。
  - キーボードの「Esc」キーを押す
  - ツールバーの「キャンセル」をクリックする

13.3.3 ページを差し替える

シンプルスキャンモードで、指定したページを読み取った別の画像または既存のファイルに差し替えます。
ここでは、読み取った画像を、読み取った別の画像に差し替える例で説明します。

1. **スキャナーに原稿をセットします。**
   ➡ 使用しているスキャナーのオペレーターガイド
2. **差し替えたいページを選択します。**
3. **第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)の「追加スキャン」をクリックします。**
   38.2 「スキャンの実行」画面 (480 ページ)が表示されます。
4. **「読み取り」と「オプション」を設定し、[スキャン] ボタンをクリックします。**
   38.3 「追加/挿入/差替え」画面 (495 ページ)が表示されます。
5. **差し替えの対象として、「対象」で「ページ」を選択します。**
6. **「位置」の「ページ」で差し替えるページの範囲を指定します。**
7. **「操作」で「差替え」を選択します。**
8. **[OK] ボタンをクリックします。**
   「読み取り設定」画面または「スキャンの実行」画面と、「追加/挿入/差替え」画面の設定に従って、読み取りを開始します。
   読み取りが完了すると、指定したページの範囲が差し替えられます。

ヒント

- スキャナーからの読み取り中は、ツールバーの「スキャン」が「キャンセル」に変更されます。
  読み取り中に、読み取りを中止する方法は、以下のとおりです。
  - キーボードの「Esc」キーを押す
  - ツールバーの「キャンセル」をクリックする

13.3.4　ページを回転する

シンプルスキャンモードで読み取った画像の、向きが誤っているページを回転します。

1 **回転するページを選択します。**

2 **第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)の「90 度回転」をクリックします。**

ページが回転します。

13.3.5　ページを削除する

シンプルスキャンモードで読み取った画像の、不要なページを削除します。

1 **削除するページを選択します。**

2 **サムネールまたはビューアー上で右クリックします。**

メニューが表示されます。

3 **「削除」をクリックします。**

メッセージ画面が表示されます。

4 **［はい］ボタンをクリックします。**

選択しているページが削除されます。

13.3.6　ページを切り取る

シンプルスキャンモードで読み取ったページを切り取り、PaperStream Capture の記憶領域に一時保存します。

1 **切り取りたいページを選択します。**

2 **サムネールまたはビューアー上で右クリックします。**

メニューが表示されます。

3 **「切り取り」をクリックします。**

選択しているページが切り取られます。

13.3.7　ページをコピーする

シンプルスキャンモードで読み取ったページをコピーして、PaperStream Capture の記憶領域に一時保存します。

1 **コピーしたいページを選択します。**

2 **サムネールまたはビューアー上で右クリックします。**

メニューが表示されます。

3 **「コピー」をクリックします。**

選択しているページがコピーされます。

13.3.8　ページを貼り付ける

シンプルスキャンモードで読み取り、コピーまたは切り取ったページを貼り付けます。
画像のページ数は最大 9999 ページまでです。

1　ページを選択します。

2　サムネールまたはビューアー上で右クリックします。

メニューが表示されます。

3　「貼り付け」をクリックします。

38.3 「追加/挿入/差替え」画面 (495 ページ)が表示されます。

4　貼り付け先の対象を、「対象」の「ページ」または「ドキュメント」から選択します。

5　「位置」で以下の項目から貼り付け位置を選択します。

- 「最初」
- 「最後」
- 「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」が表示されます。

6　「操作」で「前に挿入」または「後に追加」を選択します。

ただし、「位置」で「最初」または「最後」を選択した場合、本項目は選択できません。

7　[OK] ボタンをクリックします。

ページが貼り付けられます。

13.3.9　ドキュメントを分割する

シンプルスキャンモードで読み取ったドキュメント（ページごとのまとまり）に仕分けを挿入して分割します。

1　ページを選択します。

2　サムネールまたはビューアー上で右クリックします。

メニューが表示されます。

3　「仕分けの挿入」をクリックします。

38.4 「仕分けの挿入」画面 (496 ページ)が表示されます。

4　仕分けの挿入先の対象を、「対象」の「ページ」または「ドキュメント」から選択します。

5　「位置」で以下の項目から仕分けの挿入位置を選択します。

- 「最初」
- 「最後」
- 「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」が表示されます。

6 「操作」で「前に挿入」または「後に追加」を選択します。

ただし、「位置」で「最初」または「最後」を選択した場合、本項目は選択できません。

7 [OK] ボタンをクリックします。

仕分けが挿入され、ドキュメントが分割されます。

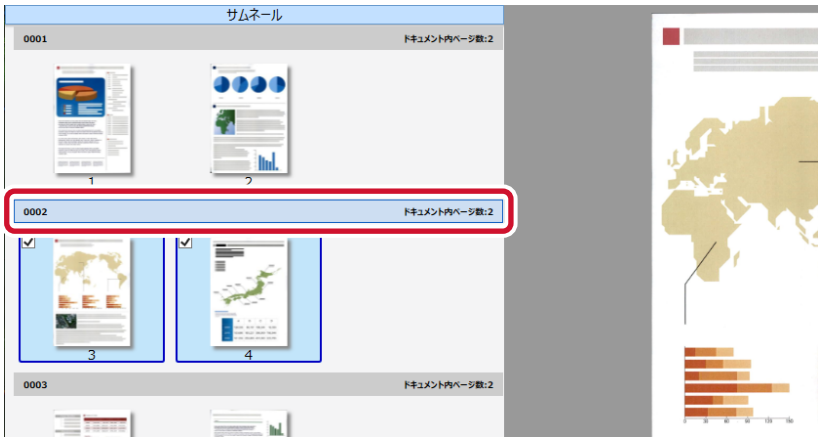
ヒント

- 仕分けは、最大 9999 個まで登録できます。

13.3.10 ドキュメントを結合する

シンプルスキャンモードで読み取ったドキュメント（ページごとのまとまり）の仕分けを削除して結合します。

1 削除したい仕分け（ドキュメント）を選択します。



2 サムネールまたはビューアー上で右クリックします。

メニューが表示されます。

3 「仕分けの削除」をクリックします。

メッセージが表示されます。

4 [はい] ボタンをクリックします。

仕分けが削除され、直前のドキュメントと結合されます。

13.3.11 ページを並べ替える

シンプルスキャンモードで読み取ったページの順番を並べ替えます。

1 並び順を変更したいサムネールまたはビューアー上で右クリックします。

メニューが表示されます。

2 ページを並べ替える方法を以下から選択します。

- 折畳み
  ページ順に画像を並べ替えます。

読み取った画像のページが、1、3、5、6、4、2 のように、表面にあたる画像（奇数ページ）が昇順で並んでいるのに対し、裏面にあたる画像（偶数ページ）が降順で並んでいる場合に有効です。

- 平行移動
  ページ順に画像を並べ替えます。
  読み取った画像のページが、1、3、5、2、4、6 のように、表面にあたる画像（奇数ページ）も裏面にあたる画像（偶数ページ）も昇順で並んでいる場合に有効です。
- 逆順
  全ページを逆から順番に並べ替えます。
  降順で並んでいるページを昇順に並べ替える場合に有効です。

3 選択した方法で、ページが並べ替えられます。

重要

ページを並び替えると、ドキュメント仕分けの仕分け位置が変わる場合があります。

13.3.12 ページにマークを付加する

シンプルスキャンモードで読み取った画像のうち、あとで操作が必要な画像を区別するために、ページにマークを付加できます。

1 マークを付加したいページを選択します。

2 サムネールまたはビューアー上で右クリックします。

メニューが表示されます。

3 「マーク」をクリックします。

サムネールの背景とビューアーの枠がオレンジ色になります

ヒント

- マークを解除するには、ページを選択し、ツールバーまたは右クリックで表示されるメニューの「マークを解除」をクリックします。

13.4 確認 / 編集した画像を保存する（シンプルスキャンモード）

シンプルスキャンモードで確認 / 編集した画像を、名前を付けて保存（出力）します。

1 第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)のツールバーの「保存」をクリックします。

38.5 「名前を付けて保存」画面 (496 ページ)が表示されます。

2 「ファイルの出力」の設定値を変更したい場合は、変更します。

3 [OK] ボタンをクリックします。

読み取った画像が保存（出力）されます。

ヒント

- 38.1 「読み取り設定」画面 (478 ページ)または 38.2 「スキャンの実行」画面 (480 ページ)で「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスにチェックを付けた場合、読み取りの完了と同時にファイルが出力されます。

第 14 章
便利な設定に変更する

PaperStream Capture の便利な機能について、ジョブの設定方法を説明します。

14.1　ジョブをグループ単位で表示する

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、メイン画面および「ジョブ作成/編集」画面のジョブ一覧をグループ単位の表示にできます。
ジョブを読み取りの目的や用途ごとのグループに分けて表示することで、ジョブの管理や運用を効率化できます。
ここではジョブのグループを新規に作成する手順を説明します。

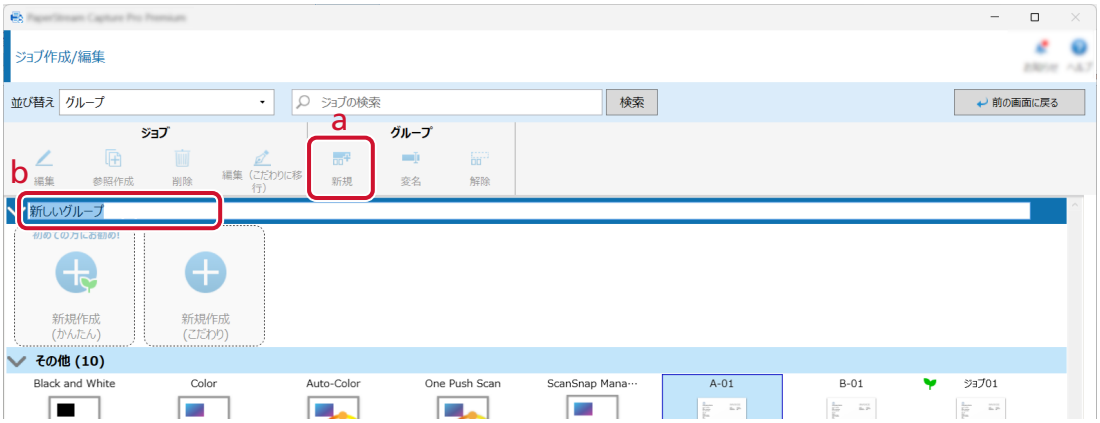
1 「ジョブ作成/編集」画面の「並び替え」で「グループ」を選択します。

2 グループを作成します。

a ツールバーの「新規」をクリックします。

グループが追加されます。
「並び替え」で「グループ」以外を選択しているときに作成したジョブは、「その他」に表示されます。

b グループ名を入力します。



3 作成したグループにジョブを登録します。
以下のどれかの方法で登録できます。

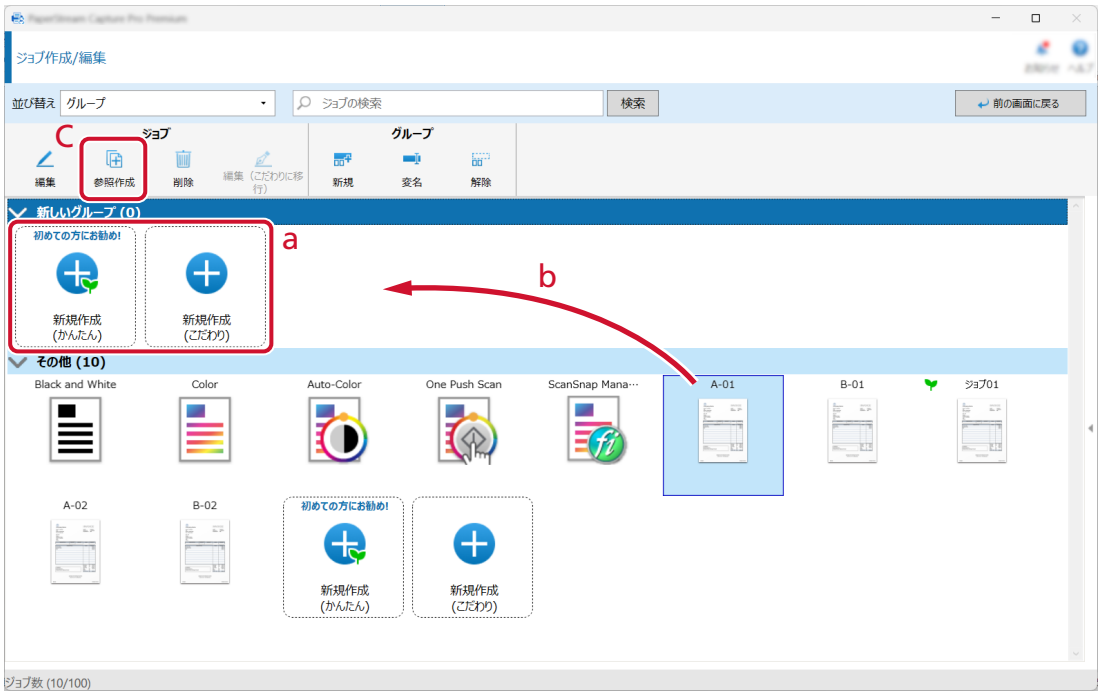
a ジョブを新規作成する
グループ内の［新規作成（かんたん）］または［新規作成（こだわり）］をクリックして、ジョブを作成します。

➡ 第 10 章 読み取りの条件（ジョブ）を設定する（バッチスキャンモード）（75 ページ）

b ほかのグループのジョブを、作成したグループ内に移動する
対象のジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、作成したグループ内の任意の位置にドロップします。

c 既存のジョブから参照作成する

対象のジョブを選択し、ツールバーの「参照作成」をクリックして、ジョブを作成します。
作成したジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、作成したグループ内の任意の位置にドロップします。



「PaperStream AI」グループには、ジョブを登録できません。

4 グループを複数作成する場合は、手順 2 ～ 3 の操作を繰り返します。

グループバーの 1 または 1 をクリックして、グループの表示順を変更できます。

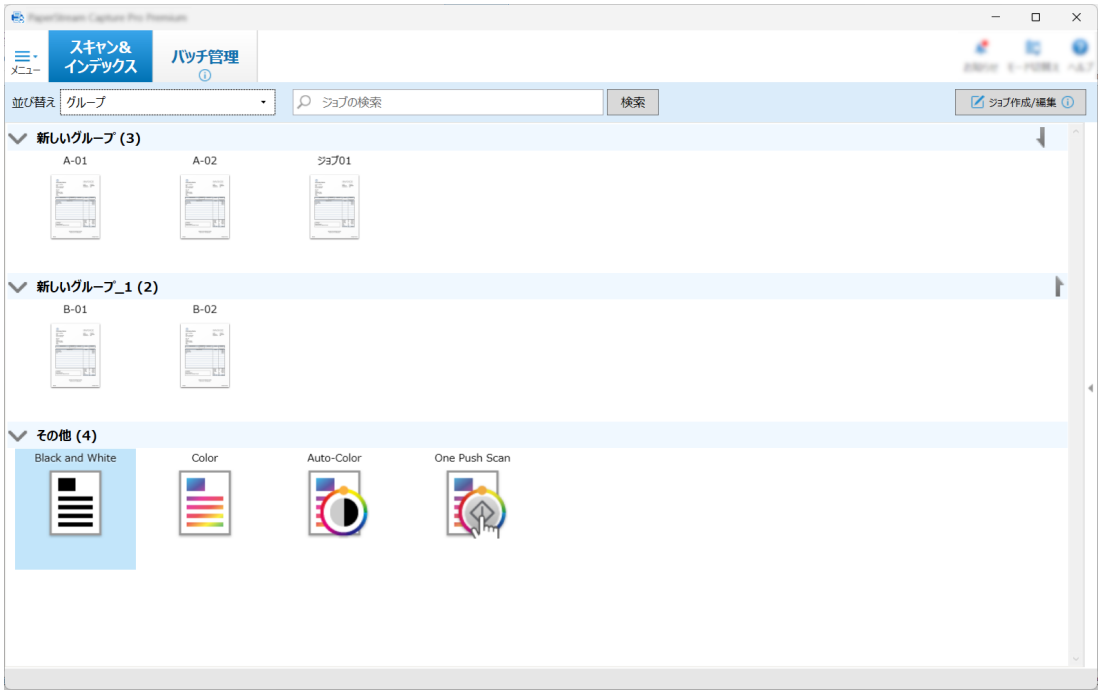
5 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

6 「並び替え」で「グループ」を選択します。

手順 2 ～ 4 で行ったグループ化の設定が、メイン画面にも適用され、ジョブがグループ単位で表示されます。

グループバーの 1 または 1 をクリックして、グループの表示順を変更できます。

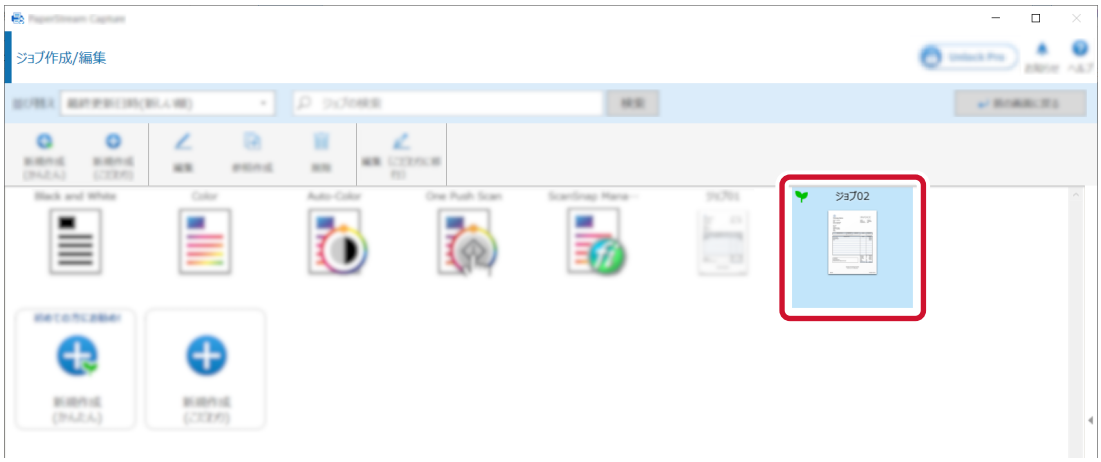


14.2 かんたん作成のジョブをこだわり作成に移行する

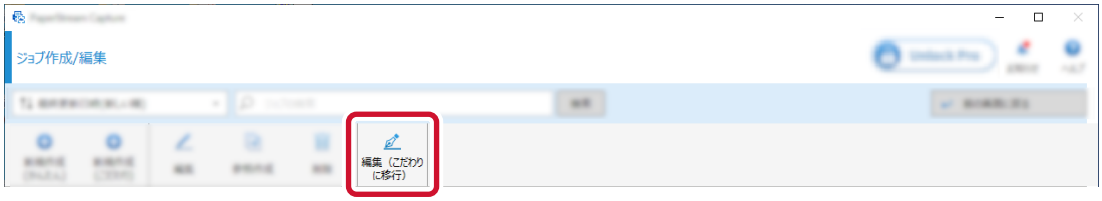
重要

- 「管理ツール」画面の「一般」タブの「スキャナードライバー」で「ISIS」を選択している場合、かんたん作成のジョブから、こだわり作成のジョブへの変換はできません。
- かんたん作成のジョブでは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを使用しませんが、こだわり作成では PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面を表示して、PaperStream Capture では設定できない項目を選択したり、詳細な読み取り条件を設定したりできます。こだわり作成に移行すると、移行するジョブ名と同じ名前のドライバープロファイルが作成され、関連付けられます。

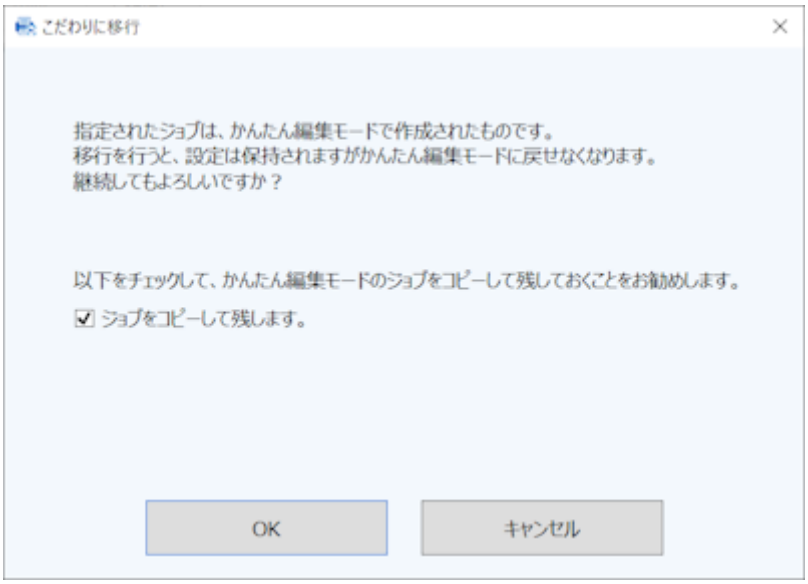
1 「ジョブ作成/編集」画面で、対象のかんたん作成のジョブを選択します。



2 ツールバーの［編集（こだわりに移行）］ボタンをクリックします。



以下のメッセージが表示されます。



「ジョブをコピーして残します。」チェックボックス

チェックを付けると、かんたん作成のジョブをコピーで残し、こだわり作成のジョブとして編集します。かんたん作成のジョブ名が「ジョブ 01」だった場合、こだわり作成のジョブ名は「ジョブ 01」になり、かんたん作成のジョブは「ジョブ 01_コピー」になります。
チェックを外すと、かんたん作成のジョブは残さず、こだわり作成のジョブとして編集します。かんたん作成のジョブ名が「ジョブ 01」だった場合、こだわり作成のジョブ名は「ジョブ 01」になります。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

こだわり作成の「ジョブ情報設定」タブが表示されます。

14.3 スキャナーのボタンで原稿を読み取る

スキャナーのボタン（Scan および Send to）を使用して、原稿を読み取ります。

重要

- 他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合、この機能は使用できません。
- PaperStream ClickScan が起動している場合は、スキャナーのスキャンボタンを押すと PaperStream ClickScan での読み取りが実行されます。PaperStream Capture を使ってスキャナーのスキャンボタ

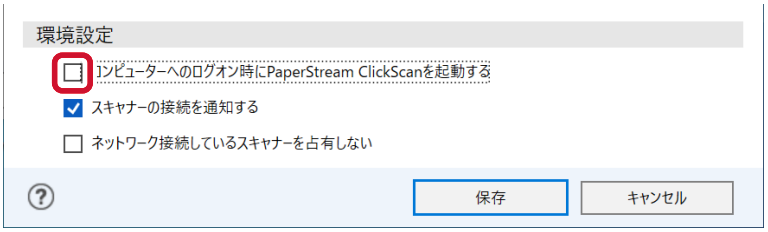
ンでの読み取りを実行する場合は、タスク バーにある PaperStream ClickScan のアイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューで以下のどちらかの操作をしてください。

- PaperStream ClickScan の自動起動を解除する場合

1 「出力先の管理」を選択します。

2 表示された画面の右上にある をクリックします。

3 表示された「管理者設定」画面で、「コンピューターへのログオン時に PaperStream ClickScan を起動する」 チェックボックスのチェックを外します。



4 ［保存］ボタンをクリックします。

5 コンピューターからログオフして、再度ログオンします。

- 一時的に PaperStream ClickScan を終了させる場合

1 「終了」 を選択してください。

PaperStream Capture 側、コンピューター側、スキャナー側のそれぞれで設定が必要です。

14.3.1 PaperStream Capture 側の設定

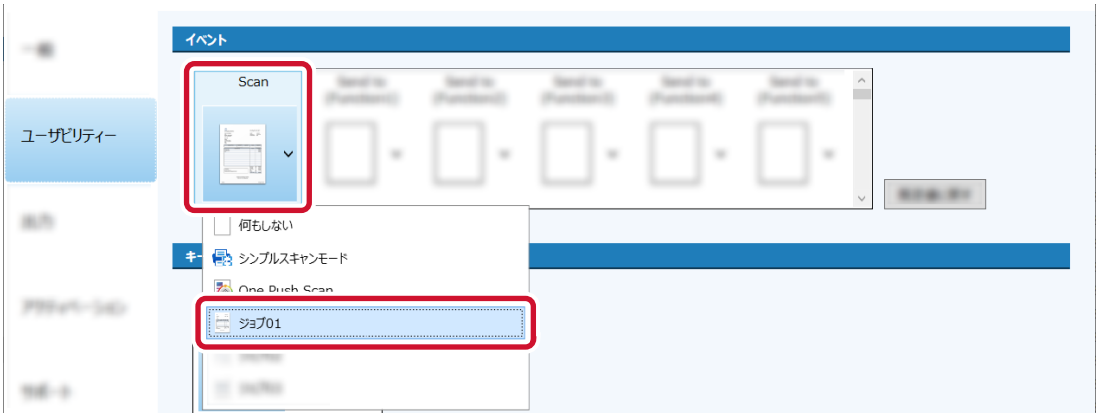
1 メニューの から「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面が表示されます。

2 「ユーザビリティー」タブをクリックします。

3 「Scan」をクリックし、使用するジョブ名を選択します。



「Scan」アイコンが、選択したジョブのアイコンに切り替わります。

4 設定を保存します。

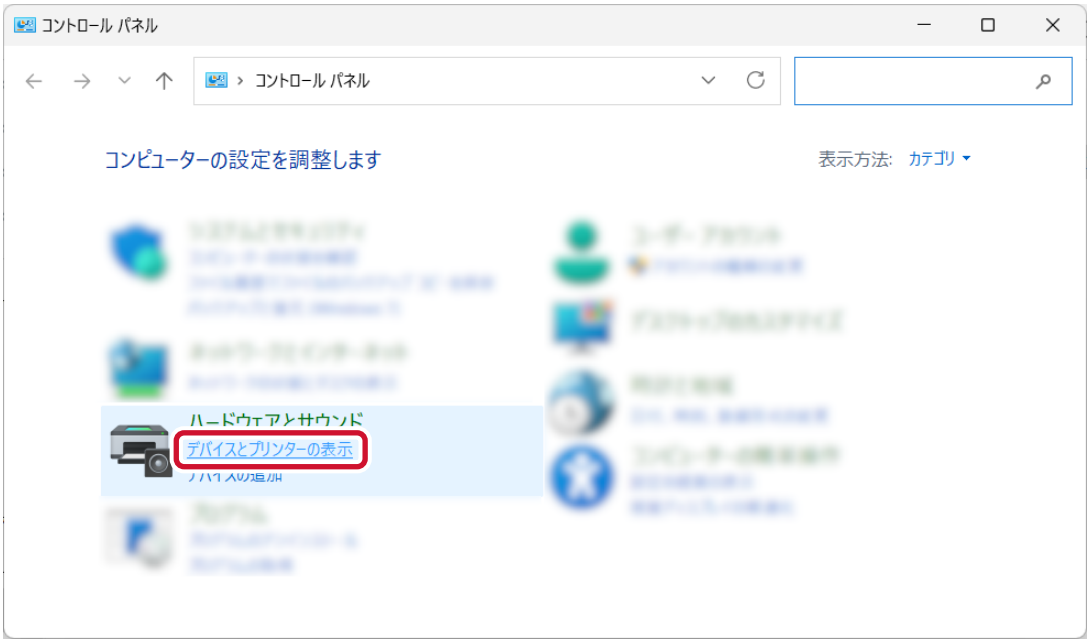
a ［保存］ボタンをクリックします。

b ［閉じる］ボタンをクリックします。

PaperStream Capture 側の設定が完了しました。

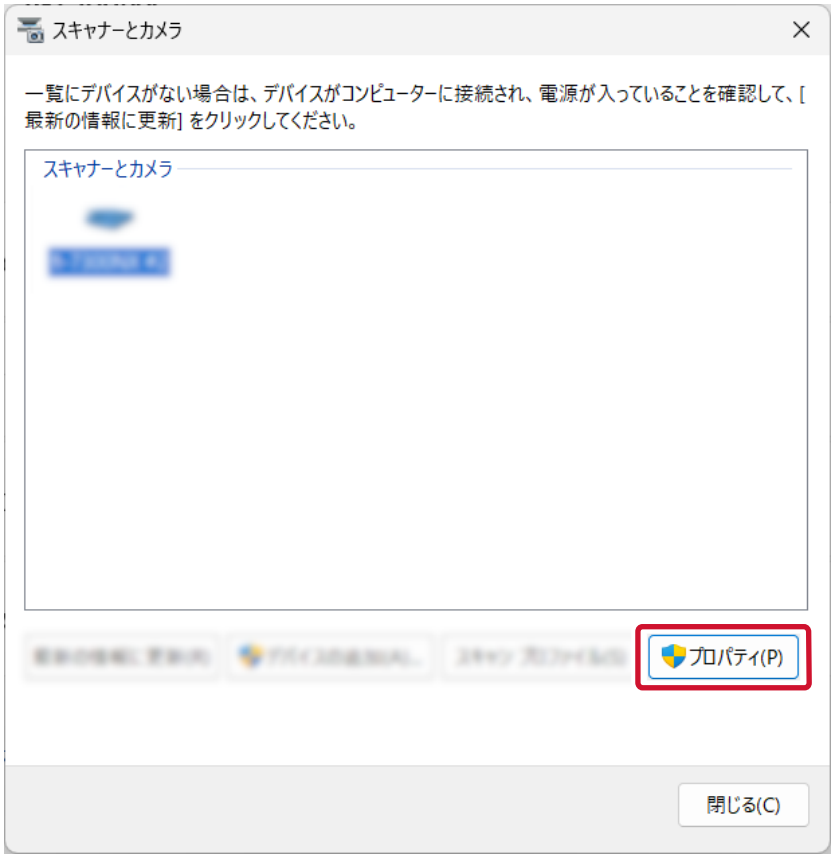
14.3.2 コンピューター側の設定

1 「コントロールパネル」画面を開き、「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。



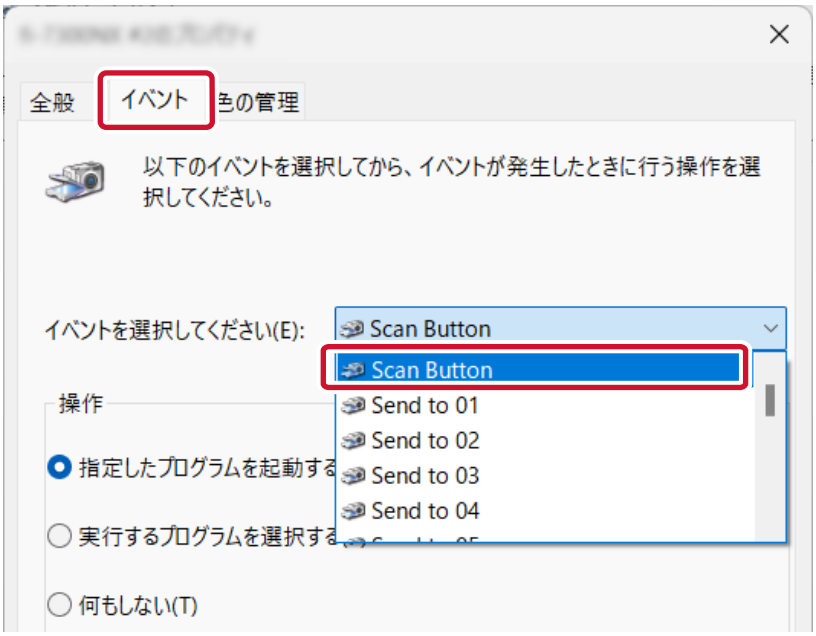
2 「プリンターとスキャナー」をクリックし、お使いのスキャナーをクリックします。

3 「スキャナーのプロパティ」をクリックし、「スキャナーとカメラ」画面で［プロパティ］ボタンをクリックします。

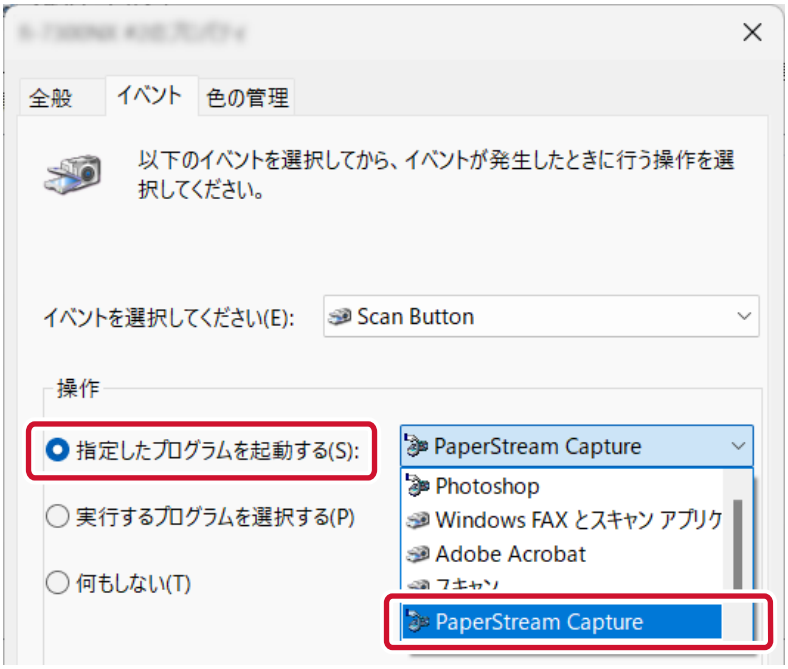


4 「イベント」タブで、スキャナーのスキャンボタンを押したときの動作を設定します。

a 「イベント」タブで、「イベントを選択してください」から「Scan Button」を選択します。



b 「指定したプログラムを起動する」を選択して、「PaperStream Capture」を選択します。



c [OK] ボタンをクリックします。

5 コンピューターを再起動します。

変更した設定が有効になります。コンピューター側の設定が完了しました。

ヒント

- ネットワーク対応のスキャナーをネットワークに接続して使用する場合は、Network Setup Tool をインストールしたあと、コンピューターに再度ログオンするか再起動してください。再起動しても、PaperStream Capture がスキャナーのボタンを押したときに起動するアプリケーションとして設定されない場合は、お使いのスキャナーの Button Event Manager を起動し、「ボタン設定」画面で設定してください。詳細は、Network Setup Tool のヘルプを参照してください。

14.3.3 スキャナー側の設定

スキャナーのスキャンボタンを押したときの動作を、スキャナー側でも設定する場合があります。
お使いのスキャナーの機種により設定方法が異なります。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドで、スキャナーのスキャンボタンの設定に関する記事を参照してください。

14.4 画像の解像度の設定を変更する

読み取った画像を確認して、読みづらかったり見づらかったりする場合に、読み取りの解像度を変更できます。
解像度の数値を低くするとファイルサイズは小さくなり、高くするとファイルサイズは大きくなります。
ここでは、こだわり作成の場合に、PaperStream Capture では設定できない解像度に変更する場合の手順を説明します。

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

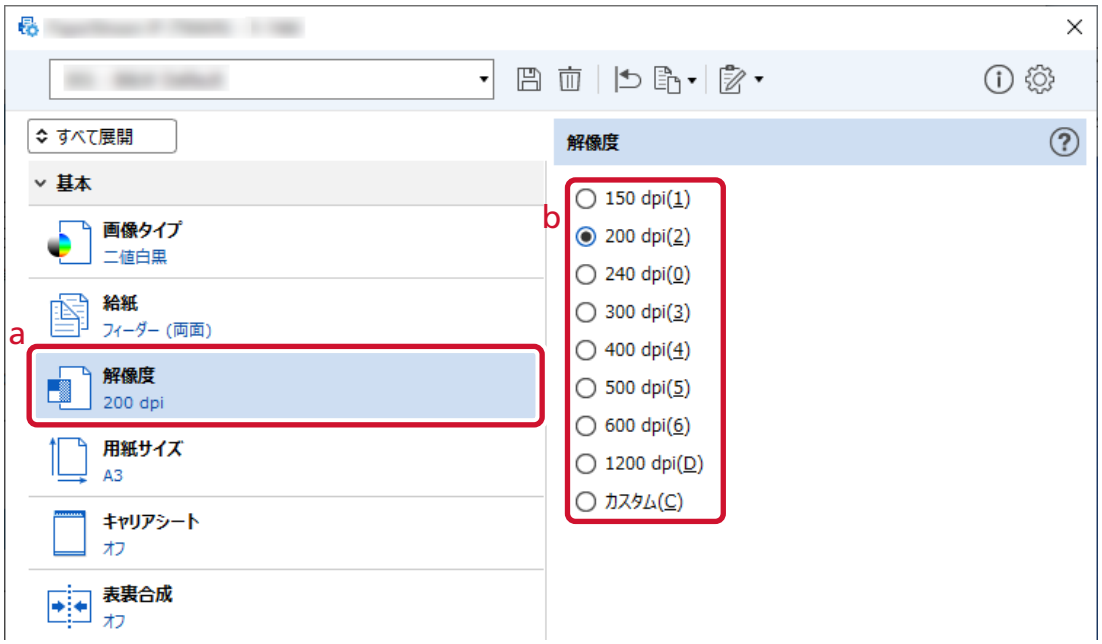
2 「読み取り設定」タブを選択して、［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で「基本」を選択し、読み取り内容を設定します。

a 「解像度」を選択します。

b 変更する解像度を選択します。

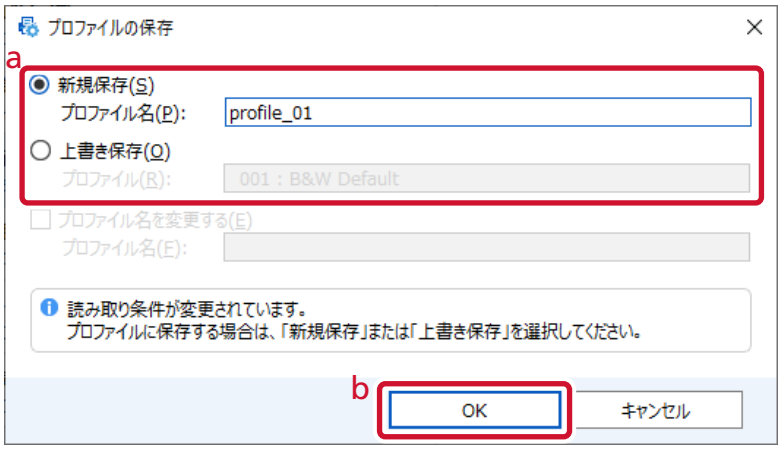


4 保存アイコン（）をクリックします。

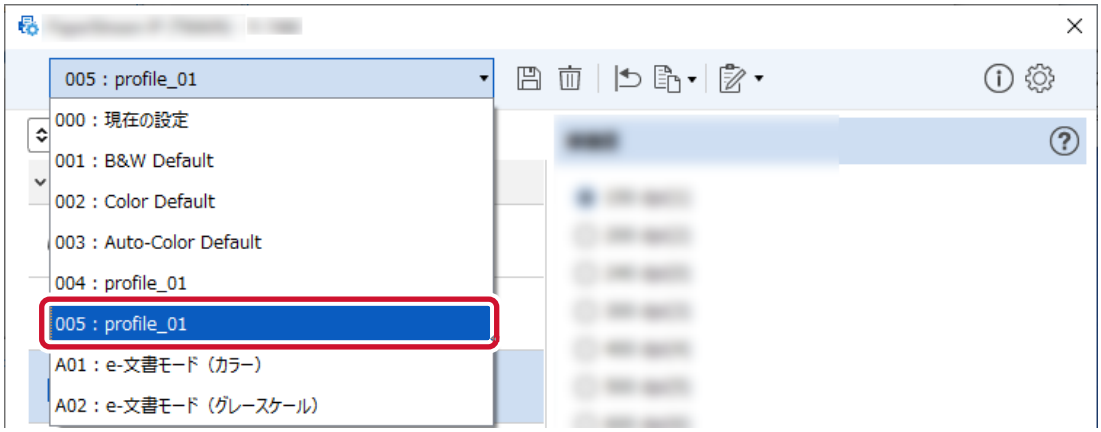
5 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b ［OK］ボタンをクリックします。



6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。



7 [OK] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

8 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.5 原稿の白紙ページを自動で削除する

原稿を読み取って白紙ページを検出した場合、白紙ページを自動で削除できます。

14.5.1 かんたん作成の場合

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

2 「読み取り設定」タブを選択します。

3 「読み取り設定」の「白紙削除」で「有効」を選択します。



4 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

5 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.5.2 こだわり作成の場合

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

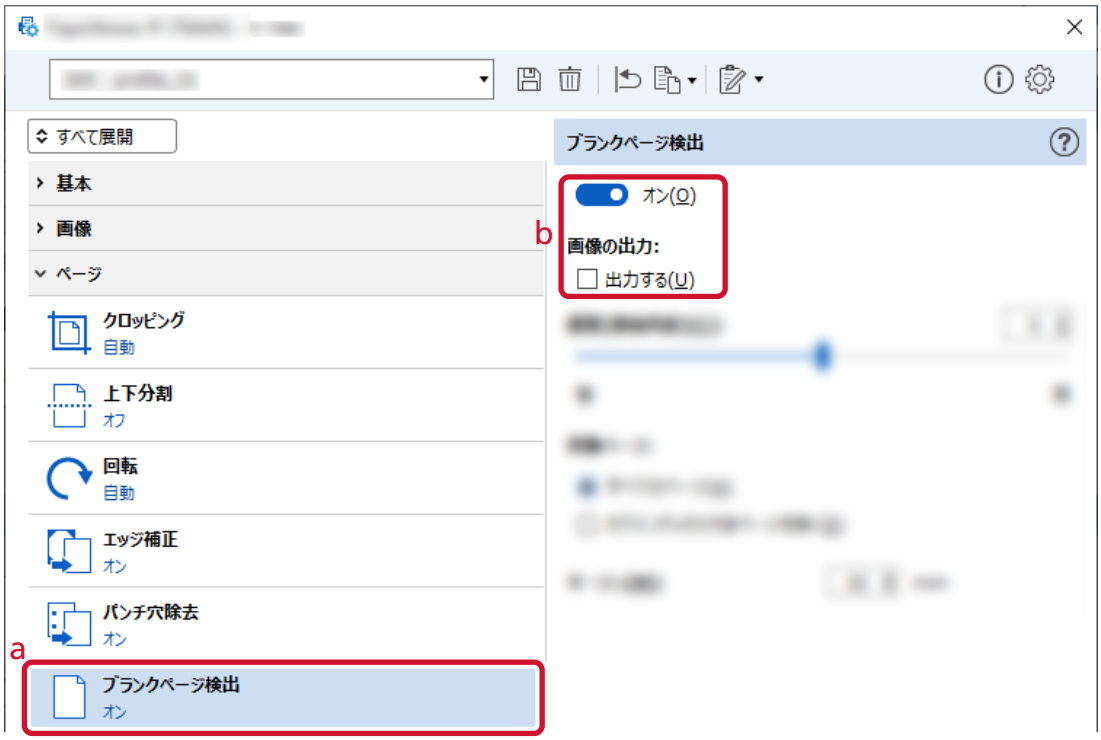
2 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。



3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で、「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。

a 「ブランクページ検出」を選択します。

b 「オン」にして、「出力する」チェックボックスのチェックを外します。

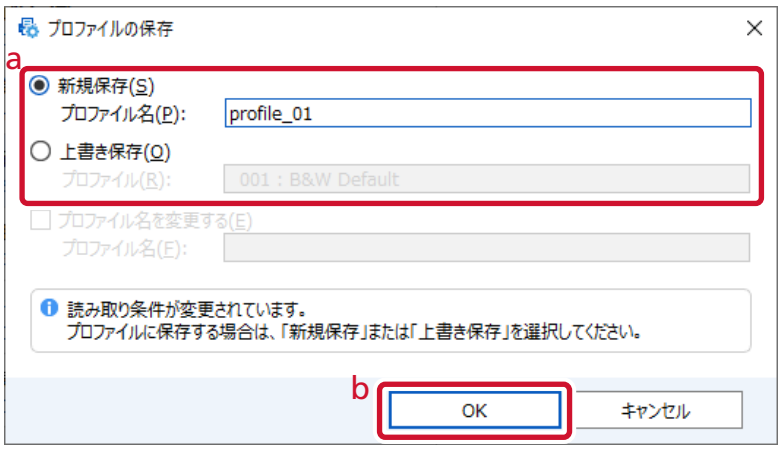


4 保存アイコン（ ）をクリックします。

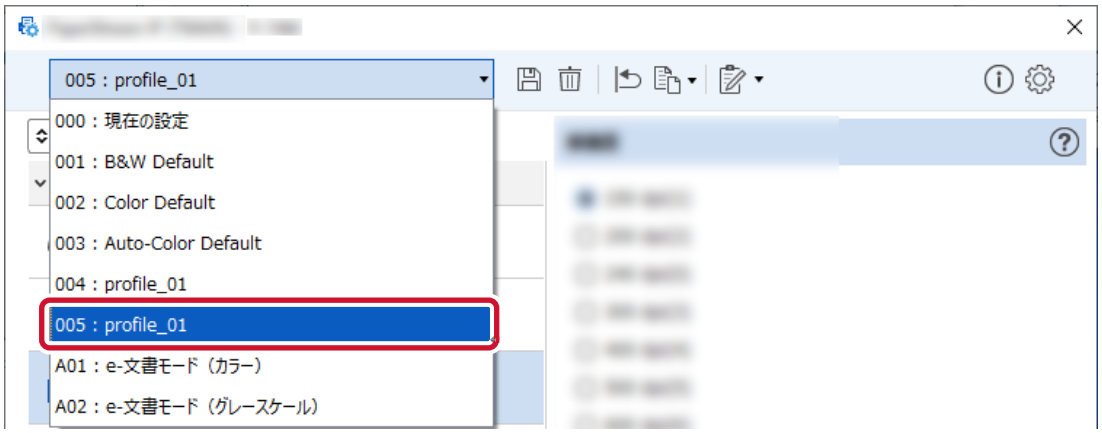
5 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b [OK] ボタンをクリックします。



6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。



7 [OK] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

8 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.6 原稿の色（カラー/白黒）を自動判別して出力する

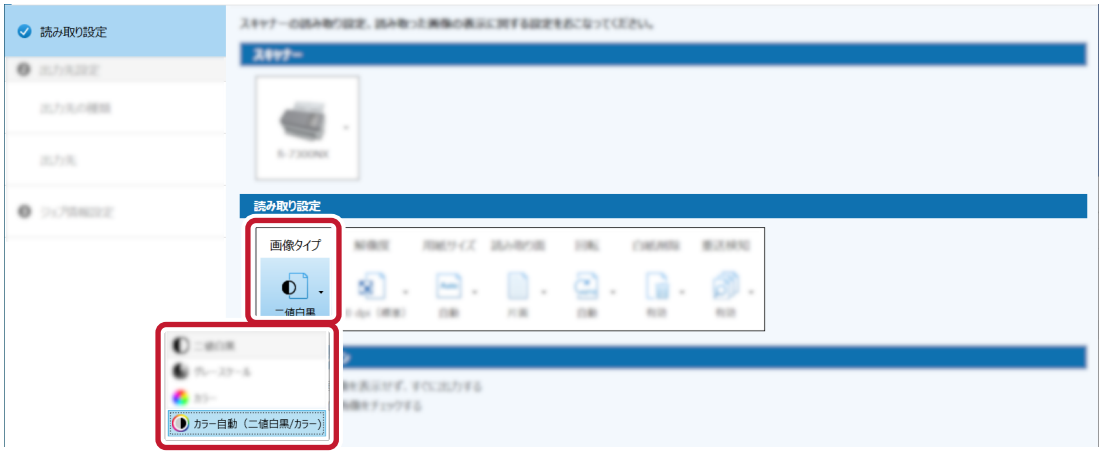
読み取った原稿がカラーかモノクロかを自動的に判別して出力できます。
カラーやモノクロの原稿が混在する場合に、原稿に応じて読み取り条件を変更する必要がありません。

14.6.1 かんたん作成の場合

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

2 「読み取り設定」タブを選択します。

3 「読み取り設定」の「画像タイプ」で「カラー自動（二値白黒/カラー）」を選択します。



4 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

5 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.6.2 こだわり作成の場合

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

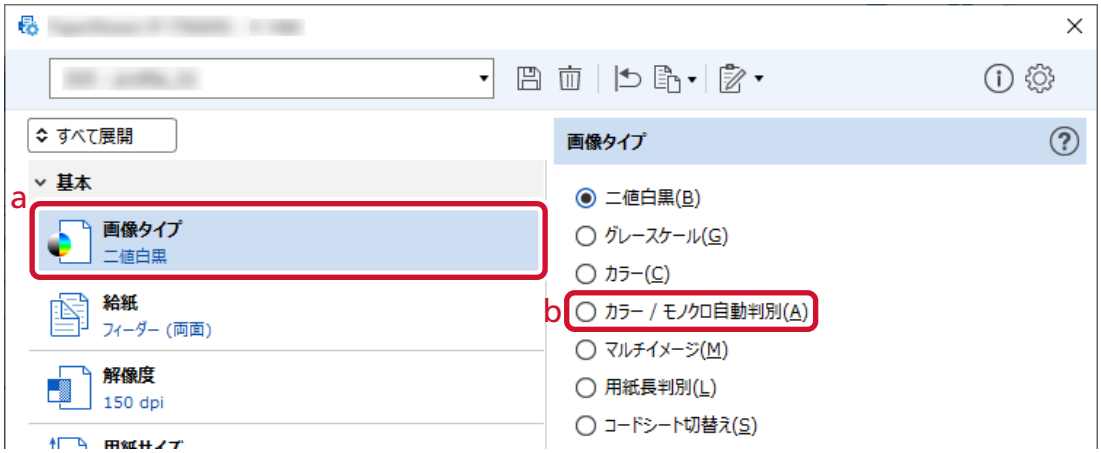
2 **「読み取り設定」タブを選択して、［詳細設定］ボタンをクリックします。**



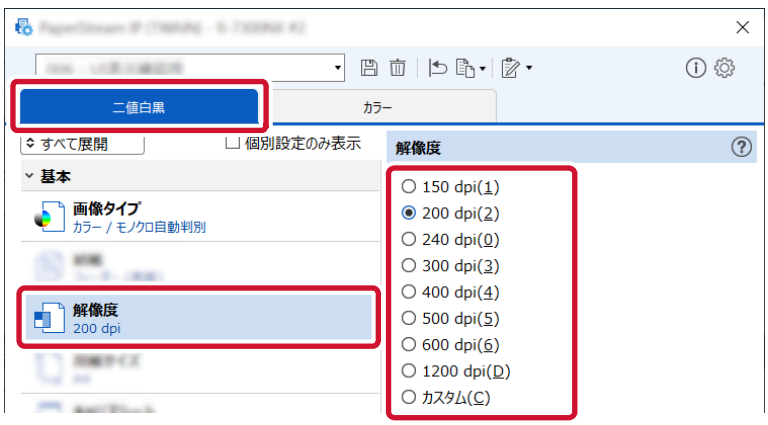
3 **PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で「基本」を選択し、読み取り内容を設定します。**

a **「画像タイプ」を選択します。**

b **「カラー/モノクロ自動判別」を選択します。**



c **タブを切り替えて、画像タイプごとに解像度を調整します。**

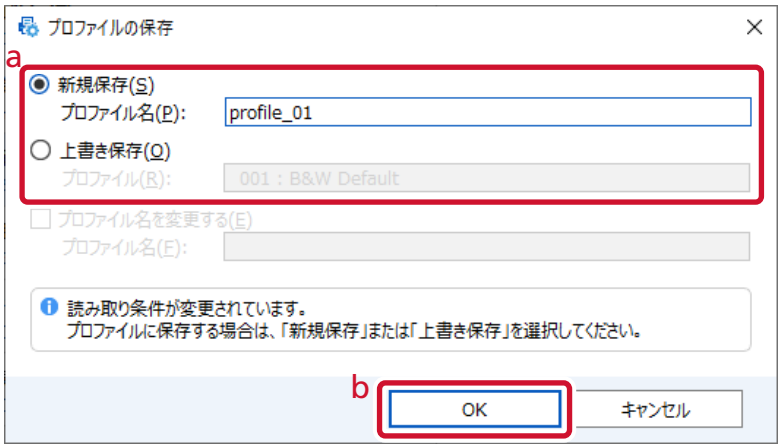


4 保存アイコン（）をクリックします。

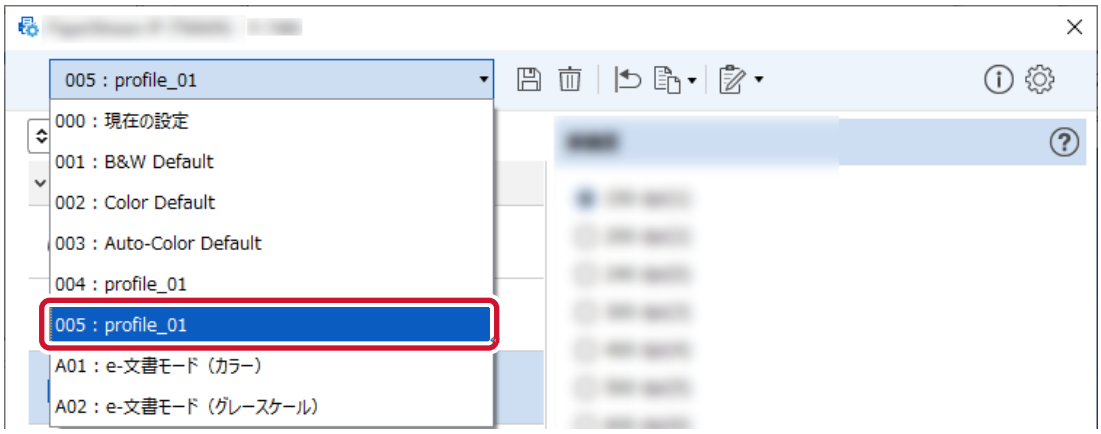
5 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b ［OK］ボタンをクリックします。



6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。



7 ［OK］ボタンをクリックします。

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

8 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

9 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.7 画像の向きを自動で補正する

原稿の文字から向きを自動的に判断し、正しい向きに補正して出力できます。
原稿の状態によっては、正しい向きに補正されない場合があります。

14.7.1　かんたん作成の場合

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

2 「読み取り設定」タブを選択します。

3 「読み取り設定」の「回転」で「自動」を選択します。



4 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.7.2　こだわり作成の場合

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

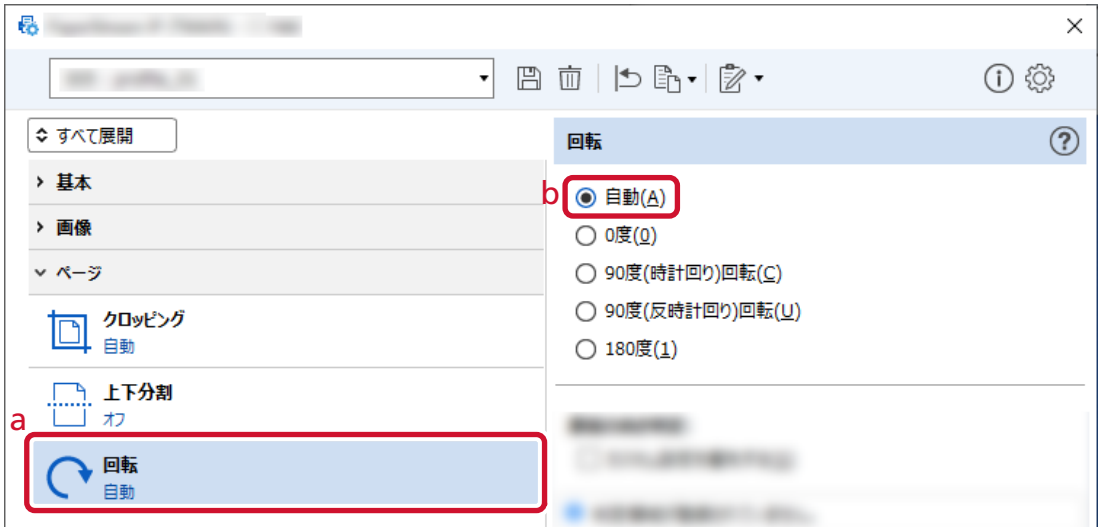
2 「読み取り設定」タブを選択して、［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で、「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。

a 「回転」を選択します。

b 「自動」を選択します。

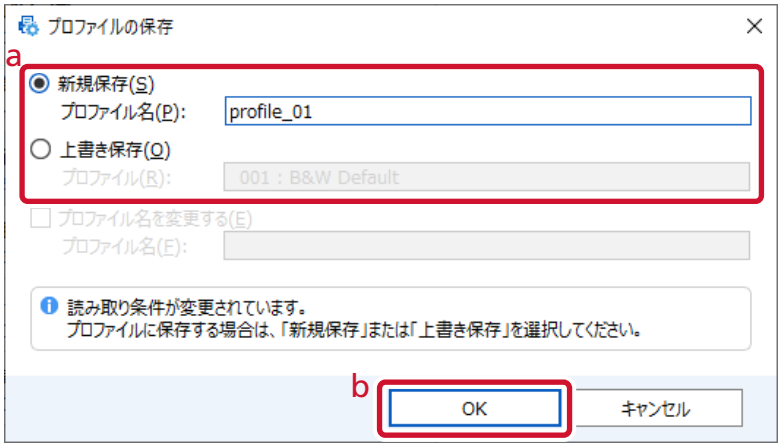


4 保存アイコン（ ）をクリックします。

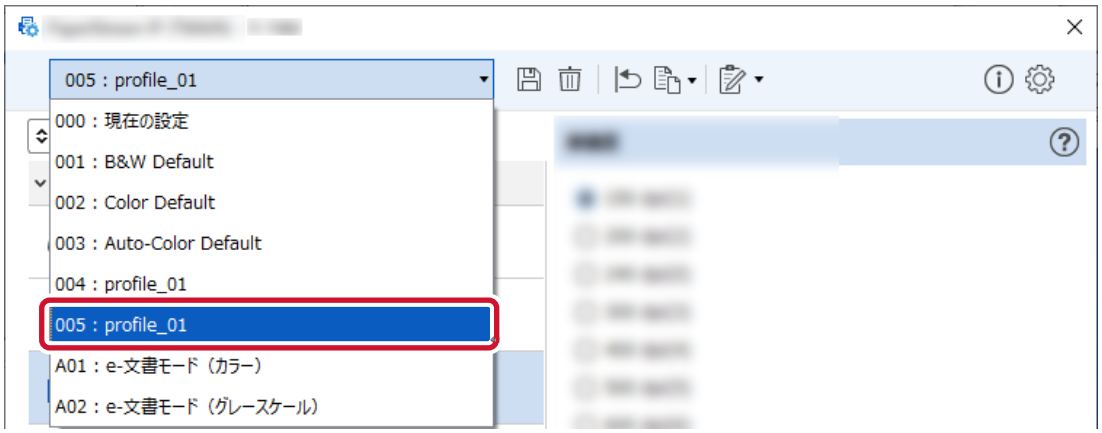
5 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b ［OK］ボタンをクリックします。



6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。



7 [OK] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

8 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.8 パンチ穴除去をオフにする

パンチ穴除去は、原稿にパンチ穴がある場合に画像のパンチ穴の部分を塗りつぶします。
「パンチ穴除去」を「オン」にすると、読み取り画像からパンチ穴が除去されます。原稿内の丸い図形がパンチ穴と認識され、除去されてしまう場合は、「パンチ穴除去」は「オフ」にしてください。

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

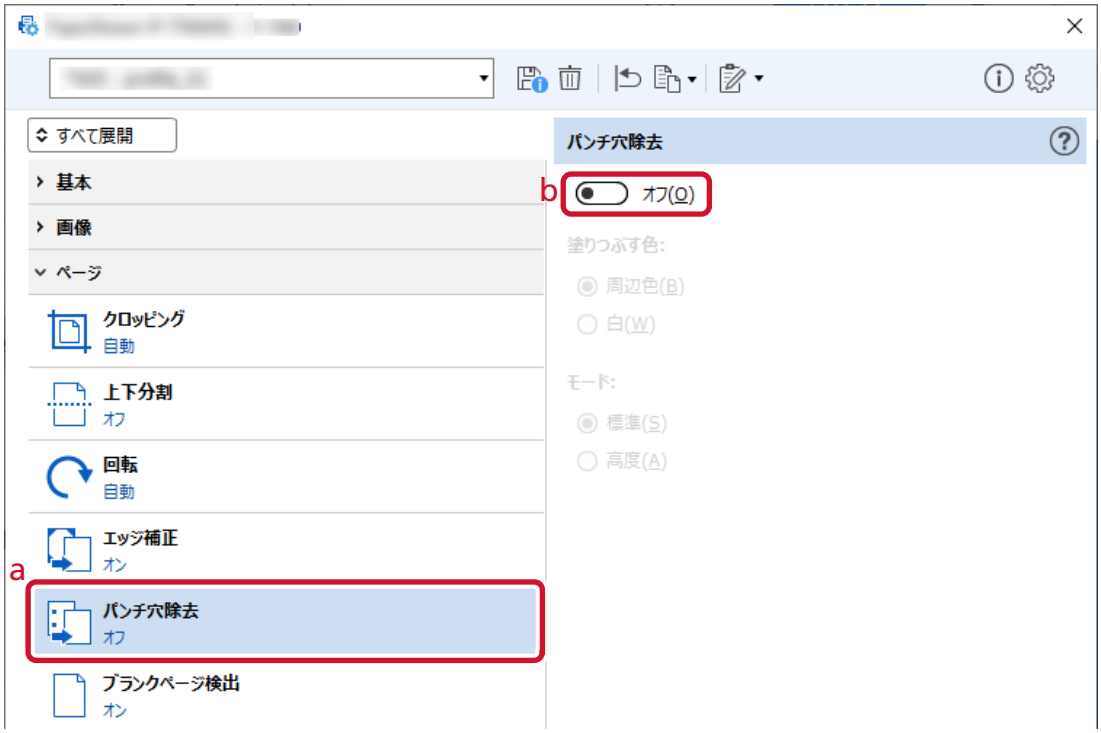
2 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。



3 PaperStream IP ドライバーの詳細設定画面で「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。

a 「パンチ穴除去」を選択します。

b 「オフ」を選択します。

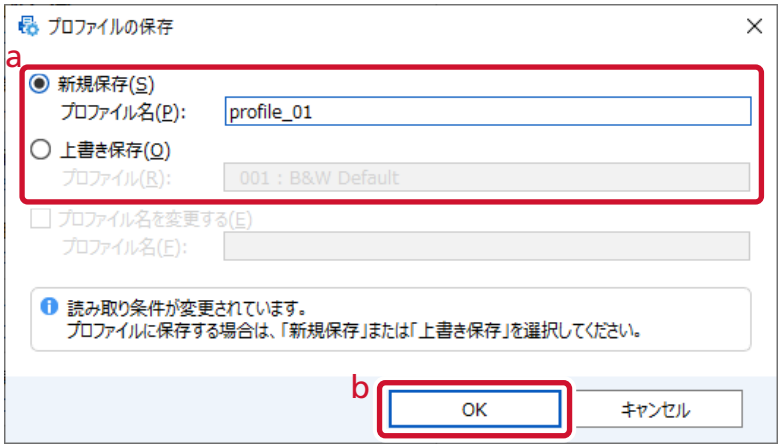


4 保存アイコン（）をクリックします。

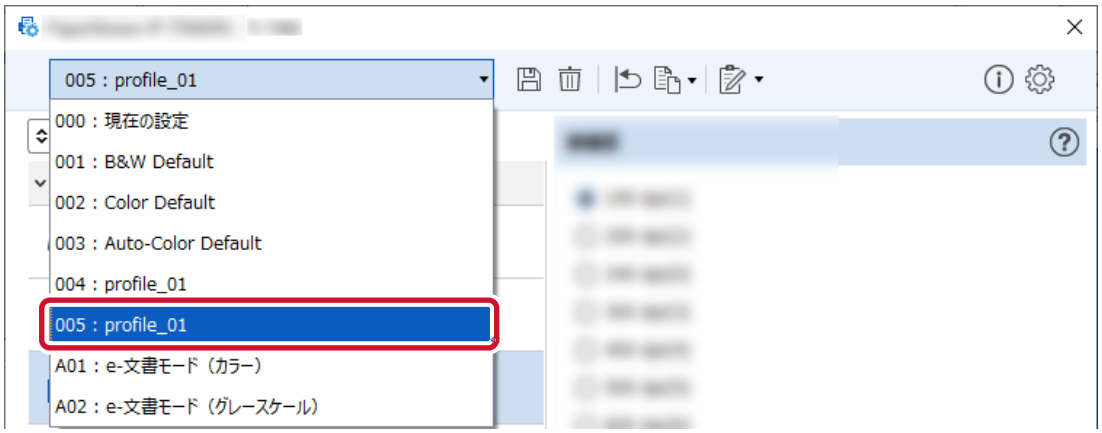
5 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b ［OK］ボタンをクリックします。



6 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。



7 [OK] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

8 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.9 読み取り中、読み取り後の画面表示/非表示を設定する

原稿の読み取り中または読み取り後に、読み取った画像を表示させる/させないを選択できます。
以下に読み取った画像の表示/非表示、および PaperStream Capture の画面の表示/非表示を切り替える手順を説明します。

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

2 「読み取り設定」タブの設定を変更します。

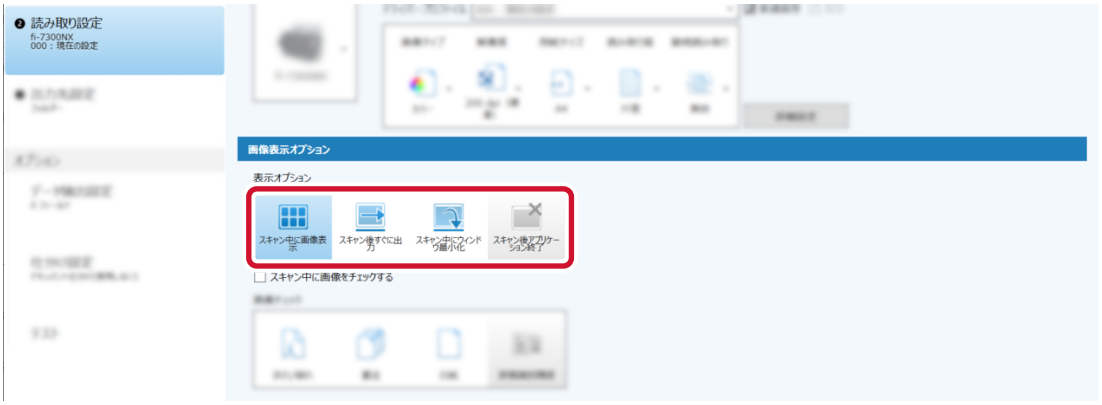
- かんたん作成の場合
  「画像表示オプション」の「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」チェックボックスにチェックを付けると、読み取った画像を表示せずに、「出力先設定」タブの「出力先」で設定した出力先に、読み取った画像を自動で出力します。

チェックを外すと、読み取り開始時から、読み取った画像を表示します。画像を確認 / 編集する画面で［完了］ボタンをクリックすると、読み取った画像をファイルに保存します。



- こだわり作成の場合

「画像表示オプション」の「表示オプション」で、設定する項目をクリックします。



選択項目	動作内容
スキャン中に画像表示	デフォルト値です。 読み取り開始時から、読み取った画像を表示します。 画像を確認 / 編集する画面で［完了］ボタンをクリックすると、読み取った画像をファイルに保存します。
スキャン後すぐに出力	［完了］ボタンをクリックすることなく、読み取った画像をファイルに保存します。
スキャン中にウィンドウ最小化	読み取り開始以降、画像を確認 / 編集する画面を最小化します。
別途 QC を行う	PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、選択できます。選択すると、読み取りと QC を別々に作業できます。
スキャン後すぐに出力 スキャン中にウィンドウ最小化 スキャン後アプリケーション終了	読み取り中は画像を確認 / 編集する画面を最小化し、読み取った画像をファイルに保存して、PaperStream Capture を終了します。 この 3 項目を選択し、スキャナーのボタンで原稿を読み取る設定と組み合わせると、コンピューターに PaperStream

選択項目	動作内容
	Capture の画面を表示せずに、読み取った画像をファイルに保存して、PaperStream Capture を終了します。

3 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

4 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.9.1 読み取りで検出されたエラーに対応する

読み取り中に検出されたエラーに対応します。
第 25 章 リカバリー画面 (430 ページ)は、19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択し、「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスにチェックを付けている場合に表示されます。
ただし、「画像チェック」で「重送」を選択している場合、原稿の重なりが検出されると、リカバリー画面は表示されず、以下のようになります。

- PaperStream Capture の場合
  第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)に検出された画像がマーク付きで表示されます。また、PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、リカバリー画面は表示されません。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  第 24 章 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） (427 ページ)または第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)に検出された画像がマーク付きで表示されます。

ここでは、リカバリー画面で原稿づまりが検出された画像を削除して、読み取りを継続する例で説明します。

1 原稿づまりが検出された画像を選択します。

2 ツールバーの「画像」にある「削除」をクリックします。

メッセージ画面が表示されます。

3 ［はい］ボタンをクリックします。

選択しているページが削除されます。

4 ［継続読み取り］ボタンをクリックします。

読み取りが継続されます。

14.10 読み取り中に画像を確認する

バッチスキャンモードでは、原稿の読み取り中に読み取りが完了した画像を確認して、画像にマークを付けることができます。
以下にジョブの設定手順と読み取り中に画像を確認する手順を説明します。

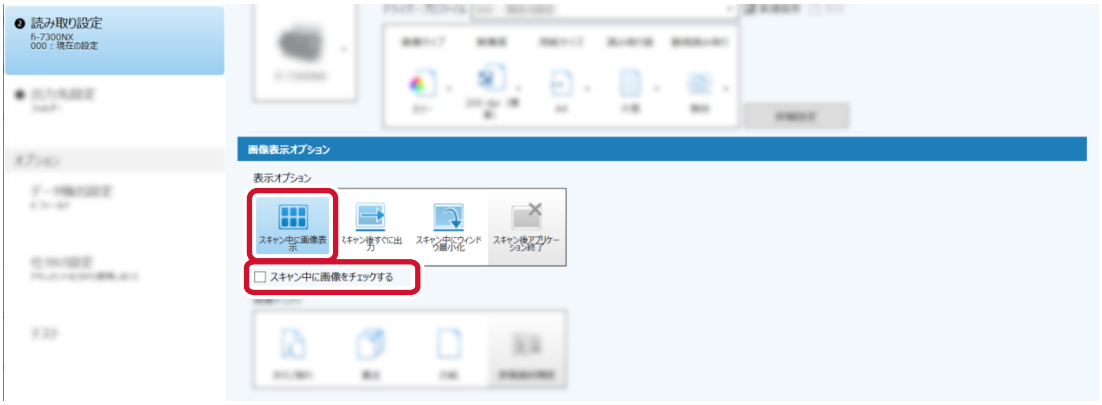
1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

2 「読み取り設定」タブの設定を変更します。

- かんたん作成の場合
  「画像表示オプション」の「読み取り中に画像をチェックする」チェックボックスにチェックを付けます。



- こだわり作成の場合
  「画像表示オプション」の「表示オプション」で「スキャン中に画像表示」を選択して、「スキャン中に画像をチェックする」チェックボックスにチェックを付けます。



3 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

4 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

5 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

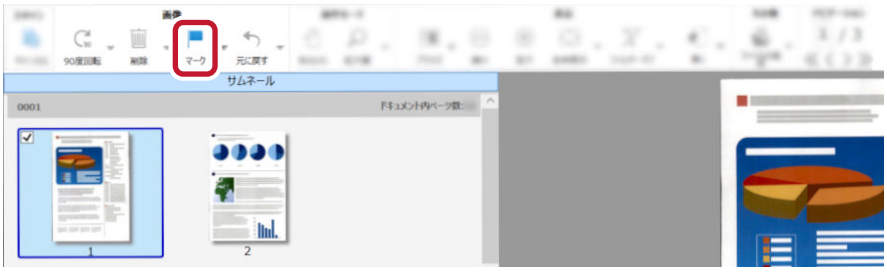
6 原稿を読み取ります。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)
➡ 第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

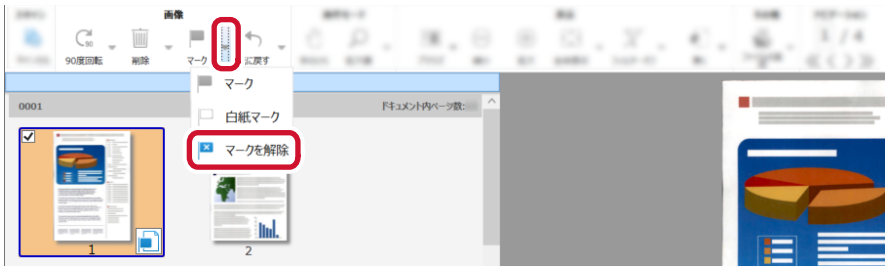
7 原稿の読み取り中に、サムネールで確認する画像のページを選択して、ビューアーに表示された画像を確認します。



8 サムネールにマークを付ける場合は、ツールバーの「マーク」をクリックします。



- マークを削除する場合は、ツールバーの「マークを解除」をクリックしてください。



- 白紙のサムネールにマークを付ける場合は、白紙のサムネールを選択して、「白紙マーク」をクリックしてください。

14.11 画像のファイルサイズを設定する

読み取った画像を PDF、JPEG、または TIFF 形式で出力する場合に、ファイルサイズを調整できます。
JPEG 画像または TIFF 画像の場合は、画像の種類が「グレースケール」または「カラー」のときだけ、調整できます。

14.11.1 バッチスキャンモードで読み取る場合

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

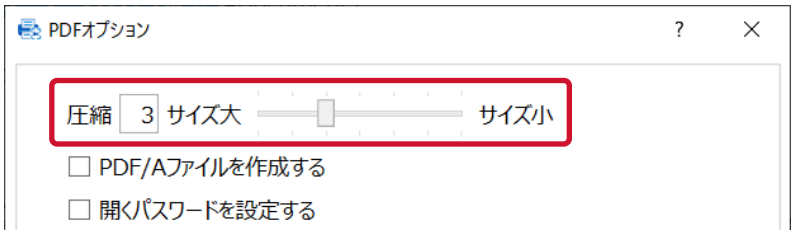
2 「出力先設定」タブの設定を変更します。

- かんたん作成の場合

a 「出力先」を選択して、「ファイルプロパティ」の［その他の設定］ボタンまたは［オプション設定］ボタンをクリックします。



b スライダーでサイズを指定します。
ファイルサイズを小さくするほど画像の劣化が目立つようになりますが、ファイルサイズを小さくできます。
以下はファイル形式が PDF の場合の例です。



c ［OK］ボタンをクリックします。
「出力先」に戻ります。

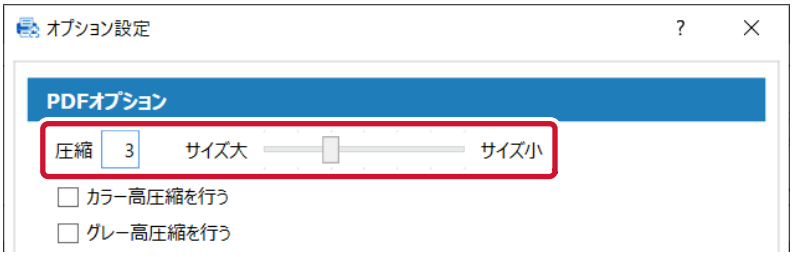
- こだわり作成の場合

a 「ファイルプロパティ」の［オプション設定］ボタンをクリックします。



b スライダーでサイズを指定します。
ファイルサイズを小さくするほど画像の劣化が目立つようになりますが、ファイルサイズを小さくできます。

以下はファイル形式が PDF の場合の例です。



c ［OK］ボタンをクリックします。
「出力先設定」タブに戻ります。

3 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

4 ［閉じる］ボタンをクリックします。

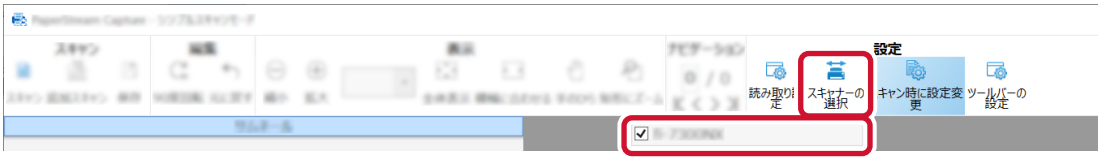
「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.11.2 シンプルスキャンモードで読み取る場合

1 ［モード切替え］ボタンをクリックし、シンプルスキャンモードの画面に切り替えます。

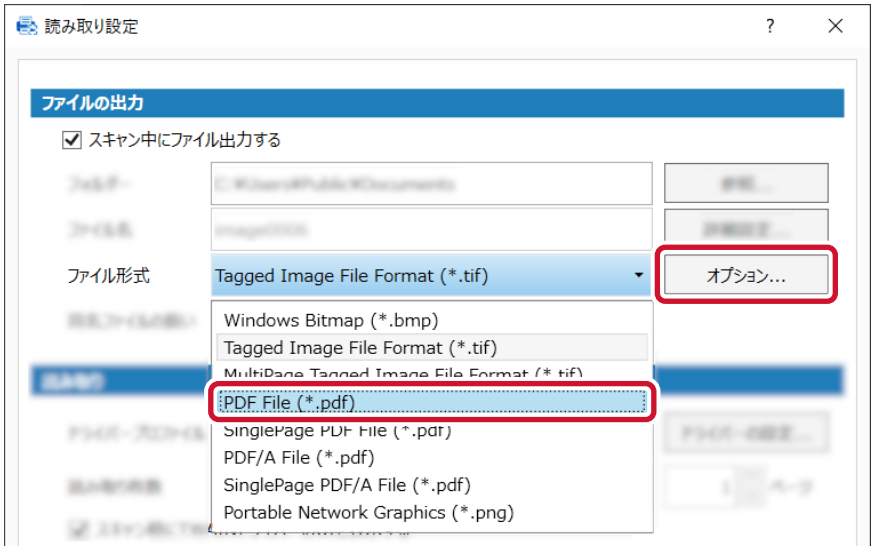


2 第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)のツールバーの「スキャナーの選択」をクリックして、使用するスキャナーを選択します。



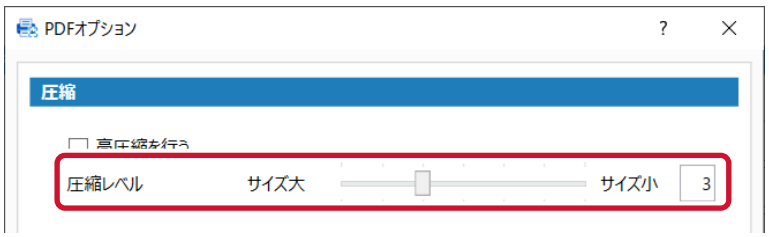
3 ツールバーの「読み取り設定」をクリックします。

4 「ファイル形式」でファイル形式を選択して、［オプション］ボタンをクリックします。



5 スライダーでサイズを指定します。

ファイルサイズを小さくするほど画像の劣化が目立つようになりますが、ファイルサイズを小さくできます。



6 ［OK］ボタンをクリックします。

「読み取り設定」画面に戻ります。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

シンプルスキャンモードの画面に戻ります。

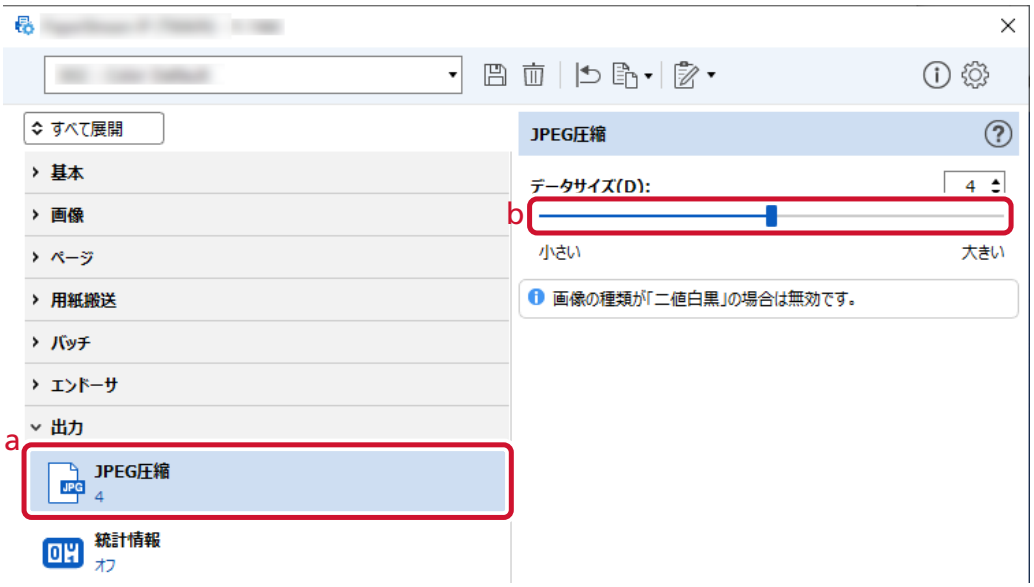
JPEG 形式の場合

「読み取り設定」画面で［ドライバーの設定］ボタンをクリックして、PaperStream IP ドライバーの詳細ダイアログで変更します。

1 PaperStream IP ドライバーの詳細ダイアログで「出力」を選択し、読み取り内容を設定します。

a 「JPEG 圧縮」を選択します。

b 「データサイズ」のスライダーで調整します。

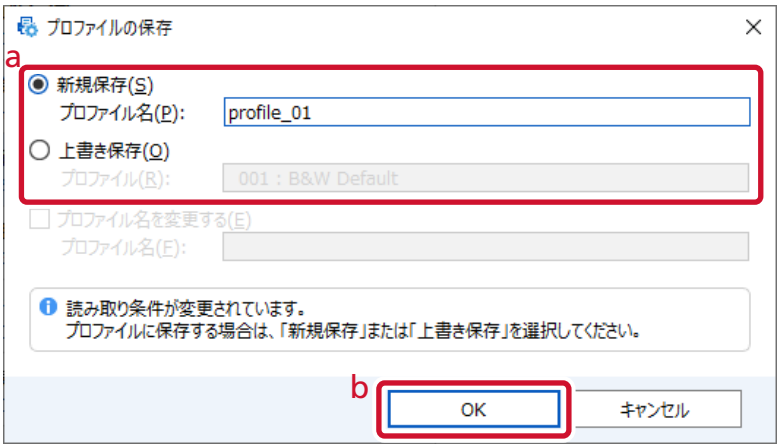


2 保存アイコン（ ）をクリックします。

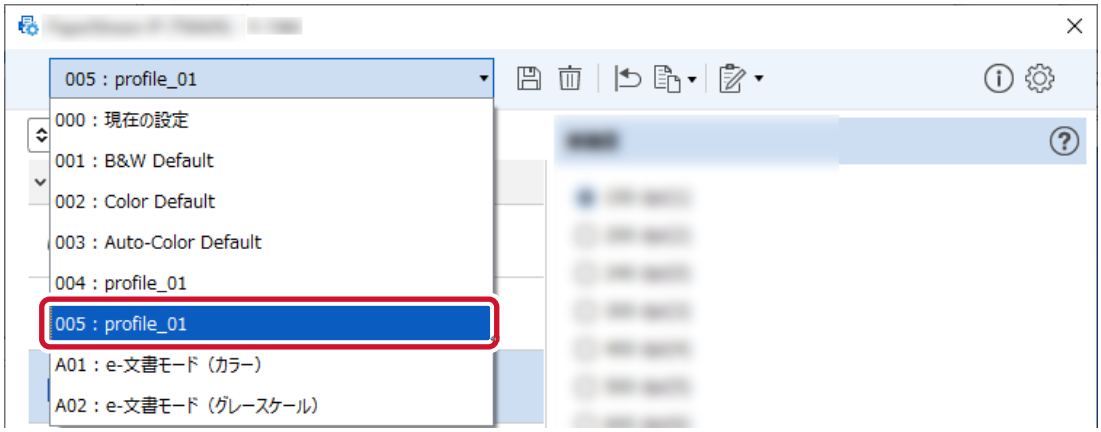
3 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b [OK] ボタンをクリックします。



4 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認します。



5 ［OK］ボタンをクリックします。
PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

6 ［保存］ボタンをクリックします。

14.12 画像を文字の検索ができる PDF ファイルにする

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

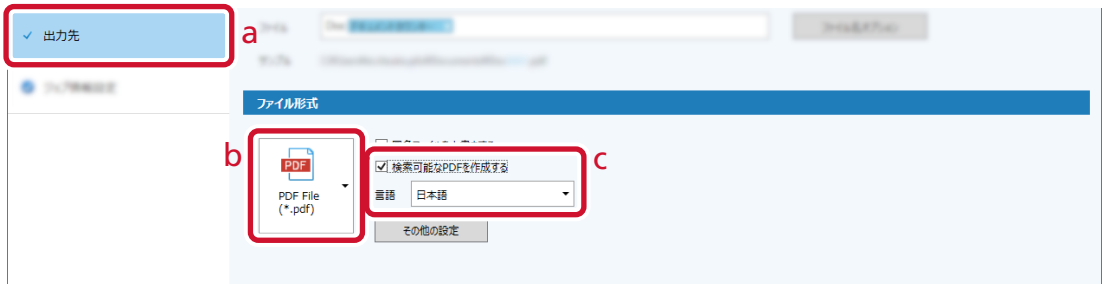
2 「出力先設定」タブの設定を変更します。

- かんたん作成の場合

  a 「出力先」を選択します。

  b ファイル形式で PDF を選択します。

  c 「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスにチェックを付けて、言語を選択します。



- こだわり作成の場合

  a ファイル形式で PDF を選択します。

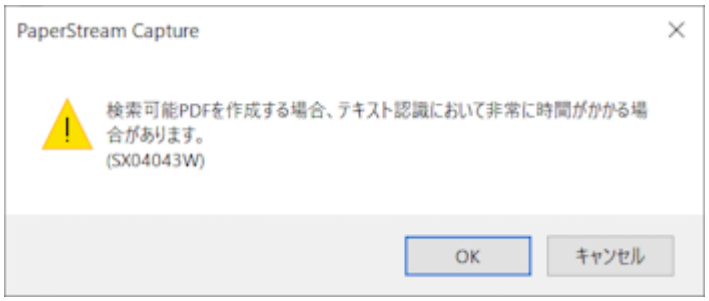
b ［オプション設定］ボタンをクリックします。



c 「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスにチェックを付けて、言語を選択します。



以下のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックしてください。



d ［OK］ボタンをクリックします。
「出力先設定」タブに戻ります。

3 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

4 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.13 ファイル名オプションを使ってファイル名を指定する

ファイル名やフォルダー名、およびインデックス情報ファイルに、規則に沿った名前を指定できます。
例えば、ファイル名に「出力日」、「ジョブ名」、「ページカウンター」を指定すると、いつ、どのようなジョブで、何ページ目かという情報が、ファイル名で判断できるようになります。

➡ 19.5.10 ファイル名オプション (292 ページ)

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

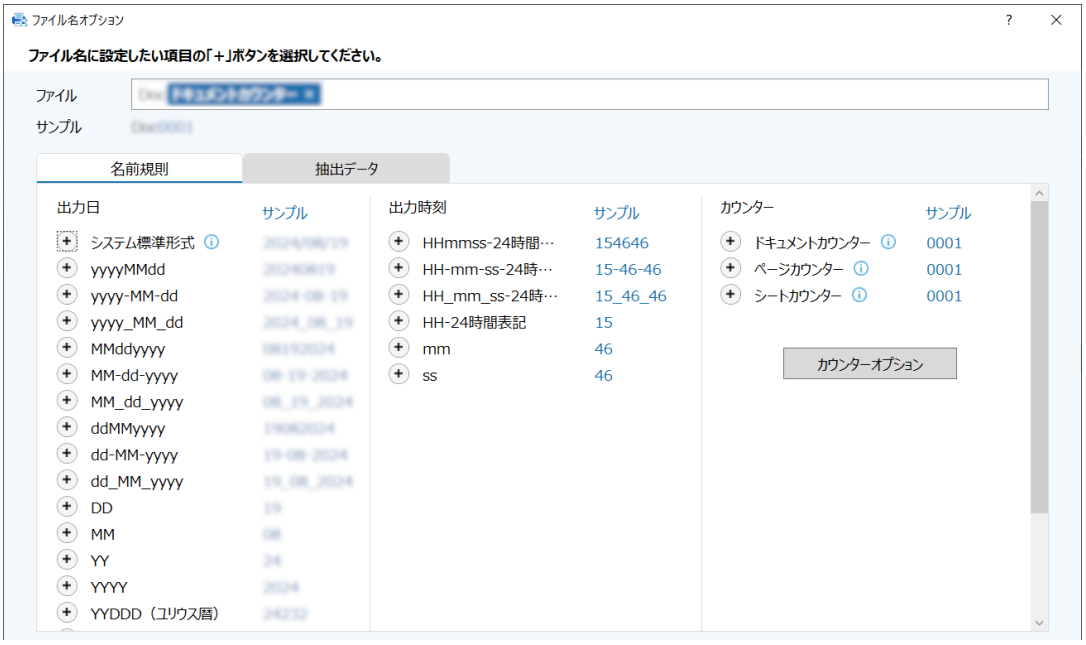
2 「出力先設定」タブの設定を変更します。

- かんたん作成の場合

a 「出力先」を選択します。

b 「ファイル」の入力域の横にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

c 「名前規則」タブまたは「抽出データ」タブを選択して、ファイル名に使用する項目の［+］ボタンをクリックします。



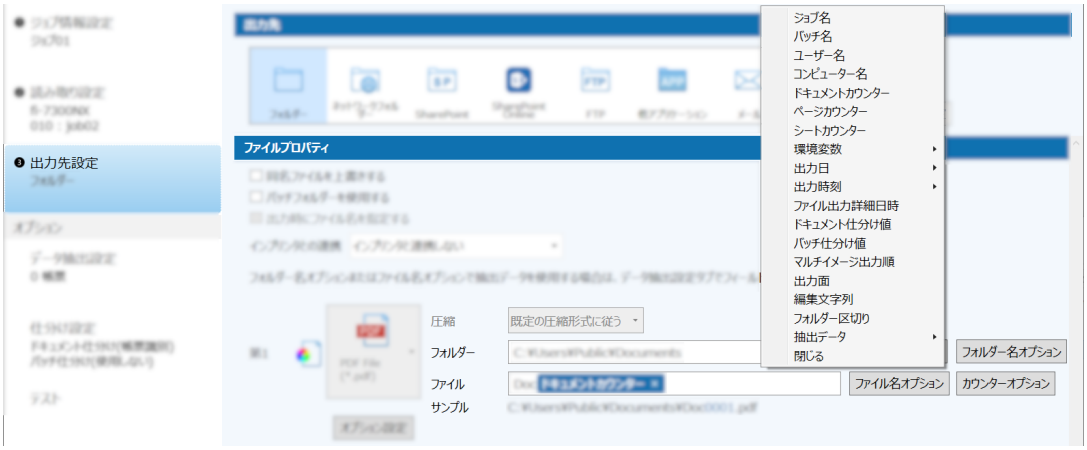
ファイル名の入力域に、選択した項目がタグ形式で表示されます。
「サンプル」にファイル名オプションに沿ったファイル名が自動的に表示されます。

d ［OK］ボタンをクリックします。
「出力先」タブに戻ります。

- こだわり作成の場合

a 「ファイルプロパティ」で「ファイル」の入力域の右側にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

b 表示されたメニューから、指定する項目を選択します。



ファイル名の入力域に、選択した項目がタグ形式で表示されます。
「サンプル」にファイル名オプションに沿ったファイル名が自動的に表示されます。

c 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。

3 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

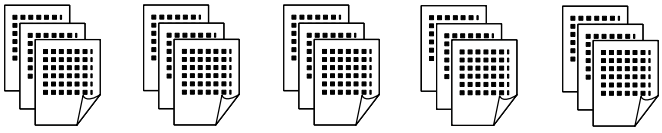
4 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

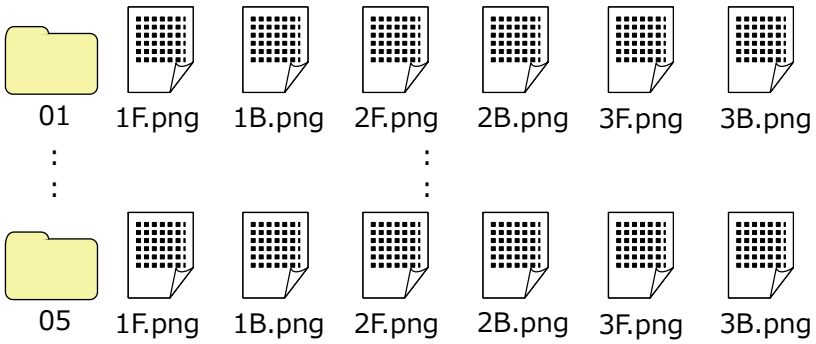
14.13.1 ファイル名の設定例

フォルダー名オプションまたはファイル名オプションを使って、以下のような出力例 1～3 のフォルダー名とファイル名にするには、どのように設定するかを説明します。なお、15 枚の原稿を両面読み取りで読み取り、3 枚 1 組（6 ページ）で原稿分割するという前提とします。

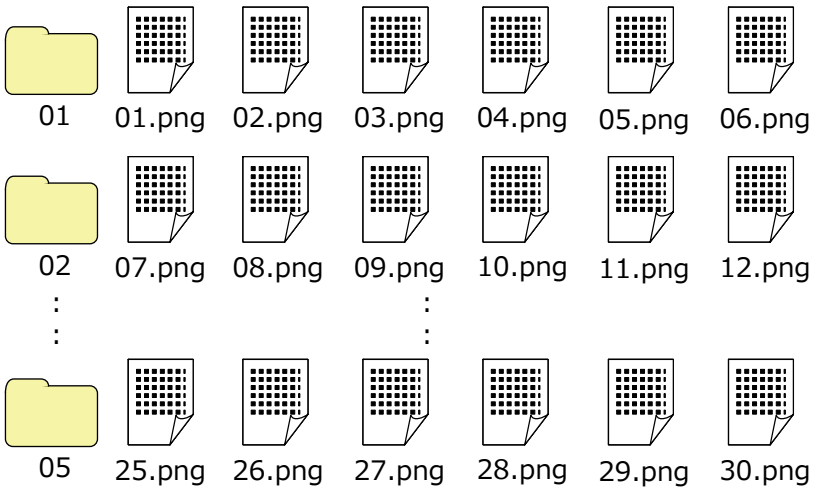
読み取り原稿例（3枚1組の原稿が5組で合計15枚の原稿）



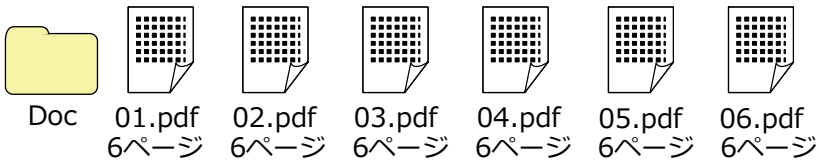
出力例1



出力例2



出力例3



「ファイル名オプション」で「ドキュメントカウンター」、「ページカウンター」および「シートカウンター」を選択した場合、[カウンターオプション] ボタンをクリックし、表示された「カウンターオプション」画面で、希望する出力になるように設定をしてください。

➡ 14.14 画像のファイル名に連番を付ける (153 ページ)

- **出力例 1**

  フォルダー名とファイル名

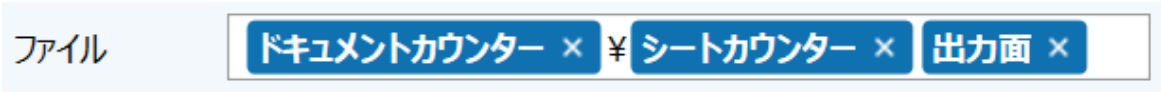
  - フォルダー名
    01、02、03、04、05
  - ファイル名
    1F.png、1B.png、2F.png、2B.png、3F.png、3B.png
    各フォルダー内に同じファイル名のファイルが生成されます。数字は原稿の枚数を、F は表面、B は裏面を表しています。

  どのように出力するか

  - 原稿 1 組ごとにフォルダーを連番で作成し、画像ファイルを格納する
  - 画像は 1 ページ 1 ファイルとし、何枚目の原稿の表面か裏面かを判別できるファイル名にする

  設定内容

  - ファイル形式
    PNG 形式
  - ファイル名
    「ドキュメントカウンター」、「フォルダー区切り」、「シートカウンター」、「出力面」の順でファイル名オプションを指定します。
    ファイル名の入力域には、以下のように表示されます。

    「¥」は「フォルダー区切り」のことです。
  - カウンターオプション
    - ドキュメントカウンター
      「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。
    - シートカウンター
      「初期値」を「1」、「読み取り毎に初期値に戻す」を選択、「最小桁数」を「1」で指定します。

- **出力例 2**

  フォルダー名とファイル名

  - フォルダー名
    01、02、03、04、05
  - ファイル名
    01.png、02.png、～略～、30.png
    01 フォルダーには、01.png～06.png まで、02 フォルダーには、07.png～12.png までというように、各フォルダー内に 6 ファイルずつ格納されます。

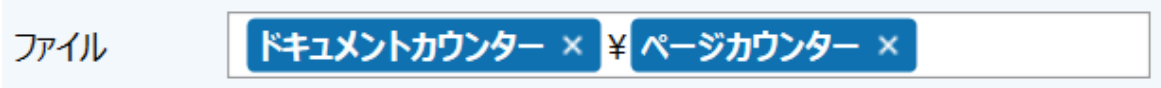
  どのように出力するか

  - 原稿 1 組ごとにフォルダーを連番で作成し、画像ファイルを格納する

- 画像は 1 ページ 1 ファイルとし、フォルダーに関係なく、全ページ数が確認できるファイル名にする

設定内容

- ファイル形式
  PNG 形式
- ファイル名
  「ドキュメントカウンター」、「フォルダー区切り」、「ページカウンター」の順でファイル名オプションを指定します。
  ファイル名の入力域には、以下のように表示されます。



  「¥」は「フォルダー区切り」のことです。
- カウンターオプション
  - ドキュメントカウンター
    「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。
  - ページカウンター
    「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。

- **出力例 3**

フォルダー名とファイル名

- フォルダー名
  Doc
- ファイル名
  01.pdf、02.pdf、03.pdf、04.pdf、05.pdf
  各 PDF ファイルは、6 ページで形成されます。

どのように出力するか

原稿 1 組分を 1 ファイルとし、連番のファイル名で、すべて同じ「Doc」フォルダーに格納する

設定内容

- ファイル形式
  PDF 形式
- ファイル名
  ファイル名の入力域に「Doc」を入力してから、「ファイル名オプション」で「フォルダー区切り」、「ドキュメントカウンター」の順でファイル名オプションを指定します。
  ファイル名の入力域には、以下のように表示されます。



  「¥」は「フォルダー区切り」のことです。
- カウンターオプション

- ドキュメントカウンター
「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。

読み取る原稿の枚数が多い場合は、最小桁数を大きくしてください。例えば、連番で 1,000 ファイルを出力する場合は、最小桁数を 4 桁以上にしてください。

14.14 画像のファイル名に連番を付ける

画像のファイル名に連番を付ける設定にすると、ファイル名の重複を防ぐことができます。

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

2 「カウンターオプション」画面を開きます。

- かんたん作成の場合

  a 「出力先設定」タブの「出力先」を選択して、［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

  b 「ファイル名オプション」画面で、［カウンターオプション］ボタンをクリックします。

- こだわり作成の場合
「出力先設定」タブを選択して、［カウンターオプション］ボタンをクリックします。

3 カウンターおよびファイル名の付与方法を検討します。
各カウンターの動作は以下です。

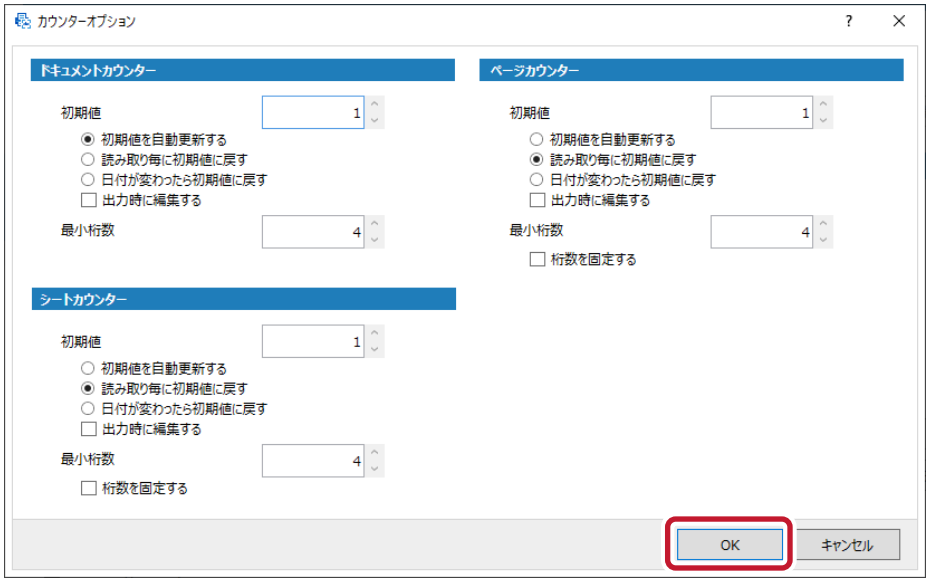
カウンター名	動作
ドキュメントカウンター	1 回の読み取りの単位で 1 ドキュメントとなり、カウント値に 1 を足します。 1 回の読み取りで仕分けがある場合、分割された単位で 1 ドキュメントとなります。
シートカウンター	読み取った原稿 1 枚が 1 シートとなり、1 シート読み取るごとに、カウント値に 1 を足します。
ページカウンター	読み取った原稿の面が 1 ページとなり、1 ページ読み取るごとに、カウント値に 1 を足します。

- 任意の文字＋（シートカウンター）＋ページカウンター
1 ページまたは 1 シート（片面）を 1 ファイルで保存する、以下のファイル形式を選択した場合によく使われる付与方法です。
  - Windows Bitmap
  - Tagged Image File Format
  - JPEG2000 File
  - JPEG File
  - SinglePage PDF File
  - SinglePage PDF/A File

- Portable Network Graphics

- 任意の文字＋ドキュメントカウンター
  複数ページを 1 つのファイルにまとめて保存する、以下のファイル形式を選択した場合によく使われる付与方法です。
  - MultiPage Tagged Image File Format
  - PDF File
  - PDF/A File
  - リッチテキスト形式
  - Word 文書
  - Excel 文書
  - PowerPoint 文書

4 使用するカウンターの項目を設定して、[OK] ボタンをクリックします。



「出力先設定」タブに戻ります。

5 [保存] ボタンをクリックします。
ジョブの設定が保存されます。

6 [閉じる] ボタンをクリックします。
「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する

抽出データを設定すると、原稿に記載された以下の情報を読み取って、認識した文字列をファイル名やフォルダー名として活用したり、インデックス情報として出力したりできます。

- ゾーン OCR
- バーコード

- パスポート
  （MRZ 上段、MRZ 下段、発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号）
- ID カード(TD1)
  （MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段、発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名）
- ID カード(TD2)
  （MRZ 上段、MRZ 下段、発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報）

PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium では、ほかの情報を使用した抽出データの設定ができます。詳細は、14.40 抽出データの高度な設定 (211 ページ)を参照してください。
ここではこだわり作成で、文字列またはバーコードの情報を読み取る手順を説明します。

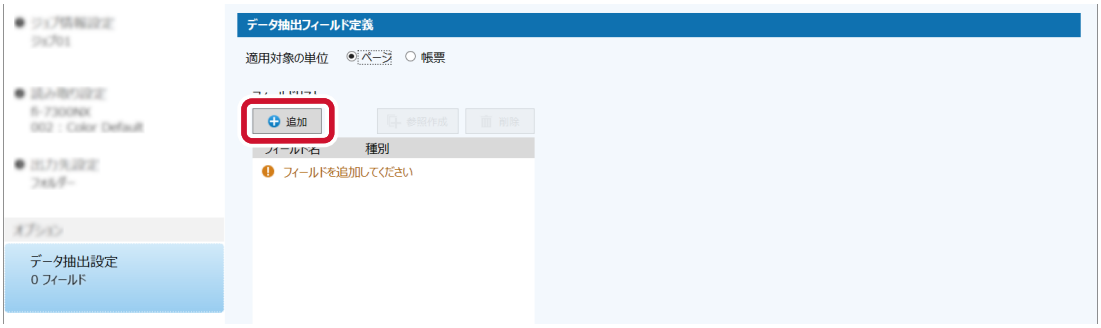
1 検出する文字列やバーコードを印刷した原稿を用意します。

2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

3 「データ抽出設定」タブを選択します。

4 「適用対象の単位」で「ページ」を選択します。

5 「フィールドリスト」の「追加」をクリックします。



6 フィールド属性を設定します。

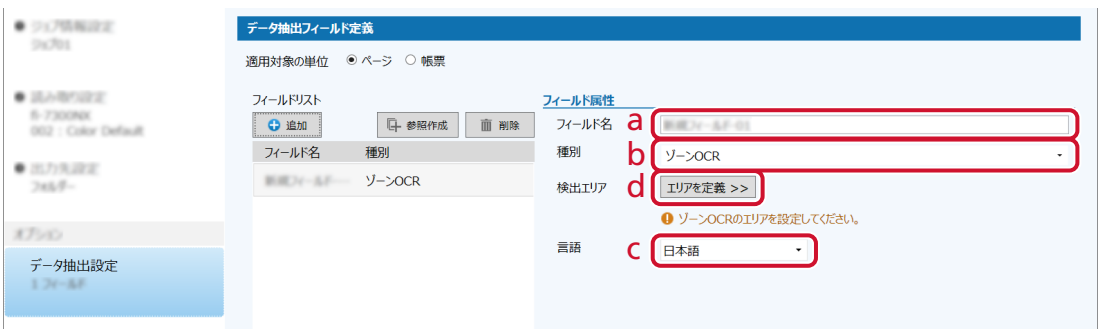
- 文字列を読み取る場合

  a 「フィールド名」を入力します。

  b 「種別」で「ゾーン OCR」を選択します。

  c 使用する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。

  d ［エリアを定義 >>］ボタンをクリックします。



- バーコード/QR コードを読み取る場合

  a 「フィールド名」を入力します。

  b 「種別」で「バーコード」を選択します。

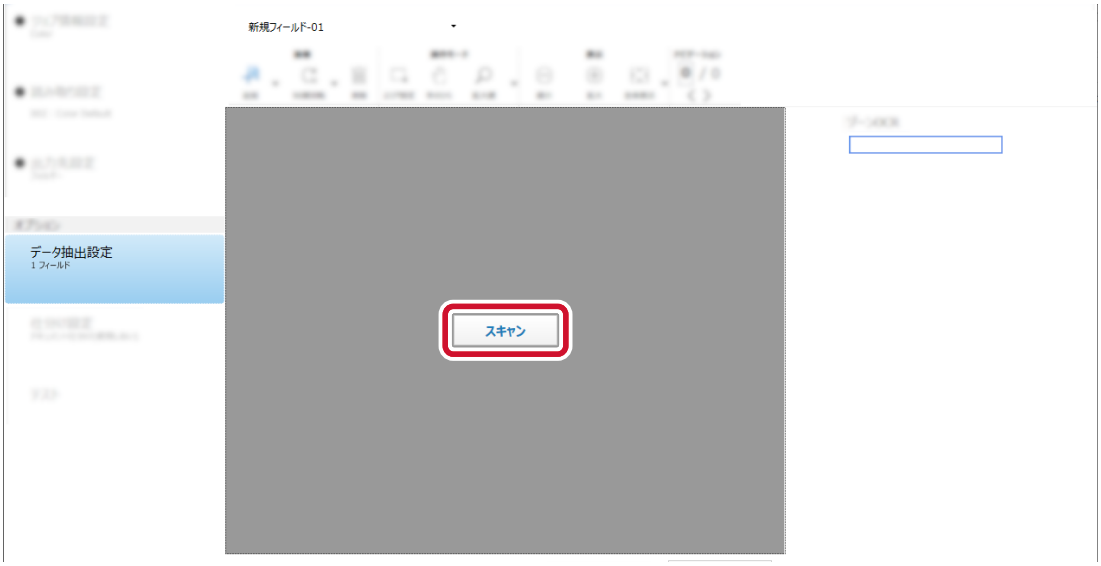
  c 「検出エリア」で「エリア定義」を選択します。

  d [エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。



7 **スキャナーに、手順 1 で用意した原稿を 1 枚セットします。**

8 **[スキャン] をクリックします。**



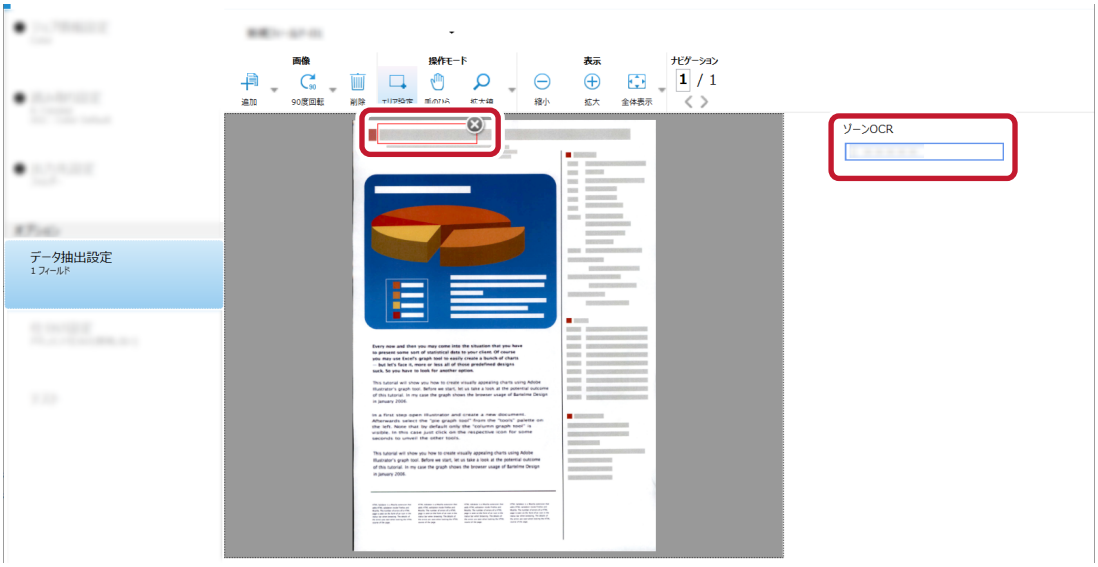
9 **文字列またはバーコードを読み取るエリアを設定します。**

読み取る範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。

認識されると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。
以下は、「種別」で「ゾーン OCR」を選択した場合の画面例です。

「種別」が「バーコード」の場合、選択した領域は青色の枠囲みで表示されます。



PaperStream Capture でゾーン OCR を使って認識する場合、手順 6 で選択した「言語」が英語 、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、インドネシア語、デンマーク語、ノルウェー語、ハンガリー語、またはフィンランド語の場合、認識する文字の種別と文字数を指定する領域が表示されるので、種別をドロップダウンリストから選択し、必要に応じて文字数を指定します。
認識領域の編集は、ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリックすると、終了できます。

10 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

11 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

12 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

13 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

14 原稿を読み取ります。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)
➡ 第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

15 読み取った画像を確認します。

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

ヒント

- ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスの左ボタンを長押ししても、認識領域を編集できます。
  また、認識領域の編集は、以下の方法で終了できます。
  - ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリック
  - ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスを右クリック

関連項目

42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)
42.6 バーコードの種類と検知条件 (664 ページ)

14.16 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する

14.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (154 ページ)で読み取った抽出データ（文字情報、バーコード/QR コードなど）を、インデックスファイルに出力できます。

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

2 **「データ抽出設定」タブで、原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。**

➡ 14.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (154 ページ)

3 **「出力先設定」タブで、インデックス情報ファイルを設定します。**

a 「インデックス情報を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。

b 「ファイル形式」でインデックス情報ファイルのファイル形式を選択します。

c インデックス情報ファイルの出力方法を「ドキュメント毎に 1 ファイル」または「バッチ毎に 1 ファイル」から選択します。



4 **インデックスファイルに出力する項目を設定します。**

a 「インデックスファイル」の［データの選択］ボタンをクリックします。

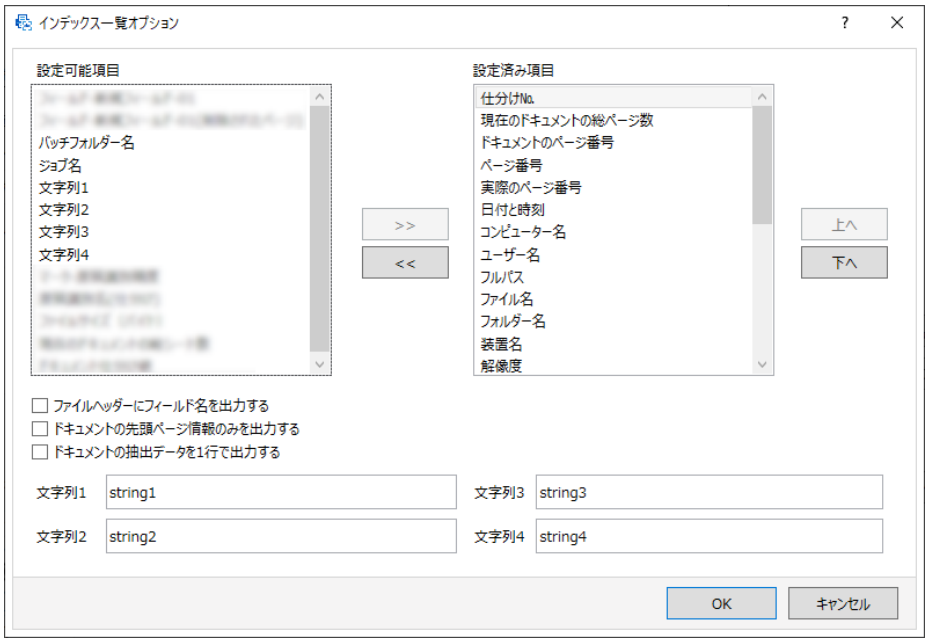
インデックス一覧オプション画面が表示されます。

b 設定済み項目で不要な項目を選択し、［<<］ボタンをクリックして、設定可能項目側へ移動します。

c 設定可能項目で必要な項目を選択し、［>>］ボタンをクリックして、設定済み項目側へ移動します。

d 項目を選択し、［上へ］ボタンまたは［下へ］ボタンをクリックして、インデックスファイルに出力する順序を設定します。

e インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に指定していて、項目名を出力したい場合は、「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。



5 ［OK］ボタンをクリックします。

「出力先設定」タブに戻ります。

6 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.17 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する

14.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (154 ページ)で読み取った抽出データ（文字情報、バーコード/QR コードなど）を、ファイル名やフォルダー名に使用できます。

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

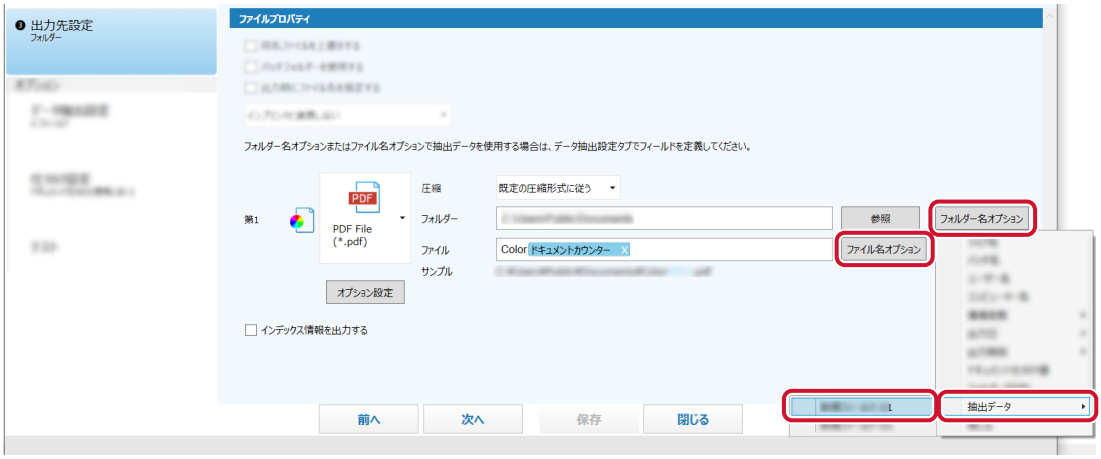
2 **「データ抽出設定」タブで、原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。**

➡ 14.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (154 ページ)

3 **「出力先設定」タブを選択します。**

4 **「ファイルプロパティ」で［フォルダー名オプション］ボタンまたは［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。**

表示されたメニューから、「抽出データ」をクリックして、使用するフィールド名を選択します。



「フォルダー」または「ファイル」の入力域にタグ形式で追加されます。

5 **「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。**

6 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

7 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

8 **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

9 **原稿を読み取ります。**

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

➡ 第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

10 **読み取った画像を確認します。**

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

重要

- 同じジョブを使って読み取ると、ファイル名が重複する場合があります。以下を設定すると、ファイルを誤って上書きしないようにできます。
  - ［カウンターオプション］ボタンをクリックし、表示される「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「初期値を自動更新する」を選択
  - 出力先フォルダーが読み取りごとに変わるよう、出力先フォルダーのフォルダー名オプションを設定

14.18 原稿内の文字列やバーコード/QR コードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける

原稿内の文字列やバーコード/QR コードの認識結果を利用して、連続して読み取った画像のファイルを分割できます。
ここではこだわり作成で、原稿内の文字列やバーコード/QR コードの認識結果を使用して、複数のファイルに分割し、文字列ごとに出力先フォルダーに振り分ける手順を説明します。

1 仕分け用の原稿を用意します。

2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

3 「仕分け設定」タブを選択します。

4 「ドキュメント仕分け」の各項目を設定します。

- 文字列で仕分ける場合

a 「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択します。

b 認識する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。

c 認識する文字列を「認識文字列」に入力し、入力域の横にあるドロップダウンリストから認識の条件を選択します。

d ［エリアを定義 >>］ボタンをクリックします。



- バーコード/QR コードで仕分ける場合

  a 「仕分けの種類」で「バーコード」を選択します。

  b 「仕分けに使用するバーコードの種類」から検知するバーコードの種類を 1 つ以上選択します。

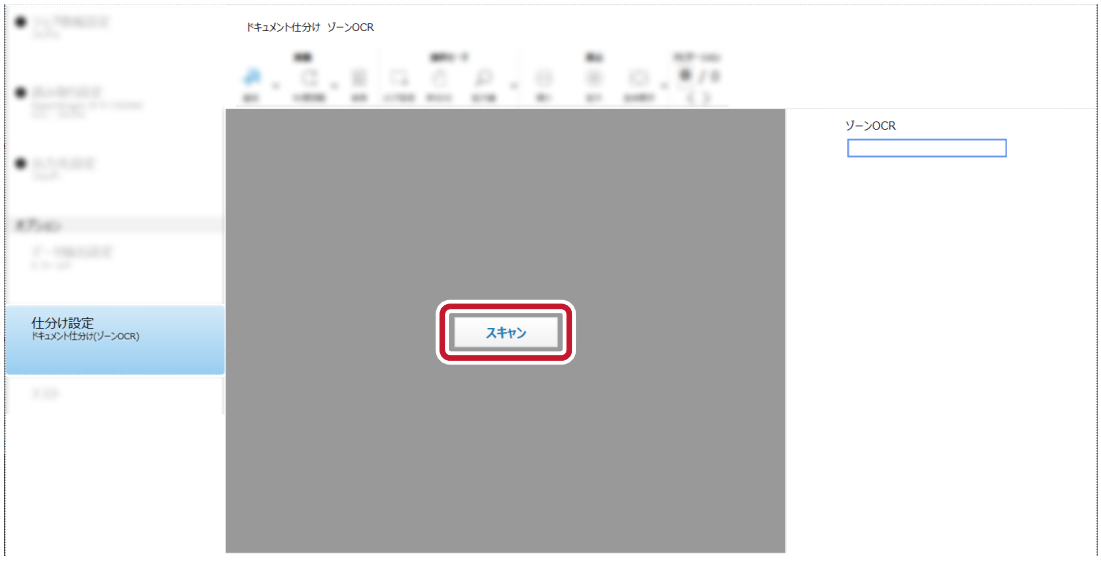
  c 「検出エリア」で「エリア定義」を選択します。

  d [エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。



5 **スキャナーに、手順 1 で用意した原稿を 1 枚セットします。**

6 **[スキャン] をクリックします。**



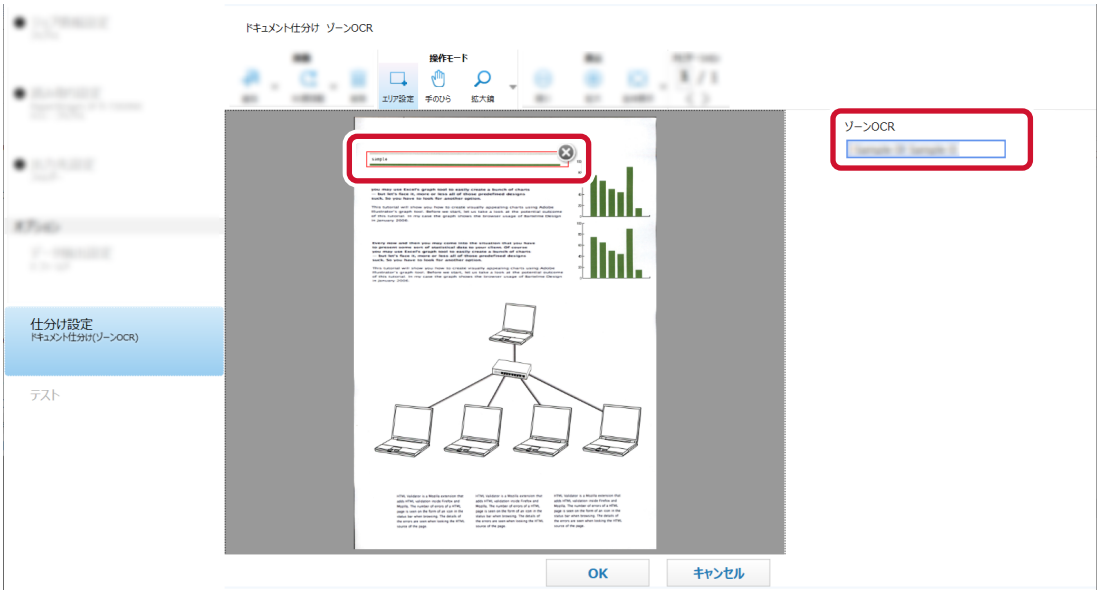
7 **文字列またはバーコードを読み取るエリアを設定します。**

読み取る範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。

認識されると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。
以下は、「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択した場合の画面例です。

「仕分けの種類」が「バーコード」の場合、選択した領域は青色の枠囲みで表示されます。



8 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

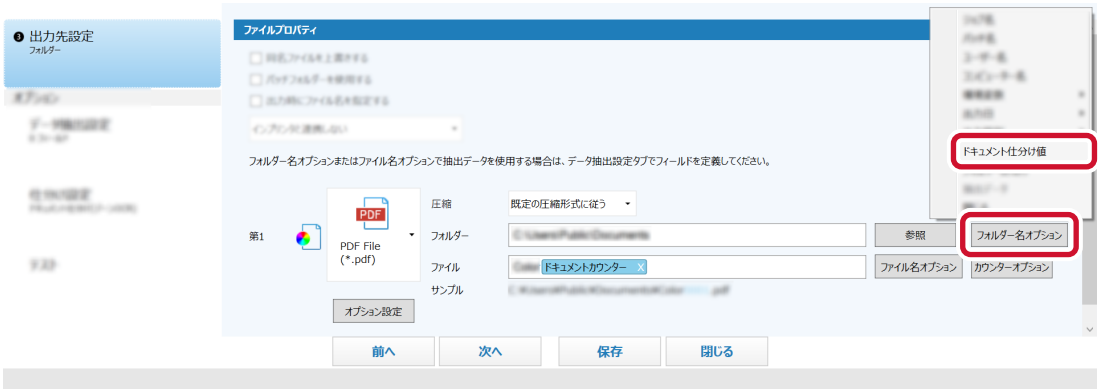
「仕分け設定」タブに戻ります。

9 「出力先設定」タブをクリックします。

10 「出力先」で、読み取った画像の出力先をクリックします。

11 「ファイルプロパティ」で［フォルダー名オプション］ボタンまたは［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

12 表示されたメニューから、「ドキュメント仕分け値」を選択します。



「フォルダー」または「ファイル」にドキュメント仕分け値が追加されます。

13 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。

14 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

15 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

16 **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

17 **読み取る原稿を用意し、仕分け用の原稿を区切りたい位置に入れます。**

18 **原稿を読み取ります。**

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

原稿が仕分け用原稿の位置で分割されながら読み取りされます。

19 **読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。**

画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

14.19 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する

抽出データを設定すると、定型帳票に記載された以下の情報を読み取って、認識した文字列をファイル名やフォルダー名として活用したり、インデックス情報として出力したりできます。

- ゾーン OCR
  以下の文字の情報を認識できます。
  - 活字
  - 手書き文字
    PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、以下の条件を満たす場合に認識できます。
    - 「言語」で以下のどれかを選択
      - 日本語
      - 英語
      - ドイツ語
      - フランス語
      - イタリア語
      - スペイン語
    - PaperStream Capture Pro AI-OCR がインストールされている
- バーコード
- チェックマーク
  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に認識できます。

ここでは、こだわり作成で、ゾーン OCR を使用して、帳票の文字列の情報を読み取る手順を説明します。

関連項目

42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)

14.19.1 情報を抽出するエリアを手動で追加する

ここでは、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のこだわり作成の場合を例に説明します。

1 登録する帳票の原稿を用意します。

- 帳票は、最大 1000 個まで登録できます。
- 未記入の帳票を登録することを推奨します。
  登録できる帳票の条件については、42.11 定型帳票の条件 (687 ページ)を参照してください。

2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

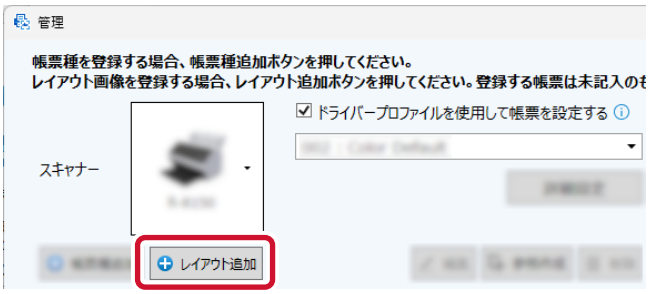
3 「データ抽出設定」タブを選択します。

4 「適用対象の単位」で「帳票」を選択します。

5 ［管理］ボタンをクリックします。

6 帳票を登録します。
一度に複数の帳票を登録できます。

a ［レイアウト追加］ボタンをクリックします。

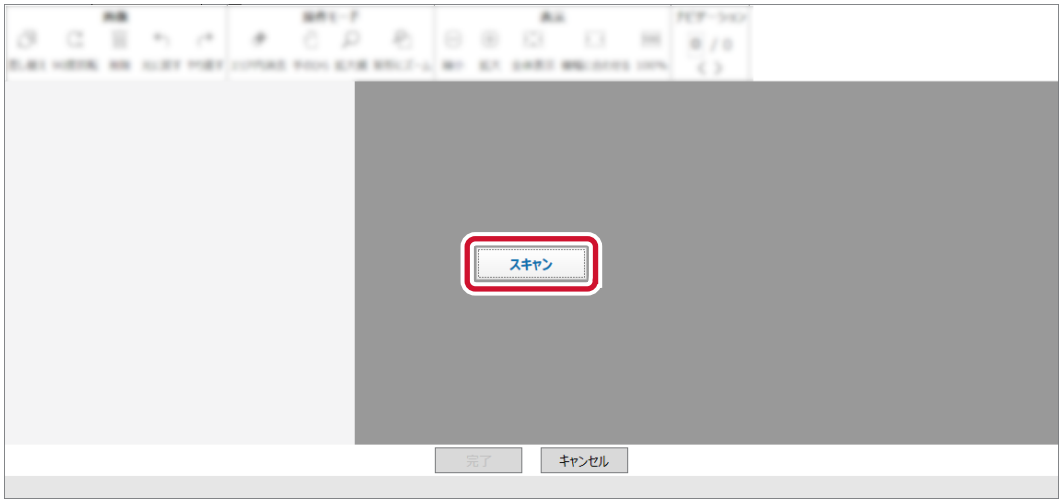


帳票の背景に小さい文字や薄い模様などのパターン（地紋）があり、デフォルトの読み取り設定では認識精度が低くなる場合は、読み取り設定（画像タイプ、解像度）を変更できます。

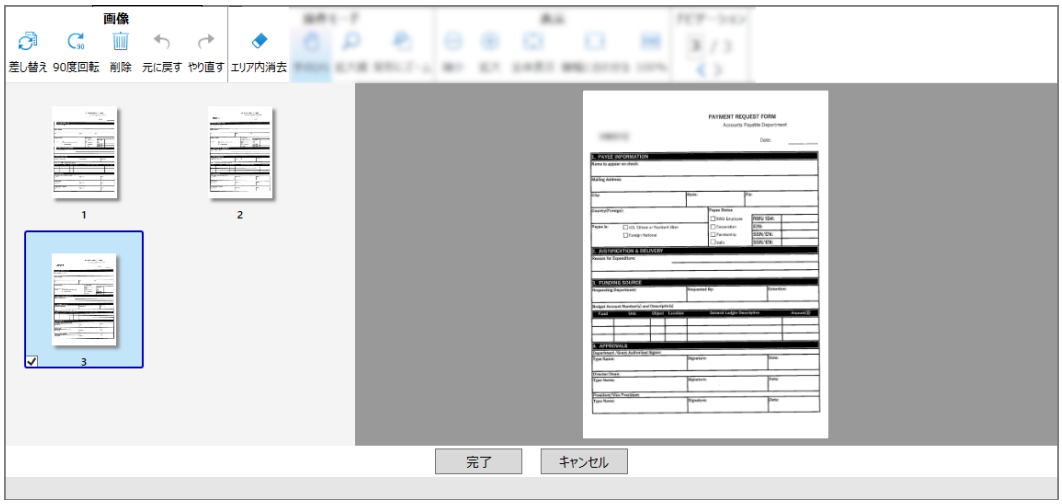
- 業務用 イメージ スキャナーを使用している場合
  「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」チェックボックスにチェックを付けて、デフォルトの読み取り設定（画像タイプ：カラー、解像度：300dpi、用紙サイズ：自動）を変更します。
  表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。また、［詳細設定］ボタンをクリックして、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。
- 他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合
  ［詳細設定］ボタンをクリックして、ドライバーの設定を変更します。

b スキャナーに、登録する帳票の原稿をセットします。

c **［スキャン］をクリックします。**



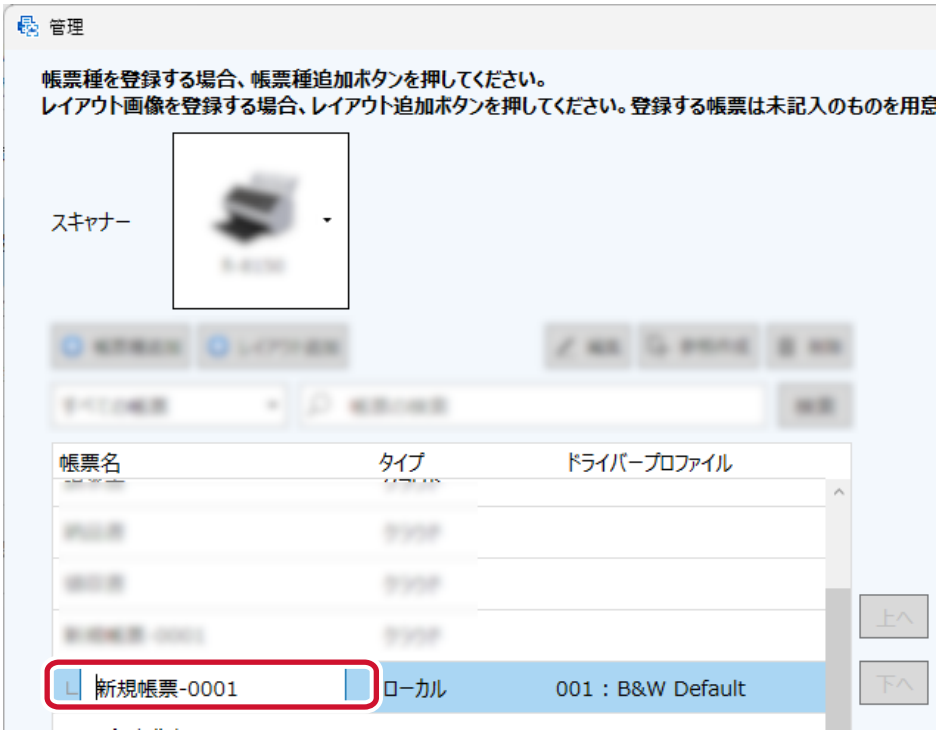
d **読み取った定型帳票の画像を確認します。**



- 定型帳票に印字済みの文字領域を認識させる場合は、ツールバーの「エリア内消去」をクリックして、読み取った画像上で対象の印字文字の領域をドラッグして消去します。
- 定型帳票を登録しない場合は、サムネール一覧で対象のページを選択して、ツールバーの「削除」をクリックします。

e **［完了］ボタンをクリックします。**

f 「帳票名」のテキストボックスをクリックして、帳票名を入力します。



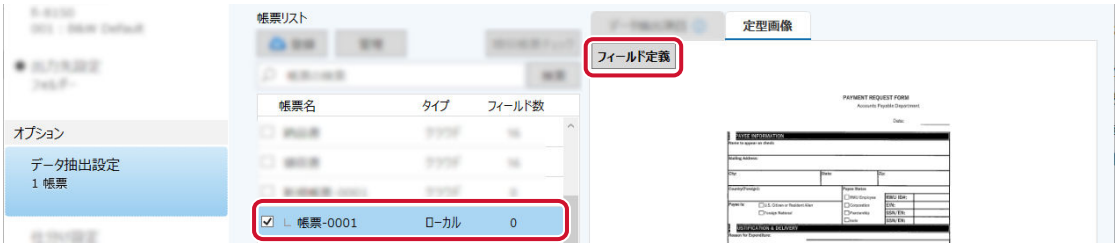
g 必要に応じて、帳票の追加、編集、参照作成、削除を行います。

h [閉じる] ボタンをクリックします。

7 帳票リストでデータを抽出する帳票のチェックボックスにチェックを付けて、[フィールド定義] ボタンをクリックします。

帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合、帳票リストの帳票名の横に ! が表示されます。

! をマウスでポイントすると表示されるメッセージを確認して、対処してください。



「フィールド定義」画面が表示されます。

8 [追加] ボタンをクリックします。

9 フィールドを追加します。

ここでは、文字列の情報を読み取る場合の手順を説明します。

a 文字列を読み取るエリアを設定します。

読み取る範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。

選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

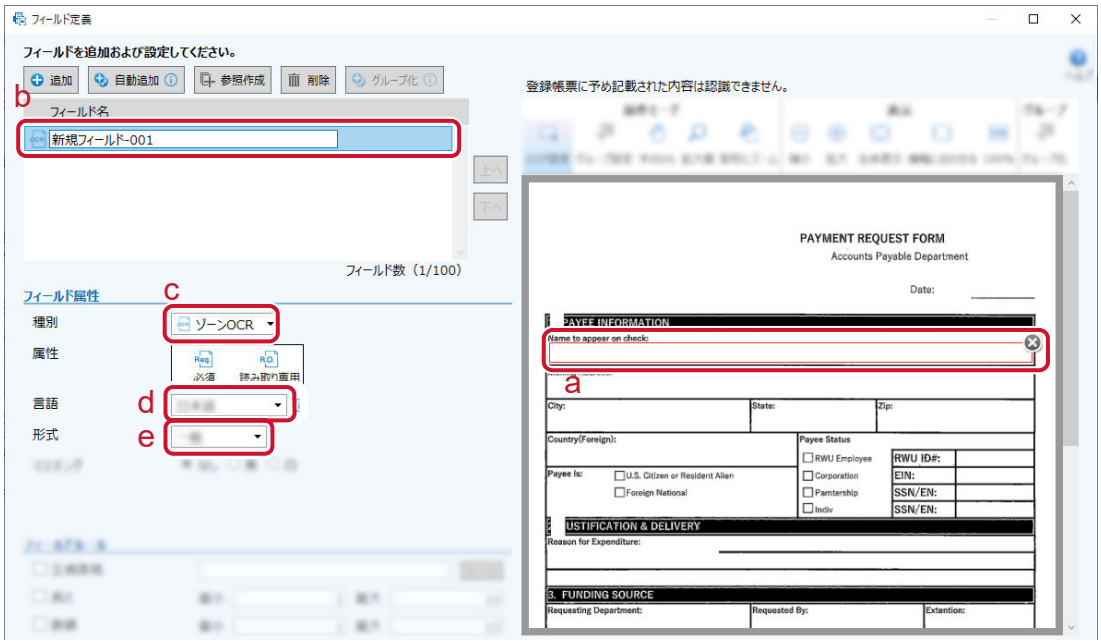
選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。

b フィールドリストのフィールド名をクリックして、フィールド名を編集します。

c 「種別」で「ゾーン OCR」を選択します。

d 使用する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。

e PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に、「言語」で日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、またはスペイン語を選択したときは、「形式」をドロップダウンリストから選択します。



10 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、フィールドを複数追加する場合は、手順 8～9 の操作を繰り返して、フィールドを追加します。

11 [完了] ボタンをクリックします。

「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

12 手順 7～11 の操作を繰り返して、各帳票にフィールドを追加します。

13 「帳票リスト」で複数の帳票をチェックしている場合は、[類似帳票チェック] ボタンをクリックして、類似する帳票がないかをチェックします。

表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、19.6.6「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

14 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

帳票リストで複数の帳票にチェックを付けているときに表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

15 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

16 **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

17 **原稿を読み取ります。**

原稿は、登録した帳票と同じ向きになるようにセットしてください。

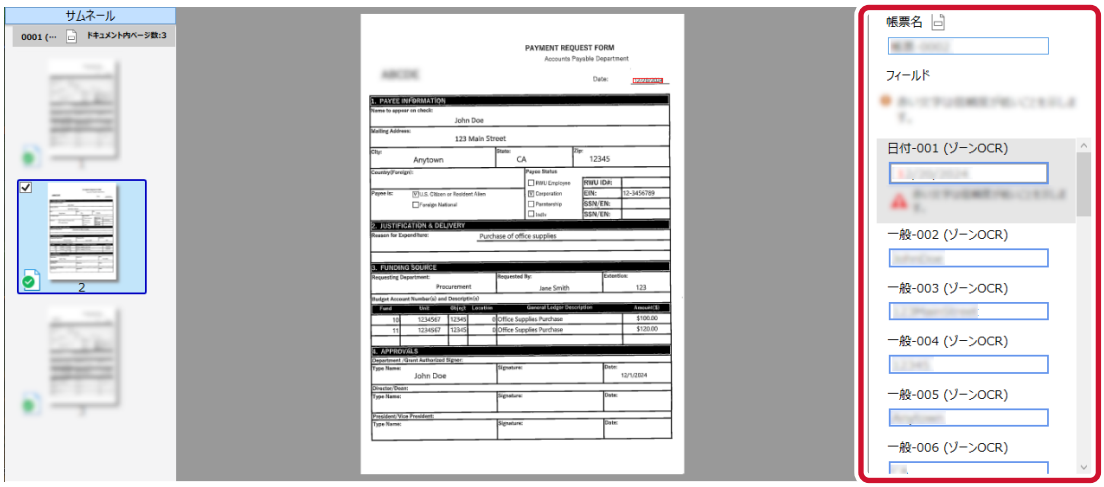
➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

18 **読み取った画像を確認します。**

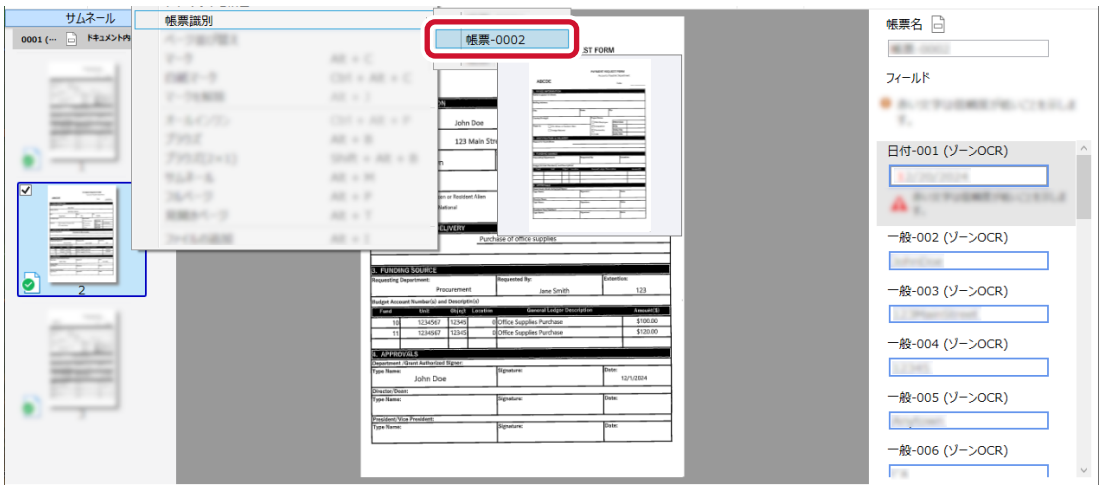
a **ツールバーの「表示」が「オールインワン」または「フルページ」になっているかを確認します。**

b **フィールドパネルの「帳票名」や「フィールド」の抽出データを確認します。**

必要に応じて、抽出データを編集します。



c **再度、帳票のデータを抽出する場合は、サムネールで対象のページを右クリックして、表示されたメニューで「帳票識別」を選択して、対象の帳票名を選択します。**



ヒント

- ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスの左ボタンを長押ししても、認識領域を編集できます。
  また、認識領域の編集は、以下の方法で終了できます。
  - ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリック
  - ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスを右クリック
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で以下の条件を満たす場合、「フィールド」に表示される文字のうち、信頼性の低い文字は赤色で表示されます。
  -「種別」が「ゾーン OCR」
  -「言語」で以下のどれかを選択
    - 日本語
    - 英語
    - ドイツ語
    - フランス語
    - イタリア語
    - スペイン語
  - PaperStream Capture Pro AI-OCR がインストールされている

14.19.2 情報を抽出するエリアを一括で追加する

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、未記入の定型帳票と記入済みの定型帳票の差分を検出して、複数のフィールドを自動で追加できます。

重要

- フィールドを自動で追加するには、PaperStream Capture Pro AI-OCR がインストールされており、動作している必要があります。
  ➡ 5.3 PaperStream Capture Pro AI-OCR をインストールする (56 ページ)
- 記入済みの定型帳票の手書き文字やチェックマークの書き方によっては、正確なフィールドのエリアを追加できない場合があります。自動追加されたフィールドのエリアを確認して、必要に応じて範囲を調整してください。

1 未記入の定型帳票（登録帳票）と記入済みの定型帳票を用意します。

- 未記入の定型帳票（登録帳票）
  帳票は、最大 1000 個まで登録できます。
  登録できる帳票の条件については、42.11 定型帳票の条件 (687 ページ)を参照してください。
- 記入済みの定型帳票
  記入済みの帳票は、未記入の帳票（登録帳票）と一致するフォーマットのものを準備してください。
  また、情報を抽出するエリアの項目をすべて記入した状態にしてください。

- チェックボックスにはチェックを付けてください。
- 複数の文字を 1 文字ずつ文字枠に記入する形式（はしご枠）の項目は、すべての文字枠に文字を記入してください。
  例えば、5 文字記入できる項目に 3 文字しか記入していない場合、3 文字分のエリアが設定されます。

2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

3 「データ抽出設定」タブを選択します。

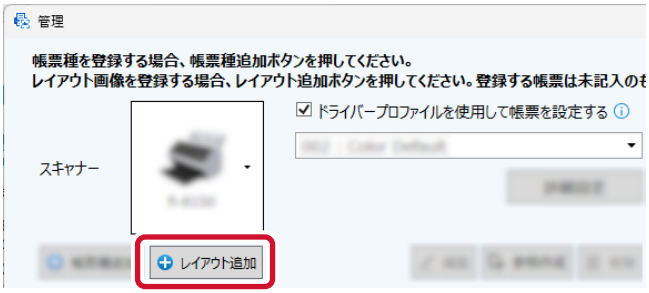
4 「適用対象の単位」で「帳票」を選択します。

5 ［管理］ボタンをクリックします。

6 帳票を登録します。

一度に複数の帳票を登録できます。

a ［レイアウト追加］ボタンをクリックします。

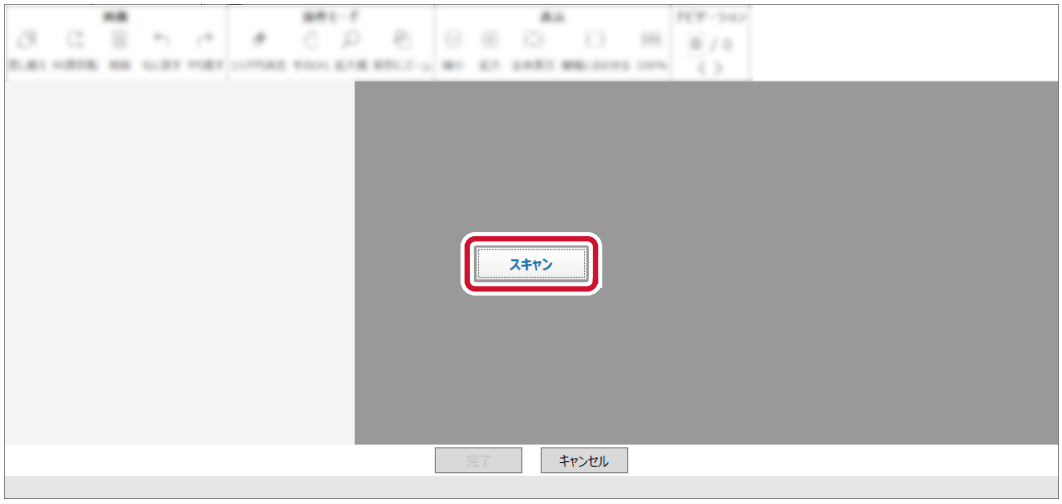


帳票の背景に小さい文字や薄い模様などのパターン（地紋）があり、デフォルトの読み取り設定では認識精度が低くなる場合は、読み取り設定（画像タイプ、解像度）を変更できます。

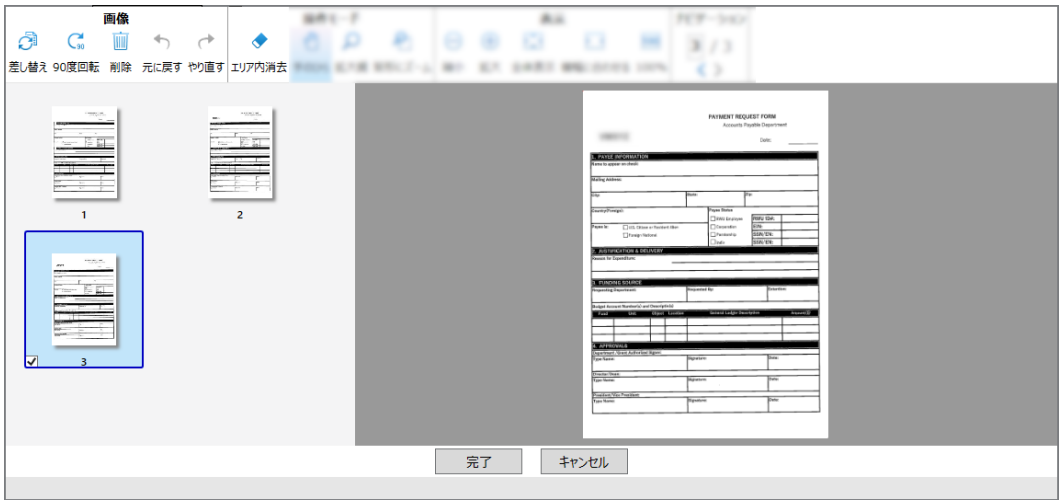
- 業務用 イメージ スキャナーを使用している場合
  「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」チェックボックスにチェックを付けて、デフォルトの読み取り設定（画像タイプ：カラー、解像度：300dpi、用紙サイズ：自動）を変更します。
  表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。また、［詳細設定］ボタンをクリックして、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。
- 他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合
  ［詳細設定］ボタンをクリックして、ドライバーの設定を変更します。

b スキャナーに、未記入の定型帳票（登録帳票）の原稿をセットします。

c **［スキャン］をクリックします。**



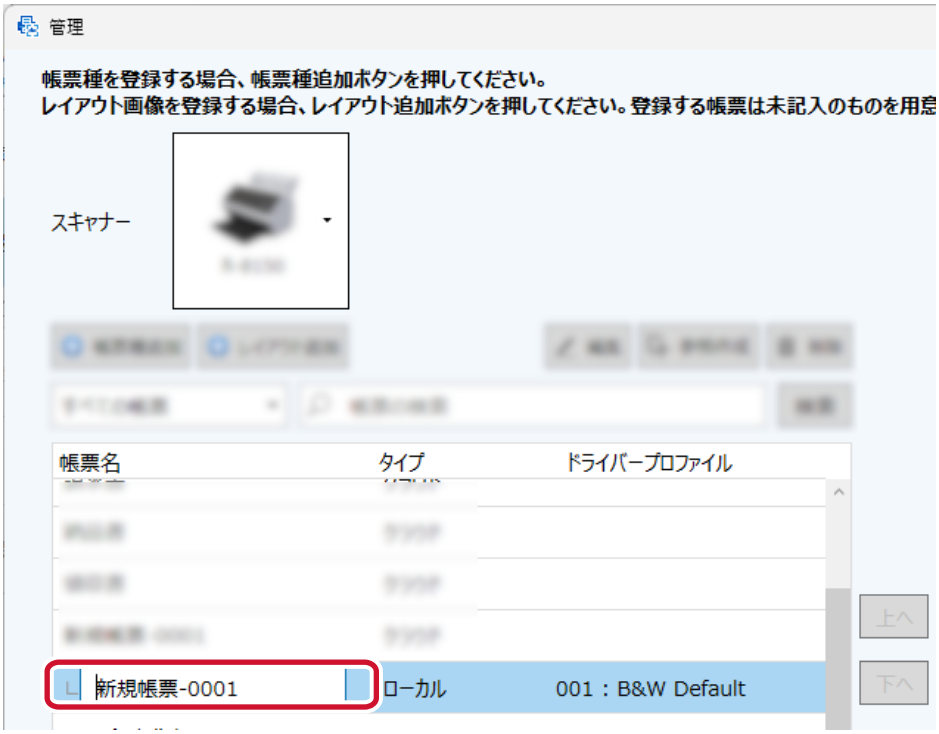
d **読み取った定型帳票の画像を確認します。**



- 定型帳票に印字済みの文字領域を認識させる場合は、ツールバーの「エリア内消去」をクリックして、読み取った画像上で対象の印字文字の領域をドラッグして消去します。
- 定型帳票を登録しない場合は、サムネール一覧で対象のページを選択して、ツールバーの「削除」をクリックします。

e **［完了］ボタンをクリックします。**

f 「帳票名」のテキストボックスをクリックして、帳票名を入力します。



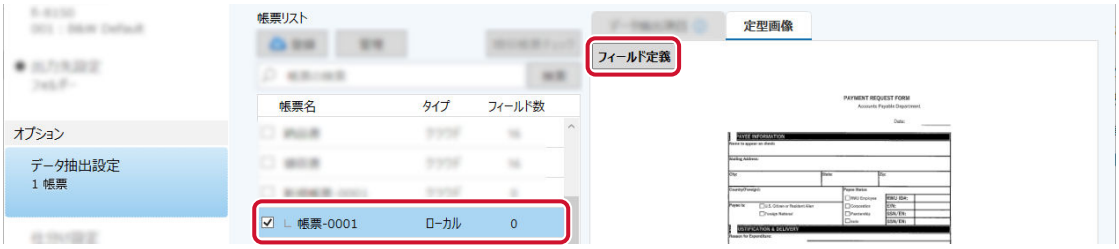
g 必要に応じて、帳票の追加、編集、参照作成、削除を行います。

h [閉じる] ボタンをクリックします。

7 帳票リストでデータを抽出する帳票のチェックボックスにチェックを付けて、[フィールド定義] ボタンをクリックします。

帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合、帳票リストの帳票名の横に ⚠ が表示されます。

⚠ をマウスでポイントすると表示されるメッセージを確認して、対処してください。



「フィールド定義」画面が表示されます。

8 [自動追加] ボタンをクリックします。

重要

以下の場合、[自動追加] ボタンが非活性になります。

- PaperStream Capture Pro AI-OCR がインストールされていない
- PaperStream Capture Pro AI-OCR が動作していない
  以下の手順で、PaperStream Capture Pro AI-OCR のサービスを開始してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022

  1 「スタート」メニュー→「Windows 管理ツール」→「サービス」をクリックします。

  2 「サービス」画面で PFU.PaperStream.Capture.AI-OCRService を右クリックして、表示されるメニューで「開始」を選択します。

- Windows 11 / Windows Server 2025

  1 「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Windows ツール」をクリックします。

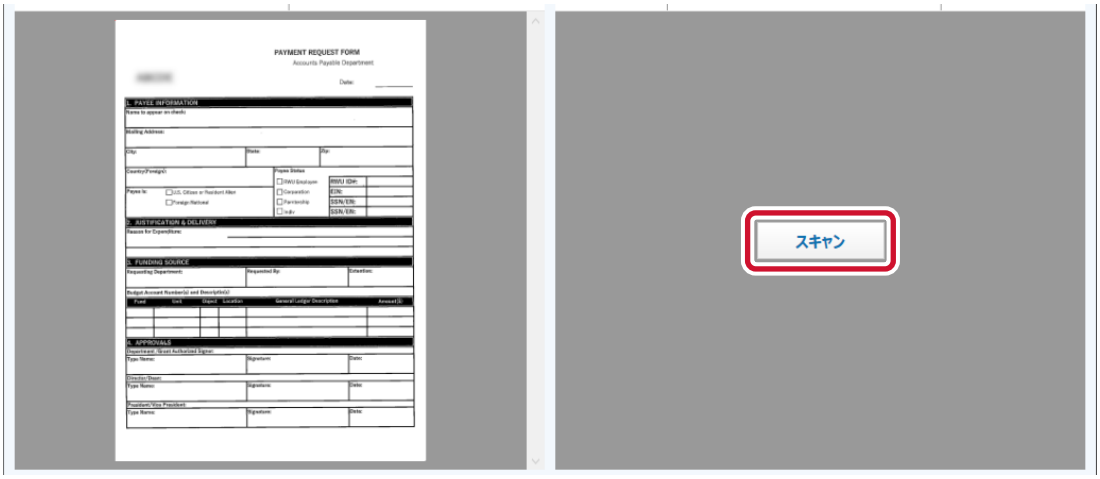
  2 「サービス」をダブルクリックします。

  3 「サービス」画面で PFU.PaperStream.Capture.AI-OCRService を右クリックして、表示されるメニューで「開始」を選択します。

「フィールドの自動追加」画面が表示されます。

9 スキャナーに、記入済みの定型帳票を 1 枚セットします。

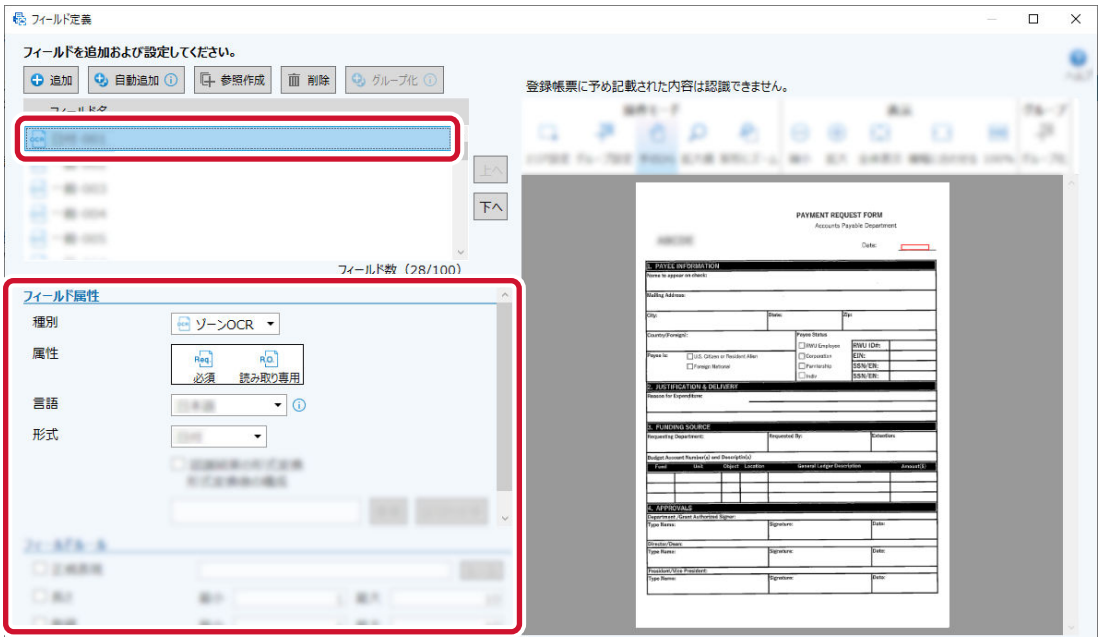
10 [スキャン] をクリックします。



11 [OK] ボタンをクリックします。

未記入の定型帳票（登録帳票）と記入済みの定型帳票の差分を検出して、フィールドを自動で追加します。
フィールドの追加が完了した、またはフィールド数が上限の 100 個に達すると、画面が閉じて、「フィールド定義」画面に戻ります。

12 追加したフィールドのフィールド名を変更し、フィールドの設定、およびビューアーに表示されているエリア（フィールドの認識範囲）を確認します。



13 [完了] ボタンをクリックします。

「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

14 手順 7～13 の操作を繰り返して、各帳票にフィールドを追加します。

15 「帳票リスト」で複数の帳票をチェックしている場合は、[類似帳票チェック] ボタンをクリックして、類似する帳票がないかをチェックします。

表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、19.6.6「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

16 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

帳票リストで複数の帳票にチェックを付けているときに表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

17 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

18 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

19 原稿を読み取ります。

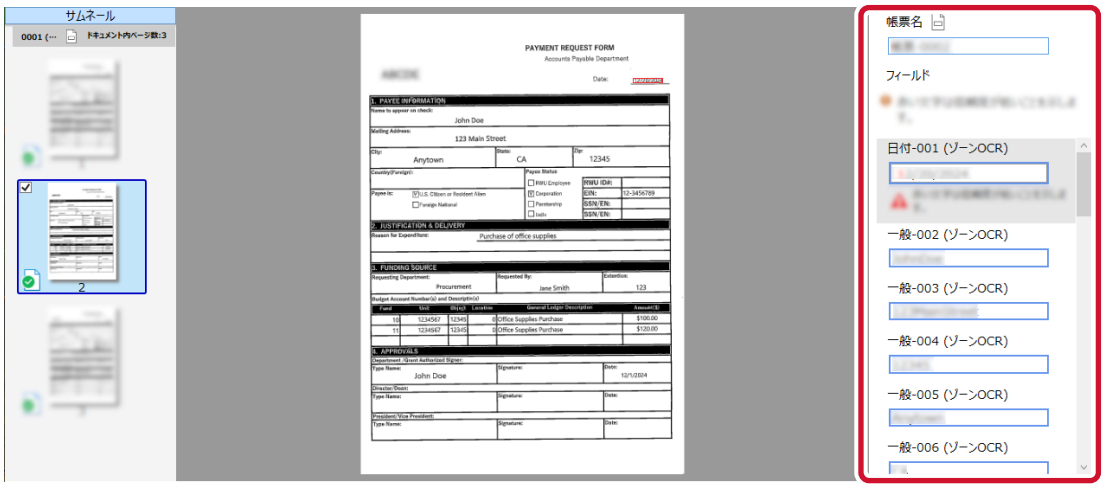
原稿は、登録した帳票と同じ向きになるようにセットしてください。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

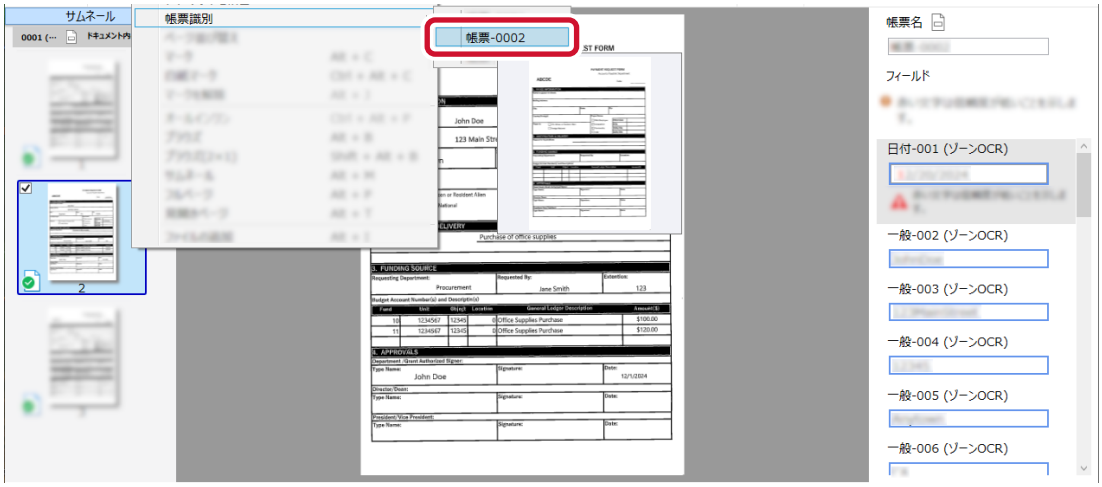
20 読み取った画像を確認します。

a ツールバーの「表示」が「オールインワン」または「フルページ」になっているかを確認します。

b フィールドパネルの「帳票名」や「フィールド」の抽出データを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集します。



c 再度、帳票のデータを抽出する場合は、サムネールで対象のページを右クリックして、表示されたメニューで「帳票識別」を選択して、対象の帳票名を選択します。



ヒント

- ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスの左ボタンを長押ししても、認識領域を編集できます。
  また、認識領域の編集は、以下の方法で終了できます。
  - ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリック
  - ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスを右クリック
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で以下の条件を満たす場合、「フィールド」に表示される文字のうち、信頼性の低い文字は赤色で表示されます。
  -「種別」が「ゾーン OCR」
  -「言語」で以下のどれかを選択

- 日本語
- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語

- PaperStream Capture Pro AI-OCR がインストールされている

14.20 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をインデックスファイルに出力する

14.19 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (164 ページ)で読み取った抽出データ（文字情報、バーコード/QR コードなど）を、インデックスファイルに出力できます。
ここではこだわり作成で、インデックスファイルに出力する項目を選択し、インデックスファイルを出力する設定手順を説明します。

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

2 「データ抽出設定」タブで、帳票内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。

➡ 14.19 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (164 ページ)

3 「出力先設定」タブで、インデックス情報ファイルを設定します。

a 「インデックス情報を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。

b 「ファイル形式」でインデックス情報ファイルのファイル形式を選択します。

c インデックス情報ファイルの出力方法を「ドキュメント毎に 1 ファイル」または「バッチ毎に 1 ファイル」から選択します。



4 インデックスファイルに出力する項目を設定します。

a 「インデックスファイル」の［データの選択］ボタンをクリックします。

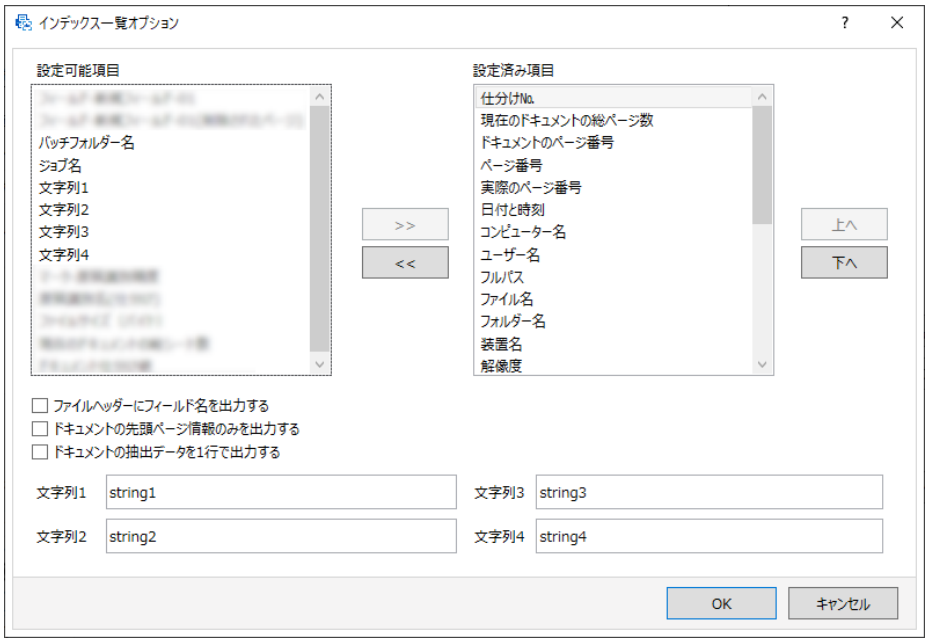
インデックス一覧オプション画面が表示されます。

b 設定済み項目で不要な項目を選択し、[<<] ボタンをクリックして、設定可能項目側へ移動します。

c 設定可能項目で必要な項目を選択し、[>>] ボタンをクリックして、設定済み項目側へ移動します。

d 項目を選択し、[上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンをクリックして、インデックスファイルに出力する順序を設定します。

e インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に指定していて、項目名を出力したい場合は、「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。



5 [OK] ボタンをクリックします。

「出力先設定」タブに戻ります。

6 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

7 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.21 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する

14.19 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (164 ページ)で読み取った文字列の認識結果やバーコード/QR コードの検出結果を、ファイル名やフォルダー名に使用する手順を説明します。ここでは、こだわり作成で設定する手順を説明します。

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

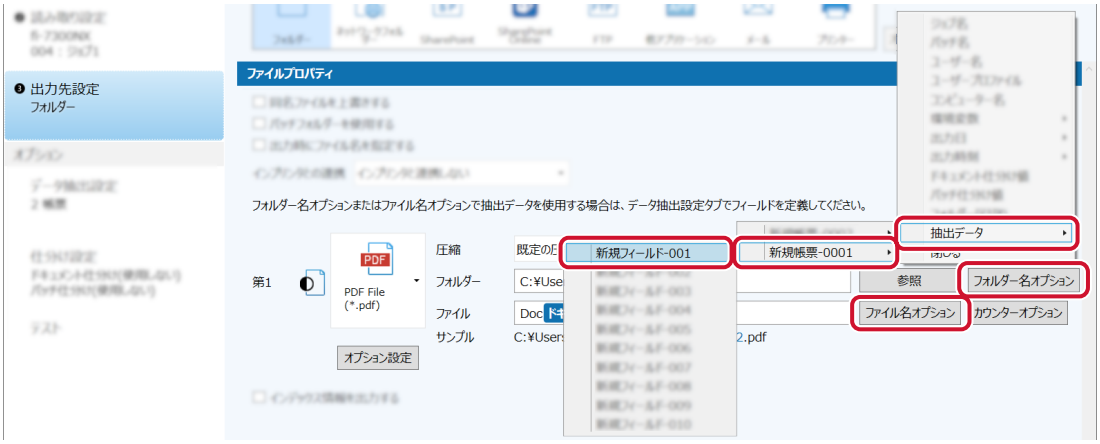
2 **「データ抽出設定」タブで、帳票内の文字列やバーコード/QR コードの情報を認識するための設定をします。**

➡ 14.19 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (164 ページ)

3 **「出力先設定」タブを選択します。**

4 **「ファイルプロパティ」で［フォルダー名オプション］ボタンまたは［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。**

表示されたメニューから、「抽出データ」をクリックして、使用する帳票名とフィールド名を選択します。



「フォルダー」または「ファイル」の入力域にタグ形式で追加されます。

5 **「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。**

6 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

7 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

8 **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

9 **原稿を読み取ります。**

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

➡ 第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

10 **読み取った画像を確認します。**

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

重要

- 同じジョブを使って読み取ると、ファイル名が重複する場合があります。以下を設定すると、ファイルを誤って上書きしないようにできます。
  - ［カウンターオプション］ボタンをクリックし、表示される「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「初期値を自動更新する」を選択
  - 出力先フォルダーが読み取りごとに変わるよう、出力先フォルダーのフォルダー名オプションを設定

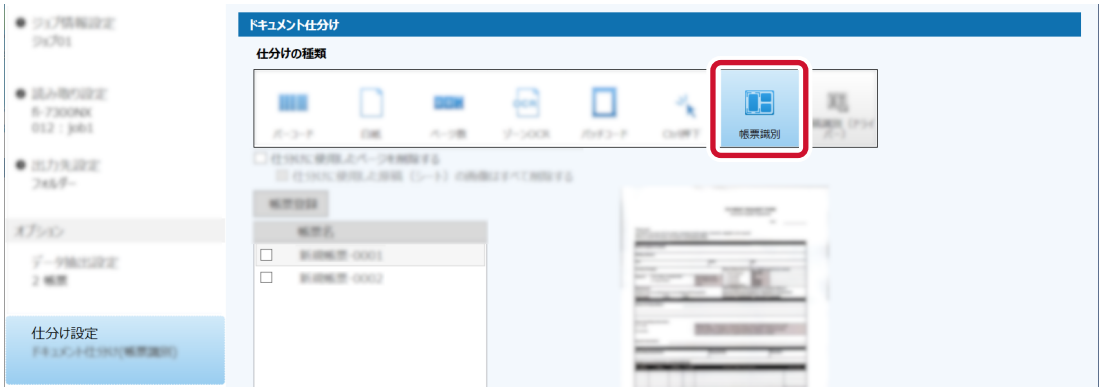
14.22　定型帳票の種類ごとに画像ファイルを自動で仕分ける

連続して読み取った画像のファイルを、帳票の種類ごとに分割できます。
ここでは、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のこだわり作成で、帳票の種類ごとに出力先フォルダーを分けて保存する手順を説明します。

1. **登録する帳票の原稿を用意します。**
   - 帳票は、最大 1000 個まで登録できます。
   - 未記入の帳票を登録することを推奨します。

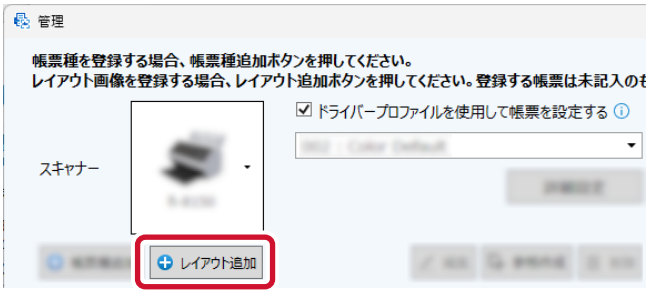
   登録できる帳票の条件については、42.11 定型帳票の条件 (687 ページ)を参照してください。
2. **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**
3. **「仕分け設定」タブを選択します。**
4. **「仕分けの種類」で「帳票識別」を選択します。**
   帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合、帳票リストの帳票名の横に ⚠ が表示されます。

   ⚠ をマウスでポイントすると表示されるメッセージを確認して、対処してください。



5. **［管理］ボタンをクリックします。**
6. **帳票を登録します。**
   一度に複数の帳票を登録できます。

a ［レイアウト追加］ボタンをクリックします。

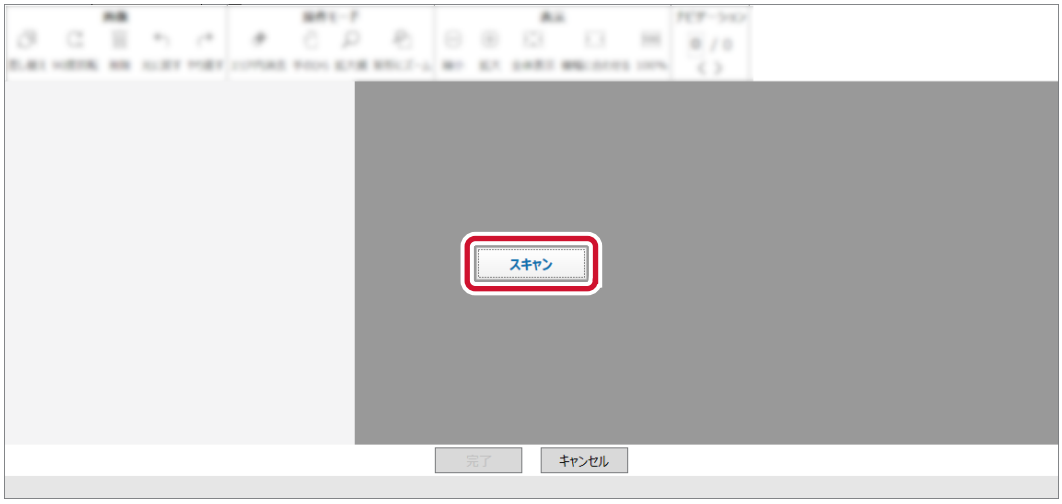


帳票の背景に小さい文字や薄い模様などのパターン（地紋）があり、デフォルトの読み取り設定では認識精度が低くなる場合は、読み取り設定（画像タイプ、解像度）を変更できます。

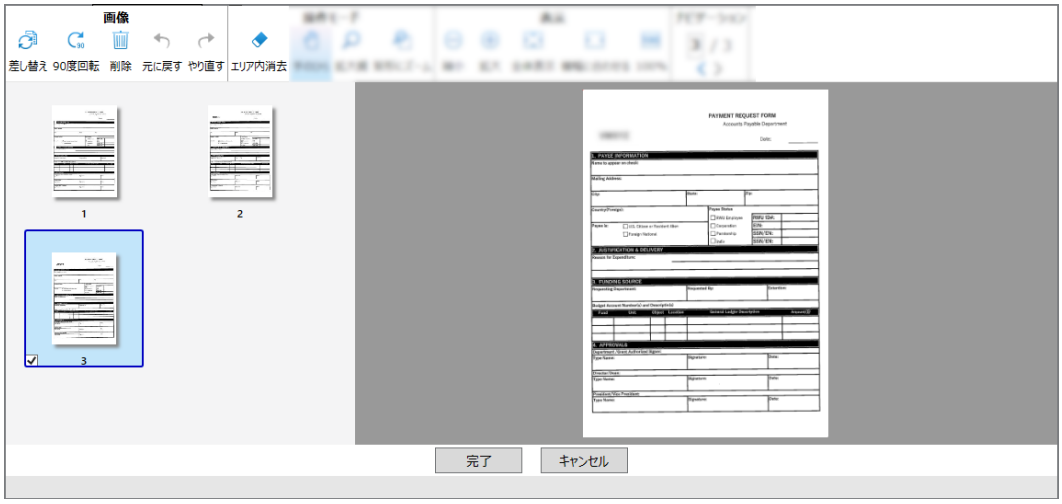
- 業務用 イメージ スキャナーを使用している場合
  「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」チェックボックスにチェックを付けて、デフォルトの読み取り設定（画像タイプ：カラー、解像度：300dpi、用紙サイズ：自動）を変更します。
  表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。また、［詳細設定］ボタンをクリックして、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。
- 他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合
  ［詳細設定］ボタンをクリックして、ドライバーの設定を変更します。

b スキャナーに、登録する帳票の原稿をセットします。

c ［スキャン］をクリックします。



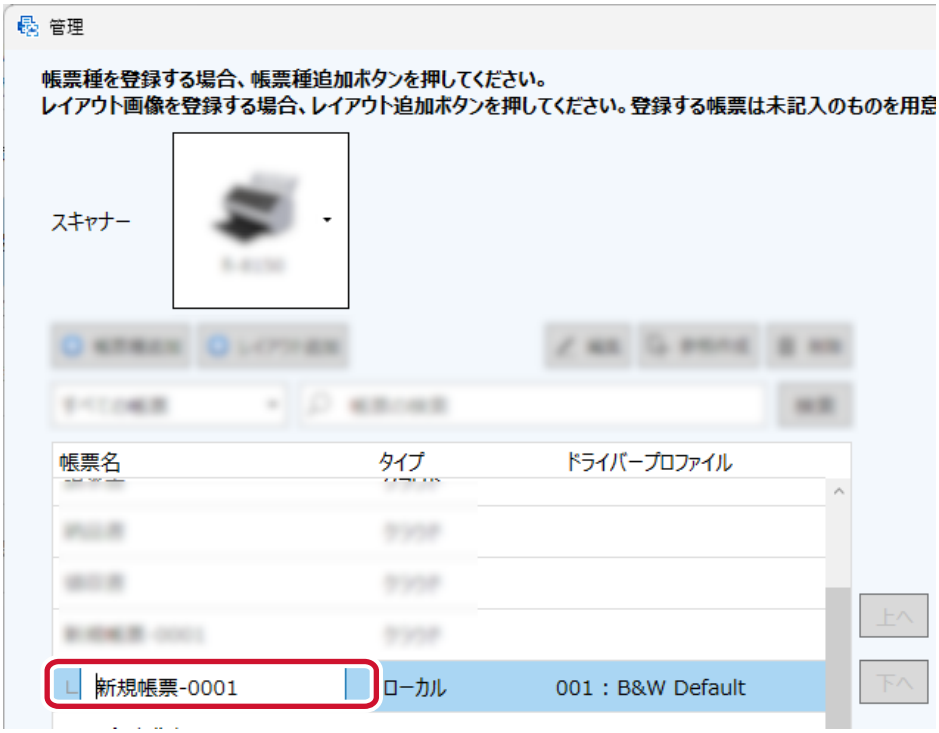
d 読み取った定型帳票の画像を確認します。



- 定型帳票に印字済みの文字領域を認識させる場合は、ツールバーの「エリア内消去」をクリックして、読み取った画像上で対象の印字文字の領域をドラッグして消去します。
- 定型帳票を登録しない場合は、サムネール一覧で対象のページを選択して、ツールバーの「削除」をクリックします。

e［完了］ボタンをクリックします。

f「帳票名」のテキストボックスをクリックして、帳票名を入力します。



g 必要に応じて、帳票の追加、編集、参照作成、削除を行います。

h［閉じる］ボタンをクリックします。

7 帳票リストで、仕分けの対象にする帳票のチェックボックスにチェックを付けます。

8 「帳票リスト」で複数の帳票をチェックしている場合は、[類似帳票チェック] ボタンをクリックして、類似する帳票がないかをチェックします。

表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、19.6.6「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

9 「出力先設定」タブを選択します。

10 「ファイルプロパティ」で [フォルダー名オプション] ボタンをクリックします。

表示されたメニューから、「ドキュメント仕分け値」をクリックします。



「フォルダー」の入力域にタグ形式で追加されます。

11 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。

12 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

帳票リストで複数の帳票にチェックを付けているときに表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合は、19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)が表示され、類似する定型帳票を識別するための設定ができます。

13 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

15 読み取る帳票を用意します。

16 帳票を読み取ります。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

帳票の種類ごとに仕分けされながら読み取りされます。

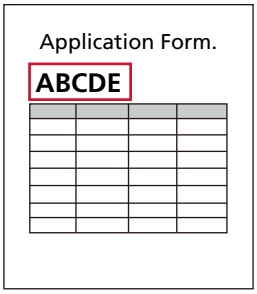
17 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。

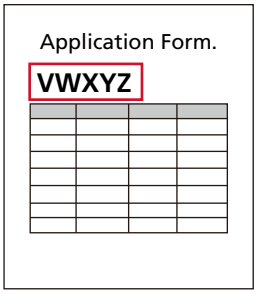
画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。

必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

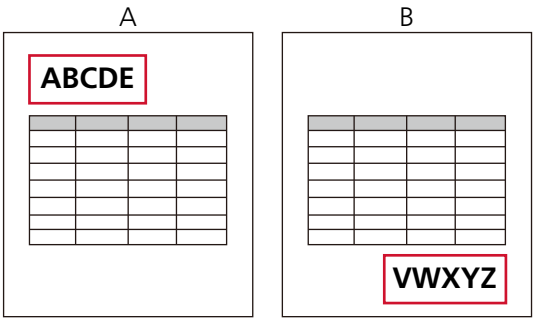
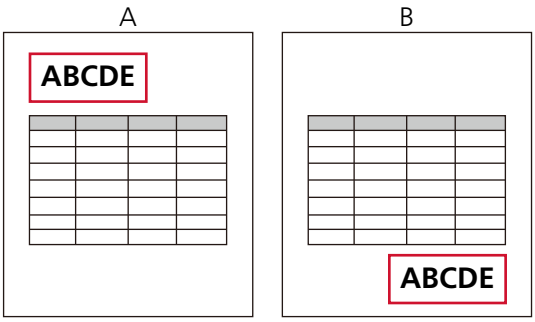
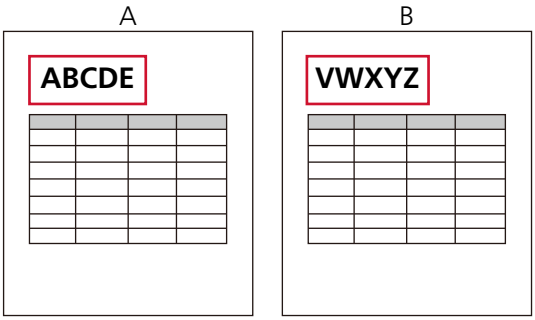
14.23 類似の定型帳票を識別する

類似する定型帳票がある場合に、定型帳票を識別するためのキーワード（活字文字列）を検出する帳票識別フィールドを設定することで、類似する定型帳票をそれぞれ別の帳票として識別できるようになります。
帳票識別フィールドを設定していない場合、類似する帳票があるとエラーになります。
例えば、以下の類似する定型帳票で、差異のある活字文字列（ABCDE と VWXYZ）の領域を帳票識別フィールド（赤枠）に設定すると、それぞれを別の帳票として識別できるようになります。

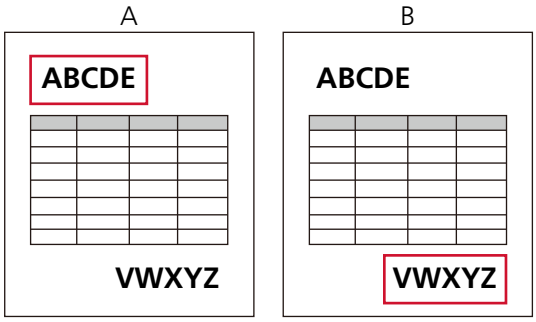




以下に、PaperStream Capture で識別可能な帳票識別フィールドの設定例を示します。

帳票識別フィールドの位置およびキーワード（活字文字列）が異なる	
帳票識別フィールドの位置が異なる	
帳票識別フィールドの位置が同じで、キーワード（活字文字列）が異なる	

ただし、以下のように帳票識別フィールドの位置に同じ活字文字列がある帳票は、識別できません。

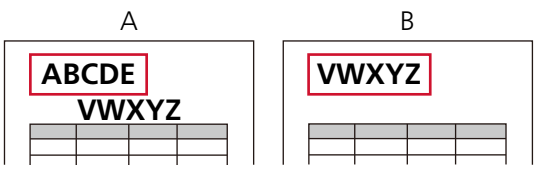


帳票識別フィールドは、以下の画面で設定できます。

- 19.6.5 「帳票編集」画面 (344 ページ)
  「管理」画面の帳票リストで帳票を選択して、[編集] ボタンをクリックすると、表示されます。
  設定済みの帳票識別フィールドの編集および削除もできます。
- 19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)
  以下の操作を行い、表示されるメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合に表示されます。
  - 「データ抽出設定」タブで [類似帳票チェック] ボタンをクリックした場合
  - 「仕分け設定」タブで「帳票識別」を選択して、[類似帳票チェック] ボタンをクリックした場合
  - ジョブの設定画面で [保存] ボタンをクリックした場合

重要

- 帳票識別フィールドは、定型帳票に印字されている活字文字列の領域に設定してください。アイコンや手書き文字は設定できません。
  また、以下の条件を満たしてください。
  - 活字文字列の条件
    - 横書き
    - フォントサイズが 10 ～ 36 ポイント
    - ほかの帳票にはない、その帳票だけに印字されている文字を多く含めること
      ただし、数字だけの文字列は、誤認識される場合があります。
  - 帳票識別フィールドの条件
    帳票識別フィールドの周辺に、ほかの帳票で設定した帳票識別フィールドの文字列が印字されていないこと
    例えば、帳票識別フィールド（赤枠）の設定が以下の場合、帳票 A が帳票 B だと識別される場合があります。



- 類似する定型帳票の識別を行う場合は、対象の帳票すべてに帳票識別フィールドを設定してください。

ここでは、ジョブを保存するときに表示されたメッセージで、帳票識別フィールドを設定する応答をした場合の手順を説明します。

1 **「帳票識別フィールド設定」画面で、帳票識別フィールドを設定します。**
サムネール一覧に類似帳票がグループ単位で表示され、帳票識別フィールドの設定が必要なページが選択されています。

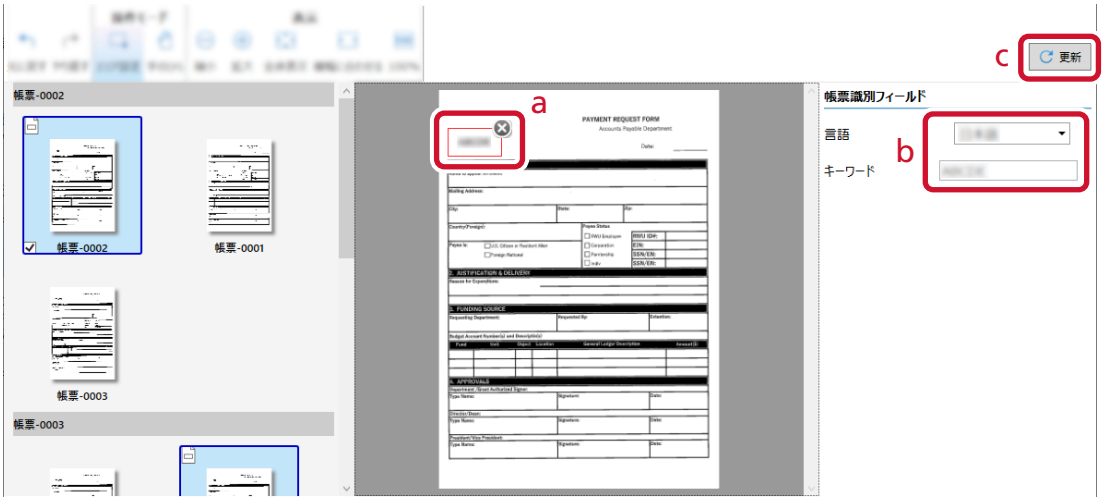
a **帳票識別フィールドを設定する活字文字列の領域を、マウスの左ボタンをクリックしながら選択します。**

活字文字列が認識されると、「キーワード」に認識結果が表示されます。

b **帳票識別フィールドの位置やエリアサイズ、および「帳票識別フィールド」の設定を確認し、必要に応じて編集します。**

c **［更新］ボタンをクリックします。**

サムネール一覧が更新され、別の帳票として識別できるようになった帳票は表示されなくなります。



2 **続けて、残りの類似帳票に帳票識別フィールドを設定する場合は、表示されるメッセージで帳票識別フィールドを設定する応答をして、手順 1 の操作を繰り返します。**

3 **［完了］ボタンをクリックします。**

帳票識別フィールドの設定が保存され、元の画面に戻ります。

4 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

14.24 読み取った画像上の文字を塗りつぶす

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、マスキング機能を使用して、機密情報や個人情報など表示させたくない部分を黒色または白色に塗りつぶした画像を出力できます。マスキングは以下の方法で設定できます。

- マスキングの位置を事前に設定しておく

こだわり作成のジョブの作成/編集で、ゾーン OCR の認識領域にマスキングを設定できます。
認識領域を移動したり、サイズを変更したりすると、マスキングのエリアも連動して変更されます。

- 原稿を読み取ったあとに表示される以下の画面で、マスキングを設定する
  - 第 24 章 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） (427 ページ)
  - 第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)
  - 第 27 章 「インデックス」画面 (437 ページ)

重要

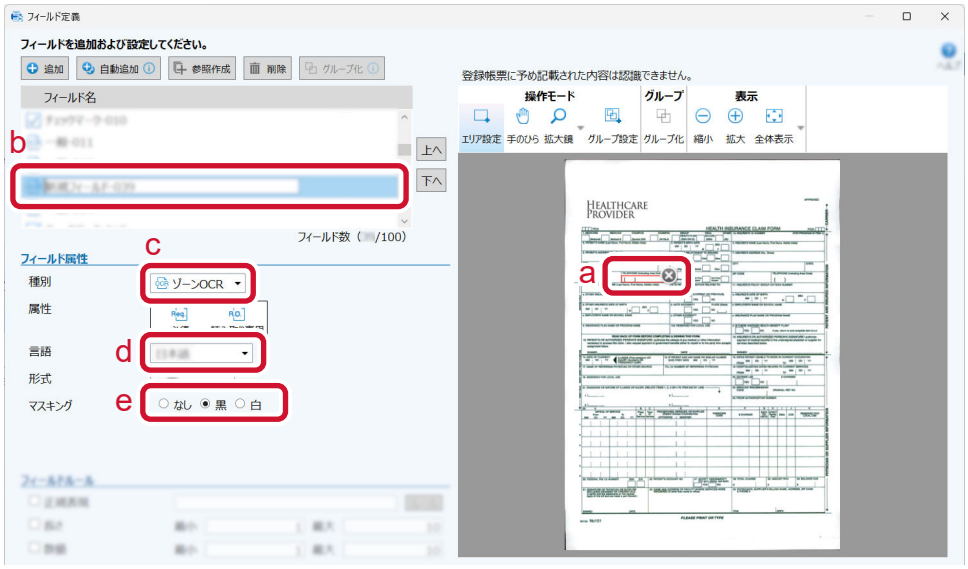
- 読み取った画像上でマスキングを設定しない運用に変更できます。
  「読み取り設定」タブの「画像編集」で、「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックスのチェックを外してください。
- マスキングを設定した画像は、文書の改ざんとみなされる場合があります。マスキングを設定しても問題ないか事前に確認してください。

ここでは、帳票を読み取った画像にマスキングを設定するこだわり作成の手順を説明します。

1. **原稿を用意します。**
2. **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**
3. **「データ抽出設定」タブを選択します。**
4. **帳票リストでマスキングを設定する帳票を選択して、［フィールド定義］ボタンをクリックします。**
   「フィールド定義」画面が表示されます。
5. **［追加］ボタンをクリックします。**
6. **ゾーン OCR のエリアにマスキングを設定します。**
   a. **ゾーン OCR のエリアを設定します。**
      読み取る範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。
      選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

      選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。
   b. **フィールドリストのフィールド名をクリックして、フィールド名を編集します**
   c. **「種別」で「ゾーン OCR」を選択します。**
   d. **使用する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。**

e マスキングの色（「黒」または「白」）を選択します。



7 [完了] ボタンをクリックします。

「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

8 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

10 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

11 原稿を読み取ります。

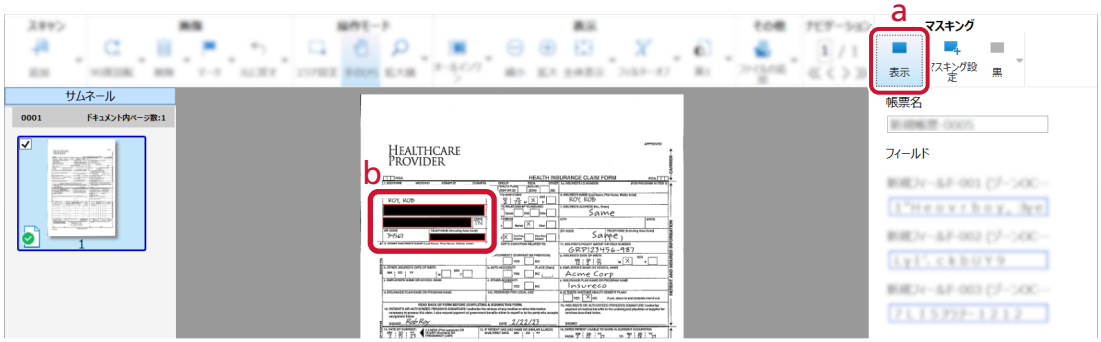
➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)
➡ 第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

12 読み取った画像を確認します。

a ツールバーの「マスキング」にある「表示」をクリックします。

マスキングを設定した認識領域が、黒色また白色に塗りつぶされた状態で表示されます。

b 必要に応じて、抽出データを確認したり、マスキングの領域の移動やサイズを変更したりします。



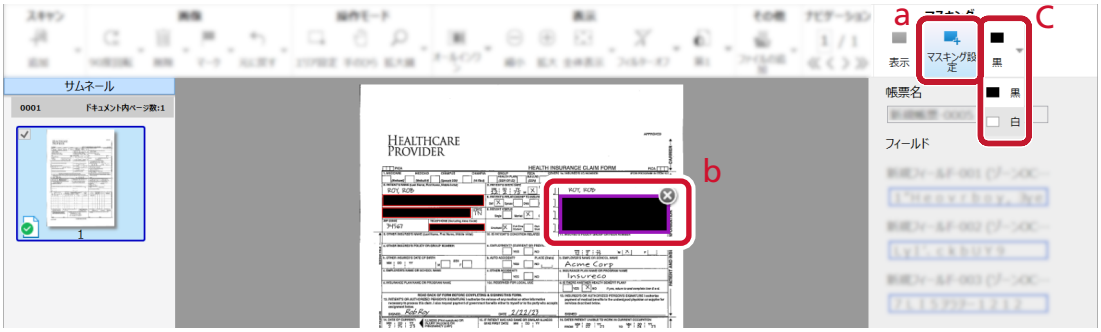
13 マスキングの設定を手動で追加します。

a ツールバーの「マスキング」にある「マスキング設定」をクリックします。

b マスキングを設定する領域をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。

選択した領域が黒色に塗りつぶされます。

c マスキングの色を変更する場合は、ツールバーの「黒」の隣にある▼をクリックして、「白」を選択します。



14 読み取った画像を保存します。

➡ 11.1 読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード） (98 ページ)

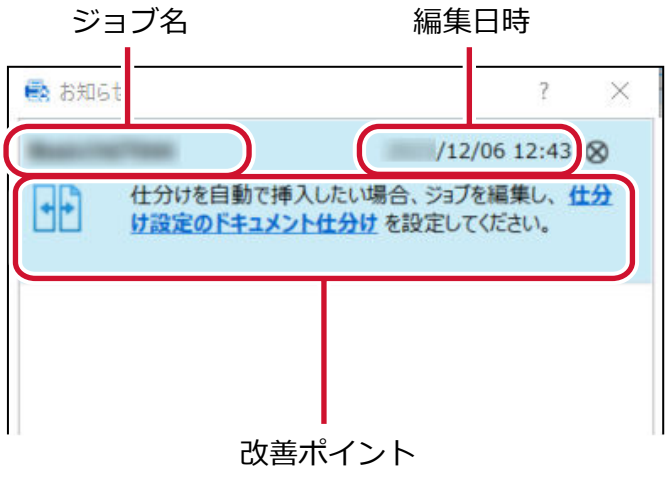
14.25 ジョブの改善ポイントを確認する

読み取りしたあとの編集操作から、ジョブの設定で自動化できる作業を判断し、設定の改善ポイントがある場合は、メニューの［お知らせ］ボタンの表示を  にしてお知らせします。

［お知らせ］ボタンをクリックすると「お知らせ」画面が表示されます。

画面に表示されている改善ポイントに従って、該当するジョブの設定を見直すことで、読み取りしたあとの編集作業の効率を改善できます。

以下は表示例です。



「お知らせ」画面は、「こだわり作成」画面にある「テスト」タブで行った読み取りテストでも、設定の改善ポイントがあると表示されます。

14.26　使い方に合わせた読み取り方法を選択する

「バッチスキャンのみを使用する」または「シンプルスキャンモードのみを使用する」を選択すると、どちらかの読み取り方法だけを使用して読み取りができます。
［モード切替え］ボタンは非表示になります。

1　メニューの ☰ から、「管理ツール」を選択します。



2　「モード切替え」で読み取り方法を以下から選択します。

- バッチスキャンとシンプルスキャンモードの両方を使用する
- バッチスキャンのみを使用する

- シンプルスキャンモードのみを使用する



3 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

14.27 確認が必要な画像にマークを付ける

こだわり作成のジョブを使用して読み取った画像に問題が検出された場合、該当の画像にマークを付けて確認できます。
問題のある画像をすぐに見つけることができ、画像の確認作業を効率化できます。

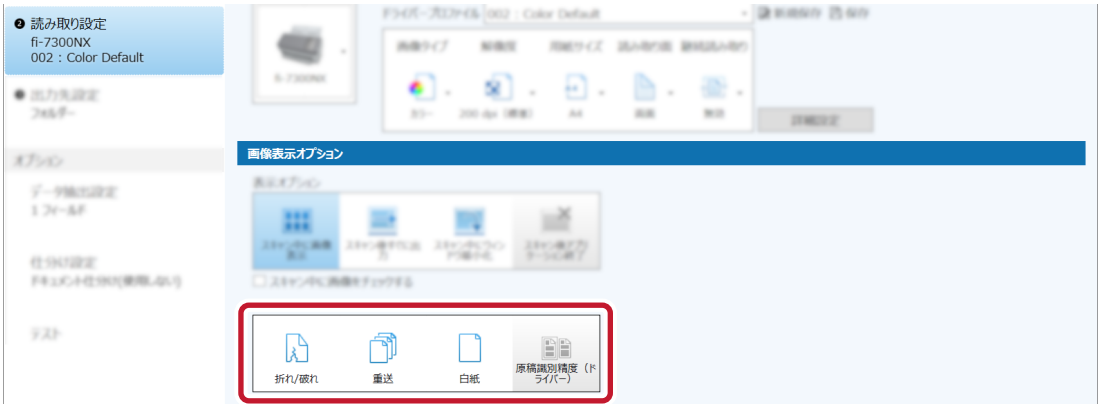
1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

2 「読み取り設定」タブを選択します。

3 「画像チェック」で、読み取った画像に対してマークを付けて確認したい項目を、以下から選択します。

- 折れ/破れ
  原稿の折れや破れなどの異常を検出した場合、マークを付けます。
- 重送
  原稿の重なりを検出した場合、マークを付けます。
- 白紙
  原稿の白紙ページを検出した場合、マークを付けます。
- 原稿識別精度（ドライバー）
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの「自動プロファイル選択」機能を使って識別した原稿で、識別精度が低い画像を検出した場合、マークを付けます。

「読み取り設定」の「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」 の設定が「オン」 の場合、有効になります。



重要

- 「画像チェック」で確認したい項目を選択かつ「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択している場合は、検出された画像の確認を行う画面を表示するために、「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスのチェックを付けてください。
- 「画像チェック」の設定は、PaperStream IP ドライバーのマルチフィード検出やブランクページ検出の設定より優先されます。

➡ 42.13 PaperStream Capture とドライバープロファイルの設定の関係 (692 ページ)

4 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

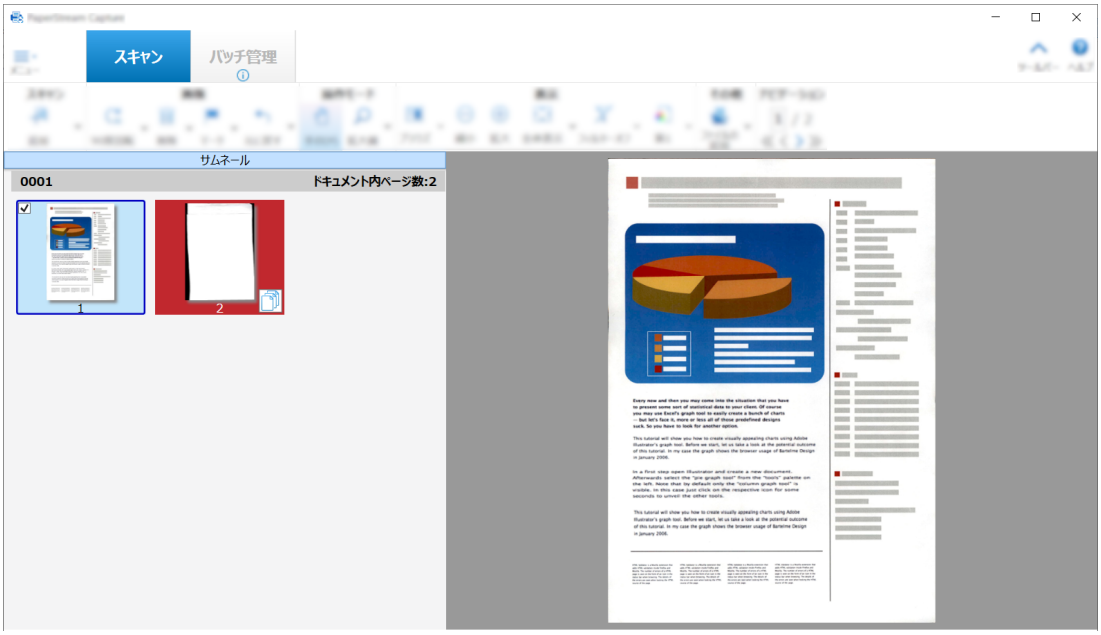
5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

「画像チェック」の設定項目が検出された場合、サムネールの背景にマークとして色が付き、アイコンを表示します。
「画像チェック」の設定項目に対応するマークの色は、以下のとおりです。

- 折れ/破れ：黄色
- 重送：赤色
- 白紙：黒色
- 原稿識別精度（ドライバー）：紫色（PaperStream IP（TWAIN）ドライバーだけ対応）

例えば、「画像チェック」で「重送」を選択し、原稿の重なりを検出した場合、以下のようなマークとアイコンが付けられます。



14.28　インプリンタと連携して原稿に印字する

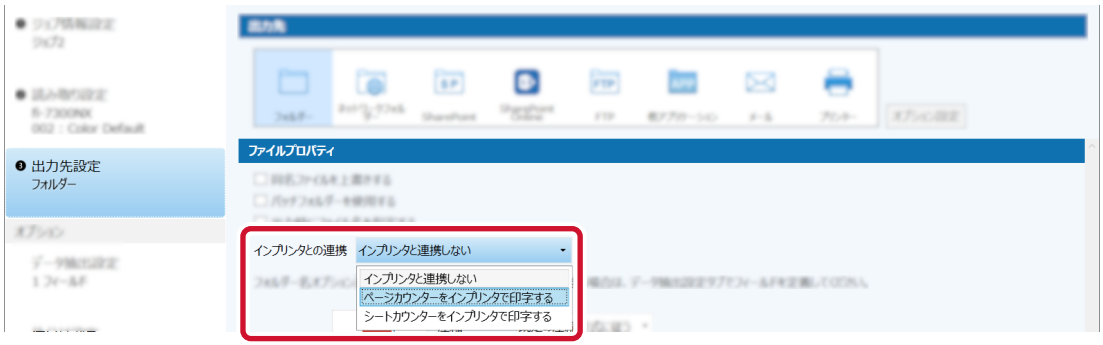
インプリンタと連携して、読み取った原稿に以下を印字できます。

- ページカウンター
- シートカウンター
- バッチフォルダー名
- バッチフォルダー名とページカウンター
- バッチフォルダー名とシートカウンター

インプリンタで印字すると、印字の有無で読み取った原稿とそうでない原稿を区別したり、印字されたバッチフォルダー名から読み取った画像が格納されているフォルダーを参照して確認したりできます。
ここでは、バッチスキャンモードで、新規のジョブを参照作成し、インプリンタと連携してページカウンターを読み取った原稿に印字するためのポイントを以下に示します。

1. **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［参照作成］ボタンをクリックします。**
2. **「出力先設定」タブを選択します。**

3 「ファイルプロパティ」の「インプリンタとの連携」のドロップダウンリストから、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択します。



4 「ファイル」の入力域の右側にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックします。

メニューが表示されます。

5 表示されたメニューから「ページカウンター」を選択します。

「サンプル」にファイル名オプションに沿ったファイル名が自動的に表示されます。

6 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。

7 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

8 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

重要

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium でインプリンタと連携するとき、バッチスキャンモードで、シングルステーションまたはマルチステーションのスキャン&インデックスの場合は、ページカウンターを原稿に印字できます。
- 以下の場合、ページカウンターとインプリンタのカウンターは同期されません。
  - 白紙削除やマルチイメージ出力などの機能により、スキャナーが読み取ったページ数と読み込みページ数が一致しない場合
  - 両面読み取りで、インプリンタの印字面が裏面の場合
  - 仕分け用原稿を使用またはページ数を指定して、原稿を分割した場合
  - 読み取りしたあと、出力する前に、ページカウンターやページの出力順を変更した場合
- PaperStream IP ドライバー側で指定した印字文字列にカウンターが含まれない状態で、「出力先設定」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した場合、印字文字列のうしろにカウンターが付加されます。インプリンタカウンターの桁数は、「カウンターオプション」画面のページカウンターの初期値が 1～5 桁の場合は 5 桁、6 桁以上の場合は 8 桁になります。
  「出力先設定」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した状態で、PaperStream IP（ISIS）ドライバーのインプリンタの設定を無効にすると、スキャナーによっては文字列が印字されずにカウンター値だけが印字される場合があります。

- 本機能は、PaperStream IP ドライバーのデジタルエンドーサのカウンター初期値と連携しません。
- ページカウンターは出力後に更新されます。そのため、以下の条件の場合、ページカウンターの番号とインプリンタ印字番号が異なる場合があります。十分注意して運用してください。
  - ジョブの設定
    - 「出力先設定」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択、かつファイル名に「ページカウンター」を指定する
    - 「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「初期値を自動更新する」を選択する
    - 「読み取り設定」タブで「スキャン後すぐに出力」以外を選択する
  - 読み取り
    - 上記ジョブで読み取ったバッチを一時保存または中断する
    - 同じジョブで別の読み取りを開始する
    - あとで読み取ったバッチを、一時保存または中断したバッチより先に出力する
- 以下の場合、「出力先設定」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定しても、インプリンタで印字されません。
  - ファイル名オプションで「ページカウンター」を設定していない
  - 追加や差し替えで読み取った原稿
  - 「テスト」タブで読み取った原稿

  ただし、PaperStream IP ドライバーの設定でインプリンタを有効にしている場合、インプリンタで印字されます。

14.29 画像を取り込む

画像を PaperStream Capture に取り込めます。
画像の取り込みには以下があります。

- PaperStream IP Import
  PaperStream Capture Pro Premium では、画像の取り込み時に PaperStream IP で画質補正を行って、「QC」画面でスキャナーを使って読み取った画像と同じように処理ができます。

  ➡ 14.29.1 ほかのツールで作成した画像を画質補正して取り込む (196 ページ)

- File Import
  PaperStream AI が使用できる場合、メールに添付された請求書などの画像を取り込み、インデックスファイルを出力できます。画質補正は行わず、データ抽出を行って元のファイルをそのまま出力します。「QC」画面での編集も行えません。

  (「PaperStream AI」ジョブ) は使用できません。

  また、正常に出力完了後、元のファイルは削除されます。

  ➡ 14.29.2 メールに添付されたファイルを取り込む (197 ページ)

また、画像の取り込みを使って特定のフォルダーを監視し、定期的に画像を PaperStream Capture に取り込むことができます。

➡ 14.29.3 指定したフォルダー内の画像を定期的に取り込む (197 ページ)

14.29.1 ほかのツールで作成した画像を画質補正して取り込む

PaperStream Capture Pro Premium では、ジョブの設定に従って、ファイルを画質補正して取り込めます。

1. **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**
2. **「読み取り設定」タブを選択します。**
3. **「スキャナー」のドロップダウンリストから、「PaperStream IP Import」を選択します。**
4. **「読み取り設定」の［詳細設定］ボタンをクリックします。**

   「PaperStream IP（TWAIN）- Import」 画面が表示されます。
5. **左側のツリーペインから「インポート」を選択します。**

   読み取り条件の項目が表示されます。
6. **項目をクリックすると、右側の設定ペインに設定項目が表示されるので、設定を確認し、必要に応じて変更します。**

   ➡ 19.4.1 PaperStream IP Import の設定項目 (253 ページ)

   設定を変更すると、画面左上に表示されているドライバープロファイル名の番号部分にアスタリスク（*）が付きます。
7.  **をクリックします。**

   「プロファイルの保存」画面が表示されます。
8. **「新規保存」を選択し、プロファイル名を入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

   「プロファイルの保存」画面が閉じ、「PaperStream IP（TWAIN）- Import」 画面の左上に表示されているドライバープロファイル名が、設定したプロファイル名に変更されます。
9. **［OK］ボタンをクリックします。**

   「PaperStream IP（TWAIN）- Import」 画面が閉じます。
10. **［保存］ボタンをクリックします。**

    ジョブの設定が保存されます。
11. **［閉じる］ボタンをクリックします。**

    「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。
12. **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

    メイン画面に戻ります。
13. **ジョブをクリックし、ファイルを取り込みます。**

14.29.2 メールに添付されたファイルを取り込む

PaperStream AI が使用できる場合、Microsoft Outlook(classic)のアドインでメールに添付されたファイルを取り込めます。

取り込めるファイルは以下の形式です。

- BMP
- JPEG
- PDF(*)
- TIFF(*)
- PNG

*：複数ページ（1 ファイル 10 ページ以下）のファイルを一度に 100 フィールドまで認識できます。このとき、ファイルのページ数分が PaperStream AI での読み取りとしてカウントされます。例えば、3 ページのファイルを一括で認識した場合、PaperStream AI での読み取りとして 3 ページがカウントされます。

メール添付されたファイルを取り込むには、以下のすべての条件を満たすジョブが必要です。

- 「読み取り設定」タブの「スキャナー」が「File Import」。
- 「データ抽出設定」タブの「帳票リスト」で帳票が選択されている。

事前に、以下に格納されているインストーラーを実行して、Outlook（Classic）にアドインを設定します。
C:¥ProgramData¥PaperStreamCapture¥MailImport

1. **Outlook(classic)を起動します。**
2. **取り込むファイルが添付されているメールを選択します。**
3. **Outlook(classic)の「アドイン」メニューで「FileToOCR」を選択します。**

   「PaperStream Capture Add-in for Outlook」画面が表示されます。
4. **使用するジョブを選択します。**

   メール本文中のファイルを取り込みたい場合は、「本文のファイルを取り込む」チェックボックスにチェックを付けます。
5. **［実行］ボタンをクリックします。**

   ファイルが取り込まれます。

関連項目

10.2 より高度な読み取り条件を設定する（こだわり作成） (93 ページ)

14.29.3 指定したフォルダー内の画像を定期的に取り込む

特定のフォルダーを監視し、定期的に画像を PaperStream Capture に取り込む設定をします。

フォルダー監視中は、PaperStream Capture を起動していなくても設定したタイミングで画像が取り込まれます。

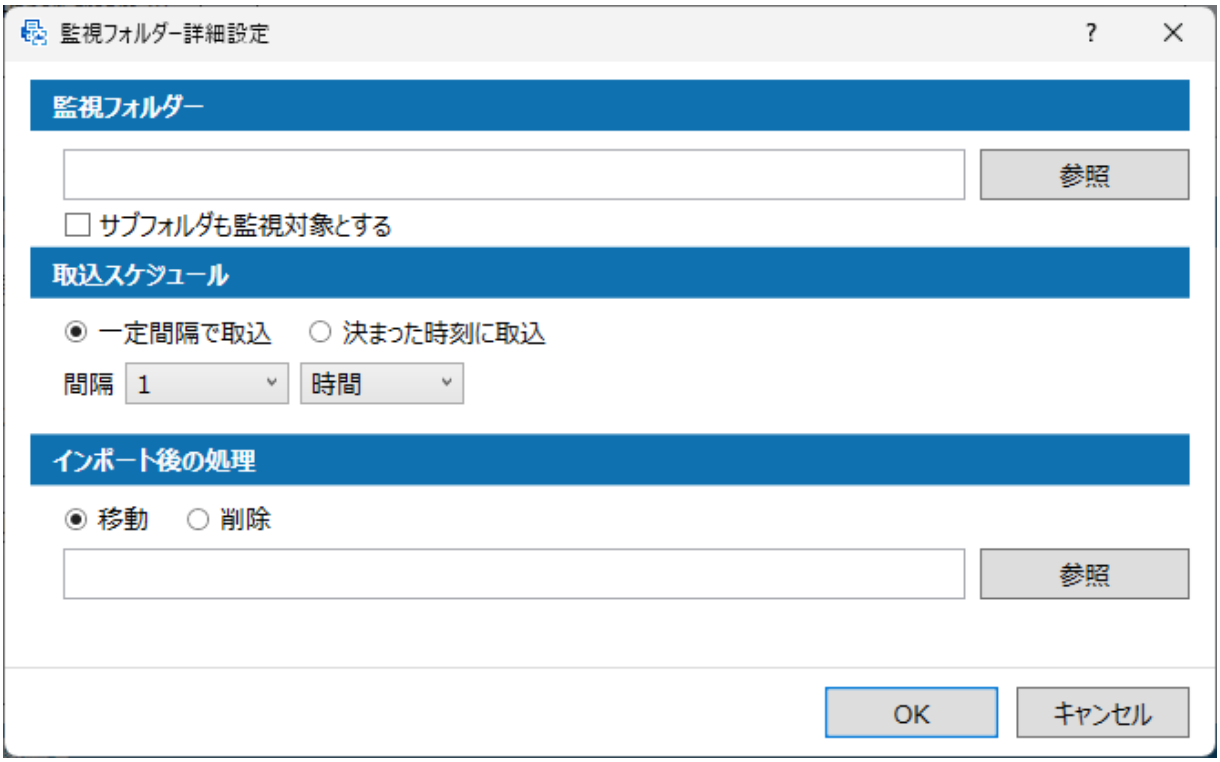
1 **「ジョブ作成/編集」画面で取り込みに使用するジョブを選択して、ツールバーの「編集」または「参照作成」をクリックします。**

2 **「読み取り設定」タブの「スキャナー」で、「PaperStream IP Import」または「File Import」を選択します。**

3 **「読み取り設定」タブで「監視フォルダー監視を有効にする」チェックボックスにチェックを付けます。**

4 **［詳細設定］ボタンをクリックします。**

5 **監視情報を指定します。**



6 **［OK］ボタンをクリックします。**

「監視フォルダー詳細設定」画面が閉じます。

7 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

8 **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**

メイン画面に戻ります。

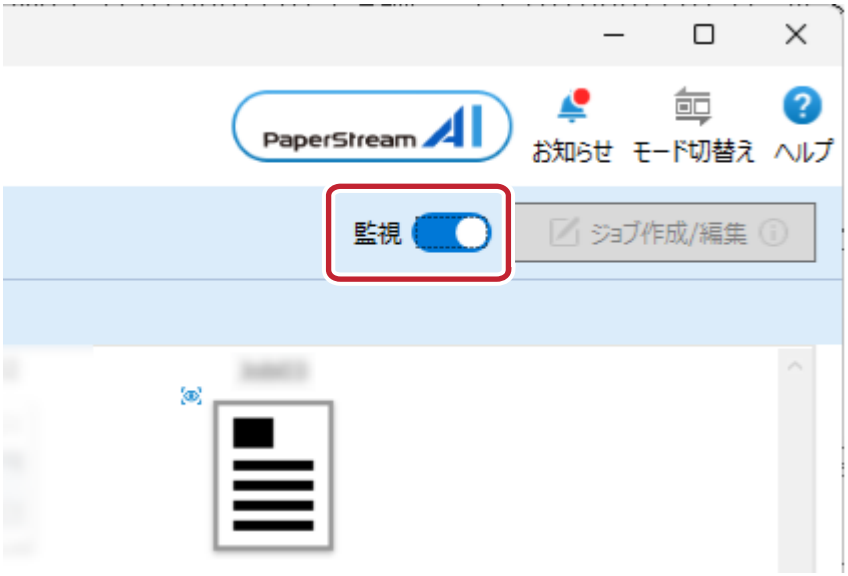
9 **「監視」スイッチをオンにします。**

オンにすると、フォルダー監視のジョブが取込スケジュールに従って自動的に実行されます。
なお、オンの間は、以下ができません。

- 監視に使用しているジョブ以外での手動読み取り
- 「ジョブ作成/編集」画面での操作

- バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの切り替え
- 「バッチ管理」画面の表示
- バッチの編集および展開
- 管理ツールの起動
- PaperStream Capture Add-in for Outlook による取り込み
- スキャナー側でのイベントによる読み取り
- コマンドを使用した読み取り

オフ時に実行待ちのジョブが残っている場合は、実行の完了を待つか実行をキャンセルするかを選択できます。



重要

- 監視による自動読み取りでは、「スキャン後すぐに出力」が未設定の場合、読み取り完了後に自動で一時保存されます。「スキャン後すぐに出力」を設定している場合、フィールドルールエラーがあるとエラーバッチになります。
- 複数のジョブで同じフォルダーを監視することもできますが、インポート後にファイルは移動または削除されるため、同じファイルを複数のフォルダー監視のジョブでインポートすることはできません。取込スケジュールが重複した場合は、作成日時が早いジョブから順番に実行されます。
- 監視による自動読み取り時にエラーが発生した場合、ファイルは退避フォルダーに保存され、7 日後に削除されます。「お知らせ」画面に通知されますので確認してください。

14.30　読み取った画像を SharePoint に出力する

読み取った画像を SharePoint に出力するためのポイントを以下に示します。

1　登録先となる SharePoint に以下の項目が作成されていることを確認します。

- サイト URL

- ユーザー名
- パスワード
- ライブラリー
- コンテンツタイプ

詳細は、SharePoint のマニュアルを参照してください。

2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

3 「出力先設定」タブを選択します。

4 「出力先」で「SharePoint」を選択します。

5 ［オプション設定］ボタンをクリックします。

19.5.2 「SharePoint オプション」画面 (271 ページ)が表示されます。

6 登録先となる SharePoint への接続情報（サイト URL、ユーザー名、パスワード）を入力します。

Windows 認証を使用する場合は、「Windows 認証を使用する」チェックボックスにチェックを付けます。この場合、すでに「ユーザー名」と「パスワード」に入力されている情報は無効になります。

7 ［接続］ボタンをクリックします。

8 「ライブラリー」でライブラリーを選択します。

9 「コンテンツタイプ」でコンテンツタイプを選択します。

10 ［OK］ボタンをクリックします。

11 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

12 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

13 ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

14 原稿を読み取ります。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)
➡ 第 9 章 PaperStream AI で原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (68 ページ)

15 読み取った画像を確認します。

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

16 読み取った画像を保存します。

➡ 11.1 読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード） (98 ページ)

14.31　白紙を使用して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture では、白紙を使った画像ファイルの仕分け機能をサポートしています。
本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、白紙原稿を入れた位置でページが分割されます。白紙原稿を入れた位置でページが分割された結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。

1. **白紙原稿を仕分け用原稿として用意します。**

   重要

   - 白紙原稿を複数回使用すると、紙のよごれにより認識精度が低下する場合があります。正しく認識しない場合や、紙がよごれた場合は、新しい白紙原稿を使用してください。

2. **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**
3. **「仕分け設定」タブを選択します。**
4. **「仕分けの種類」で「白紙」をクリックします。**
5. **仕分け用原稿として使用する白紙原稿の画像を保存しない場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスにチェックを付けます。**
6. **［保存］ボタンをクリックします。**
   ジョブの設定が保存されます。
7. **［閉じる］ボタンをクリックします。**
   「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。
8. **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**
   メイン画面に戻ります。
9. **読み取る原稿を用意し、手順 1 の白紙原稿を区切りたい位置に入れます。**
10. **原稿を読み取ります。**
    ➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)
    原稿が、仕分け用原稿の位置で仕分けされながら読み取りされます。
11. **読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。**
    画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
    必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

14.32　ページ数を指定して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture では、ページ数の指定による仕分け機能をサポートしています。
本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、指定した原稿単位でページが仕分けされます。指定した原稿単位でページが仕分けされた結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。
ここでは、ページ数を指定して原稿を仕分けるためのポイントを以下に示します。

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

2 **「仕分け設定」タブを選択します。**

3 **「仕分けの種類」で、「ページ数」をクリックします。**

4 **表示されたカウンターで、原稿を区切るページ数を指定します。**

5 **［保存］ボタンをクリックします。**
ジョブの設定が保存されます。

6 **［閉じる］ボタンをクリックします。**
「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

7 **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**
メイン画面に戻ります。

8 **原稿を読み取ります。**
➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)
原稿が、指定したページ数で仕分けされながら読み取りされます。

9 **読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。**
画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

14.33 重送（封筒など）を使用して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、重送（封筒など）を検出する機能を使用した仕分け機能をサポートしています。
本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、封筒などを入れた位置でページが分割されます。封筒などを入れた位置でページが分割された結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。
ここでは、こだわり作成で、封筒を仕分け原稿として使用するジョブを作成する手順を説明します。

1 **封筒を仕分け用原稿として用意します。**

2 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

3 **「仕分け設定」タブを選択します。**

4 **「仕分けの種類」で「重送」をクリックします。**

5 **封筒の画像のうしろでファイルを分割する場合は、「重送の後ろで分割する」チェックボックスにチェックを付けます。**

6 **封筒の画像を保存しない場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスにチェックを付けます。**
手順 5 で「重送の後ろで分割する」チェックボックスにチェックを付けた場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスは設定できません。

7 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

8 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

9 ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

10 読み取る原稿を用意し、手順 1 の封筒を区切りたい位置に入れます。

11 原稿を読み取ります。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

原稿が、封筒の位置で仕分けされながら読み取りされます。

12 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。

画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

14.34 パッチコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture では、パッチコードによる仕分け機能をサポートしています。
本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、指定した原稿単位でページが仕分けされます。指定した原稿単位でページが仕分けされた結果、読み取った画像はドキュメントごとに区切られた状態で表示されます。

1 パッチコードを印刷した原稿を、仕分け用原稿として用意します。

PaperStream IP ドライバーで用意されているパッチコードシートを必要枚数だけ印刷してください。

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

ヒント

- PaperStream Capture の場合に PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用しているときは、以下のパッチコードシートを使用できます。
  - Patch1
  - Patch2
  - Patch3
  - PatchT

2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

3 「仕分け設定」タブを選択します。

- かんたん作成の場合

「仕分けの種類」の「パッチコード」を選択します。

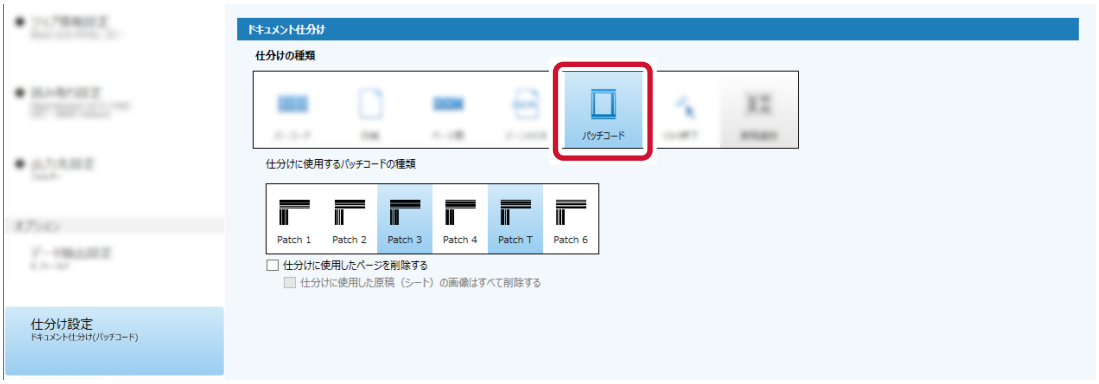


- こだわり作成の場合

  a 「仕分けの種類」の「パッチコード」をクリックします。

  b 「パッチコード」で検出するパッチコードを選択します。

  c 仕分け用原稿として使用する原稿の画像を保存しない場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスにチェックを付けます。



ヒント

- 仕分け用原稿として使用する原稿の画像をすべて削除するときは、「仕分けに使用した原稿（シート）の画像はすべて削除する」チェックボックスにチェックを付けます。
  仕分け用原稿として使用する原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分け用原稿として使用する原稿の仕分けされた画像がすべて削除されます。

4 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

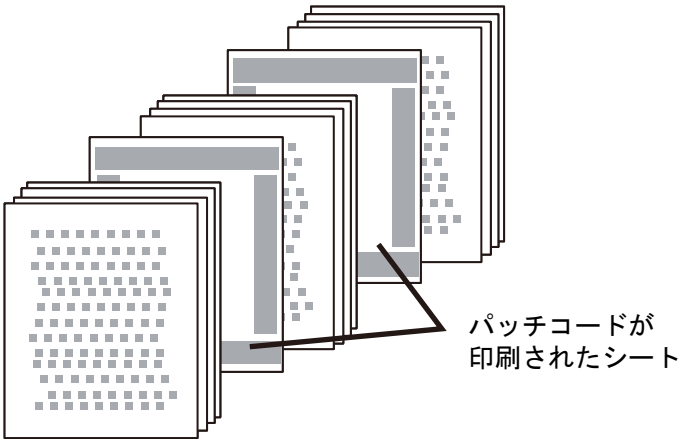
5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

6 ［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。

メイン画面に戻ります。

7 読み取る原稿を用意し、仕分け用原稿を区切りたい位置に入れます。



8 原稿を読み取ります。

原稿をスキャナーにセットするときは、仕分け用原稿の印字面を ADF 給紙シュート側に向けてください。

原稿が、仕分け用原稿の位置で仕分けされながら読み取りされます。

9 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。

画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。

必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

ヒント

- 読み取った原稿をパッチコードシートごとに別のフォルダーに格納することもできます。
  ここでは、仕分け用原稿ごとに「ドキュメントカウンター」をフォルダー名に指定する例を説明します。

  1 「出力先設定」タブをクリックします。

  2 「ファイルプロパティ」で「ファイル」の入力域の右側にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックし、表示されたメニューから「ドキュメントカウンター」を選択します。

  3 入力域に表示された<ドキュメントカウンター>のうしろに¥（出力先が FTP サーバーの場合、/）を入力します。

  4 ［保存］ボタンをクリックします。
  ジョブの設定が保存されます。

14.35 Ctrl キーを押して画像ファイルを自動で仕分ける

スキャナーの原稿の搬送方法が「手差し・単送モード」の場合、バッチスキャンモードのこだわり作成のジョブで、「Ctrl」キーを押して画像ファイルを仕分けできます。

本機能を使用すれば、手差しで複数枚の原稿を読み取る場合、「Ctrl」キーを押したタイミングでページが仕分けされます。指定した原稿単位でページが仕分けされた結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。
原稿を仕分けするキーは、デフォルトでは「Ctrl」ですが、20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)の「手動仕分けのショートカットキー」で任意のキーに変更できます。

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

2 **「仕分け設定」タブを選択します。**

3 **「仕分けの種類」の「Ctrl 押下」 をクリックします。**

4 **［保存］ボタンをクリックします。**
ジョブの設定が保存されます。

5 **［閉じる］ボタンをクリックします。**
「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

6 **［前の画面に戻る］ボタンをクリックします。**
メイン画面に戻ります。

7 **手差しで原稿を読み取ります。**
➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)

8 **次の原稿をセットする前に「Ctrl」キーを押します。**

9 **手差しで次の原稿を読み取ります。**
原稿が仕分けされて、読み取りされます。

10 **読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。**
画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

14.36 レイアウトを識別して画像ファイルを自動で仕分ける

バッチスキャンモードのこだわり作成では、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの原稿識別機能を使用して、原稿のレイアウトで識別する仕分け機能をサポートしています。
本機能は、ジョブで選択している PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのプロファイルが、「自動プロファイル選択」 の設定を「オン」 にしている場合、有効になります。
ジョブで選択している PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのプロファイルは、19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で確認できます。
ここでは、こだわり作成で、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーに登録済みの識別情報を使って原稿を仕分けするためのポイントを以下に示します。

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

1 **「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。**

2 **「読み取り設定」タブを選択します。**

3 **「読み取り設定」の「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」 の設定が「オン」 になっていることを確認します。**

4 **19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)を選択します。**

5 **「ドキュメント仕分け」の「原稿識別（ドライバー）」をクリックします。**

6 **「登録済み識別情報」で、識別名の横にあるチェックボックスにチェックを付け、仕分け用原稿として使用する識別情報を選択します。**
識別情報を仕分け用原稿として使用すると、識別情報に登録されているレイアウトと同じレイアウトの原稿と、異なるレイアウトの原稿で仕分けします。
レイアウトが異なる数種類の原稿を、レイアウトごとに仕分けしたい場合は、該当するレイアウトが登録されている識別情報の識別名を、「登録済み識別情報」からすべて選択します。

7 **仕分け用原稿として使用する識別情報に登録されているレイアウトと同じレイアウトの原稿を画像として保存しない場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスにチェックを付けます。**

> **ヒント**
>
> - 仕分け用原稿として使用する原稿の画像を削除して、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存し、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにする場合は、「削除されたページの抽出データ情報を残す」チェックボックスにチェックを付けます。
> - 仕分け用原稿として使用する原稿の画像をすべて削除する場合は、「仕分けに使用した原稿（シート）の画像はすべて削除する」チェックボックスにチェックを付けます。
> 仕分け用原稿として使用する原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分け用原稿として使用する原稿の分割された画像がすべて削除されます。

8 **仕分け用原稿として使用する識別情報に登録されているレイアウトとして識別できなかった原稿を仕分けして「未識別」フォルダーに格納する場合は、「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックスにチェックを付けます。**
この項目は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスのチェックが外れている場合に有効になります。
「未識別」フォルダーの名前を変更する場合は、仕分け値にフォルダー名を入力します。

9 **仕分け用原稿として使用する値と完全に一致する認識結果の原稿を連続して認識したときに、最初に認識した原稿以外で原稿の仕分けをしない場合は、「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックスにチェックを付けます。**

10 **[保存] ボタンをクリックします。**
ジョブの設定が保存されます。

11 **[閉じる] ボタンをクリックします。**
「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

12 **[前の画面に戻る] ボタンをクリックします。**
メイン画面に戻ります。

13 原稿を読み取ります。

➡ 第 11 章 原稿を読み取る（バッチスキャンモード） (97 ページ)
原稿が、選択した識別情報に登録されているレイアウトで識別され、仕分けされながら読み取りされます。

14 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。
画像を確認/編集する画面で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

14.37 ファイル名を使用して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture Pro Premium のこだわり作成では、ファイル名による仕分け機能をサポートしています。

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

2 「読み取り設定」タブを選択します。

3 「スキャナー」のドロップダウンリストから、「PaperStream IP Import」を選択します。

4 「仕分け設定」タブを選択します。

5 「ドキュメント仕分け」の「ファイル名」をクリックします。

6 ［保存］ボタンをクリックし、設定を保存します。

14.38 抽出した文字列を SharePoint のフィールド（列）に保存する

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、こだわり作成のジョブの「データ抽出設定」タブで「適用対象の単位」で「ページ」を選択している場合、タブにあるフィールドリストに、SharePoint のフィールド（列）を取り込めます。
そのジョブで出力先を SharePoint に設定し、画像を SharePoint に出力すると、SharePoint のフィールド（列）に抽出データを出力できます。

1 同期先となる SharePoint に次の項目が作成されていることを確認します。

- サイト URL
- ユーザー名
- パスワード
- ライブラリー
- コンテンツタイプ

詳細は、SharePoint のマニュアルを参照してください。

2 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

3 「出力先設定」タブを選択します。

4 「出力先」で「SharePoint」を選択します。

5 **［設定］ボタンをクリックします。**

19.5.2 「SharePoint オプション」画面 (271 ページ)が表示されます。

6 **登録先となる SharePoint への接続情報（サイト URL、ユーザー名、パスワード）を入力します。**

Windows 認証を使用する場合は、「Windows 認証を使用する」チェックボックスにチェックを付けます。この場合、すでに「ユーザー名」と「パスワード」に入力されている情報は無効になります。

7 **［接続］ボタンをクリックします。**

8 **「ライブラリー」でライブラリーを選択します。**

9 **「コンテンツタイプ」でコンテンツタイプを選択します。**

SharePoint サーバーのフィールドリストと同期するかを確認するメッセージ画面が表示されます。

10 **［はい］ボタンをクリックします。**

SharePoint サーバーと同期し、フィールド（列）リストを取り込みます。

> **重要**
>
> - 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)の「フィールドリスト」にフィールドが設定されている状態で SharePoint サーバーと同期すると、すでに設定されているフィールドを削除し、SharePoint のフィールド（列）リストに置換します。
> 「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、すでに設定されているフィールドリストを削除し、「適用対象の単位」を「ページ」に変更して、SharePoint のフィールド（列）に置換します。

SharePoint のフィールド（列）は、「データ抽出設定」タブの「フィールド値プロパティ」では以下の 5 つに割り当てられます。

- テキスト
- 数値
- 通貨
- 日付と時刻
- ブーリアン

事前に SharePoint の該当フィールドとの連携を確認してください。

11 **［OK］ボタンをクリックします。**

12 **「データ抽出設定」タブを選択します。**

「フィールドリスト」に、取り込んだフィールドが表示されていることを確認します。
フィールドには、「フィールド属性」や「フィールドルール」などのフィールド定義が自動で設定されます。必要に応じて設定を変更してください。

13 **［保存］ボタンをクリックします。**

ジョブの設定が保存されます。

14 **［閉じる］ボタンをクリックします。**

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.39　抽出した文字列にフィールドルールを設定する

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、フィールド値の正規表現や長さ、および数値をフィールドルールとして指定できます。
指定すると、フィールドルールに沿わないフィールド値の場合、警告が表示されるので、フィールドルールに沿ったフィールド値に修正できます。
ここでは、すでに設定されているフィールドに対し、以下のフィールドルールを設定する手順を示します。

- アルファベットと数字の組み合わせ
- 文字数は 1 ～ 5 文字
  5 文字に満たない場合、文字列の先頭に「0」を挿入して、桁数を揃えて出力する

1 「ジョブ作成/編集」画面で既存のジョブを選択して、ツールバーの［編集］ボタンをクリックします。

2 「データ抽出設定」タブを選択します。

3 「適用対象の単位」で「帳票」を選択します。

4 帳票リストで対象の帳票のチェックボックスにチェックを付けて、［フィールド定義］ボタンをクリックします。

5 フィールドリストから、フィールドルールを設定したいフィールド名を選択します。

6 「フィールドルール」の「正規表現」チェックボックスにチェックを付けます。

7 ［ルール］ボタンをクリックし、表示されたリストから「アルファベット文字（A-Z, a-z)」を選択します。

入力域に [A-Za-z] が表示されます。

8 もう一度［ルール］ボタンをクリックし、表示されたリストから「数字（0-9)」を選択します。

入力域に [0-9] が追加され、[A-Za-z][0-9] と表示されます。

9 「長さ」チェックボックスにチェックを付けます。

10 「最小」の入力域に 1 、「最大」の入力域に 5 を入力します。

11 「補正」で「固定長にゼロ埋めをする」を選択します。

12 ［保存］ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

13 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

14.40 抽出データの高度な設定

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、こだわり作成のジョブの「データ抽出設定」タブで「適用対象の単位」に「ページ」を選択している場合、フィールドごとに高度な機能を使用して、フィールド値を設定できます。
ここでは、「データ抽出設定」タブで、選択したフィールドに、以下の種別を「フィールド属性」で設定する方法を説明します。

- DB ルックアップ
- DB オートフィル（ほかのフィールドの「フィールド属性」で「属性」に「DB ルックアップ」が設定されているか、「種別」が「リストから選択」でリストの定義をデータベースから移入している場合に選択できます）
- 組み合わせ（フィールドが複数ある場合に選択できます）
- 分割（ほかのフィールドの種別に「バーコード」が設定され、かつ「分割を使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合に選択できます）
- JSON 解析
- JSON 値（ほかのフィールドの種別に「JSON 解析」が設定されている場合に選択できます）

「DB ルックアップ」と「DB オートフィル」

「DB ルックアップ」は、フィールドに連携するデータベースを設定します。そのフィールドに設定されたデータベースから、対応する情報を取得してフィールド値を設定するのが「DB オートフィル」です。
「DB ルックアップ」と「DB オートフィル」を設定したジョブで読み取ると、「インデックス」画面のフィールドパネルに「DB ルックアップ」を設定したフィールドと「DB オートフィル」を設定したフィールドが表示されます。
「DB ルックアップ」を設定したフィールドのフィールド値に、データベースで設定している値を入力すると、「DB オートフィル」を設定したフィールドのフィールド値に、対応した値が自動的に設定されます。
なお、「DB ルックアップ」を設定する場合は、抽出データ用のデータベースとそのデータベースにアクセスするための ODBC データソースが必要です。事前に用意してください。

- 「DB ルックアップ」の設定方法

1. 「種別」で「直接入力」を選択します。
2. 「属性」で「DB ルックアップ」を選択します。
3. 「DB ルックアップ」をポイントして表示される  をクリックします。
   19.6.13 「ODBC データソース」画面 (374 ページ)が表示されます。
4. 「ODBC データソース」で該当するデータ名を選択します。
5. 必要に応じて「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[接続] ボタンをクリックします。
6. 「リスト情報」の「表」で、データベースから使用する表を選択します。

7 「フィールド」で、指定するデータベースのフィールドを選択します。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

- 「DB オートフィル」の設定方法

1 「種別」で「DB オートフィル」をポイントします。

2 表示されたメニューから、指定するデータベースのフィールドを選択します。

「組み合わせ」

ほかのフィールドのフィールド値を組み合わせて、フィールド値を設定します。
例えば、A のフィールドに「Light」、B のフィールドに「Blue」という抽出データが設定されている場合、C のフィールドで、A と B のフィールドを選択した「組み合わせ」を設定すると、C のフィールドに「LightBlue」という値が自動的に設定されます。

- 「組み合わせ」の設定方法

1 「種別」で「組み合わせ」をポイントします。

2 表示されたメニューから、組み合わせたいフィールド名をすべて選択します。

3 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。

「分割」

ほかのフィールドの設定が「バーコード」で、かつ「分割を使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合、そのバーコードの認識結果を分割し、フィールド値を設定します。
例えば、フィールド「A」、「B」、「C」に、以下の設定をします。

- フィールド「A」
  種別：「バーコード」を選択
  分割：文字の「,（カンマ）」を指定
- フィールド「B」
  種別：「分割」から、指定するフィールドとして「A」を選択
  分割 No.： 1 を指定
- フィールド「C」
  種別：「分割」から、指定するフィールドとして「A」を選択
  分割 No.： 2 を指定

この場合、フィールド「A」のバーコードの認識結果が「"Country":"Japan","age":"29"」だったとき、フィールド「B」には、「"Country":"Japan"」という値が、フィールド「C」には「"age":"29"」という値が自動的に設定されます。

「JSON 解析」と「JSON 値」

「JSON 解析」は、フィールドで指定したバーコードの情報を解析します。解析した値を使って、フィールドのフィールド値を自動で取得するのが「JSON 値」です。
「JSON 値」を設定しているフィールド名が、「JSON 解析」で解析した値にある場合、「JSON 値」は、解析した値から対応する情報を取得してフィールド値を設定します。

例えば、「JSON 解析」を設定したフィールドで、解析したバーコードの情報が「{"Country":"Japan"}」だった場合、「JSON 値」を設定したフィールドの名前が「Country」だと、そのフィールドのフィールド値に「Japan」が自動的に設定されます。

- 「JSON 解析」の設定方法

1. 「種別」で「JSON 解析」を選択します。
2. 「バーコードの種類」で、検出するバーコードの種類を 1 つ以上選択します。
3. [エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。
   19.6.3 エリア設定画面（データ抽出） (334 ページ)が表示されます。
4. スキャナーに、原稿を 1 枚セットします。
5. [スキャン] をクリックします。
   読み取りが完了すると、ビューアーに読み取った画像が表示されます。
6. ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリックします。
7. 読み取った画像上で、バーコードを検出する領域をドラッグして選択します。
   フィールドパネルに、選択した領域でのバーコード認識結果が表示されます。
   選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

   選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。
   選択した領域は、青色の枠囲みで表示されます。
   認識領域の編集は、ツールバーの「操作モード」にある「エリア設定」をクリックすると、終了できます。
8. 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

- 「JSON 値」の設定方法

1. 「種別」で「JSON 値」をポイントします。
2. 表示されたメニューから、JSON 解析を指定したフィールド名を選択します。
3. 手順 2 で指定したフィールドで解析される JSON 形式に沿って、フィールド名を入力します。
   例えば、解析したバーコードの情報が {"プロパティ名":"値"} の場合、プロパティ名に該当する内容をフィールド名に入力します。

第 15 章
ダッシュボードで利用状況を確認する

ダッシュボードでは主に以下を行えます。

- ユーザー管理
- スキャナーの管理および監視
- PaperStream Capture の管理および監視
- 読み取り実績の確認

ユーザーがダッシュボードを利用するには、管理者によるユーザーアカウントの登録が必要です。

➡ 15.1 アカウントの登録 (214 ページ)

ダッシュボードは Web ブラウザーで表示します。推奨する Web ブラウザーは以下のとおりです。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Firefox

ロール：管理者 ロール：ユーザー

ダッシュボードには以下の手順でログインできます。

1 **PaperStream Capture のメイン画面で、[PaperStream AI] ボタンをクリックします。**
ログイン画面が表示されます。

2 **画面の表示に従ってログインします。**

関連項目

第 6 章 PaperStream AI を使用するには (57 ページ)
6.1 PaperStream AI のライセンス (57 ページ)

15.1 アカウントの登録

アカウントにロールを割り当てることで、ダッシュボードでできることを設定できます。
ロールには、「管理者」ロールと、「ユーザー」ロールがあります。

➡ 15.2 管理者ができること (215 ページ)
➡ 15.3 ユーザーができること (215 ページ)

ダッシュボードのアカウントは、管理者が作成および管理できます。

ロール：管理者

1 **PaperStream AI ライセンス購入時のメールアドレスでログインします。**
ライセンス購入時のメールアドレスは最初の管理者アカウントとして登録されています。

パスコードがメールで届きます。

2 **パスコードを入力します。**

認証されると、「ホーム」画面が表示されます。

3 **「サポート情報」→「ユーザーの確認 / 追加 / 編集」をクリックします。**

ユーザー一覧が表示されます。

4 **［登録］ボタンをクリックします。**

「ユーザー作成」画面が表示されます。

5 **ユーザー名とロールを入力します。**

ロールによってダッシュボードでできることが異なります。

6 **［作成］ボタンをクリックします。**

アカウントが作成されます。

ライセンス購入時のメールアドレスや、パスワードを忘れてログインできる管理者がいなくなった場合は、ライセンスを購入された販社 / 販売店に連絡してください。

15.2 管理者ができること

管理者がダッシュボードでできることは以下のとおりです。ダッシュボード上部のアカウント名をクリックすると、割り当てられているロールを確認できます。

- 契約内容・利用状況の確認
- ライセンスの登録・更新
- ユーザー管理
- 監査ログの確認
- 15.3 ユーザーができること (215 ページ)

詳細は、ログイン後のダッシュボード画面で？アイコンをクリックして表示される説明を参照してください。

15.3 ユーザーができること

ユーザーがダッシュボードでできることは以下のとおりです。ダッシュボード上部のアカウント名をクリックすると、割り当てられているロールを確認できます。

- スキャナーの運用状況の参照
- PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium の運用状況の参照
- ユーザー情報およびコンピューター情報の参照
- イベントログの参照

詳細は、ログイン後のダッシュボード画面で？アイコンをクリックして表示される説明を参照してください。

第 16 章
運用環境を移出/移入する

複数のコンピューターで、PaperStream Capture を使用している場合、作成したジョブなどを「運用環境の移出」ツールで移出ファイルとして取り出し、その移出ファイルを、「運用環境の移入」ツールで、ほかのコンピューターの PaperStream Capture に移入すれば、簡単に同じ運用環境を構築できます。
また、ScandAll PRO から移出したプロファイルを PaperStream Capture のジョブとして移入できます。
PaperStream Capture で移出/移入できる運用環境の設定は、以下のとおりです。

- ジョブ（サンプルジョブを除く）
- ドライバープロファイル
- 登録帳票
- ジョブのグループ設定
- 「管理ツール」画面の設定

重要

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、「ステーション」タブの「ストレージサーバー」で以下を選択している場合、運用環境の移出および移入ができます。
  - シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）
  - マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）

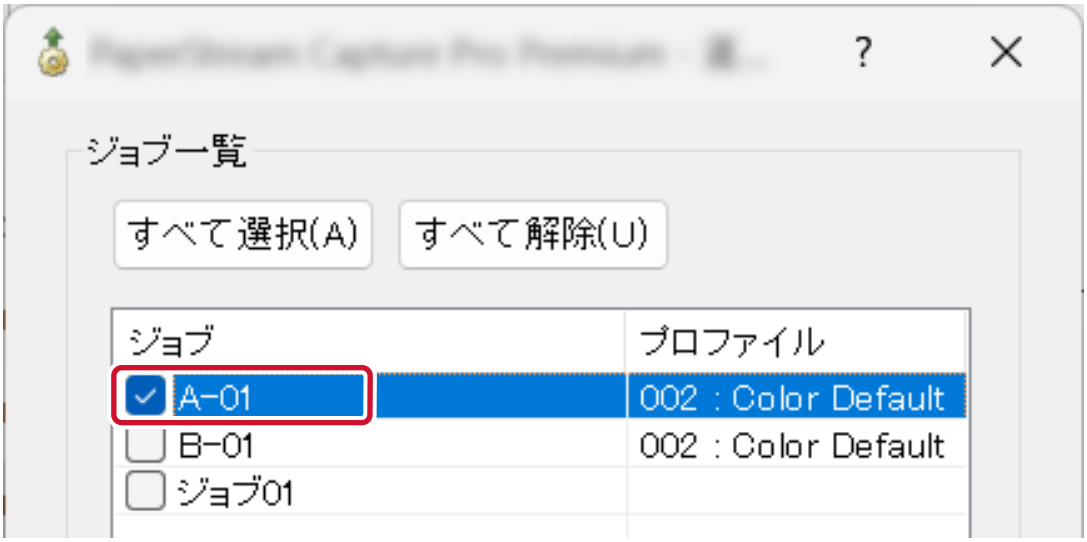
16.1 運用環境を移出する

PaperStream Capture で作成したジョブや PaperStream IP ドライバーのプロファイルなどを含む運用環境を移出します。

1 「運用環境の移出」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
  「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移出」をクリックします。
- Windows 11 / Windows Server 2025
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移出」をクリックします。

2 移出するジョブのチェックボックスにチェックを付けます。



3 [実行] ボタンをクリックします。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4 移出ファイルを保存する場所やファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture の運用環境が移出され、移出処理完了のメッセージが表示されます。
移出ファイルは、「.dpav」の拡張子で作成されます。

5 [OK] ボタンをクリックします。

運用環境が移出されます。
移出ファイルは、運用環境のバックアップとしても利用できます。

16.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する

16.1 運用環境を移出する (216 ページ)で移出した PaperStream Capture の運用環境、または ScandAll PRO で移出したプロファイルを移入します。

重要

- 運用環境の移入する場合、マルチステーション運用のストレージサーバーは管理者権限が必要です。
- 移入先コンピューターの PaperStream Capture および PaperStream IP のバージョンは、移出元と同じ版数以降にしてください。
- 移入先の帳票数が 1000 を超える場合、移入できません。

1 運用環境を移入する前に、移入先の運用環境のバックアップを作成します。

移入方法によっては、移入先の既存ジョブ、帳票、帳票リストが上書きまたは置換される場合があります。先に移入先の運用環境を移出することで、バックアップを作成できます。

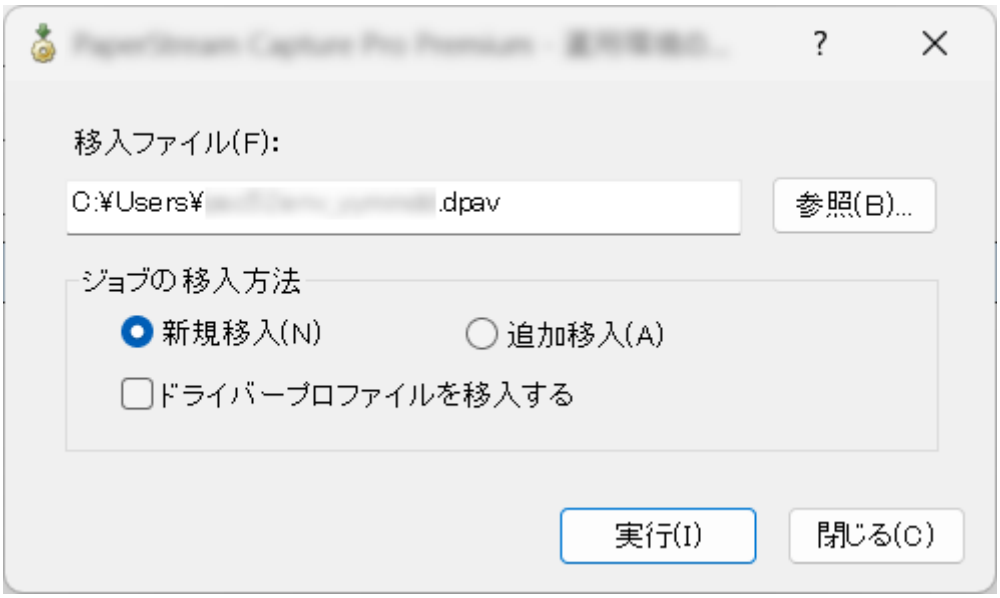
➡ 16.1 運用環境を移出する (216 ページ)

2 「運用環境の移入」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
  「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。
- Windows 11 / Windows Server 2025
  「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。

3 移入するファイルを指定します。

[参照] ボタンをクリックして、16.1 運用環境を移出する (216 ページ)で移出したファイル（.dpav（旧形式の場合は.cab））または ScandAll PRO で移出したファイル（.cab）を指定してください。



4 運用環境の移入方法を選択します。

移入方法には以下の種類があります。

- 新規移入
  PaperStream Capture に現在登録されている運用環境のうち、サンプルジョブ以外をすべて削除し、移入ファイル内の運用環境に置き換えます。
  「管理ツール」画面の設定の移入については、「管理ツール」画面の設定の移入可否 (219 ページ)を参照してください。
  選択すると、「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスが表示されます。
  こだわり作成のジョブに関連付けられているドライバープロファイルも移入する場合は、チェックを付けてください。
  - 新しいコンピューターに移入する場合
    「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスにチェックを付けてください。
    チェックを外すと、ドライバープロファイルが移入されないため、こだわり作成のジョブが正常に動作しないことがあります。
  - PaperStream Capture を運用中で、すでにドライバープロファイルが登録されているコンピューターに移入する場合
    - 「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスにチェックを付けると、運用中のドライバープロファイルをすべて削除し、移入ファイル内のドライバープロファイルに置き換えます。

- 削除せずに残しておきたいドライバープロファイルがある場合は、チェックを外してください。
  チェックを外して移入すると、こだわり作成のジョブには移出元のドライバープロファイルと同じ番号のドライバープロファイルが関連付けられるため、こだわり作成のジョブが正常に動作しないことがあります。
  移出元と移入先でドライバープロファイルの設定が異なる場合は、以下の手順でドライバープロファイルを設定してください。

  a 「読み取り設定」タブの［詳細設定］ボタンをクリックして、移出元と同じ設定のドライバープロファイルを新規作成します。

  b 「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で、新規作成したドライバープロファイルを選択して、ジョブを保存します。

- 追加移入
  移入ファイル内の以下の運用環境を、PaperStream Capture に追加します。
  - ジョブ
  - 帳票リストでチェックが付いている帳票、およびフィールドが定義されている帳票
  - ジョブのグループ設定
  - 「管理ツール」画面の設定
    詳細は、「管理ツール」画面の設定の移入可否 (219 ページ)を参照してください。

  この場合、ドライバープロファイルは移入されません。こだわり作成のジョブで使用するドライバープロファイルを新規に作成してください。

5 ［実行］ボタンをクリックします。

移入処理完了のメッセージが表示されます。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

運用環境が移入されます。

「管理ツール」画面の設定の移入可否

「管理ツール」画面の設定の移入可否を以下に示します。
PaperStream Capture のインストールフォルダー配下のファイルを直接編集している場合、管理者権限がないユーザーが移入操作を行っても、その編集ファイルは移入されません。

- 「一般」タブ

項目	新規移入	追加移入
PaperStream AI	○	-
PaperStream AI 接続設定	-	-
プロキシ設定	-	-
ロゴイメージ	○	-
ロゴ名	○	-
サンプルジョブを表示する	○	-
サムネール画質	○	-

項目	新規移入	追加移入
画像を高品質のビットマップスケーリングで表示する	○	-
確認メッセージを表示する	○	-
ジョブの概要を表示する	○	-
ジョブ表示サイズ	○	-
最大ジョブ数	-	-
出力済みのバッチを xxx 日間表示する	○	-
パスワードを使用する	○	-
パスワード	○	-
アドホックスキャンはパスワードを使用しない	○	-
スキャナードライバー	○	-
バッチ管理画面の自動更新間隔	○	-
モード切替え	○	-
終了後に常駐する	○	-
作業フォルダー	-	-
確信度	○	-
処理速度	○	-
お知らせ	-	-

○：移入される

ー：移入されない

- 「ユーザビリティー」タブ

項目	新規移入	追加移入
イベント	○	○
クリック方法	○	-
スキャン中止のホットキー	○	○
手動仕分けのショートカットキー	○	○
ショートカット設定	-	-

○：移入される

ー：移入されない

- 「出力」タブ

項目	新規移入	追加移入
TIFF の JPEG 圧縮形式	○	-
PDF のバージョン	○	-
フル ASCII の Code 3 of 9 を使用する	○（管理者権限がある場合） -（管理者権限がない場合）	-
PDF/A 設定	○	-
Office 変換機能設定	○	-

○：移入される

ー：移入されない

- 「ステーション」タブ

項目	新規移入	追加移入
プロセスの設定(スキャン/QC/インデックス)	-	-
次のバッチに自動的に遷移する	-	-
ストレージサーバー	-	-
ストレージフォルダー	-	-

ー：移入されない

- 「サポート」タブ

項目	新規移入	追加移入
操作データを出力する	○	-
フォルダー	○	-
メッセージのログ	○	-
選択したイベントのログ	○	-
スキャンの実行	○	-
ページ削除	○	-
紙詰まり	○	-
重送	○	-
その他のエラー	○	-
バッチの生成	○	-
スキャン開始	○	-

項目	新規移入	追加移入
スキャン終了	○	-
QC 開始	○	-
QC 終了	○	-
インデックス開始	○	-
インデックス終了	○	-
出力開始	○	-
出力終了	○	-

○：移入される

ー：移入されない

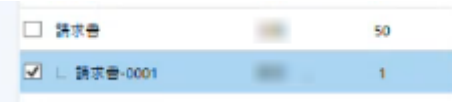
PaperStream AI 使用時の帳票定義の追加移入

重要

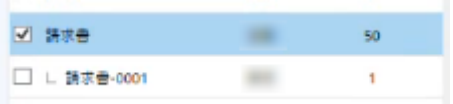
PaperStream AI 使用時に帳票を追加移入する場合、移入先に同名の帳票や同一帳票 ID の帳票が存在すると、帳票の上書き、移入、既存帳票への紐づけ、フィールド追加、または既存ローカル帳票の削除が発生することがあります。
同名で帳票 ID が異なる帳票が存在する場合は、帳票名または帳票 ID の競合が解消されるまで、その帳票は移入ジョブ以外では非活性となり、ジョブとして使用できません。

PaperStream AI 使用時にジョブをほかの PC に追加移入する場合、移入されるジョブ内の帳票定義は基本的に帳票リストでチェックが付いているものだけです。
ただし、配下の帳票定義だけがチェックされていると、親の帳票定義も一緒に移入されます。

- 例
  配下の帳票定義「請求書-0001」だけがチェックされている場合、親の「請求書」も移入されます。



- 例
  親の「請求書」だけがチェックされている場合、配下の「請求書-0001」は移入されません。

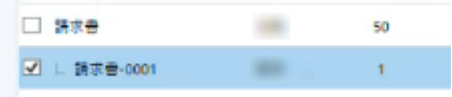


PaperStream AI 使用時の帳票定義の新規移入

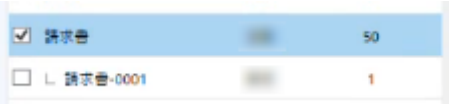
PaperStream AI 使用時にジョブをほかの PC に新規移入する場合、移入されるジョブ内の帳票定義は基本的に帳票リストでチェックが付いているものだけです。
ただし、配下の帳票定義だけがチェックされていると、親の帳票定義も一緒に移入されます。

- 例

配下の帳票定義「請求書-0001」だけがチェックされている場合、親の「請求書」も移入されます。



- 例
  親の「請求書」だけがチェックされている場合、配下の「請求書-0001」は移入されません。



新規移入時、デフォルトの帳票（見積書、注文書、請求書、納品書、領収書）がチェックされず移入対象となっていない場合、移入先では一時的に削除されますが、PaperStream Capture を再起動するとデフォルトの帳票が表示されます。
なお、帳票定義は、20.2 「一般」タブ (399 ページ)の「テナント内で帳票定義・学習データを共有する」チェックボックスのチェックを付けると、テナント内で共有できます。

重要

- 新しいバージョンの PaperStream Capture で移出した移出ファイルは、前のバージョンの PaperStream Capture に移入できません。
- ScandAll PRO で使用していたドライバーが PaperStream IP（TWAIN）ドライバー以外だった場合、プロファイルを移入してもドライバーの設定は移入されません。
  移入したジョブでは、PaperStream IP ドライバーの設定が「000：現在の設定」になるので、ドライバーを再設定してください。
  ドライバーを再設定すると、ファイル形式が変更される場合があります。「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、移出元と同じファイル形式が設定されているかを確認してください。
- ScandAll PRO のプロファイルだけにある機能および運用環境は移入されません。

ヒント

- 移入するファイルの拡張子が「.dpav」の場合、ファイルを直接ダブルクリックして「運用環境の移入」画面を開けます。この方法で画面を開いたときは、手順 3 からの操作を行ってください。
- 移入すると、移出元に設定されたイベントがある場合、移入先にもそのイベントが設定されます（イベントは、「ユーザビリティー」タブの「イベント」で設定の確認ができます）。
  新規移入した場合は、管理ツールの「イベント」以外の設定も移入先に設定されます。
- 「バッチ管理」画面に、一時保存または中断しているバッチがある場合、「新規移入」は選択できません。バッチを出力または削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。
  また、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、一時保存または中断しているバッチがある状態で、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアンインストールするとき、表示されるメッセージ画面で［いいえ］ボタンをクリックした場合は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「ステーション」タブの「ストレージサーバー」で指定した「ストレージフォルダー」にファイルが残ります。この状態で別のバージョンの PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をインストールすると、「新規移入」が選択できない場合があります。「バッチ管理」画面に一時保存または中断のバッチがないのに「新規移入」が選択できない場合

は、「ストレージフォルダー」に格納されているファイルを削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。

16.3 運用環境の移入結果を確認する

1 移入結果が格納されているフォルダーを開きます。
デフォルトの移入結果格納先は以下のとおりです。
C:¥Users¥ユーザー名¥Documents¥PaperStreamCapture

2 ログファイルをダブルクリックします。
デフォルトのファイル形式およびファイル名は、以下のとおりです。

- ファイル形式
  CSV
- ファイル名
  PSCImpProfile.csv

3 1 行目にログが出力された日時、2 行目以降に、移入された各ジョブの移入結果が表示されます。
移入に成功した場合は「OK」、移入に失敗した場合は「NG」が表示されます。
例えば、2017 年 11 月 20 日月曜日 17 時 53 分 16 秒に Job1 と Job2 を移入し、移入結果が Job1 は成功、Job2 は失敗だった場合、以下のように表示されます。

Monday. November 20. 2017 17:53:16		
NG	NEW	Job2
OK	NEW	Job1

移入結果が「NG」と表示された場合、以下が原因として考えられます。表示されるメッセージにしたがって対応を行い、再度移出入を行ってください。

- 移入先の帳票数が上限を超えている。
  不要な帳票を削除して再度移入してください。
- 移入先に帳票 ID の異なる同名帳票がある。
  帳票名の変更を行って再度移出入を行ってください。
- 帳票フィールド数が上限を超えている。
  移入先または移入する帳票の名前を変更し、再度移入してください。
- 移出元と移入先の PaperStream Capture および PaperStream IP のバージョンに差異がある。
  移入先のバージョンを更新してください。

第 17 章
「お使いの前に」画面

PaperStream Capture の基本的な使い方が記載されている、HTML 版 PaperStream Capture ユーザーズガイドのトピックへリンクしている画面です。

PaperStream Capture を起動したとき以外にも、メニューの  から、「お使いの前に」を選択して表示できます。

お使いの前に

第 8 章 基本的な読み取り操作 (64 ページ)

ジョブ

ジョブに関連するトピック

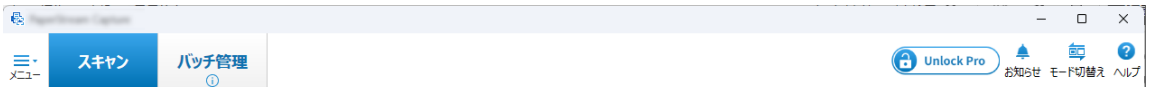
もっと詳しく

第 14 章 便利な設定に変更する (118 ページ)

第 18 章
メニュー

PaperStream Capture を操作するためのボタンを集めたメニューです。

- PaperStream Capture の場合



例：バッチスキャンモードの「スキャン」画面のメニュー

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合



例：バッチスキャンモードの「スキャン&インデックス」画面のメニュー

- PaperStream AI の場合



例：バッチスキャンモードの「スキャン&インデックス」画面のメニュー

ロゴイメージ

「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の 20.2 「一般」タブ (399 ページ) で設定したロゴイメージが表示されます。



クリックすると、以下のメニューが表示されます。

- お使いの前に
  選択すると、第 17 章 「お使いの前に」画面 (225 ページ)を表示します。
- ジョブ作成/編集
  選択すると、第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)を表示します。
- 管理ツール
  選択すると、「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)を表示します。
- PaperStream AI 再接続
  選択すると、PaperStream AI への接続を行います。
  この項目は、PaperStream AI のライセンスが有効な場合に表示され、PaperStream AI に接続できていない状態のときだけ選択できます。接続中、読み取り中、および認識中は選択できません。
- オンラインリソース
  選択すると、PaperStream Capture の Web サイトを表示します。

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。

- バージョン情報
  選択すると、PaperStream Capture のバージョン情報を表示します。
- 終了
  選択すると、PaperStream Capture を終了します。

［スキャン&インデックス］ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、第 23 章 「スキャン&インデックス」画面 (424 ページ)が表示されます。

［スキャン］ボタン

クリックすると、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)が表示されます。

［QC］ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)が表示されます。

［インデックス］ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、第 27 章 「インデックス」画面 (437 ページ)が表示されます。

［バッチ管理］ボタン

クリックすると、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)が表示されます。

［Unlock Pro］ボタン

この項目は、PaperStream Capture の場合に、以下の画面で表示されます。

- 「ジョブ作成/編集」画面
- 「かんたん作成」画面
- 「こだわり作成」画面
- 「スキャン」画面

クリックすると、PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium の購入サイトをブラウザーで表示します。

［PaperStream AI］ボタン

PaperStream AI を利用している場合、クリックするとダッシュボードのログイン画面が表示されます。
なお、PaperStream AI のライセンスが有効であっても PaperStream AI に接続できていない場合、［PaperStream AI］ボタンはグレーになります。［PaperStream AI］ボタンがグレーでも PaperStream AI に一度でも接続できている場合は、クリックするとダッシュボードのログイン画面が表示されます。

PaperStream AI を利用していない場合、クリックすると評価版の申し込みフォームがブラウザーに表示されます。

［お知らせ］ボタン

「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「一般」タブにある「おすすめ設定」で「お知らせする」を選択、または「お知らせするユーザーを選択」で表示するユーザーとして選択されている場合、以下の画面で表示されます。

- PaperStream Capture の場合
  - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面
  - 「ジョブ作成/編集」画面
  - 「かんたん作成」画面
  - 「こだわり作成」画面
  - 「スキャン」画面
- PaperStream Capture Pro の場合
  - 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面
  - 「ジョブ作成/編集」画面
  - 「かんたん作成」画面
  - 「こだわり作成」画面
  - 「スキャン&インデックス」画面
  - 「スキャン」画面
- PaperStream Capture Pro Premium の場合
  - 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面
  - 「ジョブ作成/編集」画面
  - 「かんたん作成」画面
  - 「こだわり作成」画面
  - 「スキャン&インデックス」画面
  - 「スキャン」画面

未読のお知らせがある場合は、ボタンの表示が  になります。

クリックすると、第 35 章 「お知らせ」画面 (468 ページ)が表示されます。

［モード切替え］ボタン

クリックすると、バッチスキャンモードまたはシンプルスキャンモードに読み取り方法を切り替えられます。

ただし、「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「一般」タブの「モード切

替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択した場合、［モード切替え］ボタンは表示されません。

第 19 章
「ジョブ作成/編集」画面

ジョブを新規作成、参照作成、編集、および削除できます。
画面にジョブの一覧が表示されます。

並び替え

ジョブの表示順を変更できます。ドロップダウンリストからジョブの表示順を選択します。

- 最終更新日時（新しい順）
- 最終更新日時（古い順）
- 作成日時（新しい順）
- 作成日時（古い順）
- ジョブ名（昇順）
- ジョブ名（降順）
- ユーザー指定順
  並び順を自由に変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。
  変更した並び順は、ログオンしたユーザーごとで管理されます。
- グループ
  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  ジョブがグループごとに表示されます。グループが設定されていないジョブは「その他」グループに表示されます。
  並び順を変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。

ただし、PaperStream AI の  （「PaperStream AI」ジョブ）は並び替えできません。

ジョブの検索

ジョブ名またはジョブ名の一部を入力して［検索］ボタンをクリックすると、対象のジョブが表示されます。

［前の画面に戻る］ボタン

クリックすると、1 つ前の画面に戻ります。

ツールバー

新規作成（かんたん）

新しいジョブを作成します。
クリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。

新規作成（こだわり）

新しいジョブを作成します。

クリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

編集

ジョブを編集します。
こだわり作成のジョブをクリックして、「編集」をクリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

かんたん作成のジョブ（アイコン）をクリックして、「編集」をクリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。
第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で、「状況」が「出力済み」以外になっているバッチのジョブを編集する場合、一部の項目は編集できません。

参照作成

ジョブを複製して、ジョブを作成します。
こだわり作成のジョブをクリックして、「参照作成」をクリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

かんたん作成のジョブ（アイコン）をクリックして、「参照作成」をクリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。

削除

ジョブを削除します。
クリックすると、ジョブを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

編集（こだわりに移行）

かんたん作成のジョブを選択した場合に表示されます。
クリックすると、こだわり作成のジョブに移行され、「こだわり作成」画面が表示されます。

「並び替え」で「グループ」を選択した場合、ツールバーには以下が表示されます。

ジョブ

グループ内に新しいジョブを作成する場合は、グループ内の［新規作成（かんたん）］ボタンまたは［新規作成（こだわり）］ボタンをクリックしてください。

編集

ジョブを編集します。
こだわり作成のジョブをクリックして、「編集」をクリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

かんたん作成のジョブ（アイコン）をクリックして、「編集」をクリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。
第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で、「状況」が「出力済み」以外になっているバッチのジョブを編集する場合、一部の項目は編集できません。

参照作成

ジョブを複製して、ジョブを作成します。
こだわり作成のジョブをクリックして、「参照作成」をクリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

かんたん作成のジョブ（アイコン）をクリックして、「参照作成」をクリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。

削除

ジョブを削除します。
クリックすると、ジョブを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

編集（こだわりに移行）

かんたん作成のジョブを選択した場合に表示されます。
クリックすると、こだわり作成のジョブに移行され、「こだわり作成」画面が表示されます。

グループ

新規

クリックすると、新しいグループが追加されます。グループは最大 100 件まで作成できます。
グループ名は、200 文字まで設定できます。

変名

クリックすると、グループ名を変更できます。
グループバーを選択した場合に表示されます。

削除

グループを削除します。
グループバーを選択した場合に表示されます。
クリックすると、グループを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

ジョブの一覧

ジョブが表示されます。
「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「一般」タブで、「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、以下のジョブがサンプルで表示されます。

- Auto-Color
- Color
- Black and White
- ScanSnap Manager for fi 互換
- One Push Scan

ジョブのアイコンをマウスでポイントすると、ジョブの詳細が表示されます。
ジョブを右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

編集

ジョブを編集します。

参照作成

ジョブを複製して、ジョブを作成します。

削除

ジョブを削除します。
管理者権限のユーザーだけが操作できます。

編集（こだわりに移行）

かんたん作成のジョブを選択した場合に表示されます。
クリックすると、こだわり作成のジョブに移行され、「こだわり作成」画面が表示されます。

「並び替え」で「グループ」を選択した場合、以下が表示されます。

グループ名（ジョブ数）

グループバーです。



グループ内のジョブを非表示にします。



グループ内のジョブを表示します。



グループの表示順を上げます。



グループの表示順を下げます。

19.1 目的選択画面

かんたん作成でジョブを新規作成するときに、目的に合った保存方法を選び、ジョブの作成を開始します。

画像として保存

詳しい説明を見る

リンクをクリックすると、10.1.1 原稿を読み取って画像を保存する (75 ページ)が表示されます。

［作成開始］ボタン

「画像として保存」画面が表示されます。

仕分けして保存

詳しい説明を見る

リンクをクリックすると、10.1.2 読み取った原稿の画像を仕分けて保存する (78 ページ)が表示されます。

［作成開始］ボタン

「仕分けして保存」画面が表示されます。

データを抽出し保存

詳しい説明を見る

リンクをクリックすると、10.1.3 原稿内の文字列をファイル名や保存先のフォルダー名にして保存する (81 ページ)が表示されます。

［作成開始］ボタン

「データを抽出し保存」画面が表示されます。

定型帳票からデータを抽出し保存

詳しい説明を見る

リンクをクリックすると、10.1.4 定型帳票内の文字列をファイル名やフォルダー名にして保存する (87 ページ)が表示されます。

［作成開始］ボタン

「定型帳票からデータを抽出し保存」画面が表示されます。

［キャンセル］ボタン

クリックすると、第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)に戻ります。

19.2 「こだわり作成」画面の構成

画面の構成は、以下のとおりです。

タブ

- 19.3 「ジョブ情報設定」タブ (235 ページ)
- 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)
- 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)
- 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)
- 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)
- 19.8 「テスト」タブ (391 ページ)

タブ名をクリックすると、表示するタブを切り替えられます。

［前へ］ボタン

前のタブに戻ります。

［次へ］ボタン

次のタブに進みます。

［保存］ボタン

ジョブの設定を保存して完了します。

［閉じる］ボタン

「こだわり作成」画面を閉じ、第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)を表示します。

19.3 「ジョブ情報設定」タブ

ジョブ名およびアイコンを設定できます。

ジョブ情報

ジョブ名

ジョブ名を設定します。最大で 128 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字（¥ / : * ? " < > |）はジョブ名に使用できません。

> **重要**
> - 一時保存、中断、またはエラーのバッチが存在する場合、「ジョブ名」は編集できません。

> **ヒント**
> - ジョブ名に以下のような環境依存文字を使用すると、スキャナーの装置パネルにジョブ名が正しく表示されないことがあります。ジョブ名に環境依存文字を使用しないでください。
>   - 丸囲み数字
>   - ローマ数字
>   - 単位
>   - 省略文字
>   - 人名・地名

説明

ジョブの説明を設定します。最大で 128 文字まで設定できます。

アイコン

ジョブのアイコンを設定します。
一覧からアイコン画像を選択します。

［追加］ボタン

PNG（.png）形式のファイルを独自のアイコン画像として追加します。

ファイルサイズが 500KB までのファイルをアイコン画像として指定できます。
サンプルジョブのアイコン画像は、以下のフォルダーに格納されています。
C:¥ProgramData¥PaperStreamCapture¥Sample
必要に応じて追加してください。

［削除］ボタン

選択したアイコン画像を削除します。

ホットキー

読み取りを開始するためのホットキーを、キーボードの任意のキーで指定します。
ホットキーの動作は、20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)の「ホットキー動作モード」で指定できます。

重要

- ホットキーを定義し、かつ「ホットキー動作モード」で「システム全体のホットキーとして動作する」を選択した場合、PaperStream Capture が動作中は、ほかのすべてのアプリケーションで定義されたキーが使用できなくなります。ほかのアプリケーションで使用しないキーを定義することを推奨します。

優先度

バッチの優先度を選択します。

表示

PaperStream Capture の場合、ジョブを第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)に表示するかどうかを選択します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、ジョブを第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)または第 23 章 「スキャン&インデックス」画面 (424 ページ)に表示するかどうかを選択します。

- 表示
- 隠す
- 表示するユーザーを選択
  選択すると、「選択」が活性化されます。「選択」をクリックして表示される第 33 章 「所属/ユーザーの選択」画面 (464 ページ)で、ジョブを表示するユーザーやグループ、または組織を選択します。

ジョブプレビュー

ジョブのプレビューが表示されます。

バッチ情報

バッチ名

バッチの名前を指定します。

［バッチ名オプション］ボタン

クリックすると、バッチ名に指定できる項目が表示されます。詳細は、19.3.1 バッチ名オプション (237 ページ)を参照してください。
選択すると、バッチ名の入力域に、該当の項目が < > で括られて表示されます。

［カウンターオプション］ボタン

クリックすると、バッチカウンターの値を設定する 19.3.2 「バッチカウンターオプション」画面 (239 ページ)が表示されます。
バッチ名オプションで「バッチカウンター」を選択した場合、設定してください。

19.3.1 バッチ名オプション

バッチ名のバッチ名オプションに設定できる項目を説明します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)で「バッチ仕分け」を設定している場合、出力されるバッチ名は「"バッチ名"_仕分け No.（数字 4 桁）」になります。
19.3 「ジョブ情報設定」タブ (235 ページ)にある「バッチ名」で［バッチ名オプション］ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。

ジョブ名

ジョブ名を指定します。

ユーザー名

原稿の読み取りを実行したコンピューターのユーザー名を指定します。

コンピューター名

原稿の読み取りを実行したコンピューター名を指定します。

バッチカウンター

バッチカウンターを指定します。
指定した場合、［カウンターオプション］をクリックし、表示された 19.3.2 「バッチカウンターオプション」画面 (239 ページ)で、バッチカウンターを設定してください。

作成日

作成日を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- システム標準形式
  システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。
- yyyyMMdd
  年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
  年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd

年_月_日を表示します。

- MMddyyyy
  月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
  月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
  月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
  日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
  日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
  日_月_年を表示します。
- DD
  日を表示します。
- MM
  月を表示します。
- YY
  年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- YYYY
  年を表示します。
- YYDDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。
- YY-DDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。
- YY_DDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16_075 と表示されます。

作成時刻（HHmmss-24 時間表記）

作成時刻を指定します。
HHmmss は、時分秒を表示します。

作成時刻（HH-mm-ss-24 時間表記）

作成時刻を指定します。
HH-mm-ss は、時-分-秒を表示します。

作成時刻（HH_mm_ss-24 時間表記）

作成時刻を指定します。
HH_mm_ss は、時_分_秒を表示します。

バッチ仕分け値

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
バッチ仕分け値をバッチ名に指定します。

> **ヒント**
> - 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

閉じる

バッチ名の設定を完了します。

19.3.2 「バッチカウンターオプション」画面

バッチカウンターの値を設定します。

バッチカウンター

初期値

バッチカウンターの初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

最小桁数

バッチカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します（デフォルトは 4）。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
以下に例を示します。

バッチカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.4 「読み取り設定」タブ

スキャナーおよび読み取り条件を設定します。

読み取り設定

スキャナー

選択しているスキャナーのアイコンとスキャナー名が表示されます。

- PaperStream Capture の場合
  クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、使用するスキャナーを選択します。
  - PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合
    コンピューターに接続しているスキャナーが表示されます。
  - PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合
    対象スキャナー名が表示されます。
- PaperStream Capture Pro の場合
  クリックすると、コンピューターに接続しているスキャナーが表示されます。表示されるドロップダウンリストから、使用するスキャナーを選択します。
  PaperStream AI を利用している場合、「File Import」も選択できます。
  「File Import」が選択された場合、以下の項目が表示されます。

固定フォルダー

取り込み元のフォルダーを指定します。指定した場合、読み取り開始時に「フォルダー選択」画面は表示されず、指定したフォルダーから取り込みます。
指定しない場合は、読み取り開始時に「フォルダー選択」画面が表示されます。
フォルダー監視を有効にする場合は、必ず指定してください。指定したフォルダーが存在しない場合は、メッセージが表示されて読み取りを中止します。

「サブフォルダーのファイルもインポートする」チェックボックス

チェックを付けると、「固定フォルダー」で指定したフォルダーのサブフォルダーにあるファイルも取り込みます。
本項目は、「監視フォルダー詳細設定」画面の「サブフォルダも監視対象とする」チェックボックスと連動するため、どちらかにチェックを付けるともう一方もチェックが付きます。

- PaperStream Capture Pro Premium の場合
  「PaperStream IP Import」と「File Import」も表示されます。
  クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、使用するスキャナー、「PaperStream IP Import」、または「File Import」を選択します。
  「File Import」が選択された場合、以下の項目が表示されます。

固定フォルダー

取り込み元のフォルダーを指定します。指定した場合、読み取り開始時に「フォルダー選択」画面は表示されず、指定したフォルダーから取り込みます。
指定しない場合は、読み取り開始時に「フォルダー選択」画面が表示されます。
フォルダー監視を有効にする場合は、必ず指定してください。指定したフォルダーが存在しない場合は、メッセージが表示されて読み取りを中止します。

「サブフォルダーのファイルもインポートする」チェックボックス

チェックを付けると、「固定フォルダー」で指定したフォルダーのサブフォルダーにあるファイルも取り込みます。
本項目は、「監視フォルダー詳細設定」画面の「サブフォルダも監視対象とする」チェックボックスと連動するため、どちらかにチェックを付けるともう一方もチェックが付きます。

重要

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、TWAIN ドライバーに対応した他社製のスキャナーを使用できます。ただし、PaperStream Capture Pro の場合、A3 対応の他社製スキャナーは使用できません。
  なお、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用した場合、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で使用できない機能があります。
  ➡ 機能一覧 (26 ページ)
- 他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用した場合の PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の動作は保証しません。

読み取り設定

- PaperStream Capture の場合
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合、スキャナーの読み取り条件を設定できます。
  PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、読み取り設定の内容だけ表示します。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  スキャナーの読み取り条件を設定できます。

スキャナーの読み取り条件で設定できるのは、以下の項目です。ただし、選択したスキャナーによっては、設定できる項目が異なる場合があります。

重要

- 一時保存、中断、またはエラーのバッチが存在する場合、「読み取り設定」は編集できません。

ドライバープロファイル

選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルが表示されます。
クリックして、表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。
「読み取り設定」で設定値を変更すると、該当するプロファイル名の番号部分にアスタリスク（*）が付きます。

- PaperStream Capture の場合
  一部の機種では、PaperStream IP（TWAIN） ドライバーを使用しているときに「ScanSnap Manager for fi 互換」というドライバープロファイルが表示されます。
  「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択した場合、「ジョブ作成/編集」画面で設定できる項目が「ScanSnap Manager for fi 互換」用に変更されます。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  一部の機種では「ScanSnap Manager for fi 互換」というドライバープロファイルが表示されます。「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択した場合、「ジョブ作成/編集」画面で設定できる項目が「ScanSnap Manager for fi 互換」用に変更されます。

重要

- 一時保存、中断、またはエラーのバッチが存在する場合、「ドライバープロファイル」は編集できません。
- PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の場合、選択している PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」 の場合、「読み取り設定」にある項目は非活性になり、ドライバーの設定に従います。
- PaperStream Capture Pro Premium の場合、選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」 の設定が「オン」 の場合、「読み取り設定」にある項目は「画質補正」以外は非活性になり、ドライバーの設定に従います。
- 設定によってドライバープロファイルの設定が無効になるものがあります。また、ドライバープロファイルの設定により、PaperStream Capture の設定が無効になる場合もあります。詳細は、42.13 PaperStream Capture とドライバープロファイルの設定の関係 (692 ページ)を参照してください。

新規保存

現在の設定内容で、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを新規に保存します。
クリックすると、「新規保存」画面が表示されます。

保存

現在の設定内容を、選択中の PaperStream IP ドライバーのプロファイルに上書き保存します。

画像タイプ

以下から選択できます。

- 二値白黒
- グレースケール
- カラー
- カラー自動（二値白黒/カラー）
- ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- カラー自動
- カラー
- グレースケール
- 二値白黒
- カラー高圧縮

重要

- 帳票の仕分けやデータ抽出を行うジョブの場合は、帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にすることを推奨します。
  設定が異なると、文字列やバーコード/QR コードを読み取る認識精度が低くなり、認識結果の表示に時間がかかる場合があります。

解像度

以下から選択できます。

- 150 dpi（ドラフト）
- 200 dpi（標準）
- 240 dpi（高標準）
- 300 dpi（ファイン）
- 400 dpi（スーパーファイン）
- 600 dpi（エクセレント）
- ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- 自動
- ノーマル（カラー／グレー：150dpi、白黒：300dpi 相当）
- ファイン（カラー／グレー：200dpi、白黒：400dpi 相当）
- スーパーファイン（カラー／グレー：300dpi、白黒：600dpi 相当）
- エクセレント（カラー／グレー：600dpi、白黒：1200dpi 相当）

用紙サイズ

以下から選択できます。

- PaperStream Capture の場合
  - レター
  - リーガル
  - エグゼクティブ
  - A3（*1）
  - A4
  - A5
  - スキャナーの最大値（PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合）
  - 自動（PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合）
  - ドライバーの設定に従う

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  - レター
  - リーガル
  - エグゼクティブ
  - A3（*1）
  - A4
  - A5
  - 自動
  - ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- 自動（*2）
- A3 (297 × 420 mm)（*1）
- A4 (210 × 297 mm)
- A5 (148 × 210 mm)
- A6 (105 × 148 mm)
- B4 (257 × 364 mm)（*1）
- B5 (182 × 257 mm)
- B6 (128 × 182 mm)
- はがき (100 × 148 mm)
- レター (8.5 × 11 インチ, 216 × 279.4 mm)
- ダブルレター (11 × 17 インチ, 279.4 × 431.8 mm)（*1）
- リーガル (8.5 × 14 インチ, 216 × 355.6 mm)
- 名刺 (55 × 91 mm)
- 長尺原稿

***1 :**「スキャナー」で選択しているスキャナーが A3 対応機種の場合、表示されます。

***2 :** 本設定で厚みがある原稿を読み取ると、画像の周囲に不要な空白帯ができる場合があります。この場合、画像または PDF を編集できるアプリケーションで、必要な部分を切り出してください。

読み取り面

以下から選択できます。

- 片面
- 両面
- フラットベッド（*1）
- ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- 片面
- 両面
- フラットベッド（*1）
- 自動（*1）

***1 :** 「スキャナー」で選択しているスキャナーがフラットベッド搭載機の場合、表示されます。

継続読み取り

以下から選択できます。

- 有効
- 無効
- ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- 無効
- 有効

画質補正

「無効」または「有効」から選択できます。
この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。

> **ヒント**
> - 本項目は、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

［オプション設定］ボタン

PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用し、かつ「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択すると表示されます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択すると表示されます。
クリックすると、19.4.2 「読み取りモードオプション」画面 (256 ページ)が表示されます。

［詳細設定］ボタン

「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。
クリックすると、PaperStream IP ドライバーの画面が表示されます。

PaperStream Capture では、PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、この項目だけ表示されます。
「ページ」 でページの回転やブランクページ（白紙）の削除を設定したり、「回転のカスタム設定」 でドライバープロファイルへの原稿登録をしたりなど、詳細な読み取り設定ができます。詳細は、PaperStream IP ヘルプを参照してください。

重要

- 「スキャナー」でスキャナーを選択したり、「読み取り設定」の［詳細設定］ボタンから PaperStream IP ドライバーの画面を開いたりなど、選択中のスキャナーに PaperStream Capture がアクセスして設定する操作では、「ジョブ作成/編集」画面を閉じるまで該当のスキャナーは占有されます。
  占有中は、他のアプリケーションで該当のスキャナーを使用できません。

画像表示オプション

表示オプション

ヒント

- 本項目は、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

スキャン中に画像表示

「監視フォルダー設定」の「監視フォルダー監視を有効にする」チェックボックスにチェックを付けた場合、本項目は選択できません。

- PaperStream Capture の場合
  選択すると、読み取り中に、画像が「スキャン」画面（確認 / 編集時）に表示されます。読み取りが完了したあとだけ、画像を「スキャン」画面（確認 / 編集時）に表示したい場合は、選択しないでください。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  選択すると、読み取り中に、画像が「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）に表示されます。読み取りが完了したあとだけ、画像を「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）に表示したい場合は、選択しないでください。

「スキャン中に画像をチェックする」チェックボックス

チェックを付けると、原稿の読み取り中に、サムネール一覧で読み取り済みの画像のページを選択して、ビューアーで画像を確認できます。また、選択したサムネールにマークを付加できます。
ただし、「スキャン中に画像表示」と「スキャン後すぐに出力」を選択した場合、この項目は選択できません。
なお、以下の場合、この機能は使用できません。

- 読み取り方法がシンプルスキャンモードの場合

- 「スキャン」画面（確認 / 編集時）または「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）の表示が、「フルページ」または「見開きページ」の場合
- 追加または差し替えで、新たに原稿を読み取った場合
- こだわり作成のジョブで、「読み取り設定」タブ の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合

重要

以下の場合は、正常に操作できません。

- 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)の「定義モード」が「標準モード」で、かつ、「適用ページ」が「指定ページ」の場合、最後に選択したページのドキュメントの指定ページが選択されます。
- 「データ抽出設定」タブの「定義モード」が「標準モード」の場合、認識結果はすべての原稿を読み取ったあとに表示されます。

スキャン後すぐに出力

選択すると、ジョブで設定した出力先に、読み取った画像が自動で出力されます。

「インデックスをスキップ」チェックボックス

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
チェックを付けると、「データ抽出設定」タブでフィールドの定義をしていても、抽出データを設定しません。そのため、抽出データが設定されない画像が自動で出力されます。
ただし、「別途 QC を行う」を選択した場合、チェックの有無にかかわらず、この項目が非表示になり、設定が無効になります。

「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックス

チェックを付けると、条件によって、以下の画面が表示されます。

- 読み取り中にエラーが検出された場合
  第 25 章 リカバリー画面 (430 ページ)が表示されます。
- 「画像チェック」を設定し、設定した項目が検出された場合
  - PaperStream Capture の場合
    「スキャン」画面（確認 / 編集時）が表示されます。
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
    「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）が表示されます。

「出力速度を優先する」チェックボックス

「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスのチェックが外れている場合、選択できます。

チェックを付けると、読み取りながらファイルを出力します。
なお、以下の場合、この機能は使用できません。

- PaperStream Capture の場合
  - PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「マルチイメージ」を選択している
  - PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」が「カラー/モノクロ自動判別」かつ 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)で「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックスにチェックが付いている
  - 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)の「ドキュメント仕分け」で「白紙」を選択、かつ「両面が白紙ページの場合に仕分けする」チェックボックスにチェックが付いている
  - 19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「ファイルオプション」で「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスにチェックが付いている
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  - 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)で「定義モード」の「標準モード」を選択している
  - PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「マルチイメージ」を選択している
  - PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」が「カラー/モノクロ自動判別」かつ 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)で「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックスにチェックが付いている
  - 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)でバッチ仕分けを設定している
  - 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)の「ドキュメント仕分け」で「白紙」を選択、かつ「両面が白紙ページの場合に仕分けする」チェックボックスにチェックが付いている
  - 19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「ファイルオプション」で「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスにチェックが付いている

  また、本項目は、以下の場合に設定できます。
  - 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)にある「プロセスの設定」で「スキャン&インデックス」を選択、かつ「ストレージサーバー」でシングルステーション運用を選択している場合
  - 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「ステーション」タブにある「プロセスの設定」で「スキャン&インデックス」または「スキャン」を選択、かつジョブから「アドホックスキャン」で読み取る場合

> **ヒント**
>
> ● 「バッチ管理」画面に、一時保存または出力処理を中断したバッチがある場合、そのバッチで使用されたジョブでは、本項目の設定を変更できません。
> ただし、「アドホックスキャン」で読み取るときだけ、設定の変更ができます。

スキャン中にウィンドウ最小化

選択すると、読み取り開始以降、画面を最小化します。

別途 QC を行う

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
選択すると、読み取りと QC を別々に作業できます。
マルチステーション運用で、QC ステーションを設定する場合は、選択してください。
QC は、第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)で行います。「QC」画面は、「バッチ管理」画面で QC の操作待ちになっているバッチをダブルクリックすると表示できます。
「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「ステーション」タブで、[スキャン&インデックス] ボタンを選択しているときは、本設定は無視されます。

スキャン後アプリケーション終了

「スキャン後すぐに出力」を指定した場合、選択できます。
選択すると、スキャナーで読み取りを開始し、読み取った画像を自動で保存したあと、PaperStream Capture が自動で終了します。

画像チェック

> **ヒント**
>
> ● 本項目は、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

折れ/破れ

選択すると、原稿に折れや破れなどの異常を検出した場合、黄色のマークとアイコンを付けます。
また、選択すると PaperStream IP ドライバーの設定が「クロッピング」が「なし」、「背景」が「白」の場合でも、一時的に「クロッピング」を「自動」に変更して読み取りします。
PaperStream IP ドライバーの設定の詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

重送

選択すると、原稿の重送を検出した場合、読み取りは中止せず、赤色のマークとアイコンを付けます。

白紙

選択すると、原稿に白紙ページを検出した場合、黒色のマークとアイコンを付けます。

原稿識別精度（ドライバー）

「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」 の設定が「オン」 のとき、有効になります。
選択すると、原稿の識別精度が低い画像を検出した場合、紫色のマークとアイコンを付けます。
以下の場合、本項目は非活性になります。

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択
- 「仕分け設定」タブの「仕分けの種類」で「帳票識別」を選択

PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、本項目は表示されません。

「自動フィルター」チェックボックス

「画像チェック」で「白紙」だけを有効にした場合、表示されます。
チェックを付けると、第 28 章 ツールバー (440 ページ)の「表示」に「白紙」が表示された状態になり、白紙ページとして検出したページが表示されます。

重要

- 「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択している場合、「画像チェック」で設定した項目が検出されても、出力が優先されるため、検出された画像の確認 / 編集ができません。
  検出された画像を確認 / 編集する場合は、「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスにチェックを付けてください。
  PaperStream Capture の場合、チェックを付けると、「画像チェック」で設定した項目が検出されたとき、第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)に検出された画像がマーク付きで表示され、画像の確認 / 編集ができます。
  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、チェックを付けると、「画像チェック」で設定した項目が検出されたとき、第 24 章 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） (427 ページ)または第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)に検出された画像がマーク付きで表示され、画像の確認 / 編集ができます。
- 「画像チェック」の設定は、PaperStream IP ドライバーのマルチフィード検出やブランクページ検出の設定より優先されます。

ヒント

- 折れ/破れや重送が検出されたページは、ページを差し替えることを推奨します。

画像編集

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。

「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックス

「QC」画面および「インデックス」画面でマスキングを追加する場合にチェックを付けます。

重要

以下のどちらかの場合、「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックスにチェックを付けていても、マスキングを追加できません。

- 「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択している場合
- 「表示オプション」で「別途 QC を行う」を選択していない、かつ、フィールドを設定していない場合

「QC/インデックス画面での画像トリミングを許可する」チェックボックス

「QC」画面および「インデックス」画面で画像をトリミングする場合にチェックを付けます。

監視フォルダー設定

本設定は、「スキャナー」で「PaperStream IP Import」または「File Import」を選択した場合に表示されます。
本設定は PaperStream IP Import の設定項目で設定するドライバーの監視とは異なります。4 時間ごとや、毎週木曜日の 1 時など定期的に監視フォルダーのファイルをインポートする場合に設定します。

また、（「PaperStream AI」ジョブ）では本項目は設定できません。

フォルダー監視のジョブ（が表示されているジョブ）が、「ジョブ情報設定」タブの「表示」で「隠す」になっている場合、そのジョブでのフォルダー監視は行われません。「表示するユーザーを選択」になっている場合は、表示するユーザーとして設定されていれば、そのジョブでのフォルダー監視は行われます。
マルチステーション運用の場合、監視を有効にしたジョブは、ほかの端末でも監視が有効になります。
フォルダー監視中は、PaperStream Capture を起動していなくても設定したタイミングで画像が取り込まれます。

「監視フォルダー監視を有効にする」チェックボックス

チェックを付けると、指定フォルダーにあるファイルを定期的にインポートできます。
複数のジョブで同じフォルダーを監視することもできますが、インポート後にファイルは移動または削除されるため、同じファイルを複数のフォルダー監視のジョブでイ

ンポートすることはできません。取込スケジュールが重複した場合は、作成日時が早いジョブから順番に実行されます。
監視フォルダー内でインポートできるファイルの種類は次のとおりです。

- File Import の場合
  - .bmp
  - .dib
  - .tif
  - .tiff
  - .j2k
  - .jpg
  - .jpeg
  - .jpe
  - .jfif
  - .pdf
  - .png
- PaperStream IP Import の場合
  - .bmp
  - .jpg
  - .tif
  - .jpeg
  - .tiff
  - .pdf

また、チェックを付けると「スキャン&インデックス」画面に「監視」スイッチが表示され、フォルダー監視を一括でオンまたはオフできます。
オンにすると、フォルダー監視のジョブが取込スケジュールに従って自動的に実行されます。なお、オンの間は、フォルダー監視のジョブ以外のジョブはグレーアウトされ、手動で読み取れません。また、[ジョブ作成/編集] および [モード切替え] をクリックできません。また「バッチ管理」画面を表示できません。
オフ時に実行待ちのジョブが残っている場合は、実行の完了を待つか実行を取りやめるかを選択できます。

[詳細設定] ボタン

「監視フォルダー監視を有効にする」チェックボックスにチェックを付けた場合に表示されます。
クリックすると、19.4.3 「監視フォルダー詳細設定」画面 (259 ページ)が表示され、監視するフォルダーと監視タイミングを設定できます。

関連項目

19.4.3 「監視フォルダー詳細設定」画面 (259 ページ)

19.4.1 PaperStream IP Import の設定項目

インポートするファイル拡張子や格納先を指定したり、ファイルの拡張子を指定したり、ファイルをインポートしたあとの処理方法を設定したりします。
「読み取り設定」タブの「スキャナー」で「PaperStream IP Import」を選択し、「読み取り設定」の［詳細設定］ボタンをクリックして表示される「PaperStream IP（TWAIN）- Import」 画面の、左側のツリーペインから「インポート」を選択すると、右側の設定ペインに設定項目が表示されます。
ここでは、「インポート」の読み取り条件の各項目を選択したときに表示される設定項目について説明します。

重要

- 「PaperStream IP Import」は PaperStream Capture Pro Premium の場合に選択できます。PaperStream Capture Pro 5.0 以降では使用できません。
- Exchangeable Image File Format（EXIF）仕様の JPEG は取り込めません。

ソースフォルダ

フォルダ名

インポートするファイルが格納されているフォルダーを指定します。
フォルダー名には、使用禁止文字（* ? < > |）は指定できません。また、ファイル名またはフォルダー名に、システムロケールの設定言語に対して無効な文字コードが含まれている場合、正しくインポートできません。

［...］ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

ファイル拡張子

インポートするファイルの拡張子を指定します。
サポートする拡張子は、BMP、JPG、TIF、JPEG、TIFF、および PDF です。拡張子の大文字 / 小文字は区別しません。
複数の拡張子を指定する場合は、「;」（セミコロン）で区切ります。

サブフォルダの検索

オン

「フォルダ名」で指定したフォルダーのサブフォルダーを、検索の対象とします。

オフ

「フォルダ名」で指定したフォルダーのサブフォルダーを、検索の対象としません。

ヒント

- インポートするファイルは、以下の順番で処理されます。

  1 「フォルダ名」で指定したフォルダーに存在する、作成日時の古いファイルから順番に処理されます。

  2 「サブフォルダの検索」がオンの場合、作成日時の古いフォルダーから順番に処理されます。

例えば、サブフォルダーの中にさらにフォルダーがある場合、サブフォルダー配下の全フォルダーのファイルが処理されてから、次のサブフォルダー配下を処理する順番になります。

フォルダ監視

オン

「フォルダ名」で指定したフォルダーを監視し、新しいファイルがフォルダーに格納されると自動的にインポートします。
「監視の終了条件」で設定した条件のどれかを満たすとインポートを終了します。

監視の終了条件

最大待ち時間

「フォルダ名」で指定したフォルダーを監視する最大時間を、0 ～ 255 秒の範囲で指定します（デフォルトは 30）。
0 を指定した場合、監視時間の上限はなくなります。
フォルダーに最後のファイルが格納されたときから、指定した待ち時間で監視を開始します。

最大ファイル個数

自動的にインポートするファイルの最大数を、0 ～ 65535 の範囲で指定します（デフォルトは 0）。
0 を指定した場合、ファイル数の上限はなくなります。

終了マーカーファイル名

「フォルダ名」で指定したフォルダーの監視を終了するマーカーを指定します。
ここで指定した文字列が、インポートするファイル名の先頭と一致した場合、監視を終了します。
マーカーのファイル名には、使用禁止文字（¥ / : ? " < > |）は指定できません。

重要

- 読み取りを開始する前に、監視対象のフォルダーに格納されたファイルはインポート対象になりません。
- 読み取りを開始したあと、監視対象のフォルダーに最初のファイルが格納されるまで、「最大待ち時間」の指定にかかわらず、監視し続けます。

オフ

「フォルダ名」で指定したフォルダーを監視せずに、フォルダーに現在格納されているファイルだけをインポートします。

インポート後の処理

なし

処理を実行しません。

プレフィックス付加

インポートしたファイル名の先頭に、指定された文字列を追加します。

サフィックス付加

インポートしたファイル名の末尾に、指定された文字列を追加します。

プレフィックス/サフィックス文字列

インポートしたファイル名の先頭または末尾に追加する文字列を指定します。

ファイル移動

インポートしたファイルを指定のフォルダーに移動します。

ファイル移動先フォルダ

ファイルを移動するフォルダーを指定します。

[...] ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

エラー処理

GUI で選択

エラーが発生した場合、エラーの処理を選択するメッセージ画面を表示します。

バッチのキャンセル

エラーが発生した場合、ファイルのインポートを中止します。

例外フォルダへ移動

インポートでエラーが発生したファイルを、例外フォルダーに移動します。

ファイルをスキップ

エラーを無視し、ファイルのインポートを継続します。

例外フォルダ名

インポートでエラーが発生したファイルを格納する例外フォルダーを指定します。

[...] ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

ログ格納フォルダ名

エラーのログを格納するフォルダーを指定します。

[...] ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

19.4.2 「読み取りモードオプション」画面

「ScanSnap Manager for fi 互換」で原稿を読み取る場合のオプションを設定します。

白黒読み取りの濃度

白黒で読み取る場合の濃度を指定します。「画像タイプ」が「二値白黒」の場合に設定できます。
-5 ～ 5 の 11 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 0）。数値に比例して、濃度は濃くなります。
数値を大きくすると濃度は濃くなり、数値を小さくすると濃度は薄くなります。

「文字をくっきりさせる」チェックボックス

チェックを付けると、画像の明暗を強調します。
以下のような原稿を読み取りたい場合に有効です。

- 両面印刷された白黒原稿
- 活字や手書き文字の原稿

「白紙ページを自動的に削除する」チェックボックス

チェックを付けると、原稿に含まれる白紙ページを検出し、自動的に削除して出力します。
例えば、両面原稿と片面原稿が混在した状態で、両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（白紙ページ）だけを取り除いて出力できます。
読み取った原稿がすべて白紙と認識された場合は、メッセージが表示され、画像は出力されません。

重要

- 以下のような原稿は、白紙として識別される場合があります。読み取った原稿を破棄される場合は、誤って削除されたページがないか必ず確認してください。
  - 白紙原稿内に、2、3 文字以内の文字だけが書かれている場合
  - 白色ではないが、ページ全体が一様色（無地、黒色）の場合

「文字列の傾きを自動的に補正する」チェックボックス

チェックを付けると、原稿内の文字列が傾いている場合に、文字列の傾きを検出し、その傾きを補正して出力します。
最大± 5 度の傾きを補正できます。
行数の多い文章が記入されている原稿を考慮しているため、以下のような原稿を読み取ると、間違った角度に補正される場合があります。

- 文字間や行間が極端に狭いまたは文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿

- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

間違った角度に補正される場合は、チェックを外してください。

「原稿の向きを自動的に補正する」チェックボックス

チェックを付けると、横向きや、上下逆さまに読み取られた原稿を、正しい向きに補正して出力します。
原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。

- 文字サイズが 8 ～ 12 ポイント程度で文字が少ない原稿
- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が極端に狭いまたは文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿
- 文字の色が薄い原稿
- かすれた文字の原稿

正しい向きに補正されない場合は、チェックを外してください。

「原稿を上向きにしてセットする」チェックボックス

原稿を上向きにセットして読み取る場合にチェックを付けます。
上向きの面を 1 ページ目として読み取ります。

「重送検知」チェックボックス

チェックを付けると、選択した条件で原稿の重送を検出します。

条件設定

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、原稿の重送を検出する方法を選択します。

- 長さで検出
  スキャナー内のセンサーで搬送される原稿の長さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの原稿の長さの変化によって、原稿の重送を検出します。

- 重なりで検出(超音波)
  原稿の厚さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの厚さの変化によって、原稿の重送を検出します。

かんたん作成の場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」で「重送検知」を選択しているときは、「重なり」だけで原稿の重送を検出します。

A3 キャリアシート設定

A3 キャリアシートを使用して原稿を読み取る場合の設定をします。

実行モード

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、A3 キャリアシートを使用した場合の読み取り方法を選択します。

- 見開き画像を出力する
  A3 / B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を、2 つ折りにして両面を読み取るためのモードです。
  読み取った画像を見開き状態に並べて、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。
- 表裏の画像をそれぞれ出力する
  写真のような傷つきやすい原稿や、資料の切り抜きのような非定型サイズの原稿など、直接スキャナーの ADF にセットして読み取ることが難しい原稿を ADF で読み取るためのモードです。
  読み取った画像を、指定したサイズで出力します。

実行モードによって、原稿のセット方法が異なります。詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

出力画像サイズ

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、読み取った画像を出力するときの画像サイズを選択します。
以下の原稿サイズ（幅×長さ）を選択できます。

- 「見開き画像を出力する」の場合
  - サイズ自動選択
  - A3 (297 × 420 mm)
  - B4 (257 × 364 mm)
  - ダブルレター (11 × 17 インチ, 279.4 × 431.8 mm)
- 「表裏の画像をそれぞれ出力する」の場合
  - サイズ自動選択
  - A3 キャリアシートサイズ (220 × 297 mm)
  - A4 (210 × 297 mm)
  - A5 (148 × 210 mm)
  - A6 (105 × 148 mm)
  - はがき (100 × 148 mm)

- B5 (182 × 257 mm)
- B6 (128 × 182 mm)
- レター (8.5 × 11 インチ, 216 × 279.4 mm)
- 名刺縦 (55 × 91 mm)
- 名刺横 (91 × 55 mm)

重要

- 「サイズ自動選択」と「A3 キャリアシートサイズ (220 × 297 mm)」以外を選択して原稿を読み取った場合、選択したサイズで原稿の表裏にある画像を切り出します。
  画像は、出力画像サイズの中心に配置されるため、選択した出力画像サイズから画像がはみ出した場合は、はみ出した部分が削除された状態で出力されます。
  また、出力する対象の画像が以下の場合、画像を中心に上下左右に空白帯を設け、選択した出力画像サイズの中央に配置して出力します。
  - 位置が原稿の中央にない
  - 定型サイズではない

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.4.3 「監視フォルダー詳細設定」画面

監視フォルダー

監視するローカルフォルダーまたはネットワークフォルダーを指定します。
監視フォルダーは、インポート時にアクセスできるフォルダーを指定してください。フォルダーアクセス時にパスワードの入力が必要な場合、エラーになります。

「サブフォルダも監視対象とする」チェックボックス

「読み取り設定」タブの「スキャナー」が「PaperStream IP Import」または「File Import」の場合に表示されます。
チェックを付けると、「PaperStream IP Import」または「File Import」での取り込み時に監視フォルダーのサブフォルダーにあるファイルも監視対象になります。

取込スケジュール

- 一定間隔で取込
  選択すると、取り込み間隔を選択できます。
- 決まった時刻に取込
  選択すると、取り込み曜日と時刻を指定できます。

インポート後の処理

インポートしたあとの元ファイルの扱いを選択します。

- 移動
  移動先のフォルダーを指定できます。取り込んだ元ファイルは、ファイル名の先頭に日時（YYYYMMddHHmmssfff）を付けて移動先のフォルダーに移動されます。サブフォルダーの構成は維持されます。
  エラーが発生したファイルは、退避フォルダーに保存され、7 日後に削除されます。「お知らせ」に通知されますので確認してください。
  監視フォルダーと同じフォルダー、または親子関係にあるフォルダーは移動先に指定できません。
- 削除
  出力が完了したあとに取り込んだ元ファイルを削除します。

19.5 「出力先設定」タブ

出力ファイルの形式およびファイルの出力先を設定します。

帳票種別設定

本項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、こだわり作成時に「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択し、帳票リストで帳票を選択している場合に表示されます。


（「PaperStream AI」ジョブ）およびドライバープロファイル「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合は表示されません。

- 既定の出力設定
  すべての帳票種で同じ出力設定を使用します。
  「既定の出力設定」と帳票種ごとの設定で共有する出力設定は、「既定の出力設定」でだけ設定できます。ジョブの新規作成時、帳票種ごとの個別設定を行う場合でも、まずは「既定の出力設定」で設定を行ってください。
- 帳票種
  帳票種の種類ごとに個別の出力先を設定します。設定する帳票種名を選択してください。
  「帳票ごとに出力先を指定する」チェックボックスにチェックが付いている場合、個別に出力先が設定されている帳票種名に緑のアイコンが表示されます。緑のアイコンが表示されていない帳票種を読み取った場合は、既定の出力設定が適用されます。

「帳票ごとに出力先を指定する」チェックボックス

チェックを付けると帳票種の種類ごとに出力先、フォルダー名、ファイル名、インデックス出力情報などを設定できます。グレーアウトの項目は「既定の出力設定」と共通の設定で、帳票ごとに変更できません。

［既定の出力設定に戻す］ボタン

「帳票ごとに出力先を指定する」チェックボックスにチェックを付けた場合に表示されます。

クリックすると、「既定の出力設定」の設定に戻せます。

出力先

読み取った画像の出力先または連携先を選択します。
出力先または連携先として選択できるのは、以下のとおりです。

- フォルダー
- ネットワークフォルダー
- SharePoint（*1）
- SharePoint Online
- FTP
- 他アプリケーション
- メール（*2）
- プリンター

***1：**SharePoint と同期する場合、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「ページ」にあるフィールドリストが置き換わります。
「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合、「ページ」に切り替わり、設定したフィールドはすべて削除されます。

***2：**選択する場合は、以下の留意事項があります。

- MAPI（Microsoft Messaging Application Programming Interface）に対応した電子メールアプリケーションがコンピューターにインストールされている必要があります。
- 連携で起動するのは、「コントロール パネル」→「プログラム」→「既定のプログラム」の「既定のプログラムの設定」で、「MAPI」に関連付けされている電子メールアプリケーションです。
- 連携で起動した電子メールアプリケーションの画面が、PaperStream Capture の画面のうしろに表示される場合があります。
- 電子メールアプリケーションが正しく連携されない場合は、お使いの電子メールアプリケーションの発売元にお問い合わせください。

［出力先を追加したい場合］ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、以下のソフトウェアのダウンロードサイトが表示されます。

- PaperStream Connector Option
  出力先に Box を追加できます。
- PaperStream Capture Pro Box Connector
  以下の出力先を追加できます。
  - Microsoft OneDrive
  - Google ドライブ
  - Dropbox

- メール送信（基本認証）、メール送信（Exchange Online）
- FAX（基本認証）、FAX（Exchange Online）

- PaperStream Capture Pro DocuWare Connector
  出力先に DocuWare を追加できます。
- PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche
  出力先に Laserfiche を追加できます。

［オプション設定］ボタン

「フォルダー」以外を選択した場合、クリックすると、各設定画面が表示されます。

- 19.5.1 「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面 (271 ページ)
- 19.5.2 「SharePoint オプション」画面 (271 ページ)
- 19.5.3 「SharePoint Online オプション」画面 (272 ページ)
- 19.5.4 「FTP オプション」画面 (273 ページ)
- 19.5.5 「アプリケーションの起動オプション」画面 (276 ページ)
- 19.5.6 「メールオプション」画面 (277 ページ)
- 19.5.7 「プリンターオプション」画面 (278 ページ)

重要

- PaperStream Capture から出力するファイルを、バックグラウンドで動作する別の業務システムで利用したい場合、業務システムが PaperStream Capture の出力先フォルダー（ネットワークフォルダーを含む）を監視し、出力されるファイルに処理を実行する方法だと、出力途中のファイルに業務システムがアクセスするため、処理に問題が発生します。 正しく処理を実行するために、以下の手順で操作してください。

  1. 本タブでインデックス情報ファイルを出力する設定をします。
  2. PaperStream Capture で原稿を読み取り、ファイルを出力します。
     指定した出力先に、ファイルとインデックス情報ファイルが出力されます。
  3. インデックス情報ファイルを業務システムで解析し、必要な情報を取得します。
  4. 手順 3 で取得した情報に基づいて、出力したファイルを業務システムで処理します。

ファイルプロパティ

「同名ファイルを上書きする」チェックボックス

チェックを付けると、同名のファイルが出力先または連携先に存在する場合、常に上書きで出力します。

「バッチフォルダーを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、ジョブをクリックして読み取るたびに、バッチフォルダー名を指定する画面を表示します。

この画面で、バッチフォルダーの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックすると、出力先または連携先に指定しているフォルダーの配下に、バッチフォルダーを作成し、ファイルを出力します。
入力したバッチフォルダー名は記憶され、次回の読み取りでは、記憶したバッチフォルダー名を反映した状態で、バッチフォルダー名を指定する画面を表示します。
記憶したバッチフォルダー名の末尾が数値の場合、自動的に 1 を加算して表示します。例えば、バッチフォルダー名が「Doc_01」の場合、次回は「Doc_02」で表示します。
ただし、マルチステーション運用の場合、入力されたバッチフォルダー名は記憶されないため、毎回、バッチフォルダー名を指定する画面でバッチフォルダー名を入力してください。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「出力時にファイル形式を指定する」チェックボックス

PaperStream AI の場合に表示されます。
チェックを付けると、ファイルを出力するときに、画像ファイルの出力形式を指定する第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)を表示します。

「出力時にファイル名を指定する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイルを出力するときに、出力先とファイル名を指定する第 30 章 「ファイル名の指定」画面 (454 ページ)を表示します。

ヒント

- 以下の場合、本項目を設定できません。
  - PaperStream IP ドライバーで、「表面・裏面を同時に設定する」を選択かつ「画像タイプ」の「カラー / モノクロ自動判別」、「コードシート切替え」、または「用紙長判別」を選択している場合
  - PaperStream IP ドライバーで、「画像タイプ」の「マルチイメージ」を選択している場合
  - 「出力先」で「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」以外を選択している場合
- 本項目を設定する場合、「読み取り設定」タブの「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択しないでください。

インプリンタとの連携

インプリンタと連携するかどうかを指定します。

ヒント

- 以下の場合、本項目は表示されません。
  - 「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合

- 「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合

● 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)で以下を設定した場合、インプリンタと連携できます。

- 「ストレージサーバー」で「シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）」を選択
- 「プロセスの設定」で［スキャン&インデックス］ボタンを選択

選択できる項目は、以下のとおりです。

● インプリンタと連携しない

● ページカウンターをインプリンタで印字する

● シートカウンターをインプリンタで印字する

「バッチフォルダーを使用する」チェックボックスにチェックを付けた場合、選択できる項目に、以下が追加されます。

● バッチフォルダーをインプリンタで印字する

● バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する

● バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する

最小桁数

「バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する」または「バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する」を選択すると表示されます。
インプリンタで印字するカウンターの桁数を 3 ～ 8 の範囲で指定します（デフォルトは 4）。

「追加/差替えスキャン時にカウンターを印字する」チェックボックス

本項目は、以下の項目が選択されている場合、有効になります。

● ページカウンターをインプリンタで印字する

● シートカウンターをインプリンタで印字する

● バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する

● バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する

チェックを付けると、追加や差し替えで原稿を読み取る場合も、インプリンタで印字します。
原稿を読み取るとインプリンタに印字するカウンターの初期値を指定する画面が表示されます。

重要

● 本機能は、PaperStream IP ドライバーのデジタルエンドーサのカウンター初期値と連携しません。

ページカウンターの場合

● 以下の場合、ページカウンターとインプリンタのカウンターは同期されません。

- 白紙の削除などの機能により、スキャナーが読み取ったページ数と読み込みページ数が一致しない場合
- マルチイメージ出力で「第 1」のカウンター値設定と、「第 1」以外（「第 2」または「第 3」）のカウンター値設定が異なる場合
- 両面読み取りで、インプリンタの印字面が裏面の場合
- 仕分け用原稿を使用またはページ数を指定して、原稿を分割した場合
- 読み取りしたあと、出力する前に、ページカウンターやページの出力順を変更した場合

- PaperStream IP ドライバー側で指定した印字文字列にカウンターが含まれない状態で、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した場合、印字文字列のうしろにカウンターが付加されます。インプリンタカウンターの桁数は、19.5.12 「カウンターオプション」画面 (302 ページ)のページカウンターの初期値が 1 ～ 5 桁の場合は 5 桁、6 桁以上の場合は 8 桁になります。
  PaperStream Capture の場合、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した状態で、PaperStream IP（ISIS）ドライバーのインプリンタの設定を無効にすると、スキャナーによっては文字列が印字されずにカウンター値だけが印字される場合があります。
- ページカウンターは出力後に更新されます。そのため、以下の条件の場合、ページカウンターの番号とインプリンタ印字番号が異なる場合があります。十分注意して運用してください。
  - ジョブの設定
    - 「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択、かつファイル名に「ページカウンター」を指定する
    - 「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「初期値を自動更新する」を選択する
    - 「読み取り設定」タブで「スキャン後すぐに出力」以外を選択する
  - 読み取り
    - 上記ジョブで読み取ったバッチを一時保存または中断する
    - 同じジョブで別の読み取りを開始する
    - あとで読み取ったバッチを、一時保存または中断したバッチより先に出力する
- 以下の場合、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定しても、インプリンタで印字されません。
  - 19.5.10 ファイル名オプション (292 ページ)で「ページカウンター」を設定していない
  - 追加や差し替えで読み取った原稿
  - 19.8 「テスト」タブ (391 ページ)で読み取った原稿

  ただし、PaperStream IP ドライバーの設定でインプリンタを有効にしている場合、インプリンタで印字されます。

シートカウンターの場合

- 以下の場合、シートカウンターとインプリンタのカウンターは同期されません。
  - マルチイメージ出力で「第 1」のカウンター値設定と、「第 1」以外（「第 2」または「第 3」）のカウンター値設定が異なる場合
  - 仕分け用原稿を使用またはページ数を指定して、原稿を分割した場合
  - 読み取りしたあと、出力する前に、シートカウンターやシートの出力順を変更した場合
- 以下の場合、「シートカウンターをインプリンタで印字する」を指定しても、インプリンタで印字されません。
  - 19.5.10 ファイル名オプション (292 ページ)で「シートカウンター」を設定していない
  - 追加や差し替えで読み取った原稿
  - 「テスト」タブで読み取った原稿

  ただし、PaperStream IP ドライバーの設定でインプリンタを有効にしている場合、インプリンタで印字されます。
- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。

「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックス

本項目は、「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、表示されません。
PaperStream IP ドライバーで、表面・裏面を同時に設定するを選択し、画像タイプがカラー / モノクロ自動判別、コードシート切り替え、または用紙長判別の場合に表示されます。
チェックを付けると、画像タイプごとに「圧縮」、「フォルダー」、「ファイル」を指定できます。

マルチイメージ

PaperStream IP ドライバーで、画像タイプを「マルチイメージ」に設定している場合、画像を「第 1」、「第 2」、「第 3」とし、指定している画像タイプのアイコンを横に表示します。
各画像に、異なるファイル形式、フォルダー、およびファイル名が指定できます。
マルチイメージを設定していない場合は、「第 1」とその画像タイプのアイコンだけが表示されます。

ファイル形式

読み取った画像のファイル形式を選択します。詳細は、42.1 ファイル形式 (644 ページ)を参照してください。

圧縮

読み取った画像の圧縮形式を選択します。読み取り設定がカラーモノクロ自動検出の場合は、既定の圧縮形式に従います。

➡ 42.4 既定の圧縮形式 (660 ページ)

［オプション設定］ボタン

クリックすると、19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)が表示されます。
ファイル形式で以下を選択した場合、設定が有効になります。

- TIFF 形式（圧縮形式が JPEG の場合）
- TIFF 形式（マルチページ）
- JPEG2000 形式（PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合）
- JPEG 形式（圧縮形式が JPEG2000 または JPEG の場合）
- PDF 形式
- PDF 形式（マルチページ）
- リッチテキスト形式

ただし、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、PDF オプション画面が表示されます。

フォルダー

読み取った画像の出力先フォルダーを指定します。
「出力先」で指定した出力先が「フォルダー」、「ネットワークフォルダー」、「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合、有効になります。
「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合、デフォルトで C:¥Users¥Public¥Documents が入力域に設定されます。
以下の文字列は、フォルダー名に使用できません。

- 使用禁止文字
  - 「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合
    / : ? * " < > |
  - 「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合
    : ? * " < > ¥ |
- Windows 予約語だけ

以下の文字を設定すると、フォルダーを区切ります。

- 「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合
  ¥
- 「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合
  /

［参照］ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

[フォルダー名オプション] ボタン

> **ヒント**
> ● 本ボタンは、「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、表示されません。

クリックすると、フォルダー名に指定できる項目が表示されます。詳細は、19.5.9 フォルダー名オプション (288 ページ)を参照してください。
選択すると、フォルダー名の入力域に、該当の項目がタグ形式で表示されます。

- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」の場合は、黄色のタグが表示されます。
- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」以外の場合は、青色のタグが表示されます。

ファイル

本項目は、「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、表示されません。
読み取った画像のファイル名を指定します。
以下の文字列は、ファイル名に使用できません。

- 使用禁止文字
  - 出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合
    ¥ / : ? * " < > | ,
  - 上記以外の場合
    / : ? * " < > | ,
- Windows 予約語だけ

出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合、¥ を設定すると、フォルダーを区切ります。
なお、ファイル名に < および > を設定すると、出力時に < および > は削除されます。< および > は、ファイル名オプションの予約語で使用しているため、エラーメッセージは表示されません。
例えば、ファイル形式に PDF File（*.pdf）を選択し、ファイル名に <Document> と設定した場合、Document.pdf と出力されます。

[ファイル名オプション] ボタン

クリックすると、ファイル名に指定できる項目が表示されます。詳細は、19.5.10 ファイル名オプション (292 ページ)を参照してください。
選択すると、ファイル名の入力域に、該当の項目がタグ形式で表示されます。

- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」の場合は、黄色のタグが表示されます。
- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」以外の場合は、青色のタグが表示されます。

［カウンターオプション］ボタン

クリックすると、ドキュメントカウンターおよびページカウンターの値を設定する 19.5.12 「カウンターオプション」画面 (302 ページ)が表示されます。
ファイル名オプションで「ドキュメントカウンター」または「ページカウンター」を選択した場合、設定してください。

サンプル

本画面で設定したフォルダーとファイル名のパスをサンプルで表示します。

「インデックス情報を出力する」チェックボックス

> **ヒント**
> - 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

チェックを付けると、インデックス情報ファイルを出力します。

「出力時にファイル形式を指定する」チェックボックス

PaperStream AI の場合に表示されます。
チェックを付けると、ファイルを出力するときに、インデックス情報ファイルの出力形式を指定する第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)を表示します。

「出力時にファイル名を指定する」チェックボックス

PaperStream AI の場合に表示されます。
チェックを付けると、ファイルを出力するときに、インデックス情報ファイルのファイル名を指定する第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)を表示します。

インデックスファイル

インデックス情報ファイルのファイル名を指定します。
ただし、使用禁止文字（¥ / : * ? " < > |）は指定できません。

［ファイル名オプション］ボタン

クリックすると、ファイル名に指定できる項目が表示されます。詳細は、19.5.11 ファイル名オプション（インデックスファイル） (298 ページ)を参照してください。
選択すると、ファイル名の入力域に、該当の項目がタグ形式で表示されます。

- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」の場合は、黄色のタグが表示されます。
- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」以外の場合は、青色のタグが表示されます。

［データの選択］ボタン

クリックすると、インデックス情報ファイルに出力する項目を設定する 19.5.13 「インデックス一覧オプション」画面 (306 ページ)が表示されます。

ドキュメント毎に 1 ファイル

選択すると、ドキュメントごとにインデックス情報ファイルを出力します。

バッチ毎に 1 ファイル

選択すると、バッチごとにインデックス情報ファイルを出力します。

ドキュメント内の抽出データを 1 行で出力する

選択すると、ドキュメント内の全ページの抽出データをインデックス情報ファイルに 1 行で出力します。

「既にファイルが存在した場合、上書きする」チェックボックス

チェックを付けると、同名のインデックス情報ファイルが存在した場合、ファイルを上書きします。
「ドキュメント内の抽出データを 1 行で出力する」を選択している場合、本項目のチェックは外せません。

ファイル形式

PaperStream AI の場合、本項目は「出力時にファイル形式を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、表示されません。
インデックス情報を格納するファイル形式を、以下から選択します。

- TXT
- XML
- CSV
  CSV を選択すると以下の項目が表示されます。

  ドロップダウンリスト

  出力する項目の区切り文字を選択できます。「その他」を選択すると、区切り文字を指定する入力域が表示されるので、指定したい区切り文字を入力してください。

  「UTF-8 で出力する」チェックボックス

  チェックを付けると、UTF-8（8-bit UCS Transformation Format）で出力します。
  チェックが外れている場合は、システムロケールの設定言語のデフォルト文字コードで出力します。

「既にファイルが存在した場合、上書きする」チェックボックス

チェックを付けると、出力先のフォルダーに同名のファイルが存在する場合、常に上書きで出力します。

重要

- SharePoint に保存する場合、チルダ（~）やシャープ（#）など SharePoint 側でファイル名に使用できない文字が含まれていると、出力に失敗します。

SharePoint 側で使用できない文字種は、お使いの SharePoint のバージョンにより異なります。詳細は Microsoft のサポートサイトでご確認ください。

- ファイル名にアラビア語を使用しないでください。

19.5.1 「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面

読み取った画像の出力先に指定するネットワークフォルダーの設定をします。

「Windows 認証を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、Windows 認証情報を使用します。
この場合、「ユーザー名」と「パスワード」の入力域が非活性になります。

ユーザー名

ネットワークフォルダーのサーバーにログインするときのユーザー名を指定します。

パスワード

ネットワークフォルダーのサーバーにログインするときのパスワードを指定します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.2 「SharePoint オプション」画面

読み取った画像の出力先に SharePoint を設定します。

サイト URL

SharePoint のサイト URL を指定します。

「Windows 認証を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、Windows 認証情報を使用します。
この場合、「ユーザー名」と「パスワード」の入力域が非活性になります。

ユーザー名

SharePoint にサインインするときのユーザー名を指定します。

パスワード

SharePoint にサインインするときのパスワードを指定します。

［接続］ボタン

指定したサイト URL に接続し、指定したユーザー名およびパスワードでサインインします。
接続に成功すると、「ライブラリー」のドロップダウンリストに SharePoint のライブラリーが表示されます。

ライブラリー

ドロップダウンリストから、SharePoint のライブラリーを選択します。

コンテンツタイプ

ドロップダウンリストから、SharePoint のコンテンツタイプを選択します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.3 「SharePoint Online オプション」画面

読み取った画像の出力先に SharePoint Online を設定します。

サイト URL

SharePoint Online のサイト URL を指定します。

「ブラウザーで多要素認証を行う」チェックボックス

チェックを付けると、ブラウザーを表示して多要素認証を行います。
［接続］ボタンをクリックしたときに表示されるブラウザーでサインインに必要な情報を入力します。

ユーザー名

SharePoint Online にサインインするときのユーザー名を指定します。
「ブラウザーで多要素認証を行う」チェックボックスにチェックを付けてサインインした場合、サインインしたアカウントが表示されます。

パスワード

SharePoint Online にサインインするときのパスワードを指定します。
多要素認証が指定されたアカウントで、アプリ パスワードを使って接続する場合、「ユーザー名」にアカウント、「パスワード」にアプリ パスワードを入力してください。

［接続］ボタン

指定したサイト URL に接続し、指定したユーザー名およびパスワードでサインインします。
「ブラウザーで多要素認証を行う」チェックボックスにチェックを付けている場合、多要素認証のためのサインイン画面がブラウザーで表示されます。
接続に成功すると、「ライブラリー」のドロップダウンリストにサイトのライブラリーが表示されます。

ライブラリー

ドロップダウンリストから、サイトのライブラリーを選択します。

コンテンツタイプ

ドロップダウンリストから、ライブラリーのコンテンツタイプを選択します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

ヒント

- ブラウザーで多要素認証を行う場合、バッチ処理をするときに、ブラウザーを表示してサインインします。
  サインインしたときのセッション情報は、ジョブに保存します。
  SharePoint Online のセッションの有効期間中は、ブラウザーが表示されずに再認証されます。
- ユーザー名およびパスワードで認証を行う場合、バッチ処理をするたびに、指定された情報でサインインします。

19.5.4 「FTP オプション」画面

読み取った画像の出力先に指定する FTP サーバーの、ユーザー認証や接続方法などの項目を設定します。

FTP オプション

転送プロトコル

ファイルを転送するプロトコルを選択します。
選択できる転送プロトコルは、以下のとおりです。

- FTP
- SFTP

暗号化

FTP を暗号化してファイルを転送する方法を選択します。
選択できる方法は、以下のとおりです。

- なし
- 暗黙の SSL/TSL 暗号化
- 明示的な SSL/TSL 暗号化

「転送プロトコル」で「SFTP」を選択した場合、この項目は非表示になります。

ホスト

ファイルを転送する FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

ポート

FTP サーバーのポート番号を指定します。
通常は標準の値を指定してください。サーバー管理者から指定がある場合は変更してください。

「匿名ユーザー」チェックボックス

チェックを付けると、「ユーザー名」と「パスワード」が非表示になります。
アノニマス FTP サーバー（匿名で接続できるサーバー）にログインする場合に選択します。
「転送プロトコル」で「SFTP」を選択した場合、この項目は非表示になります。

ユーザー名

FTP サーバーにログインするためのユーザー名を入力します。
「匿名ユーザー」チェックボックスにチェックが付いている場合、この項目は非表示になります。

パスワード

FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で「転送プロトコル」に「SFTP」を選択して、「プライベートキーファイル」を設定する場合は、パスワードを入力せず、空欄にしてください。
「匿名ユーザー」チェックボックスにチェックが付いている場合、この項目は非表示になります。

メールアドレス

アノニマス FTP サーバーにログインするための e-mail アドレスを入力します。
「匿名ユーザー」チェックボックスにチェックが付いている場合に表示されます。

プライベートキーファイル

公開鍵認証で SFTP サーバーにログインするためのプライベートキーファイルを入力します。
[参照] ボタンをクリックすると表示される画面で、プライベートキーファイルを選択します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に、「転送プロトコル」で「SFTP」を選択しているときに表示されます。
以下のフォーマットのプライベートキーファイルを使用できます。

- PuTTY 形式（*.ppk）
- OpenSSH 形式（*.pem、*.key、id_*）

ただし、「パスワード」が入力されている場合、本設定は無視されます。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、プライベートキーファイルを選択します。

パスフレーズ

プライベートキーが暗号化されている場合、パスフレーズを入力します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に、「転送プロトコル」で「SFTP」を選択しているときに表示されます。
ただし、「パスワード」が入力されている場合、本設定は無視されます。

「タイムアウトを設定する」チェックボックス

チェックを付けると、一定時間 FTP サーバーからの応答がなければ、処理を中断します。

指定した時間だけ待ち合わせを行い、その間に FTP サーバーから応答がなければ、処理を中断します。
タイムアウト時間は、1 ～ 300 秒の範囲で指定してください。
デフォルトは 60 秒です。

接続時

接続時のタイムアウト時間を指定します。

データ送信時

データ送信時のタイムアウト時間を指定します。

Zip オプション

ファイルを Zip 形式で転送する場合の項目を設定します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に、「転送プロトコル」で「SFTP」を選択しているときに表示されます。

「転送前にファイルを Zip に圧縮する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイルを Zip 形式に圧縮してから FTP サーバーに転送できます。

Zip ファイル名

Zip ファイルのファイル名を入力します。
デフォルトはバッチ名です。
Zip ファイル名には、フォルダー名オプションと同じ予約語を入力できます。
以下に、入力できる予約語と設定例を示します。詳細は、19.5.9 フォルダー名オプション (288 ページ)を参照してください。

フォルダー名オプション	予約語
ジョブ名	<Job Name>
バッチ名	<Batch Name>
ユーザー名	<User Name>
ユーザープロファイル	<User Profile>
コンピューター名	<Station Name>
環境変数	設定する項目によって異なります。 例：<User variables – SCANLIBRARY_PATH>
出力日	設定する項目によって異なります。 例：<Release Date – yyyyMMdd>
出力時刻	設定する項目によって異なります。 例：<Release Time (HHmmss-24hours)>
ドキュメント仕分け値	<Document Separator Value>
バッチ仕分け値	<Batch Separator Value>

「Zip ファイルをパスワードで保護する」チェックボックス

チェックを付けると、Zip ファイルにパスワードを設定できます。

パスワード

Zip ファイルのパスワードを入力します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

ヒント

- FTP のプロキシ設定は、Windows のネットワーク設定の内容に従って動作します。

19.5.5 「アプリケーションの起動オプション」画面

読み取り後に連携して起動するアプリケーションを設定します。

アプリケーションパス

起動するアプリケーションの格納先が表示されます。

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、起動するアプリケーションを指定します。

パラメーター

アプリケーションを起動する場合に、アプリケーションに渡すコマンド引数を指定します。
指定できるパラメーターは、アプリケーションによって異なります。
詳細は、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

- %f
  ファイル名を渡します。
  ファイルが複数の場合、すべてのファイル名がコマンド引数に渡されます。
- %i
  インデックス情報ファイル名を渡します。
  詳細は、42.2 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture） (647 ページ)または42.3 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture Pro、PaperStream Capture Pro Premium） (653 ページ)を参照してください。

以下に起動アプリケーションに渡すコマンド引数の例を示します。

- パラメーターに「%f」を指定または省略した場合
  Application.exe ファイル名 1 ファイル名 2 …
  起動アプリケーションのパラメーターにファイル名が追加されます。
- パラメーターに「%i」を指定した場合
  Application.exe インデックス情報ファイル名

インデックス情報ファイル名は、19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「インデックスファイル」で指定します。

- パラメーターに「/s %i %f」を指定した場合
  Application.exe /s インデックス情報ファイル名 ファイル名 1 ファイル名 2 …
  複数のパラメーターを指定できます。パラメーターには「%i」「%f」以外にアプリケーションに渡す任意の文字列が指定できます。

作業フォルダー

アプリケーションと連携するファイルの出力先を表示します。

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、連携するファイルの出力先を指定します。

「固定ファイル名を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、0001 ～ 9999 までの連番でファイル名を生成します。
チェックを外すと、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で設定したファイル名に従って、ファイル名が生成されます。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.6 「メールオプション」画面

読み取った画像の出力先を連携するメールアプリケーションにして、添付ファイルとして送信する設定をします。

「送信ファイルを残す」チェックボックス

チェックを付けると、添付した画像ファイルを19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」で指定したフォルダーに残します。

メール送信の単位

一通のメールに全てのファイルを添付する

メールアプリケーションのメッセージ画面を 1 つ起動し、読み取った画像をすべて添付して送信します。
ただし、添付できるファイル数は、最大 10 ファイルです。

一通のメールにファイルを１つ添付し、ファイル数分のメールを送る

メールアプリケーションのメッセージ画面をファイル数と同じ数だけ起動し、1 つのメッセージ画面に対し 1 つの画像ファイルを添付して送信します。

「ファイルサイズの合計が以下を超えるときに警告メッセージを表示する」チェックボックス

チェックを付けると、添付ファイルのファイルサイズを 1～9999 MB の範囲で指定できます。添付ファイルのファイルサイズの合計が、指定したファイルサイズを超える場合、警告メッセージを表示します。

> **ヒント**
>
> - 一通のメールに添付できるファイルサイズは、お使いのメールアプリケーションやメールサーバーによって異なります。
> マルチページ形式で出力したファイルを添付する場合は、19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「ファイルオプション」で、ファイルを分割する設定をし、「メール送信の単位」で「一通のメールにファイルを 1 つ添付し、ファイル数分のメールを送る」を選択することを推奨します。

宛先

メールアプリケーションのメッセージ画面の宛先に設定するメールアドレスを入力します。
複数の宛先を指定する場合は、メールアドレスを「,（カンマ）」で区切ってください。
入力できる文字数は、最大 1000 文字です。

件名

メールアプリケーションのメッセージ画面の件名に設定する文字列を入力します。
入力できる文字数は、最大 200 文字です。
「一通のメールにファイルを 1 つ添付し、ファイル数分のメールを送る」を選択している場合、件名の最初に（n/m）が自動的に付与されます。n には、現在のファイル番号、m には全ファイル数が表示されます。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.7 「プリンターオプション」画面

読み取った画像の出力先をプリンターにして印刷する設定をします。

プリンター

プリンター名

ドロップダウンリストから使用するプリンターを選択します。

プロパティ

クリックすると、プリンターのプロパティ画面を表示します。

状態

プリンターの状態を表示します。

種類

プリンターの種類を表示します。

場所

プリンターの場所を表示します。

コメント

プリンターのコメントを表示します。

印刷範囲

すべて

すべてのページを印刷します。

ページ指定

指定できません。

選択した部分

指定できません。

印刷部数

部数

印刷する部数を指定します。

「部単位で印刷」チェックボックス

2 部以上印刷する場合、有効になります。
チェックを付けると、部単位で印刷します。

ヘッダー

「ページ番号」チェックボックス

チェックを付けると、ヘッダー部分にページ番号を印刷します。

「日付」チェックボックス

チェックを付けると、ヘッダー部分に日付を印刷します。

印刷形式

ページに合わせて印刷する

プリンターのプロパティ画面で指定した用紙サイズに合わせて、画像を拡大または縮小して印刷します。

実際のサイズに合わせて印刷する

画像と同じサイズで印刷します。
プリンターのプロパティ画面で指定した用紙サイズが、実際の画像サイズより小さい場合、用紙サイズからはみ出た部分は印刷されません。

「用紙中央に印刷する」チェックボックス

チェックを付けると、画像を用紙の中央に印刷します。

向き

自動

画像の向きに合わせて自動で印刷します。

縦

画像を縦向きで印刷します。

横

画像を横向きで印刷します。

拡張設定

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

チェックを付けると、印刷した画像ファイルを 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」で指定したフォルダーに残します。

「印刷画面を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、出力するときに、印刷のプレビュー画面を表示します。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.8 「オプション設定」画面

読み取った画像を以下の形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

- TIFF 形式（圧縮形式が JPEG の場合）
- TIFF 形式（マルチページ）
- JPEG2000 形式（PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合）
- JPEG 形式（圧縮形式が JPEG2000 または JPEG の場合）
- PDF 形式
- PDF 形式（マルチページ）
- リッチテキスト形式

ただし、19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、PDF オプション画面が表示され、PDF 形式（マルチページを含む）のオプションだけが設定できます。

PDF オプション

圧縮

PDF 形式で出力する場合の圧縮率を指定します。
1 ～ 7 の 7 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 3）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。
数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。
数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。
本設定は、カラー画像に対してだけ適用されます。白黒画像として出力する場合は、本設定は無視されて白黒用の圧縮が適用されます。

重要

- 表示されているページの画質と出力されるファイルの画質は異なります。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「カラー高圧縮を行う」チェックボックス

チェックを付けると、カラー画像を高圧縮で出力します。
画像の文字部分と画像部分を分離して画像部分を高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままファイルサイズを小さくできます。
一方、高圧縮されて画質が劣化するため、写真や図などの原稿の読み取りには適していません。

重要

- システムが高負荷となり、非常に時間がかかる場合があります。
- 読み取った画像サイズが A3 より大きい場合、正しく動作しないことがあります。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「グレー高圧縮を行う」チェックボックス

チェックを付けると、グレースケール画像で読み取りのときだけ高圧縮で出力します。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「検索可能な PDF を作成する」チェックボックス

チェックを付けると、テキスト認識を行って、検索可能な PDF ファイルとして出力します。

ヒント

- PaperStream Capture の場合、第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)で「ファイルの追加」を行ったとき、以下の条件を満たしていると、ファイルから追加したページが検索可能となります。
  - 「カラー高圧縮を行う」チェックボックスおよび「グレー高圧縮を行う」チェックボックスにチェックを付けていない
  - 追加したファイルが画像読み取り用アプリケーション（PaperStream ClickScan、PaperStream Capture、ScanSnap Manager for fi Series、または ScandAll PRO）を使用して出力した検索可能な PDF ファイルである

言語

テキスト認識する言語を指定します。
PaperStream AI ライセンスが有効な、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium 使用時、日本語（手書き）および英語（手書き）も選択できます。
日本語（手書き）または英語（手書き）を選択した場合、PaperStream AI での読み取りとしてカウントされます。

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。
- 「こだわり作成」画面の「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、認識する文字の言語として、以下は指定できません。
  - ギリシャ語
  - ベトナム語
  - スウェーデン語
  - オランダ語
  - ポーランド語
  - チェコ語
  - ルーマニア語
  - ヘブライ語
  - ウクライナ語
  - タイ語
  - インドネシア語
  - デンマーク語

- ノルウェー語
- ハンガリー語
- フィンランド語

「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックス

チェックを付けると、複数ページの画像を検索可能な PDF ファイルとして出力する場合に、先頭ページだけテキスト認識を行います。
全ページに対して処理するのに比べて、処理時間を短縮できます。

重要

- テキスト認識には、非常に時間がかかる場合があります。
- テキスト認識する場合は、以下の設定を推奨します。

画像タイプ	解像度	用紙サイズ
二値白黒	400 / 600 dpi	A3 以下
グレースケール	200 / 300 dpi	
カラー		

上記以外の設定の場合、正しくテキスト認識できない場合があります。

- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。
  - PaperStream Capture の場合

    各言語共通

    - 手書き文字
    - 低解像度での小さな文字
    - 傾いた原稿
    - 設定言語以外の言語の原稿

    日本語、中国語（簡体字） / 中国語（繁体字）

    - イタリック体（斜体）
    - 上下添え字、複雑な数式
    - 文字の背景が不均一色の原稿
      - 文字の背景に模様がある原稿
      - 影、白抜きなどの装飾がされている文字
    - 網がけ内の文字
    - 複雑なレイアウトの原稿、およびノイズの多い原稿（このような原稿では認識するのに非常に時間がかかる場合があります）
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

- 手書き文字
- 低解像度での小さな文字
- 傾いた原稿
- 設定言語以外の言語の原稿

- PaperStream IP ドライバーの設定によっては、正しくテキスト認識できない場合があります。

ヒント

- PaperStream IP ドライバーによる自動傾き補正と原稿向き補正フィルターを使用すると、認識率の向上が期待できます。
- PaperStream IP ドライバーの「回転」 で「自動」 が選択されている場合、ヘブライ語の原稿を読み取ると、読み取った画像が逆さまになります。「回転」 で「0 度」 を指定し、原稿の向きを正しい方向にそろえた状態で読み取りを実行してください。

「開くパスワードを設定する」チェックボックス

PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を、16 文字以内（半角文字換算）で付加できます。本チェックボックスは PDF ファイルにだけチェックを付けられます（PDF/A ファイルではチェックを付けられません）。

「固定のパスワードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、固定のパスワードを設定できます。
「パスワード」および「確認」の入力域に、指定したい値を入力します。
チェックを外すと、PDF ファイルを出力するときに表示される画面でパスワードを設定できます。
PaperStream Capture の場合、パスワードの設定画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、[完了] ボタンをクリックすると、表示されます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、パスワードの設定画面は、画像を確認 / 編集する画面で、[完了] ボタンをクリックしたときの処理が、PDF ファイルとして出力になる場合、表示されます。

パスワード付き PDF ファイルは PaperStream Capture では扱えないため、パスワードを付加したあとは、PDF ファイル閲覧アプリケーションを使用して参照してください。

「キーワードを設定する」チェックボックス

チェックを付けると、PDF に設定したキーワードを埋め込みます。
「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。
入力域に、指定したい値を直接入力するか、[キーワードの選択] ボタンをクリックし、指定する設定値を選択します。値の指定後、不要な「;」（セミコロン）は削除してください。

ヒント

- 複数のキーワードを指定する場合は、「;」（セミコロン）で区切ってください。

「"」（ダブルクォート）を文字としてキーワードに含める場合は、「""」と入力すると「"」を文字としてキーワードに指定できます。
例えば、「キーワード"A」という文字列をキーワードにする場合は「キーワード""A」と、「"A"キーワード」という文字列をキーワードにする場合は「""A""キーワード」と入力します。

- Adobe® Acrobat® では、次の記号は区切り文字として扱われます。
  - ;（セミコロン）
  - ；（全角セミコロン）
  - ,（カンマ）
  - ，（全角カンマ）
  - 、（読点）
  - 、（半角カタカナの読点）

これらの記号をキーワードに含める場合は、「"」（ダブルクォート）でキーワードを囲んでください。

［キーワードの選択］ボタン

キーワードとして指定する設定値を選択します。
クリックすると、以下のメニューが表示されます。

- ドキュメント仕分け値
- 抽出データ
  項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。

重要

- マルチページ形式の PDF ファイルに対し、「抽出データ」をキーワードに指定した場合、先頭ページの抽出データの情報だけがキーワードとして設定されます。
- 「ファイルオプション」で「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスにチェックを付けている場合、先頭ページの抽出データの情報だけが、分割後のすべての PDF ファイルに設定されます。

PDF ページ分割

「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されます。

すべてのページを 1 つの PDF ファイルにする

読み取った画像をすべて 1 つのファイルにまとめて保存します。

設定ページごとに PDF ファイルを作る

指定したページ数ごとにファイルを作成します。

例えば、2 ページで指定し、6 ページある原稿を読み取ると、ファイルが 3 つ作成されます。

ファイルの圧縮率を指定する（カラー、グレーイメージのみ有効）

「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されます。

圧縮

PDF 形式で出力するファイルの圧縮率を指定します。
1 ～ 5 の 5 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 3）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。
数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。
数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

JPEG2000 オプション

ヒント

- 本項目は PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「可逆圧縮」チェックボックス

チェックを付けると可逆圧縮になります。可逆圧縮は、圧縮したデータを元の内容と同じ状態に戻せる圧縮方式です。
チェックを外すと画質のスライダーが有効になり、圧縮率を指定できます。

画質

JPEG2000 形式で出力する場合の画質を指定します。
-1 ～ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 2）。
数値を大きくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。
数値を小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

重要

- 1 つのジョブで共通の設定になります。
- 「画質」が「-1」または「0」の場合、表示されるページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

JPEG オプション

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

画質

JPEG 形式で出力する場合の画質を指定します。
-1 ～ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 4）。
数値を大きくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。
数値を小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。
PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用する場合は、24bit カラーで出力するときに有効となります。

重要

- 1 つのジョブで共通の設定になります。
- 「画質」が「-1」または「0」の場合、表示されるページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

ファイルオプション

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックス

チェックを付けると、以下の形式でマルチページのファイルを出力する場合、指定したファイルサイズの上限を超えないようにファイルを分割して出力します。
ファイルサイズは、1 ～ 512MB の範囲で指定できます（デフォルトは 50MB）。

- TIFF
- PDF
- PDF/A
- RTF

重要

- PDF または PDF/A を出力する場合、「PDF オプション」で「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスにチェックを付けているときは、本機能が無効になります。

TIFF オプション

画質

TIFF 形式で出力する場合の画質を指定します。
-1 ～ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 4）。
数値を大きくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。
数値を小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

「ドキュメントごとに 1 つのファイルにする（MultiPage Tagged Image File Format）」チェックボックス

読み取ったすべての画像を、1 つのファイルにまとめて保存します。

「1 ページごとに 1 つのファイルにする （Tagged Image File Format）」チェックボックス

1 ページごとに 1 つのファイルにします。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.9 フォルダー名オプション

フォルダー名のフォルダー名オプションに設定できる項目を説明します。
19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)にある「ファイルプロパティ」で出力先フォルダーを指定する入力域の横にある［フォルダー名オプション］ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。
かんたん作成の場合は、［フォルダー名オプション］ボタンをクリックすると、「フォルダー名オプション」画面が表示されます。

ジョブ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したジョブ名を指定します。

バッチ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したバッチ名を指定します。

ユーザー名

ファイルの出力を実行したコンピューターのユーザー名を指定します。

ユーザープロファイル

ユーザープロファイルを指定します。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、「ユーザープロファイル」の［+］ボタンをクリックしてください。

コンピューター名

ファイルの出力を実行したコンピューター名を指定します。

環境変数

ファイルの出力を実行したコンピューターの環境変数を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- ユーザー変数
- システム変数

各サブメニューに、定義されている環境変数が表示されます。
表示される環境変数は、お使いの環境によって異なります。

出力日

出力した日を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、指定する形式の［+］ボタンをクリックしてください。

- システム標準形式
  システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。
- yyyyMMdd
  年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
  年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd
  年_月_日を表示します。
- MMddyyyy
  月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
  月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
  月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
  日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
  日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
  日_月_年を表示します。
- DD
  日を表示します。
- MM
  月を表示します。
- YY
  年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。

- YYYY
  年を表示します。
- YYDDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。
- YY-DDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。
- YY_DDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16_075 と表示されます。

出力時刻

出力した時刻を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、指定する形式の［+］ボタンをクリックしてください。

- HHmmss-24 時間表記
  HHmmss は、時分秒を表示します。
- HH-mm-ss-24 時間表記
  HH-mm-ss は、時-分-秒を表示します。
- HH_mm_ss-24 時間表記
  HH_mm_ss は、時_分_秒を表示します。
- HH-24 時間表記
- mm
- ss

ドキュメント仕分け値

ドキュメント仕分け値をフォルダー名に指定します。
ドキュメント仕分けに文字列が設定されていない場合、形式が「"DOCSEPARATOR" + 仕分け No.（数字 4 桁）」の文字列が、フォルダー名に出力されます。
かんたん作成の場合は、「抽出データ」タブで、指定するドキュメント仕分け値の［+］ボタンをクリックしてください。

バッチ仕分け値

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
バッチ仕分け値をフォルダー名に指定します。

> **ヒント**
>
> - 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

フォルダー区切り

フォルダーを区切ります。
ただし、「出力先設定」タブの「出力先」で「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」が選択されている場合、表示されません。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、「フォルダー区切り」の［+］ボタンをクリックしてください。

抽出データ

19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)で、定義済みのフィールド名を指定します。
項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。
指定すると、フィールドのフィールド値がフォルダー名に使用されます。
なお、フォルダー名に使用される文字列長は、フィールド種別によって異なります。
かんたん作成の場合は、「抽出データ」タブで、指定する領域名（フィールド名）の［+］ボタンをクリックしてください。
例：

- ゾーン OCR
  先頭から 32 文字まで
- バーコード
  この項目は、PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
  先頭から 128 バイトまで
- バーコード、JSON 解析、JSON 値
  この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  先頭から 128 バイトまで
- パスポート
  - MRZ 上段、MRZ 下段
    44 文字まで
  - 発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号
    64 文字まで
- ID カード(TD1)
  - MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段
    30 文字まで
  - 発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名
    64 文字まで
- ID カード(TD2)
  - MRZ 上段、MRZ 下段
    36 文字まで
  - 発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報
    64 文字まで
- 帳票

先頭から 32 文字まで

> **ヒント**
> ● 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

元のファイル名

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、以下で追加するファイル出力時、「元のファイル名」で出力します。

- File Import または PaperStream IP Import で読み取るファイル
- ジョブ一覧でドラッグ&ドロップしたファイル
- 「QC」画面の「ファイルの追加」で追加するファイル

> **ヒント**
> ● 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

閉じる

設定を完了します。

19.5.10 ファイル名オプション

ファイル名のファイル名オプションに設定できる項目を説明します。
19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)にある「ファイルプロパティ」でファイル名を指定する入力域の横にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。
かんたん作成の場合は、［ファイル名オプション］ボタンをクリックすると、「ファイル名オプション」画面が表示されます。
PaperStream AI の場合、第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)のファイル名を指定する入力域の横にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。

ジョブ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したジョブ名を指定します。

バッチ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したバッチ名を指定します。

ユーザー名

ファイルの出力を実行したコンピューターのユーザー名を指定します。

コンピューター名

ファイルの出力を実行したコンピューター名を指定します。

ドキュメントカウンター

ドキュメントカウンターを指定します。
「ドキュメントカウンター」を選択した場合、[カウンターオプション] をクリックし、表示された19.5.12 「カウンターオプション」画面 (302 ページ)で、ドキュメントカウンターを指定してください。
例えば、「初期値」が「1」、「初期値を自動更新する」を選択し、「最小桁数」が「2」の場合、ファイル名は「01」になります。出力したファイルが 1 つの場合、次回の「初期値」は「2」に設定され、ファイル名は「02」になります。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、「ドキュメントカウンター」の [+] ボタンをクリックしてください。

ページカウンター

ページカウンターを指定します。
「ページカウンター」を選択した場合、[カウンターオプション] をクリックし、表示された「カウンターオプション」画面で、ページカウンターを指定してください。
例えば、「初期値」が「1」、「初期値を自動更新する」を選択し、「最小桁数」が「2」の場合、ファイル名は「01」になります。出力したファイルが 1 つでページ数が 2 ページの場合、次回の「初期値」は「3」に設定され、ファイル名は「03」になります。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、「ページカウンター」の [+] ボタンをクリックしてください。

シートカウンター

シートカウンターを指定します。
「シートカウンター」を選択した場合、[カウンターオプション] をクリックし、表示された「カウンターオプション」画面で、シートカウンターを指定してください。
例えば、「最小桁数」が「3」の場合、ファイル名は「001」になります。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、「シートカウンター」の [+] ボタンをクリックしてください。

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。

環境変数

ファイルの出力を実行したコンピューターの環境変数を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- ユーザー変数
- システム変数

各サブメニューに、定義されている環境変数が表示されます。
表示される環境変数は、お使いの環境によって異なります。

出力日

出力した日を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、指定する形式の［+］ボタンをクリックしてください。

- システム標準形式
  システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。
- yyyyMMdd
  年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
  年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd
  年_月_日を表示します。
- MMddyyyy
  月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
  月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
  月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
  日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
  日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
  日_月_年を表示します。
- DD
  日を表示します。
- MM
  月を表示します。
- YY
  年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- YYYY
  年を表示します。
- YYDDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。
- YY-DDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。
- YY_DDD（ユリウス暦）

年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16_075 と表示されます。

出力時刻

出力した時刻を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、指定する形式の［+］ボタンをクリックしてください。

- HHmmss-24 時間表記
  HHmmss は、時分秒を表示します。
- HH-mm-ss-24 時間表記
  HH-mm-ss は、時-分-秒を表示します。
- HH_mm_ss-24 時間表記
  HH_mm_ss は、時_分_秒を表示します。
- HH-24 時間表記
- mm
- ss

ファイル出力詳細日時

出力するファイルを作成し始めた時間をファイル名に指定します。
ファイル形式で「Word 文書」、「Excel 文書」、または「PowerPoint 文書」を選択した場合、読み取った画像は、PDF ファイルに保存されてから、選択したファイル形式に変換されるため、ファイル名は、PDF ファイルを作成し始めた時間になります。
出力されるファイル名は、年月日と時刻（hhmmssfff）を合わせて表示します。
年月日の表示は、システムロケールに合わせた形式になります。

ドキュメント仕分け値

ドキュメント仕分け値をファイル名に指定します。
ドキュメント仕分けに文字列が設定されていない場合、形式が「"DOCSEPARATOR" + 仕分け No.（数字 4 桁）」の文字列が、ファイル名に出力されます。
かんたん作成の場合は、「抽出データ」タブで、指定するドキュメント仕分け値の［+］ボタンをクリックしてください。

バッチ仕分け値

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
PaperStream AI で第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)から表示している場合、本項目は表示されません。
バッチ仕分け値をファイル名に指定します。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

マルチイメージ出力順

マルチイメージ出力の場合、そのページの出力順をファイル名に指定します。
PaperStream IP ドライバーの設定でマルチイメージが指定されている場合、有効になります。
なお、マルチイメージ出力以外の場合は、固定値「 1 」となります。

> **ヒント**
> - 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

PaperStream AI で第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)から表示している場合、本項目は表示されません。

出力面

ADF 両面読み取りの場合、原稿の出力面（表面 / 裏面）をファイル名に指定します。
表面の場合は「F」を、裏面の場合は「B」を出力します。
なお、フラットベッドでの読み取りや「ファイルの追加」を行った場合は、固定値「F」を出力します。

編集文字列

任意の文字列をファイル名に指定します。
項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、ファイル名をいつ入力するかを指定します。

- スキャン前入力
  ジョブを実行すると表示される第 31 章 ファイル名の編集画面 (456 ページ)で、ファイル名を入力すると、原稿の読み取りを開始します。
- 出力前入力
  ファイルを出力するときに表示される第 31 章 ファイル名の編集画面 (456 ページ)でファイル名を入力します。

PaperStream AI で第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)から表示している場合、本項目は表示されません。

フォルダー区切り

フォルダーを区切ります。
ただし、「出力先設定」タブの「出力先」で「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」が選択されている場合、表示されません。
かんたん作成の場合は、「名前規則」タブで、「フォルダー区切り」の［+］ボタンをクリックしてください。

抽出データ

19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)で、定義済みのフィールド名を指定します。
項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。
指定すると、フィールドのフィールド値がファイル名に使用されます。
なお、ファイル名に使用される文字列長は、フィールド種別によって異なります。

かんたん作成の場合は、「抽出データ」タブで、指定する領域名（フィールド名）の［+］ボタンをクリックしてください。
例：

- ゾーン OCR
  先頭から 32 文字まで
- バーコード
  この項目は、PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
  先頭から 128 バイトまで
- バーコード、JSON 解析、JSON 値
  この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  先頭から 128 バイトまで
- パスポート
  - MRZ 上段、MRZ 下段
    44 文字まで
  - 発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号
    64 文字まで
- ID カード(TD1)
  - MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段
    30 文字まで
  - 発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名
    64 文字まで
- ID カード(TD2)
  - MRZ 上段、MRZ 下段
    36 文字まで
  - 発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報
    64 文字まで
- 帳票
  先頭から 32 文字まで

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

PaperStream AI で第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)から表示している場合、本項目は表示されません。

元のファイル名

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、以下で追加するファイル出力時、「元のファイル名」で出力します。

- File Import または PaperStream IP Import で読み取るファイル
- ジョブ一覧でドラッグ＆ドロップしたファイル
- 「QC」画面の「ファイルの追加」で追加するファイル

> **ヒント**
> - 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

閉じる

設定を完了します。

19.5.11 ファイル名オプション（インデックスファイル）

インデックスファイル名のファイル名オプションに設定できる項目を説明します。
19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)にある「ファイルプロパティ」でインデックスファイル名を指定する入力域の横にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。
PaperStream AI の場合、第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)のインデックスファイル名を指定する入力域の横にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。

ジョブ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したジョブ名を指定します。

バッチ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したバッチ名を指定します。

ユーザー名

ファイルの出力を実行したコンピューターのユーザー名を指定します。

コンピューター名

ファイルの出力を実行したコンピューター名を指定します。

ドキュメントカウンター

ドキュメントカウンターを指定します。
指定した場合、［カウンターオプション］をクリックし、表示された 19.5.12 「カウンターオプション」画面 (302 ページ)で、ドキュメントカウンターを設定してください。

環境変数

ファイルの出力を実行したコンピューターの環境変数を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- ユーザー変数
- システム変数

各サブメニューに、定義されている環境変数が表示されます。

表示される環境変数は、お使いの環境によって異なります。

出力日

出力した日を指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- システム標準形式
  システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。
- yyyyMMdd
  年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
  年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd
  年_月_日を表示します。
- MMddyyyy
  月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
  月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
  月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
  日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
  日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
  日_月_年を表示します。
- DD
  日を表示します。
- MM
  月を表示します。
- YY
  年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- YYYY
  年を表示します。
- YYDDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。
- YY-DDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。

- YY_DDD（ユリウス暦）
  年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
  例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16_075 と表示されます。

出力時刻(HHmmss-24 時間表記)

出力した時刻を指定します。
HHmmss は、時分秒を表示します。

出力時刻(HH-mm-ss-24 時間表記)

出力した時刻を指定します。
HH-mm-ss は、時-分-秒を表示します。

出力時刻(HH_mm_ss-24 時間表記)

出力した時刻を指定します。
HH_mm_ss は、時_分_秒を表示します。

ドキュメント仕分け値

ドキュメント仕分け値をインデックスファイル名に指定します。
ドキュメント仕分けに文字列が設定されていない場合、形式が「"DOCSEPARATOR" + 仕分け No.（数字 4 桁）」の文字列が、インデックスファイル名に出力されます。

バッチ仕分け値

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
バッチ仕分け値をインデックスファイル名に指定します。
PaperStream AI で第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)から表示している場合、本項目は表示されません。

マルチイメージ出力順

マルチイメージ出力の場合、そのページの出力順をインデックスファイル名に指定します。
PaperStream IP ドライバーの設定でマルチイメージが指定されている場合、有効になります。
なお、マルチイメージ出力以外の場合は、固定値「 1 」となります。
PaperStream AI で第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)から表示している場合、本項目は表示されません。

フォルダー区切り

フォルダーを区切ります。
ただし、「出力先設定」タブの「出力先」で「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」が選択されている場合、表示されません。

抽出データ

19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)で、定義済みのフィールド名を指定します。
項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。
指定すると、フィールドのフィールド値がインデックスファイル名に使用されます。
なお、インデックスファイル名に使用される文字列長は、フィールド種別によって異なります。

例：

- ゾーン OCR
  先頭から 32 文字まで
- バーコード、JSON 解析、JSON 値
  この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  先頭から 128 バイトまで
- バーコード
  この項目は、PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
  先頭から 128 バイトまで
- パスポート
  - MRZ 上段、MRZ 下段
    44 文字まで
  - 発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号
    64 文字まで
- ID カード(TD1)
  - MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段
    30 文字まで
  - 発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名
    64 文字まで
- ID カード(TD2)
  - MRZ 上段、MRZ 下段
    36 文字まで
  - 発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報
    64 文字まで

PaperStream AI で第 29 章 「出力オプション設定」画面 (451 ページ)から表示している場合、本項目は表示されません。

既定値に戻す

ファイル名オプションの設定を規定値に戻します。

元のファイル名

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、以下で追加するファイル出力時、「元のファイル名」で出力します。

- File Import または PaperStream IP Import で読み取るファイル
- ジョブ一覧でドラッグ＆ドロップしたファイル
- 「QC」画面の「ファイルの追加」で追加するファイル

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

閉じる

設定を完了します。

19.5.12「カウンターオプション」画面

ドキュメントカウンター、ページカウンター、およびシートカウンターの値を設定します。

ドキュメントカウンター

1 回の読み取りの単位（仕分け設定がある場合はそれにより分割された単位）で 1 つのドキュメントとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

ドキュメントカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。
2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、第 31 章 ファイル名の編集画面 (456 ページ)で、ドキュメントカウンターの初期値を直接入力できます。
PaperStream Capture の場合、ファイル名の編集画面は、第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)で［完了］ボタンをクリックすると表示されます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。ただし、マルチステーション運用をしている場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

最小桁数

ドキュメントカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
以下に例を示します。

ドキュメントカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

ページカウンター

読み取った原稿の面が 1 ページとなり、その単位でカウンター値が付与されます。
両面読み取りの場合は表裏で 2 ページ、上下分割した場合は上下で 2 ページとなります。

初期値

ページカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。
2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。
また、ドキュメントカウンターと同時に指定した場合、ドキュメントごとにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、ページカウンターの初期値を直接入力できます。

- PaperStream Capture の場合
  ファイル名の編集画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で［完了］ボタンをクリックすると表示されます。
  ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

- 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する」を選択

● PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。
ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- マルチステーション運用をしている

最小桁数

ページカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
以下に例を示します。

ページカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

「桁数を固定する」チェックボックス

チェックを付けると、ページカウンターの桁数を「最小桁数」で指定した桁数で固定します。
原稿の読み取り中に桁数の最大値を超えた場合、カウンターは 0 に戻ります。
「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択した場合、読み取り開始前に、PaperStream IP ドライバーで設定するインプリンタ印字文字列のカウンター桁数と「ページカウンター」の「最小桁数」を合わせておくと、桁数の最大値を超えてもページカウンターは同期されます。
PaperStream IP ドライバーの設定で指定しているカウンターの桁数と「ページカウンター」の「最小桁数」が異なる場合、ページカウンターは正しく同期されません。

ヒント

● PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用、かつ「ページカウンター」の設定が以下のとき、インプリンタの印字は桁数の最大値で印字されます。

- 「初期値」がドライバーで設定しているカウンターの桁数を超えている
- 「桁数を固定する」チェックボックスのチェックが外れている

例えば、ドライバーの設定でカウンターの桁数を 5、「ページカウンター」の「初期値」を 6 桁の 100000 とした場合、インプリンタによる印字は、5 桁の最大値である 99999 から開始されます。

シートカウンター

読み取った原稿 1 枚が 1 シートとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

シートカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。
2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。

重要

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)の「バッチ仕分け」でバッチの分割が設定されているときは、「読み取り毎に初期値に戻す」を選択していても、シートカウンターの値は、バッチの分割ごとに「初期値」で指定した値に戻りません。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、シートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、シートカウンターの初期値を直接入力できます。

- PaperStream Capture の場合
  ファイル名の編集画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で［完了］ボタンをクリックすると表示されます。
  ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。
  - 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「シートカウンターをインプリンタで印字する」を選択

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する」を選択

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。
ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。
  - 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「シートカウンターをインプリンタで印字する」を選択
  - 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する」を選択
  - マルチステーション運用をしている

最小桁数

シートカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
以下に例を示します。

シートカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。
- 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)で以下を設定している場合、原稿の表面を読み取ったあとに原稿の裏面を逆順で読み取り、両面データとして合成するため、裏面にはシートカウンターの番号が逆順の状態で付与されます。
  - 「入力」で仮想的に両面を読み取る機能に対応した片面読み取りスキャナーを選択
  - 「読み取り設定」で「読み取り面」が「ドライバーの設定に従う」かつ PaperStream IP ドライバーの「給紙」 で「フィーダー (両面(仮想))」 を選択

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.13「インデックス一覧オプション」画面

インデックス情報ファイルに出力する項目を指定します。

設定可能項目

指定できる項目が表示されます。
「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押したまま項目を選択すると、複数の項目を選択できます。

[> >] ボタン

「設定可能項目」で選択した項目を「設定済み項目」に移動します。

[< <] ボタン

「設定済み項目」で選択した項目を「設定可能項目」に移動します。

設定済み項目

出力する項目が表示されます。
デフォルトは、指定できる項目がすべて設定されています。

[上へ] ボタン

クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ上に移動します。

[下へ] ボタン

クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ下に移動します。

[加工フィールド追加...] ボタン

加工フィールドとは、認識したフィールド値を別の値に加工して出力できるフィールドです。
クリックするとメニューが表示され、追加する加工フィールドのタイプが選択できます。

- 式による生成
  複数フィールドの値と固定文字列を組み合わせて 1 つの値を作る加工フィールドを追加します。
- 最初の非空値
  複数フィールドのうち、最初に値が入っているものを採用する加工フィールドを追加します。
- 環境変数
  環境変数の値を取得する加工フィールドを追加します。
- 分割
  元フィールドの値を区切り文字で分割し、分割後に前から何番目の要素を採用するか指定する加工フィールドを追加します。
- 固定文字
  固定の文字列を出力する加工フィールドを追加します。
- JSON で設定
  複雑な変換を JSON で記述する加工フィールドを追加します。

上記加工フィールドのタイプを選択すると、「加工フィールド追加」画面が表示されます。

➡ 19.5.15 「加工フィールド追加」画面／「加工フィールド編集」画面 (310 ページ)

[加工フィールド編集] ボタン

設定済み項目で加工フィールドを選択すると、表示されます。
クリックすると、「設定済み項目」で選択されている加工フィールドの編集画面が表示されます。

➡ 19.5.15 「加工フィールド追加」画面／「加工フィールド編集」画面 (310 ページ)

［加工フィールド削除］ボタン

「設定済み項目」で加工フィールドを選択すると、表示されます。
クリックすると、「設定済み項目」で選択されている加工フィールドを削除できます。

［テーブル編集］ボタン

「設定済み項目」で明細（表形式）のフィールドを選択した場合に表示されます。
クリックすると、明細列順序を調整する（帳票-*帳票名*-明細画面）画面が表示されます。

➡ 19.5.14 帳票-*帳票名*-明細画面 (309 ページ)

「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックス

19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)で、インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に設定した場合、表示されます。
チェックを付けると、インデックス情報ファイルの 1 行目に項目名を出力します。

「ファイルヘッダー名を指定する」チェックボックス

19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)で、インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に設定した場合、表示されます。
「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックスと本チェックボックスにチェックを付けると、「ジョブ作成/編集」画面の「データ抽出設定」タブで、インデックスファイルのヘッダーを指定できます。

「属性名を指定する」チェックボックス

19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)で、インデックス情報ファイルのファイル形式を「XML」に設定した場合、表示されます。
チェックを付けると、「ジョブ作成/編集」画面の「データ抽出設定」タブで、インデックスファイルの属性を指定できます。

「ドキュメントの先頭ページ情報のみを出力する」チェックボックス

チェックを付けると、ドキュメントごとに先頭ページだけインデックス行を出力します。

ヒント

- 本項目は、「ドキュメントの抽出データを 1 行で出力する」チェックボックスと同時には選択できません。
- 本項目は、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」の「ドキュメント内の抽出データを 1 行で出力する」チェックボックスと同時には選択できません。

「ドキュメントの抽出データを 1 行で出力する」チェックボックス

チェックを付けると、ドキュメントの特定ページのフィールド値を 1 つずつ抽出し、1 行で出力します。

- PaperStream Capture の場合
  フィールド値のあるページのうち、最も小さなページ番号にあるフィールド値を抽出データとして出力します。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

ドキュメントのどのページのフィールド値が抽出データとして出力されるかを以下に示します。

- 「データ抽出定義」の「適用ページ」で「指定ページ」を設定した場合
  設定したページのフィールド値を出力します。
- 「データ抽出定義」の「適用ページ」で「全ページ」を設定した場合、または「定義モード」で「互換モード」を選択した場合
  フィールド値のあるページのうち、最も小さなページ番号にあるフィールド値を出力します。

ヒント

- 本項目は、「ドキュメントの先頭ページ情報のみを出力する」チェックボックスと同時には選択できません。
- 本項目は、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」の「ドキュメント内の抽出データを 1 行で出力する」チェックボックスと同時には選択できません。

文字列 1 ～ 4

インデックス情報ファイルに出力する文字列を指定します。
指定可能な最大文字数は 32 文字です。
文字列の先頭および末尾の空白は削除されます。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

関連項目

19.5.14 帳票-*帳票名*-明細画面 (309 ページ)
42.2 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture） (647 ページ)
42.3 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture Pro、PaperStream Capture Pro Premium） (653 ページ)

19.5.14 帳票-*帳票名*-明細画面

明細のフィールド順序を変更できます。

明細列一覧

明細のフィールド名が表示されます。順序を変更したいフィールド名を選択できます。
チェックボックスにチェックを付けた明細列だけがインデックスファイルに出力されます。

［上へ］ボタン

クリックすると、明細列一覧で選択したフィールドが 1 つ上に移動します。

［下へ］ボタン

クリックすると、明細列一覧で選択したフィールドが 1 つ下に移動します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.5.15「加工フィールド追加」画面／「加工フィールド編集」画面

追加および編集する加工フィールドを設定します。

出力名

加工フィールドの名前を指定できます。

生成方法

「インデックス一覧オプション」画面の［加工フィールド追加...］ボタンをクリックしたときに選択した加工フィールドのタイプが表示されます。

以降は「生成方法」によって表示が変わります。

- **式による生成の設定**

「生成方法」が「式による生成」の場合に表示されます。

式

複数フィールドの値と固定文字列を組み合わせて 1 つの値を作る式を入力します。
参照するフィールドは「参照フィールド」でチェックを付けると入力できます。

参照フィールド

同一帳票内のフィールドが表示されます。チェックを付けると「式」に参照するフィールドが入力されます。

変換設定

クリックすると、「変換設定」画面が表示されます。
本画面の設定で加工したフィールド値の出力形式を設定できます。加工した値をさらに別の形式で出力したい場合に設定してください。

➡ 19.5.16 「変換設定」画面 (312 ページ)

- **最初の非空値の設定**

「生成方法」が「最初の非空値」の場合に表示されます。

参照フィールド

同一帳票内のフィールドが表示されます。チェックを付けると最初に値が入っているものを採用する加工フィールドになります。また最初の非空値かどうかを調べる対象となり、表示が上になるほど調べる優先順位が上がります。

フィールド A、B、C にチェックが付いている場合、それぞれのフィールド値がフィールド A「空」、フィールド B「1」、フィールド C「空」であれば、「最初の非空値の設定」によってフィールド A、B、C のフィールド値は「1」に加工されます。
なお、チェックを付けたすべてのフィールドが「空」の場合、結果は「空」になります。

［上へ］ボタン

クリックすると、「参照フィールド」で選択した項目が 1 つ上に移動し、最初の非空値か調べる優先順位が上がります。

［下へ］ボタン

クリックすると、「参照フィールド」で選択した項目が 1 つ下に移動し、最初の非空値か調べる優先順位が下がります。

変換設定

クリックすると、「変換設定」画面が表示されます。
本画面の設定で加工したフィールド値の出力形式を設定できます。加工した値をさらに別の形式で出力したい場合に設定してください。

➡ 19.5.16 「変換設定」画面 (312 ページ)

- **環境変数の設定**

「生成方法」が「環境変数」の場合に表示されます。

変数名

取得する環境変数の名前を設定します。
指定した環境変数が存在しない場合、結果は「空」になります。

- **分割の設定**

「生成方法」が「分割」の場合に表示されます。

対象フィールド

分割対象のフィールドを選択します。

区切り文字

「,」や「-」など、分割に使用する区切り文字を入力します。

何番目の要素

分割後に前から何番目の要素を採用するかを指定します。
「3」を指定して、要素が 2 つしかない場合、結果は「空」になります。

変換設定

クリックすると、「変換設定」画面が表示されます。
本画面の設定で加工したフィールド値の出力形式を設定できます。加工した値をさらに別の形式で出力したい場合に設定してください。

➡ 19.5.16 「変換設定」画面 (312 ページ)

- **固定文字の設定**

  「生成方法」が「固定文字」の場合に表示されます。

  固定文字列

  常に出力する固定文字列を入力します。

- **JSON 設定**

  「生成方法」が「JSON で設定」の場合に表示されます。

  生成方法

  JSON で設定する生成方法を選択します。入力欄に JSON での入力テンプレートが表示されるので、加工設定を入力します。

- **サンプル**

  認識値の例を入力すると、設定によってどう変換されるかサンプル表示で確認できます。

関連項目

19.5.13 「インデックス一覧オプション」画面 (306 ページ)

19.5.16「変換設定」画面

加工フィールドのフィールド値を変換する設定ができます。

変換の種類

変換を種類を選択します。

以降は、「変換の種類」の選択によって表示が変わります。

- **置換の設定**

  「変換の種類」で「置換」を選択した場合に表示されます。

  置換方式

  置換対象として指定する文字列の検索条件を選択します。

  検索文字列

  検索文字列を入力します。

  置換後文字列

  置き換える文字列を入力します。

- **全角半角変換の設定**

  「変換の種類」で「全角半角変換」を選択した場合に表示されます。

方向

全角を半角にするのか、半角を全角にするのかを選択します。

対象文字種

全角半角変換の対象にする文字種を選択します。

- **切出しの設定**

「変換の種類」で「切出し」を選択した場合に表示されます。

切出し方式

値のどこを切り出して出力するのかを選択します。

文字数

「切出し方式」で「先頭」または「末尾」を選択した場合に表示されます。
切出し方式が「先頭」であれば、先頭から何文字を切り出すのか文字数を指定します。

開始位置

「切出し方式」で「範囲」を選択した場合に表示されます。
先頭から何文字目を範囲の開始とするのか文字数を指定します。

終了位置

「切出し方式」で「範囲」を選択した場合に表示されます。
先頭から何文字目を範囲の終了とするのか文字数を指定します。

- **前後付加の設定**

「変換の種類」で「前後付加」を選択した場合に表示されます。

前に付ける文字列

値の前に付加する文字列を入力します。

後に付ける文字列

値の後ろに付加する文字列を入力します。

「常に固定値にする（元の値を無視する）」チェックボックス

チェックを付けると、「前に付ける文字列」と「後に付ける文字列」を結合した文字列に置き換えます。

- **パディングの設定**

「変換の種類」で「パディング」を選択した場合に表示されます。

方向

値の幅をそろえるために、値の左右どちらに余白を入れるか選択します。

桁数

値と余白で合計何文字にそろえるか、文字の桁数を入力します。

埋め文字

余白部分に入力する文字を指定します。

- **日付書式変換の設定**

「変換の種類」で「日付書式変換」を選択した場合に表示されます。

入力書式

入力される日付の書式を選択します。

出力書式

入力された日付をどのような形式に変換して出力するかを指定します。

「和暦入力を許可する」チェックボックス

チェックをつけると、「入力書式」に和暦が含まれる場合も、出力書式で変換できます。

- **JSON 設定**

「変換の種類」で「JSON で設定」を選択した場合に表示されます。

変換の種類

JSON で設定する変換の種類を選択します。入力欄に JSON での入力テンプレートが表示されます。
JSON では複数の変換を指定できます。

- **サンプル**

認識値

認識値の例を入力すると、設定によってどう変換されるかサンプル表示で確認できます。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

関連項目

19.5.15 「加工フィールド追加」画面／「加工フィールド編集」画面 (310 ページ)

19.6 「データ抽出設定」タブ

データ抽出のフィールド定義を設定します。

重要

- 一時保存、中断、またはエラーのバッチが存在する場合、「データ抽出設定」タブは編集できません。

ヒント

- 本タブは、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

データ抽出定義

適用対象の単位

帳票

帳票の種類ごとにデータを抽出する場合に選択します。
「仕分け設定」タブの「仕分けの種類」で、「原稿識別（ドライバー）」を選択している場合、本項目は非活性になります。

ページ

原稿のページごとにデータを抽出する場合に選択します。

- **「適用対象の単位」で「帳票」を選択した場合**

帳票リスト

登録されている帳票の一覧から、データを抽出する帳票のチェックボックスにチェックを付けます。
帳票は、「仕分け設定」タブの帳票リストで選択している帳票数と「データ抽出設定」タブの帳票リストで選択している帳票数を合わせて、最大 150 まで選択できます。

帳票のチェックボックスにチェックを付けた後、または外す操作を行った後に、

または［管理］ボタンをクリックする場合は、

または ［管理］ボタンをクリックする前に ［保存］ボタンをクリックしてジョブの保存を行ってください。
ジョブを保存したあとに帳票のチェックボックスのチェックを外した場合、帳票の登録または編集はできません。再度ジョブを保存してから、［管理］ボタンをクリックして、帳票を登録または編集してください。
帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合、帳票リストの帳票名の横に が表示されます。

キーワードが設定されている帳票の場合、帳票名の横に  が表示されます。
PaperStream AI の場合、「タイプ」には帳票のタイプが表示されます。

- クラウド
  PaperStream AI を使用する非定型帳票です。「クラウド」の帳票にチェックを付けた場合、そのジョブは PaperStream AI を使用するジョブになります。
- ローカル
  手動で設定した定型帳票です。



自動で帳票の識別を行って登録できます。登録できるページサイズは A7～A3 です。

スキャナーに登録する帳票をセットしてをクリックすると、PaperStream AI で読み取り、第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)が表示されます。

> **重要**
> 登録する帳票は、抽出したい項目がすべて記入された原稿を使用してください。

［管理］ボタン

定型帳票を手動で登録できます。
クリックすると、19.6.4 「管理」画面 (337 ページ)が表示されます。

［類似帳票チェック］ボタン

クリックすると、帳票リストのチェックボックスにチェックを付けた帳票の中で類似する帳票があるかをチェックします。

帳票の検索

帳票名または帳票名の一部を入力して［検索］ボタンをクリックすると、対象の帳票が表示されます。

帳票の並べ替え

帳票の表示順を、以下の方法で変更できます。

- チェックボックスのチェック（あり / なし）
  帳票リストのチェックボックスの位置のヘッダー部分をクリックするごとに、昇順（▲）→降順（▼）→デフォルト表示の順に、帳票の表示順を変更できます。
  - 昇順の場合、チェックボックスにチェックが付いている帳票を上に表示します。
  - 降順の場合、チェックボックスにチェックが付いていない帳票を上に表示します。
- 帳票名（昇順 / 降順）
  帳票リストの「帳票名」をクリックするごとに、帳票名の昇順（▲）→降順（▼）→デフォルト表示の順に、帳票の表示順を変更できます。
- フィールド数（昇順 / 降順）
  帳票リストの「フィールド数」をクリックするごとに、フィールド数の昇順（▲）→降順（▼）→デフォルト表示の順に、帳票の表示順を変更できます。

「すべての文書を 1 つの帳票として処理する」チェックボックス

チェックを付けると、すべての原稿が帳票リストで選択している帳票として認識されます。例えば、帳票リストで「注文書」を選択した状態で、注文書や見積書など複数枚の原稿を読み取った場合、読み取った原稿はすべて注文書と認識されます。
チェックを付けると、帳票リストの「タイプ」が「ローカル」の帳票は選択できません。

「ドキュメント内のフィールド値をすべて同期する」チェックボックス

「すべての文書を 1 つの帳票として処理する」チェックボックスにチェックを付けた場合に設定できます。

チェックを付けると同一ドキュメント内の複数ページにまたがるフィールド値を自動的に同期できます。
例えば、複数ページある請求書（2 ページ目以降が明細表のみ）を読み取った場合、1 ページ目にだけ存在する顧客名や合計金額などのフィールド値が 2 ページ以降のすべてのページに編集できないフィールドとして同期されます。

「ドキュメントをページごとに認識する」チェックボックス

「読み取り設定」タブの「スキャナー」が「File Import」のジョブの場合に有効になります。

ただし、（「PaperStream AI」ジョブ）は使用できません。

チェックを付けると、マルチページ TIFF および PDF のページごとに認識して、認識結果を統合し、ファイル全体を 1 帳票として処理します。
複数ページをまとめて認識する際にすべてのページが認識できなかったり、時間がかかるなどの問題を解決できます。ただし、ページごとに認識するため、ページ間での認識に不整合が発生する場合があります。認識したい箇所から抽出されるよう、フィールド定義の AI プロンプトを設定することで、不整合を緩和できます。

「ドキュメント内の指定ページを抽出する」チェックボックス

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
チェックを付けると、複数ページを読み込んだ場合に指定したページだけをデータ抽出できるので、認識時間が短縮できます。読み取り後、認識対象外のページには、「QC」画面のサムネールで「対象外」と表示されます。
「対象外」のページも画像ファイルおよびインデックスファイルに出力されますが、抽出対象外のためフィールド値は空になります
PaperStream AI を利用する場合、PaperStream AI での読み取りとしてカウントされるページ数を抑制できます。ただし、仕分けの種類を「帳票識別」にしている場合、PaperStream AI での読み取りとしてすべてのページがカウントされます。

［オプション設定］ボタン

「ドキュメント内の指定ページを抽出する」チェックボックスにチェックを付けた場合に表示されます。
クリックすると、19.6.1 「オプション設定」画面 (333 ページ)が表示されます。

「データ抽出項目」タブ

ほかのジョブで対象の帳票を使用している場合は、フィールドリストのチェックボックスの操作だけできます。

［フィールド定義］ボタン

クリックすると、19.6.7 「フィールド定義」画面 (348 ページ)が表示されます。

フィールド定義の検索

フィールド名の一部を入力して［検索］ボタンをクリックすると、対象のフィールド定義が表示されます。

フィールド名（フィールド数）

チェックボックスにチェックを付けると、そのフィールドがデータ抽出対象になります。

CSV 出力ヘッダー名/TXT 出力ヘッダー名/XML 属性名

インデックスファイルの出力形式によって表示が異なります。
例えば、インデックスファイルの出力形式が「CSV」の場合は、「CSV 出力ヘッダー名」となり、フィールド名に対応する CSV 出力時のヘッダー名を指定できます。帳票内で複数のフィールドに同じヘッダー名は指定できません。

［テーブル編集］ボタン

本項目は、フィールドが明細（表形式）の場合に表示されます。
クリックすると、19.6.10 「テーブル抽出項目 - 明細」画面 (371 ページ)が表示されます。

フィールド連携

本項目は、「出力先設定」タブの「出力先」で「Box」、「DocuWare」、「Laserfiche」などのコネクターを選択している場合に表示されます。
帳票のフィールドが、どの連携先フィールドに同期されるかを指定します。

「定型画像」タブ

帳票リストの「タイプ」が「ローカル」（定型帳票）の場合に表示できます。
選択帳票に登録されている画像が表示されます。

［フィールド定義］ボタン

クリックすると、19.6.7 「フィールド定義」画面 (348 ページ)が表示されます。

登録画像情報

選択帳票に登録されている画像の情報が表示されます。

［バーコードの設定］ボタン

クリックすると、19.6.2 「バーコードの設定」画面（データ抽出） (334 ページ)を表示します。

［値検証 DLL の選択］ボタン

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、値検証用の DLL ファイルを選択する画面が表示されます。
「フィールド定義」画面のフィールドルールで設定できること以外にフィールドルールを設定したい場合は、値検証用の DLL ファイルを作成して、以下に格納してください。
%ALLUSERSPROFILE%¥PaperStreamCapture¥FieldValidator¥
値検証用の DLL ファイルを指定した場合、フィールドの「フィールドルール」は無効になります。

- **「適用対象の単位」で「ページ」を選択した場合**

フィールドリスト

フィールドの名前と種別がリストで表示されます。

［追加］ボタン

クリックすると、フィールドを追加します。

- PaperStream Capture の場合
  追加できるフィールドは、最大 20 か所です。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  追加できるフィールドは、最大 100 か所です。

［参照作成］ボタン

クリックすると、フィールドリストで選択しているフィールドを複製して、フィールドを追加します。

> **重要**
> - 「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数と、19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)で仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールドの参照作成は不可となり、本項目はグレーアウトされます。

［削除］ボタン

クリックすると、選択しているフィールドを削除します。

選択された帳票数

「選択された帳票数（設定しているフィールド数/フィールド数の上限値）」を表示します。

［バーコードの設定］ボタン

クリックすると、19.6.2 「バーコードの設定」画面（データ抽出） (334 ページ)を表示します。

［値検証 DLL の選択］ボタン

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、値検証用の DLL ファイルを選択する画面が表示されます。
「フィールド定義」画面のフィールドルールで設定できること以外にフィールドルールを設定したい場合は、値検証用の DLL ファイルを作成して、以下に格納してください。
%ALLUSERSPROFILE%¥PaperStreamCapture¥FieldValidator¥
値検証用の DLL ファイルを指定した場合、フィールドの「フィールドルール」は無効になります。

定義モード

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合で、「適用対象の単位」で「ページ」を選択したときに表示されます。
データ抽出フィールドを定義するモードを、以下から選択します。

- 標準モード
  選択すると、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium に対応したモードでデータ抽出フィールドを設定できます。
  追加したデータ抽出フィールドは、指定したページに適用されます。ただし、「フィールド属性」の「種別」が「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」の場合、すべてのページに適用されます。
  データ抽出フィールドは、最大 100 か所に指定できます。

- 互換モード
  選択すると、PaperStream Capture に対応したモードでデータ抽出フィールドを設定できます。
  追加したデータ抽出フィールドは、すべてのページに適用されます。
  データ抽出フィールドは、最大 20 か所に指定できます。

フィールド属性

「適用対象の単位」で「ページ」を選択した場合に表示されます。
フィールドリストで選択しているフィールドの詳細が表示されます。

- PaperStream Capture の場合

フィールド名

フィールドの名前が表示されます。入力域に直接文字を入力して名前を変更できます。

種別

フィールド種別を選択します。
クリックすると、以下のフィールド種別がリストで表示されます。

- ゾーン OCR
  フィールド値に、ゾーン OCR の認識結果を使用する場合に指定します。
- バーコード
  フィールド値に、バーコードの認識結果を使用する場合に指定します。
- パスポート
  フィールド値に、パスポートから取得した値を使用する場合に指定します。
  項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
  サブメニューから、指定する形式を選択してください。
  - MRZ 上段
  - MRZ 下段
  - 発行国
  - 姓
  - 名
  - 旅券番号
  - 国籍
  - 生年月日
  - 性別
  - 有効期間満了日
  - 個人番号

  パスポートを読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.8 パスポートの検知条件 (682 ページ)を参照してください。

PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用してパスポートを読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.8 パスポートの検知条件 (682 ページ)を参照してください。

- ID カード(TD1)
  フィールド値に、ICAO（国際民間航空機関）の規格（Doc 9303）に沿った TD1（ID-1 サイズ）の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。
  項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
  サブメニューから、指定する形式を選択してください。
  - MRZ 上段
  - MRZ 中段
  - MRZ 下段
  - 発行国
  - 文書番号
  - 発行国拡張情報上段
  - 生年月日
  - 性別
  - 有効期間満了日
  - 国籍
  - 発行国拡張情報中段
  - 姓
  - 名

  ID カード（TD1 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（30 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.9 ID カード（TD1）の検知条件 (684 ページ)を参照してください。
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用して ID カード（TD1 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（30 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.9 ID カード（TD1）の検知条件 (684 ページ)を参照してください。
- ID カード(TD2)
  フィールド値に、ICAO（国際民間航空機関）の規格（Doc 9303）に沿った TD2（ID-2 サイズ）の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。
  項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
  サブメニューから、指定する形式を選択してください。
  - MRZ 上段
  - MRZ 下段
  - 発行国

- 姓
- 名
- 文書番号
- 国籍
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日
- 拡張情報

ID カード（TD2 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（36 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.10 ID カード（TD2）の検知条件 (686 ページ)を参照してください。
PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用して ID カード（TD2 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（36 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.10 ID カード（TD2）の検知条件 (686 ページ)を参照してください。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、「ID カード(TD2)」の選択は不可となり、グレーアウトされます。
- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、パスポートの MRZ を自動で検知できません。
  パスポートを読み取ったあと、「スキャン」画面（確認 / 編集時）のツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として指定してください。

検出エリア

データ抽出の検出エリアを設定します。

画像全体

種別に「バーコード」を選択すると表示されます。
選択すると、読み取った画像全体からバーコードを検出します。

エリア定義

種別に「バーコード」を選択すると表示されます。
選択すると、[エリアを定義 >>] ボタンが有効になります。

［エリアを定義 >>］ボタン

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
クリックすると、認識領域を設定する 19.6.3 エリア設定画面（データ抽出）(334 ページ)が表示されます。

言語

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。

➡ 42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。

バーコードの種類

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。
クリックすると、検知するバーコードの種類を選択できます。

➡ 42.6 バーコードの種類と検知条件 (664 ページ)

「バーコード文字列」チェックボックス

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。
チェックを付けると、入力域に入力した文字列とドロップダウンリストで選択した条件に従って、認識するバーコードを検索します。
文字列は、128 バイト以内になるよう入力してください。条件は以下から選択できます。

- 完全一致
- 先頭一致
- 部分一致
- 正規表現

不正なフィールド値

「種別」で「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」を選択すると表示されます。
出力するときに、不正なフィールド値があった場合の動作を、ドロップダウンリストから選択します。

- エラーにする
  認識結果に不正なフィールド値があった場合、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。
- 確認メッセージを表示する
  認識結果に不正なフィールド値があった場合、確認メッセージを表示します。
  ［はい］ボタンをクリックすると、そのまま出力します。

［いいえ］ボタンをクリックすると、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。ただし、「読み取り設定」タブの「表示オプション」で「出力速度を優先する」チェックボックスにチェックを付けている場合、編集画面には遷移せず、エラーとなり「バッチ管理」画面に表示されます。

- エラーにせずに出力する
  認識結果に不正なフィールド値があっても、そのまま出力します。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

フィールド名

フィールドの名前が表示されます。入力域に直接文字を入力して名前を変更できます。

種別

フィールド種別を選択します。
クリックすると、以下のフィールド種別がリストで表示されます。

- 直接入力
  フィールド値を直接入力する場合に指定します。
- ゾーン OCR
  フィールド値に、ゾーン OCR の認識結果を使用する場合に指定します。
- バーコード
  フィールド値に、バーコードの認識結果を使用する場合に指定します。
- システム
  フィールド値に、システム値を使用する場合に指定します。
  項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。
  - ジョブ名
  - バッチ名
  - ユーザー名
  - コンピューター名
  - 環境変数
  - スキャン日
  - スキャン時刻（HHmmss-24 時間表記）
  - 出力面

  ユーザー名、コンピューター名、および環境変数は、原稿の読み取りを実行したコンピューターの値になります。
- リストから選択
  フィールド値を 19.6.12 「リストの定義」画面 (374 ページ)で設定したリストから選択する場合に指定します。
- DB オートフィル
  フィールド値に、データベースから取得した値を設定する場合に指定します。
- 組み合わせ

フィールド値に、ほかのフィールドのフィールド値を組み合わせた値を設定する場合に指定します。

- 分割
フィールド値に、バーコードの認識結果を分割した値を設定する場合に指定します。
- JSON 解析
フィールド値に、JSON 解析で解析するバーコードの値を設定する場合に指定します。
- JSON 値
フィールド値に、JSON 解析で解析した値を取得し、設定する場合に指定します。
- パスポート
フィールド値に、パスポートから取得した値を使用する場合に指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
サブメニューから、指定する形式を選択してください。
  - MRZ 上段
  - MRZ 下段
  - 発行国
  - 姓
  - 名
  - 旅券番号
  - 国籍
  - 生年月日
  - 性別
  - 有効期間満了日
  - 個人番号

  パスポートを読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.8 パスポートの検知条件 (682 ページ)を参照してください。
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用してパスポートを読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.8 パスポートの検知条件 (682 ページ)を参照してください。
- ID カード(TD1)
フィールド値に、ICAO（国際民間航空機関）の規格（Doc 9303）に沿った TD1（ID-1 サイズ）の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
サブメニューから、指定する形式を選択してください。
  - MRZ 上段
  - MRZ 中段
  - MRZ 下段

- 発行国
- 文書番号
- 発行国拡張情報上段
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日
- 国籍
- 発行国拡張情報中段
- 姓
- 名

ID カード（TD1 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（30 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.9 ID カード（TD1）の検知条件 (684 ページ)を参照してください。
PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用して ID カード（TD1 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（30 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.9 ID カード（TD1）の検知条件 (684 ページ)を参照してください。

- ID カード(TD2)

フィールド値に、ICAO（国際民間航空機関）の規格（Doc 9303）に沿った TD2（ID-2 サイズ）の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- MRZ 上段
- MRZ 下段
- 発行国
- 姓
- 名
- 文書番号
- 国籍
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日
- 拡張情報

ID カード（TD2 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段

（36 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.10 ID カード（TD2）の検知条件 (686 ページ)を参照してください。
PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用して ID カード（TD2 準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（36 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、42.10 ID カード（TD2）の検知条件 (686 ページ)を参照してください。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、「ID カード(TD2)」の選択は不可となり、グレーアウトされます。

検出エリア

データ抽出の検出エリアを設定します。

画像全体

「種別」で「バーコード」または「JSON 解析」を選択すると表示されます。
選択すると、読み取った画像全体からバーコードを検出します。

エリア定義

「種別」で「バーコード」、または「JSON 解析」を選択すると表示されます。
選択すると、[エリアを定義 >>] ボタンが有効になります。

[エリアを定義 >>] ボタン

「種別」で「直接入力」、「ゾーン OCR」、「バーコード」、または「JSON 解析」を選択すると表示されます。
クリックすると、認識領域を設定する 19.6.3 エリア設定画面（データ抽出） (334 ページ)が表示されます。

[設定] ボタン

「種別」で「リストから選択」を選択すると表示されます。
クリックすると、「リストの定義」画面が表示されます。

分割 No.

「種別」で「分割」を選択すると表示されます。
ただし、選択したフィールドの「分割」の設定が「長さ」かつ「カスタマイズ」以外の場合に、表示されます。
分割された何番目かを 1 ～ 3741 までの値で指定します。

文字

「種別」で「分割」を選択すると表示されます。

ただし、選択したフィールドの「分割」の設定が「長さ」かつ「カスタマイズ」の場合に、表示されます。
何文字目から何文字目までの長さで分割するかを 1 ～ 3741 までの値で指定します。

属性

以下から選択できます。

- 必須
  選択すると、入力が必須になります。

  以下の条件をすべて満たす場合は、項目をマウスでポイントすると ⚙ が表示されます。

  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「種別」が「バーコード」、「ゾーン OCR」、「DB オートフィル」、「分割」、「JSON 値」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」
  - 「属性」が「必須」

  ⚙ をクリックすると、19.6.14 「代替オプション」画面 (375 ページ)が表示されます。

- 読み取り専用
  選択すると、読み取り専用になります。

- 継続
  選択すると、ドキュメントの 1 ページ目のフィールド値が、同じドキュメントの全ページに設定されます。また、「適用ページ」の設定は無効になります。
  「種別」で「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」を指定したときは、選択できません。

- DB ルックアップ
  「種別」で「直接入力」、「バーコード」、または「ゾーン OCR」を指定した場合に選択できます。
  選択すると、19.6.13 「ODBC データソース」画面 (374 ページ)で指定したデータベースと連携します。

  項目をマウスでポイントし、表示された ⚙ をクリックすると、「ODBC データソース」画面が表示されます。

言語

「種別」で「直接入力」または「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。

➡ 42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)

バーコードの種類

「種別」で「バーコード」または「JSON 解析」を選択すると表示されます。
クリックすると、検知するバーコードの種類を選択できます。

➡ 42.6 バーコードの種類と検知条件 (664 ページ)

「バーコード文字列」チェックボックス

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。
チェックを付けると、入力域に入力した文字列とドロップダウンリストで選択した条件に従って、認識するバーコードを検索します。
文字列は、128 バイト以内になるよう入力してください。条件は以下から選択できます。

- 完全一致
- 先頭一致
- 部分一致
- 正規表現

「フィールドを隠す」チェックボックス

「種別」で「直接入力」、「ゾーン OCR」、「バーコード」、「JSON 解析」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。
チェックを付けると、インデックスを編集する画面のフィールドパネルにフィールドが表示されません。

分割

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。
バーコードの認識結果を分割する場合に指定します。

「分割を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、バーコードの認識結果を分割します。
以下の分割方法があります。

- 文字
  どの文字で分割するかを入力して指定します。
- 長さ（固定）
  何文字で分割するかを 1～3741 までの値で指定します。
- 長さ（カスタマイズ）
  「種別」が「分割」のフィールドにある「文字」で、何文字目から何文字目までの長さで分割するかを 1～3741 までの値で指定します。

フィールド値プロパティ

フィールド値のプロパティを指定します。
フィールドの「種別」で、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）

- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）

種別

フィールド値の種別は、以下から選択できます。

- テキスト
- 数値
  「数値」を選択した場合は、さらに「少数の位」を指定します。
- 通貨
  「通貨」を選択した場合は、さらに「少数の位」と「通貨形式」を指定します。
- 日付と時刻
- ブーリアン

なお、フィールド値は、選択したフィールド値の種別に沿って、以下のようにチェックされます。

- テキスト
  文字列であるかをチェックします。
- 数値
  数値であるかをチェックします。数値ではない場合や、指定した小数の位と異なる場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
  桁区切り文字で区切られている場合、桁区切りの位置はチェックしません。ただし、先頭に桁区切り文字がある場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
- 通貨
  数値だけ、または文字列の最初か最後に指定した通貨記号を含む数値であるかをチェックします。
  指定した小数の位と異なる場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
  桁区切り文字で区切られている場合、桁区切りの位置はチェックしません。ただし、先頭に桁区切り文字がある場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
- 日付と時刻
  指定されている日付と時刻の形式に沿った値であるかをチェックします。
  日付と時刻の形式は、「コントロール パネル」→「時計、言語、および地域」→「地域と言語」の「形式」タブの指定に従います。
- ブーリアン
  Boolean 型の文字列（true / false）、または数値であるかをチェックします。
  Boolean 型の文字列の場合、大文字小文字の区別はしません。
  数値の場合、0 は false、0 以外の数値は true を意味します。

さらに厳密なチェックを実施したい場合は、「フィールドルール」での設定を追加してください。

不正なフィールド値

「種別」で「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」を選択すると表示されます。

出力するときに、不正なフィールド値があった場合の動作を、ドロップダウンリストから選択します。

- エラーにする
  認識結果に不正なフィールド値があった場合、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。
- 確認メッセージを表示する
  認識結果に不正なフィールド値があった場合、確認メッセージを表示します。
  [はい] ボタンをクリックすると、そのまま出力します。
  [いいえ] ボタンをクリックすると、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。ただし、「読み取り設定」タブの「表示オプション」で「出力速度を優先する」チェックボックスにチェックを付けている場合、編集画面には遷移せず、エラーとなり「バッチ管理」画面に表示されます。
- エラーにせずに出力する
  認識結果に不正なフィールド値があっても、そのまま出力します。

マスキング

この項目は、「フィールド属性」の「種別」に「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
マスキングの設定を以下から選択します。

- なし
  マスキングを実行しません。
- 黒
  データ抽出の検出エリアを黒色で塗りつぶして出力します。
- 白
  データ抽出の検出エリアを白色で塗りつぶして出力します。

重要

- マスキングを設定した画像は、文書の改ざんとみなされる場合があります。マスキングを設定しても問題ないか事前に確認してください。
- PaperStream IP ドライバーの「デジタルエンドーサ」で指定した文字列の出力位置と、マスキングのフィールドが重ならないようにしてください。重なっていると、デジタルエンドーサで出力した文字列がマスキングで塗りつぶされた状態になります。

フィールドルール

フィールド値の文字列のルールを指定します。
フィールドの「種別」で、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。

「正規表現」チェックボックス

チェックを付けると、正規表現の指定ができます。
入力域に直接入力するか、[ルール] ボタンから選択します。

[ルール] ボタン

クリックすると、正規表現に指定できる項目が表示されます。
以下から選択できます。

- 文字（.）
- アルファベット文字（A-Z,a-z）
- 数字（0-9）
- 直前の表現が 1 個以上（+）
- 直前の表現が 0 個以上（*）

重要

- 正規表現を直接入力する場合、次の構文を指定すると、期待する認識結果が得られません。
¥、$、?、{n}、{n,}、{n,m}、(?:pattern)、(?=pattern)、(?!pattern)、¥B、¥cx、¥d、¥D、¥f、¥n、¥r、¥S、¥s、¥t、¥v、¥w、¥W、¥xn、¥n、¥nm、¥nml、¥un
- 認識する対象の文字とは明らかに異なる正規表現を指定した場合、期待する認識結果が得られません。

「長さ」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる文字数を指定できます。
文字数は、1 ～ 255 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）
- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

「数値」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる数字の範囲を指定できます。
数字の範囲は、-1.79E+308 ～ 1.79E+308 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）

- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

適用ページ

指定したページにフィールドを設定します。
フィールドの「種別」で、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。
「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合、または「定義モード」が「互換モード」の場合は、この項目が非表示になります。

指定ページ

指定するページを、1 ～ 999 の範囲で直接入力します。
読み取り直後は、各ドキュメントの、ここで指定したページのフィールドとして設定されます。
抽出データの編集でフィールドに対する指定ページの値も変更できます。

全ページ

すべてのページを指定します。

関連項目

14.15 原稿内の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (154 ページ)
14.40 抽出データの高度な設定 (211 ページ)
19.6.9 「AI プロンプト定義」画面 (371 ページ)

19.6.1 「オプション設定」画面

データ抽出するページを指定できます。

選択モード

指定したページをデータ抽出対象にします。

除外モード

指定したページをデータ抽出対象外にします。

ページ

ページを指定します。

- 単一ページはページ数を数字で入力します。
  3 ページ目を指定する場合、「3」
- 範囲指定は「-」で表します。
  先頭から 3 ページを指定する場合「-3」または「1-3」
  2 から 4 ページを指定する場合「2-4」
  5 から最終ページを指定する場合「5-」
- 複数指定は「,」で区切ります。「,」は 2 回まで使用できます。

先頭～3 ページまでと、5 ページと、7～最終ページまでを指定する場合、「-3, 5, 7-」

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.6.2 「バーコードの設定」画面（データ抽出）

バーコードの認識方法や出力方法を設定する画面です。
「データ抽出設定」タブの［バーコードの設定］ボタンをクリックした場合に表示されます。

「UTF-8 の QR コードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、QR コードを UTF-8 の文字コードで認識します。

「2 次元コード内に制御コード[NUL]以降のデータも出力」チェックボックス

チェックを付けると、2 次元コードのバーコードを認識したときに、データの途中に制御コードの［NUL］があっても情報を切らずに出力します。

「不鮮明な 1 次元バーコードの読み取り」チェックボックス

チェックを付けると、不鮮明で読み取れなかった 1 次元バーコードを再読み取りします。なお、チェックを付けると読み取りに時間がかかる場合があります。

19.6.3 エリア設定画面（データ抽出）

データを抽出するフィールドの認識領域を設定する画面です。

フィールド名

認識領域を設定するフィールド属性の名前を表示します。クリックして表示されるリストで、設定するフィールドを変更できます。

ツールバー

認識領域の確認や編集に使用します。
表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

画像

追加

別の原稿を読み取って、選択しているページの直後に追加します。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

差し替え

別の原稿を読み取って、選択しているページを差し替えます。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

90 度回転

選択しているページを右に 90 度回転します。

-90 度回転

選択しているページを左に 90 度回転します。

180 度回転

選択しているページを 180 度回転します。

削除

選択しているページを削除します。

操作モード

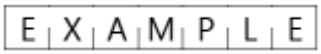
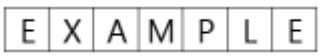
エリア設定

フィールドの認識範囲を変更します。
画像上で、フィールド値を検出する領域をドラッグして選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。
認識領域を選択すると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  フィールド属性の「種別」が「直接入力」または「ゾーン OCR」の場合、認識する文字の種別を選択する領域が表示されます。表示された領域で、認識する文字の種別をドロップダウンリストから選択し、必要に応じて文字数を指定します。文字の数は、1 ～ 2147483647 までの値で指定します。対象の言語は英語 、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、インドネシア語、デンマーク語、ノルウェー語、ハンガリー語、またはフィンランド語です。それ以外の言語は、認識する文字の種別は選択できず、SimpleText で認識します。
  以下に認識する文字の種別を示します。

種別	説明	例
SimpleText	境界線や下線がない文字を検出します。	EXAMPLE
UnderlinedText	下線がある文字を検出します。	EXAMPLE
TextInFrame	囲み枠の中にある文字を検出します。	EXAMPLE
GreyBoxes	灰色の背景の上にある、別個の白い背景内の文字を検出します。	E X A M P L E

種別	説明	例
CharBoxSeries	別個の枠の中にある文字を検出します。	
SimpleComb	個々の文字の間を短い線で区切った下線上にある文字を検出します。	
CombInFrame	個々の文字の間を短い線で区切った囲み枠のある文字を検出します。	
PartitionedFrame	個々の文字の間を区切った枠の中にある文字を検出します。	

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズでページを表示します。

ビューアー

読み取った画像を表示します。

フィールドパネル

フィールドのフィールド値を表示します。

［スキャン］ボタン

クリックすると、原稿の読み取りを開始します。

［OK］ボタン

クリックすると、エリアの設定を確定して「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

［キャンセル］ボタン

クリックすると、「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

19.6.4 「管理」画面

帳票を手動で登録します。

スキャナー

選択しているスキャナーのアイコンとスキャナー名が表示されます。

- PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の場合
  クリックすると、コンピューターに接続しているスキャナーが表示されます。表示されるドロップダウンリストから、使用するスキャナーを選択します。
  PaperStream Capture Pro で PaperStream AI を利用している場合は、「File Import」も選択できます。
- PaperStream Capture Pro Premium の場合
  「PaperStream IP Import」と「File Import」も表示されます。
  クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、使用するスキャナー、「PaperStream IP Import」、または「File Import」を選択します。
  「File Import」が選択された場合、以下の項目が表示されます。

固定フォルダー

取り込み元のフォルダーを指定します。指定した場合、読み取り開始時に「フォルダー選択」画面は表示されず、指定したフォルダーから取り込みます。
指定しない場合は、読み取り開始時に「フォルダー選択」画面が表示されます。
フォルダー監視を有効にする場合は、必ず指定してください。指定したフォルダーが存在しない場合は、メッセージが表示されて読み取りを中止します。

「サブフォルダーのファイルもインポートする」チェックボックス

チェックを付けると、「固定フォルダー」で指定したフォルダーのサブフォルダーにあるファイルも取り込みます。
本項目は、「監視フォルダー詳細設定」画面の「サブフォルダも監視対象とする」チェックボックスと連動するため、どちらかにチェックを付けるともう一方もチェックが付きます。

重要

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、TWAIN ドライバーに対応した他社製のスキャナーを使用できます。ただし、PaperStream Capture Pro の場合、A3 対応の他社製スキャナーは使用できません。

なお、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用した場合、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で使用できない機能があります。

➡ 機能一覧 (26 ページ)

- 他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用した場合の PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の動作は保証しません。

「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」チェックボックス

以下の場合にチェックボックスにチェックを付けて、デフォルトの読み取り設定（画像タイプ：カラー、解像度：300dpi、用紙サイズ：自動）を変更します。

- 帳票の背景に小さい文字や薄い模様などのパターン（地紋）があり、デフォルトの読み取り設定では認識精度が低くなるため、画像タイプと解像度を変更したい場合
- 裏当て（背景色）が白色のフラットベッドスキャナーで、用紙サイズを指定して読み取る場合

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。

［詳細設定］ボタン

ドロップダウンリストで選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。
クリックすると、PaperStream IP ドライバーの画面が表示されます。
他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合で読み取り設定を変更したいときは、クリックして、ドライバーの設定を変更できます。

重要

- 帳票の仕分けやデータ抽出を行うジョブの場合は、帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にすることを推奨します。設定が異なると、文字列やバーコード/QR コードを読み取る認識精度が低くなり、認識結果の表示に時間がかかる場合があります。

帳票リスト

帳票名がリストで表示されます。

［帳票種追加］ボタン

PaperStream AI の場合に表示されます。
クリックすると、帳票リストに帳票種を追加します。帳票種名を指定してください。
同じ帳票種の配下にある帳票は、選択できるフィールド名を共有できます。帳票種の配下に帳票を追加する場合は、［レイアウト追加］ボタンをクリックしてください。

［レイアウト追加］ボタン

クリックするとビューアーが表示されます。ビューアー内の［スキャン］ボタンをクリックして未記入の帳票を読み取り、帳票として追加します。
帳票は、最大 1000 個まで登録できます。

［編集］ボタン

クリックすると、19.6.5 「帳票編集」画面 (344 ページ)が表示され、帳票の編集や帳票識別フィールドの設定/編集/削除ができます。
帳票を編集する場合は、事前にジョブを保存してください。
ただし、以下の帳票は編集できません。

- ほかのジョブで使用されている帳票
- 「データ抽出設定」タブから「管理」画面を表示して編集しようとした帳票が、「仕分け設定」タブの帳票リストでも選択されている場合
- 「仕分け設定」タブから「管理」画面を表示して編集しようとした帳票が、「データ抽出設定」タブの帳票リストでも選択されている場合

［参照作成］ボタン

クリックすると、帳票リストで選択している帳票の画像とフィールド定義を複製して、「（参照元の帳票名）_コピー」という帳票を追加します。

［削除］ボタン

クリックすると、選択している帳票を削除します。
帳票を削除する場合は、事前にジョブを保存してください。
ただし、以下の帳票は削除できません。

- ほかのジョブで使用されている帳票
- 「データ抽出設定」タブから「管理」画面を表示して削除しようとした帳票が、「仕分け設定」タブの帳票リストでも選択されている場合
- 「仕分け設定」タブから「管理」画面を表示して削除しようとした帳票が、「データ抽出設定」タブの帳票リストでも選択されている場合
- PaperStream AI の場合、事前に登録されている以下の帳票
  - 見積書
  - 請求書
  - 注文書
  - 納品書
  - 領収書

帳票の絞り込み

クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、絞り込み方法を選択して、対象の帳票を表示します。

すべての帳票

登録しているすべての帳票を表示します。

ジョブで使用中の帳票

ジョブで使用されている帳票を表示します。

ジョブで未使用の帳票

ジョブで使用されていない帳票を表示します。

帳票の検索

帳票名または帳票名の一部を入力して［検索］ボタンをクリックすると、対象の帳票が表示されます。

帳票名

帳票名をダブルクリックして、帳票名を編集できます。
最大で 255 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字（/ : ? * < > | [ ] = " $! `）は帳票名に使用できません。
類似する定型帳票を識別するための帳票識別フィールドが設定されている場合に、帳票名の横にが表示されます。

ドライバープロファイル

「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」チェックボックスにチェックを付けて帳票を登録した場合、使用した PaperStream IP ドライバーのプロファイル名が表示されます。
他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合は、スキャナー名が表示されます。

帳票の並べ替え

帳票の表示順を、以下の方法で変更できます。
「管理」画面を閉じると、デフォルトの表示に戻ります。

- 帳票名（昇順 / 降順）
  帳票リストの「帳票名」をクリックするごとに、帳票名の昇順（▲）→降順（▼）→デフォルト表示の順に、帳票の表示順を変更できます。
- ドライバープロファイル名（昇順 / 降順）
  帳票リストの「ドライバープロファイル」をクリックするごとに、ドライバープロファイル名の昇順（▲）→降順（▼）→デフォルト表示の順に、帳票の表示順を変更できます。
  ドライバープロファイル以外の表示がある場合は、以下の表示順になります。
  - 昇順の場合
    1. ドライバープロファイル名（昇順）
    2. 「なし」
    3. 空白
    4. 他社製のスキャナー名（昇順）
  - 降順の場合
    1. ドライバープロファイル名（降順）
    2. 「なし」
    3. 空白

4 他社製のスキャナー名（降順）

［上へ］ボタン

クリックすると、選択中の帳票を 1 つ上の帳票と入れ替えます。

［下へ］ボタン

クリックすると、選択中の帳票を 1 つ下の帳票と入れ替えます。

帳票数

PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium の場合に、「帳票数（登録している帳票数/1000）」を表示します。

クラウド

PaperStream AI の場合に、「クラウド(登録している非定型帳票数/1000)」を表示します。

ローカル

PaperStream AI の場合に、「ローカル(登録している定型帳票数/1000)」を表示します。

- **ビューアー**

［スキャン］ボタン

- 以下の設定で読み取ります。
  - 「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」のチェックボックスにチェックを付けた場合
    クリックすると、選択した PaperStream IP ドライバーの設定で読み取りを開始します。
  - 「ドライバープロファイルを使用して帳票を設定する」のチェックボックスにチェックを付けていない場合
    クリックすると、以下の設定で帳票の読み取りを開始します。

    画像タイプ: カラー

    解像度： 300dpi

    用紙サイズ :自動
- 「読み取り設定」タブの「読み取り面」の設定によって、給紙方法が異なります。

「読み取り面」の設定	給紙方法
片面	PaperStream IP ドライバーで「裏面」に設定されていても、必ず「表面」が読み取られる
両面	「表面」と「裏面」が読み取られる
フラットベッド	フラットベッドの原稿台で給紙される
ドライバーの設定に従う	PaperStream IP ドライバーでデフォルトの「自動切替え」になる（ADF 給紙シュート（フィーダー）の読み取り面は「表面」になる）

- 読取りを中止する場合は、ツールバーの「キャンセル」をクリックするか、または「Esc」キーを押してください。

ビューアー

ビューアーの横にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。
ビューアーとサムネール一覧の境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
定型帳票に印字済みの文字領域を認識させる場合は、ツールバーの「エリア内消去」をクリックして、読み取った画像上で対象の印字文字の領域をドラッグして消去します。
帳票が未定義、未認識、またはエラーの場合、サムネールに［再度帳票識別を行う］ボタンが表示されます。
PaperStream AI を使用して再度帳票識別を行う場合、［再度帳票識別を行う］ボタンをクリックする前の状態によっては PaperStream AI での読み取りとしてカウントされます。
PaperStream AI での読み取りとしてカウントされる条件は、第 28 章 ツールバー (440 ページ)の

リトライを参照してください。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。
バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。
デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

ツールバー

画像の編集に使用します。
表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

画像

キャンセル

登録帳票の読み取り中に表示されます。
クリックすると、読み取りを中止します。

差し替え

登録帳票の読み取りが完了している場合に表示されます。
別の帳票を読み取って、選択している帳票を差し替えます。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

90 度回転

選択しているすべての帳票を右に 90 度回転します。

削除

選択しているすべての帳票を削除します。

削除した帳票は登録されません。

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

操作モード

エリア内消去

選択した領域を消去します。
画像上で、消去する領域をドラッグして選択します。

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

帳票を 1 段階縮小して表示します。

拡大

帳票を 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーに帳票の全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせて帳票を表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズで帳票を表示します。

ナビゲーション

現在ページ数/全ページ数が表示されます。
アイコンをクリックして、ページを移動できます。

［完了］ボタン

クリックすると、帳票の登録を完了します。

［キャンセル］ボタン

クリックすると、帳票の登録をキャンセルします。

［閉じる］ボタン

クリックすると、「管理」画面を閉じます。

19.6.5 「帳票編集」画面

登録帳票の編集、および帳票識別フィールドの設定/編集/削除ができます。

ツールバー

画像の編集に使用します。

画像

差し替え

別の帳票を読み取って、選択している帳票を差し替えます。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。
差し替える前の帳票にフィールドが定義されていた場合、フィールドの定義はそのまま残ります。
帳票識別フィールドの場合、「キーワード」の文字列も再度認識されます。

90 度回転

選択している帳票を右に 90 度回転します。

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

操作モード

エリア設定

帳票識別フィールドのエリアを設定します。
画像上で、類似帳票を識別するためのキーワード（活字文字列）を検出する領域をドラッグして選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、帳票識別フィールドを削除します。
領域を設定すると、「キーワード」に認識結果が表示されます。

エリア内消去

選択した領域を消去します。
画像上で、消去する領域をドラッグして選択します。

帳票識別フィールド内の領域を消去した場合、「キーワード」の文字列も再度認識されます。

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

帳票を 1 段階縮小して表示します。

拡大

帳票を 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーに帳票の全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせて帳票を表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズで帳票を表示します。

ビューアー

ビューアーに「管理」画面の帳票リストで選択した帳票の画像を表示します。

帳票識別フィールド

言語

PaperStream Capture で使用している言語が表示されます。
言語を変更する場合は、ドロップダウンリストから言語を選択します。
言語を変更すると、「キーワード」の文字列も再度認識されます。

キーワード

帳票識別フィールドを設定したエリアの活字文字列の認識結果が表示されます。
最大で 255 文字まで設定できます。

[完了] ボタン

クリックすると、帳票の編集を完了します。

［キャンセル］ボタン

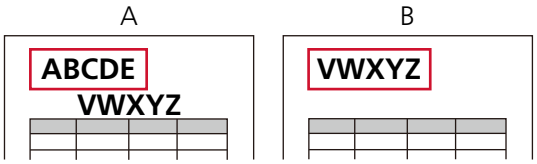
クリックすると、帳票の編集をキャンセルします。

19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面

類似する定型帳票を識別するためのキーワード（活字文字列）を検出する帳票識別フィールドを定義する画面です。

重要

- 帳票識別フィールドは、定型帳票に印字されている活字文字列の領域に設定してください。アイコンや手書き文字は設定できません。
  また、以下の条件を満たしてください。
  - 活字文字列の条件
    - 横書き
    - フォントサイズが 10 ～ 36 ポイント
    - ほかの帳票にはない、その帳票だけに印字されている文字を多く含めること
      ただし、数字だけの文字列は、誤認識される場合があります。
  - 帳票識別フィールドの条件
    帳票識別フィールドの周辺に、ほかの帳票で設定した帳票識別フィールドの文字列が印字されていないこと
    例えば、帳票識別フィールド（赤枠）の設定が以下の場合、帳票 A が帳票 B だと識別される場合があります。



- 類似する定型帳票の識別を行う場合は、対象の帳票すべてに帳票識別フィールドを設定してください。

- ほかのジョブで使用している定型帳票の場合、帳票識別フィールドは設定できません。
- 以下で設定したゾーン OCR の認識領域の数が合計 100 個の場合、帳票識別フィールドは設定できません。
  - 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択して、「ゾーン OCR」をフィールドに設定した認識領域
  - 「仕分け設定」タブで「ゾーン OCR」を選択して、設定した認識領域

ツールバー

帳票識別フィールドの確認や編集に使用します。

画像

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

操作モード

エリア設定

帳票識別フィールドのエリアを設定します。
画像上で、類似帳票を識別するためのキーワード（活字文字列）を検出する領域をドラッグして選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、帳票識別フィールドを削除します。
領域を設定すると、「キーワード」に認識結果が表示されます。

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

帳票を 1 段階縮小して表示します。

拡大

帳票を 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーに帳票の全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせて帳票を表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズで帳票を表示します。

ビューアー

類似帳票のサムネール一覧と、サムネール一覧で選択されているページの画像を表示します。
サムネール一覧には、類似帳票がグループ単位で表示されます。また、各グループの最初に、「「グループの先頭のページ名」の類似帳票」が表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。
バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。
デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

［更新］ボタン

クリックすると、サムネール一覧を更新します。
別の帳票として識別できるようになった帳票は、表示されなくなります。

帳票識別フィールド

言語

PaperStream Capture で使用している言語が表示されます。
言語を変更する場合は、ドロップダウンリストから言語を選択します。
言語を変更すると、「キーワード」の文字列も再度認識されます。

キーワード

帳票識別フィールドを設定したエリアの活字文字列の認識結果が表示されます。
最大で 255 文字まで設定できます。

［完了］ボタン

クリックすると、帳票識別フィールドの設定を保存します。

［一時保存］ボタン

クリックすると、帳票識別フィールドの設定を保存します。
ほかに類似帳票があるかどうかのチェックは行いません。

［キャンセル］ボタン

クリックすると、帳票識別フィールドの設定を保存せずに、元の画面に戻ります。

19.6.7 「フィールド定義」画面

帳票のデータ抽出のフィールド定義とフィールドの認識領域を設定します。

- **定型帳票の「フィールド定義」画面**

「データ抽出設定」タブの「定型画像」タブで［フィールド定義］ボタンをクリックして表示される「フィールド定義」画面です。

フィールドリスト

帳票のフィールド名がリストで表示されます。

［追加］ボタン

クリックすると、フィールドを追加します。

- PaperStream Capture の場合
  追加できるフィールドは、1 か所です。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  追加できるフィールドは、最大 100 か所です。
- PaperStream AI の場合
  追加できるフィールドは、以下のとおりです。
  タイプ「クラウド」合計 100 個
  タイプ「クラウド」配下の「ローカル」合計 100 個
  タイプ「-」配下の「ローカル」合計 150 個

［自動追加］ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、19.6.11 「フィールドの自動追加」画面 (372 ページ)が表示されます。

［参照作成］ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
クリックすると、フィールドリストで選択しているフィールドを複製して、フィールドを追加します。

重要

- 「仕分け設定」タブの「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択している場合、 「種別」が「ゾーン OCR」のフィールド数と、19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)で仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」のフィールドの参照作成は不可となり、本項目はグレーアウトされます。

［削除］ボタン

クリックすると、選択しているフィールドを削除します。
フィールドをすべて削除した場合、その帳票はデータ抽出対象から外れ、「データ抽出設定」タブの帳票リストのチェックが外れます。

［グループ化］ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
フィールドリストで「種別」が「チェックマーク」のフィールドを、「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押したまま複数選択した場合に、活性化されます。
クリックすると、選択した複数のフィールドがグループ化され、1 つのフィールドになります。

[グループ解除] ボタン

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、フィールドリストでグループ化したチェックマークのフィールドを 1 つ選択した場合に、[グループ化] ボタンが［グループ解除］ボタンに切り替わります。
クリックすると、グループ化が解除され、グループ解除したフィールドの下にグループ化する前のフィールドが追加されます。

フィールド名

フィールド名をクリックすると、フィールド名を指定できます。
[追加] ボタンを押してフィールドを追加した場合は、フィールド名を入力できます。
最大で 255 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字（< > [ ] = " $! . `）はフィールド名に使用できません。
フィールド名の横に、フィールドの種別を表すアイコンが表示されます。

- PaperStream Capture の場合


: ゾーン OCR


: バーコード

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合


: ゾーン OCR


: バーコード


: チェックマーク


: チェックマークグループ


: 直接入力


: リストから選択

[上へ] ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium の場合で、フィールドが複数あるときに表示されます。
クリックすると、選択中のフィールドを 1 つ上のフィールドと入れ替えます。

[下へ] ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium の場合で、フィールドが複数あるときに表示されます。
クリックすると、選択中のフィールドを 1 つ下のフィールドと入れ替えます。

フィールド数

- PaperStream Capture の場合

「フィールド数（設定しているフィールド数/1)」を表示します。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
「フィールド数（設定しているフィールド数/100)」を表示します。

フィールド属性

フィールドリストで選択しているフィールドの詳細が表示されます。

- PaperStream Capture の場合

種別

フィールド種別を選択します。
クリックすると、以下のフィールド種別がリストで表示されます。

- ゾーン OCR
  フィールド値に、ゾーン OCR の認識結果を使用する場合に指定します。
- バーコード
  フィールド値に、バーコードの認識結果を使用する場合に指定します。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」選択は不可となり、グレーアウトされます。

言語

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。

➡ 42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。

バーコードの種類

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。
クリックすると、検知するバーコードの種類を選択できます。

➡ 42.6 バーコードの種類と検知条件 (664 ページ)

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

種別

フィールド種別を選択します。
クリックすると、以下のフィールド種別がリストで表示されます。

- ゾーン OCR
  フィールド値に、ゾーン OCR の認識結果を使用する場合に指定します。

- バーコード
  フィールド値に、バーコードの認識結果を使用する場合に指定します。
- チェックマーク
  フィールド値にチェックマークの認識結果を使用する場合に指定します。
- 直接入力
  フィールド値を直接入力する場合に指定します。
- リストから選択
  フィールド値を 19.6.12 「リストの定義」画面 (374 ページ)で設定したリストから選択する場合に指定します。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」選択は不可となり、グレーアウトされます。

[設定] ボタン

「種別」で「リストから選択」を選択すると表示されます。
クリックすると、「リストの定義」画面が表示されます。

属性

以下から選択できます。

- 必須
  選択すると、入力が必須になります。

  以下の条件をすべて満たす場合は、項目をマウスでポイントすると  が表示されます。

  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「種別」が「バーコード」、「ゾーン OCR」
  - 「属性」が「必須」

   をクリックすると、19.6.14 「代替オプション」画面 (375 ページ)が表示されます。
- 読み取り専用
  選択すると、読み取り専用になります。

初期値

「種別」で「直接入力」または「リストから選択」を選択した場合に表示されます。
「初期値」で設定した値が、フィールド値のデフォルトになります。

- 「種別」で「直接入力」を選択した場合
  「初期値」を設定して、認識領域（エリア）を設定している場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルのフィールドには、「初期値」で設定した値を表示します。
  「初期値」が未入力の場合、フィールド値に文字は設定されず、フィールドは空白になります。

- 「種別」で「リストから選択」を選択した場合
「リストの定義」画面で定義しているリストに表示するデータから、初期値にするデータを選択します。
ただし、「リストの定義」画面で「リストにない値の入力を許可」チェックボックスにチェックが付いている場合は、リストに定義されていない値を直接入力できます。
「リストの定義」画面の「データベースから移入」チェックボックスにチェックを付けている場合、この項目は非活性になります。

言語

「種別」で「ゾーン OCR」または「直接入力」を選択すると表示されます。
ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。

➡ 42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。

形式

「種別」で「ゾーン OCR」または「直接入力」を選択すると表示されます。
ゾーン OCR で認識した手書き文字、または画像を確認/編集する画面のフィールドパネルのフィールドに直接入力する文字列の形式を選択します。
PaperStream Capture Pro AI-OCR がインストールされていない場合、本項目は非活性になります。
以下の条件をすべて満たす場合に選択できます。

- 「定義モード」が「標準モード」
- 「種別」が「ゾーン OCR」または「直接入力」
- 「言語」で以下のどれかを選択
  - 日本語
  - 英語
  - ドイツ語
  - フランス語
  - イタリア語
  - スペイン語
- PaperStream Capture Pro AI-OCR がインストールされている

以下の形式を選択できます。

- 一般
- 氏名
- 住所
- 日付

- 金額・数値
- 電話番号
- 数字・ハイフン
- メールアドレス

確信度

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
ゾーン OCR で得た結果がどれだけ正しいと推定できるかを数値で指定します。

マスキング

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
マスキングの設定を以下から選択します。

- なし
  マスキングを実行しません。
- 黒
  データ抽出の検出エリアを黒色で塗りつぶして出力します。
- 白
  データ抽出の検出エリアを白色で塗りつぶして出力します。

重要

- マスキングを設定した画像は、文書の改ざんとみなされる場合があります。マスキングを設定しても問題ないか事前に確認してください。

「認識結果の形式変換」チェックボックス

「種別」で「ゾーン OCR」または「直接入力」を選択し、「形式」で「日付」を選択した場合に表示されます。
チェックを付けると、「形式変換後の構成」が表示され、インデックス情報ファイルに出力する日付の構成や、画像のファイル名や保存先のフォルダー名に付与する日付の構成を指定できます。
本項目は、PaperStream Capture Pro AI-OCR のバージョンが 5.1 より前の場合、非活性になります。
認識結果の変換の仕様については、日付の出力形式変換の仕様 (678 ページ)を参照してください。

形式変換後の構成

出力する日付の構成を指定します。
日付の構成を指定する入力域の横にある［要素］ボタンまたは［区切り文字］ボタンをクリックして、表示される項目を選択します。
ただし、日付の構成が以下の場合は、エラーになります。

- 同じ要素が複数ある
- 最初と最後に区切り文字を指定している

- 区切り文字だけを指定している
- 区切り文字が連続している
- 区切り文字が 3 つ以上ある
- 異なる区切り文字を指定している

日付の認識結果に「形式変換後の構成」で指定した項目がなかった場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルの「フィールド」には、認識結果をそのまま赤色の文字で表示し、注意を表示します。

[要素] ボタン

日付の項目を、以下から選択します。
選択すると、日付構成の入力域に、該当の項目が青色のタグで表示されます。

- yyyy
  年を表示します。
- yy
  年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- MM
  月を 2 桁の数字で表示します。
- dd
  日を表示します。
- テキスト形式の日付
  「言語」で「日本語」以外を選択した場合に表示されます。
  月の名称を表示します。
  例えば、「言語」が「英語」で 1 月の場合は、「January」が出力されます。
- 月の略称
  「言語」で「日本語」以外を選択した場合に表示されます。
  月の名称を略記で表示します。
  例えば、「言語」が「英語」で 1 月の場合は、「Jan」が出力されます。

[区切り文字] ボタン

[要素] ボタンで選択した複数の日付の項目を、区切り文字で区切りたい場合は、以下から選択して挿入します。
選択すると、日付構成の入力域に、区切り文字が黄色のタグで表示されます。

- /
- -
- _
- .
- ,
- (空白)

バーコードの種類

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。
クリックすると、検知するバーコードの種類を選択できます。

➡ 42.6 バーコードの種類と検知条件 (664 ページ)

チェックマークの種類

「種別」で「チェックマーク」を選択すると表示されます。
チェックマークの種類を以下から選択します。

- 上書き/枠内マーク
  帳票の文字列の上のマーク、または枠の中のマークを認識する場合に選択します。

  例：文字列の上のマーク

  例：枠の中のマーク

- 枠内マーク
  枠の中のマークを認識する場合に選択します。
  「上書き/枠内マーク」を選択した場合よりも、認識精度が向上します。

チェックマーク検出感度

「チェックマークの種類」で「枠内マーク」を選択すると表示されます。
記入されたマークの検出感度を以下から選択します。

- 感度 1
- 感度 2
- 感度 3
- 感度 4
- 感度 5

設定値が大きいほど検出感度が高くなり、小さく記入されたマークも検出しやすくなります。
ただし、よごれやゴミをマークとして検出しやすくなります。

記入マーク数

グループ化したチェックマークのフィールドを選択すると表示されます。
マークを記入できる読み取りエリアの上限数（1 ～ 読み取りエリア数）をドロップダウンリストから選択します。
マークを検出した読み取りエリアの数が指定した上限を超えた場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルのフィールド枠がオレンジ色になり、メッセージを表示します。

デフォルトは、こだわり作成の場合は「1」です。かんたん作成の場合は、読み取りエリア数の最大値です。

フィールドルール

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
フィールド値の文字列のルールを指定します。
「種別」で「バーコード」、「ゾーン OCR」、「直接入力」、または「リストから選択」を選択した場合に表示されます。

「正規表現」チェックボックス

チェックを付けると、正規表現の指定ができます。
入力域に直接入力するか、[ルール] ボタンから選択します。

[ルール] ボタン

クリックすると、正規表現に指定できる項目が表示されます。
以下から選択できます。

- 文字（.）
- アルファベット文字（A-Z,a-z）
- 数字（0-9）
- 直前の表現が 1 個以上（+）
- 直前の表現が 0 個以上（*）

「長さ」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる文字数を指定できます。
文字数は、1 ～ 255 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）
- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

補正

「長さ」チェックボックスにチェックを付けると、設定できます。ドロップダウンリストで以下のどれかを選択します。
「認識結果の形式変換」チェックボックスにチェックが付いている場合は「補正なし」の設定になり、この項目は非活性になります。

- 補正なし
  固定長を指定しません。
- 固定長にゼロ埋めをする
  「長さ」の「最大」で指定した文字数で出力します。
  「最大」で指定した文字数に満たない場合、文字列の先頭に「0」を挿入して出力します。
- 固定長にスペース埋めをする
  「長さ」の「最大」で指定した文字数で出力します。
  「最大」で指定した文字数に満たない場合、文字列の末尾に空白を挿入して出力します。

ただし、「種別」が「リストから選択」の場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルの「フィールド」のリストには、補正なしの文字列を表示します。

「数値」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる数字の範囲を指定できます。
数字の範囲は、-1.79E+308 ～ 1.79E+308 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）
- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

読み取りエリア

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、フィールドリストで「種別」が「チェックマーク」のフィールドを選択した場合、またはグループ化したチェックマークのフィールドを選択した場合に表示されます。
チェックマークのマークを検出した場合、または検出しなかった場合に出力する文字を指定します。
グループ化したフィールドで複数のマークを検出した場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルの「フィールド」に、各読み取りエリアの出力文字を「,」で区切って表示します。

［削除］ボタン

クリックすると、選択中の読み取りエリアを削除します。

［上へ］ボタン

クリックすると、選択中の読み取りエリアを 1 つ上の読み取りエリアと入れ替えます。
読み取りエリアの順序を変更すると、出力文字の出力順も変更されます。

［下へ］ボタン

クリックすると、選択中の読み取りエリアを 1 つ下の読み取りエリアと入れ替えます。
読み取りエリアの順序を変更すると、出力文字の出力順も変更されます。

出力文字

クリックして選択した読み取りエリア（#M）にマークが記入されていた場合に出力する文字を、全角または半角で設定します。
最大で 255 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字（/ : ? * < > | [ ] = " $! `）は設定できません。

未記入時の出力文字

読み取りエリアにマークが記入されていない場合、出力する文字を全角または半角で設定します。
グループ化したフィールドの場合、すべての読み取りエリアにマークが記入されていないときに出力する文字となります。
設定しなかった場合は、何も出力されません。また、グループ化したフィールドの場合は「,」も出力されません。
最大で 255 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字（/ : ? * < > | [ ] = " $! `）は設定できません。

ビューアー

「データ抽出設定」タブの「帳票リスト」で選択した帳票の画像を表示します。
「データ抽出設定」タブの「データ抽出項目」タブの［フィールド定義］ボタンをクリックして表示した場合、本項目は表示されません。
データを抽出するフィールドの認識領域を設定します。
定型帳票に印字済みの文字を認識の対象外にする場合は、印字文字をフィールドの認識領域に含めないようにしてください。

ツールバー

認識領域の確認や編集に使用します。
「データ抽出設定」タブの「データ抽出項目」タブの［フィールド定義］ボタンをクリックして表示した場合、本項目は表示されません。
表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

操作モード

エリア設定

フィールドの認識範囲を変更します。
読み取った画像上で、フィールド値を検出する領域をドラッグして選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。

グループ設定

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
「種別」が「チェックマーク」で、認識領域（エリア）が設定されているフィールドが複数設定されている場合、またはグループ化したフィールドがある場合に活性化されます。

クリックすると、グループ設定モードになり、ビューアーの画像上に、「種別」が「チェックマーク」のフィールドのエリアがすべて表示されます。
画像上で対象のフィールドを選択し、ツールバーの「グループ」の「グループ化」または「グループ解除」をクリックすると、フィールドのグループ化またはグループ化の解除ができます。
「操作モード」のほかのボタンをクリックすると、グループ設定モードが終了します。

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

帳票を 1 段階縮小して表示します。

拡大

帳票を 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーに帳票の全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせて帳票を表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズで帳票を表示します。

グループ

グループ設定モードの場合に、「種別」が「チェックマーク」のフィールドをグループ化、またはグループ化を解除します。
グループ化またはグループ解除を行うと、フィールドリストにも設定が反映されます。

グループ化

フィールドを複数選択している場合に活性化されます。
クリックすると、選択した複数のフィールドをグループ化します。

グループ解除

グループ化したフィールドを選択している場合に活性化されます。
クリックすると、選択したフィールドのグループ化を解除します。

［完了］ボタン

クリックすると、フィールドの設定を完了します。

- **非定型帳票の「フィールド定義」画面**

「データ抽出設定」タブの「データ抽出項目」タブで［フィールド定義］ボタンをクリックして表示される「フィールド定義」画面です。

AI プロンプト

フィールドリストで選択されているフィールドについて AI プロンプトを設定している場合、その内容が表示されます。

［定義］ボタン

クリックすると、19.6.9 「AI プロンプト定義」画面 (371 ページ)が表示されます。

フィールドリスト

帳票のフィールド名がリストで表示されます。

［追加］ボタン

クリックすると、フィールドを追加します。
追加できるフィールドは、以下のとおりです。
タイプ「クラウド」合計 100 個
タイプ「クラウド」配下の「ローカル」合計 100 個
タイプ「-」配下の「ローカル」合計 150 個

［参照作成］ボタン

クリックすると、フィールドリストで選択しているフィールドを複製して、フィールドを追加します。
フィールドリストで「明細」選択時はグレーアウトされます。

［削除］ボタン

クリックすると、選択しているフィールドを削除します。

フィールド名

フィールド名をクリックすると、フィールド名を指定できます。
［追加］ボタンを押してフィールドを追加した場合は、フィールド名を入力できます。
最大で 255 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字（< > [ ] = " $! . `）はフィールド名に使用できません。
フィールド名の横に、フィールドの種別を表すアイコンが表示されます。



: AI OCR


: バーコード


: 直接入力

：リストから選択

［上へ］ボタン

この項目は、フィールドが複数あるときに表示されます。
クリックすると、選択中のフィールドを 1 つ上のフィールドと入れ替えます。

［下へ］ボタン

この項目は、フィールドが複数あるときに表示されます。
クリックすると、選択中のフィールドを 1 つ下のフィールドと入れ替えます。

フィールド数

「フィールド数（設定しているフィールド数/100）」を表示します。

フィールド属性

フィールドリストで選択しているフィールドの詳細が表示されます。

種別

フィールド種別を選択します。
クリックすると、以下のフィールド種別がリストで表示されます。

- ゾーン OCR
  フィールド値に、ゾーン OCR の認識結果を使用する場合に指定します。
- バーコード
  フィールド値に、バーコードの認識結果を使用する場合に指定します。
- 直接入力
  フィールド値を直接入力する場合に指定します。
- リストから選択
  フィールド値を 19.6.12 「リストの定義」画面 (374 ページ)で設定したリストから選択する場合に指定します。

> **重要**
> - 「種別」が「AI OCR」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「AI OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「AI OCR」選択は不可となり、グレーアウトされます。

属性

以下から選択できます。

- 必須
  選択すると、入力が必須になります。

  以下の条件をすべて満たす場合は、項目をマウスでポイントすると  が表示されます。

  -「定義モード」が「標準モード」

-「属性」が「必須」

 をクリックすると、19.6.14 「代替オプション」画面 (375 ページ)が表示されます。

- 読み取り専用
  選択すると、読み取り専用になります。

形式

フィールドリストで選択したフィールドの形式を選択できます。

➡ 9.1.1 フィールドの「形式」を選択する際の考え方 (72 ページ)

- 文字列
- 日付
- 通貨
- 数値
- ブーリアン
  はい／いいえや、有／無のように状態が 2 択で表せる項目の形式です。
- テーブル
  明細など表形式で表している項目の形式です。同一帳票内にテーブルフィールドがすでに存在する場合は、表示されません。

「認識結果の形式変換」チェックボックス

「種別」で「ゾーン OCR」または「直接入力」を選択し、「形式」で「日付」を選択した場合に表示されます。
チェックを付けると、「形式変換後の構成」が表示され、インデックス情報ファイルに出力する日付の構成や、画像のファイル名や保存先のフォルダー名に付与する日付の構成を指定できます。
本項目は、PaperStream Capture Pro AI-OCR のバージョンが 5.1 より前の場合、非活性になります。
認識結果の変換の仕様については、日付の出力形式変換の仕様 (678 ページ)を参照してください。

形式変換後の構成

出力する日付の構成を指定します。
日付の構成を指定する入力域の横にある［要素］ボタンまたは［区切り文字］ボタンをクリックして、表示される項目を選択します。
ただし、日付の構成が以下の場合は、エラーになります。

- 同じ要素が複数ある
- 最初と最後に区切り文字を指定している
- 区切り文字だけを指定している
- 区切り文字が連続している
- 区切り文字が 3 つ以上ある
- 異なる区切り文字を指定している

日付の認識結果に「形式変換後の構成」で指定した項目がなかった場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルの「フィールド」には、認識結果をそのまま赤色の文字で表示し、注意を表示します。

[要素] ボタン

日付の項目を、以下から選択します。
選択すると、日付構成の入力域に、該当の項目が青色のタグで表示されます。

- yyyy
  年を表示します。
- yy
  年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- MM
  月を 2 桁の数字で表示します。
- dd
  日を表示します。
- テキスト形式の日付
  「言語」で「日本語」以外を選択した場合に表示されます。
  月の名称を表示します。
  例えば、「言語」が「英語」で 1 月の場合は、「January」が出力されます。
- 月の略称
  「言語」で「日本語」以外を選択した場合に表示されます。
  月の名称を略記で表示します。
  例えば、「言語」が「英語」で 1 月の場合は、「Jan」が出力されます。

[区切り文字] ボタン

[要素] ボタンで選択した複数の日付の項目を、区切り文字で区切りたい場合は、以下から選択して挿入します。
選択すると、日付構成の入力域に、区切り文字が黄色のタグで表示されます。

- /
- -
- _
- .
- ,
- (空白)

[テーブル定義] ボタン

「形式」で「テーブル」が選択されている場合に表示されます。
クリックすると、19.6.8 「テーブル定義」画面 (366 ページ)が表示されます。

確信度

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
ゾーン OCR で得た結果がどれだけ正しいと推定できるかを数値で指定します。

フィールドルール

フィールド値の文字列のルールを指定します。

「正規表現」チェックボックス

チェックを付けると、正規表現の指定ができます。
入力域に直接入力するか、[ルール] ボタンから選択します。

[ルール] ボタン

クリックすると、正規表現に指定できる項目が表示されます。
以下から選択できます。

- 文字（.）
- アルファベット文字（A-Z,a-z）
- 数字（0-9）
- 直前の表現が 1 個以上（+）
- 直前の表現が 0 個以上（*）

「長さ」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる文字数を指定できます。
文字数は、1 ～ 255 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）
- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

補正

「長さ」チェックボックスにチェックを付けると、設定できます。ドロップダウンリストで以下のどれかを選択します。
「認識結果の形式変換」チェックボックスにチェックが付いている場合は「補正なし」の設定になり、この項目は非活性になります。

- 補正なし
  固定長を指定しません。
- 固定長にゼロ埋めをする
  「長さ」の「最大」で指定した文字数で出力します。
  「最大」で指定した文字数に満たない場合、文字列の先頭に「0」を挿入して出力します。
- 固定長にスペース埋めをする

「長さ」の「最大」で指定した文字数で出力します。
「最大」で指定した文字数に満たない場合、文字列の末尾に空白を挿入して出力します。

「数値」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる数字の範囲を指定できます。
数字の範囲は、-1.79E+308 ～ 1.79E+308 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）
- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

［完了］ボタン

クリックすると、フィールドの設定を完了します。

19.6.8 「テーブル定義」画面

明細など表形式で表している項目（テーブル）のフィールド定義を設定します。

フィールドリスト

帳票のフィールド名がリストで表示されます。

［追加］ボタン

クリックすると、フィールドを追加します。
テーブル内のフィールド数は、最大 20 か所です。

［参照作成］ボタン

クリックすると、フィールドリストで選択しているフィールドを複製して、フィールドを追加します。

［削除］ボタン

クリックすると、選択しているフィールドを削除します。
フィールドをすべて削除した場合、その帳票はデータ抽出対象から外れ、「データ抽出設定」タブの帳票リストのチェックが外れます。

フィールド名

フィールド名をクリックすると、フィールド名を指定できます。
［追加］ボタンを押してフィールドを追加した場合は、フィールド名を入力できます。
最大で 255 文字まで設定できます。

ただし、使用禁止文字（< > [ ] = " $! . `）はフィールド名に使用できません。
フィールド名の横に、フィールドの種別を表すアイコンが表示されます。



：AI OCR

［上へ］ボタン

この項目は、フィールドが複数あるときに表示されます。
クリックすると、選択中のフィールドを 1 つ上のフィールドと入れ替えます。

［下へ］ボタン

この項目は、フィールドが複数あるときに表示されます。
クリックすると、選択中のフィールドを 1 つ下のフィールドと入れ替えます。

フィールド数

「フィールド数（設定しているフィールド数/20）」を表示します。

フィールド属性

フィールドリストで選択しているフィールドの詳細が表示されます。

属性

以下から選択できます。

- 必須
  選択すると、入力が必須になります。

  以下の条件をすべて満たす場合は、項目をマウスでポイントすると  が表示されます。

  -「定義モード」が「標準モード」

  -「属性」が「必須」

   をクリックすると、19.6.14 「代替オプション」画面 (375 ページ)が表示されます。
- 読み取り専用
  選択すると、読み取り専用になります。

形式

フィールドリストで選択したフィールドの形式を選択できます。

➡ 9.1.1 フィールドの「形式」を選択する際の考え方 (72 ページ)

- 文字列
- 日付
- 通貨
- 数値
- ブーリアン
  はい／いいえや、有／無のように状態が 2 択で表せる項目の形式です。

「認識結果の形式変換」チェックボックス

「種別」で「ゾーン OCR」または「直接入力」を選択し、「形式」で「日付」を選択した場合に表示されます。
チェックを付けると、「形式変換後の構成」が表示され、インデックス情報ファイルに出力する日付の構成や、画像のファイル名や保存先のフォルダー名に付与する日付の構成を指定できます。
本項目は、PaperStream Capture Pro AI-OCR のバージョンが 5.1 より前の場合、非活性になります。
認識結果の変換の仕様については、日付の出力形式変換の仕様 (678 ページ)を参照してください。

形式変換後の構成

出力する日付の構成を指定します。
日付の構成を指定する入力域の横にある［要素］ボタンまたは［区切り文字］ボタンをクリックして、表示される項目を選択します。
ただし、日付の構成が以下の場合は、エラーになります。

- 同じ要素が複数ある
- 最初と最後に区切り文字を指定している
- 区切り文字だけを指定している
- 区切り文字が連続している
- 区切り文字が 3 つ以上ある
- 異なる区切り文字を指定している

日付の認識結果に「形式変換後の構成」で指定した項目がなかった場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルの「フィールド」には、認識結果をそのまま赤色の文字で表示し、注意を表示します。

［要素］ボタン

日付の項目を、以下から選択します。
選択すると、日付構成の入力域に、該当の項目が青色のタグで表示されます。

- yyyy
  年を表示します。
- yy
  年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- MM
  月を 2 桁の数字で表示します。
- dd
  日を表示します。
- テキスト形式の日付
  「言語」で「日本語」以外を選択した場合に表示されます。
  月の名称を表示します。
  例えば、「言語」が「英語」で 1 月の場合は、「January」が出力されます。

- 月の略称
  「言語」で「日本語」以外を選択した場合に表示されます。
  月の名称を略記で表示します。
  例えば、「言語」が「英語」で 1 月の場合は、「Jan」が出力されます。

［区切り文字］ボタン

［要素］ボタンで選択した複数の日付の項目を、区切り文字で区切りたい場合は、以下から選択して挿入します。
選択すると、日付構成の入力域に、区切り文字が黄色のタグで表示されます。

- /
- -
- _
- .
- ,
- （空白）

AI プロンプト

フィールドリストで選択されているフィールドについて AI プロンプトを設定している場合、その内容が表示されます。

［定義］ボタン

クリックすると、19.6.9 「AI プロンプト定義」画面 (371 ページ)が表示されます。

確信度

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
ゾーン OCR で得た結果がどれだけ正しいと推定できるかを数値で指定します。

フィールドルール

フィールド値の文字列のルールを指定します。

「正規表現」チェックボックス

チェックを付けると、正規表現の指定ができます。
入力域に直接入力するか、［ルール］ボタンから選択します。

［ルール］ボタン

クリックすると、正規表現に指定できる項目が表示されます。
以下から選択できます。

- 文字（.）
- アルファベット文字（A-Z,a-z）
- 数字（0-9）
- 直前の表現が 1 個以上（+）
- 直前の表現が 0 個以上（*）

「長さ」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる文字数を指定できます。
文字数は、1 ～ 255 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）
- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

補正

「長さ」チェックボックスにチェックを付けると、設定できます。ドロップダウンリストで以下のどれかを選択します。
「認識結果の形式変換」チェックボックスにチェックが付いている場合は「補正なし」の設定になり、この項目は非活性になります。

- 補正なし
  固定長を指定しません。
- 固定長にゼロ埋めをする
  「長さ」の「最大」で指定した文字数で出力します。
  「最大」で指定した文字数に満たない場合、文字列の先頭に「0」を挿入して出力します。
- 固定長にスペース埋めをする
  「長さ」の「最大」で指定した文字数で出力します。
  「最大」で指定した文字数に満たない場合、文字列の末尾に空白を挿入して出力します。

「数値」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる数字の範囲を指定できます。
数字の範囲は、-1.79E+308 ～ 1.79E+308 までの値で指定できます。
出力先で以下を選択し、「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合は、「適用対象の単位」が「ページ」に切り替わり、フィールドリストに値が同期されます。このとき、帳票のフィールド定義は削除されます。

- SharePoint
- SharePoint Online
- Box（PaperStream Capture Pro Box Connector をインストールしている場合）
- DocuWare（PaperStream Capture Pro DocuWare Connector をインストールしている場合）
- Laserfiche（PaperStream Capture Pro Connector for Laserfiche をインストールしている場合）

［完了］ボタン

クリックすると、テーブル定義の設定を完了します。

19.6.9 「AI プロンプト定義」画面

PaperStream AI では、サービス品質および認識精度の向上を目的として、継続的にバージョンアップしています。そのため、同じ原稿を読み取った場合でも、OCR の認識結果が従来と異なる場合があります。
認識結果に差異が生じた場合は、AI プロンプトの内容を調整し、目的に応じた認識結果となるよう設定してください。

AI プロンプト追加

フィールドリストで選択されているフィールドについて、PaperStream AI への AI プロンプトを設定します。
AI プロンプトの内容をヒントにして PaperStream AI がフィールド項目を抽出します。
AI プロンプトには、フィールド項目が記載されている場所や、記載形式、目印になるようなラベルなどを含めます。
例

- 顧客番号の AI プロンプト
  文書の管理に使われる一意の番号や文字列。請求番号、領収書番号、見積番号、納品番号などと兼ねることがある。
- 合計金額の AI プロンプト
  商品やサービス価格の全てを合計した金額に対して税額を加えた税込みの合計額。繰越金、延滞金は含まない。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.6.10 「テーブル抽出項目 - 明細」画面

表形式のフィールド（明細）を編集できます。

フィールド名（フィールド数）

チェックボックスにチェックを付けると、そのフィールドがデータ抽出対象になります。

CSV 出力ヘッダー名/TXT 出力ヘッダー名/XML 属性名

インデックスファイルの出力形式によって表示が異なります。
例えば、インデックスファイルの出力形式が「CSV」の場合は、「CSV 出力ヘッダー名」となり、フィールド名に対応する CSV 出力時のヘッダー名を指定できます。帳票内で複数のフィールドに同じヘッダー名は指定できません。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.6.11「フィールドの自動追加」画面

未記入の定型帳票（登録帳票）と記入済みの帳票の差分を検出して、フィールドを自動で追加します。

重要

- 帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にすることを推奨します。
  設定が異なると、文字列やバーコード/QR コードを読み取る認識精度が低くなり、認識結果の表示に時間がかかる場合があります。
- 記入済みの帳票は、未記入の帳票（登録帳票）と一致するフォーマットのものを準備してください。
  また、情報を抽出するエリアの項目をすべて記入した状態にしてください。
  - チェックボックスにはチェックを付けてください。
  - 複数の文字を 1 文字ずつ文字枠に記入する形式（はしご枠）の項目は、すべての文字枠に文字を記入してください。
    例えば、5 文字記入できる項目に 3 文字しか記入していない場合、3 文字分のエリアが設定されます。

ビューアー 1（登録帳票の画像）

「フィールド定義」画面の対象帳票の画像を表示します。

ツールバー

画像の編集に使用します。
表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

表示

縮小

帳票を 1 段階縮小して表示します。

拡大

帳票を 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーに帳票の全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせて帳票を表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズで帳票を表示します。

［スキャン］ボタン

クリックすると、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」の設定で読み取りを開始します。
「読み取り設定」タブの「読み取り面」の設定によって、給紙方法が異なります。

「読み取り面」の設定	給紙方法
片面	PaperStream IP ドライバーで「裏面」に設定されていても、必ず「表面」が読み取られる
両面	「表面」と「裏面」が読み取られる
フラットベッド	フラットベッドの原稿台で給紙される
ドライバーの設定に従う	PaperStream IP ドライバーでデフォルトの「自動切替え」になる（ADF 給紙シュート（フィーダー）の読み取り面は「表面」になる）

ビューアー 2（設定用画像）

読み取った画像を表示します。
表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

ツールバー

画像の編集に使用します。

画像

差し替え

別の原稿を読み取って、選択しているページを差し替えます。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

90 度回転

選択しているページを右に 90 度回転します。

表示

縮小

帳票を 1 段階縮小して表示します。

拡大

帳票を 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーに帳票の全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせて帳票を表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズで帳票を表示します。

［OK］ボタン

クリックすると、未記入の帳票と記入済みの帳票の差分を検出して、19.6.7 「フィールド定義」画面 (348 ページ)のフィールドリストにフィールドを追加します。
自動追加されたフィールドの種別が「チェックマーク」の場合、「チェックマークの種類」は「上書き/枠内マーク」になり、「出力文字」は「1」が設定されます。
フィールドの追加が完了した、またはフィールド数が上限の 100 個に達すると、「フィールドの自動追加」画面が閉じます。

19.6.12「リストの定義」画面

リストに表示するデータを定義します。

入力域

リストに表示されるデータを入力します。

「データベースから移入」チェックボックス

チェックを付けると、リストに表示するデータを、データベースから移入できます。

［設定］ボタン

クリックすると、19.6.13 「ODBC データソース」画面 (374 ページ)が表示されます。

「リストにない値の入力を許可」チェックボックス

チェックを付けると、リストに表示するデータを、入力域に直接入力できます。

「重複データを削除し、昇順に並び替える」チェックボックス

チェックを付けると、リストから重複しているデータを削除し、昇順に並べ替えて表示します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.6.13「ODBC データソース」画面

リストに表示するデータに使用する ODBC データソースおよび ODBC データソースに接続する情報を設定します。

データソース仕様

ODBC データソース

定義済みの ODBC データソースの一覧を、ドロップダウンリストで表示します。
リストに表示するデータに使用する ODBC データソースを、リストから選択します。
リストに表示できる ODBC データソースのデータは、先頭から数えて最大 1000 件までという制限を設けています。

［更新］ボタン

定義済みの ODBC データソースの一覧を更新します。

ユーザー名

選択したデータソースに接続するためのユーザー名を入力します。

パスワード

選択したデータソースに接続するためのパスワードを入力します。

［接続］ボタン

選択したデータソースに接続します。

リスト情報

表

選択したデータソースに設定されている表の一覧を、ドロップダウンリストで表示します。
使用する表を、リストから選択します。

フィールド

選択した表に設定されているフィールド一覧を、ドロップダウンリストで表示します。
使用するフィールドを、リストから選択します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。
また、設定した値が「データ抽出設定」タブの各設定に反映されます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.6.14「代替オプション」画面

フィールド値の認識に失敗した場合の代替文字列を設定します。
デフォルトは、「空文字」が設定されています。

フィールド値抽出失敗時の代替文字列

空文字

選択すると、フィールド値は空文字になります。

連番

選択すると、フィールド値に連番が付きます。
「連番」の初期値と最少桁数は、「連番オプション」で指定できます。

任意文字列

選択すると、フィールド値は任意の文字列になります。
入力域に、任意の文字列を入力します。
デフォルトは、「REPLACEMENT」です。
「任意文字列の後ろに連番を付加する」チェックボックスにチェックを付けた場合に付加される数値を含めて、文字列は 128 文字まで入力できます。
半角空白だけの文字列は使用できません。
また、文字列の前後に半角空白がある場合、半角空白は削除されます。

「任意文字列の後ろに連番を付加する」チェックボックス

チェックを付けると、「任意文字列」で設定した文字列のうしろに「連番」で設定した数値が追加されます。
例えば、「任意文字列」が「Customer」、「連番オプション」の「初期値」が「1」、「最小桁数」が「4」の場合、代替文字列は「Customer0001」になります。

連番オプション

初期値

「連番」の初期値を 1～9999 までの値で指定します。
デフォルトは、「1」です。

最小桁数

「連番」の最小桁数を 1～10 までの値で指定します。
デフォルトは、「4」です。

重要

- 以下の場合、フィールド値は空文字になります。
  - 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の「表示オプション」の「インデックスをスキップ」チェックボックスにチェックを付けている場合
  - 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)の「適用ページ」の「指定ページ」で指定したページ数が、実際に読み取った原稿のページ数よりも多い場合

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

19.7 「仕分け設定」タブ

- PaperStream Capture の場合
  原稿の分割方法を設定できます。
  原稿を分割すると、ファイル名オプションの「ドキュメントカウンター」がカウントアップされます。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  原稿およびバッチの分割方法を設定できます。
  原稿やバッチを分割すると、ファイル名オプションの「ドキュメントカウンター」がカウントアップされます。

19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイル名オプション」にあるファイル名の設定で、「ドキュメントカウンター」をファイル名の要素として指定している場合、ドキュメント区切りによって、ファイル名を変更できます。

ヒント

- 本タブは、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

ドキュメント仕分け

原稿を何で分割するかを設定します。何も選択しない場合は、原稿を分割しません。
原稿の分割方法は、以下から選択できます。

バーコード

バーコードが印刷されている原稿を使用して、原稿を分割します。

バーコードの種類

検知するバーコードの種類を選択します。

➡ 42.6 バーコードの種類と検知条件 (664 ページ)

[バーコードの設定] ボタン

クリックすると、19.6.2 「バーコードの設定」画面（データ抽出） (334 ページ)を表示します。

フィールドを使用

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
「データ抽出設定」タブで設定したフィールドを使用するかを設定します。
データ抽出情報を使用する場合は、フィールドの名前を選択します。

検出エリア

バーコードの検出エリアを設定します。

画像全体

読み取った画像全体からバーコードを検出します。

エリア定義

選択すると、[エリアを定義 >>] ボタンが有効になります。

[エリアを定義 >>] ボタン

クリックすると、認識領域を設定する 19.7.2 エリア設定画面（仕分け） (388 ページ)が表示されます。

「バーコード文字列」チェックボックス

チェックを付けると、入力域に入力した文字列とドロップダウンリストで選択した条件に従って、認識するバーコードの文字列を指定できます。
文字列は、128 バイト以内になるよう入力してください。条件は以下から選択できます。

- 完全一致
- 先頭一致
- 部分一致
- 正規表現

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「削除されたページのデータ抽出情報を残す」チェックボックス

本項目は、以下のどちらかの条件を満たす場合に表示されます。

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」が「ページ」（さらに、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合は、「定義モード」が「互換モード」）の場合
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、「データ抽出設定」タブでの設定が、以下の条件をすべて満たす場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が「全ページ」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分けに使用する原稿の画像を削除し、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存して、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにします。

「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックス

本項目は、以下の条件をすべて満たす場合に表示されます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium
- 「データ抽出設定」タブでの設定が以下の場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」

- 「適用ページ」が 1 ページの「ゾーン OCR」、「バーコード」、または「JSON 解析」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分け時に削除されたページから、指定したフィールド種別で「適用ページ」が 1 ページのフィールドのデータ抽出情報を、1 ページ目の情報として取得します。

［オプション設定］ボタン

削除されたページから取得するデータ抽出情報を設定します。
「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックスにチェックを付けると表示されます。

➡ 19.7.3 「オプション設定」画面 (391 ページ)

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。
仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。
ただし、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合、この機能は使用できません。

「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックス

チェックを付けると、バーコードの種類に関係なく、仕分けに使用した値と完全に一致する認識結果の原稿を連続して認識した場合は、最初に認識した原稿以外では原稿を分割しません。

白紙

白紙原稿を使用して、原稿を分割します。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「両面が白紙ページの場合に仕分けする」チェックボックス

チェックを付けると、両面が白紙の場合だけ、原稿を分割します。
ただし、チェックを付けていても、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」で「読み取り面」に「片面」を選択し、かつ原稿の読み取った面が白紙ページの場合は、原稿が分割されます。
PaperStream Capture では、本チェックボックスは PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合だけ表示されます。

ページ数

設定したページ数ごとに原稿を分割します。
分割するページ数を指定します。

ゾーン OCR

特定の領域で特定の文字列を認識すると、原稿を分割します。

重要

- 仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数と、19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)で設定されている「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」はグレーアウトされ、設定できません。

フィールドを使用

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
「データ抽出設定」タブで設定したフィールドを使用するかを設定します。
データ抽出情報を使用する場合は、フィールドの名前を選択します。

言語

ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。

➡ 42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。

認識文字列

入力域に入力した文字列とドロップダウンリストで選択した条件に従って、認識する文字列を指定します。
条件は以下から選択できます。

- 完全一致
- 先頭一致
- 部分一致
- 正規表現

重要

- 正規表現を直接入力する場合、次の構文を指定すると、期待する認識結果が得られません。
  ¥、$、?、{n}、{n,}、{n,m}、(?:pattern)、(?=pattern)、(?!pattern)、¥B、¥cx、¥d、¥D、¥f、¥n、¥r、¥S、¥s、¥t、¥v、¥w、¥W、¥xn、¥n、¥nm、¥nml、¥un
- 認識する対象の文字とは明らかに異なる正規表現を指定した場合、期待する認識結果が得られません。

検出エリア

［エリアを定義 >>］ボタンをクリックすると、認識領域を設定する 19.7.2 エリア設定画面（仕分け） (388 ページ)が表示されます。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「削除されたページのデータ抽出情報を残す」チェックボックス

本項目は、以下のどちらかの条件を満たす場合に表示されます。

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」が「ページ」（さらに、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合は、「定義モード」が「互換モード」）の場合
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、「データ抽出設定」タブでの設定が、以下の条件をすべて満たす場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が「全ページ」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分けに使用する原稿の画像を削除し、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存して、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにします。

「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックス

本項目は、以下の条件をすべて満たす場合に表示されます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium
- 「データ抽出設定」タブでの設定が以下の場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が 1 ページの「ゾーン OCR」、「バーコード」、または「JSON 解析」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分け時に削除されたページから、指定したフィールド種別で「適用ページ」が 1 ページのフィールドのデータ抽出情報を、1 ページ目の情報として取得します。

［オプション設定］ボタン

削除されたページから取得するデータ抽出情報を設定します。
「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックスにチェックを付けると表示されます。

➡ 19.7.3 「オプション設定」画面 (391 ページ)

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。
仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。
ただし、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合、この機能は使用できません。

「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用している値と完全に一致する認識結果の原稿を連続して認識した場合は、最初に認識した原稿以外では原稿を分割しません。

重送（封筒）

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
封筒を使用して、原稿を分割します。重送をサポートしてないスキャナーを使用している場合は選択できません。

「重送の後ろで分割する」チェックボックス

チェックを付けると、原稿を分割するときに封筒画像のうしろで分割するため、ファイル内の最後尾が封筒の画像になります。
チェックを外すと、原稿を分割するときに封筒画像の前で分割するため、ファイル内の先頭が封筒の画像になります。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。
チェックを外している場合、「読み取り設定」タブの「読み取り面」で「両面」を選択しているときは、仕分けに使用した原稿の表面の画像だけを先頭ページにします。裏面の画像は表示しません。

「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックス

本項目は、以下の条件をすべて満たす場合に表示されます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium
- 「データ抽出設定」タブでの設定が以下の場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が 1 ページの「ゾーン OCR」、「バーコード」、または「JSON 解析」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分け時に削除されたページから、指定したフィールド種別で「適用ページ」が 1 ページのフィールドのデータ抽出情報を、1 ページ目の情報として取得します。

［オプション設定］ボタン

削除されたページから取得するデータ抽出情報を設定します。
「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックスにチェックを付けると表示されます。

➡ 19.7.3 「オプション設定」画面 (391 ページ)

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。

仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。
ただし、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合、この機能は使用できません。

パッチコード

パッチコードが印刷されている原稿を使用して、原稿を分割します。

パッチコード

検出するパッチコードを選択します。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。
仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。
ただし、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合、この機能は使用できません。

Ctrl 押下

読み取り中に「Ctrl」キーを押して、原稿を分割します。
原稿を分割するキーは、20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)の「手動仕分けのショートカットキー」で指定できます。
デフォルトは「Ctrl」です。
キーを指定すると、項目名に反映されます。
例えば、「Alt」キーを指定した場合、項目名は「Ctrl 押下」 から「Alt 押下」 に変更されます。

帳票識別

帳票のレイアウトを識別して、帳票の種類ごとに原稿を分割します。
PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、本項目は表示されません。

重要

- 帳票の仕分けやデータ抽出を行うジョブの場合は、帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にすることを推奨します。
  設定が異なると、文字列やバーコード/QR コードを読み取る認識精度が低くなり、認識結果の表示に時間がかかる場合があります。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「削除されたページのデータ抽出情報を残す」チェックボックス

本項目は、以下のどちらかの条件を満たす場合に表示されます。

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」が「ページ」（さらに、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合は、「定義モード」が「互換モード」）の場合
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、「データ抽出設定」タブでの設定が、以下の条件をすべて満たす場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が「全ページ」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分けに使用する原稿の画像を削除し、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存して、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにします。

「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックス

本項目は、以下の条件をすべて満たす場合に表示されます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium
- 「データ抽出設定」タブでの設定が以下の場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が 1 ページの「ゾーン OCR」、「バーコード」、または「JSON 解析」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分け時に削除されたページから、指定したフィールド種別で「適用ページ」が 1 ページのフィールドのデータ抽出情報を、1 ページ目の情報として取得します。

［オプション設定］ボタン

削除されたページから取得するデータ抽出情報を設定します。
「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックスにチェックを付けると表示されます。

➡ 19.7.3 「オプション設定」画面 (391 ページ)

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。
仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。
ただし、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合、この機能は使用できません。

［管理］ボタン

クリックすると、19.6.4 「管理」画面 (337 ページ)が表示されます。

［類似帳票チェック］ボタン

クリックすると、帳票リストのチェックボックスにチェックを付けた帳票の中で類似する帳票があるかをチェックします。

帳票の検索

帳票名または帳票名の一部を入力して［検索］ボタンをクリックすると、対象の帳票が表示されます。

帳票リスト

登録されている帳票の一覧で、仕分けの対象にする帳票のチェックボックスにチェックを付けます。
帳票は、「仕分け設定」タブの帳票リストで選択している帳票数と「データ抽出設定」タブの帳票リストで選択している帳票数を合わせて、最大 150 まで選択できます。
ジョブを保存したあとに帳票のチェックボックスのチェックを外した場合、帳票の登録または編集はできません。再度ジョブを保存してから、［管理］ボタンをクリックして、帳票を登録または編集してください。
帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合、帳票リストの帳票名の横に  が表示されます。

キーワードが設定されている帳票の場合、帳票名の横に  が表示されます。

PaperStream AI の場合、「タイプ」には帳票のタイプが表示されます。

- クラウド
  PaperStream AI を使用する非定型帳票です。「クラウド」の帳票にチェックを付けた場合、そのジョブは PaperStream AI を使用するジョブになります。
- ローカル
  手動で設定した定型帳票です。

帳票の並べ替え

帳票の表示順を、以下の方法で変更できます。

- チェックボックスのチェック（あり / なし）
  帳票リストのチェックボックスの位置のヘッダー部分をクリックするごとに、昇順（▲）→降順（▼）→デフォルト表示の順に、帳票の表示順を変更できます。
  - 昇順の場合、チェックボックスにチェックが付いている帳票を上に表示します。
  - 降順の場合、チェックボックスにチェックが付いていない帳票を上に表示します。
- 帳票名（昇順 / 降順）
  帳票リストの「帳票名」をクリックするごとに、帳票名の昇順（▲）→降順（▼）→デフォルト表示の順に、帳票の表示順を変更できます。

「データ抽出項目」タブ

帳票リストの「タイプ」が「クラウド」（非定型帳票）の場合に表示できます。
帳票リストで選択した帳票のフィールド名が表示されます。

「定型画像」タブ

帳票リストの「タイプ」が「ローカル」（定型帳票）の場合に表示できます。
帳票リストで選択した帳票の画像が表示されます。

「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックス

チェックを付けると、識別されなかった原稿を分割します。
「仕分け設定」タブの「種別」で「帳票識別」を選択し、帳票リストで帳票を選択していない場合はエラーになります。

仕分け値

「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックスにチェックが付いている場合、有効になります。
チェックを付けると、「未識別」フォルダーのフォルダー名を指定できます。
フォルダー名は、128 バイト以内になるよう入力してください。

「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した帳票と完全に一致する帳票を連続で認識した場合は、最初に認識した帳票以外では原稿を分割しません。

原稿識別（ドライバー）

PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの「自動プロファイル選択」機能で使用する、登録済みの識別情報を使って原稿を分割します。
「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」 の設定が「オン」 の場合、有効になります。
「データ抽出設定」画面の「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合、本項目は非活性になります。
PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、本項目は表示されません。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「削除されたページのデータ抽出情報を残す」チェックボックス

本項目は、以下のどちらかの条件を満たす場合に表示されます。

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」が「ページ」（さらに、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合は、「定義モード」が「互換モード」）の場合
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、「データ抽出設定」タブでの設定が、以下の条件をすべて満たす場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が「全ページ」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分けに使用する原稿の画像を削除し、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存して、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにします。

「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックス

本項目は、以下の条件をすべて満たす場合に表示されます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium
- 「データ抽出設定」タブでの設定が以下の場合
  - 「適用対象の単位」が「ページ」
  - 「定義モード」が「標準モード」
  - 「適用ページ」が 1 ページの「ゾーン OCR」、「バーコード」、または「JSON 解析」のフィールドが存在する

チェックを付けると、仕分け時に削除されたページから、指定したフィールド種別で「適用ページ」が 1 ページのフィールドのデータ抽出情報を、1 ページ目の情報として取得します。

［オプション設定］ボタン

削除されたページから取得するデータ抽出情報を設定します。
「削除されたページからデータ抽出情報を取得する」チェックボックスにチェックを付けると表示されます。

➡ 19.7.3 「オプション設定」画面 (391 ページ)

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。
仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。
ただし、他社製の TWAIN 対応スキャナーを使用している場合、この機能は使用できません。

登録済み識別情報

PaperStream IP（TWAIN）ドライバーに登録済みの識別情報から、仕分けに使用した識別情報の識別名を選択します。

「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックス

チェックを付けると、識別されなかった原稿を分割します。
識別されなかった原稿は「未識別」フォルダーに格納されます。

仕分け値

「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックスにチェックが付いている場合、有効になります。
チェックを付けると、「未識別」フォルダーのフォルダー名を指定できます。
フォルダー名は、128 バイト以内になるよう入力してください。

「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した帳票と完全に一致する帳票を連続で認識した場合は、最初に認識した帳票以外では原稿を分割しません。

ファイル名

この項目は、PaperStream Capture Pro Premium の場合に、「読み取り設定」タブの「スキャナー」で「PaperStream IP Import」を選択すると有効になります。
入力ファイル名で、原稿を分割します。

バッチ仕分け

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
バッチを何で分割するかを設定します。何も選択しない場合は、バッチを分割しません。
設定項目は、「ドキュメント仕分け」と同じです。
ただし、ドキュメント仕分けと同じ方法は指定できません。
なお、分割したバッチは、2 つ目以降が「一時保存」の扱いとなり、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で管理されます。

19.7.1 「バーコードの設定」画面（仕分け）

バーコードの認識方法や出力方法を設定する画面です。

「UTF-8 の QR コードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、QR コードを UTF-8 の文字コードで認識します。

「2 次元コード内に制御コード[NUL]以降のデータも出力」チェックボックス

チェックを付けると、2 次元コードのバーコードを認識したときに、データの途中に制御コードの［NUL］があっても情報を切らずに出力します。

19.7.2 エリア設定画面（仕分け）

仕分けに使用するゾーン OCR やバーコードの認識領域を設定する画面です。

仕分けの種類

認識領域を設定する仕分けの種類を表示します。

ツールバー

認識領域の確認や編集に使用します。
表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

画像

追加

別の原稿を読み取って、選択しているページの直後に追加します。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

差し替え

別の原稿を読み取って、選択しているページを差し替えます。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

90 度回転

選択しているページを右に 90 度回転します。

-90 度回転

選択しているページを左に 90 度回転します。

180 度回転

選択しているページを 180 度回転します。

削除

選択しているページを削除します。

操作モード

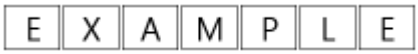
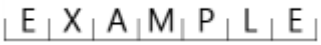
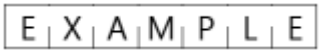
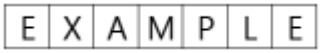
エリア設定

ゾーン OCR やバーコードの認識範囲を変更します。
読み取った画像上で、ゾーン OCR やバーコードを検出する領域をドラッグして選択します。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。
認識領域を選択すると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  フィールド属性の「種別」が「ゾーン OCR」の場合、認識する文字の種別を選択する領域が表示されます。表示された領域で、認識する文字の種別をドロップダウンリストから選択し、必要に応じて文字数を指定します。文字の数は、1 ～ 2147483647 までの値で指定します。対象の言語は英語 、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、インドネシア語、デンマーク語、ノルウェー語、ハンガリー語、またはフィンランド語です。それ以外の言語は、認識する文字の種別は選択できず、SimpleText で認識します。
  以下に認識する文字の種別を示します。

種別	説明	例
SimpleText	境界線や下線がない文字を検出します。	EXAMPLE
UnderlinedText	下線がある文字を検出します。	EXAMPLE
TextInFrame	囲み枠の中にある文字を検出します。	EXAMPLE

種別	説明	例
GreyBoxes	灰色の背景の上にある、別個の白い背景内の文字を検出します。	
CharBoxSeries	別個の枠の中にある文字を検出します。	
SimpleComb	個々の文字の間を短い線で区切った下線上にある文字を検出します。	
CombInFrame	個々の文字の間を短い線で区切った囲み枠のある文字を検出します。	
PartitionedFrame	個々の文字の間を区切った枠の中にある文字を検出します。	

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズでページを表示します。

ビューアー

読み取った画像を表示します。

フィールドパネル

ゾーン OCR やバーコードの認識結果を表示します。

[スキャン] ボタン

クリックすると、原稿の読み取りを開始します。

[OK] ボタン

クリックすると、エリアの設定を確定して「仕分け設定」タブ画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、「仕分け設定」タブ画面に戻ります。

19.7.3 「オプション設定」画面

削除されたページから取得するデータ抽出情報を設定します。

データ抽出オプション

削除されたページから取得するフィールド種別を選択します。

回転オプション

「回転時削除されたページのデータ抽出情報を残す」チェックボックス

チェックを付けると、「QC」画面で 1 ページ目の回転時に、「データ抽出オプション」で選択されたフィールド種は再認識されず、削除されたページのデータ抽出情報が残ります。
チェックを外すと、「QC」画面で 1 ページ目の回転時に、全フィールド種が先頭ページで再認識されます。

19.8 「テスト」タブ

設定した内容で、読み取りテストができます。
読み取りテストをした場合、設定したジョブの内容は保存されます。

ヒント

- 本タブは、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

ジョブボタン

設定した内容のジョブを表示します。
アイコンをクリックすると、19.8.1 「スキャン(テスト)」画面 (392 ページ)が表示されます。
19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)で、「バッチフォルダーを使用する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、バッチフォルダー名を設定する画面が表示されます。
バッチフォルダー名は最大で 32 文字まで入力できます。

[テストスキャン] ボタン

選択したジョブを使用して、読み取りを開始します。

ジョブ概要

ジョブの詳細を表示します。

19.8.1 「スキャン(テスト)」画面

「テスト」タブのジョブから読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

ビューアー

読み取った画像を表示します。
画面の表示は、以下になります。

- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」の場合
  - 抽出データが設定されていない場合
    「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
  - 抽出データが設定されている場合
    「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
    ただし、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)にある「プロセスの設定」で、［スキャン］ボタンを選択している場合は、画面の表示が「ブラウズ」になります。
- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」以外の場合
  前回と同じモードで表示されます。

ビューアーの横にサムネール一覧やフィールドパネルが表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、または「サムネール」の場合だけ表示されます。

［スキャン完了］ボタン

- PaperStream Capture の場合
  読み取った画像を確定して、出力します。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  読み取った画像を確定して、出力処理を実行します。

ただし、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「ステーション」タブにある「プロセスの設定」で、[スキャン] ボタンを選択かつ、ジョブで以下を設定している場合は、次のバッチ（テスト）に遷移します。

- 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)で「別途 QC を行う」チェックボックスにチェックが付いている
- 19.6 「データ抽出設定」タブ (314 ページ)で抽出データを設定している

なお、次のバッチ（テスト）は、「ジョブ作成/編集」画面を閉じ、メニューの [バッチ管理] ボタンをクリックして表示される第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で確認してください。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
  - 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定
  - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンターオプション] をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンターオプション] をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「シートカウンター」を指定し、かつ [カウンターオプション] をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

[テスト中止] ボタン

読み取った画像を破棄して、19.8 「テスト」タブ (391 ページ)に戻ります。

ステータスバー

画像をマウスでポイントすると、左から順に以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

関連項目

第 35 章 「お知らせ」画面 (468 ページ)

19.8.2 「QC(テスト)」画面

「テスト」タブのジョブから読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

ビューアー

確認する画像を表示します。

- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」の場合
  - 抽出データが設定されていない場合
    「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
  - 抽出データが設定されている場合
    「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」以外の場合
  前回と同じモードで表示されます。

ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「ブラウズ」または「サムネール」の場合だけ表示されます。

[QC 完了] ボタン

画像の処理を確定する、または出力処理を実行します。
処理状況は、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で確認してください。

> **ヒント**
>
> - 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
> - 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
>   - 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定
>   - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
>   - 「ページカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
>   - 「シートカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

[テスト中止] ボタン

テスト用のバッチを削除し、「バッチ管理」画面に戻ります。

ステータスバー

画像をマウスでポイントすると、左から順に以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

関連項目

第 35 章 「お知らせ」画面 (468 ページ)

19.8.3 「インデックス(テスト)」画面

「テスト」タブのジョブから読み取った画像で、抽出データの設定がされているページのデータ抽出フィールドを変更したり、新たに追加したりします。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

ビューアー

抽出データが設定されている画像が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」または「ブラウズ」の場合だけ表示されます。

[インデックス完了] ボタン

抽出データを確定して、出力処理を実行します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。

  -「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定

- 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
- 「ページカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
- 「シートカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

［テスト中止］ボタン

テスト用のバッチを削除し、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)に戻ります。

ステータスバー

画像をマウスでポイントすると、左から順に以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

第 20 章
「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面

20.1 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の構成

「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の構成は、以下のとおりです。

タブ

- 20.2 「一般」タブ (399 ページ)
- 20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)
- 20.4 「出力」タブ (408 ページ)
- 20.5 「アクティベーション」タブ (411 ページ)
- 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)
  このタブは、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
- 20.7 「サポート」タブ (415 ページ)

タブ名をクリックすると、表示するタブを切り替えられます。

［前へ］ボタン

前のタブに戻ります。

［次へ］ボタン

次のタブに進みます。

［保存］ボタン

設定を反映します。

［閉じる］ボタン

「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面を閉じます。

ヒント

- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面では、 をクリックして表示されるメニューが以下のようになります。
  - バージョン情報
    選択すると、PaperStream Capture のバージョン情報を表示します。
  - 終了
    選択すると、「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面を閉じます。

20.2 「一般」タブ

画面表示やスキャナードライバーなどの環境を設定します。

PaperStream AI

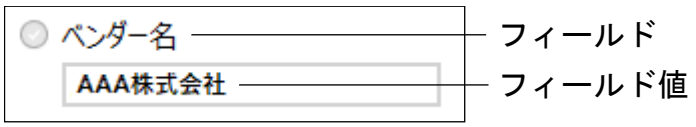
マルチステーション運用時は、ステーションサーバーの設定が優先されます。

「QC 画面での修正内容を学習する」チェックボックス

チェックを付けると「QC」画面での修正内容を AI が学習します。
AI は、「QC」画面での修正内容をもとに学習し、次回以降の読み取りで認識精度を高めます。
認識精度が上がるほど、読み取り結果を修正する回数が減り、作業を効率化できます。
学習は、「QC」画面で［完了］ボタンをクリックしたタイミングで行い、その学習データは次の読み取り時に適用されます。なお、学習データは参照できません。

➡ 第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)

- 学習する条件
  学習はフィールドごとに行います。
  フィールド値が間違っている場合、正しいフィールド値に修正すると学習します。



正しいフィールド値に修正するには、以下の方法があります。

- エリアの修正（推奨）
  エリアが、正しいフィールド値の記載箇所になるように修正します。
  エリアを修正すると、そのエリアを認識するためのヒントになる周辺情報を含めた学習をするため、認識精度が向上しやすくなります。

  エリアの修正は「QC」画面の（エリア設定）でできます。

  ➡ 操作モード (446 ページ)

- 文字の修正
  間違ったフィールド値に対して直接文字を入力して修正します。

正しいフィールド値を認識するための情報が少ないため、認識精度の向上にならない場合があります。

エリアの修正例

- ベンダー名と顧客名のようにフィールド値がどちらも会社名になるフィールドで、会社名が逆に認識された場合、エリアが期待するフィールド値の記載箇所になるように修正します。

フィールド	期待するフィールド値	間違ったフィールド値
ベンダー名	AAA 株式会社	BBB 株式会社
顧客名	BBB 株式会社	AAA 株式会社

- フィールド値が空欄になった場合、エリアが期待するフィールド値（AAA 株式会社）の記載箇所になるように修正します。

フィールド	期待するフィールド値	間違ったフィールド値
ベンダー名	AAA 株式会社	（空欄）

- 期待した空欄にならず、間違ったフィールド値になった場合、エリアが期待するフィールド値（空欄）の記載箇所になるように修正します。

フィールド	期待するフィールド値	間違ったフィールド値
顧客郵便番号	（空欄）	929-1192

- 学習データの単位
  - デフォルトの帳票種（見積書、注文書、請求書、納品書、領収書）を読み取る場合
    「帳票種+ベンダー名（フィールド）のフィールド値」単位で学習データを認識に利用します。
    例えば、「請求書」＋ベンダー名「株式会社 AAA」で学習したデータは、「請求書」＋ベンダー名「株式会社 CCC」の認識では利用されません。
    また、「見積書」＋ベンダー名「株式会社 AAA」の認識でも利用されません。
  - デフォルト以外の帳票種を読み取る場合
    「帳票種＋文書タイトル（フィールド）のフィールド値」単位で学習データを認識に利用します。文書タイトル（フィールド）は必ず定義されます。
    例えば、「人事関連書類」＋文書タイトル「出張旅費精算書」で学習した内容は、「人事関連書類」＋文書タイトル「交通費精算書」の認識では利用されません。
    また、「経理関連書類」＋文書タイトル「出張旅費精算書」の認識でも利用されません。
- 学習データの共有範囲
  学習データの共有範囲は、「テナント内で帳票定義・学習データを共有する」チェックボックスの設定によって違います。

「テナント内で帳票定義・学習データを共有する」チェックボックス

チェックを付けると、帳票定義と学習データを同一テナント内で共有します。

➡ テナントとは

チェックを外すと、帳票定義と学習データは現在お使いの PaperStream AI の範囲でだけ利用されます。他のコンピューターの PaperStream AI には共有されないため、同じジョブを移入して読み取っても認識精度に違いが出ます。

プロキシ設定

[プロキシ設定] ボタン

クリックすると、「プロキシ設定」画面が表示されます。
外部ネットワークへアクセスする際に使用するプロキシサーバーの認証情報を指定します。

プロキシ認証情報

ユーザー名

プロキシサーバー認証用のユーザー名を指定します。

パスワード

プロキシサーバー認証用のパスワードを指定します。

PaperStream AI 接続設定

「PaperStream AI を使用しない」チェックボックス

チェックを付けると、PaperStream AI への接続を行いません。インターネットに接続できない環境で、起動時、ジョブの編集時、および読み取り開始時の待ち時間を短縮できます。この場合、PaperStream AI の機能は使用できません。
本設定は端末ごとの設定です。ほかの端末やストレージサーバーには反映されません。
本項目は、PaperStream AI のライセンスが有効な場合に表示されます。
再度 PaperStream AI を使用する場合は、チェックを外すか、メニューの「PaperStream AI 再接続」を選択してください。

➡ 第 18 章 メニュー (226 ページ)

表示

ロゴイメージ

第 18 章 メニュー (226 ページ)に表示するロゴイメージを指定します。
指定すると、ロゴイメージの格納先が表示されます。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、ロゴイメージを指定します。指定すると、ロゴイメージのプレビューが表示されます。
選択できるファイル形式は、BMP（.bmp）、JPEG（.jpg）、および PNG（.png）です。
ロゴイメージのファイルを作成する場合は、縦 32 × 横 204 ピクセルのサイズで作成してください。
ロゴイメージをインストールしたときの状態に戻す場合は、以下のファイルを選択してください。なお、以下は PaperStream Capture をデフォルトの状態でインストールした場合のファイルパスです。

- PaperStream Capture の場合

C:¥ Program Files¥fiScanner¥PaperStream Capture¥assets¥img_logo_PSC.png
（64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:¥Program Files (x86)¥fiScanner¥PaperStream Capture¥assets¥img_logo_PSC.png）

- PaperStream Capture Pro の場合
  C:¥Program Files¥fiScanner¥PaperStream Capture¥assets¥img_logo_PSCpro.png
  （64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:¥Program Files (x86)¥fiScanner¥PaperStream Capture¥assets¥img_logo_PSCpro.png）
- PaperStream Capture Pro Premium の場合
  C:¥Program Files¥fiScanner¥PaperStream Capture¥assets¥img_logo_CapturePremium.png
  （64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:¥Program Files (x86)¥fiScanner¥PaperStream Capture¥assets¥img_logo_CapturePremium.png）

ロゴ名

ロゴイメージの説明を入力します。

「サンプルジョブを表示する」チェックボックス

- PaperStream Capture の場合
  チェックを付けると、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)および第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)にジョブのサンプルを表示します。
  ただし、サンプルジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」が表示されるのは、ジョブ設定の画面だけです。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  チェックを付けると、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)、第 23 章 「スキャン&インデックス」画面 (424 ページ)、および第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)にジョブのサンプルを表示します。
  ただし、サンプルジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」が表示されるのは、ジョブ設定の画面だけです。

［サンプルジョブの初期化］ボタン

クリックすると、サンプルジョブの設定内容を初期化します。

最大ジョブ数

表示するジョブの数を 10 ～ 500 までの値で指定します。

出力済みのバッチを xxx 日間表示する

出力済みのバッチを、「バッチ管理」画面に表示しておく日数を指定します。
xxx には、指定した日数が表示されます。
デフォルトは、1 日です。

サムネール画質

表示するサムネールの画質を指定します。
「低画質」、「標準画質」または「高画質」から選択します。

「画像を高品質のビットマップスケーリングで表示する」チェックボックス

チェックを付けると、二値白黒、グレースケール、およびカラーのサムネールを高品質のビットマップスケーリングで表示します。

「確認メッセージを表示する」チェックボックス

PaperStream Capture の場合、チェックを付けると、第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)で［完了］ボタンをクリックすると、帳票を登録するとき、およびバッチを出力するときに確認メッセージを表示します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、チェックを付けると、帳票を登録するとき、およびバッチを出力するときに確認メッセージを表示します。

「ジョブの概要を表示する」チェックボックス

PaperStream Capture の場合、チェックを付けると、「スキャン」画面の表示を 2 分割し、左側にジョブの一覧、右側にジョブの概要を表示します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、チェックを付けると、「スキャン」画面または「スキャン&インデックス」画面の表示を 2 分割し、左側にジョブの一覧、右側にジョブの概要を表示します。

ジョブ表示サイズ

ジョブの表示サイズを変更します。
表示サイズは「中」または「大」から選択できます。
デフォルトの表示サイズは「中」です。

管理パスワード

環境設定およびジョブの設定を保護するために、管理パスワードを設定します。

設定すると、メニューの  から、「ジョブ作成/編集」または「管理ツール」を選択すると、「パスワードの入力」画面を表示します。

「パスワードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、パスワードを設定できます。
「パスワード」および「確認」の入力域に、指定したい値を入力します。

「アドホックスキャンはパスワードを使用しない」チェックボックス

チェックを付けると、管理パスワードが設定されていても、パスワードを入力せずにアドホックスキャンで原稿の読み取りができます。

スキャナードライバー

読み取りに使用するスキャナードライバーを指定します。
「TWAIN」または「ISIS」を選択します。
ここでの指定がジョブを新規作成または編集するときに反映されます。

「スキャナー装置を占有して読み取り開始時間を短くする」チェックボックス

チェックを付けると、スキャナーを占有し、読み取りを開始するまでの時間を短縮させます。
ただし、占有中は、ほかのアプリケーションで、該当のスキャナーが使用できなくなります。

本チェックボックスは PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合だけ表示されます。

重要

- 使用するジョブを以下のように変更した場合、変更直後の読み取りだけ、本機能の性能が低下します。
  - ドライバープロファイルの設定が「ScanSnap Manager for fi 互換」のジョブから、「ScanSnap Manager for fi 互換」以外のジョブに変更
  - ドライバープロファイルの設定が「ScanSnap Manager for fi 互換」以外のジョブから、「ScanSnap Manager for fi 互換」のジョブに変更

バッチ管理画面の自動更新間隔

第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)の表示を更新する間隔を 30 ～ 999 までの値で直接入力します。デフォルトは 60 秒です。

モード切替え

読み取り方法を選択します。
デフォルトは「バッチスキャンとシンプルスキャンモードの両方を使用する」が選択されています。

- バッチスキャンとシンプルスキャンモードの両方を使用する
  選択すると、バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの両方の読み取り方法を使用できます。
- バッチスキャンのみを使用する
  選択すると、読み取り方法としてバッチスキャンモードだけ使用できます。
- シンプルスキャンモードのみを使用する
  選択すると、読み取り方法としてシンプルスキャンモードだけ使用できます。

「終了後に常駐する」チェックボックス

チェックを付けると、PaperStream Capture の終了後、タスク バーにアイコンを常駐させ、次回の起動時間を短縮します。

作業フォルダー

- バッチスキャンモードの場合
  - PaperStream Capture の場合
    ジョブ、バッチ、および PaperStream IP のドライバープロファイルの管理ファイルを格納するフォルダーを指定します。
    格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。
    引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。

    ➡ 16.1 運用環境を移出する (216 ページ)

    ➡ 16.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する (217 ページ)
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

シングルステーション運用でステーションとして使用する端末のとき、ストレージサーバーから転送されたデータを格納する作業フォルダーを指定します。
バッチスキャンモード運用のとき、またはマルチステーション運用でストレージサーバーとして使用する端末のときは、作業フォルダーを指定しても無視されます。
以下の管理ファイルの格納先は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)にある「ストレージサーバー」の「ストレージフォルダー」で変更できます。

- ジョブ
- バッチ
- PaperStream IP のドライバープロファイル

ヒント

- 「ステーション」タブの「ストレージサーバー」は、以下の手順で「管理ツール」を起動すると表示されます。
  - Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022
    「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
  - Windows 11 / Windows Server 2025
    「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

- シンプルスキャンモードの場合
  読み取ったファイルが一時的に格納される作業フォルダーを指定します。

パスに環境依存文字（Unicode）が含まれるフォルダーは指定できません。
なお、以下は PaperStream Capture をデフォルトの状態でインストールした場合、作業フォルダーに指定されているパスです。

- PaperStream Capture の場合
  C:¥ProgramData¥PaperStreamCapture¥Storage
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  C:¥ProgramData¥PaperStreamCapture¥work

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、作業フォルダーを指定します。

確信度

閾値のデフォルト値

ゾーン OCR で得た結果がどれだけ正しいと推定できるかを数値で指定します。指定する値は「フィールド定義」画面の初期値になります。
マルチステーション運用時は指定できません。ステーションサーバーの設定が優先されます。

処理速度

「バックグラウンドの帳票認識処理を並行処理する」チェックボックス

チェックを付けると、以下にかかる時間を短縮できます。

- 「読み取り設定」タブで「スキャン後すぐに出力」を設定している場合に、出力にかかる時間
- 帳票認識処理中に「QC」画面で［完了］ボタンや［一時保存］ボタンをクリックした際にバックグラウンドで行われる帳票認識処理時間

ただし、「読み取り設定」タブで 「スキャン後すぐに出力」にチェックが付いているジョブと、「スキャン後すぐに出力」にチェックが付いていない（「QC」画面で帳票認識を行う）ジョブの混在運用時、お使いの PC のメモリおよび CPU に負荷がかかって PaperStream Capture 以外のアプリケーションの挙動が遅くなる場合があります。

おすすめ設定

お知らせ

ジョブの設定の改善ポイントをお知らせするボタンをメニューに表示するかどうかを選択します。

- お知らせする
- お知らせしない
- お知らせするユーザーを選択
  選択すると、「選択」が活性化されます。「選択」をクリックして表示される第 33 章 「所属/ユーザーの選択」画面 (464 ページ)で、［お知らせ］ボタンを表示するユーザーやグループ、または組織を選択します。

20.3 「ユーザビリティー」タブ

スキャナーのボタンを押したときに実行される動作、キーボード、およびマウスの設定をします。

イベント

スキャナーのボタン（スキャン または Send to）を押したときに、バッチスキャンモードで設定したジョブで読み取るか、またはシンプルスキャンモードで読み取るか指定します。
ボタン名の下のアイコンをクリックすると、ジョブの一覧とシンプルスキャンモードが項目として表示されます。
読み取るときの設定をジョブの一覧またはシンプルスキャンモードから選択します。
スキャナーのスキャンボタンには、デフォルトでジョブの「One Push Scan」が指定されています。

［既定値に戻す］ボタン

設定をすべてデフォルトに戻します。

キーボード/マウス

クリック方法

PaperStream Capture での操作を、シングルクリックで実行するか、またはダブルクリックで実行するかを指定します。

「シングルクリック」または「ダブルクリック」を選択します。

ホットキー動作モード

ホットキーの動作を指定します。

- PaperStream Capture が最前面の場合のみ動作する
  選択すると、PaperStream Capture が最前面に表示されているときだけ、ホットキーが有効になります。
- システム全体のホットキーとして動作する
  選択すると、PaperStream Capture の起動中は、システム全体のホットキーとして動作します。

スキャン中止のホットキー

読み取りを中止するためのホットキーを、キーボードの任意のキーで指定します。
ホットキーの動作は、「ホットキー動作モード」で指定できます。

> **重要**
>
> - ホットキーを定義し、かつ「ホットキー動作モード」で「システム全体のホットキーとして動作する」を選択した場合、PaperStream Capture が動作中は、ほかのすべてのアプリケーションで定義されたキーが使用できなくなります。ほかのアプリケーションで使用しないキーを定義することを推奨します。

手動仕分けのショートカットキー

任意の時点で、手動で原稿を分割する場合に押下するキーを指定できます。
デフォルトは「Ctrl」です。
キーを指定すると、以下の項目に反映されます。

- 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)の「仕分けの種類」の「xxx キー押下」
- 38.1 「読み取り設定」画面 (478 ページ)の「オプション」にある「ドキュメント分割」の「xxx が押されたら分割する」
  xxx には、指定したキーが表示されます。

ショートカット設定

PaperStream Capture の各操作に、ショートカットキーを定義できます。
[設定] ボタンをクリックすると、20.3.1 「ショートカット設定」画面 (407 ページ)が表示されます。

20.3.1 「ショートカット設定」画面

PaperStream Capture の各操作に、ショートカットキーを定義します。

分類

クリックすると表示されるドロップダウンリストから、操作画面やツールバーが選択できます。
選択すると、その操作画面またはツールバーで定義できる操作とそのショートカットキーを一覧で表示します。

ショートカットの入力

操作の一覧から操作を選択すると、入力域に、その操作に定義されているショートカットキーが表示されます。
ショートカットキーを変更する場合は、入力域を選択してから、キーボードの任意のキーで指定します。

［既定値に戻す］ボタン

設定をすべてデフォルトに戻します。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

20.4 「出力」タブ

出力されるファイルの形式を設定します。

ヒント

- この画面の項目「フル ASCII の Code 3 of 9 を使用する」チェックボックスは、メニューの  から、「管理ツール」を選択した場合、表示されません。設定が必要な場合は、PaperStream Capture を終了し、以下の手順で「管理ツール」を起動してください。
  - Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022
    「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
  - Windows 11 / Windows Server 2025
    「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

ファイル形式

TIFF の JPEG 圧縮形式

TIFF の JPEG 圧縮形式を選択します。
選択できる圧縮形式は以下のとおりです。

- Old JPEG (Compression=6)
- JPEG (Compression=7)

PDF のバージョン

ドロップダウンリストから、出力する PDF のバージョンを選択します。
PDF のバージョンは、1.2（Acrobat 3）～1.7（Acrobat 8）で選択できます（デフォルトは、1.7（Acrobat 8））。

重要

- 19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「PDF オプション」で、「カラー高圧縮を行う」または「グレー高圧縮を行う」チェックボックスのチェックが付いているときは、本項目の指定は無効となり、PDF のバージョンは 1.7（Acrobat 8）となります。
- 19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「PDF オプション」で、「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスのチェックが付いているときは、本項目で「1.2（Acrobat 3)」を選択しても、PDF のバージョンは 1.7（Acrobat 8）となります。
- 19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「PDF オプション」で、「開くパスワードを設定する」チェックボックスのチェックが付いているときは、本項目の指定は無効となり、PDF のバージョンは 1.7（Acrobat 8）となります。

PDF/A のバージョン

ドロップダウンリストから、出力する PDF/A の準拠レベルを選択します。
以下の準拠レベルを選択できます。

- PDF/A-1b
- PDF/A-2b
- PDF/A-2u
- PDF/A-3b
- PDF/A-3u

重要

PDF のバージョンは以下となります。

- PDF/A-1b の場合、PDF のバージョンは、1.4（Acrobat 5）となります。
- PDF/A-1b 以外の場合、PDF のバージョンは、1.7（Acrobat 8）となります。

Word 文書/Excel 文書/PowerPoint 文書の出力設定

［Office 変換機能の設定］ボタン

Word 、Excel、および PowerPoint 文書の出力に関する設定をします。
クリックすると、「Office 変換機能設定」画面が表示されます。

バーコード

「フル ASCII の Code 3 of 9 を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、Code39 のバーコードを Full ASCII 形式で認識します。
ASCII 形式で認識する場合は、チェックを外してください。

20.4.1 「Office 変換機能設定」画面

- **一般設定**

  一般設定

  Word 、Excel、および PowerPoint 文書の出力に関する共通の設定をします。

  ドキュメントの言語

  テキスト認識する言語を設定します。

- **Scan to Word**

  テキスト設定

  「改行を保持する」チェックボックス

  テキストの元の改行設定を保持する場合にチェックを付けます。

  「テキストの色を保持する」チェックボックス

  文字の元の色を保持する場合にチェックを付けます。

  「認識の信頼性が低い文字を強調表示する」チェックボックス

  生成されたデータを編集するとき、認識された文字のうち信頼性の低いものを強調表示したい場合にチェックを付けます。

  「出力文書で写真を保存する」チェックボックス

  元の文書の写真を保持する場合にチェックを付けます。

  ファイル形式

  出力するファイル形式を設定します。

- **Scan to Excel**

  「表の外側のテキストを無視する」チェックボックス

  表のみを保存し、ほかのテキストを無視する場合にチェックを付けます。

  ファイル形式

  出力するファイル形式を設定します。

- **Scan to PowerPoint**

  テキスト設定

  「改行を保持する」チェックボックス

  テキストの元の改行設定を保持する場合にチェックを付けます。

  「出力文書で写真を保存する」チェックボックス

  元の文書の写真を保持する場合にチェックを付けます。

20.5 「アクティベーション」タブ

ライセンス情報の確認、および管理をする画面です。

ライセンス情報

ライセンス名

ライセンス名が表示されます。

ユーザー名

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンス購入者の名前が表示されます。

ライセンスコード

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のアクティベートに使用したライセンスコードが表示されます。



クリックすると、表示されているライセンスコードをクリップボードにコピーできます。

ライセンス種別

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンス種別が表示されます。

マシン ID

お使いのコンピューターの ID が表示されます。

有効期限

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の有効期限が表示されます。
評価版を使用している場合、試用期限が表示されます。

ライセンス管理

購入

クリックすると、PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium の購入サイトをブラウザーで表示します。
[アクティベート] ボタンをクリックして、ライセンス認証が成功すると、[購入] ボタンは [更新] ボタンに切り替わります。

アクティベート

PaperStream Capture の場合、PaperStream Capture Pro Premium の評価版、または PaperStream Capture Pro および PaperStream Capture Pro Premium のライセンスを認証します。

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、ライセンスが認証されていないときに表示されます。
クリックすると、ライセンスを入力する画面が表示されます。
取得したライセンスコードを入力し、[アクティベート] ボタンをクリックすると、ライセンスが認証されます。ライセンス認証が成功すると、[アクティベート] ボタンは [ディアクティベート] ボタンに切り替わります。

ディアクティベート

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスが認証済みの場合に表示されます。
クリックすると、ライセンスの認証を解除して、[ディアクティベート] ボタンは [アクティベート] ボタンに切り替わります。

評価

PaperStream Capture の場合にクリックすると、評価版の申し込みフォームをブラウザーで表示します。
評価を開始する手順は、第 3 章 PaperStream Capture Pro Premium を評価する (46 ページ)を参照してください。
評価期間は 60 日、バッチ数は 200 です。
評価できるのは、1 つの端末につき 1 度だけです。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、非活性になります。

20.6 「ステーション」タブ

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の運用プロセスや形態を設定します。

ヒント

- この画面の項目「ストレージサーバー」は、メニューの  から、「管理ツール」を選択した場合、表示されません。マルチステーション運用で、設定が必要な場合は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium を終了し、以下の手順で「管理ツール」を起動してください。
  - Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022
    「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
  - Windows 11 / Windows Server 2025
    「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

プロセスの設定

[スキャン&インデックス] ボタン

スキャン、QC、インデックス、および出力処理を一度に行う場合に選択します。
マルチステーション運用では、読み取り、画像の確認や編集、または抽出データの確認や編集ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。
デフォルトは、選択されています。

[スキャン] ボタン

原稿の読み取りを行う場合に選択します。
マルチステーション運用では、読み取り操作ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。

[QC] ボタン

読み取った画像を確認したり、編集したりする場合に選択します。
マルチステーション運用では、画像の確認や編集ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。

[インデックス] ボタン

読み取った画像の抽出データを確認したり、変更したりする場合に選択します。
マルチステーション運用では、抽出データの確認や編集ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。

「次のバッチに自動的に遷移する」チェックボックス

[スキャン&インデックス] ボタン以外を選択している場合、設定できます。
チェックを付けると、次のバッチに自動的に遷移します。

「出力する前に最終確認を行う」チェックボックス

「マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）」を選択した場合、表示されます。
チェックを付けると、クライアント端末のステーションが「QC」の場合だけ、該当のバッチが表示され、出力前に画像の最終確認ができます。

ストレージサーバー

シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）

ストレージサーバーを使用しない運用の場合に選択します。

ストレージフォルダー

ジョブ、バッチ、および PaperStream IP のドライバープロファイルの管理ファイルを格納するフォルダーを指定します。
パスに環境依存文字（Unicode）が含まれるフォルダーは指定できません。
格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。
引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。

➡ 16.1 運用環境を移出する (216 ページ)
➡ 16.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する (217 ページ)

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、格納するフォルダーを指定します。

マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）

マルチステーション運用で、ストレージサーバーとして端末を使用する場合に選択します。

ストレージフォルダー

ジョブ、バッチ、および PaperStream IP のドライバープロファイルの管理ファイルを格納するフォルダーを指定します。
ネットワークフォルダーやパスに環境依存文字（Unicode）が含まれるフォルダーは指定できません。
格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。
引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。

➡ 16.1 運用環境を移出する (216 ページ)
➡ 16.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する (217 ページ)

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、格納するフォルダーを指定します。

出力サービス

［開始］ボタン

クリックすると、ストレージサーバーで PFU.PaperStream.Capture.ReleaseService を開始します。

［停止］ボタン

クリックすると、ストレージサーバーで PFU.PaperStream.Capture.ReleaseService を停止します。

ストレージファイアウォール

［開く］ボタン

クリックすると、ストレージサーバーのファイアウォールのポートを開き、クライアント端末からの通信を許可します。

［閉じる］ボタン

クリックすると、ストレージサーバーのファイアウォールのポートを閉じ、クライアント端末からの通信を遮断します。

バックグラウンド OCR を行う

画面上で作業を続けられるよう、マルチステーション運用でストレージサーバーが OCR を行うかを設定します。
「マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）」が選択されている場合に表示されます。

- 「スキャン＆インデックス」端末の場合
  ［一時保存］ボタンまたは［完了］ボタンをクリックしたときに、操作している端末のバックグラウンドで OCR を行います。
- 「スキャン」端末、「QC」端末の場合
  ［完了］ボタンをクリックしたときに、ストレージサーバーで OCR を行います。
- 「インデックス端末」の場合
  ［一時保存］ボタンまたは［完了］ボタンをクリックしたときに、ストレージサーバーで OCR を行います。

マルチステーション運用（ステーションとして使用する）

マルチステーション運用で、スキャンや QC、インデックスの操作をするクライアント端末として使用する場合に選択します。

サーバーのアドレス

マルチステーション運用でストレージサーバーとして設定した端末の IP アドレスまたはホスト名を指定します。

［テスト］ボタン

クリックすると、ストレージサーバーへの接続確認を実行します。

20.7 「サポート」タブ

ログファイルの出力、および出力する情報を設定します。
読み取りの履歴やエラーなどの情報を、Windows のイベントログに出力できます。

お問い合わせ

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
各種情報が表示されます。

データ収集

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。

「操作データを出力する」チェックボックス

チェックを付けると、PaperStream Capture の使用状況を収集し、「TSV」形式でファイルを出力します。

➡ 42.5 収集するデータ (662 ページ)

フォルダー

操作データの出力先フォルダーを指定します。

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

サポートツール

イベントログ設定

「メッセージのログ」チェックボックス

すべてのメッセージを出力します。

「選択したイベントのログ」チェックボックス

選択されたログイベントを出力します。選択できるログイベントは、以下のとおりです。

スキャンの実行

原稿が読み取られた時点でログを出力します
ログイベント種別は、情報になります。

ページ削除

ページが削除された時点でログを出力します。
白紙スキップ機能でページが削除された場合も同様です。
仕分け用原稿の破棄については出力されません。
ログイベント種別は、情報になります。

紙詰まり

原稿づまりが発生し、PaperStream IP ドライバーのメッセージに応答して読み取りを中止した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、エラーになります。

重送

重送が PaperStream Capture に通知された時点でログを出力します。
PaperStream IP ドライバーのマルチフィードリカバリーなどの機能で読み取りが継続された場合、ログは出力されません。
ログイベント種別は、エラーになります。

その他のエラー

原稿の読み取り中にエラーが発生するとログを出力します。
ログイベント種別は、エラーになります。

バッチの生成

バッチを作成し、保存した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

スキャン開始

スキャンを開始した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

スキャン終了

スキャンが終了した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

QC 開始

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
QC を開始した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

QC 終了

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
QC を終了した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

インデックス開始

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
「インデックス」画面を開いた時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

インデックス終了

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
「インデックス」画面を閉じた時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

出力開始

出力を開始した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

出力終了

出力が終了した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

［既定値に戻す］ボタン

設定をすべてデフォルトに戻します。

第 21 章
「スキャン」画面

事前に設定したジョブを選択して、原稿を読み取ります。
画面にジョブの一覧が表示されます。

重要

帳票識別（「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択）のジョブで原稿を読み取る場合、設定によっては読み取り時の認識精度が低くなり、結果の表示が遅くなる可能性があります。

- 帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合
- アシストスキャンを行う場合

並び替え

ジョブの表示順を変更できます。ドロップダウンリストからジョブの表示順を選択します。

- 最終更新日時（新しい順）
- 最終更新日時（古い順）
- 作成日時（新しい順）
- 作成日時（古い順）
- ジョブ名（昇順）
- ジョブ名（降順）
- ユーザー指定順
  並び順を自由に変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。
  変更した並び順は、ログオンしたユーザーごとで管理されます。
- グループ
  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  ジョブがグループごとに表示されます。グループが設定されていないジョブは「その他」グループに表示されます。
  並び順を変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。

ただし、PaperStream AI の  （「PaperStream AI」ジョブ）は並び替えできません。

ジョブの検索

ジョブ名またはジョブ名の一部を入力して［検索］ボタンをクリックすると、対象のジョブが表示されます。
128 文字まで入力できます。

[ジョブ作成/編集]ボタン

クリックすると、第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)が表示されます。

ジョブの一覧

ジョブの一覧を表示します。
「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「一般」タブで、「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、以下のジョブがサンプルで表示されます。

- Auto-Color
- Color
- Black and White
- One Push Scan

重要

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーでは、サンプルでの読み取りは未サポートです。

ジョブのアイコンをマウスでポイントすると、ジョブの詳細が表示されます。
アイコンをクリックすると、ジョブの設定に従って読み取りを開始します。
アイコンを右クリックすると「アドホックスキャン」が表示されます。「アドホックスキャン」を選択すると、選択したジョブの読み取り条件を、一時的に変更して原稿を読み取れます。

➡ 11.2 ジョブの設定を一時的に変更して読み取る（バッチスキャンモード） (102 ページ)

ヒント

- サンプルのジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」は、デフォルトの設定では表示されません。
  表示する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

  1. PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成/編集] ボタンをクリックします。
  2. ジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択し、[編集] ボタンをクリックします。
  3. 表示された「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、「表示」の設定を「表示」にして保存します。

 /

クリックすると、「ジョブ概要」の表示 / 非表示を切り替えます。

ジョブ概要

選択しているジョブの詳細を表示します。

第 22 章
「スキャン」画面（確認 / 編集時）

読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

ビューアー

読み取った画像を表示します。
画面の表示は、以下になります。

- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」の場合
  - 抽出データが設定されていない場合
    「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
  - 抽出データが設定されている場合
    「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」以外の場合
  前回と同じモードで表示されます。

ビューアーの横にサムネール一覧やフィールドパネルが表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
PaperStream Capture の場合、画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」のときだけ表示されます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」のときだけ表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。

バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。

デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

［完了］ボタン

- PaperStream Capture の場合
  読み取った画像を確定して、出力処理を実行します。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  抽出データが設定されていない場合や、読み取りと QC を別々に作業しない場合は、読み取った画像を確定して、出力処理を実行します。
  抽出データが設定されている場合や、読み取りと QC を別々に作業する場合は、次のバッチに遷移します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
  - 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定
  - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「ページカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「シートカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

［一時保存］ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。
ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、［はい］ボタンをクリックします。

- 後で再開
  あとで確認する場合に選択します。
- 画質
  画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他
  そのほかの理由で中断する場合に選択します。
  入力域に理由を記入してください。

［キャンセル］ボタン

読み取った画像を破棄して、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中

ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。

第 23 章
「スキャン&インデックス」画面

事前に設定したジョブを選択して、原稿を読み取ります。
画面にジョブの一覧が表示されます。

重要

帳票識別（「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「帳票」を選択）のジョブで原稿を読み取る場合、設定によっては読み取り時の認識精度が低くなり、結果の表示が遅くなる可能性があります。

- 帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズの設定が異なる場合
- アシストスキャンを行う場合

並び替え

ジョブの表示順を変更できます。ドロップダウンリストからジョブの表示順を選択します。

- 最終更新日時（新しい順）
- 最終更新日時（古い順）
- 作成日時（新しい順）
- 作成日時（古い順）
- ジョブ名（昇順）
- ジョブ名（降順）
- ユーザー指定順
  並び順を自由に変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。
  変更した並び順は、ログオンしたユーザーごとで管理されます。
- グループ
  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  ジョブがグループごとに表示されます。グループが設定されていないジョブは「その他」グループに表示されます。
  並び順を変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。

ただし、PaperStream AI の  （「PaperStream AI」ジョブ）は並び替えできません。

ジョブの検索

ジョブ名またはジョブ名の一部を入力して［検索］ボタンをクリックすると、対象のジョブが表示されます。
128 文字まで入力できます。

[ジョブ作成/編集]ボタン

クリックすると、第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)が表示されます。

ジョブの一覧

ジョブの一覧を表示します。
「PaperStream Capture 管理ツール」の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)で、「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、以下のジョブがサンプルで表示されます。

- Auto-Color
- Color
- Black and White
- One Push Scan

ジョブのアイコンをマウスでポイントすると、ジョブの詳細が表示されます。
アイコンをクリックすると、ジョブの設定に従って読み取りを開始します。
アイコンを右クリックすると「アドホックスキャン」が表示されます。「アドホックスキャン」を選択すると、選択したジョブの読み取り条件を、一時的に変更して原稿を読み取れます。

➡ 11.2 ジョブの設定を一時的に変更して読み取る（バッチスキャンモード） (102 ページ)

ヒント

- サンプルのジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」は、デフォルトの設定では表示されません。
  表示する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

  1. PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成/編集] ボタンをクリックします。
  2. ジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択し、[編集] ボタンをクリックします。
  3. 表示された「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、「表示」の設定を「表示」にして保存します。

グループ名（ジョブ数）

グループバーです。「並び替え」で「グループ」を選択した場合に表示されます。



グループ内のジョブを非表示にします。



グループ内のジョブを表示します。



グループの表示順を上げます。



グループの表示順を下げます。



クリックすると、「ジョブ概要」の表示 / 非表示を切り替えます。

ジョブ概要

選択しているジョブの詳細を表示します。

第 24 章
「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）

読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

ビューアー

読み取った画像を表示します。
画面の表示は、以下になります。

- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」の場合
  - 抽出データが設定されていない場合
    「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
  - 抽出データが設定されている場合
    「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」以外の場合
  前回と同じモードで表示されます。

ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」または「サムネール」の場合だけ表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。
バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。
デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

［完了］ボタン

読み取った画像を確定して、出力処理を実行します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
  - 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定
  - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「ページカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「シートカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

［一時保存］ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。
ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、［はい］ボタンをクリックします。

- 後で再開
  あとで確認する場合に選択します。
- 画質
  画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他
  そのほかの理由で中断する場合に選択します。
  入力域に理由を記入してください。

［キャンセル］ボタン

読み取った画像を破棄して、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中

ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。

第 25 章
リカバリー画面

エラーが検出された画像を、確認したり編集したりできます。

ツールバー

編集

削除

選択しているページを削除します。

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

表示

オールインワン

ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。

ブラウズ

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。

ブラウズ(2×1)

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアー内の左側にサムネール一覧で選択しているページ、右側に次のページを表示します。

サムネール

ビューアー全体に、ドキュメントの全ページのサムネールを表示します。
サムネールをダブルクリックすると、表示を「フルページ」に変更し、ページを表示します。

フルページ

ビューアーに、選択しているページを表示します。

見開きページ

ビューアーに、選択しているページと次のページが 2 ページ並んだ状態で表示します。

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズでページを表示します。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

第 1

クリックして、マルチイメージを第 2 または第 3 の表示に切り替えられます。
マルチイメージ出力の場合に有効です。

ナビゲーション

現在ページ数/全ページ数が表示されます。
アイコンをクリックすることでも、ページを移動できます。

ビューアー

読み取った画像を表示します。
画面の表示は、以下になります。

- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」の場合
  - 抽出データが設定されていない場合
    「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
  - 抽出データが設定されている場合
    「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」以外の場合
  前回と同じモードで表示されます。

ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。

分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」の場合に表示されます。
仕分けのバーは灰色で表示されます。

バッチの仕分け

サムネール一覧で、各バッチの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」の場合に表示されます。
仕分けのバーは水色で表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。

バーを左に移動させる、または をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

または をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。

デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

[継続読み取り] ボタン

読み取りを継続します。

[キャンセル] ボタン

PaperStream Capture の場合、読み取った画像を破棄して、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)に戻ります。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、読み取った画像を破棄して、第 23 章 「スキャン&インデックス」画面 (424 ページ)または第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)に戻ります。

重要

- マルチイメージ出力の場合は、ページ単位で画像を編集します。
  そのため、第 1 の画像を選択していれば、第 2、第 3 の画像も同時に編集されます。
  ただし、第 2、第 3 の画像を選択している場合は、ツールバーの「画像」にある「元に戻す」と「やり直す」以外のツールは使用できません。

第 26 章
「QC」画面

読み取った画像を確認したり編集したりできます。

画面の表示は、以下になります。

- 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」の場合
  - 抽出データが設定されていない場合
    「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
  - 抽出データが設定されている場合
    「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
  - 前回の表示が「ブラウズ」または「オールインワン」以外の場合
    前回と同じモードで表示されます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

サムネール

ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。
サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
サムネールには帳票種が表示されます。
非定型帳票の場合は、サムネールの帳票種を変更すると再度 OCR を行います。
画面の表示が「ブラウズ」または「サムネール」の場合だけ表示されます。
帳票が未定義、未認識、またはエラーの場合、サムネールに［再度帳票識別を行う］ボタンが表示されます。
PaperStream AI を使用して再度帳票識別を行う場合、［再度帳票識別を行う］ボタンをクリックする前の状態によっては PaperStream AI での読み取りとしてカウントされます。
PaperStream AI での読み取りとしてカウントされる条件は、第 28 章 ツールバー (440 ページ)の

リトライを参照してください。

なお、PaperStream IP Import または File Import で複数ページのファイルを認識した場合、［再度帳票識別を行う］ボタンは先頭ページのサムネールにのみ表示されます。

ビューアー

確認する画像を表示します。表示されるページ数は最大 9999 ページまでです。

フィールドパネル

OCR 結果が表示されます。フィールドパネル上部の「未確認」「注意」「警告」をそれぞれクリックすると、フィールドパネルの表示を絞り込めます。「確認率」はフィールド総数に対する確認済みの割合です。

フィールド名の横のアイコンをクリックすることで、に切り替えることができます。

「警告」は文字の抽出ができなかった箇所です。正しい内容を入力してください。があると、次の操作に進めません。
「注意」は文字の抽出ができていますが間違っている可能性があります。抽出結果を確認して、正しい内容を入力してください。内容が正しい場合はそのままで構いません。があっても次の操作に進めます。

「未確認」は文字の抽出ができています。抽出結果を確認してください。があっても次の操作に進めます。

をクリックすることで、フィールド名を変更できます。変更されたフィールド名は対象のページにだけ適用されます。は、（「PaperStream AI」ジョブ）を使用して読み取ると表示されます。そのほかのジョブでフィールド名を変更したい場合は、「データ抽出設定」タブで［フィールド定義］ボタンをクリックして、「フィールド定義」画面で変更してください。

をクリックすることで、オン/オフを切り替えられます。インデックス情報として出力する場合は、出力しない場合はにします。は、を使用して読み取ると表示されます。そのほかのジョブでインデックス情報として出力する/しないを変更したい場合は、「データ抽出設定」タブの「データ抽出項目」タブのチェックリストで変更してください。で読み取ってジョブを作成する場合、変更内容は反映されません。
表の+アイコンをクリックすることで、その行の下に行を追加できます。表は 30 行までです。

［フィールド追加］ボタン

クリックするとフィールドを追加できます。
フィールド名を入力すると範囲選択状態になるので、ビューアーの画像上でエリアを選択してください。［エリア設定完了］ボタンをクリックすると、エリアの設定が完了します。

［フィールド追加］ボタンは、を使用して読み取ると表示されます。 そのほかのジョブでフィールドを追加したい場合は、「データ抽出設定」タブで［フィールド定義］ボタンをクリックして、「フィールド定義」画面で追加してください。

［完了］ボタン

画像の処理を確定する、または出力処理を実行します。
処理状況は、「バッチ管理」画面で確認してください。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
  - 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定
  - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「ページカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「シートカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

［一時保存］ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。
ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、［はい］ボタンをクリックします。

- 後で再開
  あとで確認する場合に選択します。
- 画質
  画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他
  そのほかの理由で中断する場合に選択します。
  入力域に理由を記入してください。

［キャンセル］ボタン

読み取った画像を破棄して、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中

ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。

第 27 章
「インデックス」画面

抽出データの設定がされているページのデータ抽出フィールドを変更したり、新たに追加したりします。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

➡ 第 28 章 ツールバー (440 ページ)

ビューアー

抽出データが設定されている画像が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、中央に選択しているページ、右側にフィールドパネルが表示されます。
ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」または「ブラウズ」の場合だけ表示されます。

［完了］ボタン

抽出データを確定して、出力処理を実行します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
  - 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定
  - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
  - 「ページカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

- 「シートカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

［一時保存］ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。
ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、［はい］ボタンをクリックします。

- 後で再開
  あとで確認する場合に選択します。
- 画質
  画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他
  そのほかの理由で中断する場合に選択します。
  入力域に理由を記入してください。

［キャンセル］ボタン

読み取った画像を破棄して、第 21 章 「スキャン」画面 (418 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中

ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。

第 28 章
ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。
PaperStream Capture の場合、第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)や 19.8.1 「スキャン(テスト)」画面 (392 ページ)で表示されます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、以下の画面で表示されます。

- 19.8.1 「スキャン(テスト)」画面 (392 ページ)
- 19.8.2 「QC(テスト)」画面 (394 ページ)
- 19.8.3 「インデックス(テスト)」画面 (396 ページ)
- 第 22 章 「スキャン」画面（確認 / 編集時） (421 ページ)
- 第 24 章 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） (427 ページ)
- 第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)
- 第 27 章 「インデックス」画面 (437 ページ)

表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

スキャン



追加

別の原稿を読み取って、選択しているページの直後に追加します。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。



追加（ドライバープロファイル）

一時的にドライバープロファイルを変更して別の原稿を読み取り、選択しているページの直後に追加します。
こだわり作成のジョブで、以下の設定の場合に、このツールを選択できます。

- PaperStream Capture の場合
  - PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
  - PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの「自動プロファイル選択」で「オン」を選択している場合

  ただし、以下の場合、このツールは選択できません。
  - かんたん作成のジョブの場合
  - こだわり作成のジョブで、以下の設定の場合
    - PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合
    - 「読み取り設定」タブ の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

- PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
- PaperStream IP ドライバーの「自動プロファイル選択」で「オン」を選択している場合

ただし、以下の場合、このツールは選択できません。

- かんたん作成のジョブの場合
- こだわり作成のジョブで、「読み取り設定」タブ の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ



追加（アシストスキャン）

PaperStream IP ドライバーのアシストスキャン機能を有効にして原稿を読み取り、選択しているページの直後に追加します。
ただし、PaperStream IP ドライバーの、ほかの読み取り条件や選択したプロファイルの内容によっては、アシストスキャンが無効となり、エラーメッセージを表示して処理を中止する場合があります。

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ



差し替え

別の原稿を読み取って、選択しているページを差し替えます。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。



差し替え（ドライバープロファイル）

一時的にドライバープロファイルを変更して別の原稿を読み取り、選択しているページを差し替えます。
こだわり作成のジョブで、以下の設定の場合に、このツールを選択できます。

- PaperStream Capture の場合
  - PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
  - PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの「自動プロファイル選択」で「オン」を選択している場合

  ただし、以下の場合、このツールは選択できません。
  - かんたん作成のジョブの場合
  - こだわり作成のジョブで、以下の設定の場合
    - PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合
    - 「読み取り設定」タブ の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

- PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
- PaperStream IP ドライバーの「自動プロファイル選択」で「オン」を選択している場合

ただし、以下の場合、このツールは選択できません。

- かんたん作成のジョブの場合
- こだわり作成のジョブで、「読み取り設定」タブ の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合

**差し替え（アシストスキャン）**

PaperStream IP ドライバーのアシストスキャン機能を有効にして原稿を読み取り、選択しているページを差し替えます。
ただし、PaperStream IP ドライバーの、ほかの読み取り条件や選択したプロファイルの内容によっては、アシストスキャンが無効となり、エラーメッセージを表示して処理を中止する場合があります。

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

**差し替え（表裏判別しない）**

PaperStream IP ドライバーの「基本」の「表裏判別」で「判別しない」以外を選択している場合、表示されます。
身分証のような顔写真がある原稿でも表裏判別せずに読み取り、選択しているページを差し替えます。

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

画像

**画質補正(ASC)**

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
PaperStream IP ドライバーのアシストスキャン機能を有効にして、選択しているページを再読み取りせずに、画質補正したページに差し替えます。

**90 度回転**

選択しているページを右に 90 度回転します。
「ファイルの追加」でファイルから追加したページを選択した場合、ページによっては回転できない場合があります。

**-90 度回転**

選択しているページを左に 90 度回転します。

「ファイルの追加」でファイルから追加したページを選択した場合、ページによっては回転できない場合があります。

180 度回転

選択しているページを 180 度回転します。
「ファイルの追加」でファイルから追加したページを選択した場合、ページによっては回転できない場合があります。

削除

選択しているページを削除します。

白紙削除

白紙のマークが付いているページをすべて削除します。

切り取り

選択しているページを切り取ります。

コピー

選択しているページをコピーします。

貼り付け

切り取りまたはコピーしたページを貼り付けます。

ドキュメントを分割

選択しているページの直前で、ドキュメントを分割します。
「仕分け設定」タブで「帳票識別」を選択した場合、帳票リストでチェックボックスにチェックを付けた帳票の帳票名が表示されます。

ドキュメントを結合

選択しているドキュメントと直前のドキュメントを結合します。

ページ並び替え

読み取った画像の順番を並べ替えます。
原稿を以下のように読み取った場合に有効です。

- 片面読み取りで、原稿の表面（奇数ページ）を読み取ったあとに、裏面（偶数ページ）を読み取った場合

- 原稿のページを降順で読み取った場合

折畳み

ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、6、4、2 のように、表面にあたる画像（奇数ページ）が昇順で並んでいるのに対し、裏面にあたる画像（偶数ページ）が降順で並んでいる場合に有効です。

平行移動

ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、2、4、6 のように、表面にあたる画像（奇数ページ）も裏面にあたる画像（偶数ページ）も昇順で並んでいる場合に有効です。

逆順

全ページを逆から順番に並べ替えます。
降順で並んでいるページを昇順に並べ替える場合に有効です。



マーク

選択しているページにマークを付けます。
マークを付けると、サムネールの背景およびビューアーの枠がオレンジ色になります。



白紙マーク

選択しているページに白紙のマークを付けます。
マークを付けると、サムネールの背景およびビューアーの枠が黒色になります。



マークを解除

選択しているページのマークを解除します。



リトライ

表示中のページの帳票識別を再度行います。
PaperStream AI を使用して帳票識別を再度行う場合、リトライ前の状態によっては PaperStream AI での読み取りとしてカウントされます。
クリックして表示されるリトライの帳票種を選択する画面で「選択されたページのみ再認識を実施する」チェックボックスにチェックをつけると、選択したページだけを PaperStream AI での読み取りとしてカウントしますが、帳票種を変更すると「選択されたページのみ再認識を実施する」チェックボックスは表示されません。

リトライ前のサムネールラベル（ラベルの色）	リトライ前の状態	リトライを PaperStream AI での読み取りとしてカウントするか
エラー（赤）	読み取りエラー	カウントしません。
未認識（白）	既カウント	カウントしません。
未認識（白）	未カウント	カウントします。
未定義（グレー）	で読み取り、PaperStream AI が未定義と判定	カウントしません。
未定義（グレー）	で読み取り、手動で未定義に変更	カウントします。
未定義（グレー）	が表示されているジョブで読み取り	カウントします。
識別済み（白）	識別済み	カウントします。

トリミング

表示中のページをトリミングします。
このツールは、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、「読み取り設定」タブの「QC/インデックス画面での画像トリミングを許可する」チェックボックスにチェックがついている場合に表示されます。

➡ 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)

トリミング範囲を調整後、もう一度をクリックすると、トリミング範囲が確定されます。
マルチイメージ出力の場合、第 1、第 2、および第 3 は同時にトリミングされます。
トリミングの結果、エリアは以下のように補正されます。

- トリミング範囲内にすべて残るエリア
  エリアの位置（座標）が補正されます。
- 一部だけトリミング範囲内に残るエリア
  画像端に合わせてエリアの大きさが補正されます。
- トリミング範囲外になるエリア
  エリアは削除されます。トリミング前に読み取ったフィールド値は残ります。

定型帳票またはページ単位で、トリミング実行時に画像の左上座標がトリミングによって変更になる場合、以下のメッセージが表示されます。

トリミング後にデータ抽出を再度実行しますか？(SX03224Q)

- 「はい」をクリックした場合
  トリミング後に再度データ抽出を行い、フィールド値も更新します。
  帳票識別に失敗する場合、未定義になり、フィールド値は空欄になります。
- 「いいえ」をクリックした場合
  トリミング後、トリミング前のフィールド値を残します。



元に戻す

直前の編集操作を取り消します。



やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

操作モード



エリア設定

フィールド値として認識する領域を変更します。
このツールは、画画の表示が「オールインワン」または「フルページ」で、かつ、ページにフィールド値として認識する領域が設定されている場合に表示されます。



手のひら

画像表示をスクロールします。



拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。



矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示



オールインワン

ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルを表示します。
PaperStream Capture の場合、このツールは、ページに抽出データが設定されている場合に表示されます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、このツールは、インデックスを確認 / 編集する画面で表示されます。

ブラウズ

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。

ブラウズ(2 × 1)

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアー内の左側にサムネール一覧で選択しているページ、右側に次のページを表示します。

サムネール

ビューアー全体に、ドキュメントの全ページのサムネールを表示します。
サムネールをダブルクリックすると、表示を「フルページ」に変更し、ページを表示します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、このツールは、インデックスを確認 / 編集する画面以外で、表示されます。

フルページ

ビューアーに、選択しているページを表示します。
ページに抽出データが設定されている場合は、ビューアーの右側にフィールドパネルを表示し、ビューアーにページの詳細、フィールドパネルにフィールドのフィールド値を表示します。
フィールド値は、直接入力または編集できます。

見開きページ

ビューアーに、選択しているページと次のページが 2 ページ並んだ状態で表示します。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、このツールは、インデックスを確認 / 編集する画面以外で、表示されます。

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

**横幅に合わせる**

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

**100%**

ビューアーに実際の原稿のサイズでページを表示します。

**フィルターオフ**

すべてのページを表示対象にします。

**重送**

原稿の重送を検出したページを表示対象にします。

**折れ/破れ**

原稿に折れや破れなどの異常を検出したページを表示対象にします。

**白紙**

白紙を検出したページを表示対象にします。
「白紙」が選択された状態で「白紙削除」を実行した場合、「フィルターオフ」に自動で切り替わります。

**原稿識別精度（ドライバー）**

PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの「自動プロファイル選択」機能で識別した原稿の、識別精度が低いページを表示対象にします。

**マーク**

マークを付けたページを表示対象にします。

**インデックスなし**

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
インデックスの必須フィールドが未入力のページを表示対象にします。

**第 1**

クリックして、マルチイメージを第 2 または第 3 の表示に切り替えられます。
マルチイメージ出力の場合に有効です。

ナビゲーション

現在ページ数 / 全ページ数が表示されます。
アイコンをクリックすることでも、ページを移動できます。

マスキング

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。

表示

この項目は、次のいずれかの場合に表示されます。

- 「読み取り設定」タブの「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックスのチェックが付いている状態で、かつ、 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） または「インデックス」画面の表示が 「オールインワン」、「ブラウズ」、または「フルページ」の場合
- 「読み取り設定」タブの「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックスのチェックが付いている状態で、かつ、QC 画面の表示が「ブラウズ」または「フルページ」の場合

マスキングを設定したエリアの表示/非表示を切り替えます。



マスキング設定

この項目は、次のいずれかの場合に表示されます。

- 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「インデックス」画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、または「フルページ」の場合
- 「読み取り設定」タブの「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックスのチェックが付いている状態で、かつ、QC 画面の表示が「ブラウズ」または「フルページ」の場合

マスキングを追加または編集します。



マスキングの色(黒)

この項目は、次のいずれかの場合に表示されます。

- 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「インデックス」画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、または「フルページ」の場合に表示されます。
- 「読み取り設定」タブの「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックスのチェックが付いている状態で、かつ、QC 画面の表示が「ブラウズ」または「フルページ」の場合

追加または編集するマスキングの色を黒色にします。



マスキングの色(白)

この項目は、次のいずれかの場合に表示されます。

- 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「インデックス」画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、または「フルページ」の場合に表示されます。
- 「読み取り設定」タブの「QC/インデックス画面でのマスキングの追加を許可する」チェックボックスのチェックが付いている状態で、かつ、QC 画面の表示が「ブラウズ」または「フルページ」の場合

追加または編集するマスキングの色を白色にします。

その他



ファイルの追加

選択しているページの直後に、ファイルを追加します。
クリックすると、追加するファイルを選択する画面が表示されます。追加するファイルのパス長は 200 バイトまでです。

➡ 42.1 ファイル形式 (644 ページ)

PaperStream Capture の場合、マルチイメージ出力のとき、無効になります。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」で「画質補正」が「有効」またはマルチイメージ出力の場合、無効になります。
帳票のデータ抽出を行うジョブの場合、追加したファイルのデータ抽出は行いません。



タイトルバー表示/非表示

クリックすると、タイトルバーの表示と非表示を切り替えます。



印刷

クリックすると、現在開いているファイルを印刷します。

重要

- マルチイメージ出力の場合は、ページ単位で画像を編集します。
  そのため、第 1 の画像を選択していれば、第 2 、第 3 の画像も同時に編集されます。ただし、第 2 、第 3 の画像を選択している場合は、ツールバーにある以下のツールが使用できません。
  - 「スキャン」にあるツール
  - 「画像」にある「元に戻す」と「やり直す」以外のツール
- マスキングを設定した画像は、文書の改ざんとみなされる場合があります。マスキングを設定しても問題ないか事前に確認してください。
- PaperStream IP ドライバーの「デジタルエンドーサ」で指定した文字列の出力位置と、マスキングのフィールドが重ならないようにしてください。重なっていると、デジタルエンドーサで出力した文字列がマスキングで塗りつぶされた状態になります。

第 29 章
「出力オプション設定」画面

PaperStream AI で表示される画面です。
ファイルを出力するときに、画像ファイルの出力形式を指定できます。

ジョブの保存

「ジョブとして保存する」チェックボックス

チェックを付けると、出力後にジョブとして保存します。

ジョブ名

ジョブ名を設定します。最大で 128 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字（¥ / : * ? " < > |）はジョブ名に使用できません。

> **重要**
> - 一時保存、中断、またはエラーのバッチが存在する場合、「ジョブ名」は編集できません。

> **ヒント**
> - ジョブ名に以下のような環境依存文字を使用すると、スキャナーの装置パネルにジョブ名が正しく表示されないことがあります。ジョブ名に環境依存文字を使用しないでください。
>   - 丸囲み数字
>   - ローマ数字
>   - 単位
>   - 省略文字
>   - 人名・地名

「画像・インデックスファイルを出力する」チェックボックス

チェックを付けると、ジョブの保存と同時に読み取った原稿の画像ファイルとインデックスファイルを出力します。
チェックを外すと、保存されるジョブの設定に「画像ファイルの出力」および「インデックスファイルの出力」の設定が反映されます。
マルチステーション運用時は指定できません。

画像ファイルの出力

ファイル形式



（「PaperStream AI」ジョブ）の「出力先設定」タブで「出力時にファイル形式を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合に表示されます。

読み取った画像のファイル形式を選択します。詳細は、42.1 ファイル形式 (644 ページ)を参照してください。

フォルダー

の「出力先設定」タブで「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合に表示されます。
読み取った画像の出力先フォルダーを指定します。

[参照] ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

ファイル

「出力先設定」タブで「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合に表示されます。
読み取った画像のファイル名を指定します。
以下の文字列は、ファイル名に使用できません。

- 使用禁止文字
  - 出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合
    ¥ / : ? * " < > | ,
  - 上記以外の場合
    / : ? * " < > | ,
- Windows 予約語だけ

出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合、¥ を設定すると、フォルダーを区切ります。
なお、ファイル名に < および > を設定すると、出力時に < および > は削除されます。< および > は、ファイル名オプションの予約語で使用しているため、エラーメッセージは表示されません。
例えば、ファイル形式に PDF File（*.pdf）を選択し、ファイル名に <Document> と設定した場合、Document.pdf と出力されます。

[ファイル名オプション] ボタン

クリックすると、ファイル名に指定できる項目が表示されます。詳細は、19.5.10 ファイル名オプション (292 ページ)を参照してください。

インデックスファイルの出力

ファイル形式

「出力先設定」タブで「出力時にファイル形式を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合に表示されます。
インデックス情報を格納するファイル形式を、以下から選択します。

- TXT

- XML
- CSV

インデックスファイル

「出力先設定」タブで「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合に表示されます。
インデックス情報ファイルのファイル名を指定します。
ただし、使用禁止文字（¥ / : * ? " < > |）は指定できません。

［ファイル名オプション］ボタン

クリックすると、ファイル名に指定できる項目が表示されます。詳細は、19.5.11 ファイル名オプション（インデックスファイル） (298 ページ)を参照してください。
選択すると、ファイル名の入力域に、該当の項目がタグ形式で表示されます。

- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」の場合は、黄色のタグが表示されます。
- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」以外の場合は、青色のタグが表示されます。

区切り文字の選択ボックス

ファイル形式で「CSV」を選択した場合に表示されます。
出力する項目の区切り文字を選択できます。「その他」を選択すると、区切り文字を指定する入力域が表示されるので、指定したい区切り文字を入力してください。

「UTF-8 で出力する」チェックボックス

ファイル形式で「CSV」を選択した場合に表示されます。
チェックを付けると、UTF-8（8-bit UCS Transformation Format）で出力します。
チェックが外れている場合は、システムロケールの設定言語のデフォルト文字コードで出力します。

第 30 章
「ファイル名の指定」画面

読み取った画像の出力先やファイル名を指定できます。
19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、[完了] ボタンをクリックすると表示されます。

フォルダー

読み取った画像を出力するフォルダーのパスを表示します。
「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるフォルダー名の入力域で指定した値が初期表示されます。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

日付を使用する

ファイル名に、ファイルの出力日時を使用します。表示形式は、以下から選択します。

- yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒
- yyyyMMddHHmmss

出力先に同名のファイルがある場合は、ファイル名のうしろに「_」(アンダースコア) と 3 桁の連番を自動的に付与します。

自分で名前を付ける

ファイル名に、任意の文字列と連番を付与します。

先頭文字列

ファイル名に指定する任意の文字列を入力域に入力します。

連番

ファイル名に付与する連番の桁数を、0 ～ 6 桁の範囲で指定します。
ファイル数が、指定した桁数を超える場合は、桁数を 1 つ繰り上げて連番を付与します。
指定した先頭文字列と桁数の構成が、出力先にあるファイル名と同じ場合は、出力先のファイル名にない最小の数字から連番を付与します。
以下に、「先頭文字列」が「document」で、10 ファイルを PDF 形式で 出力した場合の例を記載します。

- 「連番」の桁数が「0」のとき
  document.pdf、document1.pdf、document2.pdf、document3.pdf、document4.pdf、document5.pdf、document6.pdf、document7.pdf、document8.pdf、document9.pdf
- 「連番」の桁数が「1」のとき
  document1.pdf、document2.pdf、document3.pdf、document4.pdf、document5.pdf、document6.pdf、document7.pdf、document8.pdf、document9.pdf、document10.pdf
- 「連番」の桁数が「2」で、出力先に「document01.pdf」、「document03.pdf」のファイルがあるとき

document02.pdf、document04.pdf、document05.pdf、document06.pdf、
document07.pdf、document08.pdf、document09.pdf、document10.pdf、
document11.pdf、document12.pdf

サンプル

本画面で設定したフォルダーとファイル名のパスをサンプルで表示します。

［OK］ボタン

設定を反映して、出力処理を実行します。
また、変更した値が「出力先設定」タブの各設定に反映されます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

第 31 章
ファイル名の編集画面

読み取った画像の出力先やファイル名の一部を編集できます。
19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」にある［ファイル名オプション］ボタンをクリックすると表示されるリストで、以下を指定している場合に表示されます。

- 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「スキャン前入力」を指定している場合は、ジョブを実行すると表示されます。
- 以下のどれかを指定している場合は、画像を確認 / 編集する画面で［完了］ボタンをクリックすると表示されます。
  - 「編集文字列」を選択して、サブメニューで「出力前入力」を指定
  - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］ボタンをクリックして表示される 19.5.12 「カウンターオプション」画面 (302 ページ)の「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
  - 「ページカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
  - 「シートカウンター」を指定し、かつ［カウンターオプション］をクリックして表示される「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている

マルチイメージの場合は、第 1 、第 2 、第 3 の画像でそれぞれ異なるフォルダー名やファイル名を指定できます。

フォルダーパス

読み取った画像を出力するフォルダーを表示します。
「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるフォルダー名の入力域で指定した値が初期表示されます。

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域で指定した値が表示されます。

編集項目

編集文字列

ファイル名を入力します。最大で 128 文字まで入力できます。
ただし、使用禁止文字（¥ / : * " ? " < > |）はファイル名に使用できません。
「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「編集文字列」を指定していない場合はグレーアウトされます。
同一のジョブで前回設定した値が初期表示されます。初めて本画面を表示した場合は、未入力の状態で表示されます。

ドキュメントカウンター

ドキュメントカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。
ただし、以下の場合は、グレーアウトされます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「ドキュメントカウンター」を指定していない
- 「カウンターオプション」画面の「ドキュメントカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けていない
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、マルチステーション運用かつ「カウンターオプション」画面の「ドキュメントカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている

「カウンターオプション」画面の「ドキュメントカウンター」の「初期値」で設定した値が初期表示されます。

ページカウンター

ページカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。
ただし、以下の場合は、グレーアウトされます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「ページカウンター」を指定していない
- 「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けていない
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、マルチステーション運用かつ「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている

「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」の「初期値」で設定した値が初期表示されます。

シートカウンター

シートカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。
ただし、以下の場合は、グレーアウトされます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「シートカウンター」を指定していない
- 「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けていない
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、マルチステーション運用かつ、「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている

「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」の「初期値」で設定した値が初期表示されます。

［OK］ボタン

設定を反映して、出力処理を実行します。
また、変更した値が「出力先設定」タブの各設定に反映されます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

第 32 章
「バッチ管理」画面

バッチの一覧を表示します。

ツールバー

再読み込み

バッチを再読み込みし、最新の状態にします。

バッチを展開

選択中のバッチが展開され、状況に応じた確認/編集画面を表示します。

再開

選択中のバッチを再開して、出力または一時保存します。

全て再開

一時保存または出力処理を中断したバッチを再出力します。
クリックすると、中断していた処理が再開され、ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断]ボタンをクリックすると、処理を再度中断できます。

リリースの中断

選択中のバッチの出力を中断します。

オペレーターを選択

選択中のバッチの第 33 章 「所属/ユーザーの選択」画面 (464 ページ)を表示します。

備考

選択中のバッチの 32.2 「備考」画面 (462 ページ)を表示します。

出力済みファイル一覧

32.1 「出力済みファイル一覧」画面 (462 ページ)を表示します。

削除

選択したバッチを削除します。管理者権限のユーザーだけが操作できます。
PaperStream Capture の場合、「状態」が「中断」になっているバッチは、削除できません。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、以下の状態のバッチは、削除できません。

- マルチステーション運用で、ほかの端末が編集している
- マルチステーション運用で、ネットワークが原因でストレージサーバーにファイルのアップロードができず「状態」が「エラー」になっている
- 「状態」が「中断」、または「進行中」でエラーになっている

同名ファイルの扱い

第 34 章 「同名ファイルの扱い確認」画面 (466 ページ)を表示します。

リカバリー

出力処理中に PaperStream Capture が異常終了し、出力できなくなったバッチがある場合に活性化されます。
クリックすると、対象のバッチをリカバリーします。
表示されたメッセージで［OK］ボタンをクリックすると、「状態」が「操作待ち」になり、バッチが出力可能になります。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で運用形態が「マルチステーション運用（ステーションとして使用する）」の場合は、表示されません。

バッチ名

ジョブで指定したバッチ名が表示されます。
出力前のバッチのバッチ名をクリックすると、バッチ名を変更できます。
バッチ名は最大で 256 文字まで設定できます。

状況

バッチの状況が、以下のように表示されます。

- 出力済み
  出力先に正常に出力されたバッチ
- スキャン
  - PaperStream Capture の場合
    エラーや一時保存、中断になっているバッチ
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
    「スキャン」の作業待ち、または原稿の読み取りをする画面の操作で、エラーや一時保存、中断になっているバッチ
- QC
  この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  「QC」の作業待ち、または第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)の操作で、エラーや一時保存、中断になっているバッチ
- インデックス
  この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  「インデックス」の作業待ち、またはインデックスを編集する画面の操作で、エラーや一時保存、中断になっているバッチ
- テスト出力済み
  19.8.1 「スキャン(テスト)」画面 (392 ページ)から出力先に出力したバッチ
- スキャン(テスト)
  「スキャン(テスト)」画面の操作で、エラーや中断になっているバッチ
- QC(テスト)

この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
「スキャン(テスト)」画面から遷移、または 19.8.2 「QC(テスト)」画面 (394 ページ)の操作で、エラーや中断になっているバッチ

- インデックス(テスト)
  この項目は、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に表示されます。
  「スキャン(テスト)」画面や「QC(テスト)」画面から遷移、または 19.8.3 「インデックス(テスト)」画面 (396 ページ)の操作で、エラーや中断になっているバッチ

状態

バッチの状態が表示されます。一時保存中および出力中のバッチは、プログレスバーで進捗状況を確認できます。
一時保存のバッチは「一時保存」、出力や一時保存を手動で中断したバッチは「中断」、エラーにより中断されたバッチは「エラー」と表示されます。
ただし、原因を取り除いて作業が再開できる状態になった場合は、ドロップダウンリストから「操作待ち」を選択して、状態を変更できます。
なお、バッチの異常は、[バッチ管理]ボタンに表示される、以下のアイコンでも確認できます。

- ：出力処理中に対処の確認があるときに、[バッチ管理]ボタンの左上に表示されます。
- ：エラーが発生したときに、[バッチ管理]ボタンの左上に表示されます。
- ：一時保存や中断がある状態のときに、[バッチ管理]ボタンの左上に表示されます。
- ：出力できなくなったバッチがあるときに、[バッチ管理]ボタンの左下に表示されます。

作成日時

バッチの作成日時が表示されます。

優先度

バッチの優先度が表示されます。
優先度は、ドロップダウンリストから「高」または「標準」を選択できます。

オペレーター

バッチに対して操作できる作業者を割り当てできます。デフォルトは空欄で、作業者を割り当てると作業者名が表示されます。
作業者は、第 33 章 「所属/ユーザーの選択」画面 (464 ページ)で選択します。
ツールバーの「オペレーターを選択」をクリックすると、「所属/ユーザーの選択」画面が表示されます。
作業者が割り当てられたバッチは、管理者と作業を割り当てられた作業者の「バッチ管理」画面以外では非表示になります。

備考

バッチの情報が表示されます。

ヒント

- 出力されたバッチは、「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)にある「出力済みのバッチを xxx 日間表示する」で指定した日数を経過すると、一覧から削除されます。

32.1 「出力済みファイル一覧」画面

出力済みおよびテスト出力済みのバッチの一覧を表示します。

マルチイメージ番号

マルチイメージの出力順が表示されます。

ファイル名

ファイル名がフルパスで表示されます。

ファイル名をマウスでポイントすると  が右側に表示されます。

 をクリックすると、フルパスをクリップボードにコピーします。

圧縮

ファイルの圧縮形式が表示されます。

［閉じる］ボタン

画面を閉じます。

32.2 「備考」画面

選択中のバッチの情報を表示します。
中断（エラー）や一時保存の理由を履歴で確認したり、コメントを追加したりできます。

履歴

選択中のバッチの中断（エラー）や一時保存の理由が履歴で表示されます。
選択中のバッチが出力前の場合、履歴情報を編集できます。

コメント追加

選択中のバッチが出力前の場合、コメントの編集ができます。

［保存］ボタン

編集した内容を保存して、画面を閉じます。

［閉じる］ボタン

画面を閉じます。

編集した内容を保存せずに、本ボタンをクリックした場合は、編集した内容を破棄して画面を閉じます。

第 33 章
「所属/ユーザーの選択」画面

表示するユーザーやグループ、または組織を選択します。

以下の項目を設定するときに、「選択」または をクリックすると表示されます。

- 第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)にある「お知らせ」の「お知らせするユーザーを選択」
- 第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)の 19.3 「ジョブ情報設定」タブ (235 ページ)にある「表示」の「表示するユーザーを選択」
- 第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)にある「オペレーター」

入力域

検索したいユーザー名やグループ名、または組織名の、一部または全部を入力します。
ワイルドカード（*）を使用して、検索対象を絞ることもできます。

［検索］ボタン

クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、検索方法を選択します。
ユーザー名で検索する場合は「ユーザー検索」を、グループ名や組織名で検索する場合は「グループ検索」を選択します。
選択すると、入力域に入力された値でユーザー名やグループ名、または組織名を検索します。
複数の候補が存在する場合は、一覧を検索結果画面に表示します。
一覧から候補を選択し、［OK］ボタンをクリックすると、検索結果画面が閉じ、所属リストやユーザーリストに反映されます。

ユーザーフィルター

ユーザーリストに表示されるユーザー名を、入力した文字で絞り込んで表示できます。

所属リスト

グループ名または組織名を表示します。
ユーザー名でユーザーを検索した場合、該当するユーザーが所属するグループ名または組織名を選択した状態で表示します。
グループ名または組織名をダブルクリックすると、「選択結果」の入力域に太字で表示されます。

> **ヒント**
> - 表示するユーザーとして、グループ名に「Guests」を設定しても、コンピューターの Guest アカウントでログオンした Guest ユーザーには表示されません。

ユーザーリスト

ユーザー名を表示します。
ユーザー名でユーザーを検索した場合、該当するユーザー名を選択した状態で表示します。
ユーザー名をダブルクリックすると、「選択結果」の入力域に表示されます。

選択結果

選択したユーザー名やグループ名、および組織名が表示されます。
表示されているユーザー名やグループ名、または組織名を削除する場合は、削除したい名前を選択した状態で、「Delete」キーを押下してください。

［OK］ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

第 34 章
「同名ファイルの扱い確認」画面

出力先に出力処理するファイルと同名のファイルがある場合に表示されます。

プレビュー

画面の左側に出力するファイルの画像が表示されます。

上書きする

選択すると、出力先の同名ファイルに上書きします。
読み取り方法がシンプルスキャンモードの場合、この項目は非表示になります。

名前を付けて保存する

選択すると、変更したファイル名で保存します。

自動的に変名する

選択すると、同名のファイルがある場合、ファイル名を自動的に変更し、別名で保存します。
例えば、同名ファイルが Doc0001.jpg の場合、Doc0001(2).jpg として保存します。
別名で保存される場合、() 内は 2 以降の数字が順番に付けられます。

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、出力するファイルの出力先を指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

ページ番号指定

ページ番号を指定すると、該当するページが表示されます。
アイコンをクリックすることでも、ページを移動できます。

スライダー

表示中の画像の縮小または拡大ができます。

バーを左に移動させる、または をクリックすると、表示中の画像が縮小されます。

バーを右に移動させる、または をクリックすると、表示中の画像が拡大されます。

または をクリックした場合、1 段階だけ表示中の画像が縮小または拡大されます。

デフォルトのバーの位置は左端です。

［OK］ボタン

設定を反映して、出力処理を実行します。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、出力エラーになり、画面を閉じます。

以下の場合、この項目は非表示になります。

- 読み取り方法が、シンプルスキャンモードの場合
- バッチスキャンモードの 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)にある「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択かつ、「出力速度を優先する」チェックボックスにチェックを付けている場合

第 35 章
「お知らせ」画面

「お知らせ」画面では、新しい機能の情報、および設定の改善ポイントなどをお知らせします。
改善ポイントに従って、該当するジョブの設定を見直すことで、読み取りしたあとの編集作業の効率を改善できます。
本画面は以下のどちらかの操作で表示されます。

- 第 18 章 メニュー (226 ページ)の［お知らせ］ボタンをクリック
- 19.8 「テスト」タブ (391 ページ)の読み取りテストで、設定の改善ポイントがある編集操作をした場合

設定の改善ポイントは、以下のような内容となります。

ジョブ名

該当のジョブ名が表示されます。

編集日時

該当する編集操作を実施した時間が表示されます。

改善ポイント

該当する編集操作のアイコンと、編集操作の効率を改善するために変更をお勧めするジョブの設定ポイントが表示されます。
リンクが設定されている文字をクリックすると、その設定を行う画面のヘルプトピックが表示されます。



クリックすると情報を削除します。

全てのお知らせをクリア

クリックすると、表示されている情報をすべて削除します。



画面を閉じます。

ヒント

「テスト」タブでの操作中に表示された本画面は、ジョブの設定画面を閉じた場合でも画面が閉じます。

第 36 章
「運用環境の移出」画面

PaperStream Capture の運用環境を移出します。
PaperStream Capture の運用環境には、PaperStream IP ドライバーのプロファイルも含まれます。

ジョブ一覧

PaperStream Capture で現在登録されているジョブ名が一覧表示されます。移出するジョブ名を選択し、左横に配置されているチェックボックスにチェックを付けます。

［すべて選択］ボタン

クリックすると、ジョブ一覧に表示されているジョブの、すべてのチェックボックスにチェックが付けられます。

［すべて解除］ボタン

クリックすると、ジョブ一覧に表示されているジョブの、すべてのチェックボックスのチェックが外されます。

［実行］ボタン

クリックすると、「名前を付けて保存」画面が表示されます。移出ファイル名(.dpav)を入力して保存すると、ジョブ一覧でチェックが付いているジョブと PaperStream Capture の運用環境を移出します。

［閉じる］ボタン

画面を閉じます。

ヒント

- 以下の運用環境が移出されます。
  - ジョブ（サンプルジョブを除く）
  - ドライバープロファイル
  - 登録帳票
  - ジョブのグループ設定
  - 「管理ツール」画面の設定
- 帳票は内部的に帳票 ID という値を持ちます。この値は帳票を編集するたびに更新されます。
  移入先に、移入する帳票と全く同じ（帳票 ID が同じ）帳票が存在する場合はその帳票の移入はスキップされます。

関連項目

16.1 運用環境を移出する (216 ページ)

第 37 章
「運用環境の移入」画面

PaperStream Capture の運用環境または ScandAll PRO で移出したプロファイルを移入します。
PaperStream Capture の運用環境には、PaperStream IP ドライバーのプロファイルも含まれます。
ScandAll PRO のプロファイルは、PaperStream Capture のジョブに変換して移入します。

移入ファイル

移入ファイルを指定します。
移入ファイルを指定するには、以下の方法があります。

- ファイルのパス名を入力する
- [参照] ボタンをクリックして指定する
- ドラッグ & ドロップ操作で指定する

指定できるファイル名の長さは 260 バイトまでです。

[参照] ボタン

「ファイルを開く」画面が表示されます。移入するファイルを指定します。
16.1 運用環境を移出する (216 ページ)で取り出したファイル（.dpav（旧形式または ScandAll PRO から移出した場合は .cab)）を指定してください。

ジョブの移入方法

PaperStream Capture のジョブの移入方法を指定します。

新規移入

PaperStream Capture に現在登録されている運用環境のうち、サンプルジョブ以外をすべて削除し、移入ファイル内の運用環境に置き換えます。

追加移入

移入ファイル内の以下の運用環境を、PaperStream Capture に追加します。

- ジョブ
- 帳票リストでチェックが付いている帳票、およびフィールドが定義されている帳票
- ジョブのグループ設定
- 「管理ツール」画面の設定
  詳細は、「管理ツール」画面の設定の移入可否 (219 ページ)を参照してください。

「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックス

「新規移入」を選択すると表示されます。
チェックを付けると、PaperStream IP ドライバーのプロファイルも移入します。運用中のドライバープロファイルをすべて削除し、移入ファイル内のドライバープロファイルに置き換えます。

ヒント

- 本項目は、PaperStream IP ドライバーがインストールされていない場合、表示されません。
- PaperStream Capture 4.0 より前のバージョンで作成したドキュメントプロファイル（ジョブ）は、すべてこだわり作成編集モードに移入されます。

［実行］ボタン

クリックすると、移入ファイルから PaperStream Capture の運用環境を移入します。
ジョブの移入結果は、ログファイルに出力されます。詳細は、42.12 ジョブ移入結果ログ (691 ページ)を参照してください。

［閉じる］ボタン

画面を閉じます。

重要

- 運用環境を移入する前に、移入先の運用環境のバックアップを作成することを推奨します。

  ➡ 16.1 運用環境を移出する (216 ページ)
- 新しいバージョンの PaperStream Capture で移出した移出ファイルは、前のバージョンの PaperStream Capture に移入できません。
- ScandAll PRO で使用していたドライバーが PaperStream IP（TWAIN）ドライバー以外だった場合、プロファイルを移入してもドライバーの設定は移入されません。
  プロファイルが移入されたあとは、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの設定が「000：現在の設定」になるので、ドライバーを再設定してください。
  ドライバーを再設定すると、ファイル形式が変更される場合があります。「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、移出元と同じファイル形式が設定されているかを確認してください。
- ScandAll PRO のプロファイルだけにある機能および運用環境は移入されません。
- 移入先にすでに同名のグループが存在する場合は、同名グループにジョブが追加されます。また、以前のバージョンで作成したジョブなど、グループが設定されていないジョブは「その他」グループに移入されます。

ヒント

- 帳票は内部的に帳票 ID という値を持ちます。この値は帳票を編集するたびに更新されます。
  移入先に、移入する帳票と全く同じ（帳票 ID が同じ）帳票が存在する場合はその帳票の移入はスキップされます。
- 移出元に設定されたイベントがある場合、移入先にもそのイベントが設定されます（イベントは、「ユーザビリティー」タブの「イベント」で設定の確認ができます）。
- 移出元と移入先で帳票名が同じでも登録帳票が異なる場合は、移入できずにエラーになります。
- 「バッチ管理」画面に、一時保存または中断しているバッチがある場合、「新規移入」は選択できません。
  バッチを出力または削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。

また、一時保存または中断しているバッチがある状態で、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をアンインストールするとき、表示されるメッセージ画面で［いいえ］ボタンをクリックした場合は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)の「ストレージサーバー」で指定した「ストレージフォルダー」にファイルが残ります。この状態で別のバージョンの PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium をインストールすると、「新規移入」が選択できない場合があります。「バッチ管理」画面に一時保存または中断のバッチがないのに「新規移入」が選択できない場合は、「ストレージフォルダー」に格納されているファイルを削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。

関連項目

16.2 運用環境をほかのコンピューターに移入する (217 ページ)

第 38 章
「シンプルスキャンモード」画面

シンプルスキャンモードによる読み取りをする場合に表示されます。

- **メニュー**

  PaperStream Capture を操作するためのボタンを集めたメニューです。

  クリックすると、以下のメニューが表示されます。

  - お使いの前に
    選択すると、第 17 章 「お使いの前に」画面 (225 ページ)を表示します。
  - 管理ツール
    選択すると、「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の20.2 「一般」タブ (399 ページ)を表示します。
  - オンラインリソース
    PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、選択すると、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の Web サイトを表示します。
  - バージョン情報
    選択すると、PaperStream Capture のバージョン情報を表示します。
  - 終了
    選択すると、PaperStream Capture を終了します。

  ［モード切替え］ボタン

  クリックすると、バッチスキャンモードまたはシンプルスキャンモードに読み取り方法を切り替えられます。
  ただし、「PaperStream Capture 管理ツール」画面、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面、または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「一般」タブの「モード切替え」で「シンプルスキャンモードのみを使用する」を選択した場合、表示されません。

- **ツールバー**

  原稿の読み取り、読み取った画像の確認、編集、または出力に使用します。

  スキャン

  スキャン

  原稿を読み取って、ビューアーに読み取った画像を表示します。
  クリックすると、原稿の読み取りを開始します。
  読み取り中は「スキャン」が「キャンセル」に変更され、クリックすると読み取りが中止されます。

追加スキャン

別の原稿を読み取って、任意のドキュメントに挿入したり、選択しているページと差し替えたりします。
クリックすると、38.3 「追加/挿入/差替え」画面 (495 ページ)が表示されます。

ファイルを開く

既存のファイルを開きます。
クリックすると、開くファイルを選択する画面が表示されます。

ファイルの追加

既存のファイルを、任意のドキュメントに挿入したり、選択しているページと差し替えたりします。
クリックすると、「追加/挿入/差替え」画面が表示されます。

保存

読み取った原稿を保存します。
クリックすると、38.5 「名前を付けて保存」画面 (496 ページ)が表示されます。

編集

90 度回転

選択しているページを右に 90 度回転します。

-90 度回転

選択しているページを左に 90 度回転します。

180 度回転

選択しているページを 180 度回転します。

削除

選択しているページを削除します。

切り取り

選択しているページを切り取ります。

コピー

選択しているページをコピーします。

貼り付け

切り取りまたはコピーしたページを貼り付けます。

仕分けの挿入

選択しているページの直前で、ドキュメントを分割します。

仕分けの削除

選択しているドキュメントと直前のドキュメントを結合します。

折畳み

ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、6、4、2 のように、表面にあたる画像（奇数ページ）が昇順で並んでいるのに対し、裏面にあたる画像（偶数ページ）が降順で並んでいる場合に有効です。

平行移動

ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、2、4、6 のように、表面にあたる画像（奇数ページ）も裏面にあたる画像（偶数ページ）も昇順で並んでいる場合に有効です。

逆順

全ページを逆から順番に並べ替えます。
降順で並んでいるページを昇順に並べ替える場合に有効です。

マーク

選択しているページにマークを付けます。
マークを付けると、サムネールの背景およびビューアーの枠がオレンジ色になります。

マークを解除

選択しているページのマークを解除します。

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

表示

ブラウズ

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。

ブラウズ(2×1)

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアー内の左側にサムネール一覧で選択しているページ、右側に次のページを表示します。

サムネール

ビューアー全体に、ドキュメントの全ページのサムネールを表示します。
サムネールをダブルクリックすると、表示を「フルページ」に変更し、ページを表示します。

フルページ

ビューアーに、選択しているページを表示します。

見開きページ

ビューアーに、選択しているページと次のページが 2 ページ並んだ状態で表示します。

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階拡大して表示します。

ユーザー指定

ページの表示倍率を指定します。
表示倍率が 100%の場合、ビューアーにページを実際の原稿のサイズで表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

手のひら

マウスでポイントした箇所を、ドラッグした方向に動かせます。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

マークフィルター

マークの付いたページだけを表示します。

ナビゲーション

現在ページ数 / 全ページ数が表示されます。
アイコンをクリックすることでも、ページまたはドキュメントを移動できます。

設定

読み取り設定

クリックすると、38.1 「読み取り設定」画面 (478 ページ)が表示されます。

スキャナーの選択

クリックすると、接続しているスキャナーの名称と選択が可能なスキャナーの名称が表示されます。

スキャン時に設定変更

クリックすると、「スキャン」または「追加スキャン」で読み取りするときに 38.2 「スキャンの実行」画面 (480 ページ)が表示されます。

印刷

クリックすると、現在開いているファイルを印刷します。

ツールバー設定

クリックして表示されるメニューの項目を選択すると、ツールバーに項目が追加されます。
また、ツールバーに表示されている項目を初期化する場合は、表示されたメニューの「ツールバーをリセット」を選択すると、ツールバーの項目が初期化されます。

ビューアー

読み取った画像を表示します。
画面の表示は「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
ビューアーとサムネール一覧の境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」の場合だけ表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。
バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。
デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像タイプ

画面の下に、二値白黒、グレースケール、カラーのどれかの画像タイプが表示されます。
ただし、「ファイルの追加」で開いたページの画像タイプが判定できない場合、画像タイプは 4bit 画像または 8bit 画像と表示されます。

縦解像度

画面の下に、縦解像度が表示されます。

画像サイズ

画面の下に、縦と横の画像サイズが表示されます。

ファイル名のフルパス

出力済みまたは既存ファイルを開いたときだけ、画面の下に、開いたファイルのフルパスとファイル名が表示されます。

38.1 「読み取り設定」画面

ファイルの出力、原稿の読み取り条件、ドキュメントの分割方法について設定します。

ファイルの出力

「スキャン中にファイル出力する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中にファイルが出力されます。

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

[詳細設定] ボタン

クリックすると、38.2.1 「ファイル名の詳細設定」画面 (483 ページ)が表示されます。

ファイル形式

ファイル形式を選択します。

➡ 42.1 ファイル形式 (644 ページ)

[オプション] ボタン

クリックすると、38.2.2 「TIFF オプション」画面 (489 ページ)、38.2.3 「PDF オプション」画面 (490 ページ)、38.2.4 「JPEG2000 オプション」画面 (493 ページ)、または38.2.5 「JPEG オプション」画面 (494 ページ)が表示されます。
「ファイル形式」で TIFF、PDF、JPEG2000 (PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合)、または JPEG を選択したときだけ、選択しているファイル形式の設定画面が表示されます。

同名ファイルの扱い

同名ファイルを出力する場合の扱いを、以下から選択します。

- 名前を付けて保存する
- 上書き保存する

読み取り

ドライバープロファイル

PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。
バッチスキャンモードで選択できるドライバープロファイル「ScanSnap Manager for fi 互換」は選択できません。

[ドライバーの設定] ボタン

クリックすると表示される画面で、PaperStream IP ドライバーの設定をします。

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

読み取り枚数

読み取り枚数を、以下から選択できます。

- 全て読み取る
  選択すると、すべてのページを読み取ります。
- 指定ページ数のみ読み取る
  選択すると、指定したページ数だけ読み取ります。
  ページ数の指定は、「読み取り枚数」の右側の入力域で指定します。

重要

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用して両面読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定するときは、必ず偶数の値を指定してください。
  奇数の値を指定すると、読み取り枚数が 1 枚少なくなる場合があります。または、"[SX03043E] 原稿がなくなりました"となる場合があります。
- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用して白紙スキップ読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定すると、読み取り枚数が少なくなるときがあります。
  または、[SX03043E]や[SX03041E]のエラーメッセージが表示されるときがあります。

「スキャン時に TWAIN ドライバーの UI を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、「スキャン」または「追加スキャン」で読み取りするときに PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの画面が表示されます。
PaperStream Capture の場合、本チェックボックスは PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合だけ表示されます。

オプション

ドキュメント分割

読み取った画像の分割方法を、以下から選択できます。

- 分割しない
  選択すると、読み取った画像を分割しません。
- 指定ページ単位に分割する
  選択すると、指定したページ単位で、読み取った画像を分割します。

ページ数の指定は、「ドキュメント分割」の右側の入力域で指定します。

- Ctrl が押されたら分割する
  選択すると、「Ctrl」キーを押したときに、読み取った画像を分割します。
  原稿を分割するキーは、20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)の「手動仕分けのショートカットキー」で指定できます。
  デフォルトは「Ctrl」です。
  キーを指定すると、項目名に反映されます。
  例えば、「Alt」キーを指定した場合、項目名は「Ctrl が押されたら分割する」から「Alt が押されたら分割する」に変更されます。

「スキャン画像を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中に画像が表示されます。

> **ヒント**
>
> - 読み取り中の画像を表示したくない場合は、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックを外してください。
>   ただし、「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスのチェックが外れている場合、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックは外せません。
>   デフォルトは、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックが付いています。

［OK］ボタン

設定を反映し、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

38.2 「スキャンの実行」画面

ファイルの出力、原稿の読み取り条件、ドキュメントの分割方法について設定し、実行します。

ファイルの出力

> **ヒント**
>
> - ツールバーの「追加スキャン」で読み取りをした場合、「ファイルの出力」項目は表示されません。

「スキャン中にファイル出力する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中にファイルが出力されます。

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

［参照］ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

［詳細設定］ボタン

クリックすると、38.2.1 「ファイル名の詳細設定」画面 (483 ページ)が表示されます。

ファイル形式

ファイル形式を選択します。

➡ 42.1 ファイル形式 (644 ページ)

［オプション］ボタン

クリックすると、38.2.2 「TIFF オプション」画面 (489 ページ)、38.2.3 「PDF オプション」画面 (490 ページ)、または 38.2.5 「JPEG オプション」画面 (494 ページ)、が表示されます。
「ファイル形式」で TIFF、PDF、または JPEG を選択したときだけ、選択しているファイル形式の設定画面が表示されます。

同名ファイルの扱い

同名ファイルを出力する場合の扱いを、以下から選択します。

- 名前を付けて保存する
- 上書き保存する

読み取り

ドライバープロファイル

PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。

［ドライバーの設定］ボタン

クリックすると表示される画面で、PaperStream IP ドライバーの設定をします。

➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

読み取り枚数

読み取り枚数を、以下から選択できます。

- 全て読み取る
  選択すると、すべてのページを読み取ります。
- 指定ページ数のみ読み取る
  選択すると、指定したページ数だけ読み取ります。
  ページ数の指定は、「読み取り枚数」の右側の入力域で指定します。

重要

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用して両面読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定するときは、必ず偶数の値を指定してください。
  奇数の値を指定すると、読み取り枚数が 1 枚少なくなる場合があります。または、"[SX03043E] 原稿がなくなりました"となる場合があります。
- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用して白紙スキップ読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定すると、読み取り枚数が少なくなるときがあります。
  または、[SX03043E]や[SX03041E]のエラーメッセージが表示されるときがあります。

「スキャン時に TWAIN ドライバーの UI を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、「スキャン」または「追加スキャン」で読み取りするときに PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの画面が表示されます。
PaperStream Capture の場合、本チェックボックスは PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合だけ表示されます。

オプション

ドキュメント分割

読み取った画像の分割方法を、以下から選択できます。

- 分割しない
  選択すると、読み取った画像を分割しません。
- 指定ページ単位に分割する
  選択すると、指定したページ単位で、読み取った画像を分割します。
  ページ数の指定は、「ドキュメント分割」の右側の入力域で指定します。
- Ctrl が押されたら分割する
  選択すると、「Ctrl」キーを押したときに、読み取った画像を分割します。
  原稿を分割するキーは、20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)の「手動仕分けのショートカットキー」で指定できます。
  デフォルトは「Ctrl」です。
  キーを指定すると、項目名に反映されます。
  例えば、「Alt」キーを指定した場合、項目名は「Ctrl が押されたら分割する」から「Alt が押されたら分割する」に変更されます。

「スキャン画像を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中に画像が表示されます。

ヒント

- 読み取り中の画像を表示したくない場合は、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックを外してください。
  ただし、「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスのチェックが外れている場合、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックは外せません。

デフォルトは、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックが付いています。

［スキャン］ボタン

設定を反映し、出力処理を実行します。

［キャンセル］ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

38.2.1 「ファイル名の詳細設定」画面

保存するファイルに付ける名前に関する規則を設定します。

「フォルダー名オプション/ファイル名オプションを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、本画面で指定されたファイル名オプションに基づいて、ファイル名が自動で生成されます。
ファイル名オプションを使用する場合、ファイル名の直接入力はできません。

ファイル名

本画面で設定したサンプルファイル名が表示されます。

設定可能項目

ファイル名オプションに指定できる項目が表示されます。

- ドキュメントカウンター
  ドキュメントカウンターの値をファイル名に指定します。
- フォルダー区切り 1 ～ 5
  フォルダー区切りより上位の項目をフォルダー名に指定します。
- 文字列 1 ～ 4
  任意の文字列をファイル名に指定します。
- 日付と時刻
  読み取りを開始した日付、または日付と時刻をファイル名に指定します。
- ページカウンター
  ページカウンターの値をファイル名に指定します。
- シートカウンター
  シートカウンターの値をファイル名に指定します。
  ただし、PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用しているときは、常に設定されたシートカウンターの初期値がファイル名になります。
- ドキュメント仕分け値
  ドキュメント仕分け値をファイル名に指定します。
  ドキュメント仕分けに文字列が設定されていない場合、形式が「"DOCSEPARATOR" + 仕分け No.（数字 4 桁）」の文字列が、ファイル名に出力されます。
- 編集文字列
  「名前を付けて保存」画面で任意の文字列を指定する場合に指定します。
- マルチイメージ出力順

マルチイメージ出力の場合、そのページの出力順をファイル名に指定します。
PaperStream IP ドライバーの設定でマルチイメージが指定されている場合、有効になります。
なお、マルチイメージ出力以外の場合は、固定値「 1 」となります。

- 出力面
  ADF 両面読み取りの場合、原稿の出力面（表面 / 裏面）をファイル名に指定します。
  表面の場合は「F」を、裏面の場合は「B」を出力します。
  なお、フラットベッドでの読み取りや「ファイルの追加」を行った場合は、固定値「F」を出力します。



クリックすると、「設定可能項目」で選択した項目を「設定済み項目」に移動します。



クリックすると、「設定済み項目」で選択された項目を「設定可能項目」に移動します。

設定済み項目

ファイル名オプションに設定済みの項目の一覧が表示されます。



クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ上に移動します。



クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ下に移動します。

ドキュメントカウンター

1 回の読み取りの単位（仕分けがある場合はそれにより分割された単位）で 1 つのドキュメントとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

ドキュメントカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

最小桁数

ドキュメントカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
以下に例を示します

ドキュメントカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。
2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、第 31 章 ファイル名の編集画面 (456 ページ)で、ドキュメントカウンターの初期値を直接入力できます。
ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

ページカウンター

読み取った原稿の面が 1 ページとなり、その単位でカウンター値が付与されます。
両面読み取りの場合は表裏で 2 ページ、上下分割した場合は上下で 2 ページとなります。

初期値

ページカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

最小桁数

ページカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
以下に例を示します。

ページカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。
2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。
また、ドキュメントカウンターと同時に指定した場合、ドキュメントごとにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、ページカウンターの初期値を直接入力できます。
ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

「インプリンタと連携する」チェックボックス

チェックを付けると、ページカウンターの初期値を、インプリンタのカウンターの初期値に設定します。
また、インプリンタのカウンターの増減値などにも、最適な値を設定します。
ただし、読み取り開始後は、インプリンタのカウンターとページカウンターは独立して更新されるため、以下の場合、ページ番号とインプリンタのカウンターは同期できないことがあります。

- 白紙の削除などの機能により、スキャナーが読み取ったページ数と読み込みページ数が一致しない場合
- 両面読み取りで、インプリンタの印字面が裏面の場合
- カラー / モノクロ自動判別を設定している場合
- 仕分けやページ数を指定し、ドキュメントを区切った場合
- 「指定ページ単位に分割する」を指定した場合

「追加/差替えスキャン時にカウンターを印字する」チェックボックス

「インプリンタと連携する」チェックボックスにチェックを付けると有効になります。
チェックを付けると、追加や差し替えで原稿を読み取る場合も、インプリンタで印字します。
原稿を読み取るとインプリンタに印字するページカウンターの初期値を指定する画面が表示されます。

「桁数を固定する」チェックボックス

チェックを付けると、ページカウンターの桁数を「最小桁数」で指定した桁数で固定します。
原稿の読み取り中に桁数の最大値を超えた場合、カウンターは 0 に戻ります。
PaperStream IP ドライバーの設定で指定しているカウンターの桁数と「ページカウンター」の「最小桁数」が異なる場合、ページカウンターは正しく同期されません。

シートカウンター

読み取った原稿 1 枚が 1 シートとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

シートカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

最小桁数

シートカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
以下に例を示します。

シートカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。
2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。
例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、シートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、シートカウンターの初期値を直接入力できます。
ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

「インプリンタと連携する」チェックボックス

チェックを付けると、シートカウンターの初期値を、インプリンタのカウンターの初期値に設定します。
また、インプリンタのカウンターの増減値などにも、最適な値を設定します。
ただし、読み取り開始後は、インプリンタのカウンターとシートカウンターは独立して更新されるため、以下の場合、シートカウンターとインプリンタのカウンターは同期できないことがあります。

- カラー / モノクロ自動判別を設定している場合
- 仕分けやページ数を指定し、ドキュメントを区切った場合
- 「指定ページ単位に分割する」を指定した場合

「追加/差替えスキャン時にカウンターを印字する」チェックボックス

「インプリンタと連携する」チェックボックスにチェックを付けると有効になります。
チェックを付けると、追加や差し替えで原稿を読み取る場合も、インプリンタで印字します。
原稿を読み取るとインプリンタに印字するシートカウンターの初期値を指定する画面が表示されます。

「桁数を固定する」チェックボックス

チェックを付けると、シートカウンターの桁数を「最小桁数」で指定した桁数で固定します。
原稿の読み取り中に桁数の最大値を超えた場合、カウンターは 0 に戻ります。
PaperStream IP ドライバーの設定で指定しているカウンターの桁数と「シートカウンター」の「最小桁数」が異なる場合、シートカウンターは正しく同期されません。

日付と時刻

日付フォーマット

日付の形式を、以下から選択します。

- yyyyMMdd
- MMddyyyy
- ddMMyyyy

時刻の区切り

時刻の区切りの形式を、以下から選択します。

- なし
- "_"(アンダースコア)
- "-"(ハイフン)

「時刻を付加する」チェックボックス

チェックを付けると、日付に加えて、読み取りまたは保存処理を開始した時点の時刻を付加します。

文字列

文字列 1 ～ 4

ファイル名に使用する文字列を指定します。
指定可能な最大文字数は 32 文字です。
¥ / : ? * " < > | , は使用できません。
半角空白だけの文字列は使用できません。

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。
- 以下を設定している場合、原稿の表面を読み取ったあとに原稿の裏面を逆順で読み取り、両面データとして合成するため、裏面にはシートカウンターの番号が逆順の状態で付与されます。
  - 「スキャナーの選択」で仮想的に両面を読み取る機能に対応した片面読み取りスキャナーを選択
  - 「読み取り設定」タブの［詳細設定］ボタンをクリックして、表示された PaperStream IP ドライバーの「給紙」で「フィーダー (両面(仮想))」を選択

［OK］ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

38.2.2 「TIFF オプション」画面

読み取った画像を TIFF 形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

圧縮

選択できる形式と圧縮レベルは、PaperStream IP ドライバーの設定によって異なります。

形式

圧縮形式を、以下から選択します。

- 「画像タイプ」が「二値白黒」の場合
  - 非圧縮
  - CCITT G3(1D)
  - CCITT G3(2D)
  - CCITT G4
  - JBIG
  - LZW
  - Packbits
- 「画像タイプ」が「グレースケール」の場合
  - 非圧縮
  - LZW
  - Packbits
  - JPEG
- 「画像タイプ」が「カラー」の場合

- 非圧縮
- Packbits
- JPEG
- Progressive JPEG

- 「画像タイプ」が「カラー / モノクロ自動判別」など、一度の読み取りで複数の画像タイプが出力される場合
  - 既定の圧縮形式に従う
  - 非圧縮
- 「名前を付けて保存する」を選択している場合
  - 既定の圧縮形式に従う
  - 非圧縮

「圧縮レベルを変更する」チェックボックス

チェックを付けると、圧縮レベルを設定する項目を表示します。
本項目は、ファイルを保存するときに表示される 38.5 「名前を付けて保存」画面 (496 ページ)から本画面を表示した場合、表示されます。

圧縮レベル

TIFF 形式で出力する場合の圧縮率を指定します。
本項目は、ファイルを保存するときに表示される「名前を付けて保存」画面から本画面を表示した場合、「圧縮レベルを変更する」チェックボックスにチェックを付けると表示されます。
-1 ～ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 4）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。
数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。
数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

重要

- 「圧縮」の「形式」が「JPEG」で、かつ「圧縮レベル」が「-1」または「0」の場合、表示されているページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

［OK］ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

38.2.3 「PDF オプション」画面

読み取った画像を PDF 形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

圧縮

「高圧縮を行う」チェックボックス

チェックを付けると、画像タイプがグレースケールまたはカラーの場合だけ、ファイルを高圧縮し、ファイルサイズを小さくします。

圧縮レベル

PDF 形式で出力する場合の圧縮率を指定します。
1 ～ 7 の 7 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 3）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。
数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。
数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

重要

- 表示されているページの画質と出力されるファイルの画質は異なります。

オプション

「検索可能な PDF を作成する」チェックボックス

チェックを付けると、テキスト認識を行って、検索可能な PDF ファイルとして出力します。

言語

テキスト認識する言語を指定します。
中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、ギリシャ語、トルコ語、アラビア語、ベトナム語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ヘブライ語、ウクライナ語、タイ語、インドネシア語、デンマーク語、ノルウェー語、ハンガリー語、フィンランド語から選択できます。

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。

「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックス

チェックを付けると、複数ページの画像を検索可能な PDF ファイルとして出力する場合に、先頭ページだけテキスト認識を行います。
全ページに対して処理するのに比べて、処理時間を短縮できます。

重要

- テキスト認識には、非常に時間がかかる場合があります。
- テキスト認識する場合は、以下の設定を推奨します。

画像タイプ	解像度	用紙サイズ
二値白黒	400 / 600 dpi	A3 以下
グレースケール	200 / 300 dpi	
カラー		

上記以外の設定の場合、正しくテキスト認識できない場合があります。

- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。
  - 手書き文字
  - 低解像度での小さな文字
  - 傾いた原稿
  - 設定言語以外の言語の原稿

  PaperStream Capture の場合で日本語、中国語（簡体字） / 中国語（繁体字）のとき
  - イタリック体（斜体）
  - 上下添え字、複雑な数式
  - 文字の背景が不均一色の原稿
    - 文字の背景に模様がある原稿
    - 影、白抜きなどの装飾がされている文字
  - 網がけ内の文字
  - 複雑なレイアウトの原稿、およびノイズの多い原稿（このような原稿では認識するのに非常に時間がかかる場合があります）
- PaperStream IP ドライバーの設定によっては、正しくテキスト認識できない場合があります。

ヒント

- PaperStream IP ドライバーによる自動傾き補正と原稿向き補正フィルターを使用すると、認識率の向上が期待できます。
- PaperStream IP ドライバーの「回転」 で「自動」 が選択されている場合、ヘブライ語の原稿を読み取ると、読み取った画像が逆さまになります。「回転」 で「0 度」 を指定し、原稿の向きを正しい方向にそろえた状態で読み取りを実行してください。

「開くパスワードを設定する」チェックボックス

PDF ファイルを開くときのパスワードを、16 文字以内（半角文字換算）で付加できます。
本チェックボックスは PDF ファイルにだけチェックを付けられます（PDF/A ファイルではチェックを付けられません）。
パスワード付き PDF ファイルは PaperStream Capture では扱えないため、パスワードを付加したあとは、PDF ファイル閲覧アプリケーションを使用して参照してください。

「固定のパスワードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、固定のパスワードを設定できます。
「パスワード」および「確認」の入力域に、指定したい値を入力します。
チェックを外すと、PDF ファイルを出力するときに表示される画面でパスワードを設定できます。
PaperStream Capture の場合、パスワードの設定画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、[完了] ボタンをクリックすると、表示されます。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、パスワードの設定画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、[完了] ボタンをクリックしたときの処理が、PDF ファイルとして出力になるとき、表示されます。

パスワード

入力域にパスワードを入力します。

確認

確認のため、再度、入力域にパスワードを入力します。

[OK] ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

38.2.4 「JPEG2000 オプション」画面

読み取った画像を JPEG2000 形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

圧縮

「可逆圧縮」チェックボックス

チェックを付けると可逆圧縮になります。可逆圧縮は、圧縮したデータを元の内容と同じ状態に戻せる圧縮方式です。
チェックを外すと画質のスライダーが有効になり、圧縮率を指定できます。

圧縮レベル

JPEG2000 形式で出力する場合の画質を指定します。
-1 ～ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 2）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。
数値を大きくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。
数値を小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

重要

- 「圧縮」の「形式」が「JPEG」で、かつ「圧縮レベル」が「-1」または「0」の場合、表示されているページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

［OK］ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

38.2.5 「JPEG オプション」画面

読み取った画像を JPEG 形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

圧縮

選択できる形式と圧縮レベルは、PaperStream IP ドライバーの設定によって異なります。

形式

圧縮形式を、以下から選択します。

- グレースケールの場合
  - JPEG
- カラーの場合
  - JPEG
  - Progressive JPEG
- 「名前を付けて保存する」を選択している場合
  - JPEG

圧縮レベル

JPEG 形式で出力する場合の画質を指定します。
-1 ～ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 4）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。
数値を大きくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。
数値を小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。
PaperStream Capture の場合、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用するときは、24bit カラーで出力するときに有効となります。

> **重要**
>
> - 「圧縮」の「形式」が「JPEG」で、かつ「圧縮レベル」が「-1」または「0」の場合、表示されているページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

［OK］ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

38.3 「追加/挿入/差替え」画面

ページを追加、挿入、または差し替えする位置を指定します。

対象

ページ

選択すると、追加、挿入、または差し替え先とする対象がページになります。

ドキュメント

選択すると、追加または挿入先とする対象がドキュメントになります。

操作

前に挿入

選択すると、指定したページまたはドキュメントの前に、ページを挿入します。

後に追加

選択すると、指定したページまたはドキュメントのうしろに、ページを追加します。

差替え

選択すると、選択しているページを差し替えます。
「対象」で「ドキュメント」を選択した場合、表示されません。

位置

最初

選択すると、先頭のページの前に、ページを追加します。
また、「操作」で選択した項目が無効になります。

最後

選択すると、最後のページのうしろに、ページを追加します。
また、「操作」で選択した項目が無効になります。

「ページ」または「ドキュメント」

本項目は「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」と表示されます。
選択すると、「操作」の処理を実行するページまたはドキュメントを指定できます。
「対象」で「ページ」を選択し、「操作」で「差替え」を選択した場合、差し替えるページの範囲を指定できます。

[OK] ボタン

設定を反映し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

38.4 「仕分けの挿入」画面

仕分けを挿入または追加する位置を指定します。

対象

ページ

選択すると、仕分けの挿入先とする対象がページになります。

ドキュメント

選択すると、仕分けの挿入先とする対象がドキュメントになります。

操作

前に挿入

選択すると、指定したページまたはドキュメントの前に、仕分けを挿入します。

後に追加

選択すると、指定したページまたはドキュメントのうしろに、仕分けを追加します。

位置

最初

選択すると、先頭のページの前に、仕分けを追加します。
また、「操作」で選択した項目が無効になります。

最後

選択すると、最後のページのうしろに、仕分けを追加します。
また、「操作」で選択した項目が無効になります。

「ページ」または「ドキュメント」

本項目は「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」と表示されます。
選択すると、「操作」の処理を実行するページまたはドキュメントを指定できます。

［OK］ボタン

仕分けを挿入し、画面を閉じます。

［キャンセル］ボタン

仕分けを挿入せず、画面を閉じます。

38.5 「名前を付けて保存」画面

ファイルの出力について設定します。

ファイルの出力

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

[詳細設定] ボタン

クリックすると、38.2.1 「ファイル名の詳細設定」画面 (483 ページ)が表示されます。

ファイル形式

ファイル形式を選択します。

➡ 42.1 ファイル形式 (644 ページ)

[オプション] ボタン

クリックすると、38.2.2 「TIFF オプション」画面 (489 ページ)、38.2.3 「PDF オプション」画面 (490 ページ)、38.2.4 「JPEG2000 オプション」画面 (493 ページ)、または 38.2.5 「JPEG オプション」画面 (494 ページ)が表示されます。
「ファイル形式」で TIFF、PDF、JPEG2000 (PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合)、または JPEG を選択したときだけ、選択しているファイル形式の設定画面が表示されます。

同名ファイルの扱い

同名ファイルを出力する場合の扱いを、以下から選択します。

- 名前を付けて保存する
- 上書き保存する

[OK] ボタン

設定を反映し、出力処理を実行します。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、出力を中止します。

第 39 章
困ったときには

39.1　バージョンの情報を確認する

1　メニューの から、「バージョン情報」を選択します。



2　表示される画面で、PaperStream Capture のバージョンを確認します。

39.2　出力処理中の警告に対応する

出力処理中に警告が表示されたバッチを再度出力する方法は、以下のとおりです。

ヒント

バッチの異常は、[バッチ管理] ボタンの左上に表示される、以下のアイコンでも確認できます。

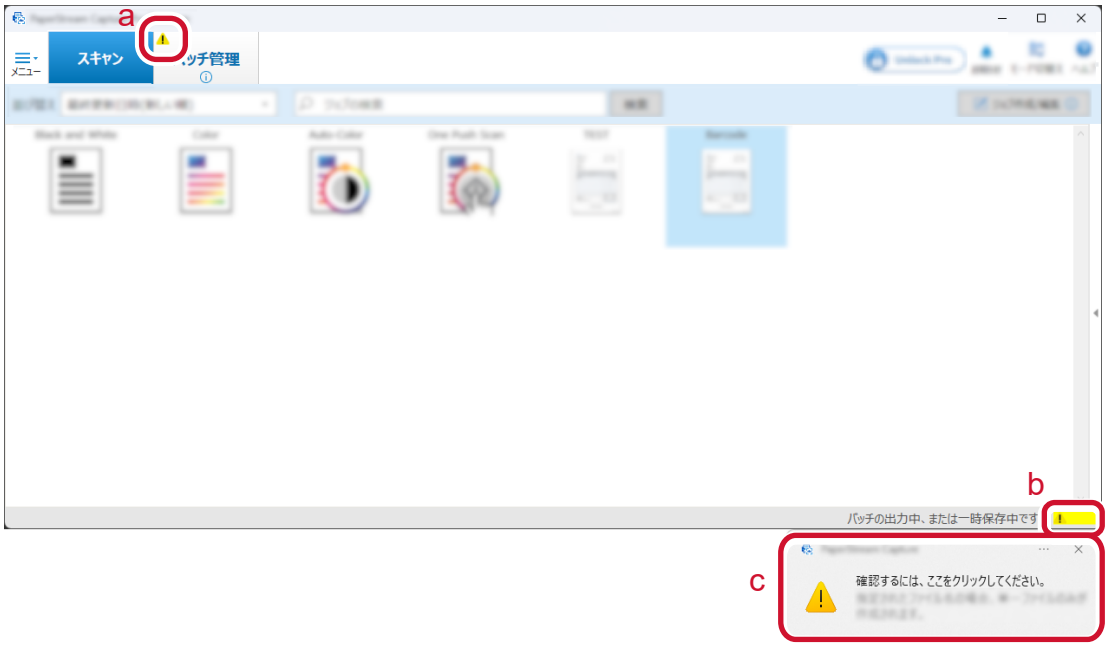
- ：出力処理中に、対処の確認が必要なときに表示されます。
- ：エラーが発生したときに表示されます。
- ：一時保存や中断がある状態のときに表示されます。

1　以下の通知のどれかをクリックします。

a　[バッチ管理] ボタンの左上に表示された

b　画面右下に表示された

c　タスク バーからの通知
タスク バーの右端にあるアクションセンターからバナーで通知されます。アクションセンターの設定により、バナーで通知されない場合は、アクションセンターのアイコンをクリックすると、通知内容を確認できます。

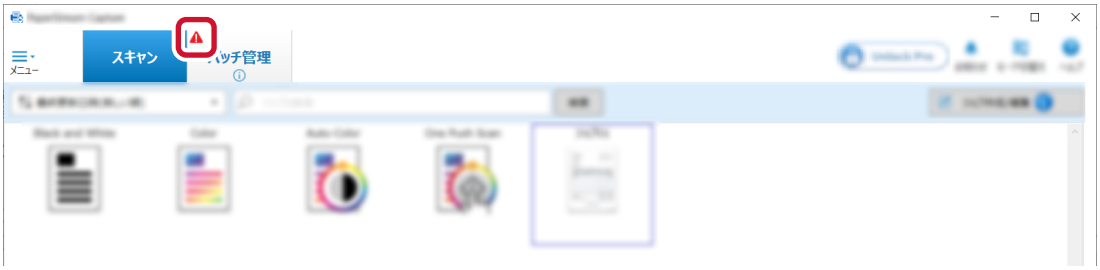


メッセージ画面が表示されます。

2 メッセージを確認し、対応を選択します。

対処が不要な場合はメッセージが表示されず、バッチが出力されます。

選択した結果、出力に失敗した場合、バッチがエラー状態になり、[バッチ管理] ボタンの左上に が表示されます。



3 メニューの [バッチ管理] ボタンをクリックします。

「バッチ管理」画面が表示されます。

出力に失敗したバッチは、「状態」に「エラー」と表示されます。バッチを選択し、「備考」欄をマウスでポイントすると が表示されます。 をクリックするとエラーの内容を確認できます。

4 エラーの内容を確認し、エラーを取り除きます。

5 再出力するバッチのバッチ名をダブルクリックします。

画像を確認/編集する画面に再出力するバッチが表示されます。

6 [完了] ボタンをクリックします。

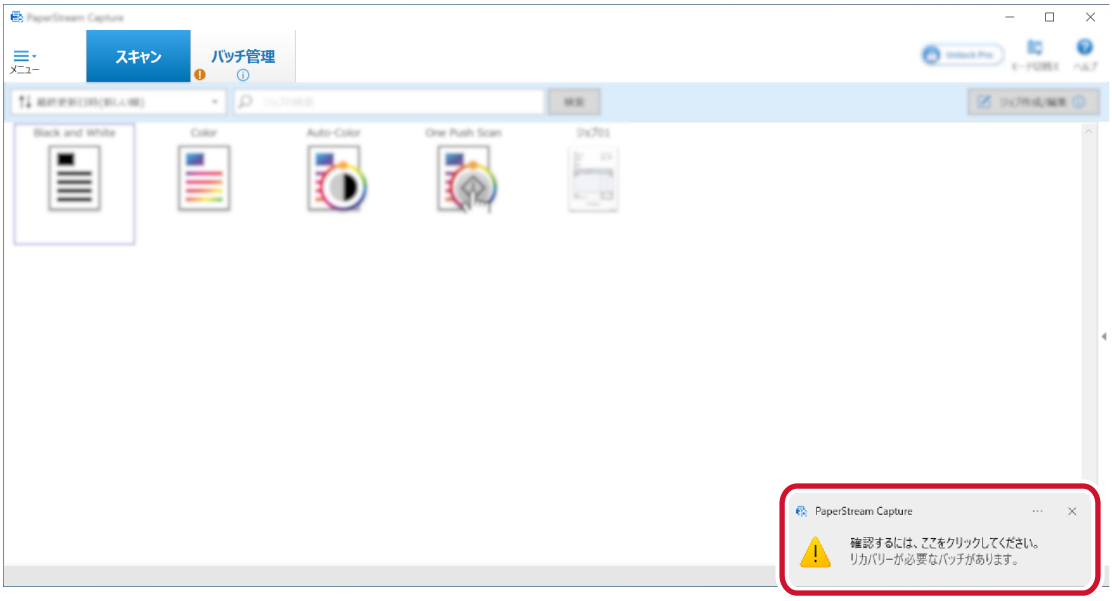
バッチが再出力され、表示された「バッチ管理」画面の「状況」に「出力済み」と表示されます。

39.3 バッチが進行中のまま完了しない

出力処理中にコンピューターを再起動するなどして PaperStream Capture が異常終了した場合、バッチが進行中のままとなり、完了しない状態になることがあります。
このような場合は、PaperStream Capture を再起動して、以下の手順でバッチを再度出力してください。

1 デスクトップの をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

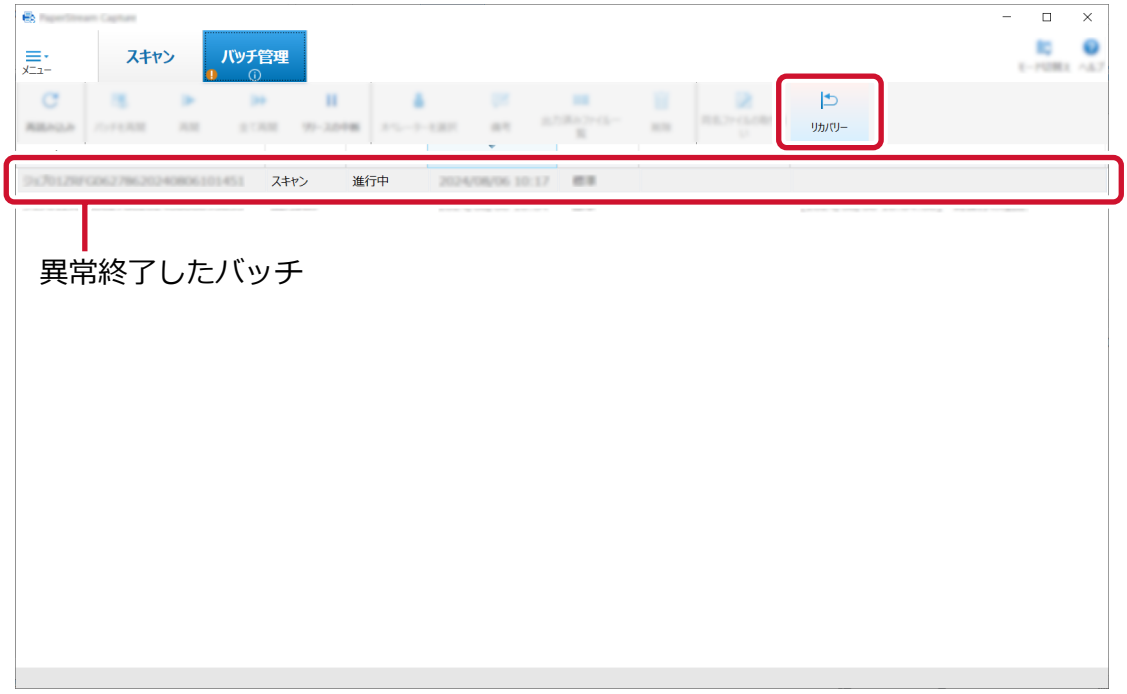
2 画面の右下に表示されるメッセージをクリックします。



「バッチ管理」画面が表示されます。

[バッチ管理] ボタンの左下には、 が表示されています。

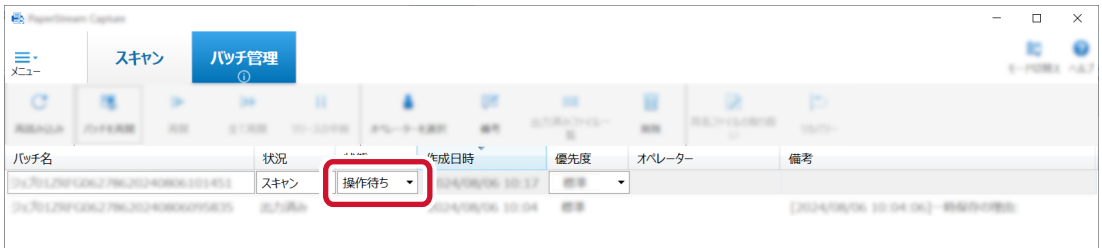
3 ツールバーの「リカバリー」をクリックします。



リカバリーが完了すると、メッセージが表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックします。

対象のバッチの「状態」が「操作待ち」になります。



5 再出力するバッチのバッチ名をダブルクリックします。

画像を確認/編集する画面に再出力するバッチが表示されます。

6 [完了] ボタンをクリックします。

バッチが再出力され、表示された「バッチ管理」画面の「状況」に「出力済み」と表示されます。

39.4 ゾーン OCR で文字が正しく認識されない

ゾーン OCR で文字が正しく認識されない場合は、文字を抽出する原稿の読み取り条件を変更して、文字を認識しやすい画像にしてください。
以下の方法があります。

- 画像の解像度を高くする

➡ 14.4 画像の解像度の設定を変更する (125 ページ)

画像の解像度は、以下を推奨します。カラー / グレーは 600dpi より大きい解像度は認識できません。

- 白黒：400 / 600 dpi
- カラー / グレー：200 / 300 dpi

- 画像タイプを変更する
- 画像のファイルサイズを大きくする

  ➡ 14.11 画像のファイルサイズを設定する (141 ページ)

- 帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にする。
  「管理」画面のデフォルト（「ドライバープロファイル」のチェックボックスにチェックが付いていない状態）の読み取り設定は、以下になります。

  画像タイプ: カラー

  解像度： 300dpi

  用紙サイズ :自動

また、原稿（文字）や PaperStream IP ドライバーの設定については、42.7 ゾーン OCR の検知条件 (669 ページ)を参照してください。

39.5 バーコードが正しく認識されない

バーコードが正しく認識されない場合は、42.6 バーコードの種類と検知条件 (664 ページ)を参照して、バーコードが条件を満たしているかを確認してください。
それでも、バーコードが正しく認識されない場合は、以下の対処を行ってください。

- 画像の解像度を高くする

  ➡ 14.4 画像の解像度の設定を変更する (125 ページ)

- 画像タイプを変更する
- バーコードの印刷解像度を上げる
- バーコードのサイズを大きくする
- 画像のファイルサイズを大きくする

  ➡ 14.11 画像のファイルサイズを設定する (141 ページ)

- 帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にする。
  「管理」画面のデフォルト（「ドライバープロファイル」のチェックボックスにチェックが付いていない状態）の読み取り設定は、以下になります。

  画像タイプ: カラー

  解像度： 300dpi

  用紙サイズ :自動

39.6 PaperStream Capture の起動が遅い

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で、PaperStream AI 未契約またはインターネットに接続できない場合は以下を行ってください。

1. **メニューのから、「管理ツール」を選択します。**
2. **「一般」タブで「PaperStream AI 接続設定」の「PaperStream AI を使用しない」チェックボックスにチェックを付けます。**
3. **［保存］ボタンをクリックします。**

39.7 PaperStream AI の機能が使用できない

PaperStream AI のアクティベートを行ったのに、PaperStream AI の機能が使用できない場合は PaperStream Capture の再起動を行ってください。
それでも使用できない場合は以下を行ってください。

1. **メニューのから、「管理ツール」を選択します。**
2. **「一般」タブで「PaperStream AI 接続設定」の「PaperStream AI を使用しない」チェックボックスのチェックを外します。**
3. **［保存］ボタンをクリックします。**
4. **［閉じる］ボタンをクリックします。**
5. **メニューのから、「PaperStream AI 再接続」を選択します。**

39.8 ダッシュボードにログインできない

PaperStream AI のダッシュボードにログインできない場合は、以下の対処を行ってください。

- **「ユーザー」ロールの場合**
  - はじめてダッシュボードにログインする場合は、管理者にアカウントの登録を依頼してください。
    ➡ 15.1 アカウントの登録 (214 ページ)
  - パスワードを忘れた、または変更したい場合は「サインイン」画面で「パスワードをお忘れですか？」をクリックして、パスワードの変更操作を行ってください。
- **「管理者」ロールの場合**
  - ライセンス購入時のメールアドレスや、パスワードを忘れてログインできる管理者がいなくなった場合は、ライセンスを購入された販社 / 販売店に連絡してください。

第 40 章
メッセージ一覧

40.1 起動や接続に関連するメッセージ

PaperStream Capture の起動や接続に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX01001E	設定ファイルのロードに失敗しました。 (505 ページ)
SX01002E	{0} の運用環境の移出・移入ツールが実行されているため、本アプリケーションを起動できません。 (505 ページ)
SX01003E	パスワードが異なります。 正しいパスワードを入力してください。 (506 ページ)
SX01004E	ジョブのロードに失敗しました。 ジョブを確認してください。 (506 ページ)
SX01005E	別のユーザーが {0} を起動しています。 起動中の {0} を終了してから、本アプリケーションを実行してください。 (506 ページ)
SX01006E	{0} 管理ツールが実行中のため、本アプリケーションを起動できません。 管理ツールを終了してから、本アプリケーションを起動してください。 (507 ページ)
SX01007E	{0} が実行中のため、本アプリケーションを起動できません。 {0} を終了した後、本アプリケーションを起動してください。 (507 ページ)
SX01008E	{0} の運用環境移出入ツールが実行中のため、管理ツールを起動できません。 運用環境移出入ツールを終了してから、管理ツールを起動してください。 (507 ページ)
SX01009E	他のユーザーが {0} 管理ツールを実行中のため、管理ツールを起動できません。実行中の管理ツールを終了してから、再度起動してください。 (508 ページ)
SX01013Q	ストレージサーバーへの接続に失敗しました。 再試行しますか ? (508 ページ)
SX01014E	ステーションとストレージサーバーの PaperStream Capture のバージョンが一致していません。 (509 ページ)
SX01015E	本アプリケーションが正常に終了されなかったため、起動できません。しばらく待った後、再試行してください。問題が解決しない場合は、ログオフ後にログインし直すか、コンピューターを再起動した後、再試行してください。 (509 ページ)
SX01016W	ライセンス変更により PaperStream Capture の再起動が必要です。 PaperStream Capture を終了します。 (510 ページ)
SX01017E	ストレージサーバーへの接続に失敗しました。 以下をご確認の上、再度お試しください。 ・サーバーとのネットワーク接続に問題がないこと ・サーバー

コード	メッセージ
	上のストレージサービス、および出力サービスが開始されていること ・サーバー上のストレージファイヤーウォールが開いていること ・インターネットインフォメーションサービス（IIS）のサイト（PaperStreamCapture）が開始されていること (510 ページ)
SX01019E	不明なエラーが発生しました。本アプリケーションを再起動した後、再試行してください。 (510 ページ)
SX01020Q	スキャナー装置添付の無償版 PaperStream Capture で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。 ライセンスを認証すると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されます。 継続してもよろしいですか？(511 ページ)
SX01021Q	PaperStream Capture Pro で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。 ライセンスを解除すると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されます。 継続してもよろしいですか？(511 ページ)
SX01022Q	「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、シンプルスキャンモードをご利用いただけません。 管理ツールの「一般」タブの「モード切替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択してください。 (511 ページ)
SX99999E	予期しないエラーです。 エラー詳細：{0} エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。 (512 ページ)

- **設定ファイルのロードに失敗しました。**

  原因

  PaperStream Capture を起動するときに、設定ファイルのロードに失敗したため、PaperStream Capture を起動できませんでした。

  対処

  以下の設定ファイルの存在とアクセス権が付与されているかを確認してから再度処理を実行してください。
  %ALLUSERSPROFILE%¥PaperStreamCapture¥PROSettings.xml

- **{0} の運用環境の移出・移入ツールが実行されているため、本アプリケーションを起動できません。**

  原因

  PaperStream Capture の「運用環境の移出」ツールまたは「運用環境の移入」ツールが起動しているため、PaperStream Capture を起動できませんでした。
  {0} には、ソフトウェア名（PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium）が表示されます。

対処

PaperStream Capture の「運用環境の移出」ツールまたは「運用環境の移入」ツールを終了してから、PaperStream Capture を起動してください。

- **パスワードが異なります。 正しいパスワードを入力してください。**

原因

入力されたパスワードと設定済みのパスワードが一致しないため、「管理ツール」の起動、ジョブの編集、および「アドホックスキャン」が実行できませんでした。

対処

正しいパスワードを入力し、再度実行してください。
パスワードを紛失した場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ジョブのロードに失敗しました。 ジョブを確認してください。**

原因

ジョブのロードに失敗しました。

対処

ジョブが格納されているフォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。

- PaperStream Capture の場合
  フォルダーの場所は、第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)にある「作業フォルダー」で確認できます。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  フォルダーの場所は、第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)にある「ストレージサーバー」の「ストレージフォルダー」で確認できます。「ストレージフォルダー」は、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動すると表示されます。

- **別のユーザーが {0} を起動しています。 起動中の {0} を終了してから、本アプリケーションを実行してください。**

原因

別のユーザーが PaperStream Capture を起動しているコンピューターで、PaperStream Capture を起動しようとしました。
{0} には、ソフトウェア名（PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium）が表示されます。

対処

PaperStream Capture は、同じコンピューター上で 1 つしか起動できません。以下のどちらかの対処を行ってください。

- 別のアカウントでログオンしているユーザーの PaperStream Capture を使用する
- 別のアカウントでログオンしているユーザーに PaperStream Capture の画面を閉じてもらってから、自分のアカウントでログオンし、PaperStream Capture を起動する

- **{0} 管理ツールが実行中のため、本アプリケーションを起動できません。 管理ツールを終了してから、本アプリケーションを起動してください。**

原因

スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動した状態で、PaperStream Capture を起動しようとしました。
{0} には、ソフトウェア名（PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium）が表示されます。

対処

第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)を閉じてから、PaperStream Capture を起動してください。

- **{0} が実行中のため、本アプリケーションを起動できません。 {0} を終了した後、本アプリケーションを起動してください。**

原因

PaperStream Capture が起動している状態で、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から管理ツール画面を起動しようとしました。
{0} には、ソフトウェア名（PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium）が表示されます。

対処

PaperStream Capture を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から管理ツール画面を起動してください。

- **{0} の運用環境移出入ツールが実行中のため、管理ツールを起動できません。 運用環境移出入ツールを終了してから、管理ツールを起動してください。**

原因

PaperStream Capture の「運用環境の移出」または「運用環境の移入」が起動している状態で、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動しようとしました。
{0} には、ソフトウェア名（PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium）が表示されます。

対処

PaperStream Capture の「運用環境の移出」または「運用環境の移入」を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動してください。

- **他のユーザーが {0} 管理ツールを実行中のため、管理ツールを起動できません。実行中の管理ツールを終了してから、再度起動してください。**

原因

ほかのユーザーが「PaperStream Capture 管理ツール」を起動しているコンピューターで、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動しようとしました。
{0} には、ソフトウェア名（PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、または PaperStream Capture Pro Premium）が表示されます。

対処

「PaperStream Capture 管理ツール」は、同じコンピューター上で 1 つしか起動できません。 別のアカウントでログオンしているユーザーに「PaperStream Capture 管理ツール」画面を閉じてもらってから、自分のアカウントでログオン、「PaperStream Capture 管理ツール」を起動してください。

- **ストレージサーバーへの接続に失敗しました。 再試行しますか ?**

原因

ストレージサーバーへの接続に失敗しました。
以下の原因が考えられます。

- ストレージサーバーのアドレスが正しくない
- ストレージサーバーが正常に動作していない
- ネットワーク環境に問題がある
- ネットワークがパブリックネットワークである
- ストレージサーバーのストレージサービスが起動していない
- ストレージサーバーのストレージファイアウォールが閉じている

対処

以下を確認してから、処理を選択してください。

- ストレージサーバーのアドレスが正しいか
- ストレージサーバーが正常に動作しているか
- ネットワーク環境に問題がないか
- ネットワークがパブリックネットワークでないか
- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「出力サービス」のボタンが［停止］になっているか

- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「ストレージファイアウォール」のボタンが［閉じる］になっているか

［はい］ボタンをクリックすると、ストレージサーバーへの接続を再度実行します。
［いいえ］ボタンをクリックすると、ストレージサーバーに接続せずに処理を継続します。この場合、ジョブが正しく保存されなかったり、バッチの状態が異常になったりして、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)でバッチを確認できなくなる可能性があります。
PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium を再起動してもバッチが表示されない場合は、インストールフォルダー内にある「PFU.PaperStream.Capture.RecoveryTool.exe」でバッチを復元してください。

- **ステーションとストレージサーバーの PaperStream Capture のバージョンが一致していません。**

原因

以下の原因により PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium を起動できませんでした。
以下の原因が考えられます。

- ストレージサーバーが起動していない
- ストレージサーバーとクライアント端末にインストールされている PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のバージョンが一致していない

対処

以下の対処を実施してから、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium を起動してください。

- ストレージサーバーを起動する
- ストレージサーバーとクライアント端末にインストールされている PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のバージョンを合わせる

- **本アプリケーションが正常に終了されなかったため、起動できません。しばらく待った後、再試行してください。問題が解決しない場合は、ログオフ後にログインし直すか、コンピューターを再起動した後、再試行してください。**

原因

タスクマネージャーから PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のプロセスを強制終了させるなど、正常な終了が行われなかったため、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の一部のプロセスが終了しませんでした。

対処

しばらく時間を空けてから、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium を起動してください。それでも改善されない場合は、ログオフしてからログオンし直し、またはコンピューターを再起動してから、PaperStream Capture Pro を起動してください。

- **ライセンス変更により PaperStream Capture の再起動が必要です。PaperStream Capture を終了します。**

  原因

  PaperStream Capture Pro Premium の試用期間が終了しました。

  対処

  PaperStream Capture Pro Premium を再度起動するとライセンス確認画面が表示されるので、以下の対処をしてください。

  - PaperStream Capture Pro Premium を継続して使用する場合
    購入したライセンスを入力して、アクティベーションを行ってください。
  - PaperStream Capture Pro Premium の試用を終了する場合
    選択肢から PaperStream Capture を選択してください。

  なお、PaperStream Capture Pro Premium のインストーラーからインストールした場合は、選択肢として PaperStream Capture は表示されません。

- **ストレージサーバーへの接続に失敗しました。 以下をご確認の上、再度お試しください。 ・サーバーとのネットワーク接続に問題がないこと ・サーバー上のストレージサービス、および出力サービスが開始されていること ・サーバー上のストレージファイヤーウォールが開いていること ・インターネットインフォメーションサービス（IIS）のサイト（PaperStreamCapture）が開始されていること**

  原因

  ストレージサーバーに接続するときに、リトライ不可能なエラーが発生しました。

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - ストレージサーバーが正常に動作しているか
  - ネットワーク環境に問題がないか
  - ストレージサービスが開始しているか
  - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「出力サービス」のボタンが［停止］になっているか
  - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「ストレージファイアウォール」のボタンが［閉じる］になっているか
  - インターネットインフォメーションサービス（IIS）で PaperStream Capture Pro の Web サイトが起動しているか

- **不明なエラーが発生しました。本アプリケーションを再起動した後、再試行してください。**

  原因

  PaperStream Capture の子プロセスが初期化に失敗しました。

  対処

  PaperStream Capture を再起動してから、再度実行してください。

エラーが頻発する場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **スキャナー装置添付の無償版 PaperStream Capture で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。 ライセンスを認証すると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されます。 継続してもよろしいですか？**

  原因

  PaperStream Capture で作成したバッチが、出力されず一時保存または中断した状態のまま、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium へのアクティベートを実施しようとしました。

  対処

  バッチの出力処理をする場合は、[いいえ] ボタンをクリックし、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で出力処理を実行してから、再度アクティベートを実施してください。
  バッチの出力処理をしない場合は、[はい] ボタンをクリックし、アクティベートを続行してください。ライセンスが認証されると製品が PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium になり、「バッチ管理」画面の表示が初期化されます。

- **PaperStream Capture Pro で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。 ライセンスを解除すると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されます。 継続してもよろしいですか？**

  原因

  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で作成したバッチが、出力されず一時保存または中断した状態のまま、ディアクティベートを実施しようとしました。

  対処

  バッチの出力処理をする場合は、[いいえ] ボタンをクリックし、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で出力処理を実行してから、再度ディアクティベートを実施してください。
  バッチの出力処理をしない場合は、[はい] ボタンをクリックし、ディアクティベートを続行してください。ライセンスの認証が解除されると製品が PaperStream Capture になり、「バッチ管理」画面の表示が初期化されます。

- **「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、シンプルスキャンモードをご利用いただけません。 管理ツールの「一般」タブの「モード切替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択してください。**

  原因

  お使いのコンピューターが「QC」または「インデックス」ステーションのクライアント端末として管理者に設定されているためです。
  このステーションでは、原稿の読み取りができないため、第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)でも読み取りができません。

対処

誤って表示の切り替えを行わないように、第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)にある「モード切替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択して、[モード切替え] ボタンを非表示にしてください。

- **予期しないエラーです。 エラー詳細：{0} エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。**

原因

予期しないエラーが発生しました。
エラーの詳細として、以下の情報が {0} に表示されます。

- スキャンの中止に失敗しました。
- スキャンの実行に失敗しました。
- 追加スキャンの実行に失敗しました。
- 差し替えスキャンの実行に失敗しました。
- イメージの保存に失敗しました。
- PaperStream IP ドライバーの設定画面の表示に失敗しました。
- バッチの編集に失敗しました。
- 「スキャンなしで画質補正」の実行に失敗しました。

対処

エラーが発生したときの操作手順と、{0} に表示されているエラーの詳細をメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

40.2 管理ツールやジョブ設定に関連するメッセージ

PaperStream Capture の管理ツールやジョブ設定に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX02001Q	「{0}」で指定されているスキャナー装置は「{1}」イベントをサポートしていません。 設定してもよろしいですか？ (514 ページ)
SX02004E	ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。 参照作成の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。 (514 ページ)
SX02005E	ホットキーが重複しています。 (515 ページ)
SX02006E	一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っているため、作業フォルダーを変更できません。 (515 ページ)
SX02007E	設定内容を保存するファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイルパスが不正です。 保存するファイルを使用中の他のア

コード	メッセージ
	プリケーションの処理を終わらせる、上書き禁止の設定を解除する、またはフォルダーパスを変更して、再度設定の保存を行ってください。 (515 ページ)
SX02008E	サンプルジョブが壊れている、または、アクセス権限がないため、サンプルジョブを初期化できません。 (516 ページ)
SX02009E	初期化を行うとジョブ数が {0} 個を超えるため、初期化できません。 (516 ページ)
SX02010Q	サンプルジョブが存在する場合は、インストール時の状態に戻ります。 よろしいですか？
SX02012Q	設定内容は保存されませんでした。変更は破棄されます。管理ツールを終了しますか (517 ページ)
SX02014E	ストレージサーバーに接続できません。 (517 ページ)
SX02016Q	ストレージサーバーのアドレスが変更されました。ジョブが変更されるため、スキャンイベントの設定を既定値に戻します。 継続してもよろしいですか？
SX02017W	ストレージサーバーを起動できませんでした。インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーから PaperStream Capture サイトを開始してください。 (517 ページ)
SX02018E	中断されたバッチが残っているため、ストレージサーバーのアドレスは変更できません。 (518 ページ)
SX02019E	同じショートカットキーが既に定義されています。 (518 ページ)
SX02020E	ジョブ数が上限値を超えているため、上限値を変更できません。 (518 ページ)
SX02021Q	指定されたジョブは、PaperStream Capture Pro で作成されたものです。編集を行うと、PaperStream Capture Pro 固有機能の定義情報が失われ、元に戻せなくなります。 継続してもよろしいですか？ (518 ページ)
SX02024Q	評価を中止すると、再評価はできません。 評価を中止してもよろしいですか？ (519 ページ)
SX02026E	ストレージフォルダーにネットワークフォルダーを設定することはできません。ストレージフォルダーには、ローカルフォルダーを指定してください。 (519 ページ)
SX02028E	管理ツールの「スキャナードライバー」で「ISIS」が選択されています。編集（「こだわり作成」に移行）を行うには管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択する必要があります。管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択してください。 (519 ページ)
SX02029E	指定されたジョブの読み取り設定で選択されているスキャナーと現在接続されているスキャナーが異なる、もしくは現在スキャナーが接続されていませ

コード	メッセージ
	ん。編集（「こだわり作成」に移行）を行うには指定されたジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）に接続している必要があります。対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）を現在接続されているスキャナーに再選択してください。または対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）を接続してください。 (520 ページ)
SX02030E	ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。 こだわりに移行の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。 (520 ページ)
SX02031E	別のユーザーが帳票管理ダイアログ、またはジョブを使用しているため、ダイアログを開くことができません。 (520 ページ)
SX02032W	他社スキャナーが選択されため、一部の機能は使用できません。詳細はユーザーズガイドの機能一覧を参照してください。
-	データの破損が検出されたためアクティベーションできません。当社サービス＆サポートセンターにご連絡ください。 (521 ページ)

- **「{0}」で指定されているスキャナー装置は「{1}」イベントをサポートしていません。 設定してもよろしいですか？**

  原因

  選択したジョブに指定されているスキャナーに、該当するイベント機能がないためです。
  {0} と {1} には、以下が表示されます。
  {0}: ジョブ名
  {1}: イベント名（Scan, Send to（Function1）…）

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - そのまま設定する場合
    ［はい］ボタンをクリックし、設定を反映してください。
  - 設定せずに破棄する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックし、ジョブに指定されているスキャナーがサポートするイベントの範囲内で再度設定をしてください。

- **ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。 参照作成の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。**

  原因

  指定したジョブ名が 128 文字を超えているため、ジョブを保存できません。

  対処

  以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 19.3 「ジョブ情報設定」タブ (235 ページ)の「ジョブ名」に表示されている文字を、128 文字以内に変更する
- 参照作成したときのジョブ名が 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を変更する

ヒント

- ジョブを参照作成すると、自動的に「(参照元のジョブ名) _コピー」というジョブ名が設定されます。

- **ホットキーが重複しています。**

  原因

  すでに、ほかのジョブで定義されているホットキーを指定したためです。

  対処

  ほかのジョブに定義されているホットキーと重複しない値を指定してから、再度処理を実行してください。

- **一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っているため、作業フォルダーを変更できません。**

  原因

  一時保存やエラー、または中断されたバッチが出力されないまま、作業フォルダーを変更しようとしたためです。

  対処

  第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で該当のバッチの出力処理、または削除をしてから、作業フォルダーを変更してください。

- **設定内容を保存するファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイルパスが不正です。 保存するファイルを使用中の他のアプリケーションの処理を終わらせる、上書き禁止の設定を解除する、またはフォルダーパスを変更して、再度設定の保存を行ってください。**

  原因

  以下の理由により「PaperStream Capture 管理ツール」、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」、「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面、またはジョブの設定画面での設定内容を保存できませんでした。

  - 作業フォルダーのパスが長い
  - 作業フォルダーに存在しないドライブなど不正なパスが指定されている
  - 作業フォルダーと同じ格納先に保存されているジョブをほかのアプリケーションで開いている

  対処

  以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - 作業フォルダーのパスが短くなるように見直す
  - 作業フォルダーに正しいパスを設定し直す

- 以下のファイルを開いているアプリケーションを終了する
  - ProSettings.xml
  - （User）-YYYYMMDDHHmmss.xml
  - （User）-YYYYMMDDHHmmss.ini

（User）は、第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.5 「アクティベーション」タブ (411 ページ)で「ライセンス情報」にある「マシン ID」に表示されている値になります。
YYYYMMDDHHmmss は、ジョブを作成した日付と時間になります。

- **サンプルジョブが壊れている、または、アクセス権限がないため、サンプルジョブを初期化できません。**

原因

以下の理由によりサンプルジョブの初期化ができませんでした。

- 初期設定のサンプルジョブが存在しない
- 初期設定のサンプルジョブが壊れている
- 初期設定のサンプルジョブへのアクセス権がない

対処

初期設定のサンプルジョブに問題がないか確認してください。初期設定のサンプルジョブは以下に格納されています。
%ALLUSERSPROFILE%¥PaperStreamCapture¥Sample
初期設定のサンプルジョブに問題がある場合は、以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ファイルが存在しないまたは壊れている場合
  PaperStream Capture を再インストールしてください
- アクセス権がない場合
  アクセス権を付与してください

- **初期化を行うとジョブ数が {0} 個を超えるため、初期化できません。**

原因

サンプルジョブを初期化すると、ジョブ数が上限値を超えてしまうため、初期化できませんでした。
{0} には、ジョブ数の上限が表示されます。

対処

定義済みのジョブ数を確認し、必要に応じてジョブ数の上限値を増やしてください。
ジョブ数は、第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)で「表示」にある「最大ジョブ数」で変更できます。

- **設定内容は保存されませんでした。変更は破棄されます。管理ツールを終了しますか**

  原因

  第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)で変更した内容を保存せずに［閉じる］ボタンを押したか、コンピューターの電源を切ろうとしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 変更した内容を反映しない場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - 変更した内容を反映する場合
    - PaperStream Capture の場合
      ［いいえ］ボタンをクリックし、「PaperStream Capture 管理ツール」画面で［保存］ボタンをクリックしてください。変更した内容が反映されます。
    - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
      ［いいえ］ボタンをクリックし、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面で［保存］ボタンをクリックしてください。変更した内容が反映されます。

- **ストレージサーバーに接続できません。**

  原因

  ストレージサーバーへの接続に失敗しました。

  対処

  以下を確認してから、再度接続テストを実施してください。

  - ストレージサーバーのアドレスが正しいか
  - ストレージサーバーが正常に動作しているか
  - ストレージサービスが開始しているか
  - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「出力サービス」のボタンが［停止］になっているか
  - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「ストレージファイアウォール」のボタンが［閉じる］になっているか

- **ストレージサーバーを起動できませんでした。インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーから PaperStream Capture サイトを開始してください。**

  原因

  インターネットインフォーメーションサービス（IIS）で PaperStream Capture の Web サイトの起動に失敗しました。

対処

購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **中断されたバッチが残っているため、ストレージサーバーのアドレスは変更できません。**

原因

一時保存やエラー、または中断されたバッチが出力されないまま、ストレージサーバーの設定を変更しようとしました。

対処

第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で該当のバッチの出力処理または削除をしてから、ストレージサーバーの設定を変更してください。

- **同じショートカットキーが既に定義されています。**

原因

すでに、ほかの操作に定義されているショートカットキーを指定しました。

対処

ほかの操作に定義されているショートカットキーと重複しない値を指定してから、再度処理を実行してください。

- **ジョブ数が上限値を超えているため、上限値を変更できません。**

原因

すでに定義されているジョブの数が指定された上限値よりも多いためです。

対処

すでに定義しているジョブの、数以上の上限値を指定するか、不要なジョブを削除してから、再度処理を実行してください。

- **指定されたジョブは、PaperStream Capture Pro で作成されたものです。 編集を行うと、PaperStream Capture Pro 固有機能の定義情報が失われ、元に戻せなくなります。 継続してもよろしいですか ?**

原因

PaperStream Capture Pro で作成されたジョブを PaperStream Capture で編集しようとしました。

対処

PaperStream Capture Pro で作成されたジョブは、PaperStream Capture でも編集できます。
ただし、PaperStream Capture Pro 固有の機能については、定義が失われます。
以下の対処を行ってください。

- 編集を継続する場合

［はい］ボタンをクリックしてください。PaperStream Capture Pro 固有の機能の定義を破棄して編集処理を継続します。

- 編集しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。編集処理を行わずに「ジョブ一覧」画面へ戻ります。

- **評価を中止すると、再評価はできません。 評価を中止してもよろしいですか？**

  原因

  体験版で使用している PaperStream Capture Pro Premium の評価を中止しようとしたためです。

  対処

  体験版で使用している PaperStream Capture Pro Premium の体験利用を中止すると、体験可能な期間に達していなくても、再度、体験版としての利用はできません。
  以下の対処を行ってください。

  - 評価を終了する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。評価を終了し、製品が PaperStream Capture になります。
  - 評価を継続する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。評価を継続し、体験可能な期間まで PaperStream Capture Pro Premium を使用できます。

- **ストレージフォルダーにネットワークフォルダーを設定することはできません。ストレージフォルダーには、ローカルフォルダーを指定してください。**

  原因

  20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)の「ストレージサーバー」にある「マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）」を選択した状態で、「ストレージフォルダー」にドライブを割り当てしたネットワークフォルダーを指定しているためです。

  対処

  「ストレージフォルダー」に指定しているフォルダーをローカルフォルダーに変更してから、再度処理を実行してください。

- **管理ツールの「スキャナードライバー」で「ISIS」が選択されています。編集（「こだわり作成」に移行）を行うには管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択する必要があります。管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択してください。**

  原因

  管理ツールの「スキャナードライバー」で「ISIS」を選択している場合に、［編集（こだわりに移行）］ボタンをクリックしたときに表示されます。

  対処

  管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択します。

- **指定されたジョブの読み取り設定で選択されているスキャナーと現在接続されているスキャナーが異なる、もしくは現在スキャナーが接続されていません。編集（「こだわり作成」に移行）を行うには指定されたジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）に接続している必要があります。対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）を現在接続されているスキャナーに再選択してください。または対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）を接続してください。**

  原因

  対象のジョブで選択されているスキャナーに接続していない状況の場合に、[編集（こだわりに移行)] ボタンをクリックしたときに表示されます。

  対処

  対象のジョブで選択されているスキャナーに接続します。

- **ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。 こだわりに移行の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。**

  原因

  ジョブをこだわり作成に移行すると、移行元のジョブ名が 128 文字を超えるため、ジョブを移行できません。

  対処

  以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - ジョブをこだわり作成に移行したときの移行元のジョブ名が「_コピー」を含めて 128 文字以内になるように、移行元のジョブ名を変更する
  - こだわり作成で、新規にジョブを作成する

  > **ヒント**
  > - ジョブをこだわり作成に移行すると、移行元のジョブは自動的に「(移行元のジョブ名）_コピー」というジョブ名に変更されます。

- **別のユーザーが帳票管理ダイアログ、またはジョブを使用しているため、ダイアログを開くことができません。**

  原因

  マルチステーション運用のとき、以下の場合に［管理］ボタンがクリックされたためです。

  - ほかの端末で「管理」画面を開いている
  - ほかの端末でジョブの編集
  - ほかの端末で、アドホックスキャンでジョブの編集および読み取り

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ほかの端末で「管理」画面を開いていないか
- ほかの端末でジョブを編集していないか
- ほかの端末で、アドホックスキャンでジョブの編集および読み取りを行っていないか

- **データの破損が検出されたためアクティベーションできません。当社サービス＆サポートセンターにご連絡ください。**

原因

PaperStream Capture 4.1 以前の旧バージョンにダウングレードして、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスをアクティベートしようとしました。

対処

- PaperStream Capture を終了し、以下の手順で「管理ツール」を起動して、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のライセンスをアクティベートしてください。
  - Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022
    1. 「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」をクリックします。
    2. 「管理ツール」を右クリックして、「その他」→「管理者として実行」をクリックします。
  - Windows 11 / Windows Server 2025
    1. 「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」をクリックします。
    2. 「管理ツール」を右クリックして、「管理者として実行」をクリックします。

40.3 読み取りや編集に関連するメッセージ

PaperStream Capture の読み取りや編集に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX03001E	ジョブが存在しません。 (526 ページ)
SX03002Q	読み取りを継続しますか？継続して読み取るには、原稿をセットして、[はい]をクリックしてください。 読み取りを終了する場合は、[いいえ]をクリックしてください。 (526 ページ)
SX03003Q	スキャナーの紙詰まりです。詰まっている紙を取り除き、操作を続けてください。 読み取りを継続しますか？
SX03005I	スキャナーのボタンが押されましたが、「{0}」イベントに対応する動作が設定されていません。 管理ツールのユーザビリティータブで、スキャナーのボタン操作で実行したいジョブを設定してください。 (527 ページ)
SX03007E	選択されたイメージの削除に失敗しました。 (527 ページ)

コード	メッセージ
SX03009E	ファイルの追加に失敗しました。 (527 ページ)
SX03012E	切り取り処理でエラーが発生しました。 (527 ページ)
SX03013E	コピー処理でエラーが発生しました。 (528 ページ)
SX03014E	貼り付け処理時にエラーが発生しました。 (528 ページ)
SX03015E	イメージの回転に失敗しました。 (528 ページ)
SX03016E	マークの付加に失敗しました。 (529 ページ)
SX03017E	マークの解除に失敗しました。 (529 ページ)
SX03018E	ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合は、PaperStream IP ドライバーで「マルチイメージ出力」、「白紙削除」、および「上下分割」を同時に指定できません。 PaperStream IP ドライバーの設定画面で「マルチイメージ出力」、「白紙削除」および「上下分割」の選択を解除してください。 (529 ページ)
SX03019E	ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合、仕分け設定を同時に指定できません。 ジョブ作成/編集設定画面の「仕分け設定」タブで、全ての仕分け指定を解除してください。 (530 ページ)
SX03020E	折れ/破れ検知は PaperStream IP ドライバーの設定画面のページタブで、クロッピングが自動、傾き補正のいずれか、または背景に黒が設定されている場合のみ有効です。 (530 ページ)
SX03021E	「重送マーク」は PaperStream IP ドライバーの設定画面の「用紙搬送」において「マルチフィード検出」を「検出する」に設定し、条件を「重なり」、「長さ」または「重なりと長さ」のいずれかが設定されている場合に有効です。 (530 ページ)
SX03023Q	画像認識チェック機能(折れ/破れ検知)をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されています。 折れ/破れ検知は行われません。 継続してもよろしいですか？
SX03034E	アプリケーションの処理に必要なメモリーまたはリソースが不足しています。 (531 ページ)
SX03035Q	ADF 給紙シュートに用紙の裏面をセットして、読み取りを継続してください。 読み取りを継続しますか？ (531 ページ)
SX03036Q	スキャンを中止します。 スキャンした画像を破棄しますか？ (531 ページ)
SX03037Q	全てのイメージが選択されています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？ (532 ページ)
SX03038Q	選択されているイメージを削除してもよろしいですか？ (532 ページ)

コード	メッセージ
SX03039E	現在の画面では、ホットキーによるスキャンを実行できません。 (532 ページ)
SX03040E	現在の画面では、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。 (532 ページ)
SX03041E	以下の理由により、読み取りを中止します。 {0} (533 ページ)
SX03042E	原稿がセットされていませんでした。 (533 ページ)
SX03045E	メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。 メモリーが不足していないか、ディスク容量が不足していないかをご確認ください。 また、ディスクが故障していないか等も併せてご確認ください。 (533 ページ)
SX03047E	選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。 スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用している可能性があります。 (534 ページ)
SX03049E	指定されたファイル (フォルダー)、またはインデックス情報ファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはフォルダーパスが不正です。 フォルダーパスの長さが最大長を超えていないか、および、フォルダーのアクセス権限が書き込み不可になっていないか確認してください。 (534 ページ)
SX03052W	原稿がセットされていませんでした。または、全ての原稿が白紙と判定されました。 (535 ページ)
SX03053E	PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルが異常です。 PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの設定画面において、ドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルの設定を確認してください。 (535 ページ)
SX03055Q	バッチを削除してもよろしいですか？
SX03056E	指定されたフォルダーにファイルは作成できません。 アクセスできない、またはライトプロテクトされています。{0} 作業フォルダーのディスクドライブやパスについて、書き込み可能かどうかをご確認ください。 (536 ページ)
SX03057E	作業フォルダーに十分な空き容量がありません。 (536 ページ)
SX03060E	イメージの移動に失敗しました。 (536 ページ)
SX03063E	ファイルパスが長すぎます。 {0} (536 ページ)
SX03065E	一時保存処理中にエラーが発生しました。 (537 ページ)
SX03066E	ファイルのアップロードに失敗しました。 (537 ページ)
SX03068Q	指定されたファイル名オプションの場合、単一ファイルのみが作成されます。 このため、ファイルを 1 つ作成した時点で、他のファイルの出力を終了します。 処理を継続しますか？ (537 ページ)

コード	メッセージ
SX03069Q	選択している仕分けを削除してもよろしいですか？仕分け No.：{0} (538 ページ)
SX03072E	ジョブが編集中のためスキャンを開始できません。 (538 ページ)
SX03073E	バッチが使用されているためバッチを削除できません。 (538 ページ)
SX03074E	バッチが他の状態に移行したため開けません。 (539 ページ)
SX03078E	スキャン中にオリジナル画像の取得に失敗しました。 (539 ページ)
SX03079E	オリジナル画像のロードに失敗しました。 (539 ページ)
SX03080E	PaperStream IP は「画質補正（ASC）」をサポートしていません。 (539 ページ)
SX03082I	ストレージサーバーへのアップロード中に中断されました。アップロードを再開します。 (540 ページ)
SX03083E	いくつかのファイルがアップロードできませんでした。 (540 ページ)
SX03084E	バッチが使用中のため、バッチ情報を更新できません。 (540 ページ)
SX03086E	以下の理由により、ストレージサーバーからのデータの取得に失敗しました。 {0} (540 ページ)
SX03087E	以下の理由により、ストレージサーバーへのデータのアップロードに失敗しました。 {0} (541 ページ)
SX03088Q	接続されたスキャナーは重送検知をサポートしていません。継続しますか？ (541 ページ)
SX03089E	入力に「PaperStream IP Import」が指定されていますが、「PaperStream Capture Pro Import」ライセンスが認証されていないため、インポートできません。 (541 ページ)
SX03094E	サポート外のファイル形式のため、指定された機能を実行できません。 ファイル種別、画像タイプ、圧縮形式を確認してください。 (542 ページ)
SX03095Q	白紙マークの付いた全てのイメージを削除しますか？ (542 ページ)
SX03096Q	全てのイメージに白紙マークが付いています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？ (542 ページ)
SX03097E	白紙マークの付いたイメージの削除に失敗しました。 (542 ページ)
SX03098E	白紙マークの付加に失敗しました。 (543 ページ)
SX03099Q	画質補正（ASC）を行うと、折れ/破れ検知マーク、および重送マークが解除されます。 継続してもよろしいですか？ (543 ページ)
SX03100E	シンプルスキャンモードの作業中のため、ホットキー定義で設定したスキャンができません。 (543 ページ)

コード	メッセージ
SX03101E	シンプルスキャンモードの作業中のため、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。 (543 ページ)
SX03104E	「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、イベント定義で設定されたスキャンを行う権限がありません。 (544 ページ)
SX03105E	このコンピューターはスキャンステーションではありません。 スキャナーのボタンが押されましたが、イベント定義で設定されたスキャンは実行されません。 (544 ページ)
SX03107E	選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。 スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用しているか、もしくは接続されたスキャナー用のライセンス認証が行われていない可能性があります。 (544 ページ)
SX03108Q	表示しているデータへの変更を保存しますか？(545 ページ)
SX03109E	仕分け文字列は 128 バイト以内で指定してください。 (545 ページ)
SX03110W	画像チェックにより、スキャン中にマークが付加されました。マークの付いた画像を確認するため、すぐに出力は行わず、確認/編集画面を表示します。 (545 ページ)
SX03111Q	出力が完了していないバッチが存在するため、カウンターの更新が完了していません。 インプリンタの印字カウンターがファイル名のカウンターと一致しない可能性があります。 継続してもよろしいですか？(546 ページ)
SX03112I	ScandAll PRO から移入されたジョブにファイルをドラッグ&ドロップ出来ません。 ファイルをドラッグ&ドロップするには、ジョブを編集し、ドライバープロファイルを設定してください。 (546 ページ)
SX03115E	自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、スキャンを開始できません。 (547 ページ)
SX03116E	このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。読み取り設定が移入されていないため、スキャンを開始できません。 ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。 (547 ページ)
SX03117E	以下の理由により、読み取りを中止します。 U ターン給紙口、リターン給紙口両方に用紙がセットされています。 いずれかの原稿を取り除いてください。
SX03119E	選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。 {0} (547 ページ)
SX03120E	インストール済みの PaperStream IP（TWAIN）は「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないバージョンです。 「ScanSnap Manager for fi 互換」は選択できません。 (548 ページ)
SX03122I	指定されているジョブは以下の原因で実行できません。 ・表示を隠す ・表示するユーザーに設定されていない ジョブの設定を見直してください。 ま

コード	メッセージ
	たは、管理ツールの一般タブで、サンプルジョブを表示するに設定してください。 (548 ページ)
SX03123Q	ファイル追加を中止します。 追加した画像を破棄しますか？(548 ページ)
SX03126E	選択されたスキャナーは、お使いの PaperStream Capture Pro ライセンスではご利用いただけません。最大読み取り幅が A4/レターサイズより大きいスキャナーには PaperStream Capture Pro Premium ライセンスをご利用ください。
SX03129E	グループ名を変名中のため、ホットキーによるスキャンを実行できません。(548 ページ)
SX03130E	グループが変名中のため、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。 (549 ページ)

- **ジョブが存在しません。**

  原因

  コマンドプロンプトから PaperStream Capture を起動しようとしましたが、/DocType: パラメーターで指定されたジョブが存在しなかったため、バッチスキャンモードでの読み取りを実行できませんでした。

  対処

  ジョブ名を確認し、/DocType: パラメーターに正しいジョブ名を指定してから、再度処理を実行してください。

- **読み取りを継続しますか？継続して読み取るには、原稿をセットして、[はい]をクリックしてください。読み取りを終了する場合は、[いいえ]をクリックしてください。**

  原因

  ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーで、「読み取り面」に「両面」、「継続読み取り」に「有効」が設定されているジョブを使った原稿の読み取りが終了しました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 読み取りを継続する場合
    スキャナーに原稿をセットしてから［はい］ボタンをクリックしてください。原稿を継続して読み取ります。
    使用しているドライバーが PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの場合は、スキャナーの［Scan］または［Send to］ボタンを押しても、原稿の読み取りが継続できます。
  - 読み取りを終了する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。読み取りが終了します。

- **スキャナーのボタンが押されましたが、「{0}」イベントに対応する動作が設定されていません。 管理ツールのユーザビリティータブで、スキャナーのボタン操作で実行したいジョブを設定してください。**

  原因

  イベントが設定されていないスキャナーのボタンが押されました。
  {0} には、Scan や Send to 1 などのイベントが表示されます。

  対処

  第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.3 「ユーザビリティー」タブ (406 ページ)にある「イベント」で、スキャナーのボタンを押したときの動作を設定してから、再度処理を実行してください。

- **選択されたイメージの削除に失敗しました。**

  原因

  選択されている画像の削除に失敗しました。

  対処

  再度処理を実行してください。
  改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ファイルの追加に失敗しました。**

  原因

  「ファイルの追加」を選択または既存のファイルをドラッグ&ドロップして、選択中のページの直後にファイルを追加しようとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
  - 追加しようとしたファイルがサポートしているファイル形式か
  - ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か

  作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **切り取り処理でエラーが発生しました。**

  原因

  「切り取り」を選択し、選択中のページを切り取ろうとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **コピー処理でエラーが発生しました。**

原因

「コピー」を選択し、選択中のページをコピーしようとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **貼り付け処理時にエラーが発生しました。**

原因

「貼り付け」を選択し、コピーしたページを貼り付けようとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **イメージの回転に失敗しました。**

原因

「90 度回転」や「180 度回転」、または「-90 度回転」を選択し、選択中のページを回転させようとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

再度処理を実行してください。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **マークの付加に失敗しました。**

原因

「マーク」を選択し、選択中のページにマークを付与しようとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

再度処理を実行してください。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **マークの解除に失敗しました。**

原因

「マークを解除」を選択し、選択中のページに付与されているマークを解除しようとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

再度処理を実行してください。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合は、PaperStream IP ドライバーで「マルチイメージ出力」、「白紙削除」、および「上下分割」を同時に指定できません。 PaperStream IP ドライバーの設定画面で「マルチイメージ出力」、「白紙削除」および「上下分割」の選択を解除してください。**

原因

使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定したジョブで、マルチイメージの出力や白紙の削除、および上下分割の機能を同時に設定しようとしました。

対処

使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定した場合、使用するドライバープロファイルでマルチイメージの出力や白紙の削除、および上下分割の機能を同時に設定できません。
「読み取り設定」の［詳細設定］ボタンをクリックし、表示される PaperStream IP ドライバーの設定画面で、以下の設定を解除してください。

- 「基本」-「画像タイプ」-「マルチイメージ」
- 「ページ」-「上下分割」-「オン」
- 「ページ」-「ブランクページ検出」-「画像の出力」-「出力しない」

- **ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合、仕分け設定を同時に指定できません。 ジョブ作成/編集設定画面の「仕分け設定」タブで、全ての仕分け指定を解除してください。**

  原因

  使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定したジョブで、仕分けの設定をしようとしました。

  対処

  使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定した場合、仕分けの機能は使用できません。 19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)で、指定されている機能をすべて解除してください。

- **折れ/破れ検知は PaperStream IP ドライバーの設定画面のページタブで、クロッピングが自動、傾き補正のいずれか、または背景に黒が設定されている場合のみ有効です。**

  原因

  「画像チェック」で「折れ/破れ」を検出したページにマークを付加する設定がされていますが、PaperStream IP ドライバーのプロファイルが「折れ/破れ」の検出をサポートしていない設定になっています。

  対処

  PaperStream IP（ISIS）ドライバーのドライバープロファイル設定画面で「ページ」 を選択し、以下のどれかを設定してから、再度処理を実行してください。
  PaperStream IP ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で［詳細設定］ボタンをクリックすると表示できます。

  - 「クロッピング」で「自動」を選択
  - 「クロッピング」で「傾き補正」を選択かつ「背景」で「黒」を選択

- **「重送マーク」は PaperStream IP ドライバーの設定画面の「用紙搬送」において「マルチフィード検出」を「検出する」に設定し、条件を「重なり」、「長さ」または「重なりと長さ」のいずれかが設定されている場合に有効です。**

  原因

  「画像チェック」で「重送」を検出したページにマークを付加する設定がされていますが、PaperStream IP（ISIS）ドライバーのプロファイルが「重送」の検出をサポートしていない設定になっています。

  対処

  PaperStream IP（ISIS）ドライバーのドライバープロファイル設定画面で「用紙搬送」を選択し、「マルチフィード検出」の「検出する」を選択かつ「条件」で「重なり」、「長さ」、または「重なりと長さ」を選択してから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で［詳細設定］ボタンをクリックすると表示できます。

- **アプリケーションの処理に必要なメモリーまたはリソースが不足しています。**

  原因

  アプリケーションの処理に必要なメモリーまたはリソースが不足しているため、処理ができませんでした。

  対処

  ほかに起動している不要なアプリケーションを終了したあと、再度処理を実行してください。

- **ADF 給紙シュートに用紙の裏面をセットして、読み取りを継続してください。 読み取りを継続しますか？**

  原因

  使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定したジョブで、原稿の表面の読み取りが完了しました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 読み取りを継続する場合
    スキャナーに用紙の裏面をセットしてから、［はい］ボタンをクリックしてください。原稿を継続して読み取ります。
  - 読み取りを終了する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。読み取りが終了します。

- **スキャンを中止します。 スキャンした画像を破棄しますか？**

  原因

  原稿の読み取り中、または登録帳票の読み取り中に、［キャンセル］ボタンまたはキーボードの「Esc」キーが押されました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 受信済みの画像を破棄して、読み取りを中止する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - 受信済みの画像を破棄せず、読み取りを中止する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **全てのイメージが選択されています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？**

  原因

  すべてのページが選択した状態で［削除］ボタンまたはキーボードの「Delete」キーが押されました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - バッチを削除する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - バッチを削除しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **選択されているイメージを削除してもよろしいですか？**

  原因

  ページを選択した状態で［削除］ボタンまたはキーボードの「Delete」キーが押されました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 選択しているページを削除する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - 選択しているページを削除しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **現在の画面では、ホットキーによるスキャンを実行できません。**

  原因

  表示している画面では、ホットキーでの読み取りが実行できません。

  対処

  表示中の画面からホットキーでの読み取りが可能な画面に遷移し、再度ホットキーによる読み取りを実行してください。

- **現在の画面では、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。**

  原因

  表示している画面では、イベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りが実行できません。

  対処

  表示中の画面からイベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りが可能な画面に遷移し、再度イベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りを実行してください。

- **以下の理由により、読み取りを中止します。 {0}**

  原因

  読み取り中に発生したエラーにより、読み取りを中止しました。
  {0} には、以下のエラー詳細が表示されます。

  - スキャナーカバーが開いています。
  - スキャナーの搬送系のトラブルです。スキャナーをチェックしてください。
  - スキャナーの用意ができていません。もう一度操作しなおしてください。
  - スキャナードライバーのメモリー不足です。
  - 重送を検出しました。
  - インプリンタのプリントカートリッジを確認してください。
  - 読み取りが中断されました。
  - ハードウェア異常を検出しました。
  - 異常スキューを検出しました。
  - 読み取り領域指定異常を検出しました。
  - TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えました。
  - RTF ファイルが最大サイズの 512MB に達しました。

  対処

  エラーの解除および対処をしてから、再度処理を実行してください。

- **原稿がセットされていませんでした。**

  原因

  スキャナーに原稿がセットされていなかったため、原稿を読み取ることができませんでした。

  対処

  スキャナーに原稿をセットしてから、再度処理を実行してください。

- **メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。 メモリーが不足していないか、ディスク容量が不足していないかをご確認ください。 また、ディスクが故障していないか等も併せてご確認ください。**

  原因

  以下の操作で、ファイルの保存処理に失敗しました。

  - ジョブでの読み取り
  - 編集画面での「追加」を選択した読み取り
  - 編集画面での「差し替え」を選択した読み取り

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- メモリーが不足していないか
- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ディスクが破損していないか

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。 スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用している可能性があります。**

原因

以下の理由で、スキャナーを検出できませんでした。

- スキャナーが接続されていない
- スキャナーの電源が投入されていない
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されている

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- スキャナーが接続されているか
- スキャナーの電源が投入されているか
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないか
- PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用している場合、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーが正しくインストールされているか

- **指定されたファイル（フォルダー）、またはインデックス情報ファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはフォルダーパスが不正です。 フォルダーパスの長さが最大長を超えていないか、および、フォルダーのアクセス権限が書き込み不可になっていないか確認してください。**

原因

以下の作成に失敗しました。

- ファイル
- インデックス情報ファイル
- フォルダー

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作成後のフォルダーパスの長さが最大長を超えていないか
- 指定したフォルダーに書き込み権限があるか

- **原稿がセットされていませんでした。または、全ての原稿が白紙と判定されました。**

  原因

  読み取った原稿が、すべて白紙と判断され削除されたため、原稿の合計が 0 ページと判定されました。

  対処

  白紙原稿だけを読み取っていないかを確認してから、再度処理を実行してください。
  なお、PaperStream IP ドライバーの「ページ」で「ブランクページ検出」を「オン」にし、「画像の出力」で「出力しない」が設定されている場合だけ、白紙と判定されたページが削除されます。

- **PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルが異常です。 PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの設定画面において、ドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルの設定を確認してください。**

  原因

  原稿を読み取るときに使用する PaperStream IP（TWAIN）ドライバーで以下の定義ファイルに異常が発生しました。

  - ドロップアウトカラーのカスタムパターン
  - ディザパターンファイル
  - ガンマパターンファイル

  対処

  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドライバープロファイル設定画面で「画像」 を選択し、以下の設定に問題がないか確認してから、再度処理を実行してください。
  PaperStream IP ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で［詳細設定］ボタンをクリックすると表示できます。

  - ドロップアウトカラーのカスタム
    「ドロップアウトカラー」 で、カスタムが定義されているか
  - ディザパターンファイル
    「ハーフトーンパターン」の「ダウンロード」で指定しているディザパターンのファイルが存在するか、またファイルの内容は正しい構成で作成されているか
  - ガンマパターンファイル
    「トーン調整」の「ダウンロード」で指定しているガンマパターンのファイルが存在するか、またファイルの内容は正しい構成で作成されているか

  それでも改善されない場合は、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーの設定画面で［初期化］ ボタンをクリックし、設定内容を初期化してから、再度処理を実行してください。

  ➡ PaperStream IP ドライバーのヘルプ

- **指定されたフォルダーにファイルは作成できません。 アクセスできない、またはライトプロテクトされています。{0} 作業フォルダーのディスクドライブやパスについて、書き込み可能かどうかをご確認ください。**

  原因

  指定したフォルダーにファイルを書き込むことができません。
  {0} には、問題があるファイルパスが表示されます。

  対処

  指定したフォルダーに書き込み権限があるかどうかを確認してから、再度処理を実行してください。

  - PaperStream Capture の場合
    作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
    作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」、または「ステーション」タブにある「ストレージサーバー」の「ストレージフォルダー」で確認できます。

- **作業フォルダーに十分な空き容量がありません。**

  原因

  指定した作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量がありません。

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
  - ディスクが破損していないか

  作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **イメージの移動に失敗しました。**

  原因

  サムネールをドラッグ&ドロップして操作するページの移動に失敗しました。

  対処

  再度処理を実行してください。
  改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ファイルパスが長すぎます。 {0}**

  原因

  出力するファイルのパスが長すぎるため、出力処理に失敗しました。

対処

以下が短くなるように対処してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーのパス
- 出力先のフォルダー名
- 出力するときのファイル名

- **一時保存処理中にエラーが発生しました。**

原因

ディスクの容量不足などの理由により、バッチの一時保存に失敗しました。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ディスクが破損していないか

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **ファイルのアップロードに失敗しました。**

原因

FTP サーバーへの保存に失敗しました。

対処

FTP サーバーに問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **指定されたファイル名オプションの場合、単一ファイルのみが作成されます。 このため、ファイルを 1 つ作成した時点で、他のファイルの出力を終了します。 処理を継続しますか？**

原因

複数のファイルを出力しようとしましたが、ファイル名オプションで固定のファイル名が指定されているので、1 つのファイルしか出力できません

対処

以下の対処を行ってください。

- 最初のドキュメントだけを出力する場合
  [はい] ボタンをクリックしてください。指定されたファイル名で最初のドキュメントだけが出力されます。ほかのドキュメントは出力されず処理が完了します。
- すべてのドキュメントをファイルとして出力したい場合
  [いいえ] ボタンをクリックしてください。処理が中断され、第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)にエラー状態のバッチとして表示されます。そのあと、第 19 章「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)で原稿の読み取りに使用したジョブを「編集」で開き、19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「ファイルプロパティ」で固定のファイル名にならないように見直してください。

見直しが完了したら、「バッチ管理」画面に戻り、該当のバッチを開き、［完了］ボタンをクリックして再度処理を実行してください。

- **選択している仕分けを削除してもよろしいですか？仕分け No.：{0}**

原因

選択している仕分けに使用したページを削除しようとしました。
{0} には、仕分けに使用したページの番号が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 仕分けに使用したページを削除する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
- 仕分けに使用したページを削除しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **ジョブが編集中のためスキャンを開始できません。**

原因

指定したジョブは、ほかの端末で以下の操作を行っているため、読み取りに使用できません。

- ジョブを編集している
- ジョブを使って読み取り中

対処

使用したいジョブが、ほかの端末で使用されていない状態で、再度処理を実行してください。

- **バッチが使用されているためバッチを削除できません。**

原因

- PaperStream Capture の場合
  削除しようとしたバッチは、出力が中断された状態のため、削除できません。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  削除しようとしたバッチは、以下の理由により削除できません。
  - ほかの端末が該当のバッチを編集している
  - ネットワーク切断によりバッチがストレージサーバーにアップロードできない
  - ほかの端末で一時保存または出力が中断された状態

対処

第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で「再読み込み」をクリックし、バッチの一覧を更新してください。

- PaperStream Capture の場合
  そのあとに、出力が中断されたバッチではないかを確認してから、再度処理を実行してください。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

そのあとに、以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ほかの端末が該当のバッチを使用していないか
- バッチがストレージサーバーにアップロードできる状態か
- ほかの端末で一時保存または出力が中断されたバッチではないか

- **バッチが他の状態に移行したため開けません。**

原因

選択したバッチは、ほかの端末での操作により状況が出力済み等に変更されたか、ストレージサーバーからバッチの情報取得に失敗したため開けません。

対処

第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で「再読み込み」をクリックし、バッチの一覧を更新してから、再度処理を実行してください。
改善されない場合は、ストレージサーバーと正しく通信できる状態か確認してください。

- **スキャン中にオリジナル画像の取得に失敗しました。**

原因

「画質補正」が「有効」に設定されているジョブで原稿の読み取りを実行したときに、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーから受け取った RAW 画像の格納に失敗しました。

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **オリジナル画像のロードに失敗しました。**

原因

PaperStream IP ドライバーから受信した RAW 画像が存在しないか読み取り権限がないため、「画質補正(ASC)」の処理に失敗しました。

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **PaperStream IP は「画質補正（ASC)」をサポートしていません。**

原因

インストールされている PaperStream IP（TWAIN）ドライバーが、「画質補正(ASC)」をサポートしていないためです。

対処

最新の PaperStream IP（TWAIN）ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **ストレージサーバーへのアップロード中に中断されました。アップロードを再開します。**

原因

ネットワーク切断などにより、アップロード中のバッチ情報がストレージサーバーにアップロードできませんでした。

対処

［OK］ボタンをクリックすると、該当のバッチを開く前に、再度バッチ情報をストレージサーバーにアップロードします。 ストレージサーバーにバッチ情報のアップロードが完了次第、ほかのバッチ情報のアップロードを再開します。

- **いくつかのファイルがアップロードできませんでした。**

原因

FTP サーバーにファイルのアップロードを実行しましたが、一部のファイルがアップロードできませんでした。

対処

FTP サーバーとの通信環境に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **バッチが使用中のため、バッチ情報を更新できません。**

原因

選択したバッチは、以下の理由により更新できません。

- ほかの端末が該当のバッチを編集している
- ほかの端末で一時保存または出力が中断された状態
- ほかの端末で出力している

対処

第 32 章 「バッチ管理」画面 (459 ページ)で「再読み込み」をクリックし、バッチの一覧を更新してください。 そのあとに、以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ほかの端末が該当のバッチを使用していないか
- 該当のバッチが出力済みになっていないか

- **以下の理由により、ストレージサーバーからのデータの取得に失敗しました。 {0}**

原因

ストレージサーバーからジョブやバッチをダウンロードしようとしましたが失敗しました。
{0} には、詳細な原因が表示されます。

対処

詳細な原因を確認し、問題を解決してから再度処理を実行してください。

- **以下の理由により、ストレージサーバーへのデータのアップロードに失敗しました。 {0}**

原因

ジョブやバッチをストレージサーバーへアップロードしようとしましたが失敗しました。
{0} には、詳細な原因が表示されます。

対処

詳細な原因を確認し、問題を解決してから再度処理を実行してください。

- **接続されたスキャナーは重送検知をサポートしていません。継続しますか？**

原因

ジョブで設定されている「画像チェック」の「重送」を、使用しているスキャナーまたはインストール済みの PaperStream IP ドライバーがサポートしていません。

対処

以下の対処を行ってください。

- 処理を継続する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。原稿の重送を検出せずに原稿の読み取りを実施します。
- 処理を終了する場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。読み取りを実行せずに処理を終了します。

- **入力に「PaperStream IP Import」が指定されていますが、「PaperStream Capture Pro Import」ライセンスが認証されていないため、インポートできません。**

原因

ジョブの 19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)で「スキャナー」に「PaperStream IP Import」が指定されていますが、「PaperStream Capture Pro Import」のライセンスがアクティベーションされていないため、機能が使用できません。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ジョブの「読み取り設定」タブで「スキャナー」に指定されている「PaperStream IP Import」を使用可能なスキャナーに変更する
- 「PaperStream Capture Pro Import」のライセンスを購入し、アクティベーションする
  アクティベーションは、第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.5 「アクティベーション」タブ (411 ページ)にある「ライセンス管理」の「インポートのアクティベート」で実施できます。

- **サポート外のファイル形式のため、指定された機能を実行できません。 ファイル種別、画像タイプ、圧縮形式を確認してください。**

  原因

  選択したファイルは、拡張子が BMP、DIB、TIFF、TIF、J2K、JPG、JPEG、JPE、JFIF、PDF、または PNG のファイルですが、以下の理由により処理ができませんでした。

  - ファイルの内容が拡張子と一致しない
  - 白黒、2 ビット、3 ビット、4 ビット、8 ビット、または 24 ビットカラー以外の画像

  対処

  ファイルの内容に問題がないことを確認してから、再度処理を実行してください。
  処理できないファイルを画像処理アプリケーションで開き、保存し直すとファイルの内容が修正され、処理できるファイルになる場合があります。

- **白紙マークの付いた全てのイメージを削除しますか？**

  原因

  白紙マークが付いているページがあるドキュメントで「白紙削除」を選択しました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 白紙マークが付いたページをすべて削除する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - 白紙マークが付いたページを削除しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **全てのイメージに白紙マークが付いています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？**

  原因

  白紙マークがすべてのページに付いているドキュメントで「白紙削除」を選択しました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - バッチを削除する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - バッチを削除しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **白紙マークの付いたイメージの削除に失敗しました。**

  原因

  白紙マークが付いているページがあるドキュメントで「白紙削除」を選択しましたが、該当ページの削除に失敗しました。

対処

再度処理を実行してください。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **白紙マークの付加に失敗しました。**

原因

選択したページに白紙マークを付けようとしましたが、失敗しました。

対処

再度処理を実行してください。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **画質補正（ASC）を行うと、折れ/破れ検知マーク、および重送マークが解除されます。 継続してもよろしいですか？**

原因

ツールバーの「画質補正(ASC)」を選択し、選択したページの画質補正を実行しようとしました。

対処

選択したページに「折れ/破れ」や「重送」などのマークが付いていた場合、画質補正するとマークが解除されます。
以下の対処を行ってください。

- 画質補正をする場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。表示される「アシストスキャン」 画面で画質補正を実施してください。保存するとマークは解除されます。
- 画質補正をしない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。マークは解除されません。

- **シンプルスキャンモードの作業中のため、ホットキー定義で設定したスキャンができません。**

原因

シンプルスキャンモードで第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)を開いている状態で、バッチスキャンモードでの読み取りを実行しようとしました。

対処

「モード切替え」で「シンプルスキャンモード」画面からバッチスキャンモードの画面に切り替えてから、再度処理を実行してください。

- **シンプルスキャンモードの作業中のため、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。**

原因

シンプルスキャンモードで第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)の操作中に、スキャナーのボタンを押して原稿の読み取りをしようとしました。

対処

「シンプルスキャンモード」画面で操作中の作業を終了してから、再度処理を実行してください。

- **「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、イベント定義で設定されたスキャンを行う権限がありません。**

原因

お使いのコンピューターが「QC」または「インデックス」ステーションのクライアント端末として管理者に設定されている状態で、スキャナーのボタンから原稿の読み取りを実行しようとしました。「QC」および「インデックス」ステーションでは、原稿の読み取りができません。

対処

設定されているステーションが正しいか管理者に確認してください。

- **このコンピューターはスキャンステーションではありません。 スキャナーのボタンが押されましたが、イベント定義で設定されたスキャンは実行されません。**

原因

「スキャン&インデックス」または「スキャン」以外のステーションが設定されている状態で、スキャナーのボタンから原稿の読み取りを実行しようとしました。

対処

第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.6 「ステーション」タブ (412 ページ)で「スキャン&インデックス」または「スキャン」を選択し、読み取り可能なプロセスで設定を保存してください。

- **選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。 スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用しているか、もしくは接続されたスキャナー用のライセンス認証が行われていない可能性があります。**

原因

以下の理由により、接続可能なスキャナーが見つかりませんでした。

- スキャナーが接続されていない
- スキャナーの電源が投入されていない
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されている
- スキャナーのライセンス認証が行われていない

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- スキャナーが接続されているか
- スキャナーの電源が投入されているか
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないか

- スキャナーのライセンス認証は実施済みか
- PaperStream IP（TWAIN）ドライバーが正しくインストールされているか

- **表示しているデータへの変更を保存しますか？**

原因

第 38 章 「シンプルスキャンモード」画面 (473 ページ)で画像の編集をした状態で、以下の操作をしました。

- 原稿の読み取り
- モード切替え
- PaperStream Capture の終了

対処

以下の対処を行ってください。

- 表示中のドキュメントを保存する場合
  [はい] ボタンをクリックしてください。38.5 「名前を付けて保存」画面 (496 ページ)が表示されます。[OK] ボタンをクリックすると表示中のドキュメントが保存されたあと、選択した操作が実行されます。
- 表示中のドキュメントを破棄する場合
  [いいえ] ボタンをクリックしてください。表示中のドキュメントが破棄されたあと、選択した操作が実行されます。
- 表示中のドキュメントの編集に戻る場合
  [キャンセル] ボタンをクリックしてください。選択した操作を実行せず、「シンプルスキャンモード」画面に戻ります。

- **仕分け文字列は 128 バイト以内で指定してください。**

原因

「仕分けの編集」画面で、仕分け文字列に 128 バイト以上の文字列を入力しました。

対処

仕分け文字列を 128 バイト以内で入力してから、再度処理を実行してください。

- **画像チェックにより、スキャン中にマークが付加されました。マークの付いた画像を確認するため、すぐに出力は行わず、確認/編集画面を表示します。**

原因

19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の「画像表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」が選択されていますが、以下の設定がされているため、該当する画像はすぐに出力が行われず、確認/編集画面に表示されます。

- 「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックス
- 画像チェック

対処

マークが付加されたページが表示された場合は、内容を確認し、必要に応じて編集してから出力してください。

- **出力が完了していないバッチが存在するため、カウンターの更新が完了していません。 インプリンタの印字カウンターがファイル名のカウンターと一致しない可能性があります。 継続してもよろしいですか？**

原因

ページカウンターやシートカウンターをインプリンタで印字する設定のジョブで、読み取りしたバッチを出力せずに、同じジョブで原稿の読み取りを実行しようとしました。

対処

インプリンタでは、読み取りするときにページカウンターやシートカウンターを印字できますが、ファイル名に使用するページカウンターやシートカウンターは、出力したあとに番号が更新されます。
そのため、原稿を読み取って作成されたバッチの順番と出力する順番が異なると、インプリンタで印字されたカウンターとファイル名のカウンターが一致しない可能性があります。
以下のどちらかの対処をしてください。

- 読み取る場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。原稿の読み取りを開始します。バッチを出力する順番によっては、インプリンタが印字したカウンターとファイル名に設定されるカウンターが一致しない可能性があります。
- 読み取りしない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

出力が完了していないバッチをすべて出力してから、再度処理を実行するとインプリンタで印字したカウンターとファイル名に設定されるカウンターを一致した状態にできます。

- **ScandAll PRO から移入されたジョブにファイルをドラッグ&ドロップ出来ません。 ファイルをドラッグ&ドロップするには、ジョブを編集し、ドライバープロファイルを設定してください。**

原因

ScandAll PRO のプロファイルを移入したままのジョブのアイコンに、ファイルをドラッグ&ドロップして読み取ろうとしました。

対処

ScandAll PRO から移入したままのジョブには、ドライバープロファイルが設定されていないため、ドラッグ＆ドロップでのファイルの読み取りができません。
ドラッグ&ドロップでファイルの読み取りをする場合は、第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)で、移入したジョブを「編集」で開き、19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の「ドライバープロファイル」で使用するドライバープロファイルを選択してください。

- **自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、スキャンを開始できません。**

  原因

  原稿識別（ドライバー）の設定がされているジョブで原稿の読み取りを実行しましたが、インストールされている PaperStream IP ドライバーが、原稿識別（ドライバー）に関連する自動プロファイル選択をサポートしていないため、読み取りできませんでした。

  対処

  最新の PaperStream IP ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。読み取り設定が移入されていないため、スキャンを開始できません。 ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。**

  原因

  ScandAll PRO のプロファイルを移入するときにスキャンの設定が移入できなかったままのジョブで原稿の読み取りを実行しました。

  対処

  第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)で、移入したジョブを「編集」で開き、19.4 「読み取り設定」タブ (239 ページ)の設定を見直したあと、再度処理を実行してください。

- **選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。 {0}**

  原因

  以下の理由により、接続可能なスキャナーが見つかりませんでした。

  - スキャナーが接続されていない
  - スキャナーの電源が投入されていない
  - スキャナーがほかのアプリケーションで使用されている
  - スキャナーのライセンス認証が行われていない
  - スキャナーがドライバープロファイル「ScanSnap Manager for fi 互換」に対応していない

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - スキャナーが接続されているか
  - スキャナーの電源が投入されているか
  - スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないか
  - スキャナーのライセンス認証は実施済みか
  - ドライバープロファイル「ScanSnap Manager for fi 互換」に対応しているスキャナーか

- **インストール済みの PaperStream IP（TWAIN）は「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないバージョンです。 「ScanSnap Manager for fi 互換」は選択できません。**

  原因

  インストールされている PaperStream IP（TWAIN）ドライバーが、「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。

  対処

  最新の PaperStream IP（TWAIN）ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **指定されているジョブは以下の原因で実行できません。 ・表示を隠す ・表示するユーザーに設定されていない ジョブの設定を見直してください。 または、管理ツールの一般タブで、サンプルジョブを表示するに設定してください。**

  原因

  指定のジョブがジョブ一覧に表示されていないため、読み取りができませんでした。

  対処

  第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)で該当のジョブを「編集」で開き、19.3 「ジョブ情報設定」タブ (235 ページ)の「表示」の設定を確認し、ジョブ一覧に表示されるように変更してから、再度処理を実行してください。
  表示されていないジョブがサンプルジョブの場合は、第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)で「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けてください。

- **ファイル追加を中止します。 追加した画像を破棄しますか？**

  原因

  ファイルの追加中に［キャンセル］ボタンまたはキーボードの「Esc」キーが押されました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 受信済みの画像を破棄して、ファイルの追加を中止する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - 受信済みの画像を破棄せず、ファイルの追加を中止する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **グループ名を変名中のため、ホットキーによるスキャンを実行できません。**

  原因

  ジョブのグループ名を変名中のため、ホットキーでの読み取りが実行できません。

対処

ジョブのグループ名の変名が完了してから、再度ホットキーによる読み取りを実行してください。

- **グループが変名中のため、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。**

原因

ジョブのグループ名を変名中のため、イベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りが実行できません。

対処

ジョブのグループ名の変名が完了してから、再度イベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りを実行してください。

40.4 詳細設定や環境設定に関連するメッセージ

PaperStream Capture のジョブや管理ツールでの詳細な設定に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX04001E	ホスト名が設定されていません。 (558 ページ)
SX04002E	正しいポート番号を設定してください。(1～65535) (558 ページ)
SX04004E	ユーザー名が設定されていません。 (558 ページ)
SX04005E	メールアドレスが設定されていません。 (559 ページ)
SX04007E	正しい接続時のタイムアウト時間を設定してください。(1～300) (559 ページ)
SX04008E	正しいデータ送信時のタイムアウト時間を設定してください。(1～300) (559 ページ)
SX04009E	FTP 連携情報が設定されていません。 (559 ページ)
SX04011E	SharePoint Server のファイル格納先サイトの URL が設定されていません。 (559 ページ)
SX04012E	SharePoint Server のユーザー名が設定されていません。 (560 ページ)
SX04013E	SharePoint Server のパスワードが設定されていません。 (560 ページ)
SX04014E	SharePoint Server のライブラリー名が設定されていません。 (560 ページ)
SX04016E	SharePoint Server への接続に失敗しました。 (560 ページ)
SX04022E	ジョブ名が入力されていません。 (561 ページ)
SX04023E	スキャナーを選択してください。 (561 ページ)
SX04024E	ゾーン OCR の検出エリア設定が行われていません。ゾーン OCR の検出エリア設定を行ってください。{0} (561 ページ)

コード	メッセージ
SX04026Q	選択されたジョブを削除してもよろしいですか？バッチデータも同時に削除されます。
SX04027E	インポートする画像の解像度が不明のため、読み込みできません。インポートする画像の解像度を指定してください。解像度は 200dpi 以上の解像度を設定してください。 (561 ページ)
SX04028E	{0} この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。 (562 ページ)
SX04029E	以下の設定が未入力です。{0} (562 ページ)
SX04030E	使用できない環境依存文字(Unicode)があります。{0} (562 ページ)
SX04034E	連携起動するアプリケーションが指定されていません。起動アプリケーションを指定してください。 (562 ページ)
SX04036Q	表示中のイメージを差し替え、選択領域をクリアします。継続してもよろしいですか？(563 ページ)
SX04039E	「初期値」が「最小桁数」で指定した桁数を超えています。 (563 ページ)
SX04042E	指定されたファイル名は空文字になる可能性があります。ファイル名が空文字にならないようファイル名オプションにページカウンターやドキュメントカウンターを追加してください。 (563 ページ)
SX04044E	PDF/A ファイルにはパスワードは付けられません。 (563 ページ)
SX04045E	パスワードを入力してください。 (564 ページ)
SX04046E	確認パスワードが一致しません。パスワードを入力し直してください。
SX04047Q	ジョブは作成されません。よろしいですか？(564 ページ)
SX04048Q	ジョブの編集内容は破棄されます。よろしいですか？(564 ページ)
SX04049E	PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていません。PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。 (565 ページ)
SX04051E	出力設定において同名のファイル名が指定されています。 (565 ページ)
SX04053E	指定されたジョブは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていないためスキャンできません。ジョブの設定を見直し、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。 (565 ページ)
SX04054W	PaperStream IP プロファイルの画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式、および圧縮形式を再設定してください。 (566 ページ)
SX04055E	マルチイメージ、および画像タイプごとにファイルを出力する時、ファイル形式に PDF、または、PDF/A を指定する場合は、全ての出力に同じ種類のファイル形式を指定してください。 (566 ページ)

コード	メッセージ
SX04056E	出力先設定タブの「他アプリケーション」の設定で指定されたアプリケーションが見つかりませんでした。{0} (566 ページ)
SX04057E	{0} 使用可能な文字を入力してください。使用可能文字：ASCII コード (566 ページ)
SX04059Q	エリアの定義済みの場合、エリア設定は削除されます。継続してもよろしいですか？(567 ページ)
SX04060Q	表示しているイメージを削除します（指定した領域も削除されます）。よろしいですか？(567 ページ)
SX04061E	メモリー空き容量が不足しているため画像を表示できません。 (567 ページ)
SX04066E	フォルダー名がすでに存在します。 (568 ページ)
SX04071E	ジョブは現在使用中のため削除できません。 (568 ページ)
SX04072Q	同じアイコンファイルが既に存在します。アイコンファイルを上書きしますか？(568 ページ)
SX04073Q	選択されたアイコンを削除しますか？
SX04074E	アイコンの追加に失敗しました。{0} (569 ページ)
SX04075E	アイコンの削除に失敗しました。 (569 ページ)
SX04076E	同じフィールド名が他のフィールドで使用されています。 (569 ページ)
SX04077Q	● かんたん作成の場合 選択されたフィールドは PaperStream Capture のほかの機能（フォルダー、ファイル）で使用されています。フィールドを削除すると、フィールドを使用している関連機能も稼働時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？(570 ページ) ● こだわり作成の場合 選択されたフィールドは PaperStream Capture の他の機能（フォルダー名オプション / ファイル名オプション、ドキュメント仕分け、バッチ仕分け、PDF のキーワード）で使用されています。フィールドを削除すると、フィールドを使用している関連機能も同時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？(570 ページ)
SX04078E	ジョブは現在使用中のため編集できません。 (570 ページ)
SX04079Q	SharePoint サーバーのフィールドリストと同期しますか？同期すると、関連する仕分け設定、SharePoint に存在しないフィールドは全て削除されます。 (571 ページ)
SX04080E	FTP サーバーへの接続に失敗しました。 (571 ページ)
SX04081E	ジョブが存在しません。 (571 ページ)

コード	メッセージ
SX04082E	お使いの PaperStream IP (TWAIN) は本機能をサポートしていません。「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、ドライバープロファイルの保存を行ってください。 (572 ページ)
SX04083E	お使いの PaperStream IP (TWAIN) は本機能をサポートしていません。「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、ドライバープロファイルの保存を行ってください。 (572 ページ)
SX04084E	ドライバープロファイル数の上限は 999 です。 (572 ページ)
SX04086E	データベース情報が設定されていません。 (573 ページ)
SX04087E	表が設定されていません。 (573 ページ)
SX04088E	以下の理由により ODBC データベースに接続できません。{0} (573 ページ)
SX04089E	DB ルックアップ属性フィールドのデータベース情報が設定されていません。{0} (573 ページ)
SX04090E	ジョブ数の上限 {0} に達しているため、ジョブを追加できません。 (574 ページ)
SX04091E	長さ、または数値の最小値が最大値を超えています。{0} (574 ページ)
SX04092E	フィールド名が設定されていません。 (574 ページ)
SX04093Q	このフィールドは仕分けに使用されます。フィールドの種別を変更すると、仕分けの定義も削除されます。種別を変更しますか？ (574 ページ)
SX04094E	「リストから選択」フィールドに対して、リストが設定されていません。{0} (575 ページ)
SX04095E	バッチが使用中のため、設定を変更できません。 (575 ページ)
SX04096E	別のユーザーがジョブを使用しているため、編集、または参照作成できません。 (575 ページ)
SX04097Q	読み取り設定が変更されたため、ドライバープロファイルが更新されます。継続しますか？ (575 ページ)
SX04099E	フォルダーパスの先頭には、ドライブレター、または UNC パスの接頭辞が必要です。 (576 ページ)
SX04100E	アイコンが既に存在するため、追加できません。 (576 ページ)
SX04101E	不正なホスト名です。 (576 ページ)
SX04102E	仕分けのためのゾーン OCR のエリアが設定されていません。 (577 ページ)
SX04103E	数値が不正です。 {0} (577 ページ)

コード	メッセージ
SX04104E	分割フィールドの開始値が終了値よりも大きい値です。 {0} (577 ページ)
SX04105W	インデックス作成がスキップされたため、抽出データフィールドの検証も行われません。 (577 ページ)
SX04106E	ドライバープロファイルが指定されていません。 (578 ページ)
SX04107E	指定されたインデックスファイル名は空文字になる可能性があります。インデックスファイル名が空文字にならないよう、ファイル名オプションにドキュメントカウンターやバッチ名を追加してください。 (578 ページ)
SX04108E	指定された SharePoint のライブラリーは存在しません。ライブラリーを指定し直してください。 (578 ページ)
SX04109E	フォルダー区切り文字はファイル名オプションの末尾に設定できません。フォルダー区切り文字は、フォルダー名とインデックスファイル名の間に挿入してください。 (579 ページ)
SX04111E	出力先に同名ファイルが存在します。出力先または出力ファイルの名前を変更し、再度実行してください。 (579 ページ)
SX04114E	禁止文字列が使われています。 {0} 禁止文字列:¥/:?*"<>| (579 ページ)
SX04115E	禁止文字列が使われています。 {0} 禁止文字列:/:?*"<>| (579 ページ)
SX04116W	PDF オプションの「先頭ページのみ検索可能とする」とファイルオプションの「マルチページファイルを指定サイズで分割する」の両方が指定されました。PDF、および PDF/A 出力時は「先頭ページのみ検索可能とする」指定を優先し「マルチページファイルを指定サイズで分割する」指定は無視します。 (580 ページ)
SX04117Q	このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。ScandAll PRO のドライバー設定を引き継ぐにはドライバープロファイルを新規保存する必要があります。ドライバープロファイルを新規保存しますか？「はい」を選択した場合、ドライバープロファイルを新規保存し、ScandAllPRO のドライバー設定が継続利用できます。「いいえ」を選択した場合、ScandAll PRO のドライバー設定は引き継がず、ドライバープロファイルの「現在の設定」を適用します。 (580 ページ)
SX04119E	マルチイメージ出力、および画像タイプごとにファイルを出力する場合、ファイル形式に Word 文書、Excel 文書、PowerPoint 文書と PDF 、PDF/A を同時に指定できません。
SX04120E	検索結果が 100 件を超えるため検索結果を表示できません。検索キーワードを見直してください。 (580 ページ)
SX04122E	自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、自動プロファイル選択に関連する機能は設定できません。 (581 ページ)

コード	メッセージ
SX04123E	検索結果は存在しません。検索キーワードを見直してください。 (581 ページ)
SX04124E	登録済みの識別情報が存在しません。読み取り設定タブの「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP（TWAIN）の設定画面を表示し、識別情報の登録を行ってください。 (581 ページ)
SX04126E	仕分けの設定において、登録済み識別情報が 1 つも選択されていません。 (581 ページ)
SX04127E	フィールド名が最大長の 255 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー" を含めて 255 文字以内になるように、参照元のフィールド名を見直してください。 (582 ページ)
SX04128E	選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。また、「ScanSnap Manager for fi 互換」のバッチが全て完了していないため、スキャナーを変更できません。 (582 ページ)
SX04129W	選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないため、ドライバープロファイルを変更します。 (582 ページ)
SX04130W	画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式が変更された可能性があります。 (582 ページ)
SX04131E	「出力時にファイル名を指定する」をチェックした場合は、読み取り設定タブの画像表示オプションの「スキャン後すぐに出力」を無効にしてください。 (583 ページ)
SX04132E	以下の文字列は 128 バイト以内で指定してください。 {0} (583 ページ)
SX04133E	キーワードを入力してください。 (583 ページ)
SX04134E	選択されたドライバープロファイルは削除されたため、本操作は実施できません。ドライバープロファイル一覧を確認してください。 (584 ページ)
SX04135E	設定されているゾーン OCR の抽出データ、パスポートの抽出データ、ID カード（TD1）の抽出データ、ID カード（TD2）の抽出データ、ゾーン OCR 仕分けの数が上限 {0} に達しているため、ジョブを保存できません。 (584 ページ)
SX04137Q	サインインを維持しているアカウントには指定したサイトに対する権限がありません。アカウント : (アカウント名) 権限のあるアカウントに切り替えるため、このアカウントをサインアウトしますか？ (584 ページ)
SX04138Q	「仕分けの種類」を変更すると、「条件設定」タブを設定し直す必要があります。変更してよろしいですか？
SX04139Q	テストスキャン後に編集した内容は保存されません。よろしいですか？ (585 ページ)
SX04140W	「読み取り設定」の「白紙削除」の機能が非活性になり、無視されます。 (585 ページ)

コード	メッセージ
SX04141Q	フィールドが追加されません。よろしいですか？(585 ページ)
SX04142Q	編集内容が保存されません。よろしいですか？(586 ページ)
SX04143E	フィールドリストのフィールド数が{0}を超えます。フィールドリストに追加できるフィールド数は残り ({1}) です。選択の内容を見直してください。(586 ページ)
SX04145E	作業フォルダーを設定してください。 (586 ページ)
SX04146Q	選択されているグループを解除してもよろしいですか？ 解除したら、グループ配下のジョブを「その他」グループに移動します。 (586 ページ)
SX04147E	グループ数の上限 100 に達しているため、グループを追加できません。(587 ページ)
SX04148I	選択したグループは「その他」グループです。解除できません。
SX04152Q	変更した設定が保存されません。 よろしいですか？ (587 ページ)
SX04153E	「条件設定」タブの設定が完了していません。「条件設定」タブを確認してください。 (587 ページ)
SX04154E	フィールドが設定されていません。フィールドリストにフィールドを追加してください。
SX04155W	編集文字列を指定したため、「読み取り設定」タブの画像表示オプション「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」を無効にしました。 (588 ページ)
SX04156Q	ジョブは作成されません。よろしいですか？(588 ページ)
SX04157Q	ジョブの編集内容は破棄されます。よろしいですか？(588 ページ)
SX04158W	「読み取り設定」タブの画像タイプが変更されたため、「出力先」タブの画像ファイル形式を初期化しました。画像ファイル形式を再設定してください。(589 ページ)
SX04159E	バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリアを設定してください。{0} (589 ページ)
SX04160E	ゾーン OCR のエリアが設定されていません。ゾーン OCR のエリアを設定してください。{0} バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリアを設定してください。{1} (589 ページ)
SX04161E	仕分けのためのバーコードのエリアが設定されていません。 (589 ページ)
SX04162W	バッチをリカバリーしました。「操作待ち」のバッチをダブルクリックして、再度出力操作を行ってください。 (590 ページ)
SX04163W	以下のバッチ（{0} 個）はリカバリーできませんでした。{1} 当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。 (590 ページ)

コード	メッセージ
SX04164W	バッチをリカバリーしました。「操作待ち」のバッチをダブルクリックして、再度出力操作を行ってください。以下のバッチ（{0} 個）はリカバリーできませんでした。{1} 当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。(590 ページ)
SX04165Q	仕分けの種類を変更すると、帳票の設定内容は破棄されます。変更してよろしいですか? (591 ページ)
SX04166Q	「帳票」選択時に設定した内容が破棄されます。変更してよろしいですか？(591 ページ)
SX04167E	フィールド未設定の帳票が選択されています。帳票名：{0} (591 ページ)
SX04168E	禁止文字列が使われています。禁止文字列：<>[]="$!.`(591 ページ)
SX04169E	以下の設定が未入力です。{0}{1} (592 ページ)
SX04170E	禁止文字列が使われています。禁止文字列：/:?*<>|[]="$!`(592 ページ)
SX04171E	チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{0} (592 ページ)
SX04172E	ゾーン OCR のエリアが設定されていません。ゾーン OCR のエリア設定を行ってください。{0}チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{1} (592 ページ)
SX04173E	バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリア設定を行ってください。{0}チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{1} (593 ページ)
SX04174E	ゾーン OCR のエリアが設定されていません。ゾーン OCR のエリア設定を行ってください。{0}バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリア設定を行ってください。{1}チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{2} (593 ページ)
SX04175I	フィールドリストに追加できる上限個数に達しました。フィールド追加を終了します。 (593 ページ)
SX04176E	レイアウトが異なります。同じレイアウトの記入済み原稿をスキャンしてください。 (593 ページ)
SX04177Q	フィールドが追加されません。よろしいですか？ (594 ページ)
SX04178Q	設定されているフィールドは削除されます。よろしいですか？ (594 ページ)
SX04179E	仕分けの設定において、登録済み帳票が 1 つも選択されていません。(594 ページ)
SX04180E	データ抽出設定において、登録済み帳票が 1 つも選択されていません。(594 ページ)

コード	メッセージ
SX04181Q	PaperStream IP（ISIS）ドライバーでは、帳票機能をサポートしていません。変更を行うと、帳票の定義情報が失われ、元に戻せなくなります。変更してよろしいですか? (595 ページ)
SX04183E	「仕分け」「データ抽出」の対象に設定できる帳票は合計 150 個までです。(595 ページ)
SX04184E	別のユーザーが帳票管理ダイアログを使用しているため、本操作は実施できません。 (595 ページ)
SX04192W	帳票の選択状態が変更されています。ジョブの保存後、帳票の編集が可能になります。 (595 ページ)
SX04198Q	選択されている帳票はジョブで選択、または関連機能でフィールドが使用されています。帳票の編集(差し替え、90 度回転、エリア内消去)を行うと選択の解除、関連機能に設定されているフィールドが削除されます。よろしいですか？ (596 ページ)
SX04205I	複数の帳票を選択しているため、それらを正確に識別できるかを確認する類似チェックを実施します。ただし、このチェックには時間がかかる場合があります。 (596 ページ)
SX04207E	バーコードの種類が設定されていません。バーコードの種類を設定してください。{0} (596 ページ)
SX04208E	ゾーン OCR もしくは直接入力の日付の形式変換後の構成が正しくありません。形式変換後の構成については、ユーザーズガイドを参照してください。{0} (597 ページ)
SX04209Q	レイアウトが類似している帳票が存在します。帳票を特徴づけるキーワード（帳票識別フィールド）を設定することで帳票を識別することができます。帳票識別フィールドを設定しますか?帳票識別フィールドを設定しない場合は、[いいえ]を選択して類似帳票のチェックを外してください。 (597 ページ)
SX04211Q	類似帳票が見つかりました。類似帳票を区別するために、帳票識別フィールドを設定しますか? (597 ページ)
SX04212I	類似帳票は見つかりませんでした。
SX04213I	類似帳票は見つかりませんでした。引き続きジョブの保存を行います。
SX04214Q	選択されたフィールドは PaperStream Capture の他の機能（フォルダー名/ファイル名、PDF のキーワード）で使用されています。グループ化するとフィールドを使用している関連機能も同時に削除されます。 グループ化しますか？
SX04215Q	選択されたフィールドは PaperStream Capture の他の機能（フォルダー名/ファイル名、PDF のキーワード）で使用されています。グループ化解除する と、フィールドを使用している関連機能も同時に削除されます。グループ解除しますか？

コード	メッセージ
SX04216Q	選択した読み取りエリアを削除するとグループが解除されます。よろしいですか？
SX04217E	確認パスワードが一致しません。パスワードを入力し直してください。{0} (598 ページ)
SX04219I	不鮮明な 1 次元バーコードの読み取りを有効にすると、バーコード認識に時間がかかる場合があります。
SX04998E	フィールドの自動追加ができませんでした。エラー詳細 :{0} エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス＆サポートセンターまでご連絡ください。 (598 ページ)
SX04999E	帳票関連の処理に失敗しました。エラー詳細 :{0}エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス＆サポートセンターまでご連絡ください。 (598 ページ)

- **ホスト名が設定されていません。**

  原因

  FTP サーバーのホスト名または IP アドレスが指定されていないためです。

  対処

  「FTP オプション」画面の「ホスト」に、FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **正しいポート番号を設定してください。(1～65535)**

  原因

  FTP サーバーのポート番号に範囲外の番号が指定されています。

  対処

  「FTP オプション」画面の「ポート」に、1 ～65535 の範囲内の番号を入力してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **ユーザー名が設定されていません。**

  原因

  FTP サーバーにログインするときのユーザー名が指定されていないためです。

  対処

  「FTP オプション」画面の「ユーザー名」にユーザー名を入力してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **メールアドレスが設定されていません。**

  原因

  アノニマス FTP サーバーにログインするときのメールアドレスが指定されていないためです。

  対処

  「FTP オプション」画面の「メールアドレス」にメールアドレスを入力してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **正しい接続時のタイムアウト時間を設定してください。(1～300)**

  原因

  接続したときのタイムアウト時間に範囲外の数値が指定されています。

  対処

  「FTP オプション」画面の「接続時」に、1 ～300 の範囲内でタイムアウトの数値を入力してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **正しいデータ送信時のタイムアウト時間を設定してください。(1～300)**

  原因

  データ送信したときのタイムアウト時間に範囲外の数値が指定されています。

  対処

  「FTP オプション」画面「データ送信時」に、1 ～300 の範囲内でタイムアウトの数値を入力してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **FTP 連携情報が設定されていません。**

  原因

  ジョブの出力先に「FTP」が指定されていますが、FTP の 設定がされていないためです。

  対処

  「FTP オプション」画面で FTP の設定をしてください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **SharePoint Server のファイル格納先サイトの URL が設定されていません。**

  原因

  SharePoint のサイト URL が指定されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「サイト URL」に、接続する SharePoint のサイト URL を入力してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **SharePoint Server のユーザー名が設定されていません。**

原因

SharePoint にサインインするときのユーザー名が指定されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「ユーザー名」に、SharePoint にサインインするときのユーザー名を入力してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **SharePoint Server のパスワードが設定されていません。**

原因

SharePoint にサインインするときのパスワードが指定されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「パスワード」に、SharePoint にサインインするときのパスワードを入力してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **SharePoint Server のライブラリー名が設定されていません。**

原因

SharePoint のライブラリーが選択されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の［接続］ボタンを押し、SharePoint にサインインしたあと、「ライブラリー」のドロップダウンリストから、SharePoint のライブラリーを選択してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **SharePoint Server への接続に失敗しました。**

原因

指定されたサイト URL に接続できませんでした。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「サイト URL」に入力されている URL が正しいか確認してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **ジョブ名が入力されていません。**

原因

ジョブ名が入力されていないためです。

対処

「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ名」でジョブ名を入力してください。

- **スキャナーを選択してください。**

原因

スキャナーが選択されていないためです。

対処

「読み取り設定」タブの「スキャナー」で、スキャナーを選択してください。

- **ゾーン OCR の検出エリア設定が行われていません。ゾーン OCR の検出エリア設定を行ってください。{0}**

原因

ゾーン OCR の認識領域が設定されていません。
{0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」で該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でゾーン OCR の認識領域を設定してください。

- **インポートする画像の解像度が不明のため、読み込みできません。インポートする画像の解像度を指定してください。解像度は 200dpi 以上の解像度を設定してください。**

原因

ドライバープロファイルで設定されている解像度が 200dpi 未満のためです。

対処

「読み取り設定」タブで、以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「解像度」で 200dpi 以上を選択する
- ［詳細設定］ボタンをクリックし、表示された PaperStream IP ドライバー画面で、解像度が 200dpi 以上になるように選択する

- **{0} この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。**

  原因

  フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名に Windows 予約語が使用されているためです。
  {0} には、Windows の予約語の使用箇所が「出力先 / ファイル名」のように該当する項目の情報が表示されます。

  対処

  フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名から、Windows の予約語（CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、NUL）を削除してから、再度処理を実行してください。

- **使用できない環境依存文字(Unicode)があります。{0}**

  原因

  設定した項目に環境依存（Unicode）文字が含まれています。
  {0} には、環境依存（Unicode）文字を設定した項目名が表示されます。

  対処

  {0} で表示された項目から、環境依存（Unicode）文字が含まれているかどうかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **以下の設定が未入力です。{0}**

  原因

  必要な項目が設定されていないためです。
  {0} には、未入力の箇所が「出力先設定 / ファイル名」のように、タブ名と項目名で表示されます。

  対処

  必要な項目を設定してから、再度処理を実行してください。

- **連携起動するアプリケーションが指定されていません。起動アプリケーションを指定してください。**

  原因

  ジョブで「出力先設定」タブに「他アプリケーション」を選択した状態で、連携して起動するアプリケーションを指定していないためです。

  対処

  「アプリケーションの起動オプション」画面の「アプリケーションパス」で、起動するアプリケーションを指定してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **表示中のイメージを差し替え、選択領域をクリアします。継続してもよろしいですか？**

  原因

  認識領域を設定する画面で、読み取ったサンプルの画像ページでエリアの設定をしたあとに差し替えスキャンを実行しようとしたためです。

  対処

  以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - サンプルの画像を差し替える場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。サンプル画像ページが差し替えされ、設定したエリアが破棄されます。
  - サンプルの画像を差し替えない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **「初期値」が「最小桁数」で指定した桁数を超えています。**

  原因

  「最小桁数」で指定した桁数を超える数値が「初期値」で指定されているためです。

  対処

  以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - 「初期値」の値を「最小桁数」で指定している桁数以下にする
  - 「最小桁数」の桁数を「初期値」で指定している数値の桁数以上にする

- **指定されたファイル名は空文字になる可能性があります。ファイル名が空文字にならないようファイル名オプションにページカウンターやドキュメントカウンターを追加してください。**

  原因

  指定されているファイル名は、出力するときにファイル名が空文字になる可能性があるためです。

  対処

  「出力先設定」タブの「ファイル」でファイル名に「抽出データ」のフィールドだけを指定している場合、抽出データのフィールドで指定されている属性が必須ではないと、ファイル名が空文字になる可能性があります。フィールドの属性を「必須」にしたり、ファイル名が空文字になったり重複したりしないようにファイル名オプションでページカウンターやドキュメントカウンターなどを追加したりして、設定を見直してください。

- **PDF/A ファイルにはパスワードは付けられません。**

  原因

  PDF/A または SinglePage PDF/A のファイルにパスワードを設定しようとしたためです。

対処

出力ファイル形式に PDF/A File または SinglePage PDF/A File を指定している場合、パスワードの設定ができないため「オプション設定」画面で「開くパスワードを設定する」チェックボックスにチェックが付けられません。
PDF を開くときのパスワードが設定したい場合は、出力ファイル形式の指定を PDF File または SinglePage PDF File にしてください。

- **パスワードを入力してください。**

原因

固定のパスワードを指定されていないためです。

対処

PDF を開くときのパスワードを固定のパスワードにするために「固定のパスワードを使用する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、「パスワード」と「確認」に使用するパスワード入力してください。

- **ジョブは作成されません。よろしいですか？**

原因

ジョブの新規作成または参照作成で一度も設定を保存せずに［閉じる］ボタンが押されたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- 設定した内容でジョブを作成する場合
  ［保存］ボタンをクリックしてください。ジョブが作成され、ジョブ一覧に表示されます。
- ジョブを作成しない場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。設定を破棄して画面を閉じます。
- ジョブの作成を継続する場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。設定を維持した状態で設定画面に戻ります。

- **ジョブの編集内容は破棄されます。よろしいですか？**

原因

ジョブの編集で、設定を変更してから一度も保存せずに［閉じる］ボタンが押されたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- 設定した内容でジョブを更新する場合
  ［保存］ボタンをクリックしてください。ジョブが更新され、ジョブ一覧に表示されます。
- ジョブを更新しない場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。設定を破棄して画面を閉じます。
- ジョブの編集を継続する場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。設定を維持した状態で設定画面に戻ります。

- **PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていません。PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。**

  原因

  PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用かつ「読み取り設定」タブのドライバープロファイルを選択しない状態で「出力先設定」タブに遷移したか［保存］ボタンを押したためです。

  対処

  「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で「000：現在の設定」以外のプロファイルを選択してから、再度処理を実行してください。

- **出力設定において同名のファイル名が指定されています。**

  原因

  以下のどちらかのファイルを出力するとき、同名のファイル名で出力されるように指定されているためです。

  - マルチイメージのファイル
  - 「出力先設定」タブで「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックスにチェックを付けて出力するファイル

  対処

  第 1 、第 2 、第 3 の出力ファイル名または二値白黒、グレースケール、カラーの出力ファイル名が同名にならないように、「出力先設定」タブで以下を見直してから、再度処理を実行してください。

  - ファイル形式
  - フォルダー
  - ファイル名

  ファイル形式は、PDF 形式と PDF/A 形式が混在しないように設定してください。

- **指定されたジョブは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていないためスキャンできません。ジョブの設定を見直し、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。**

  原因

  PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用かつ「読み取り設定」タブのドライバープロファイルを選択しない状態で「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブの［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された認識領域の設定画面で原稿の読み取りを実行したためです。

  対処

  「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」でプロファイルを選択してから、再度処理を実行してください。

- **PaperStream IP プロファイルの画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式、および圧縮形式を再設定してください。**

  原因

  ジョブの編集中に、ドライバープロファイルの画像タイプが変更されたため、出力ファイル形式がデフォルト値に戻されたためです。

  対処

  以下の設定に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

  - 出力ファイル形式
  - 圧縮形式
  - ファイルのオプション設定

  ファイル形式は、PDF 形式と PDF/A 形式が混在しないように設定してください。

- **マルチイメージ、および画像タイプごとにファイルを出力する時、ファイル形式に PDF、または、PDF/A を指定する場合は、全ての出力に同じ種類のファイル形式を指定してください。**

  原因

  出力するマルチイメージのファイル形式で PDF 形式と PDF/A 形式が混在して指定されたためです。

  対処

  第 1 、第 2 、第 3 の出力ファイル形式または二値白黒、グレースケール、カラーの出力ファイル形式は、PDF 形式または PDF/A 形式のどちらかで統一されるように指定してください。

- **出力先設定タブの「他アプリケーション」の設定で指定されたアプリケーションが見つかりませんでした。{0}**

  原因

  連携して起動するアプリケーションが見つからなかったためです。
  {0} には、指定されたアプリケーションのパスが表示されます。

  対処

  「アプリケーションの起動オプション」画面の「アプリケーションパス」で、起動するアプリケーションの、正しいパスを指定してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **{0} 使用可能な文字を入力してください。使用可能文字：ASCII コード**

  原因

  使用できない文字が入力されたためです。

対処

使用可能な文字（ASCII コード）で入力してから、再度処理を実行してください。

- **エリアの定義済みの場合、エリア設定は削除されます。継続してもよろしいですか？**

原因

- 認識領域を設定する画面で、読み取ったサンプルの画像ページでエリアの設定をしたあとに画像の回転を実行しようとしました。
- 「帳票識別フィールド設定」画面で、帳票識別フィールドを設定したあとに画像の回転を実行しようとしました。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 画像を回転する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。画像ページが回転され、設定したエリアが破棄されます。
- 画像を回転しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **表示しているイメージを削除します（指定した領域も削除されます）。よろしいですか？**

原因

認識領域を設定する画面で、読み取ったサンプルの画像ページでエリアの設定をしたあとに画像の削除を実行しようとしたためです。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- サンプルの画像を削除する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。サンプル画像ページが削除され、設定したエリアが破棄されます。
- サンプルの画像を削除しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **メモリー空き容量が不足しているため画像を表示できません。**

原因

原稿の読み取りを実行しましたが、メモリー不足のためサンプルの画像ページを表示できませんでした。

対処

ほかのアプリケーションを終了させてから、再度処理を実行してください。

- **フォルダー名がすでに存在します。**

  原因

  「バッチフォルダー名設定」画面で、すでに存在するバッチフォルダー名を指定しました。

  対処

  存在しないバッチフォルダー名を指定してください。
  バッチフォルダーを使用しない場合は、ジョブの「出力先設定」タブで「ファイルプロパティ」にある「バッチフォルダーを使用する」チェックボックスのチェックを外してから、再度処理を実行してください。

- **ジョブは現在使用中のため削除できません。**

  原因

  以下の理由により、選択したジョブは削除できませんでした。

  - マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブを編集している
  - マルチステーション運用で、ほかの端末が原稿の読み取りで該当のジョブを使用している
  - マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブのバッチを編集している
  - マルチステーション運用で、ほかの端末に該当のジョブのバッチが一時保存されている

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - ほかの端末が該当のジョブを編集していないか
  - ほかの端末が原稿の読み取りで該当のジョブを使用していないか
  - ほかの端末が該当のジョブのバッチを編集していないか
  - ほかの端末に該当のジョブのバッチが一時保存されていないか

- **同じアイコンファイルが既に存在します。アイコンファイルを上書きしますか？**

  原因

  既存ファイル名と同じファイル名のアイコンを追加しようとしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 上書きする場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。既存のファイルを上書きします。
  - 上書きしない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
    ファイルの名前を重複しないように変更してから、再度処理を実行してアイコンを追加してください。

- **アイコンの追加に失敗しました。{0}**

  原因

  {0} には、以下のエラー詳細が表示されます。

  - 選択されたアイコンファイルはイメージファイルではありません。
  - 選択されたアイコンファイルはサイズが 500KB を超えています。
  - 選択されたアイコンファイルにアクセスする権限がありません。
  - メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - アイコンのファイル形式が png 形式か
  - アイコンのファイルサイズが 500KB 以下か
  - アイコンのファイルへのアクセス権限があるか
  - メモリーが不足していないか
  - ディスクに十分な空き容量があるか

- **アイコンの削除に失敗しました。**

  原因

  指定したアイコンは、アイコンのファイルにアクセス権限がないため削除できませんでした。

  対処

  アイコンのファイルへのアクセス権限に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。
  アイコンのファイルは、以下に格納されています。
  %ALLUSERSPROFILE%¥PaperStreamCapture¥assets¥icons

- **同じフィールド名が他のフィールドで使用されています。**

  原因

  入力した名前が、ほかのフィールドで使用されています。

  対処

  フィールド名が重複しないように、ほかの名前に変更してから、再度処理を実行してください。

- **選択されたフィールドは PaperStream Capture のほかの機能（フォルダー、ファイル）で使用されています。フィールドを削除すると、フィールドを使用している関連機能も稼働時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？**

  原因

  「出力先設定」タブの「フォルダー」または「ファイル」に使用されているフィールドを削除すると表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - フィールドを削除する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。フィールドと共にフォルダー名オプションおよびファイル名オプションからも定義が削除されます。
  - フィールドを削除しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **選択されたフィールドは PaperStream Capture の他の機能（フォルダー名オプション / ファイル名オプション、ドキュメント仕分け、バッチ仕分け、PDF のキーワード）で使用されています。フィールドを削除すると、フィールドを使用している関連機能も同時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？**

  原因

  以下で定義されているフィールドを削除しようとしました。

  - ファイル名のファイル名オプションで該当のフィールドを指定している
  - ドキュメント仕分けでフィールドを使用している
  - バッチ仕分けでフィールドを使用している
  - PDF のキーワードの設定で該当のフィールドを指定している

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - フィールドを削除する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。フィールドと共に該当フィールドを使用した定義が削除されます。
  - フィールドを削除しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **ジョブは現在使用中のため編集できません。**

  原因

  以下の理由により、選択したジョブの編集ができません。

  - マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブを編集している
  - マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブのバッチを出力処理中

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ほかの端末が該当のジョブを編集していないか
- ほかの端末で該当のジョブのバッチを出力処理している最中ではないか

- **SharePoint サーバーのフィールドリストと同期しますか？同期すると、関連する仕分け設定、SharePoint に存在しないフィールドは全て削除されます。**

原因

「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」と SharePoint サーバーまたは SharePoint Online サーバーの抽出データを同期しようとしたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- 同期する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。「データ抽出設定」タブのフィールドリストに、SharePoint サーバーの抽出データと同じフィールドを自動的に追加します。また、SharePoint サーバーにないフィールドは削除されます。
- 同期しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。「データ抽出設定」タブのフィールドリストは変更されません。

- **FTP サーバーへの接続に失敗しました。**

原因

指定されたホスト名または IP アドレスに接続できません。

対処

「FTP オプション」画面の「ホスト」に入力されているホスト名または IP アドレスが正しいか確認してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **ジョブが存在しません。**

原因

選択したジョブは、ほかの端末によって削除されているため使用できません。

対処

ほかの画面を開いて戻るなどの操作でジョブの一覧を更新してください。

- **お使いの PaperStream IP（TWAIN）は本機能をサポートしていません。「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP（TWAIN）の設定画面を表示し、ドライバープロファイルの保存を行ってください。**

  原因

  インストールされている PaperStream IP（TWAIN）ドライバーがサポートしていない機能のためです。

  対処

  最新の PaperStream IP（TWAIN）ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを最新にアップデートできない場合は、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドライバープロファイル設定画面でプロファイルの新規保存を行ってください。
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で［詳細設定］ボタンをクリックすると表示できます。

- **お使いの PaperStream IP（TWAIN）は本機能をサポートしていません。「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP（TWAIN）の設定画面を表示し、ドライバープロファイルの保存を行ってください。**

  原因

  インストールされている PaperStream IP（TWAIN）ドライバーがサポートしていない機能のためです。

  対処

  最新の PaperStream IP（TWAIN）ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを最新にアップデートできない場合は、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドライバープロファイル設定画面でプロファイルの上書き保存を行ってください。
  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で［詳細設定］ボタンをクリックすると表示できます。

- **ドライバープロファイル数の上限は 999 です。**

  原因

  ドライバープロファイルが上限の 999 個まで定義済みのため、ドライバープロファイルの新規作成ができません。

  対処

  PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドライバープロファイル設定画面を開き、不要なドライバープロファイルを削除してから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で［詳細設定］ボタンをクリックすると表示できます。

- **データベース情報が設定されていません。**

  原因

  リストの定義で使用するデータベースの情報が設定されていません。

  対処

  「リストの定義」画面の［設定］ボタンをクリックし、表示された「ODBC データソース」画面で使用するデータベースの設定をしてから、再度処理を実行してください。

- **表が設定されていません。**

  原因

  「リスト情報」の「フィールド」が設定されていません。

  対処

  「ODBC データソース」画面の「リスト情報」の「フィールド」に使用するフィールドを選択してください。

- **以下の理由により ODBC データベースに接続できません。{0}**

  原因

  データベースとの接続に失敗しました。
  {0} には、接続に失敗した理由が表示されます。

  対処

  接続に失敗した理由を確認し、問題を解決してから再度処理を実行してください。

- **DB ルックアップ属性フィールドのデータベース情報が設定されていません。{0}**

  原因

  「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「属性」で「DB ルックアップ」が選択されていますが、データベースの情報が設定されていません。
  {0} には該当するフィールド名が表示されます。

  対処

  「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「属性」で「DB ルックアップ」の  をクリックし、表示された「ODBC データソース」画面で使用するデータベースの設定をしてから、再度処理を実行してください。

- **ジョブ数の上限 {0} に達しているため、ジョブを追加できません。**

  原因

  ジョブが上限の数まで定義済みのため、ジョブの追加ができません。
  {0} には、ジョブの上限数が表示されます。

  対処

  以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - PaperStream Capture の場合
    「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブで「表示」の「最大ジョブ数」で、ジョブの上限値を変更する
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
    「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブで「表示」の「最大ジョブ数」で、ジョブの上限値を変更する
  - 「ジョブ作成/編集」画面でジョブの一覧から不要なジョブを削除する

- **長さ、または数値の最小値が最大値を超えています。{0}**

  原因

  「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「長さ」または「数値」が設定されていますが、「最小」に指定されている値が、「最大」に指定されている値を超えています。
  {0} には該当するフィールド名が表示されます。

  対処

  「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「長さ」または「数値」で、「最小」に指定されている値が、「最大」に指定されている値を超えないように見直してから、再度処理を実行してください。

- **フィールド名が設定されていません。**

  原因

  抽出データのフィールドに名前が指定されていません。

  対処

  「データ抽出設定」タブを開き、フィールドリストから該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」の「フィールド名」にフィールドの名前を入力してください。

- **このフィールドは仕分けに使用されます。フィールドの種別を変更すると、仕分けの定義も削除されます。種別を変更しますか？**

  原因

  ドキュメント仕分けやバッチ仕分けに定義されているフィールドの種別を変更しようとしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

- フィールドの種別を変更する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。種別が変更され、該当フィールドを使用した定義も削除されます。
- フィールドの種別を変更しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **「リストから選択」フィールドに対して、リストが設定されていません。{0}**

  原因

  「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」で「リストから選択」が選択されていますが、リストの定義がされていません。
  {0} には、該当するフィールド名が表示されます。

  対処

  「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」で［設定］ボタンをクリックし、表示された「リストの定義」画面でリストの定義をしてから、再度処理を実行してください。

- **バッチが使用中のため、設定を変更できません。**

  原因

  編集中のジョブを読み取りに使用したバッチが出力未完了の状態で存在しているため、「データ抽出設定」タブでフィールドの情報を更新できません。

  対処

  編集したいジョブを読み取りに使用したバッチをすべて出力してから、再度処理を実行してください。

- **別のユーザーがジョブを使用しているため、編集、または参照作成できません。**

  原因

  選択したジョブは、ほかの端末で編集中のため、編集および参照作成ができません。

  対処

  ほかの端末で該当のジョブが編集中ではないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **読み取り設定が変更されたため、ドライバープロファイルが更新されます。継続しますか？**

  原因

  読み取り設定を変更するなどで「ドライバープロファイル」に「000：現在の設定」やドライバープロファイル名の先頭にアスタリスク（*）が表示された状態でタブの移動または［保存］ボタンがクリックされました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 読み取り設定を更新する場合

［はい］ボタンをクリックしてください。変更した読み取り設定を選択中のドライバープロファイルに反映して更新します。
「ドライバープロファイル」の表示が「000：現在の設定」の場合は、「新規保存」画面が表示されるので、ドライバープロファイル名を入力して［OK］ボタンをクリックしてください。変更した読み取り設定の内容でドライバープロファイルが作成され、「ドライバープロファイル」に表示されます。

- 読み取り設定を更新しない場合
［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **フォルダーパスの先頭には、ドライブレター、または UNC パスの接頭辞が必要です。**

原因

指定されたフォルダーの、パスの先頭が以下のどれでもありません。

- ドライブレター（C: など）
- ネットワークフォルダーパス（¥¥）
- 環境変数

対処

「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「フォルダー」でフォルダーのパスを指定するときは、パスの先頭に以下のどれかを指定してください。

- ドライブレター（C: など）
- ネットワークフォルダーパス（¥¥）
- 環境変数

- **アイコンが既に存在するため、追加できません。**

原因

登録済みのアイコンのファイルを追加しようとしました。

対処

すでに登録されているアイコンのファイルは、以下に格納されています。
%ALLUSERSPROFILE%¥PaperStreamCapture¥assets¥icons
このフォルダーに格納されていないアイコンのファイルを登録してください。

- **不正なホスト名です。**

原因

ホストに「ftp://」が指定されています。

対処

「FTP オプション」画面の「ホスト」には、ホスト名または IP アドレスだけを指定してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **仕分けのためのゾーン OCR のエリアが設定されていません。**

  原因

  ゾーン OCR の認識領域が設定されていません。

  対処

  - PaperStream Capture の場合
    「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」の「検出エリア」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でゾーン OCR の認識領域を設定してください。
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
    「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」または「バッチ仕分け」の「検出エリア」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でゾーン OCR の認識領域を設定してください。

- **数値が不正です。 {0}**

  原因

  「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「数値」が設定されていますが、指定されている値が -1.79E+308 ～ 1.79E+308 の範囲外です。
  {0} には、「フィールド名 / 数値 / 最小」または「フィールド名 / 数値 / 最大」のように該当する項目の情報が表示されます。

  対処

  「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「数値」で「最小」または「最大」に指定されている値が -1.79E+308 ～ 1.79E+308 の範囲になるように見直してから、再度処理を実行してください。

- **分割フィールドの開始値が終了値よりも大きい値です。 {0}**

  原因

  「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」が「分割」のフィールドで、「文字」の開始位置の値が終了位置の値より大きいためです。
  {0} には、タブ名と項目名が / で区切られて表示されます。

  対処

  「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」が「分割」のフィールドで、「文字」の開始位置の値が終了位置の値より大きくならないように指定し直してから、再度処理を実行してください。

- **インデックス作成がスキップされたため、抽出データフィールドの検証も行われません。**

  原因

  「データ抽出設定」タブでフィールドが定義されている状態で、「読み取り設定」タブの「インデックスをスキップ」チェックボックスにチェックを付けて、ジョブを保存したためです。

対処

「インデックスをスキップ」チェックボックスにチェックが付いている場合、「データ抽出設定」タブで定義したフィールドは検証されません。フィールドを検証する場合は、「読み取り設定」タブの「表示オプション」で「インデックスをスキップ」チェックボックスのチェックを外してください。

- **ドライバープロファイルが指定されていません。**

原因

「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で「000：現在の設定」が選択されています。

対処

「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で「000：現在の設定」以外のドライバープロファイルを選択してから、再度処理を実行してください。

- **指定されたインデックスファイル名は空文字になる可能性があります。インデックスファイル名が空文字にならないよう、ファイル名オプションにドキュメントカウンターやバッチ名を追加してください。**

原因

指定されているインデックスファイル名は、出力するときにファイル名が空文字になる可能性があります。

対処

「出力先設定」タブの「インデックスファイル」でファイル名に「抽出データ」のフィールドだけを指定している場合、抽出データのフィールドで指定されている属性が必須ではないと、ファイル名が空文字になる可能性があります。フィールドの属性を「必須」にしたり、ファイル名の「ファイル名オプション」で「バッチ名」や「ドキュメントカウンター」などを追加したりして、設定を見直してください。

- **指定された SharePoint のライブラリーは存在しません。ライブラリーを指定し直してください。**

原因

SharePoint Server に、指定したライブラリー名が存在しません。
ジョブを作成したあとに、SharePoint Server からライブラリーが削除された可能性があります。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- SharePoint Server に同名のライブラリーを追加する
- 「SharePoint オプション」画面の「ライブラリー」で存在するライブラリーを選択する

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **フォルダー区切り文字はファイル名オプションの末尾に設定できません。フォルダー区切り文字は、フォルダー名とインデックスファイル名の間に挿入してください。**

  原因

  「出力先設定」タブの「インデックスファイル」に指定されているパスの末尾にフォルダー区切り文字（¥）が指定されています。

  対処

  「出力先設定」タブの「インデックスファイル」に指定されているフォルダー区切り文字（¥）を削除してから、再度処理を実行してください。

- **出力先に同名ファイルが存在します。出力先または出力ファイルの名前を変更し、再度実行してください。**

  原因

  出力先に同じ名前のファイルが存在したため、表示された「同名ファイルの扱い確認」画面で「名前を付けて保存する」を選択し、名前を変更して処理を実行しましたが、変更した名前と同じファイル名も出力先に存在しています。

  対処

  「同名ファイルの扱い確認」画面で、以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - 「フォルダー」に指定されている出力先を変更する
  - ファイル名をさらに変更する

- **禁止文字列が使われています。 {0} 禁止文字列:¥/:?*"<>|**

  原因

  フォルダー名に使用禁止文字が使用されています。
  {0} には、該当箇所が「出力先設定 / フォルダーパス」のように、タブ名と項目名で表示されます。

  対処

  使用禁止文字を使用せずにフォルダー名を指定し直してから、再度処理を実行してください。
  なお、「<」や「>」は、ペアであれば使用できます。

- **禁止文字列が使われています。 {0} 禁止文字列:/:?*"<>|**

  原因

  フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名に使用禁止文字が使用されています。
  {0} には、該当箇所が「出力先設定 / ファイル名」のように、タブ名と項目名で表示されます。

  対処

  使用禁止文字を使用せずにフォルダー名やファイル名、インデックスファイル名を指定し直してから、再度処理を実行してください。
  なお、「<」や「>」は、ペアであれば使用できます。

- **PDF オプションの「先頭ページのみ検索可能とする」とファイルオプションの「マルチページファイルを指定サイズで分割する」の両方が指定されました。PDF、および PDF/A 出力時は「先頭ページのみ検索可能とする」指定を優先し「マルチページファイルを指定サイズで分割する」指定は無視します。**

  原因

  「オプション設定」画面で以下のチェックボックスの両方にチェックが付けられています。

  - 「PDF オプション」の「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックス
  - 「ファイルオプション」の「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックス

  対処

  PDF 形式および PDF/A 形式のファイルを出力する場合は、「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスの設定が優先され、「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスの設定は無視されます。
  マルチページファイルの指定サイズ分割を優先したい場合は「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスのチェックを外してください。

- **このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。ScandAll PRO のドライバー設定を引き継ぐにはドライバープロファイルを新規保存する必要があります。ドライバープロファイルを新規保存しますか？「はい」を選択した場合、ドライバープロファイルを新規保存し、ScandAllPRO のドライバー設定が継続利用できます。「いいえ」を選択した場合、ScandAll PRO のドライバー設定は引き継がず、ドライバープロファイルの「現在の設定」を適用します。**

  原因

  ScandAll PRO から移出されたプロファイルを PaperStream Capture に移入しようとしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - ScandAll PRO のドライバー設定を引き継いだドライバープロファイルを作成する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。ScandAll PRO のドライバー設定を引き継いだドライバープロファイルが新規作成され、移入したジョブに設定されます。
  - ScandAll PRO のドライバー設定を引き継がない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。ScandAll PRO のドライバー設定を破棄し、ジョブのドライバープロファイルに「000：現在の設定」を適用して移入します。

- **検索結果が 100 件を超えるため検索結果を表示できません。検索キーワードを見直してください。**

  原因

  「所属/ユーザーの選択」画面でユーザー検索を実行した結果、検索結果が 100 件を超えています。

  対処

  検索結果が 100 件以下になるよう、検索する文字を名前の一部から全部にするなどの見直しをしてから、再度処理を実行してください。

- **自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、自動プロファイル選択に関連する機能は設定できません。**

  原因

  インストールされている PaperStream IP（TWAIN）ドライバーが、原稿識別（ドライバー）に関連する「自動プロファイル選択」 機能をサポートしていません。

  対処

  最新の PaperStream IP（TWAIN）ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **検索結果は存在しません。検索キーワードを見直してください。**

  原因

  「所属/ユーザーの選択」画面でユーザー検索を実行した結果、検索結果が 1 件もありません。

  対処

  検索する文字を見直してから、再度処理を実行してください。

- **登録済みの識別情報が存在しません。読み取り設定タブの「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP（TWAIN）の設定画面を表示し、識別情報の登録を行ってください。**

  原因

  仕分け用原稿として「原稿識別（ドライバー)」が選択されましたが、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーに識別情報が登録されていません。

  対処

  「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で［詳細設定］ボタンをクリックし、表示される PaperStream IP ドライバーの設定画面で、「自動プロファイル選択の設定」画面を開き、識別情報を追加して登録してから、再度処理を実行してください。

- **仕分けの設定において、登録済み識別情報が 1 つも選択されていません。**

  原因

  仕分け用原稿として「原稿識別（ドライバー)」が選択されましたが、使用する登録済み識別情報が指定されていません。

  対処

  「仕分け設定」タブの「登録済み識別情報」で、仕分け用原稿として使用する登録済み識別情報のチェックボックスにチェックを付けてください。

- **フィールド名が最大長の 255 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー" を含めて 255 文字以内になるように、参照元のフィールド名を見直してください。**

  原因

  フィールドを参照作成しようとしましたが、参照するフィールドのフィールド名が長く、参照作成するフィールドに自動で設定されるフィールド名が 255 文字を超えてしまうため、参照作成ができませんでした。

  対処

  参照するフィールドのフィールド名が短くなるように見直してから参照作成してください。
  参照するフィールドのフィールド名を変更できない場合は、「追加」をクリックして、フィールドを新規作成してください。

- **選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。また、「ScanSnap Manager for fi 互換」のバッチが全て完了していないため、スキャナーを変更できません。**

  原因

  編集中のジョブを使用したバッチが一時保存または中断されているため、スキャナーを変更できませんでした。
  また、変更しようとしたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。

  対処

  「バッチ管理」画面で、該当のジョブを使用したバッチに以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - 一時保存または中断されたバッチをすべて出力する
  - 一時保存または中断されたバッチをすべて削除する

- **選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないため、ドライバープロファイルを変更します。**

  原因

  変更しようとしたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。

  対処

  「ドライバープロファイル」の設定が「000：現在の設定」に変更されるため、適切なプロファイルを選択し直してください。

- **画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式が変更された可能性があります。**

  原因

  ジョブの編集中に、ドライバープロファイルの画像タイプが変更されたため、出力ファイル形式がデフォルト値に戻されたためです。
  また、「出力先設定」タブが表示されます。

対処

以下の設定に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- 出力ファイル形式
- 圧縮形式

- **「出力時にファイル名を指定する」をチェックした場合は、読み取り設定タブの画像表示オプションの「スキャン後すぐに出力」を無効にしてください。**

原因

以下の項目は、同時に設定できません。

- 「読み取り設定」タブの「画像表示オプション」の「スキャン後すぐに出力」チェックボックス
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」の「出力時にファイル名を指定する」チェックボックス

対処

どちらかの設定を解除してから、再度処理を実行してください。

- **以下の文字列は 128 バイト以内で指定してください。 {0}**

原因

19.7 「仕分け設定」タブ (377 ページ)で指定した、以下の項目の値が 128 バイトを超えているためです。

- 「ゾーン OCR」の「認識文字列」
- 「バーコード」の「バーコード文字列」
- 「原稿識別（ドライバー）」の「仕分け値」

対処

値が 128 バイト以内になるように指定し直してから、再度処理を実行してください。

- **キーワードを入力してください。**

原因

「キーワードを設定する」チェックボックスのチェックが付いている状態で、キーワードの設定がされていないためです。

対処

入力域に、指定したい値を直接入力するか、[キーワードの選択] ボタンをクリックし、指定する設定値を選択してください。
複数の値を指定する場合は、半角の「;」（セミコロン）で区切ってください。セミコロンは、キーワードに設定できません。

- **選択されたドライバープロファイルは削除されたため、本操作は実施できません。ドライバープロファイル一覧を確認してください。**

  原因

  選択中のドライバープロファイルが存在していないため、ドライバープロファイルの保存ができませんでした。

  対処

  以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - ドライバープロファイルを変更する場合
    「ドライバープロファイル」のドロップダウンリストで、使用するドライバープロファイルを選択してください。
  - 設定した内容でドライバープロファイルを作成して使用する場合
    「ドライバープロファイル」のドロップダウンリストで「000：現在の設定」を選択してから、「新規保存」をクリックしてください。
    表示された「新規保存」画面でプロファイル名を入力して［OK］ボタンをクリックすると、新規作成したドライバープロファイルが使用するドライバープロファイルに設定されます。
    詳細な設定内容は［詳細設定］ボタンをクリックし、表示された PaperStream IP ドライバーの画面で確認してください。

- **設定されているゾーン OCR の抽出データ、パスポートの抽出データ、ID カード（TD1）の抽出データ、ID カード（TD2）の抽出データ、ゾーン OCR 仕分けの数が上限 {0} に達しているため、ジョブを保存できません。**

  原因

  「データ抽出設定」タブで設定されている、「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が、上限値を超えているため、ジョブの保存ができませんでした。

  対処

  上限値を超えないように、「データ抽出設定」タブで設定されている、「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数を減らしたり、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」を解除したりしてから、再度処理を実行してください。

- **サインインを維持しているアカウントには指定したサイトに対する権限がありません。アカウント：(アカウント名) 権限のあるアカウントに切り替えるため、このアカウントをサインアウトしますか？**

  原因

  サインインを維持しているアカウントには指定したサイトに対する権限がありません。

  対処

  以下の対処を行ってください。

- 権限のあるアカウントに切り替えて接続処理を継続する場合
  ［OK］ボタンをクリックしてください。
  サインインを維持しているアカウントをサインアウトし、新たにサインイン画面を表示します。
- サインインを維持したい場合
  ［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

- **テストスキャン後に編集した内容は保存されません。よろしいですか？**

  原因

  ジョブを新規作成してテストスキャンしたあと、設定を変更してから［キャンセル］ボタンをクリックすると表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 編集した内容を保存しない場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - 編集した内容を保存する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
    ジョブを新規作成した場合は［完了］ボタンをクリックしてください。
    ジョブを編集した場合は［保存］ボタンをクリックしてください。

- **「読み取り設定」の「白紙削除」の機能が非活性になり、無視されます。**

  原因

  仕分けの種類で「白紙」を選択し、条件設定で「仕分け用原稿を削除する」チェックボックスにチェックを付けたときに表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 白紙削除を行わない場合
    「読み取り設定」タブの「読み取り設定」の「白紙削除」が選択できないことを確認してください。
  - 白紙削除を行う場合
    「仕分け設定」タブの「条件設定」の「仕分け用原稿を削除する」チェックボックスのチェックを外してください。

- **フィールドが追加されません。よろしいですか？**

  原因

  「データ抽出 - エリア設定」ダイアログおよび「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで、フィールドを追加したあとに［キャンセル］ボタンをクリックすると表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

- フィールドの追加を中断して、「データ抽出設定」タブに戻る場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
- フィールドの設定を続ける場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **編集内容が保存されません。よろしいですか？**

  原因

  「データ抽出設定」タブで種別に「ゾーン OCR」または「バーコード」のフィールドを選択して、「データ抽出 - エリア設定」ダイアログおよび「データ抽出 - 項目選択」ダイアログを編集したあとに［キャンセル］ボタンをクリックすると表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - フィールドの編集を中断して、「データ抽出設定」タブに戻る場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - フィールドの編集を続ける場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **フィールドリストのフィールド数が{0}を超えます。フィールドリストに追加できるフィールド数は残り（{1}）です。選択の内容を見直してください。**

  原因

  「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで項目にチェックを入れた数と、すでにフィールドリストに設定したフィールド数の合計がフィールドリストの上限値を超える数である場合、「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで［OK］ボタンをクリックすると、表示されます。

  対処

  「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで項目にチェックを入れた数と、すでにフィールドリストに設定したフィールド数の合計がフィールドリストの上限値を超えないようにしてください。

- **作業フォルダーを設定してください。**

  原因

  出力先の種類で他アプリケーションを選択したときに、作業フォルダーの入力内容がエラーだったが、［完了］ボタンまたは［保存］ボタンをクリックしました。

  対処

  作業フォルダー名を正しく入力してください。空白状態、使用禁止文字の入力、または空白文字だけの入力はしないでください。

- **選択されているグループを解除してもよろしいですか？ 解除したら、グループ配下のジョブを「その他」グループに移動します。**

  原因

  ジョブのグループを解除しようとしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- ジョブのグループを解除する場合
  ［OK］ボタンをクリックします。
  解除されたグループ内のジョブは、「その他」に移動します。
- ジョブのグループを解除しない場合
  ［キャンセル］ボタンをクリックします。

- **グループ数の上限 100 に達しているため、グループを追加できません。**

原因

ジョブのグループ数が 100 件 の状態で、グループを追加するショートカットキー（デフォルト：Ctrl + N）を押しました。

対処

グループを整理するなどして、グループ数を減らしてから、再度処理を実行してください。

- **変更した設定が保存されません。 よろしいですか？**

原因

以下の原因が考えられます。

- 画像に変更があるときに［キャンセル］ボタンをクリックした
- フィールド名のドロップダウンリストで選択するフィールドに変更があるときに［キャンセル］ボタンをクリックした

対処

以下の対処を行ってください。

- 編集した内容を保存しない場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
- 編集した内容を保存する場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **「条件設定」タブの設定が完了していません。「条件設定」タブを確認してください。**

原因

「条件設定」タブにチェックが付いていないときにジョブを保存する操作を行った場合、または「条件設定」タブよりあとの設定タブに遷移する操作を行った場合に表示します。

対処

以下の対処を行ってください。

- 「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」以外を選択した場合は、［次へ］ボタンをクリックすると、「条件設定」タブが表示されます。条件設定のチェックボックスの設定を確認または変更してください。

- 「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択した場合は、「条件設定」タブの設定を完了させてください。

- **編集文字列を指定したため、「読み取り設定」タブの画像表示オプション「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」を無効にしました。**

  原因

  「読み取り設定」タブの「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」チェックボックスにチェックが付いている場合、「出力先設定」タブ内のファイルのテキストボックスに<PRECHANGESTR>または<EDITSTR>が入力されたあと、<PRECHANGESTR>または<EDITSTR>が入力されている状態でテキストボックスからフォーカスが外れたときに表示されます。

  対処

  以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - 「読み取り設定」タブで「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」の設定を無効にする
  - ファイルを出力するときにファイル名を編集しない設定になるように、「出力先設定」タブの「ファイル」でファイル名オプションを見直す

- **ジョブは作成されません。よろしいですか？**

  原因

  ジョブの新規作成または参照作成で一度も設定を保存せずに［閉じる］ボタンが押されたためです。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - ジョブを作成しない場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。設定を破棄して画面を閉じます。
  - ジョブの作成を継続する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。設定を維持した状態で設定画面に戻ります。

- **ジョブの編集内容は破棄されます。よろしいですか？**

  原因

  ジョブの編集で、設定を変更してから一度も保存せずに［閉じる］ボタンが押されたためです。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - ジョブを更新しない場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。設定を破棄して画面を閉じます。
  - ジョブの編集を継続する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。設定を維持した状態で設定画面に戻ります。

- **「読み取り設定」タブの画像タイプが変更されたため、「出力先」タブの画像ファイル形式を初期化しました。画像ファイル形式を再設定してください。**

  原因

  ジョブの編集中に画像タイプが変更されたため、出力ファイル形式がデフォルト値に戻されたためです。

  対処

  出力ファイル形式を再設定してから、再度処理を実行してください。

- **バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリアを設定してください。{0}**

  原因

  バーコードの認識領域が設定されていません。
  {0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

  対処

  「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」で該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でバーコードの認識領域を設定してください。

- **ゾーン OCR のエリアが設定されていません。ゾーン OCR のエリアを設定してください。{0} バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリアを設定してください。{1}**

  原因

  - ゾーン OCR の認識領域が設定されていません。
    {1} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。
  - バーコードの認識領域が設定されていません。
    {1} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

  対処

  - 「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」で該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でゾーン OCR の認識領域を設定してください。
  - 「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」で該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でバーコードの認識領域を設定してください。

- **仕分けのためのバーコードのエリアが設定されていません。**

  原因

  バーコードの認識領域が設定されていません。

  対処

  - PaperStream Capture の場合

「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」の「検出エリア」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でバーコードの認識領域を設定してください。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」または「バッチ仕分け」の「検出エリア」で［エリアを定義 >>］ボタンをクリックし、表示された画面でバーコードの認識領域を設定してください。

- **バッチをリカバリーしました。「操作待ち」のバッチをダブルクリックして、再度出力操作を行ってください。**

  原因

  リカバリー対象のバッチをすべてリカバリーしました。

  対処

  メッセージの［OK］ボタンをクリックして、「状態」が「操作待ち」のバッチのバッチ名をダブルクリックすると、画像を確認/編集する画面に再出力するバッチが表示されます。
  表示された画像を確認/編集し、［完了］ボタンをクリックしてバッチを出力してください。

- **以下のバッチ（{0} 個）はリカバリーできませんでした。{1} 当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。**

  原因

  リカバリー対象のバッチをリカバリーできませんでした。
  {0} と {1}には、以下が表示されます。
  {0}：リカバリーできなかったバッチの個数
  {1}：リカバリーできなかったバッチ名

  対処

  購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **バッチをリカバリーしました。「操作待ち」のバッチをダブルクリックして、再度出力操作を行ってください。以下のバッチ（{0} 個）はリカバリーできませんでした。{1} 当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。**

  原因

  リカバリー対象のバッチをリカバリーしましたが、リカバリーできなかったバッチがあります。
  {0} と {1} には、以下が表示されます。
  {0}：リカバリーできなかったバッチの個数
  {1}：リカバリーできなかったバッチ名

  対処

  メッセージの［OK］ボタンをクリックして、「状態」が「操作待ち」のバッチのバッチ名をダブルクリックすると、画像を確認/編集する画面に再出力するバッチが表示されます。
  表示された画像を確認/編集し、［完了］ボタンをクリックしてバッチを出力してください。

リカバリーできなかったバッチについては、購入された販社 / 販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。

- **仕分けの種類を変更すると、帳票の設定内容は破棄されます。変更してよろしいですか?**

  原因

  設定を行ったあとに、仕分けの種類を「帳票識別」から変更する場合に表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 設定内容を破棄して、選択した仕分けの種類に変更する場合
    [はい] ボタンをクリックしてください。
  - 仕分けの種類を変更しない場合
    [いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **「帳票」選択時に設定した内容が破棄されます。変更してよろしいですか？**

  原因

  「帳票」を選択し、「データ抽出設定」タブの内容を設定後、「ページ」を選択した場合に表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 設定内容を破棄する場合
    [はい] ボタンをクリックしてください。
  - 設定内容を破棄しない場合
    [いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **フィールド未設定の帳票が選択されています。帳票名：{0}**

  原因

  フィールド未設定の帳票のチェックボックスにチェックを付けた状態で、「データ抽出設定」タブから離れる操作をした場合に表示されます。
  {0} には、フィールド未設定の帳票名が表示されます。

  対処

  以下のどちらかの対処を行ってください。

  - 「フィールド定義」画面でフィールドを設定する
  - ジョブで使用しない帳票の場合は、帳票のチェックボックスのチェックを外す

- **禁止文字列が使われています。禁止文字列：<>[]="$!.`**

  原因

  フィールド名に禁止文字が入力された状態で、フォーカスを移動した場合に表示されます。

対処

使用禁止文字を使用せずにフィールド名を指定し直してください。

- **以下の設定が未入力です。{0}{1}**

原因

出力文字が未入力状態で、「フィールド定義」画面の［完了］ボタンがクリックされたためです。
{0} には、出力文字が表示されます。
{1} には、フィールド名が表示されます。

対処

対象のフィールドの「出力文字」を入力してください。

- **禁止文字列が使われています。禁止文字列：/:?*<>|[]="$!`**

原因

出力文字に禁止文字が入力された状態で、フォーカスを移動した場合に表示されます。

対処

使用禁止文字を使用せずに出力文字を指定し直してください。

- **チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{0}**

原因

チェックマークの認識領域が設定されていません。
{0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

対処

［OK］ボタンをクリックして、チェックマークの認識領域を設定してください。

- **ゾーン OCR のエリアが設定されていません。ゾーン OCR のエリア設定を行ってください。{0}チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{1}**

原因

- ゾーン OCR の認識領域が設定されていません。
  {0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。
- チェックマークの認識領域が設定されていません。
  {1} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

対処

［OK］ボタンをクリックして、ゾーン OCR およびチェックマークの認識領域を設定してください。

- **バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリア設定を行ってください。{0}チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{1}**

  原因

  - バーコードの認識領域が設定されていません。
    {0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。
  - チェックマークの認識領域が設定されていません。
    {1} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

  対処

  ［OK］ボタンをクリックして、バーコードおよびチェックマークの認識領域を設定してください。

- **ゾーン OCR のエリアが設定されていません。ゾーン OCR のエリア設定を行ってください。{0}バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリア設定を行ってください。{1}チェックマークのエリアが設定されていません。チェックマークのエリア設定を行ってください。{2}**

  原因

  - ゾーン OCR の認識領域が設定されていません。
    {0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。
  - バーコードの認識領域が設定されていません。
    {1} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。
  - チェックマークの認識領域が設定されていません。
    {2} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

  対処

  ［OK］ボタンをクリックして、ゾーン OCR 、バーコード、およびチェックマークの認識領域を設定してください。

- **フィールドリストに追加できる上限個数に達しました。フィールド追加を終了します。**

  原因

  フィールドの自動追加を行い、「フィールド定義」画面のフィールドリストのフィールド数が上限個数に達した場合に表示されます。

  対処

  ［OK］ボタンをクリックしてください。
  「フィールド定義」画面で、不要なフィールドを削除して、必要なフィールドを手動で追加してください。

- **レイアウトが異なります。同じレイアウトの記入済み原稿をスキャンしてください。**

  原因

  ビューアー 2 のイメージが帳票（ビューアー 1）と異なるレイアウトの場合に［OK］ボタンがクリックされたためです。

対処

［OK］ボタンをクリックしてください。
同じレイアウトの記入済み帳票を読み取ってください。

- **フィールドが追加されません。よろしいですか？**

原因

ビューアー 2 に画像がある場合に［キャンセル］ボタンがクリックされたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- 内容を破棄する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
- 内容を破棄しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **設定されているフィールドは削除されます。よろしいですか？**

原因

チェックボックスにチェックを付けている帳票のフィールドを設定している状態で、チェックボックスのチェックを外した場合に表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 設定されているフィールドを削除する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
- 設定されているフィールドを削除しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **仕分けの設定において、登録済み帳票が 1 つも選択されていません。**

原因

仕分け用原稿として「帳票識別」が選択されましたが、使用する登録済み帳票が選択されていません。

対処

「仕分け設定」タブの帳票リストで、仕分け用原稿として使用する登録済み帳票のチェックボックスにチェックを付けてください。

- **データ抽出設定において、登録済み帳票が 1 つも選択されていません。**

原因

「適用対象の単位」で「帳票」が選択されましたが、使用する登録済み帳票が選択されていません。

対処

「データ抽出設定」タブの帳票リストで、使用する登録済み帳票のチェックボックスにチェックを付けてください。

- **PaperStream IP（ISIS）ドライバーでは、帳票機能をサポートしていません。変更を行うと、帳票の定義情報が失われ、元に戻せなくなります。変更してよろしいですか?**

原因

PaperStream IP（TWAIN）ドライバーのスキャナーに接続して作成したジョブを編集するときに、PaperStream IP（ISIS）ドライバーのスキャナーに変更した場合に表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 帳票の編集内容を破棄する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
- 帳票の編集内容を破棄しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **「仕分け」「データ抽出」の対象に設定できる帳票は合計 150 個までです。**

原因

150 個の帳票のチェックボックスにチェックを付けている状態で、ほかの帳票のチェックボックスにチェックを付けると表示されます。

対処

ジョブで使用していない帳票のチェックボックスのチェックを外してから、追加したい帳票のチェックボックスをチェックしてください。

- **別のユーザーが帳票管理ダイアログを使用しているため、本操作は実施できません。**

原因

マルチステーション運用をしているときに、「管理」画面を使用している端末がある場合、ジョブの作成、編集、参照作成、編集（こだわりに移行）、およびアドホックスキャンができません。

対処

ほかの端末で「管理」画面を使用していないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **帳票の選択状態が変更されています。ジョブの保存後、帳票の編集が可能になります。**

原因

「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブの帳票リストで、1 つ以上の帳票のチェックボックスにチェックを付けたジョブを保存したあとに、帳票のチェックを外して、［管理］ボタンをクリックしました。

対処

保存済みのジョブで帳票のチェックボックスのチェックを外した場合、帳票の登録または編集はできません。再度ジョブを保存してから、［管理］ボタンをクリックしてください。

- **選択されている帳票はジョブで選択、または関連機能でフィールドが使用されています。帳票の編集(差し替え、90 度回転、エリア内消去)を行うと選択の解除、関連機能に設定されているフィールドが削除されます。よろしいですか？**

原因

ジョブで使用されている帳票、または関連機能でフィールドが使用されている帳票を、編集しようとしました。

対処

- 帳票を編集する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
  ［帳票編集］画面が表示されます。帳票を編集してください。
  ただし、帳票の編集（差し替え、90 度回転、エリア内消去）を行った場合、帳票の選択は解除され、関連機能に設定されているフィールドも削除されます。
  帳票識別フィールドの編集だけを行った場合、帳票の選択および関連機能に設定されているフィールドはそのままになります。
- 帳票を編集しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

- **複数の帳票を選択しているため、それらを正確に識別できるかを確認する類似チェックを実施します。ただし、このチェックには時間がかかる場合があります。**

原因

「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブの帳票リストで、複数の帳票にチェックを付けているジョブを保存する場合に表示されます。

対処

［OK］ボタンをクリックして、類似帳票のチェックを実施します。

- **バーコードの種類が設定されていません。バーコードの種類を設定してください。{0}**

原因

フィールド定義で、バーコードの種類が 1 つも指定されていません。
{0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

対処

「フィールド定義」画面のフィールドリストで該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」の「バーコードの種類」で検知するバーコードの種類を選択してください。

- **ゾーン OCR もしくは直接入力の日付の形式変換後の構成が正しくありません。形式変換後の構成については、ユーザーズガイドを参照してください。{0}**

  原因

  「形式変換後の構成」に指定した日付の構成が正しくありません。

  - 同じ要素が複数ある
  - 最初と最後に区切り文字を指定している
  - 区切り文字だけを指定している
  - 区切り文字が連続している
  - 区切り文字が 3 つ以上ある
  - 異なる区切り文字を指定している

  {0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

  対処

  正しい日付の構成に変更してください。

- **レイアウトが類似している帳票が存在します。帳票を特徴づけるキーワード（帳票識別フィールド）を設定することで帳票を識別することができます。帳票識別フィールドを設定しますか?帳票識別フィールドを設定しない場合は、[いいえ]を選択して類似帳票のチェックを外してください。**

  原因

  SX04205I のメッセージで［OK］ボタンをクリックしてチェックした結果、類似帳票がありました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 帳票識別フィールドを設定する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
    ［帳票識別フィールド設定］画面で、帳票識別フィールドを設定してください。
    ➡ 19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)
  - 帳票識別フィールドを設定しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
    「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブに戻ります。
    帳票リストで、使用しない帳票のチェックボックスのチェックを外して、ジョブを保存してください。

- **類似帳票が見つかりました。類似帳票を区別するために、帳票識別フィールドを設定しますか?**

  原因

  ［類似帳票チェック］ボタンをクリックしてチェックした結果、類似帳票がありました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 帳票識別フィールドを設定する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
  ［帳票識別フィールド設定］画面で、帳票識別フィールドを設定してください。
- 帳票識別フィールドを設定しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
  「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブの帳票リストで、使用しない帳票のチェックボックスのチェックを外して、ジョブを保存してください。

- **確認パスワードが一致しません。パスワードを入力し直してください。{0}**

原因

入力したパスワードと確認したパスワードが一致しない場合、どのストリームのパスワードが一致していないかが提示されます。

対処

［OK］ボタンをクリックして、正しいパスワードを入力してください。

- **フィールドの自動追加ができませんでした。エラー詳細 :{0} エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス＆サポートセンターまでご連絡ください。**

原因

フィールドの自動追加ができませんでした。
{0} には、エラー番号が表示されます。

対処

エラーが発生したときの操作手順と、{0} に表示されているエラー番号をメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **帳票関連の処理に失敗しました。エラー詳細 :{0}エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス＆サポートセンターまでご連絡ください。**

原因

帳票のフィールド設定を保存できませんでした。
{0} には、エラー番号が表示されます。

対処

エラーが発生したときの操作手順と、{0} に表示されているエラー番号をメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

40.5 画像の出力に関連するメッセージ

PaperStream Capture の画像の出力操作に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX05003Q	バッチを出力します。継続してもよろしいですか？(601 ページ)
SX05007Q	パスワードを付加しない場合は、[OK] ボタンを押してください。または、[キャンセル] ボタンを押し、パスワードを再入力してください。 (602 ページ)
SX05009E	バッチ、またはジョブのデータが壊れているか、アクセス権がないため、スキャンした画像を表示できません。 (602 ページ)
SX05010E	スキャンファイルの一時格納先が設定されていません。管理ツールの一般タブで、作業フォルダーを設定してください。 (602 ページ)
SX05011E	一時保存の理由を選択してください。また、理由がその他の場合は、自由入力欄に必ず入力してください。 (603 ページ)
SX05013E	バッチ、またはジョブのデータが壊れているので、スキャンした画像を表示できません。 (603 ページ)
SX05015Q	バッチは作成されません。読み込んだイメージや編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？(603 ページ)
SX05016Q	編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？(604 ページ)
SX05017W	上書きがキャンセルされたため、このバッチは中断状態になりました。出力先のファイルを移動もしくは変名したのち、再度出力してください。 (604 ページ)
SX05018Q	全てのファイルが再出力されます。出力先に同名ファイルが存在しないか確認してください。 (605 ページ)
SX05019W	マルチページ TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えるため、すべてシングルページ TIFF ファイル形式で出力します。2GB の制限値を超えないように、ページ数やジョブの見直しをお勧めします。
SX05021Q	バッチを一時保存します。継続しますか？継続するには一時保存の理由を選択してください。 (605 ページ)
SX05022W	マルチページ TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えるため、すべてシングルページ TIFF ファイル形式で出力します。2GB の制限値を超えないように、ページ数やファイルの出力設定内容の見直しをお勧めします。
SX05023Q	メールの送信が完了しました。メールに添付した以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0} (605 ページ)
SX05024Q	印刷が完了しました。印刷した以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0} (606 ページ)
SX05025E	メールに添付可能なファイル数の上限（10 ファイル）を超えたため、処理できません。以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0} (606 ページ)
SX05026Q	不正なパスポート、ID カード（TD1）、または ID カード（TD2）のフィールド値が存在します。続けて出力しますか？(607 ページ)

コード	メッセージ
SX06001E	バッチの保存に失敗しました。 (607 ページ)
SX06002E	以下のファイル（フォルダー）にアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイル名のフルパスが長すぎます。{0} フォルダー、またはファイルが書き込み可能かどうか、ファイル名のフルパスが 260 文字を超えていないかどうかをご確認ください。 (607 ページ)
SX06004E	以下の理由により、イメージ処理に失敗しました。{0} (608 ページ)
SX06005E	メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。 (608 ページ)
SX06007E	{0} この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。 (608 ページ)
SX06009E	バッチデータが存在しない、壊れている、またはアクセス権限がないため、データの出力に失敗しました。 (609 ページ)
SX06010E	SharePoint Server への接続に失敗しました。 (609 ページ)
SX06012E	ファイルのアップロードに失敗しました。 (609 ページ)
SX06014E	パスワードが設定されていません。 (610 ページ)
SX06016E	サーバーへの接続に失敗しました。 (610 ページ)
SX06017E	新規フォルダーの作成に失敗しました。 (610 ページ)
SX06019E	ファイル名が指定されていません。 (610 ページ)
SX06020E	システムメモリーが不足しているため処理を行うことができません。 (611 ページ)
SX06021E	ディスク容量が不足しているため、処理を行うことができません。 (611 ページ)
SX06023E	PDF ファイルの保存中にエラーが発生しました。 (611 ページ)
SX06024E	以下の連携アプリケーションを起動できませんでした。{0} (612 ページ)
SX06025E	ファイルパスが長すぎます。{0} (612 ページ)
SX06026E	出力時の上書きキャンセル (612 ページ)
SX06027E	出力時、固定ファイル名 / 同名ファイル名の出力キャンセル (612 ページ)
SX06030E	出力サービスが起動されていません。 (613 ページ)
SX06031E	ドライブレターが指定されていない、または、指定されたドライブは存在しません。 (613 ページ)
SX06033E	SharePoint サーバーへのドキュメントのアップロードに失敗しました。 (613 ページ)
SX06034E	SharePoint サーバーへの抽出データのアップロードに失敗しました。 (613 ページ)

コード	メッセージ
SX06035E	出力処理中、または一時保存処理中のバッチが中断されました。 (614 ページ)
SX06038E	リッチテキストファイルのサイズが 512MB の制限値を超えるため、出力できません。 (614 ページ)
SX06039Q	ファイルサイズが {0}MB を超えています。{1} 本当に送信しますか ？「はい」を選択した場合、ファイルを送信します。「いいえ」を選択した場合、ファイルを送信しません。 (614 ページ)
SX06041E	{0} との連携に失敗しました。{1} (615 ページ)
SX06042E	Office 変換機能による変換中にキャンセル、あるいはファイル名を変更しました。または、ディスクの空き容量が不足したため、Office 変換機能 による変換処理に失敗しました。確認後、再度出力してください。 (615 ページ)
SX06043E	Office 変換機能による変換中にキャンセル、あるいはファイル名を変更しました。 または、ディスクの空き容量が不足したため、Office 変換機能による変換処理に失敗しました。 確認後、再度スキャンしてください。 (615 ページ)
SX06045E	選択されているグループが存在しません。他のユーザーに解除された可能性があります。 (616 ページ)
SX06046I	同名のグループが既に存在しています。 (616 ページ)
SX06047E	1 ページに設定できるマスキングの上限数は 100 です。マスキングを追加したい場合は、設定済みのマスキングを削除してから追加操作を行ってください。 (616 ページ)

- **バッチを出力します。継続してもよろしいですか ？**

原因

バッチを出力しようとしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
- 出力しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。

以降の出力操作で本メッセージを表示させない場合は、「次回以降、このメッセージを表示しない。」チェックボックスにチェックを付けてください。

- PaperStream Capture の場合
  本メッセージが表示されるようにしたい場合は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「表示」で「確認メッセージを表示する」チェックボックスのチェックを付けてください。

- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  本メッセージが表示されるようにしたい場合は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブにある「表示」で「確認メッセージを表示する」チェックボックスのチェックを付けてください。

- **パスワードを付加しない場合は、[OK] ボタンを押してください。または、[キャンセル] ボタンを押し、パスワードを再入力してください。**

  原因

  PDF のパスワードを設定する画面で［キャンセル］ボタンがクリックされました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - パスワードを設定しない場合
    [OK] ボタンをクリックしてください。開くときのパスワードがない PDF ファイルが出力されます。
  - パスワードを設定する場合
    [キャンセル] ボタンをクリックしてください。PDF の パスワードを設定する画面に戻るので、パスワードを設定してから再度処理を実行してください。

- **バッチ、またはジョブのデータが壊れているか、アクセス権がないため、スキャンした画像を表示できません。**

  原因

  バッチ情報ファイルが破損しているか、アクセスができません。

  対処

  作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。
  作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
  アクセス権に問題がない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **スキャンファイルの一時格納先が設定されていません。管理ツールの一般タブで、作業フォルダーを設定してください。**

  原因

  作業フォルダーのパスが指定されていません。

  対処

  - PaperStream Capture の場合
    「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」に作業フォルダーのパスを指定してから、再度処理を実行してください。
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合

「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」に作業フォルダーのパスを指定してから、再度処理を実行してください。

- **一時保存の理由を選択してください。また、理由がその他の場合は、自由入力欄に必ず入力してください。**

原因

一時保存の理由に「その他」が選択されていますが、コメントが未入力です。

対処

バッチを一時保存する場合、「その他」を理由に選択したときは、コメント欄に必ず理由を入力してください。

- **バッチ、またはジョブのデータが壊れているので、スキャンした画像を表示できません。**

原因

バッチ情報ファイルが破損しているか、アクセスができません。

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
アクセス権に問題がない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **バッチは作成されません。読み込んだイメージや編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？**

原因

- PaperStream Capture の場合
  原稿を読み取ったあとに表示された「スキャン」画面（確認 / 編集時）で以下の操作が実行されました。
  - [キャンセル] ボタンをクリックした
  - [×] ボタンをクリックした
  -  から「終了」を選択した
  - コンピューターのシャットダウン
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  原稿を読み取ったあとに表示された「スキャン&インデックス」画面（確認/編集）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）で以下の操作が実行されました。
  - [キャンセル] ボタンをクリックした
  - [×] ボタンをクリックした

- から「終了」を選択した
- コンピューターのシャットダウン

対処

以下の対処を行ってください。

- 読み取った原稿の画像をすべて破棄する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。画像が破棄され、バッチも作成されません。
- 読み取った原稿の画像を破棄しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。

- **編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？**

原因

- PaperStream Capture の場合
  「バッチ管理」画面で選択したバッチを開いて表示した「スキャン」画面（確認/編集）で編集作業をしたあとに、以下の操作が実行されました。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  「QC」画面や「インデックス」画面、「バッチ管理」画面で選択したバッチを開いて表示した「スキャン&インデックス」画面（確認/編集）や「スキャン」画面（確認/編集）で編集作業をしたあとに、以下の操作が実行されました。
  - ［キャンセル］ボタンをクリックした
  - ［×］ボタンをクリックした
  - から「終了」を選択した
  - コンピューターのシャットダウン

対処

以下の対処を行ってください。

- 編集内容を破棄する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。編集内容が破棄され、バッチも作成されません。
- 編集内容を破棄しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。

- **上書きがキャンセルされたため、このバッチは中断状態になりました。出力先のファイルを移動もしくは変名したのち、再度出力してください。**

原因

「同名ファイルの扱い」画面で［キャンセル］ボタンがクリックされました。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、「バッチ管理」画面から該当のバッチを開き、再度処理を実行してください。

- 出力先にある同じ名前のファイルを別の格納先に移動する
- 出力先にある同じ名前のファイルを変名する

- **全てのファイルが再出力されます。出力先に同名ファイルが存在しないか確認してください。**

原因

「同名ファイルの扱い確認」画面で［キャンセル］ボタンをクリックしたため、エラー状態で一時保存されていたバッチを再度出力しようとしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。出力処理を行います。
- 出力しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。再度、バッチがエラー状態で一時保存されます。

- **バッチを一時保存します。継続しますか？継続するには一時保存の理由を選択してください。**

原因

［一時保存］ボタンをクリックして、編集中のバッチを一時保存しようとしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- バッチを一時保存する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。バッチが一時保存され、「バッチ管理」画面に表示されます。
- バッチを一時保存しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。

- **メールの送信が完了しました。メールに添付した以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0}**

原因

メールの添付ファイルとして出力したファイルを、メールの送信が完了したあとに残さない設定がされているためです。
{0} には、添付用に出力したファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力したファイルを削除する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。フォルダーに出力されたファイルが削除されます。

- 出力したファイルを削除しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。格納先に保存されているファイルがそのまま残ります。

添付用に出力したファイルを残したい場合は、ジョブの「出力先設定」タブで［設定］ボタンをクリックし、表示された「メールオプション」画面で、「送信ファイルを残す」チェックボックスにチェックを付けてください。

- **印刷が完了しました。印刷した以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0}**

原因

印刷用として出力したファイルを、印刷が完了したあとに残さない設定がされているためです。
{0} には、印刷用に出力したファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力したファイルを削除する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。フォルダーに出力されたファイルが削除されます。
- 出力したファイルを削除しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。格納先に保存されているファイルがそのまま残ります。

印刷用に出力したファイルを残したい場合は、ジョブの「出力先設定」タブで［設定］ボタンをクリックし、表示された「プリンターオプション」画面の「拡張設定」で、「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックスにチェックを付けてください。

- **メールに添付可能なファイル数の上限（10 ファイル）を超えたため、処理できません。以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0}**

原因

メールの添付ファイルとして出力したファイルが、1 通のメールに添付できる上限の 10 ファイルを超えたため、メールに添付できません。
{0} には、添付用に出力したファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力したファイルを削除する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。フォルダーに出力されたファイルが削除されます。
- 出力したファイルを削除しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。格納先に保存されているファイルがそのまま残ります。

メールに手動でファイルを添付し、送信してください。

- **不正なパスポート、ID カード（TD1）、または ID カード（TD2）のフィールド値が存在します。続けて出力しますか？**

  原因

  フィールドパネルに表示されているパスポート、ID カード（TD1）、または ID カード（TD2）のフィールド値が不正な値です。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 出力する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。不正なフィールド値のまま出力されます。
  - 出力しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。フィールド値を見直してから、再度処理を実行してください。

- **バッチの保存に失敗しました。**

  原因

  出力処理で予期しないエラーが発生しました。

  対処

  エラーが発生したときの操作手順をメモしてから、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **以下のファイル（フォルダー）にアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイル名のフルパスが長すぎます。{0} フォルダー、またはファイルが書き込み可能かどうか、ファイル名のフルパスが 260 文字を超えていないかどうかをご確認ください。**

  原因

  以下の理由でフォルダーが作成できませんでした。

  - 出力先に指定されたフォルダーの書き込み権限がない
  - 出力先にネットワークフォルダーを指定している場合、該当フォルダーにアクセスできない
  - 作業フォルダーに書き込み権限がない

  対処

  以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「フォルダー」に指定されているフォルダーに書き込み権限を付与してください。
    ネットワークフォルダーが指定されている場合、該当のフォルダーにアクセスできることを確認してください。
  - 作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してください。
    作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

アクセス権に問題がない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **以下の理由により、イメージ処理に失敗しました。{0}**

  原因

  画像処理（ファイル出力等）で予期しないエラーが発生し、処理できませんでした。
  {0} には、エラーの詳細が表示されます。

  対処

  エラーの詳細がメモリー不足を通知する内容の場合は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、解像度や圧縮形式、用紙サイズなどの設定を変更して、ファイルサイズが小さくなるように設定し直してから、再度処理を実行してください。
  それでも同じエラーが発生するときや、エラーの詳細がほかの内容の場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。**

  原因

  メモリーまたはディスク容量不足のため、ファイルを出力できませんでした。

  対処

  以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

  - ほかに起動している、不要なアプリケーションの終了
  - ディスクの空き容量の確保
    ディスクの空き容量に問題がない場合は、ディスクが破損していないか確認してください。

- **{0} この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。**

  原因

  フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名に Windows 予約語が使用されているためです。
  {0} には、Windows の予約語の使用箇所が「出力先 / ファイル名」のように該当する項目の情報が表示されます。

  対処

  フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名から、Windows の予約語（CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、NUL）を削除してから、再度処理を実行してください。

- **バッチデータが存在しない、壊れている、またはアクセス権限がないため、データの出力に失敗しました。**

  原因

  以下の理由でファイルを出力できませんでした。

  - バッチの情報ファイルが存在しない
  - バッチの情報ファイルが壊れている
  - 作業フォルダーのアクセス権限がない

  対処

  作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。
  作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
  アクセス権に問題がない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **SharePoint Server への接続に失敗しました。**

  原因

  指定されたサイト URL に接続できませんでした。

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - 「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「サイト URL」に入力されている URL が正しいか
    画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。
  - ネットワーク環境に問題がないか

- **ファイルのアップロードに失敗しました。**

  原因

  FTP サーバーにファイルを出力できませんでした。

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - 「FTP オプション」画面の「ホスト」に入力されているホスト名または IP アドレスが正しいか
    画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。
  - FTP サーバーのネットワーク環境に問題がないか

- **パスワードが設定されていません。**

  原因

  FTP サーバーにログインするときのパスワードが指定されていないためです。

  対処

  「FTP オプション」画面の「パスワード」に、FTP サーバーにログインするときのパスワードを入力してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **サーバーへの接続に失敗しました。**

  原因

  FTP サーバーに接続できませんでした。

  対処

  以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - 「FTP オプション」画面の「ホスト」に入力されているホスト名または IP アドレスが正しいか
    画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。
  - FTP サーバーへの接続方法は正しいか
  - FTP サーバーのネットワーク環境に問題がないか
  - プロキシサーバーの場合、プロキシサーバーのネットワーク環境に問題がないか

- **新規フォルダーの作成に失敗しました。**

  原因

  指定されたディレクトリーが存在しなかったため、フォルダーを新規作成しようとしましたが失敗しました。

  対処

  FTP サーバーで以下を確認してから、再度処理を実行してください。

  - 親ディレクトリーにアクセス権限があるか
  - 同名のファイルが存在していないか
  - サーバーの容量が不足していないか

- **ファイル名が指定されていません。**

  原因

  ファイル名が指定されていないため、FTP サーバーに送信できません。

対処

「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある「ファイルプロパティ」の「ファイル」で指定しているファイル名を見直してから、再度処理を実行してください。

- **システムメモリーが不足しているため処理を行うことができません。**

原因

PDF の出力処理中にメモリー不足エラーが発生しました。

対処

ほかに起動している不要なアプリケーションを終了させてから、再度処理を実行してください。
それでも改善されない場合は、コンピューターを再起動させてから、再度処理を実行してください。

- **ディスク容量が不足しているため、処理を行うことができません。**

原因

PDF の出力処理中にディスク容量不足エラーが発生しました。

対処

出力先に指定しているディスクの空き容量を確保してから、再度処理を実行してください。
ディスクの空き容量に問題がない場合は、ディスクが破損していないか確認してください。

- **PDF ファイルの保存中にエラーが発生しました。**

原因

PDF ファイルの出力中に予期しないエラーが発生しました。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「フォルダー」に指定されているフォルダーに書き込み権限を付与する。
  指定されているフォルダーがネットワークフォルダーの場合、アクセスできることを確認する。
- 作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認する。

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
上記の対処を行っても同じエラーが発生する場合は、本画面のハードコピーを採取および保守情報収集ツールで保守情報を収集してから、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。
保守情報収集ツール（fiInfoCollect.exe）は、以下に格納されています。
C:¥Program Files (x86)¥fiScanner¥fiInfoCollect

- **以下の連携アプリケーションを起動できませんでした。{0}**

  原因

  指定した連携アプリケーションを起動できませんでした。
  {0} には、連携アプリケーションの実行ファイルのパスが表示されます。

  対処

  「アプリケーションの起動オプション」画面の「アプリケーションパス」で指定しているアプリケーションが起動するか確認してから、再度処理を実行してください。
  画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの［設定］ボタンをクリックすると表示されます。

- **ファイルパスが長すぎます。{0}**

  原因

  出力するファイルのパスが長すぎるため、出力処理に失敗しました。
  {0} には、指定したファイルのパスが表示されます。

  対処

  以下が短くなるように対処してから、再度処理を実行してください。

  - 作業フォルダーのパス
  - 出力先のフォルダー名
  - 出力するときのファイル名

  作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 /「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
  フォルダー名やファイル名は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある「ファイルプロパティ」で確認できます。

- **出力時の上書きキャンセル**

  原因

  出力先に同じ名前のファイルが存在したため、表示された「同名ファイルの扱い確認」画面で「上書きする」を選択して処理を実行しましたが、ファイルの上書きに失敗しました。

  対処

  上書きするファイルをほかのアプリケーションで開いていないかを確認してから、原稿の読み取りを再度実行してください。

- **出力時、固定ファイル名 / 同名ファイル名の出力キャンセル**

  原因

  指定したファイル名が固定名のため、表示された処理の継続確認画面で、処理がキャンセルされました。

対処

「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で「ファイル」で指定されているファイル名が固定名にならないように設定を見直してから、再度処理を実行してください。

- **出力サービスが起動されていません。**

原因

ストレージサーバー上で、出力サービスが開始されていないため、出力処理に失敗しました。

対処

PaperStream Capture Pro を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動し、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」にある「出力サービス」の［開始］ボタンをクリックしてください。
そのあと、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面を閉じてから、再度 PaperStream Capture Pro を起動し、処理を実行してください。

- **ドライブレターが指定されていない、または、指定されたドライブは存在しません。**

原因

出力先に指定されたフォルダーのパスに存在しないドライブが指定されているため、出力処理に失敗しました。

対処

「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある「ファイルプロパティ」の「フォルダー」で指定しているフォルダーのドライブを見直してから、再度処理を実行してください。

- **SharePoint サーバーへのドキュメントのアップロードに失敗しました。**

原因

SharePoint サーバーまたは SharePoint Online に、ファイルを出力できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- SharePoint サーバーのネットワーク環境に問題がないか
- お使いのコンピューターのネットワーク環境に問題がないか

- **SharePoint サーバーへの抽出データのアップロードに失敗しました。**

原因

SharePoint サーバーのフィールドに抽出データを出力できませんでした。

対処

以下のどちらかの対処をしてから、再度処理を実行してください。

- SharePoint サーバーのフィールド（列）を、「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」にあるフィールドに合わせる
- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」にあるフィールドを SharePoint サーバーのフィールド（列）に合わせる

- **出力処理中、または一時保存処理中のバッチが中断されました。**

原因

バッチの出力または一時保存が中断されました。

対処

中断したバッチの処理を再開する場合は、バッチ名をダブルクリックすると、処理を再開する旨のメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。処理が再開されます。

- **リッチテキストファイルのサイズが 512MB の制限値を超えるため、出力できません。**

原因

リッチテキスト形式のファイルを出力するときに、ファイルサイズが 512MB を超えていたため、ファイルの出力ができませんでした。

対処

1 つのファイルサイズが 512MB を超えないように、以下のどれかの対処を行ってください。

- エラーで処理が中断したバッチを開き、表示された編集画面でドキュメントを分割してから、再度処理を実行してください。詳細は、11.1 読み取った画像を確認/編集する (バッチスキャンモード) (98 ページ)を参照してください。
- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある [オプション設定] ボタンをクリックし、表示された 19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「ファイルオプション」で、ファイルを指定したサイズで分割して出力するように設定を見直し、再度原稿の読み取りを実施してください。
- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「仕分け設定」タブでドキュメントを分割して出力するように設定を見直し、再度原稿の読み取りを実施してください。

- **ファイルサイズが {0}MB を超えています。{1} 本当に送信しますか？「はい」を選択した場合、ファイルを送信します。「いいえ」を選択した場合、ファイルを送信しません。**

原因

メールに添付するファイルサイズが指定サイズを超えてるためです。
「メールオプション」画面で「ファイルサイズの合計が以下を超えるときに警告メッセージを表示する」チェックボックスでチェックを付けている場合に表示されます。
{0} には、「メールオプション」画面で指定した値が表示されます。
{1} には、添付ファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- メールを送信する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。指定サイズを超えたファイルを添付してメールを送信します。
- メールを送信しない場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。メールの送信を中断します。ただし、「バッチ管理」画面では、「状況」に「出力済み」と表示されます。添付ファイルは、格納先に保存されます。

- **{0} との連携に失敗しました。{1}**

原因

メールまたはプリンターとの連携に失敗しました。
{0} には、連携先が表示されます。
{1} には、失敗の原因が表示されます。

対処

失敗の原因を取り除いてから、再度処理を実行してください。

- **Office 変換機能による変換中にキャンセル、あるいはファイル名を変更しました。または、ディスクの空き容量が不足したため、Office 変換機能 による変換処理に失敗しました。確認後、再度出力してください。**

原因

以下の理由により、Office 変換機能でファイルの変換に失敗したため、ファイルを出力できませんでした。

- ファイルの変換中に［キャンセル］ボタンをクリックした
- ファイルの変換中にファイル名の変更をした
- ディスクの空き容量が不足した

対処

Office 変換機能が処理を実行しているときは、操作のキャンセルやファイル名の変更をしないでください。
また、ディスクの空き容量が不足した場合は、ディスクの空き容量を確保してから、再度処理を実行してください。

- **Office 変換機能による変換中にキャンセル、あるいはファイル名を変更しました。 または、ディスクの空き容量が不足したため、Office 変換機能による変換処理に失敗しました。 確認後、再度スキャンしてください。**

原因

以下の理由により、Office 変換機能でファイルの変換に失敗したため、読み取りができませんでした。

- ファイルの変換中に［キャンセル］ボタンをクリックした

- ファイルの変換中にファイル名の変更をした
- ディスクの空き容量が不足した

対処

Office 変換機能が処理を実行しているときは、操作のキャンセルやファイル名の変更をしないでください。
また、ディスクの空き容量が不足した場合は、ディスクの空き容量を確保してから、再度処理を実行してください。

- **選択されているグループが存在しません。他のユーザーに解除された可能性があります。**

原因

選択したジョブのグループは、ほかのユーザーがグループ化を解除しています。

対処

ほかの画面を開いて戻るなどの操作でジョブの一覧を更新してください。

- **同名のグループが既に存在しています。**

原因

既存のジョブのグループ名と同じグループ名に変名しようとしました。

対処

重複しないグループ名に変更してください。

- **1 ページに設定できるマスキングの上限数は 100 です。マスキングを追加したい場合は、設定済みのマスキングを削除してから追加操作を行ってください。**

原因

第 24 章 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） (427 ページ)、第 26 章 「QC」画面 (433 ページ)、または第 27 章 「インデックス」画面 (437 ページ)で、ページ内にマスキングのエリアが 100 個ある状態で、マスキングのエリアを追加しようとしました。

対処

不要なマスキングを削除してから、マスキングを追加してください。

40.6 運用環境の移出 / 移入に関連するメッセージ

PaperStream Capture 運用環境の移出 / 移入に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX07001Q	移出対象ジョブが選択されていません。PaperStream Capture 動作設定情報のみが移出対象となります。実行しますか？ (619 ページ)
SX07002Q	「新規移入」が選択されているため、移入先に存在するジョブはすべて置換されます。継続してもよろしいですか？ (619 ページ)

コード	メッセージ
SX07003E	%1 が既に起動しているため、本アプリケーションを実行することができません。 (619 ページ)
SX07005I	移入処理が完了しました。 %1 (619 ページ)
SX07006E	移入ファイル名が入力されていません。 (620 ページ)
SX07007E	指定されたファイルは存在しません。または、指定されたファイルにアクセスできませんでした。 (620 ページ)
SX07008E	禁止文字が使用されています。禁止文字：¥/:?*""<>| (620 ページ)
SX07009E	ファイルを保存できませんでした。メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。 (620 ページ)
SX07010E	システムメモリーが不足しているため、処理を行うことができません。 (620 ページ)
SX07011E	PaperStream Capture がインストールされていないため、本アプリケーションは実行できません。 (621 ページ)
SX07012E	指定されたファイルが作成できませんでした。アクセスできない、または、ライトプロテクトされています。エラーコード：%1 %2 (%3)：%4 (621 ページ)
SX07013E	移入ファイルが無効です。 (621 ページ)
SX07019E	指定された起動パラメーターに誤りがあります。 (621 ページ)
SX07020E	「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」で指定されている言語が移出元と異なるため、移入できません。 (622 ページ)
SX07021E	ジョブ数が制限に達したため、移入できません。「超過ジョブ数」の数だけジョブを削除してから移入してください。超過ジョブ数：%1 (622 ページ)
SX07022E	「%1 運用環境の移入」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。 (622 ページ)
SX07023E	「%1 運用環境の移出」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。 (623 ページ)
SX07025E	ファイル名が長すぎます。 (623 ページ)
SX07026Q	以下のファイルは既に存在します。上書きしますか？%1 (623 ページ)
SX07027E	移出ファイルのサイズが 2GB を超えるため移出できません。移出対象ジョブの数を減らして移出してください。
SX07028E	ジョブ数が制限を超えているため、本アプリケーションを実行できません。超過ジョブ数 :%1 (623 ページ)
SX07033Q	以下のホットキーが重複しています。このまま移入しますか？%1 (624 ページ)

コード	メッセージ
SX07034E	現在のバージョンよりも新しい PaperStream Capture で移出したファイルです。以下のバージョン以降の PaperStream Capture をインストール後、移入してください。%1 (624 ページ)
SX07036E	移出ファイルが移入先の環境と一致しません。 (624 ページ)
SX07037Q	ScandAll PRO で移出されたファイルが指定されました。ScandAll PRO のプロファイルを PaperStream Capture のジョブに変換しますか？(624 ページ)
SX07038W	以下のプロファイルはスキャンの設定を移入できませんでした。ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。(625 ページ)
SX07039Q	PaperStream IP がインストールされていないため、PaperStream IP の読み取りプロファイルは退避できません。運用環境の移出処理を継続してもよろしいですか？(625 ページ)
SX07040E	PaperStream IP の読み取りプロファイルの退避に失敗したため移出できませんでした。エラー詳細コード：%d (625 ページ)
SX07041E	PaperStream IP の読み取りプロファイルの復元に失敗したため移入できませんでした。エラー詳細コード：%d (626 ページ)
SX07042E	サーバーを一旦停止してから移入を実行してください。 (626 ページ)
SX07043E	移入先に同名の帳票が存在します。移入先または移入する帳票の名前を変更し、再度移入してください。帳票名：{0} (626 ページ)
SX07045E	帳票数が制限に達したため、移入できません。「超過帳票数」の数だけ帳票を削除してから移入してください。超過帳票数：%1 (626 ページ)
SX07052Q	現在のユーザーは管理者ではないため、一部の環境設定は移入されません。移入を続行しますか？詳細についてはヘルプをご確認ください。 (627 ページ)
SX07053Q	移入するファイルはこの PC で設定されている言語と異なる言語環境から移出されたファイルです。移出環境の言語に依存する設定の動作は保証しません。移入を続行しますか？ (627 ページ)
SX07054Q	現在のユーザーは管理者ではないため、一部の環境設定は移入されません。詳細についてはヘルプをご確認ください。 また、移入するファイルはこの PC で設定されている言語と異なる言語環境から移出されたファイルです。移出環境の言語に依存する設定の動作は保証しません。移入を続行しますか？ (627 ページ)
SX07099E	予期しないエラーです。エラーコード：%1 %2 (%3)：%4 (628 ページ)

- **移出対象ジョブが選択されていません。PaperStream Capture 動作設定情報のみが移出対象となります。実行しますか？**

  原因

  移出対象のジョブが選択されていない状態で［実行］ボタンがクリックされたためです。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - ジョブを移出しない場合
    ［OK］ボタンをクリックしてください。PaperStream Capture の運用環境だけ移出します。
  - ジョブを移出したい場合
    ［キャンセル］ボタンをクリックしてください。戻った画面で移出したいジョブを選択してから、再度処理を実行してください。

- **「新規移入」が選択されているため、移入先に存在するジョブはすべて置換されます。継続してもよろしいですか？**

  原因

  「新規移入」を選択した状態で［実行］ボタンがクリックされたためです。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - ジョブをすべて置換して移入する場合
    ［OK］ボタンをクリックしてください。移入先にあるジョブがすべて置換して、運用環境とジョブを移入します。
  - 移入先のジョブを残す場合
    ［キャンセル］ボタンをクリックしてから、再度処理を実行してください。

- **%1 が既に起動しているため、本アプリケーションを実行することができません。**

  原因

  PaperStream Capture と本アプリケーションは同時に起動できません。
  %1 には、該当のアプリケーション名が表示されます。

  対処

  PaperStream Capture を終了してから、本アプリケーションを起動してください。

- **移入処理が完了しました。 %1**

  原因

  移入処理が完了しました。
  %1 には、移入後にユーザーの対処が必要な項目と対処方法が表示されます。

対処

対処が必要な項目が表示されている場合は、対処方法に従って処理を実行してください。

- **移入ファイル名が入力されていません。**

原因

移入ファイルが指定されていません。

対処

「移入ファイル」 で移入するファイルを指定してから、再度処理を実行してください。

- **指定されたファイルは存在しません。または、指定されたファイルにアクセスできませんでした。**

原因

指定されたファイルを読み込みできませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 指定したファイルが存在するか
- 指定したファイルのアクセス権限があるか

- **禁止文字が使用されています。禁止文字：¥/:?*""<>|**

原因

フォルダー名やファイル名に禁止文字が入力されています。

対処

禁止文字を使用せずに、フォルダー名やファイル名を指定してから、再度処理を実行してください。

- **ファイルを保存できませんでした。メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。**

原因

メモリーまたはディスクの空き容量が不足したため、PaperStream Capture の運用環境を移出できませんでした。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ほかに起動している、不要なアプリケーションの終了
- ディスクの空き容量の確保

- **システムメモリーが不足しているため、処理を行うことができません。**

原因

メモリー不足のため、処理を実行できませんでした。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ほかに起動している、不要なアプリケーションの終了
- ディスクの空き容量の確保

それでも改善されない場合は、コンピューターを再起動させてから、再度処理を実行してください。

- **PaperStream Capture がインストールされていないため、本アプリケーションは実行できません。**

原因

PaperStream Capture がインストールされていない環境で本アプリケーションを起動しようとしました。

対処

PaperStream Capture をインストールするか、PaperStream Capture がインストールされている環境で本アプリケーションを起動してください。

- **指定されたファイルが作成できませんでした。アクセスできない、または、ライトプロテクトされています。エラーコード：%1 %2 (%3)：%4**

原因

以下の理由により、PaperStream Capture の運用環境を移出できませんでした。

- 指定されたフォルダーにアクセスできない
- 指定されたフォルダー内に同名の読み取り専用ファイルが存在している

%1 にはエラーコード、%2～%4 にはエラー詳細コードが表示されます。

対処

PaperStream Capture の運用環境を移出するフォルダーを変更してから、再度処理を実行してください。

- **移入ファイルが無効です。**

原因

以下の理由により、指定したファイルを移入できませんでした。

- 「運用環境の移出」ツールで移出したファイルではない
- ファイルが破損している

対処

PaperStream Capture の運用環境を移入する場合は、必ず「運用環境の移出」ツールで移出したファイルを移入してください。

- **指定された起動パラメーターに誤りがあります。**

原因

「運用環境の移出」ツールを起動するために指定したパラメーターに誤りがありました。

対処

正しいパラメーターを指定してから、再度処理を実行してください。

- **「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」で指定されている言語が移出元と異なるため、移入できません。**

原因

コンピューターの「設定」 にある「地域」 （お使いのオペレーションシステムによっては「コントロール パネル」の「地域と言語のオプション」）で指定されている言語が移出元のオペレーションシステムで指定されていた言語と異なっています。

対処

コンピューターの「設定」 にある「地域」 （お使いのオペレーションシステムによっては「コントロール パネル」の「地域と言語のオプション」）で指定する言語を、移出元のオペレーションシステムで指定されていた言語に指定し直してから、再度処理を実行してください。

- **ジョブ数が制限に達したため、移入できません。「超過ジョブ数」の数だけジョブを削除してから移入してください。超過ジョブ数：%1**

原因

移入先のジョブ数が登録上限に達したため、運用環境の移入ができませんでした。
%1 には、超過しているジョブ数が表示されます。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 既存のジョブをすべて残したい場合
  第 20 章 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面 (398 ページ)の 20.2 「一般」タブ (399 ページ)の「表示」で「最大ジョブ数」に設定されている上限値を増やしてください。
- 既存のジョブを一部削除できる場合
  第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)で、超過しているジョブの数だけ、既存のジョブを削除してください。
- 既存のジョブをすべて削除できる場合
  第 37 章 「運用環境の移入」画面 (470 ページ)で「ジョブの移入方法」を「新規移入」にしてください。

- **「%1 運用環境の移入」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。**

原因

「運用環境の移入」ツールと本アプリケーションは同時に起動できません。
%1 には、該当のアプリケーション名が表示されます。

対処

第 37 章 「運用環境の移入」画面 (470 ページ)を閉じてから、本アプリケーションを起動してください。

- **「%1 運用環境の移出」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。**

原因

「運用環境の移出」ツールと本アプリケーションは同時に起動できません。
%1 には、該当のアプリケーション名が表示されます。

対処

第 36 章 「運用環境の移出」画面 (469 ページ)を閉じてから、本アプリケーションを起動してください。

- **ファイル名が長すぎます。**

原因

指定したファイル名が長すぎるため、運用環境の移出ができませんでした。

対処

移出するファイル名のフルパスが 255 バイトを超えないように、ファイル名を見直してから、再度処理を実行してください。

- **以下のファイルは既に存在します。上書きしますか？%1**

原因

指定したファイル名と同名のファイルが、指定した出力先に存在しています。
%1 には、同名のファイルのパスが表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- ファイルを上書きする場合
  [はい] ボタンをクリックしてください。
- ファイルを上書きしない場合
  [いいえ] ボタンをクリックしてください。処理を中断し、第 36 章 「運用環境の移出」画面 (469 ページ)に戻ります。

- **ジョブ数が制限を超えているため、本アプリケーションを実行できません。超過ジョブ数 :%1**

原因

定義済みのジョブ数が上限を超えています。
%1 には超過ジョブ数が表示されます。

対処

ジョブ数が上限以下になるまで削除してから、再実行してください。

- **以下のホットキーが重複しています。このまま移入しますか？ %1**

  原因

  移出元と移入先で同じホットキーが割り当てられているジョブが存在しています。
  %1 には、重複しているホットキーが表示されます。11 個目以降は「…」で表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - そのまま移入する場合
    [OK]ボタンをクリックしてください。ホットキーが重複した状態でジョブが移入されます。移入したあと、ホットキーが重複しているジョブでホットキーの設定を見直してください。
  - 移入しない場合
    [キャンセル] ボタンをクリックしてください。処理を中断し、第 37 章 「運用環境の移入」画面 (470 ページ)に戻ります。
    重複するホットキーを移入先のジョブで見直してから、再度処理を実行してください。

- **現在のバージョンよりも新しい PaperStream Capture で移出したファイルです。以下のバージョン以降の PaperStream Capture をインストール後、移入してください。%1**

  原因

  現在のバージョンの PaperStream Capture では移入できないファイルが指定されました。
  %1 には、指定されたファイルを移出した PaperStream Capture のバージョンが表示されます。

  対処

  最新の PaperStream Capture をインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **移出ファイルが移入先の環境と一致しません。**

  原因

  指定されたファイルは、現在のステーションとは異なるステーションの端末で移出されたファイルのため、移入できません。

  対処

  運用環境の移出入は、同じステーションの端末同士で行ってください。

- **ScandAll PRO で移出されたファイルが指定されました。ScandAll PRO のプロファイルを PaperStream Capture のジョブに変換しますか？**

  原因

  ScandAll PRO で移出されたプロファイルを PaperStream Capture に移入しようとしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - PaperStream Capture に移入する場合
    [はい]ボタンをクリックしてください。PaperStream Capture のジョブに変換して移入します。

- PaperStream Capture に移入しない場合
  [いいえ] ボタンをクリックしてください。プロファイルをジョブに変換せずに、処理を中断します。

- **以下のプロファイルはスキャンの設定を移入できませんでした。ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。**

  原因

  移入する ScandAll PRO のプロファイルに設定されているドライバーが PaperStream IP (TWAIN) ドライバー以外のため、「スキャンの設定」画面で設定した内容は、PaperStream Capture に移入できません。
  また、設定されているドライバーが PaperStream IP（TWAIN）ドライバーでも、「スキャンの設定」 画面で設定した内容が欠落して移入された可能性があります。

  対処

  ScandAll PRO から移入したジョブで読み取りを実行する前に、第 19 章 「ジョブ作成/編集」画面 (230 ページ)でジョブを「編集」で開き、不足している項目を設定してください。

- **PaperStream IP がインストールされていないため、PaperStream IP の読み取りプロファイルは退避できません。運用環境の移出処理を継続してもよろしいですか？**

  原因

  PaperStream IP がインストールされていないため、PaperStream IP ドライバーのプロファイルは、移出できません。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - そのまま移出する場合
    [はい] ボタンをクリックしてください。運用環境のうち PaperStream IP ドライバーのプロファイル以外を移出します。
  - 移出しない場合
    [いいえ] ボタンをクリックしてください。処理を中断し、第 36 章 「運用環境の移出」画面 (469 ページ)に戻ります。

- **PaperStream IP の読み取りプロファイルの退避に失敗したため移出できませんでした。エラー詳細コード：%d**

  原因

  運用環境の移出で、PaperStream IP ドライバーのプロファイルの移出処理でエラーが発生しました。

  対処

  エラーが発生したときの操作手順とエラーコードおよびエラー詳細コードをメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **PaperStream IP の読み取りプロファイルの復元に失敗したため移入できませんでした。エラー詳細コード：%d**

  原因

  運用環境の移入で、PaperStream IP ドライバーのプロファイルの移入処理でエラーが発生しました。

  対処

  エラーが発生したときの操作手順とエラーコードおよびエラー詳細コードをメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **サーバーを一旦停止してから移入を実行してください。**

  原因

  マルチステーション運用でクライアント端末と連携している状態で、運用環境を移入しようとしたためです。

  対処

  サーバーを一度停止し、クライアント端末と連携していない状態にしてから、運用環境の移入を実行してください。

- **移入先に同名の帳票が存在します。移入先または移入する帳票の名前を変更し、再度移入してください。帳票名：{0}**

  原因

  追加移入するとき、移入する帳票と同じ帳票名の帳票が移入先にすでに存在する場合に表示されます。
  {0} には、移入先に同名の帳票が存在する帳票名が表示されます。
  移入する帳票が移入先にすでに存在する場合、対象の帳票はすでに移入先に存在するため移入対象とはなりません。
  そのため、本メッセージの対象外となります。

  対処

  移入先の帳票の名前を変更するか、または移入する帳票の名前を変更してから、再度移入してください。

- **帳票数が制限に達したため、移入できません。「超過帳票数」の数だけ帳票を削除してから移入してください。超過帳票数：%1**

  原因

  移入実行時に、移入先の PaperStream Capture の「管理」画面の帳票リストの帳票数が 1000 個を超える場合に表示されます。
  %1 には、超過している帳票数が表示されます。

対処

移入する帳票の数を減らしてから、再度移入してください。

- **現在のユーザーは管理者ではないため、一部の環境設定は移入されません。移入を続行しますか？詳細についてはヘルプをご確認ください。**

原因

管理者権限がないユーザーが移入操作を行いました。

対処

移入を続行する場合は［はい］ボタンをクリックしてください。移入操作を取りやめる場合は［いいえ］ボタンをクリックしてください。
管理者権限がないユーザーが移入操作を行うと、以下が移入されません。

- 「出力」タブの「フル ASCII の Code 3 of 9 を使用する」チェックボックスの設定
- PaperStream Capture のインストールフォルダー配下のファイルを直接編集している場合、その編集ファイル

- **移入するファイルはこの PC で設定されている言語と異なる言語環境から移出されたファイルです。移出環境の言語に依存する設定の動作は保証しません。移入を続行しますか？**

原因

移出元と移入先の PC の言語環境が異なっていたため、異なる言語環境の移出ファイルを移入しようとしています。

対処

移入を続行する場合は［はい］ボタンをクリックしてください。移入操作を取りやめる場合は［いいえ］ボタンをクリックしてください。
移出環境の言語に依存する設定の動作は保証されません。

- **現在のユーザーは管理者ではないため、一部の環境設定は移入されません。詳細についてはヘルプをご確認ください。 また、移入するファイルはこの PC で設定されている言語と異なる言語環境から移出されたファイルです。移出環境の言語に依存する設定の動作は保証しません。移入を続行しますか？**

原因

管理者権限がないユーザーが移入操作を行いました。また、移出元と移入先の PC の言語環境が異なっていたため、異なる言語環境の移出ファイルを移入しようとしています。

対処

移入を続行する場合は［はい］ボタンをクリックしてください。移入操作を取りやめる場合は［いいえ］ボタンをクリックしてください。
管理者権限がないユーザーが移入操作を行うと、以下が移入されません。

- 「出力」タブの「フル ASCII の Code 3 of 9 を使用する」チェックボックスの設定
- PaperStream Capture のインストールフォルダー配下のファイルを直接編集している場合、その編集ファイル

移出環境の言語に依存する設定の動作は保証されません。

- **予期しないエラーです。エラーコード：%1 %2 (%3)：%4**

原因

予期しないエラーが発生しました。
%1 にはエラーコード、%2～%4 にはエラー詳細コードが表示されます。

対処

エラーが発生したときの操作手順とエラーコードおよびエラー詳細コードをメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

40.7 帳票の登録に関連するメッセージ

PaperStream Capture の帳票の登録に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX09001E	選択された帳票はジョブで使用されているため、編集できません。{0} (629 ページ)
SX09002E	帳票名が最大長の 256 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー"を含めて 255 文字以内になるように、参照元の帳票名を見直してください。 (629 ページ)
SX09003E	選択された帳票はジョブで使用されているため、削除できません。 (629 ページ)
SX09004E	同じ帳票名が他の帳票で使用されています。
SX09005E	帳票名が設定されていません。
SX09006E	禁止文字列が使われています。禁止文字列:/:?*<>|[]="$!`(630 ページ)
SX09007E	この帳票はジョブで使用されているため、帳票名の編集を行うことができません。 (630 ページ)
SX09008E	帳票として登録できる原稿サイズは 2.9×4.1～12×17 インチ(73.66×104.14～304.8×431.8mm)までです。
SX09009W	帳票識別に失敗する可能性があります。登録する原稿を変更するか、十分な運用テストを行ってください。 (630 ページ)
SX09010Q	以下の原稿の特徴が少ないため、帳票として登録できません。ページ番号:{0} 特徴の少ない原稿を削除して、特徴のある原稿を登録します、よろしいですか? (630 ページ)
SX09011Q	帳票の登録を中止します。よろしいですか？ (631 ページ)
SX09012Q	編集内容が保存されません。よろしいですか？ (631 ページ)

コード	メッセージ
SX09019Q	類似帳票は見つかりませんでした。[OK]ボタンを押すと、引き続きジョブの保存を行います。[キャンセル]ボタンを押すと、設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が破棄されます。 (631 ページ)
SX09020I	類似帳票が存在します。 帳票識別フィールドの設定を変更するか、前の画面に戻って類似帳票の選択を外してください。 {0} (632 ページ)
SX09021Q	設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が破棄されます。よろしいですか？ (632 ページ)
SX09022Q	全ての帳票を削除します、よろしいですか？ (632 ページ)
SX09023E	登録できる帳票数の上限は 1000 帳票です。上限を超えたため、スキャンを終了します。 (633 ページ)
SX09024E	帳票識別フィールドのキーワードが設定されていません。帳票識別フィールドのキーワードを設定してください。{0} (633 ページ)
SX09025Q	類似帳票は見つかりませんでした。[OK]ボタンを押すと、設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が保存されます。[キャンセル]ボタンを押すと、設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が破棄されます。 (633 ページ)

- **選択された帳票はジョブで使用されているため、編集できません。{0}**

  原因

  ジョブで使用されている帳票を選択した状態で［編集］ボタンがクリックされたためです。
  {0}には帳票名が表示されます。

  対処

  帳票を編集する場合は、帳票リストで対象の帳票のチェックを外してください。

- **帳票名が最大長の 256 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー"を含めて 255 文字以内になるように、参照元の帳票名を見直してください。**

  原因

  帳票名が最大長の 256 文字を超えたためです。

  対処

  帳票名が 255 文字以内になるように、帳票名を見直してください。
  参照作成の場合は、"_コピー"を含めて 255 文字以内になるように、参照元の帳票名を見直してください。

- **選択された帳票はジョブで使用されているため、削除できません。**

  原因

  「仕分け設定」タブの帳票リストで仕分けを行う帳票と指定している帳票、または「データ抽出設定」タブの帳票リストでデータ抽出を行う帳票として指定している帳票を選択した状態で、［削除］ボタンがクリックされたためです。

対処

帳票を削除する場合は、帳票リストで対象の帳票のチェックを外してください。

- **禁止文字列が使われています。禁止文字列:/:?*<>|[]="$!`**

原因

帳票名に禁止文字を入力している状態で、フォーカスを帳票名から移動させる操作を行った場合に表示されます。

対処

使用禁止文字を使用せずに帳票名を指定し直してください。

- **この帳票はジョブで使用されているため、帳票名の編集を行うことができません。**

原因

ジョブで使用中の帳票の帳票名にフォーカスを当てて入力しようとすると表示されます。

対処

帳票名を編集する場合は、帳票リストで対象の帳票のチェックを外してください

- **帳票識別に失敗する可能性があります。登録する原稿を変更するか、十分な運用テストを行ってください。**

原因

読み取られた登録用画像が、特徴が少なく帳票の識別に失敗する可能性が高い原稿と判断された場合に［完了］ボタンがクリックされたためです。

対処

登録する帳票を変更するか、または登録した帳票で問題なく識別できるかの運用テストを行ってください。

- **以下の原稿の特徴が少ないため、帳票として登録できません。ページ番号:{0} 特徴の少ない原稿を削除して、特徴のある原稿を登録します、よろしいですか?**

原因

読み取った帳票の特徴が少なく、帳票に使用できないと判断されました。
{0}には、対象の帳票のページ番号が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 特徴の少ない帳票をすべて削除する場合
  ［はい］ボタンをクリックしてください。
  特徴の少ない帳票をすべて削除して、特徴のある帳票をすべて登録します。
- 特徴の少ない帳票を確認する場合
  ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
  一覧画面に戻ります。

特徴の少ない帳票は、サムネールにオレンジ色のマークが付いています。

- **帳票の登録を中止します。よろしいですか？**

  原因

  登録する帳票を読み取り、帳票登録のスキャン画面で［キャンセル］ボタンをクリックしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 帳票を登録しない場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
    帳票を登録せずに、一覧画面に戻ります。
  - 帳票を登録する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
    帳票登録のスキャン画面に戻ります。
    帳票の画像を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

- **編集内容が保存されません。よろしいですか？**

  原因

  登録用画像を変更したあとに［キャンセル］ボタンをクリックしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 帳票の編集内容を破棄する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
  - 帳票の編集内容を保存する場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
    ［完了］ボタンをクリックします。

- **類似帳票は見つかりませんでした。[OK]ボタンを押すと、引き続きジョブの保存を行います。[キャンセル]ボタンを押すと、設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が破棄されます。**

  原因

  すべての類似帳票に帳票識別フィールドが設定され、類似帳票がなくなった場合に表示されます。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 帳票識別フィールドの設定を保存する場合
    ［OK］ボタンをクリックしてください。
    帳票識別フィールドの設定を保存して、ジョブを保存したあとに、「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブに戻ります。
  - 帳票識別フィールドの設定を保存しない場合
    ［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブに戻ります。

- **類似帳票が存在します。 帳票識別フィールドの設定を変更するか、前の画面に戻って類似帳票の選択を外してください。 {0}**

  原因

  ［完了］ボタンをクリックしましたが、まだ類似帳票が存在します。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 「帳票識別フィールド設定」画面で、類似帳票に帳票識別フィールドを設定してください。

    ➡ 19.6.6 「帳票識別フィールド設定」画面 (346 ページ)

  - 「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブに戻り、帳票リストで使用しない帳票のチェックボックスのチェックを外して、ジョブを保存してください。

- **設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が破棄されます。よろしいですか？**

  原因

  帳票識別フィールドを設定したあとに、［キャンセル］ボタンをクリックしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 帳票識別フィールドの設定を保存しない場合
    ［OK］ボタンをクリックしてください。
    「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブに戻ります。
  - 帳票識別フィールドの設定を保存する場合
    ［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
    「帳票識別フィールド設定」画面に戻ります。
    ［完了］ボタンをクリックして、帳票識別フィールドの設定を保存してください。

- **全ての帳票を削除します、よろしいですか？**

  原因

  サムネール一覧で、読み取った帳票の画像をすべて選択して、ツールバーの「削除」をクリックしました。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 読み取った帳票をすべて削除する場合
    ［はい］ボタンをクリックしてください。
    削除した帳票は、元に戻せません。
  - 読み取った帳票を削除しない場合
    ［いいえ］ボタンをクリックしてください。
    帳票登録のスキャン画面に戻ります。

- **登録できる帳票数の上限は 1000 帳票です。上限を超えたため、スキャンを終了します。**

  原因

  登録できる帳票の上限数を超えたため、帳票の読み取りを終了します。

  対処

  ［OK］ボタンをクリックして、「管理」画面の帳票リストで、使用しない帳票を削除し、再度処理を実行してください。

- **帳票識別フィールドのキーワードが設定されていません。帳票識別フィールドのキーワードを設定してください。{0}**

  原因

  キーワードが設定されていない帳票識別フィールドがあります。
  {0}には、帳票名が表示されます。

  対処

  ［OK］ボタンをクリックして、キーワードを設定してください。

- **類似帳票は見つかりませんでした。[OK]ボタンを押すと、設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が保存されます。[キャンセル]ボタンを押すと、設定済みの帳票識別フィールドや編集内容が破棄されます。**

  原因

  「帳票識別フィールド設定」画面で［更新］ボタンをクリックした結果、類似帳票がありませんでした。

  対処

  以下の対処を行ってください。

  - 帳票識別フィールドの設定を保存する場合
    ［OK］ボタンをクリックします。
    「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブに戻ります。
  - 帳票識別フィールドの設定を保存しない場合
    ［キャンセル］ボタンをクリックします。
    「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブに戻ります。

第 41 章
設定値一覧

PaperStream Capture の画面で任意の数値または文字を入力する場合の、最小値や最大値について説明します。

- **「ジョブ作成/編集」画面**

  ジョブの一覧

  ジョブの検索 文字数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	128 文字	-	-

  ジョブ数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
5 個（サンプルジョブ）	-	500 個	-	-

  ジョブのグループ

  グループ数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	100 個	-	-

  グループ名

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
新しいグループ 新しいグループ_n	-	200 文字	PaperStream AI の場合、「PaperStream AI」というグループ名は設定できません。	不可

- **「管理」画面**

  帳票リスト

  帳票名

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
新規帳票-xxxx	-	255 文字	使用禁止文字(/ : ? * < > | [ ] = " $! `)は使用できません。	不可

帳票数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
0	-	タイプ「クラウド」が 1000 個 タイプ「ローカル」が 1000 個	-	-

CSV 出力ヘッダー

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
フィールド名と同じ	-	255 文字	-	-

- **「ジョブ情報設定」タブ**

ジョブ情報

ジョブ名

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
空白	1 文字	128 文字	以下の文字は使用しないでください。 ● 使用禁止文字（¥ / : * ? " < > |） ● 環境依存文字（丸囲み数字、ローマ数字、単位、省略文字、人名・地名）	不可

説明

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
空白	0 文字	128 文字	-	可

- **「読み取り設定」タブ**

「監視フォルダー詳細設定」画面

監視フォルダー

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
空白	1 文字	255 文字	/ : ? * " < > |	不可

インポート後の処理（「移動」選択時）

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
空白	1 文字	255 文字	/ : ? * " < > |	不可

- **「出力先設定」タブ**

最小桁数 （バッチフォルダーを使用する、インプリンタとの連携）

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
4	3	8	-	不可

フォルダー

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
● こだわり作成 C:\Users\Public\Documents ● かんたん作成 C:\Users\アカウント名\Documents	-	-	以下の文字列は使用できません。 ● 使用禁止文字 - 「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合 / : ? * " < > | - 「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合 : ? * " < > ¥ | ● Windows 予約語だけ 以下の文字を設定すると、フォルダーを区切ります。 ●「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合 ¥	不可

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
			● 「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合 / ● ファイルのパス長で 200 バイトまで	

ファイル

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
Doc<Document Counter>	-	-	以下の文字列は、ファイル名に使用できません。 ● 使用禁止文字 - 出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合 ¥ / : ? * " < > | , - 上記以外の場合 / : ? * " < > | , ● Windows 予約語だけ ● ファイルのパス長で 200 バイトまで	不可

インデックスファイル

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
<Batch Name>-<Document Counter>-INDEX	-	-	使用禁止文字（/ : ? * " < > | ,） ファイルのパス長で 200 バイトまで	不可

「カウンター設定」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
初期値	1	1	2000000000	-	可
最小桁数	4	4	10	-	可

「インデックス一覧オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
文字列 1 文字列 2 文字列 3 文字列 4	文字列 1：string1 文字列 2：string2 文字列 3：string3 文字列 4：string4	-	32 文字	文字列の先頭および末尾の空白は削除される	可
最小桁数	4	4	10	-	可

「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
ユーザー名	空白	-	-	-	不可
パスワード	空白	-	-	-	不可

「SharePoint オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
サイト URL	空白	-	-	-	不可
ユーザー名	空白	-	-	-	不可
パスワード	空白	-	-	-	不可

「SharePoint Online オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
サイト URL	空白	-	-	-	不可
ユーザー名	空白	-	-	-	不可
パスワード	空白	-	-	-	不可

「FTP オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
ホスト	空白	-	-	-	不可
ポート	• FTP 21 • SFTP 22	1	65535	-	不可
メールアドレス（匿名ユーザー）	空白	-	-	-	不可
ユーザー名	空白	-	-	-	可
パスワード	空白	-	-	-	可
プライベートキーファイル	空白	-	-	-	可
パスフレーズ	空白	-	-	-	可
接続時（タイムアウトを設定する）	60	1	300	-	可
データ送信時（タイムアウトを設定する）	60	1	300	-	可
Zip ファイル名（転送前にファイルを Zip に圧縮する）	バッチ名	-	-	-	可
パスワード（Zip ファイルをパスワードで保護する）	空白	-	-	-	可

「アプリケーションの起動オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
パラメーター	%f	-	-	-	不可

「オプション設定」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
圧縮（PDF オプション）	3	1	7	-	可
パスワード	空白	1	16 文字（半角文字換算）	-	可
確認	空白	1	16 文字（半角文字換算）	-	可
画質（JPEG2000 オプション）	2	-1	7	-	可
画質（JPEG オプション、TIFF オプション）	4	-1	7	-	可
最大 MB（「ファイルオプション」の項目）	50MB	1	512MB	-	可

加工フィールド追加」画面／「加工フィールド編集」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
出力名	空白	1	255 文字	-	不可
何番目の要素	空白	0	999	-	可
固定文字列	空白	1	255 文字	-	可

- **「データ抽出設定」タブ**

フィールドリスト（「適用対象の単位」で「ページ」を選択時）

フィールドの登録数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	かんたん作成、PaperStream Capture のこだわり作成：20 個 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のこだわり作成：100 個	-	-

帳票リスト（「適用対象の単位」で「帳票」を選択時）

帳票の登録数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	かんたん作成：1 個 こだわり作成：150 個	こだわり作成の場合、「仕分け設定」タブの帳票リストの登録数と合わせて、150 個まで	-

- **「仕分け設定」タブ**

ページ（「ページ数」選択時）

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
1	1	999	-	-

「バーコード文字列」チェックボックスの入力域

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
空白	1	128 バイト	-	-

帳票リスト（「帳票識別」選択時）

帳票の登録数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	かんたん作成：1 個 こだわり作成：150 個	「データ抽出設定」タブの帳票リストの登録数と合わせて、150 個まで	-

- **「フィールド定義」画面**

フィールドリスト

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
フィールド名	新規フィールド-nnn	-	255 文字	使用禁止文字（/ : ? * < > | [ ] = " $! `）は使用できません。	不可
フィールド数	0	-	PaperStream Capture : 1 個 PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium : 100 個 クラウド帳票の場合、通常のフィールドと明細の列（列フィールドの最大値は 20）の合計が 100 以下	-	-

読み取りエリア

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
出力文字	-	-	255 文字	半角または全角文字 使用禁止文字（/ : ? * < > | [ ] = " $! `）は使用できません。	可
未記入時の出力文字	-	-	255 文字	半角または全角文字 使用禁止文字（/ : ? * < > | [ ] = " $! `）は使用できません。	可

- **「帳票識別フィールド設定」画面**

フィールド数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
1	-	-	-	-

キーワード

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	255 文字	-	不可

- **「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時） / 「QC」画面 / 「インデックス」画面**

  マスキング数（手動設定）

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	100 個/ページ	-	-

- **「AI プロンプト定義」画面**

  AI プロンプト追加

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	511 文字	半角または全角文字 使用禁止文字（< > [ ] = " $! `）は使用できません。	-

第 42 章
仕様

42.1 ファイル形式

- **出力ファイル形式**

  PaperStream Capture で作成できるファイル形式は、以下のとおりです。

ファイル形式（拡張子）		画像タイプ（ビット数）	圧縮形式
BMP（.bmp）		白黒	非圧縮
		8bit グレー	非圧縮
		24bit カラー	非圧縮
JPEG2000（.j2k）		24bit カラー	JPEG2000
JPEG（.jpg）（*1）		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG / Progressive JPEG
PDF（.pdf）（*2）（*3）	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000
PDF/A（.pdf）（*3）（*4）	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000
TIFF（.tif）（*3）（*5）		白黒	非圧縮 / CCITT G3(1D) / CCITT G3(2D) / CCITT G4 / JBIG / LZW / Packbits
		8bit グレー	非圧縮 / LZW / Packbits / JPEG
		24bit カラー	非圧縮 / Packbits / JPEG / Progressive JPEG
PNG（.png）		白黒	ZIP
		8bit グレー	ZIP

ファイル形式（拡張子）	画像タイプ（ビット数）	圧縮形式
	24bit カラー	ZIP
リッチテキスト形式（.rtf）（*6）（*7）	白黒	ZIP
	8bit グレー	JPEG
	24bit カラー	JPEG
Word 文書（.docx）（*2）	白黒	-
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-
Excel 文書（.xlsx）（*2）	白黒	-
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-
PowerPoint 文書（.pptx）（*2）	白黒	-
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-

***1 :**「ScanSnap Manager for fi 互換」での出力に対応しているファイル形式です。ただし、Progressive JPEG には、対応していません。

***2 :**「ScanSnap Manager for fi 互換」での出力に対応しているファイル形式です。

***3 :** マルチページ形式で出力できます。

***4 :** 準拠レベルは 「PDF のバージョン」の指定に従います。
ただし、「PDF のバージョン」で「PDF/A-1b」を選択し、かつ、19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「PDF オプション」で、「カラー高圧縮を行う」または「グレー高圧縮を行う」チェックボックスのチェックが付いている場合は、PDF/A-2b となります。

***5 :** マルチページ形式の場合、2GB を超える TIFF ファイルは出力できません。
2GB を超える場合は、先頭からすべてのページをシングルページの TIFF ファイル形式として出力します。
シングルページの TIFF ファイルは、以下のファイル名で出力されます。

- ファイル名に固定名が指定されている場合、固定名 + 連番（数字 4 桁）
- ファイル名オプションに「ページカウンター」が指定されていない場合、ファイル名オプションで生成するファイル名 + 連番（数字 4 桁）
- ファイル名オプションに「ページカウンター」が指定されている場合、ファイル名オプションに従う

***6 :** ファイルサイズが 512MB を超える場合は、出力エラーとなります。
出力するファイルをマルチページに対応したファイル形式に変更して、19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「ファイルオプション」で、マルチページファイルの出力サイズを 512MB 以下に指定し、ファイルを分割することで出力できます。

***7 :** ファイルの出力時間が遅くなる場合があります。

- **入力ファイル形式**

  PaperStream Capture で、「ファイルの追加」ができるファイル形式は、以下のとおりです。

ファイル形式（拡張子）	画像タイプ（ビット数）	圧縮形式
BMP（.bmp/.dib）	白黒	非圧縮
	8bit グレー	非圧縮
	24bit カラー	非圧縮
JPEG2000（.j2k）	24bit カラー	JPEG2000
JPEG（.jpg/.jpeg/.jpe/.jfif）	8bit グレー	JPEG
	24bit カラー	JPEG / Progressive JPEG
PDF（.pdf）（*1）	白黒	CCITT G4 / JBIG2
	8bit グレー	JPEG / JPEG2000
	24bit カラー	JPEG / JPEG2000
TIFF（.tif/.tiff）	白黒	非圧縮 / CCITT G3(1D) / CCITT G3(2D) / CCITT G4 / JBIG / LZW / Packbits
	8bit グレー	非圧縮 / LZW / Packbits / JPEG
	24bit カラー	非圧縮 / Packbits / JPEG / Progressive JPEG
PNG（.png）	白黒	ZIP
	8bit グレー	ZIP
	24bit カラー	ZIP

***1：**以下のファイル形式はファイルの追加ができません。

- タイムスタンプおよび署名を付与した PDF ファイル
- パスワードを付与した PDF ファイル

重要

- 「ファイルの追加」で、PaperStream Capture、PaperStream Capture Pro、PaperStream Capture Pro Premium、PaperStream Capture Lite、ScanSnap Manager for fi Series、および ScandAll PRO が出力したファイル以外を選択した場合の動作は保証されません。

関連項目

42.4 既定の圧縮形式 (660 ページ)

42.2 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture）

対応しているファイル形式、出力項目、および順序は、以下のとおりです。

- **ファイル形式**

  ここでは、デフォルトの出力項目を例に説明します。

  Unicode テキスト

  仕分け No. [TAB] 現在のドキュメントの総ページ数 [TAB] ドキュメントのページ番号 [TAB] ページ番号 [TAB] 実際のページ番号 [TAB] YYYY/MM/DD hh:mm:ss [TAB] コンピューター名 [TAB] ユーザー名 [TAB] フルパス [TAB] ファイル名 [TAB] フォルダー名 [TAB] 装置名 [TAB] 解像度 [TAB] 幅 [TAB] 高さ [TAB] ビットの深さ [TAB] "バーコード" [TAB] バーコードの種類 [TAB] "ゾーン OCR" [TAB] マーク-利用者 [TAB] マーク-重送 [TAB] マーク-折れ/破れ [TAB] マーク-白紙 [TAB] マーク-原稿識別精度（ドライバー） [TAB] "バーコード(仕分け)" [TAB] バーコードの種類(仕分け) [TAB] "ゾーン OCR(仕分け)" [TAB] 原稿識別名-ドライバー（仕分け） [TAB] 帳票名 [TAB] 帳票-（帳票名）-（フィールド名） [TAB] シート番号 [TAB] ファイルサイズ（バイト） [TAB] 現在のドキュメントの総シート数 [TAB] ドキュメント仕分け値

  - Unicode（UTF-16 Little Endian）で出力されます。
  - ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は「"」（ダブルクォート）で囲まれます。また、各項目は TAB 文字で区切られます。
  - 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
  - ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果の文字列がない場合は、空文字（""）となります。
  - 2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
  - ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
  - ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に「"」が含まれていた場合は、「""」に変換されます。
  - バーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、バーコードの認識結果は出力されません。

  CSV

  「,」（カンマ）を区切り文字に指定した例：

  "仕分け No.","現在のドキュメントの総ページ数","ドキュメントのページ番号","ページ番号","実際のページ番号","YYYY/MM/DD hh:mm:ss","コンピューター名","ユーザー名","フルパス","ファイル名","フォルダー名","装置名","解像度","幅","高さ","ビットの深さ","バーコード

","バーコードの種類","ゾーン OCR","マーク-利用者","マーク-重送","マーク-折れ/破れ","マーク-白紙","マーク-原稿識別精度（ドライバー）","バーコード(仕分け)","バーコードの種類(仕分け)","ゾーン OCR（仕分け）","原稿識別名-ドライバー（仕分け）","帳票名","帳票-（帳票名）-（フィールド名）","シート番号","ファイルサイズ（バイト）","現在のドキュメントの総シート数","ドキュメント仕分け値"

- 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「UTF-8 で出力する」チェックボックスの設定によって、以下のように出力されます。
  - チェックが付いている場合
    UTF-8（8-bit UCS Transformation Format）で出力されます。
  - チェックが外れている場合
    システムロケールで設定している言語のデフォルト文字コードで出力されます。
- 各項目は「"」（ダブルクォート）で囲まれます。また、各項目は指定した区切り文字で区切られます。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果の文字列がない場合は、空文字（""）となります。
- 2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に「"」が含まれていた場合は、「""」に変換されます。
- バーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、バーコードの認識結果は出力されません。

XML

```
<?xml version = "1.0" encoding = "utf-8"?>
<root>
<page>
<item name = "Separator No." value = "仕分け No." />
<item name = "Total pages in current document" value = "現在のドキュメントの総ページ数" />
<item name = "Page Number in Document" value = "ドキュメントのページ番号" />
<item name = "Page number" value = "ページ番号" />
<item name = "Actual page number" value = "実際のページ番号" />
<item name = "Date&Time" value = "日付と時刻" />
<item name = "Computer name" value = "コンピューター名" />
```

```
<item name = "User name" value = "ユーザー名" />
<item name = "Full Path" value = "フルパス" />
<item name = "File name" value = "ファイル名" />
<item name = "Folder name" value = "フォルダー名" />
<item name = "Scanner name" value = "装置名" />
<item name = "Resolution" value = "解像度" />
<item name = "Width" value = "幅" />
<item name = "Height" value = "高さ" />
<item name = "Bit depth" value = "ビットの深さ" />
<item name = "Barcode" value = "バーコード" />
<item name = "Barcode type" value = "バーコードの種類" />
<item name = "Zone OCR" value = "ゾーン OCR" />
<item name = "Mark-user" value = "マーク-利用者" />
<item name = "Mark-multifeed" value = "マーク-重送" />
<item name = "Mark-AIQC" value = "マーク-折れ/破れ" />
<item name = "Mark-blank page" value = "マーク-白紙" />
<item name = "Mark-APS" value = "マーク-原稿識別精度（ドライバー）" />
<item name = "Barcode(Separator)" value = "バーコード(仕分け)" />
<item name = "Barcode type(Separator)" value = "バーコードの種類(仕分け)" />
<item name = "Zone OCR(Separator)" value = "ゾーン OCR(仕分け)" />
<item name = "Form Name(Separator)" value = "原稿識別名-ドライバー（仕分け）" />
<item name = "Form Name" value = "帳票名" />
<item name = "帳票-フィールド名（フィールド種別）" value = "帳票-（帳票名）-（フィールド名）" />
<item name = "Sheet number" value = "シート番号" />
<item name = "File size (bytes)" value = "ファイルサイズ（バイト）" />
<item name = "Total sheets in current document" value = "現在のドキュメントの総シート数" />
<item name = "Document separator value" value = "ドキュメント仕分け値" />
</page>
.
.
</root>
```

- UTF-8（8-bit UCS Transformation Format）で出力します。
- ページ単位の情報は「page」エレメントで区切られます。ページ内各項目情報は「item」エレメントで区切られます。「item」エレメントの「name」属性の内容は該当項目の XML 項目名です。「value」属性に格納した内容が該当項目の値です。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます（XML としては意味を持たない文字列となります）。
- 「<」、「>」、「&」、「"」は、エンティティ参照となります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果の文字列がない場合は、空文字（""）となります。

- 2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
- バーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、バーコードの認識結果は出力されません。

- **出力項目と順序**

以下の項目が出力されます。
出力項目と順序は、19.5.13 「インデックス一覧オプション」画面 (306 ページ)で変更できます。

項目名	説明	XML 項目名
フィールド名 (*1)	フィールド名に対応したフィールド値 ただし、フィールド種別がゾーン OCR の場合、認識文字列の出力は先頭 128 文字となります。	フィールド名（フィールド種別）
-	フィールド名に対応したバーコードの種類 (*2)	フィールド名（Barcode Type）
仕分け No.	ドキュメント番号	Separator No.
現在のドキュメントの総ページ数	ドキュメント内の総ページ数	Total pages in current document
ドキュメントのページ番号	ドキュメント内のページ番号 ただし、シングルページ形式のファイルの場合は、常に「1」が出力されます。	Page Number in Document
ページ番号	先頭からのページ番号	Page number
実際のページ番号	白紙スキップや仕分け用原稿の破棄で読み飛ばされたページを含めたページ番号 (*3)(*4)(*5)(*6)	Actual page number
日付と時刻	読み取りを開始した日付 + 時刻	Date&Time
コンピューター名	読み取りを実行したコンピューター名	Computer name
ユーザー名	読み取りを実行したユーザー名	User name
フルパス	ファイル名（フルパス）	Full Path
ファイル名	ファイル名	File name
フォルダー名	フォルダー名	Folder name
装置名	スキャナー装置名	Scanner name
解像度	画像の解像度。単位は dpi。 解像度が取得できない場合は、0 が出力されます。	Resolution

項目名	説明	XML 項目名
幅	画像の幅。単位はピクセル。	Width
高さ	画像の高さ。単位はピクセル。	Height
ビットの深さ	画像のビットの深さ	Bit depth
バーコード(*1)(*7)	バーコード認識文字列 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode
バーコードの種類(*7)	認識したバーコードの種類 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode type
ゾーン OCR (*1)(*8)	ゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字	Zone OCR
マーク-利用者	利用者マークが付けられているかどうかが出力されます。 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-user
マーク-重送	重送検出によってマークが付けられているかどうかが出力されます。(*9) 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-multifeed
マーク-折れ/破れ	画像認識チェック機能（折れ/破れ）によってマークが付けられているかどうかが出力されます。(*9) 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-AIQC
マーク-白紙	白紙マークが付けられているかどうかが出力されます。 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-blank page
マーク-原稿識別精度（ドライバー）	原稿の識別精度によってマークが付けられているかどうかが出力されます。 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-APS
シート番号 (*10)	実際の原稿番号	Sheet number
バーコード(仕分け)	仕分けのバーコード認識文字列	Barcode(Separator)

項目名	説明	XML 項目名
バーコードの種類(仕分け)	認識したバーコードの種類	Barcode type(Separator)
ゾーン OCR(仕分け)	仕分けのゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字	Zone OCR(Separator)
原稿識別名-ドライバー（仕分け）	仕分けとして使用した PaperStream IP のドライバープロファイルの名前が出力されます。	Form Name(Separator)
帳票名	帳票名が出力されます。	Form Name
帳票-(帳票名)-(フィールド名)	帳票名と帳票のフィールド名が出力されます。	帳票名-フィールド名(フィールド種別)
バッチフォルダー名	バッチフォルダーの名前が出力されます。	Batch folder name
ジョブ名	ジョブの名前が出力されます。	Profile Name
ファイルサイズ(バイト)	ドキュメントのファイルファイズ	File size (bytes)
現在のドキュメントの総シート数(*11)	ドキュメント内の総ページ数（シート番号のカウント数）	Total sheets in current document
ドキュメント仕分け値	ドキュメント仕分け値	Document separator value
文字列 1 ～ 4	文字列に入力した文字が出力されます。	Character string 1 ～ 4

***1：** 認識結果を編集した場合、入力した値が、文字数の制限なくそのまま出力されます。

***2：** フィールドの種別がバーコードの場合に出力されます。

***3：** ページを挿入、差し替え、または追加した場合、前回の最後のページ番号から継続せず、1 から振り直されます。

***4：** 以下の場合、値は空文字（""）になります。

- 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合
- PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用した場合

***5：** ページをコピーした場合の値は、コピー元と同じになります。

***6：** 最終ページが白紙スキップやハードウェアジョブ仕分け用原稿の破棄によってスキップされ、その状態で継続読み取りを行った場合、スキップされたページは「実際のページ番号」にカウントされません。

***7：** 仕分けの種類のバーコードだけが設定されている場合は、バーコード(仕分け)またはバーコードの種類(仕分け)と同じ値が出力されます。

***8：** 仕分けの種類のゾーン OCR だけが設定されている場合は、ゾーン OCR（仕分け）と同じ値が出力されます。

***9 :** 重送検出と画像認識チェック機能の異常検出とを同時に検出した場合、重送だけが有効となり、マーク-重送が 1、マーク-折れ/破れが 0 となります。

***10 :** 以下の場合、値は 0 になります。

- 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合
- PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用した場合

***11 :** 「ファイルの追加」などの操作で追加された画像のシート番号は 0 となり、「現在のドキュメントの総シート数」に加算されません。

関連項目

19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)

42.3 インデックス情報ファイル形式（PaperStream Capture Pro、PaperStream Capture Pro Premium）

対応しているファイル形式、出力項目、および順序は、以下のとおりです。

- **ファイル形式**

  ここでは、すべての項目が出力された状態を例に説明します。
  ただし、ジョブの設定によっては、出力される項目が異なります。

  Unicode テキスト

  "フィールド値" [TAB] バーコードの種類 [TAB] 仕分け No. [TAB] 現在のドキュメントの総ページ数 [TAB] ドキュメントのページ番号 [TAB] ページ番号 [TAB] 実際のページ番号 [TAB] YYYY/MM/DD hh:mm:ss [TAB] コンピューター名 [TAB] ユーザー名 [TAB] フルパス [TAB] ファイル名 [TAB] フォルダー名 [TAB] 装置名 [TAB] 解像度 [TAB] 幅 [TAB] 高さ [TAB] ビットの深さ [TAB] "バーコード" [TAB] バーコードの種類 [TAB] "ゾーン OCR" [TAB] マーク-利用者 [TAB] マーク-重送 [TAB] マーク-折れ/破れ [TAB] マーク-白紙 [TAB] マーク-原稿識別精度（ドライバー） [TAB] "バーコード(仕分け)" [TAB] バーコードの種類(仕分け) [TAB] "ゾーン OCR(仕分け)" [TAB] 原稿識別名-ドライバー（仕分け） [TAB] 帳票名 [TAB] 帳票-（帳票名）-（フィールド名） [TAB] シート番号 [TAB] バッチフォルダー名 [TAB] ジョブ名 [TAB] ファイルサイズ（バイト） [TAB] 現在のドキュメントの総シート数 [TAB] ドキュメント仕分け値 [TAB] 文字列 1 [TAB] 文字列 2 [TAB] 文字列 3 [TAB] 文字列 4

  - Unicode（UTF-16 Little Endian）で出力されます。
  - 各項目は TAB 文字で区切られます。
  - 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
  - 2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。

- ゾーン OCR またはバーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は出力されません。
- 上記の出力例のうち、以下の対応項目は、出力に規則があります。
  - 対応項目
    - フィールド値
      - バーコードの種類
    - バーコード
      - バーコードの種類
    - ゾーン OCR
    - バーコード(仕分け)
      - バーコードの種類(仕分け)
    - ゾーン OCR(仕分け)
    - 原稿識別名-ドライバー（仕分け）
  - 出力規則
    - 対応項目に文字列がない場合は、空文字（""）となります。
    - 対応項目に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
    - 対応項目に「"」が含まれていた場合は、「""」に変換されます。

CSV

「,」（カンマ）を区切り文字に指定した例：

```
"フィールド値","バーコードの種類","仕分け No.","現在のドキュメントの総ページ数","ドキュメントのページ番号","ページ番号","実際のページ番号","YYYY/MM/DD hh:mm:ss","コンピューター名","ユーザー名","フルパス","ファイル名","フォルダー名","装置名","解像度","幅","高さ","ビットの深さ","バーコード","バーコードの種類","ゾーン OCR","マーク-利用者","マーク-重送","マーク-折れ/破れ","マーク-白紙","マーク-原稿識別精度（ドライバー）","バーコード(仕分け)","バーコードの種類(仕分け)","ゾーン OCR（仕分け）","原稿識別名-ドライバー（仕分け）","帳票名","帳票-（帳票名）-（フィールド名）","シート番号","バッチフォルダー名","ジョブ名","ファイルサイズ（バイト）","現在のドキュメントの総シート数","ドキュメント仕分け値","文字列 1 ","文字列 2 ","文字列 3 ","文字列 4 "
```

- 19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)の「UTF-8 で出力する」チェックボックスの設定によって、以下のように出力されます。
  - チェックが付いている場合
    UTF-8（8-bit UCS Transformation Format）で出力されます。
  - チェックが外れている場合
    システムロケールで設定している言語のデフォルト文字コードで出力されます。

- 各項目は「"」（ダブルクォート）で囲まれます。また、各項目は指定した区切り文字で区切られます。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
- 2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR またはバーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると仕分け用原稿の次のページに対してゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は出力されません。
- 上記の出力例のうち、以下の対応項目は、出力に規則があります。
  - 対応項目
    - フィールド値
      - バーコードの種類
    - バーコード
      - バーコードの種類
    - ゾーン OCR
    - バーコード(仕分け)
      - バーコードの種類(仕分け)
    - ゾーン OCR(仕分け)
    - 原稿識別名-ドライバー（仕分け）
  - 出力規則
    - 対応項目に文字列がない場合は、空文字（""）となります。
    - 対応項目に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
    - 対応項目に「"」が含まれていた場合は、「""」に変換されます。

XML

```
<?xml version = "1.0" encoding = "utf-8"?>
<root>
<page>
<item name = "フィールド名（フィールドの種別）" value = "フィールド値" />
<item name = "フィールド名（Barcode Type）" value = "バーコードの種類" />
<item name = "Separator No." value = "仕分け No." />
<item name = "Total pages in current document" value = "現在のドキュメントの総ページ数" />
<item name = "Page Number in Document" value = "ドキュメントのページ番号" />
<item name = "Scan page number" value = "ページ番号" />
```

```
<item name = "Actual page number" value = "実際のページ番号" />
<item name = "Date&Time" value = "日付と時刻" />
<item name = "Computer name" value = "コンピューター名" />
<item name = "User name" value = "ユーザー名" />
<item name = "Full Path" value = "フルパス" />
<item name = "File name" value = "ファイル名" />
<item name = "Folder name" value = "フォルダー名" />
<item name = "Scanner name" value = "装置名" />
<item name = "Resolution" value = "解像度" />
<item name = "Width" value = "幅" />
<item name = "Height" value = "高さ" />
<item name = "Bit depth" value = "ビットの深さ" />
<item name = "Barcode" value = "バーコード" />
<item name = "Barcode type" value = "バーコードの種類" />
<item name = "Zone OCR" value = "ゾーン OCR" />
<item name = "Mark-user" value = "マーク-利用者" />
<item name = "Mark-multifeed" value = "マーク-重送" />
<item name = "Mark-AIQC" value = "マーク-折れ/破れ" />
<item name = "Mark-blank page" value = "マーク-白紙" />
<item name = "Mark-APS" value = "マーク-原稿識別精度（ドライバー）" />
<item name = "Barcode(Separator)" value = "バーコード(仕分け)" />
<item name = "Barcode type(Separator)" value = "バーコードの種類(仕分け)" />
<item name = "Zone OCR(Separator)" value = "ゾーン OCR(仕分け)" />
<item name = "Form Name(Separator)" value = "原稿識別名-ドライバー（仕分け）" />
<item name = "Form Name" value = "帳票名" />
<item name = "帳票名-フィールド名（フィールド種別）" value = "帳票-（帳票名）-（フィールド名）" />
<item name = "Sheet number" value = "シート番号" />
<item name = "Batch folder name" value = "バッチフォルダー名" />
<item name = "Profile Name" value = "ジョブ名" />
<item name = "File size (bytes)" value = "ファイルサイズ（バイト）" />
<item name = "Total sheets in current document" value = "現在のドキュメントの総シート数" />
<item name = "Document separator value" value = "ドキュメント仕分け値" />
<item name = "Character string 1" value = "文字列 1" />
<item name = "Character string 2" value = "文字列 2" />
<item name = "Character string 3" value = "文字列 3" />
<item name = "Character string 4" value = "文字列 4" />
</page>
.
.
</root>
```

- UTF-8（8-bit UCS Transformation Format）で出力します。

- ページ単位の情報は「page」エレメントで区切られます。ページ内各項目情報は「item」エレメントで区切られます。「item」エレメントの「name」属性の内容は該当項目の XML 項目名です。「value」属性に格納した内容が該当項目の値です。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます（XML としては意味を持たない文字列となります）。
- 「<」、「>」、「&」、「"」は、エンティティ参照となります。
- 2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR またはバーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は出力されません。
- 上記の出力例のうち、以下の対応項目は、出力に規則があります。
  - 対応項目
    - フィールド値
      - バーコードの種類
    - バーコード
      - バーコードの種類
    - ゾーン OCR
    - バーコード(仕分け)
      - バーコードの種類(仕分け)
    - ゾーン OCR(仕分け)
    - 原稿識別名-ドライバー（仕分け）
  - 出力規則
    - 対応項目に文字列がない場合は、空文字（""）となります。
    - 対応項目に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。

- **出力項目と順序**

以下の項目が出力されます。
出力項目と順序は、19.5.13 「インデックス一覧オプション」画面 (306 ページ)で変更できます。

項目名	説明	XML 項目名
フィールド名 (*1)	フィールド名に対応したフィールド値 ただし、フィールド種別がゾーン OCR の場合、認識文字列の出力は先頭 128 文字となります。	フィールド名（フィールド種別）

項目名	説明	XML 項目名
-	フィールド名に対応したバーコードの種類 (*2)	フィールド名（Barcode Type）
仕分け No.	ドキュメント番号	Separator No.
現在のドキュメントの総ページ数	ドキュメント内の総ページ数	Total pages in current document
ドキュメントのページ番号	ドキュメント内のページ番号 ただし、シングルページ形式のファイルの場合は、常に「1」が出力されます。	Page Number in Document
ページ番号	先頭からのページ番号	Scan page number
実際のページ番号	白紙スキップや仕分け用原稿の破棄で読み飛ばされたページを含めたページ番号 (*3)(*4)(*5)(*6)	Actual page number
日付と時刻	読み取りを開始した日付 + 時刻	Date&Time
コンピューター名	読み取りを実行したコンピューター名	Computer name
ユーザー名	読み取りを実行したユーザー名	User name
フルパス	ファイル名（フルパス）	Full Path
ファイル名	ファイル名	File name
フォルダー名	フォルダー名	Folder name
装置名	スキャナー装置名	Scanner name
解像度	画像の解像度。単位は dpi。 解像度が取得できない場合は、0 が出力されます。	Resolution
幅	画像の幅。単位はピクセル。	Width
高さ	画像の高さ。単位はピクセル。	Height
ビットの深さ	画像のビットの深さ	Bit depth
バーコード (*1) (*7)	バーコード認識文字列 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode
バーコードの種類 (*7)	認識したバーコードの種類 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode type

項目名	説明	XML 項目名
ゾーン OCR (*1) (*8)	ゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「ゾーン OCR」を指定した場合、最初に「ゾーン OCR」を指定したフィールド属性の、ゾーン OCR の情報が出力されます。	Zone OCR
マーク-利用者	利用者マークが付けられているかどうかが出力されます。 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-user
マーク-重送	重送検出によってマークが付けられているかどうかが出力されます。(*9) 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-multifeed
マーク-折れ/破れ	画像認識チェック機能（折れ / 破れ）によってマークが付けられているかどうかが出力されます。(*9) 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-AIQC
マーク-白紙	白紙マークが付けられているかどうかが出力されます。 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-blank page
マーク-原稿識別精度（ドライバー）	原稿の識別精度によってマークが付けられているかどうかが出力されます。 0：マークが付けられていない 1：マークが付けられている	Mark-APS
シート番号 (*10)	実際の原稿番号	Sheet number
バーコード(仕分け)	仕分けのバーコード認識文字列	Barcode(Separator)
バーコードの種類(仕分け)	認識したバーコードの種類	Barcode type(Separator)
ゾーン OCR(仕分け)	仕分けのゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字	Zone OCR(Separator)
原稿識別名-ドライバー（仕分け）	仕分けとして使用した PaperStream IP のドライバープロファイルの名前が出力されます。	Form Name(Separator)
帳票名	帳票名が出力されます。	Form Name
帳票-（帳票名）-（フィールド名）	帳票名と帳票のフィールド名が出力されます。	帳票名-フィールド名 (フィールド種別)

項目名	説明	XML 項目名
バッチフォルダー名	バッチフォルダーの名前が出力されます。	Batch folder name
ジョブ名	ジョブの名前が出力されます。	Profile Name
ファイルサイズ (バイト)	ドキュメントのファイルファイズ	File size (bytes)
現在のドキュメントの総シート数 (*11)	ドキュメント内の総ページ数（シート番号のカウント数）	Total sheets in current document
ドキュメント仕分け値	ドキュメント仕分け値	Document separator value
文字列 1 ～ 4	文字列に入力した文字が出力されます。	Character string 1 ～ 4

***1 :** 認識結果を編集した場合、入力した値が、文字数の制限なくそのまま出力されます。

***2 :** フィールドの種別がバーコードの場合に出力されます。

***3 :** ページを挿入、差し替え、または追加した場合、前回の最後のページ番号から継続せず、1 から振り直されます。

***4 :** 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合、値は空文字（""）になります。

***5 :** ページをコピーした場合の値は、コピー元と同じになります。

***6 :** 最終ページが白紙スキップやハードウェアジョブ仕分け用原稿の破棄によってスキップされ、その状態で継続読み取りを行った場合、スキップされたページは「実際のページ番号」にカウントされません。

***7 :** 仕分けの種類のバーコードだけが設定されている場合は、バーコード(仕分け)またはバーコードの種類(仕分け)と同じ値が出力されます。

***8 :** 仕分けの種類のゾーン OCR だけが設定されている場合は、ゾーン OCR（仕分け）と同じ値が出力されます。

***9 :** 重送検出と画像認識チェック機能の異常検出とを同時に検出した場合、重送だけが有効となり、マーク-重送が 1、マーク-折れ/破れが 0 となります。

***10 :** 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合、値は 0 になります。

***11 :** 「ファイルの追加」などの操作で追加された画像のシート番号は 0 となり、「現在のドキュメントの総シート数」に加算されません。

関連項目

19.5 「出力先設定」タブ (260 ページ)

42.4 既定の圧縮形式

既定の圧縮形式に従う場合、以下の圧縮形式が設定されます。

ファイル形式（拡張子）		画像タイプ（ビット数）	圧縮形式
BMP（.bmp）		白黒	非圧縮
		8bit グレー	非圧縮
		24bit カラー	非圧縮
JPEG2000（.j2k）		24bit カラー	JPEG2000
JPEG（.jpg）		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
PDF（.pdf）	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000
PDF/A（.pdf）（*1）	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000
TIFF（.tif）		白黒	CCITT G4
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
PNG（.png）		白黒	ZIP
		8bit グレー	ZIP
		24bit カラー	ZIP
リッチテキスト形式（.rtf）		白黒	ZIP
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
Word 文書（.docx）		白黒	-
		8bit グレー	-
		24bit カラー	-
Excel 文書（.xlsx）		白黒	-

ファイル形式（拡張子）	画像タイプ（ビット数）	圧縮形式
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-
PowerPoint 文書（.pptx）	白黒	-
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-

***1：**準拠レベルは 「PDF/A のバージョン」の指定に従います。
ただし、「PDF/A のバージョン」で「PDF/A-1b」を選択し、かつ、19.5.8 「オプション設定」画面 (280 ページ)の「PDF オプション」で、「カラー高圧縮を行う」または「グレー高圧縮を行う」チェックボックスのチェックが付いている場合は、PDF/A-2b となります。

関連項目

42.1 ファイル形式 (644 ページ)

42.5 収集するデータ

「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro Premium 管理ツール」画面の「サポート」タブにある「データ収集」で、「操作データを出力する」チェックボックスにチェックを付けると、PaperStream Capture の使用状況を収集し、TSV 形式で出力します。
収集するデータは、以下のとおりです。

カテゴリー	項目名	項目内容
General	Batch id	バッチ id 値の形式は数字です。
	Batch name	バッチ名 値の形式は文字列です。（*1）
	Profile name	ジョブ名 値の形式は文字列です。
	Suspended	一度一時中断したかどうか 値の形式は文字列です。 ● 一時中断した場合：True ● 一時中断しなかった場合：False
	Exception	エラーコード 値の形式は文字列です。（*1）
Scanning	Operator name	バッチを完了したユーザー名 値の形式は文字列です。（*1）
	Start time	スキャン開始時間 値の形式は時刻です。（*2）（*3）

カテゴリー	項目名	項目内容
	End time	スキャン終了時間 値の形式は時刻です。(*1)(*3)
	Doc count	合計ドキュメント数 値の形式は数字です。
	Page count	合計ページ数 値の形式は数字です。
	Auto-Deletions	空白が出力されます。
	Device	スキャナー機種 値の形式は文字列です。(*2)
QC	Operator name	バッチを完了したユーザー名 値の形式は文字列です。(*1)
	Start time	QC 開始時間 値の形式は時刻です。(*2)(*3)
	End time	QC 終了時間 値の形式は時刻です。(*1)(*3)
	Doc count	合計ドキュメント数 値の形式は数字です。
	Page count	合計ページ数 値の形式は数字です。
	Manual-Deletions	削除ページ数 値の形式は数字です。
	Insertions	追加ファイル回数 値の形式は数字です。
	Moves	ページ移動した回数 値の形式は数字です。
	Separations	原稿を分割した回数 値の形式は数字です。
	Merges	原稿を結合した回数 値の形式は数字です。
	Scan Additions	追加スキャン回数 値の形式は数字です。
	Scan Replacements	置き換えスキャン回数 値の形式は数字です。
	Jams	空白が出力されます。
	Multi-feeds	空白が出力されます。

カテゴリー	項目名	項目内容
	ASC count	画質補正したページ数 値の形式は数字です。
Indexing	Operator name	バッチを完了したユーザー名 値の形式は文字列です。(*1)
	Start time	インデックス開始時間 値の形式は時刻です。(*2) (*3)
	End time	インデックス終了時間 値の形式は時刻です。(*1) (*3)
	Doc count	合計ドキュメント数 値の形式は数字です。
	Key clicks	キーボード押した回数 値の形式は数字です。
	Field count	フィールド数（隠れているフィールドは統計されない） 値の形式は数字です。
	Fields modified	値が修正されたフィールドの合計数 値の形式は数字です。
	Error count	出力時にエラーになるフィールド数の累積値 値の形式は数字です。
Release	Start time	出力開始時間 値の形式は時刻です。(*2) (*3)
	End time	出力終了時間 値の形式は時刻です。(*1) (*3)
	Destination	出力先 値の形式は文字列です。

***1 :** 一時保存、例外の終了時間、および再開時間も含みます。

***2 :** 複数回の一時保存などによって、スキャン、QC、およびインデックスの操作が何度も行われた場合、「Start time」は初回の時間、「End time」は最後の時間を出力します

***3 :** 収集データは、UTC を基準に、出力を行うワークステーションのタイムゾーンに合わせて、YYYY-MM-dd HH:mm:ss.fff へ変換して出力します。

42.6 バーコードの種類と検知条件

PaperStream Capture では、以下の種類のバーコードを検知できます。
また、バーコードの検知条件も示します。
検知条件を満たさないバーコードは、正しく認識されない場合があります。

- **1 次元バーコード**



例：Code 3 of 9

コード	キャラクターセット	桁数
UPC-A / EAN / JAN	数字	UPC-A ：12（チェックデジットを含む） EAN / JAN：8 または 13（チェックデジットを含む）
Code 3 of 9	ASCII データ	1 ～ 128 （スタート・ストップコードを含まない）
CODE128 / EAN128	ASCII データ	1 ～ 128 （チェックキャラクターを含まない）
Codabar(NW7)	4 種類のスタート・ストップキャラクター、数字、6 種類の記号	1 ～ 128 （スタート・ストップコードを含まない）
ITF	数字	2 ～ 128（必ず偶数桁）

- **2 次元コード**



例：PDF417



例：QR コード



例：Data Matrix

コード	キャラクターセット	桁数
PDF417	ASCII データ、バイナリーデータ（マルチバイト文字） 上記の混在	英数字混在：最大 1850 字 数字：最大 2710 桁 バイナリーデータ：最大 1108 バイト
QR コード	数字、英字、記号、マルチバイト文字、制御コード 上記の混在	英数字混在：最大 395 字 数字：最大 652 桁 全角文字：最大 167 文字
Data Matrix	ASCII データ、バイナリーデータ（マルチバイト文字） 上記の混在	英数字混在：最大 2335 字 数字：最大 3116 桁 バイナリーデータ：最大 1555 バイト

- **1 次元バーコードの検知条件**

項目	条件
バーコードの縦幅	10 ～ 30 mm
バーコードの横幅（長さ）	300 mm 以下
バーコードの余白	バーコードの周囲 5 mm 以上 （ITF の左端および右端は、5 mm 以上か、細エレメント幅の 6 倍以上のどちらか大きい方）
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	200 ～ 600 dpi
バーコードの角度	水平、垂直
細エレメント幅 / モジュール幅	• UPC-A/EAN/JAN 300 dpi 以上の場合：0.264 mm 以上 300 dpi 未満の場合：0.30 mm 以上 • Code 3 of 9/CODE128/EAN128/Codabar(NW7) 300 dpi 以上の場合：0.20 mm 以上 300 dpi 未満の場合：0.30 mm 以上

項目	条件
	• ITF 300 dpi 以上の場合：0.254 mm 以上 300 dpi 未満の場合：0.30 mm 以上
太エレメント幅	14.0 mm 以下 （UPC-A/EAN/JAN/CODE128/EAN128 では、最も太い（4 モジュール相当の）エレメント幅です）
キャラクター間ギャップ	• UPC-A/EAN/JAN/CODE128/EAN128/ITF キャラクター間ギャップは存在しません。 • Code 3 of 9/Codabar(NW7) 細エレメント幅以上で、1.52 mm または細エレメント幅の 3 倍のどちらか大きい方以下

- **PDF417 の検知条件**

項目	条件
モジュールの横幅	0.3 ～ 2.0 mm
モジュールの縦幅（高さ）	モジュールの幅の 3 倍以上推奨 (モジュールの幅の 2 倍未満となる場合は認識されません)
バーコードの横幅（全体幅）	25.5 ～ 170.0 mm
バーコードの縦幅（高さ）	10.0 ～ 30.0 mm
バーコードの余白	バーコードの周囲 5 mm 以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	200 ～ 600 dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	0/2/3/4/5/6/7

- **QR コードの検知条件**

項目	条件
モデル	モデル 2 ただし、ECI モード、FNC1 モードは未対応
バージョン	2 ～ 10
情報の種類	数字、英字、記号、マルチバイト文字、制御コード上記の混在
セルサイズ	0.28 mm 以上（0.40 mm 以上を推奨）
バーコードの余白	上下左右 4 セル以上

項目	条件
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	300 ～ 600 dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	L/M/Q/H

- **Data Matrix の検知条件**

項目	条件
バージョン	ECC200 ただし、FNC1 モード（GS1）は未対応
セルサイズ	0.50 mm 以上
バーコードの余白	シンボルの上下左右に 2 セル以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	300 ～ 600 dpi
バーコードの角度	水平、垂直

重要

- 認識領域に、複数のバーコードが存在した場合、最初に認識したバーコードが有効となります。
- 読み取った原稿に予期しないバーコードがあった場合、誤ってドキュメントが分割されたり、読み取りの指定によっては、読み取った画像が削除されたりする場合があるため、事前に原稿をよく確認してください。検知するバーコードの領域を限定することを推奨します。
- 同じシートを複数回使用すると、紙のよごれによって認識精度が低下する場合があります。正しく認識されない場合や紙がよごれた場合は、新しいシートに交換してください。
- 制御コードの認識が失敗した場合、認識結果が以下のようになることがあります。
  - 制御コードが数値として認識される
  - 制御コードだけではなく、それ以外の文字の一部も全く認識されず、無視される
- 19.6.2 「バーコードの設定」画面（データ抽出） (334 ページ)の「2 次元コード内に制御コード[NUL]以降のデータも出力」チェックボックスのチェックが外れている場合、2 次元コード内に制御コード［NUL］が含まれていると、［NUL］以降のデータは認識されません。
- 読み取り原稿が傾いている場合や PaperStream IP ドライバーの設定、バーコードの印刷状態によっては正しく認識できない場合があるため、事前に正しく認識されることを確認したあと、運用してください。

- バーコードの下地色、およびバーコードの色が白、黒以外の色の場合でも、認識ができる場合があります。カラーのバーコードを認識させる場合には、事前にカラー原稿の読み取り設定を調整して正しく認識されることを確認したあと、運用してください。
- 2 次元コードの認識結果に誤りが発生した場合は、バーコードを大きくするか、エラー訂正レベルを上げてください。
- バーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。

ヒント

- 複数のバーコードが印刷されている原稿を読み取った場合、フィールドの設定によって、バーコードの認識結果を以下のようにインデックスに設定します。
  - バーコードの認識領域がフィールドに設定されている場合
    領域内で最初に検出したバーコードの認識結果だけインデックスに設定します。
  - バーコードの認識領域がフィールドに設定されていない場合
    原稿の全領域でバーコードを検出し、検出したバーコード順で、各フィールドに対し、認識結果を 1 つずつインデックスに設定します。
- バーコードは、原稿を分割するために使用するか、文字列を認識してインデックス、ファイル名、およびフォルダー名に利用するかのどれかにだけ使用できます。
- バーコードを使用し、読み取り速度が低下した場合は、検知するバーコードの種類を少なくしたり、バーコードを検知する領域を小さくしたりすることで、読み取り速度が改善することがあります。

42.7 ゾーン OCR の検知条件

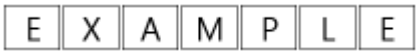
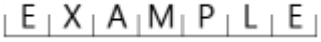
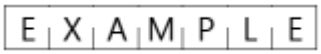
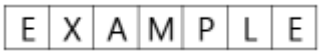
正しくゾーン OCR を実行するために、原稿（文字）や PaperStream IP ドライバーの設定を確認します。

- **原稿（文字）**

「適用対象の単位」で「ページ」を選択している場合

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、ゾーン OCR のエリア範囲を選択するときに、認識する文字に合わせて以下の種別を選択することで、下線付きや枠に囲まれている文字などが認識できます。対象の言語は英語 、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、インドネシア語、デンマーク語、ノルウェー語、ハンガリー語、またはフィンランド語です。それ以外の言語は、認識する文字の種別は選択できず、SimpleText で認識します。

種別	説明	例
SimpleText	境界線や下線がない文字を検出します。	EXAMPLE

種別	説明	例
UnderlinedText	下線がある文字を検出します。	
TextInFrame	囲み枠の中にある文字を検出します。	
GreyBoxes	灰色の背景の上にある、別個の白い背景内の文字を検出します。	
CharBoxSeries	別個の枠の中にある文字を検出します。	
SimpleComb	個々の文字の間を短い線で区切った下線上にある文字を検出します。	
CombInFrame	個々の文字の間を短い線で区切った囲み枠のある文字を検出します。	
PartitionedFrame	個々の文字の間を区切った枠の中にある文字を検出します。	

以下の原稿（文字）は、正しくゾーン OCR できない場合があります。

原稿

- 文字間隔および行間隔が極端に狭い、または広い原稿
- 文字の背景が不均一色の原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 設定言語以外の言語の原稿
- 上下逆さま、横向きの原稿や傾いた原稿
- 複雑なレイアウトの原稿、およびノイズの多い原稿
  （このような原稿では認識するのに非常に時間がかかる場合があります）
- 縦書きの原稿
- 段組された原稿

文字

- 手書き文字
- 低解像度での小さな文字（10 ポイント未満の文字）
- 大きな文字（24 ポイント以上の文字）
- 上下添え字、複雑な数式
- ボールド文字（太字）、イタリック文字（斜体）、影、白抜きなどの装飾がされている文字
- 下線付き文字、網がけ内の文字、枠に囲まれている文字（PaperStream Capture の場合）
  網がけ内の文字（PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合）

- 横方向または縦方向に拡大／縮小された文字

フォント

- 明朝、ゴシック、楷書体以外のフォント

文字種

- JIS 第一水準漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号（一部）以外の文字

「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium で「適用対象の単位」に「帳票」を選択している場合のゾーン OCR の仕様について説明します。該当しない言語や文字種の場合は正しく認識されません。

対象言語

- 日本語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- スペイン語

文字

以下の文字を認識できます。

- 活字
  ボールド文字（太字）、イタリック文字（斜体）も認識できます。
- 手書き文字
  以下の状態の手書き文字も認識できます。
  ただし、筆記体は対象外です。
  - 枠外にはみ出て記入した文字（罫線上の文字）
  - 斜めに書かれた複数行の文字
  - 活字と手書き文字が混在した行の文字

フォント

以下のフォントを認識できます。

- 英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語
  Arial、 Calibri、Times New Roman、 Meiryo UI、Verdana
- 日本語
  MS ゴシック、MS 明朝、游ゴシック、游明朝、UD デジタル教科書体 N-R、UD デジタル教科書体 N-B、BIZ UD ゴシック、BIZ UD 明朝、MS P ゴシック、MS P 明朝、MS UI Gothic、メイリオ、Meiryo UI、Yu Gothic UI、UD デジタル教科書体 NP-R、UD デジタル教科書体

NP-B、UD デジタル教科書体 NK-R、UD デジタル教科書体 NK-B、BIZ UDP ゴシック、BIZ UDP 明朝、OCR-B

手書き文字の形式と対象文字の種類

「フィールド属性」の「形式」の設定によって、認識対象の文字の種類が異なります。認識対象外の文字の場合、正しく認識できません。

言語	読み取り設定（形式）	認識対象の文字種
英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語	一般	英字、数字、記号
	氏名	英字、記号
	住所	英字、数字、記号
	電話番号	数字、記号
	数字・ハイフン	数字、記号
	日付	文字、数字、記号
	金額・数値	数字、記号
	メールアドレス	英字、数字、記号
日本語	一般	漢字、数字、英字、カタカナ、ひらがな、記号
	氏名	漢字、カタカナ、ひらがな
	住所	漢字、数字、英字、カタカナ、ひらがな、記号
	電話番号	数字、記号
	数字・ハイフン	数字、記号
	日付	漢字、数字、英字、記号
	金額・数値	数字、記号
	メールアドレス	英字、数字、記号

文字種

- 英語

設定（形式）	文字種	
一般	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：53 種	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ] ^ _ ` { | } ~ ＼ ・← ↑ → ↓ … ー △ ☆ ○ □ ※ ℃ Ω ± ☉ ⊗ ☑ ☒ £)
氏名	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	記号：4 種	, . ' -
住所	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z

設定（形式）	文字種	
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	# , . ' -
電話番号	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：4 種	- ( ) +
数字・ハイフン	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：1 種	-
日付	文字	A B C D E F G H I J L M N O P R S T U V Y a b c d e f g h i j l m n o p r s t u v y
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	- / .
金額・数値	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（アメリカ専用）：3 種	$, .
	記号（イギリス専用）：3 種	£ , .
メールアドレス	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	@ . _ -)

- フランス語

設定（形式）	文字種	
一般	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	38 種	À Â Ä È É Ê Ë Î Ï Ñ Ô Ö Ù Û Ü Ÿ à â ä è é ê ë î ï ñ ô ö ù û ü ÿ Œ Æ Ç æ ç œ
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：41 種	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] _ { | } £ € « » © ® ° ☉ ⊗ □ ☑ ☒)
氏名	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	38 種	À Â Ä È É Ê Ë Î Ï Ñ Ô Ö Ù Û Ü Ÿ à â ä è é ê ë î ï ñ ô ö ù û ü ÿ Œ Æ Ç æ ç œ
	記号：4 種	, . ' -
住所	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	38 種	À Â Ä È É Ê Ë Î Ï Ñ Ô Ö Ù Û Ü Ÿ à â ä è é ê ë î ï ñ ô ö ù û ü ÿ Œ Æ Ç æ ç œ
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	# , . ' -

設定（形式）	文字種	
電話番号	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：4 種	- ( ) +
数字・ハイフン	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：1 種	-
日付	文字	A B C D E F G I J L M N O P R S T U V Y É Û a b c d e f g i j l m n o p r s t u v y é û
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	- / .
金額・数値	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	€ , .
メールアドレス	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	@ . _ -)

- ドイツ語

設定（形式）	文字種	
一般	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	9 種	Ä É Ö Ü ä é ö ü ß
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：41 種	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [＼] _ { | } £ € « » © ® ° ☉ ⊗ □ ☑ ☒)
氏名	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	9 種	Ä É Ö Ü ä é ö ü ß
	記号：4 種	, . ' -
住所	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	9 種	Ä É Ö Ü ä é ö ü ß
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	# , . ' -
電話番号	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：4 種	- ( ) +
数字・ハイフン	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：1 種	-

設定（形式）	文字種	
日付	文字	A B C D E F G I J K L M N O P R S T U V Y Z Ä a b c d e f g i j k l m n o p r s t u v y z ä
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	- / .
金額・数値	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	€ , .
メールアドレス	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	@ . _ -)

- スペイン語

設定（形式）	文字種	
一般	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	12 種	Á É Í Ñ Ó Ú á é í ñ ó ú
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：43 種	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] _ { | } £ € « » © ® ° ¡ ¿ ☉ ⊗ □ ☑ ☒
氏名	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	12 種	Á É Í Ñ Ó Ú á é í ñ ó ú
	記号：4 種	, . ' -
住所	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	12 種	Á É Í Ñ Ó Ú á é í ñ ó ú
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	# , . ' -
電話番号	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：4 種	- ( ) +
数字・ハイフン	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：1 種	-
日付	文字	A B C D E F G I J L M N O P R S T U V Y Z a b c d e f g i j l m n o p r s t u v y z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	- / .

設定（形式）	文字種	
金額・数値	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	€ , .
メールアドレス	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	@ . _ -)

- イタリア語

設定（形式）	文字種	
一般	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	14 種	À È É Î Ì Ò Ù à è é î ì ò ù
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：41 種	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [＼] _ { | } £ € « » © ® ° ☉ ⊗ □ ☑ ☒)
氏名	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	14 種	À È É Î Ì Ò Ù à è é î ì ò ù
	記号：4 種	, . ' -
住所	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	14 種	À È É Î Ì Ò Ù à è é î ì ò ù
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	# , . ' -
電話番号	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：4 種	- ( ) +
数字・ハイフン	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：1 種	-
日付	文字	A B C D E F G I J L M N O P R S T U V Y Z a b c d e f g i j l m n o p r s t u v y z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	- / .
金額・数値	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	€ , .
メールアドレス	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

設定（形式）	文字種	
	記号：5 種	@ . _ -)

- 日本語

設定（形式）	文字種	
一般	漢字：6355 種	JIS 第一水準および JIS 第二水準のすべての字種
	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	カタカナ：86 種	(*1)
	ひらがな：83 種	(*2)
	一般記号：25 種	! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ ^ _ | ¥ ･
	日本語記号：6 種	、。々〆〒ー
氏名	漢字：6355 種	JIS 第一水準および JIS 第二水準の全ての字種
	カタカナ：86 種	(*1)
	ひらがな：83 種	(*2)
	日本語記号：2 種	ー々
住所	漢字：6355 種	JIS 第一水準および JIS 第二水準の全ての字種
	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	カタカナ：86 種	(*1)
	ひらがな：83 種	(*2)
	一般記号：25 種	! # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ ^ _ | ¥ ･
	日本語記号：6 種	、。々〆〒ー
電話番号	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：3 種	- ( )
数字・ハイフン	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：1 種	-
日付	漢字：11 種	月元昭成大日年平令和正
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	英字：4 種	T S H R
	記号：2 種	/ .
金額・数値	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

設定（形式）	文字種	
	記号：4 種	¥ , . -
メールアドレス	英字：52 種	大文字 26 種：A～Z, 小文字 26 種：a～z
	数字：10 種	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号：5 種	@ . _ -)

***1：**
- 濁音なし 48 種

  ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ヰ ヱ
- 濁音あり 26 種

  ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ゾ ダ ヂ ヅ デ ド バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ
- 小文字 14 種

  ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ヮ カ ケ

***2：**
- 濁音なし 48 種

  あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ た ち つ て と な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ ま み む め も や ゆ よ ら り る れ ろ わ を ん ゐ ゑ
- 濁音あり 25 種

  が ぎ ぐ げ ご ざ じ ず ぜ ぞ だ ぢ づ で ど ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ
- 小文字 10 種

  ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ っ ゃ ゅ ょ ゎ

日付の出力形式変換の仕様

「フィールド定義」画面の「認識結果の形式変換」チェックボックスにチェックを付けて、「形式変換後の構成」で出力時の日付の構成を指定した場合の、日付の出力形式の変換の仕様を説明します。

重要

- サポートする日付は、1913 年 1 月 1 日～2060 年 12 月 31 日までの範囲です。
- 「言語」で「日本語」を選択していても、和暦から西暦への変換、または西暦から和暦への変換はできません。
- 日付の認識結果に「形式変換後の構成」で指定した項目がなかった場合、画像を確認/編集する画面のフィールドパネルの「フィールド」には、認識結果をそのまま赤色の文字で表示し、警告を表示します。

ゾーン OCR で認識した日付の文字列は、各言語で扱う日付の形式 (679 ページ)に示す形式の場合に、「形式変換後の構成」で指定した日付の構成で出力されます。

仕様

- 年は 1 ～ 4 桁で指定可能。ただし、1 ～ 2 桁の場合は、以下に補正される。
  0 ～ 60 の場合 ：2000 年代に補正
  61 ～ 99 の場合：1900 年代に補正

例 1：01 → 2001
例 2：65 → 1965

- 月、日は 1 桁または 2 桁でも指定可能
- 月がアルファベット表記の場合、大文字/小文字を区別しない（例：January も january も変換する）。
  また、短縮形の場合、「.」のあり/なしにかかわらず変換する（例：Jan も Jan.も変換する）。
- 以下の場合は変換しない。
  - 年が 1913 年より前、または 2039 年よりもあとの場合
  - 月の値が 1 ～ 12 ではない場合
  - 月がアルファベット表記だった場合につづりが間違っている
  - 日の値が、その月の範囲を超える場合
    例：2/30
  - 日付として解釈できない（年月日の判断がつかない）場合
    例：
    Asdf1234
    2
    2/4

各言語で扱う日付の形式

各言語で扱う日付の形式は以下のとおりです。
これら以外の形式は変換されません。
なお、「言語」が「英語」の場合、システムのロケールによって扱う日付の形式が決まります。
en-GB：イギリスの日付形式を使用
en-US を含む en-GB 以外のロケール：アメリカの日付形式を使用

- 日本語
  - yyyymmdd（例：20250307）
  - yyyy-mm-dd（例：2025-03-07）
  - yyyy/MM/dd（例：2025/03/07）
  - yyyy 年 MM 月 dd 日（例：2025 年 3 月 7 日）
- 英語（アメリカ）
  - yyyymmdd（例：20250307）
  - yyyy-mm-dd（例：2025-03-07）
  - mm dd yyyy（例：03 07 2025）
  - mm/dd/yyyy（例：03/07/2025）
  - mm-dd-yyyy（例：03-07-2025）
  - mm.dd.yyyy（例：03.07.2025）

  - Month dd, yyyy（例：March 07, 2025/ Mar. 07, 2025）

- 英語（イギリス）
  - yyyymmdd（例：20250307）
  - yyyy-mm-dd（例：2025-03-07）
  - dd/mm/yyyy（例：07/03/2025）
  - dd mm yyyy（例：07 03 2025）
  - dd Month yyyy（例：07 September 2025 / 07 Sept 2025）
- ドイツ語
  - yyyymmdd（例：20250307）
  - yyyy-mm-dd（例：2025-03-07）
  - dd. Month YYYY（例：07. Oktober 2025 / 07. Okt. 2025）
  - dd.mm.yyyy（例：07.03.2025）
  - dd.mm yyyy（例：07.03 2025）
  - dd mm yyyy（例：07 03 2025）
- フランス語
  - yyyymmdd（例：20250307）
  - yyyy-mm-dd（例：2025-03-07）
  - dd/mm/yyyy（例：07/03/2025）
  - dd mm yyyy（例：07 03 2025）
  - dd-Month-yyyy（例：07-mars-2025）
  - dd Month yyyy（例：07 février 2025 / 07 févr 2025）
- イタリア語
  - yyyymmdd（例：20250307）
  - yyyy-mm-dd（例：2025-03-07）
  - dd/mm/yyyy（例：07/03/2025）
  - dd.mm.yyyy（例：07.03.2025）
  - dd-mm-yyyy（例：07-03- 2025）
  - dd mm yyyy（例：07 03 2025）
  - dd mm yy（例：07 03 25）
  - dd Month yyyy（例：07. ottobre 2025 / 07. Ott. 2025）
- スペイン語
  - yyyymmdd（例：20250307）
  - yyyy-mm-dd（例：2025-03-07）
  - dd/mm/yyyy（例：07/03/2025）

- dd-mm-yyyy（例：07-03- 2025）
- dd mm yyyy（例：07 03 2025）
- dd Month 'yy（例：07 de marzo '25）
- dd Month yyyy（例：07 octubre 2025 / 07 oct. 2025）
  冠詞（de）のあり/なしにかかわらず、変換可能。

原稿の条件

➡ 42.11 定型帳票の条件 (687 ページ)

- **PaperStream IP ドライバーの設定**

以下の PaperStream IP ドライバーの設定では、正しくゾーン OCR できない場合があります。

- 画像タイプが白黒の場合に、「画像」→「二値化の方法」で、「ハーフトーン」または「選択的強調」を選択している

重要

- ゾーン OCR で認識できる文字数は、最大で 128 文字です。
- ゾーン OCR の認識領域を適切な大きさに設定してください。
  領域が大きすぎる場合、周囲の図、表、または罫線がゾーン OCR の対象となり、意図しない認識結果が出力されることがあります。
  また、領域が小さすぎる場合、認識したい文字列がゾーン OCR の対象から外れ、正しく認識できないことがあります。
- ゾーン OCR で認識した文字列が、画面では正常に表示されているが、ファイル名オプションで「ゾーン OCR」をファイル名に使用した場合や、インデックス情報に出力する場合、制御コードとみなされ、“_”で出力されることがあります。
  この場合は、「コントロール パネル」の「地域と言語のオプション」で、ゾーン OCR に使用する言語を選択してください。
- 「適用対象の単位」で「ページ」を選択している場合、画像の解像度は、以下を推奨します。カラー / グレーは 600dpi より大きい解像度は認識できません。
  - 白黒：400 / 600 dpi
  - カラー / グレー：200 / 300 dpi
- 「適用対象の単位」で「帳票」を選択している場合、帳票を登録するときの読み取り設定と、ジョブの読み取り設定の、画像タイプ / 解像度 / 用紙サイズを同じ設定にすることを推奨します。
- 「こだわり作成」画面の「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、認識する文字の言語として、以下は指定できません。
  - ギリシャ語
  - ベトナム語
  - スウェーデン語
  - オランダ語

- ポーランド語
- チェコ語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語
- デンマーク語
- ノルウェー語
- ハンガリー語
- フィンランド語

ヒント

- PaperStream IP ドライバーによる自動傾き補正と原稿向き補正フィルターを使用すると、認識率の向上が期待できます。
- PaperStream IP ドライバーの「回転」で「自動」が選択されている場合、ヘブライ語の原稿を読み取ると、読み取った画像が逆さまになります。「回転」で「0 度」を指定し、原稿の向きを正しい方向にそろえた状態で読み取りを実行してください。
- 認識文字が英数字や記号だけの場合は、誤認識することがあります。認識言語を英語に変更して実行すると文字を認識しやすくなります。

42.8 パスポートの検知条件

PaperStream Capture では、ICAO（国際民間航空機関）で国際標準化された規格（Doc 9303）に沿って、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）に 44 桁 2 行で構成されるパスポートの情報を検知できます。

- PaperStream Capture の場合
  パスポートの MRZ を自動で検知する場合は、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用し、パスポートの読み取りに対応しているスキャナーで、パスポートの MRZ が記載されているページを見開きの状態で読み取る必要があります。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  パスポートの MRZ を自動で検知する場合は、パスポートの読み取りに対応しているスキャナーで、パスポートの MRZ が記載されているページを見開きの状態で読み取る必要があります。

MRZ の記載位置と MRZ の構成は、以下のとおりです。



番号	意味
1	発行国
2	姓名
3	旅券番号
4	国籍
5	生年月日
6	性別
7	有効期間満了日
8	個人番号

ただし、以下のような場合、パスポートの MRZ が正しく認識できない場合があります。

- パスポートがよごれている
- 読み取り後のパスポートの画像が、上下逆さまや横向き、または傾いている

重要

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「ページ」を選択している場合だけ、検知の対象に選択できます。
- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、パスポートの MRZ を自動で検知できません。
  パスポートを読み取ったあと、「スキャン」画面（確認 / 編集時）のツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として指定してください。

ヒント

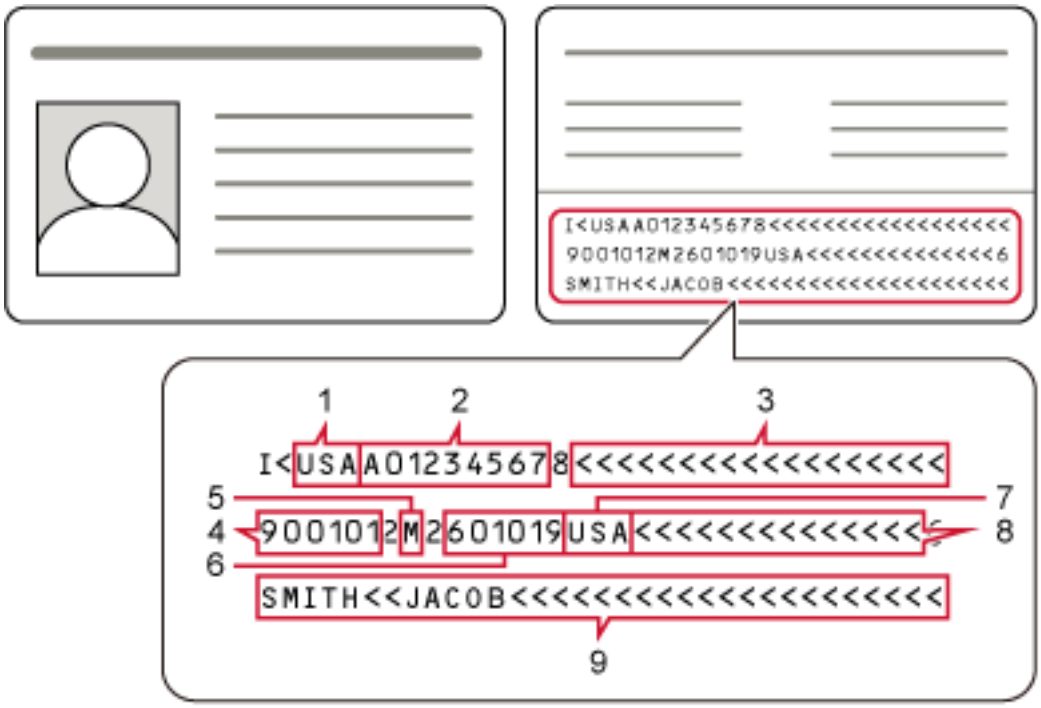
- パスポートの読み取りで使用するドライバープロファイルは、パスポート用に用意されているプリセットプロファイルを推奨します。ドライバープロファイルは、「読み取り設定」タブで変更できます。
- 詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

42.9 ID カード（TD1）の検知条件

PaperStream Capture では、ICAO（国際民間航空機関）で国際標準化された規格（Doc 9303）に沿って、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）に 30 桁 3 行で構成される ID カード（TD1 準拠）の情報を検知できます。

- PaperStream Capture の場合
  ID カード（TD1 準拠）の MRZ を自動で検知する場合は、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用し、ID カード（TD1 準拠）の読み取りに対応しているスキャナーで読み取る必要があります。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  ID カード（TD1 準拠）の MRZ を自動で検知する場合は、ID カード（TD1 準拠）の読み取りに対応しているスキャナーで読み取る必要があります。

MRZ の記載位置と MRZ の構成は、以下のとおりです。



番号	意味
1	発行国
2	文書番号
3	発行国拡張情報上段
4	生年月日
5	性別
6	有効期間満了日
7	国籍
8	発行国拡張情報中段
9	姓名

ただし、以下のような場合、ID カード（TD1 準拠）の MRZ が正しく認識できない場合があります。

- ID カードがよごれている
- MRZ が 2 行以下である

重要

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「ページ」を選択している場合だけ、検知の対象に選択できます。
- PaperStream Capture で、PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、ID カード（TD1 準拠）の MRZ を自動で検知できません。

ID カード（TD1 準拠）を読み取ったあと、「スキャン」画面（確認 / 編集時）のツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（30 桁）を認識領域として指定してください。

ヒント

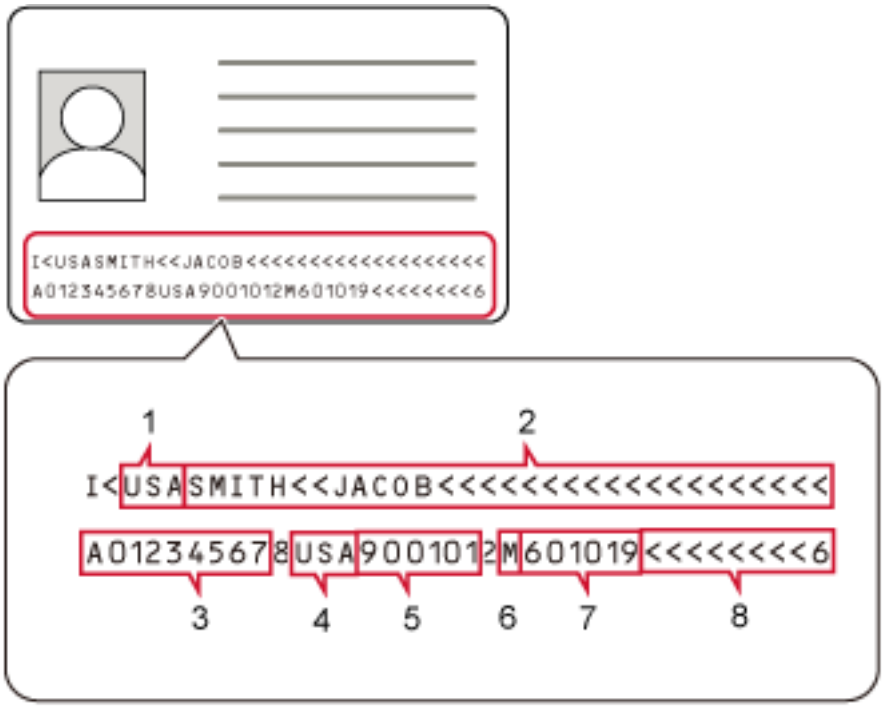
- 詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

42.10　ID カード（TD2）の検知条件

PaperStream Capture では、ICAO（国際民間航空機関）で国際標準化された規格（Doc 9303）に沿って、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）に 36 桁 2 行で構成される ID カード（TD2 準拠）の情報を検知できます。

- PaperStream Capture の場合
  ID カード（TD2 準拠）の MRZ を自動で検知する場合は、PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用し、ID カード（TD2 準拠）の読み取りに対応しているスキャナーで読み取る必要があります。
- PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合
  ID カード（TD2 準拠）の MRZ を自動で検知する場合は、ID カード（TD2 準拠）の読み取りに対応しているスキャナーで読み取る必要があります。

MRZ の記載位置と MRZ の構成は、以下のとおりです。



番号	意味
1	発行国
2	姓名

番号	意味
3	文書番号
4	国籍
5	生年月日
6	性別
7	有効期間満了日
8	拡張情報

ただし、以下のような場合、ID カード（TD2 準拠）の MRZ が正しく認識できない場合があります。

- ID カードがよごれている
- MRZ が 1 行以下である

重要

- 「データ抽出設定」タブの「適用対象の単位」で「ページ」を選択している場合だけ、検知の対象に選択できます。
- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、ID カード（TD2 準拠）の MRZ を自動で検知できません。
  ID カード（TD2 準拠）を読み取ったあと、「スキャン」画面（確認 / 編集時）のツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（36 桁）を認識領域として指定してください。

ヒント

- 詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

42.11 定型帳票の条件

「管理」画面で登録できる帳票の条件について説明します。
以下の条件を満たす帳票を登録してください。

- **帳票レイアウト（罫線パターン）による識別の条件**

項目	条件
帳票サイズ	A3 ～ A7 73.66 × 104.14 mm ～ 304.8 × 431.8 mm（2.9 × 4.1 インチ ～ 12 × 17 インチ）
帳票に必要な印刷要素	2cm 以上の縦線または横線が 5 本以上（*1） 線の種類は、実線だけ
帳票に記入できる線	太さ 1mm 以下の実線

項目	条件
	1mm より太い実線や、実線以外の線（点線、破線、波線、二重線など）は、線分として認識されない。
帳票に印刷できないもの	● 写真（カラー写真、網点写真） ● カラー印刷 ● 網かけ（帳票面積の 20% 以上のもの）
帳票を識別するために必要な差異（*2）	帳票中の罫線の 2 割以上のものが、ほかの帳票と異なる位置や長さであること（*1）
その他の注意	線分が 1 本でも異なる、または活字の印刷内容が異なる場合は、帳票のレイアウトが識別されないことがある。

***1：**以下の線分は、線分として認識されません。そのため、印刷要素や帳票を識別するための差異には数えられません。

- 太さ 1mm より太い実線
- 実線以外の罫線（点線、破線、波線、二重線など）

***2：**スキャナーで読み取ったときの条件（濃度、傾き、よごれなど）によっては識別できない場合があります。

- **帳票識別フィールドによる識別の条件**

帳票レイアウト（罫線パターン）による識別で定型帳票を特定できない場合に、活字文字列の領域を帳票識別フィールドに設定することで、類似の定型帳票を識別できるようになります。

項目	条件
帳票サイズ	A3 ～ A7 73.66 × 104.14 mm ～ 304.8 × 431.8 mm（2.9 × 4.1 インチ ～ 12 × 17 インチ）
帳票に必要な印刷要素	ほかの帳票では印字されていない文字を含む活字文字列
フィールド数	1 フィールド
対応言語	日本語/英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/中国語（簡体字）/中国語（繁体字）/ロシア語/韓国語/ポルトガル語（ブラジル）/アラビア語/トルコ語/ギリシャ語/ベトナム語/ポーランド語/チェコ語/オランダ語/スウェーデン語/ルーマニア語/ヘブライ語/ウクライナ語/タイ語/インドネシア語/デンマーク語/ノルウェー語/ハンガリー語/フィンランド語
文字数	最大 255 文字まで
方向	横書き
フォントサイズ	10 ～ 36 ポイント

項目	条件
その他の注意	帳票識別フィールドの周辺に、ほかの帳票で設定した帳票識別フィールドの文字列が印字されていると、ほかの帳票として識別されることがあります。

42.11.1 定型帳票として識別できない原稿

以下に、定型帳票として識別できない原稿の例を示します。

例 1

罫線構造が同じでも、罫線で囲まれている範囲のサイズが異なる原稿です。
以下の例のように、表の大きさが文字数に合わせて変化する原稿は、正しく識別されません。



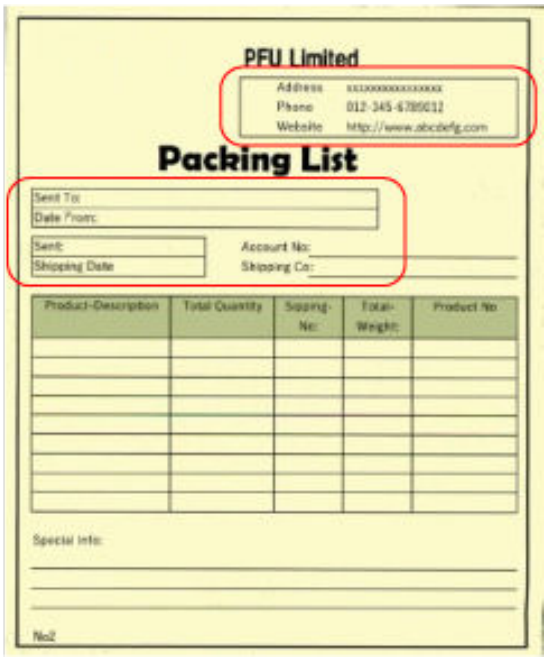


例 2

罫線構造の中に同じ部分と異なる部分がある原稿です。

すべての罫線が識別対象になるため、以下の例のように、同じ罫線の部分と異なる罫線の部分がある原稿は、正しく識別されません。

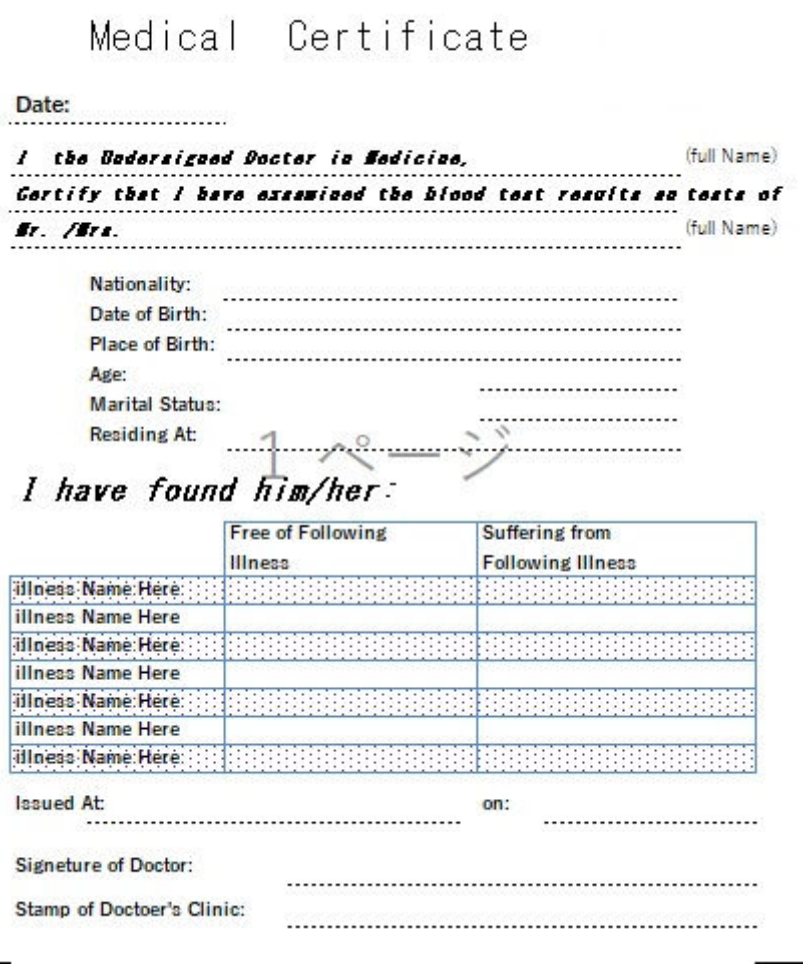




例 3

短い罫線がある原稿や、罫線の背景に模様がある原稿です。

以下の例のように、破線や網かけがある原稿は、正しく識別できません。



例 4

帳票としての特徴が少ない原稿です。
罫線がなく、文字だけの原稿や、白紙の原稿は、正しく識別できません。

関連項目

14.19 定型帳票の文字列やバーコード/QR コードの情報を抽出する (164 ページ)

42.12 ジョブ移入結果ログ

運用環境の移入を実行すると、移入結果がログファイルに出力されます。
ファイル形式は CSV で、ファイル名は「PSCImpProfile.csv」です。

移入結果の格納先

移入結果は、以下のフォルダーに作成されます。
C:¥Users¥*ユーザー名*¥Documents¥PaperStreamCapture

移入結果の内容

移入結果は、以下の形式で出力されます。

```
"ログ出力日時"
"移入結果","詳細情報","ジョブ名"
```

1 行目

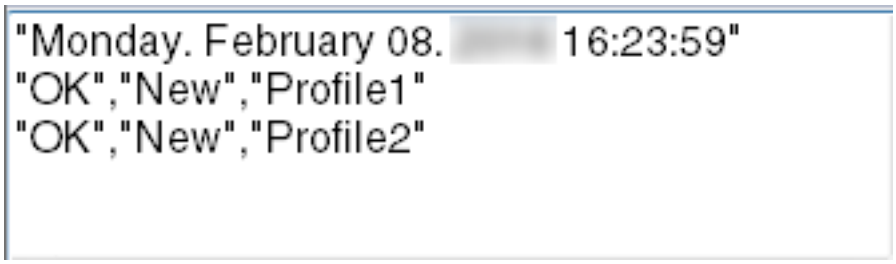
ログが出力された日時が出力されます。
日時のフォーマットは、「曜日. 月 日. 年 時:分:秒」です。

2 行目以降

各ジョブの移入結果が出力されます。

項目	内容
移入結果	OK：移入しました。 NG：移入できませんでした。
詳細情報	New：新規で移入しました。
ジョブ名	移入対象のジョブ名が出力されます。

ログ出力例



42.13 PaperStream Capture とドライバープロファイルの設定の関係

- **ジョブ作成/編集**

読み取り設定

読み取り設定

画質補正

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、ドライバープロファイルでマルチイメージが指定されていると、「画質補正」の指定が無効となります。

画像チェック

折れ/破れ

「折れ/破れ」を指定すると、一時的にドライバープロファイルのクロッピングを自動に変更して読み取りします。

重送

「重送」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。また、ドライバープロファイルのマルチフィード検出の条件に「装置設定」が指定されている場合、「重なりと長さ」に切り替えて読み取りを行います。

白紙

「白紙」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

出力先設定

ファイルプロパティ

ページカウンターをインプリンタで印字する

「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。
ドライバープロファイルでキャリアシートが指定されていると、「ページカウンターをインプリンタで印字する」の指定が無効となります。

シートカウンターをインプリンタで印字する

「シートカウンターをインプリンタで印字する」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。
ドライバープロファイルでキャリアシートが指定されていると、「シートカウンターをインプリンタで印字する」の指定が無効となります。

データ抽出設定

フィールド属性

パスポート

「パスポート」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

ID カード(TD1)

「ID カード(TD1)」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

ID カード(TD2)

「ID カード(TD2)」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

仕分け設定

ドキュメント仕分け

白紙

「白紙」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

パッチコード

「パッチコード」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

バッチ仕分け

白紙

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、「白紙」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

パッチコード

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合、「パッチコード」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

- **管理ツール**

一般

おすすめ設定

お知らせ

「お知らせ」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

お知らせするユーザーを選択

「お知らせするユーザーを選択」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

- **ツールバー**

スキャン

追加（アシストスキャン）

ドライバープロファイルでマルチイメージが指定されていると、「追加（アシストスキャン）」はできません。

差し替え（アシストスキャン）

ドライバープロファイルでマルチイメージが指定されていると、「差し替え（アシストスキャン）」はできません。

第 43 章
用語集

- **お使いになる前に**

抽出データ

読み取った原稿の、画像に関する情報を抽出したデータです。
ここでは、設定している全フィールドのフィールド値と認識エリアを指します。

インデックス

読み取った原稿の、画像に対する索引または識別用のデータを指します。
ここでは、データに抽出データが埋め込まれた状態、または埋め込む作業を指します。

マルチステーション

PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の場合に、ストレージサーバーを使用する運用方法です。
ストレージサーバーとクライアント端末のステーションで運用します。
ストレージサーバーでデータを管理し、クライアント端末の各ステーションで作業を行います。

バッチスキャンモード

定型業務向けの読み取り方法です。
ファイルの保存形式、保存先、および読み取り条件などの設定内容を、ジョブとして事前に登録し、そのジョブを使って原稿を読み取ります。

シンプルスキャンモード

非定型業務向けの読み取り方法です。
ファイルの保存形式、保存先、および読み取り条件などの設定内容を、必要に応じて変更して、原稿を読み取ります。

ジョブ

PaperStream Capture での読み取りや出力に関する条件を登録したデータです。
読み取り方法がバッチスキャンモードの場合に使用します。

モード切替え

読み取り方法を「シンプルスキャンモード」または「バッチスキャンモード」に切り替えます。

アドホックスキャン

読み取り方法がバッチスキャンモードの場合に、既存のジョブの設定内容を一時的に変更して原稿を読み取る機能です。読み取りが完了すると、ジョブの設定は元に戻ります。

ゾーン OCR

指定した領域に対し、OCR（光学式文字認識）を行い、文字情報を抽出する機能です。

インデックス情報ファイル

出力した画像に対する、データの索引または識別データの情報を出力したファイルです。

PaperStream IP (TWAIN)

業務用 イメージ スキャナー専用のスキャナードライバーです。
TWAIN 規格に準拠しています。

PaperStream IP (ISIS)

PaperStream Capture の場合の、業務用 イメージ スキャナー専用のスキャナードライバーです。
ISIS 規格に準拠しています。

テナント

PaperStream AI に関する情報を管理する単位です。1 契約につき 1 テナントになります。

- **インストール方法**

アクティベート

ライセンスを認証し、機能の制限を解除します。

シングルステーション

ストレージサーバーを使用しない運用方法です。
1 つの端末でデータの管理や作業を行います。

ストレージサーバー

ジョブや読み取った画像を含むバッチを管理します。

ステーション

シングルステーション運用の端末や、マルチステーション運用のクライアント端末を指します。
ステーションとして、以下のプロセスを選択して運用します。

- スキャン&インデックス
  - スキャン（*）
- QC（*）
- インデックス（*）

*組み合わせて 1 つのステーションとして設定できます。

- **基本的な読み取り操作**

PaperStream IP Import

スキャナーを介さず、既存の BMP、JPG、TIF、JPEG、TIFF、および PDF ファイルを画質補正して取り込むドライバーです。
TWAIN 規格に準拠しています。
PaperStream Capture Pro Premium のこだわり作成で使用できます。

バッチ

ジョブで設定した一連の処理を実施するまとまりを指します。

- **便利な機能**

PaperStream ClickScan

業務用イメージ スキャナーを利用して、簡易的な設定だけで原稿を読み取るためのアプリケーションです。

定型帳票

申請書やアンケートなど、どの項目をどの位置に記入するかが決まっている定型の原稿を、PaperStream Capture では「定型帳票」または「帳票」と呼びます。
事前に帳票の情報を登録しておけば、レイアウトから帳票の種類を識別して、読み取ります。
以下の方法で帳票を読み取るジョブを設定できます。

- PaperStream IP ドライバーの自動プロファイル選択機能を使用する
  PaperStream IP ドライバーで原稿識別情報を登録し、自動プロファイル選択機能を使用してプロファイルと関連付けます。PaperStream Capture のこだわり作成のジョブで「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の ドライバープロファイルを選択することで、帳票を種類ごとに仕分けして保存できます。
- PaperStream Capture の帳票レイアウト識別機能を使用する
  事前に PaperStream Capture に帳票を登録しておくことで、帳票の種類ごとに仕分けして保存できます。また、帳票のバーコードや文字の情報を抽出して利用できます。
  こだわり作成の場合、類似の帳票は帳票識別フィールドを設定することで、それぞれ別の帳票として識別できます。

非定型帳票

注文書や請求書など、原稿全体のおおまかな構成や項目は共通しているものの、項目の位置や表現が帳票ごとに異なる原稿を、PaperStream Capture では「非定型帳票」と呼びます。
PaperStream AI を使用すると帳票の種類ごとに仕分けして保存できます。また、帳票の文字を抽出して利用できます。

帳票識別フィールド

類似の帳票を識別するためのキーワード（活字文字列）を検出する領域を指します。

フィールド

抽出データに関する情報を入力する領域を指します。

フィールドルール

フィールド値に対し、指定するルールを指します。

パッチコード

スキャナーで読み取って、原稿やバッチの区切りとして認識させるための、専用コードです。
印刷して使用します。

- **運用環境の移出/移入**

  ドライバープロファイル

  PaperStream IP ドライバーでの読み取り条件を登録したデータです。

- **PaperStream Capture Pro、PaperStream Capture Pro Premium の機能**

  フィールド値

  抽出データに関する情報の値を指します。

  QC

  クオリティーチェック（Quality Check）を指します。
  PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium では、読み取りと QC を別々に作業できます。QC 画面で読み取った画像を確認したり、編集したりできます。

- **PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のアクティベート**

  ディアクティベート

  ライセンスの認証を解除します。
  インストールした媒体によって、ディアクティベートしたあとの動作は、以下のように異なります。

  - Web サイトからダウンロードした場合
    再度、ライセンスをアクティベートするまで、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium が起動できなくなります。
  - スキャナーに添付されている Setup DVD-ROM からインストールした場合
    PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の固有の機能が利用できなくなります。

第 44 章
お問い合わせ

- **お問い合わせ窓口**

  お客様からのお問い合わせに迅速に対応いたします。
  お問い合わせで対応する内容は、以下のとおりです。

  - 業務用 イメージ スキャナー全般に関する操作や故障・トラブル
  - PaperStream Capture に関する操作
  - PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium のご購入

  お使いの PaperStream Capture のバージョンを確認する場合があります。事前にバージョンを確認のうえ、お問い合わせください。
  バージョンの確認方法は、39.1 バージョンの情報を確認する (498 ページ)を参照してください。
  なお、PaperStream Capture Pro または PaperStream Capture Pro Premium の技術的なサポートのお問い合わせは、ご購入後にご案内する専用のお問い合わせ窓口をご利用ください。

お問い合わせ先	株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター
ホームページ	以下のホームページをご覧ください。 https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html

- **PaperStream AI ライセンスの購入について**

  PaperStream AI ライセンスの販売可能国は、アメリカ合衆国および日本です。

  - はじめて PaperStream AI を購入する場合
    PaperStream Capture のメイン画面で［PaperStream AI］ボタンをクリックして、無償評価版ご利用のお申込みを送信してください。
  - PaperStream AI を追加購入する場合
    管理者ロールでダッシュボードにログインして、「ホーム」画面の「サポート情報」にある「ライセンスの追加 / 更新」をクリックして購入手続きを行ってください。